大阪狭山市

子どもの生活に関する実態調査

令和６年３月

大阪狭山市

調査研究業務　受注者
公立大学法人大阪　大阪公立大学

目次

はじめに 2
Ⅰ　調査概要 3
　１．調査の目的 3
　２．調査方法 3
　３．調査内容 3
　４．調査対象者 3
　５．調査実施日 3
　６．調査配布・回収率(数) 3
　７．調査実施主体 5
　８．研究者一覧 5
　９．大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い 5

Ⅱ　調査結果 7
　１．単純集計結果〔小学生・中学生〕 7
　２．単純集計結果〔保護者〕 84
　３．クロス集計および分析結果 182
　　３－１．基本情報 182
　　（１）経済状況 182
　　（２）家庭状況（制度等） 201
　　３－２．雇用 248
　　３－３．健康 256
　　３－４．家庭生活、学習 298
　　３－５．対人関係 358

Ⅲ　総合考察 426
　１）大阪府共同調査の意義 426
　２）単純集計 426
　３）クロス集計 429
　まとめ 431

Ⅳ　資料編 441

はじめに

2014年１月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されたことをスタートに、2014年８月「子供の貧困対策に関する大綱」が策定された。これら政府の動きを受けて、大阪市や大阪府内自治体含む大阪府は約10万件にも及ぶ子どもの生活に関する実態調査に共同で取り組んだ。府内すべてを網羅したこと、同じ調査で実施したことの意味は、大きい。なぜなら、各自治体がばらばらに実施し結果を見せても共通の指標にならず、この数値がどうなのか、意味があるのか、よくわからない実態も少なくない。世間でもかなり話題になり、マスコミに多数取り挙げられた。この頃には、子どもの貧困が広く知られ社会問題化されつつあったが、この大規模な調査の動きは拍車をかけたのみならず、データ数の多さから、全て実証され、以下に示す政策にも少なからず影響をもたらした。

2019年６月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が5年ぶりに見直され、「子どもの貧困対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」が施行された。それを受けて、同年11月「子供の貧困対策に関する大綱～日本の将来を担う子供たちを誰一人取り残すことがない社会に向けて～」が再策定された。大綱では、「支援が届いていない、又は届きにくい子ども・家庭に配慮して対策を推進する」、「困窮層が多様であること」、「社会的孤立に陥ることのないように配慮する」など新たな視点が基本方針として追加され、ヤングケアラーと思われる子どもや、外国籍や障がいを持つ子どもたちなど、具体的な困窮層の子どもや家庭が示された。同時に、2023年４月にこども家庭庁が発足され、貧困をはじめとする子どもを取り巻く社会問題にシームレスに向き合い、途切れない政策・支援を打ち立てていくことが期待されている。

こうして子どもの貧困に関する社会的認知や政策が知られるようになったが、子どもの実態はどう変わったのであろうか。政策の効果は表れたであろうか。そんな思いをもって、大阪府では再度府内自治体とともに子どもの生活に関する実態調査が共同実施されることになった。全国的にここまで一体的に実施する都道府県は存在せず、大阪府が、大阪府内の大半を占める大阪市も含めて牽引した役割は大きい。

子どもの貧困については、前回と同様に、その国の貧困線未満の所得で暮らす相対的貧困の17歳以下の子どもの存在および生活状況を指す相対的貧困率でとらえる。OECDや厚生労働省調査の貧困率には等価可処分所得の中央値の50%が使用されているが、絶対的なものではなく、EU、ユニセフは公式の貧困基準のひとつに中央値の60%を使用（ただし、常に60%基準採用ではない）している。前回同様、60%のラインも含め検討している。子どもの相対的貧困率については、発表主体、統計利用データ年次によって変動する。内容的には、タウンゼンドの定義を元にChild Poverty Action Group（CPAG）が示している、①所得や資産など経済的資本（capital）の欠如、②健康や教育など人的資本（human capital）の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本(social capital)の欠如、の３つの資本の欠如を基本的な枠組みとしてとらえる。

Ⅰ　調査概要

１．調査の目的

大阪狭山市では、子どもたちが積極的に自分の生き方を選択し、自立できるよう様々な施策を実施している中、今後、効果的な子どもの貧困対策を検証するために調査を実施し、得られた結果を分析することによって、支援を必要とする子どもや家庭に対する方策を検証することを目的としている。

２．調査方法

大阪狭山市内の調査対象の世帯に、学校を通じて調査票を配付し、回収を得たもの。

３．調査内容

巻末の調査票参照

４．調査対象者

小学校５年生・その保護者（528 世帯）　　中学校２年生・その保護者（531 世帯）

５．調査実施日

大阪狭山市：令和５年８月29日～令和５年９月15日
大阪府内全自治体：令和５年６月 27 日～令和５年９月 30 日

６．調査配布・回収率(数)

表１．調査票の回収状況

		回収率(%)	回収数	配布数
大阪狭山市	小学５年生	94.1	497	528
	小学５年生の保護者	76.9	406	528
	中学２年生	71.6	380	531
	中学２年生の保護者	57.6	306	531
	小学５年生・中学２年生合計	82.8	877	1,059
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	67.2	712	1,059
	学年不明	－	51	－
	計	77.4	1,640	2,118
大阪府全自治体	小学５年生	56.2	23,289	41,458
	小学５年生の保護者	55.0	22,819	41,458
	中学２年生	51.4	19,990	38,911
	中学２年生の保護者	49.8	19,390	38,911
	小学５年生・中学２年生合計	54.0	43,370	80,369
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	53.9	43,358	80,369
	計	54.0	86,728	160,738

※大阪府内全自治体の小学５年生・中学２年生合計、小学５年生保護者・中学２年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91 件、保護者：1,149 件）
※大阪府内全自治体の小学５年生、小学５年生保護者、中学２年生、中学２年生保護者、小学５年生・中学２年生合計、小学５年生保護者・中学２年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。
※「計」は、「小学５年生・中学２年生合計」と「小学５年生保護者・中学２年生保護者合計」の合計となっている。

大阪府内全自治体回収状況配布・回収方法別

		回収率(%)	回収数	配布数
学校配布・学校回収	小学５年生	61.6	15,927	25,852
	小学５年生の保護者	62.6	16,178	25,852
	中学２年生	58.3	13,712	23,539
	中学２年生の保護者	58.2	13,707	23,539
	小学５年生・中学２年生合計	60.1	29,674	49,391
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	60.7	29,977	49,391
	計	60.4	59,651	98,782
学校配布・郵送回収	小学５年生	22.6	1,401	6,191
	小学５年生の保護者	22.2	1,376	6,191
	中学２年生	15.3	936	6,099
	中学２年生の保護者	15.5	943	6,099
	小学５年生・中学２年生合計	19.2	2,362	12,290
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	19.2	2,361	12,290
	計	19.2	4,723	24,580
郵送配布・郵送回収	小学５年生	21.3	2,003	9,415
	小学５年生の保護者	21.0	1,978	9,415
	中学２年生	17.8	1,646	9,273
	中学２年生の保護者	17.8	1,653	9,273
	小学５年生・中学２年生合計	19.7	3,676	18,688
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	19.7	3,675	18,688
	計	19.7	7,351	37,376
学校配布・WEB回答	小学５年生	23.0	3,007	13,068
	小学５年生の保護者	17.0	2,228	13,068
	中学２年生	21.3	2,714	12,718
	中学２年生の保護者	16.0	2,037	12,718
	小学５年生・中学２年生合計	22.2	5,723	25,786
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	19.2	4,949	25,786
	計	20.7	10,672	51,572
郵送配布・WEB回答	小学５年生	10.1	951	9,415
	小学５年生の保護者	11.2	1,059	9,415
	中学２年生	10.6	982	9,273
	中学２年生の保護者	11.3	1,050	9,273
	小学５年生・中学２年生合計	10.4	1,935	18,688
	小学５年生保護者・中学２年生保護者合計	12.8	2,396	18,688
	計	11.6	4,331	37,376

※各配布・回収方法の小学５年生・中学２年生合計、小学５年生保護者・中学２年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：91 件、保護者：1,149 件）

※大阪府内全自治体の小学５年生、小学５年生保護者、中学２年生、中学２年生保護者、小学５年生・中学２年生合計、小学５年生保護者・中学２年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

※「計」は、「小学５年生・中学２年生合計」と「小学５年生保護者・中学２年生保護者合計」の合計となっている。

なお、未就学児童の保護者を対象とした調査も大阪府内の３自治体において実施した。さらに１自治体では、小５・中２以外の学年の児童とその保護者を対象とした調査も実施した。これらの合計配布数は、19,513件、回収数は、14,626件、回収率 75.0%であった。

７．調査実施主体

大阪狭山市
調査研究業務受託者
公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

８．研究者一覧

担当者　公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科
教授　山野 則子（業務責任者）
特任講師　橋本 麿和
シニア研究員　永田 麻衣　佐伯 厘咲　李 孟
協力者　公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科
准教授　嵯峨 嘉子
研究補助者　公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 経済学研究科
准教授　牛 冰
武庫川女子大学　社会情報学部 社会情報学科　助教　駒田 安紀
大阪商業大学 公共学部 公共学科　助教　林 萍萍
奈良佐保短期大学 地域こども学科　講師　河村 信子
公立大学法人大阪　大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科
研究員　黄 健育　渡邊 陽亮
大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 専攻社会福祉学分野　林 慎吾
松浦 孝範　久地井 寿哉　渡邊 祐作

９．大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い

本報告書においては、大阪狭山市と大阪府内全自治体をそれぞれ掲載している。大阪狭山市のデータについては既に「Ⅰ 調査概要 ２～８」で述べた方法で収集したものである。大阪府内全自治体については、大阪府25市町村のデータに共同実施18市町のデータを統合したものである。これら全自治体においては、小学生・中学生27問、保護者26問をそれぞれ共通設問として調査項目を設計し、全体を統合して扱うあるいは比較することが可能なものとした。なお、一部の市においては、これらの共通設問とは別途把握したい内容がある場合に限り、追加で独自設問を設けている。

調査の結果、府と他共同実施18市町との間で回収率や回収数に差が生じた。府では、予めサンプリングした対象8000件への配布を行いその約30％の回収となったのに対し、他共同実施市ではほとんどの市が全数配布の結果、高いところでは70％を超える回収率となっている。このため、自治体間で回収率あるいはサンプルサイズの補正を行うか否かについて検討し、補正は行わないとの結論に達した。

１点目の理由としては、今回の調査では調査票配布の方法に郵送配布と学校配布の２種類があり、いずれを用いるかは自治体の状況に基づいて決定された。配布方法が異なることで回収率に差が生じることは避けられないものであった。

２点目の理由としては、このような状況に対して、例えば回収率の高かった自治体について

データの再サンプリングなどの方法を用いて削減を行うことも意見が出された。しかし、その場合、どのような基準で選択するのかが恣意的になってしまうこと、削減後の結果を提示した場合、施策を提言するための貴重な調査結果であるにもかかわらずその一部が掬い取られないことになり、全数調査をした市においては意義が失われてしまう。

このような理由から、大阪府内全自治体のデータは回収したデータをすべて統合したものとなっている。

本報告書では、「大阪狭山市」、「大阪府内全自治体」両者のグラフを掲載しているため、このように書き分けて論じていく。

なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述し、議論を進める。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する・差を把握する・何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なることがある。これは、示されている数値は小数第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。

Ⅱ　調査結果

１．単純集計結果〔小学生・中学生〕

大阪狭山市

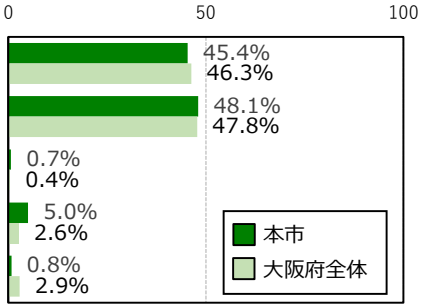
回答者の属性

問27　性別

全体は、「女子」が48.1%で最も多く、次いで「男子」が45.4%となっている。
小学生は、「女子」が46.5%で最も多く、次いで「男子」が44.7%となっている。
中学生は、「女子」が50.3%で最も多く、次いで「男子」が46.3%となっている。

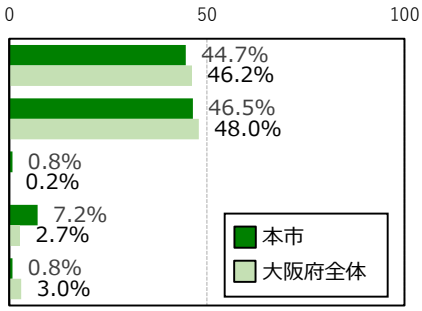
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
男子	398名	45.4%	20,086名	46.3%
女子	422名	48.1%	20,729名	47.8%
その他	6名	0.7%	169名	0.4%
答えたくない	44名	5.0%	1,134名	2.6%
無回答	7名	0.8%	1,252名	2.9%



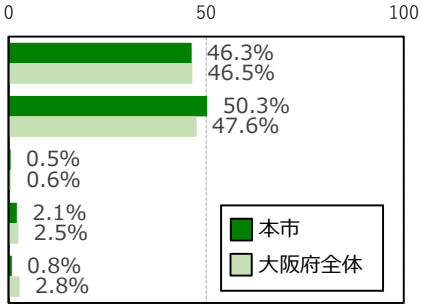
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
男子	222名	44.7%	10,752名	46.2%
女子	231名	46.5%	11,171名	48.0%
その他	4名	0.8%	42名	0.2%
答えたくない	36名	7.2%	636名	2.7%
無回答	4名	0.8%	688名	3.0%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
男子	176名	46.3%	9,295名	46.5%
女子	191名	50.3%	9,516名	47.6%
その他	2名	0.5%	127名	0.6%
答えたくない	8名	2.1%	493名	2.5%
無回答	3名	0.8%	559名	2.8%



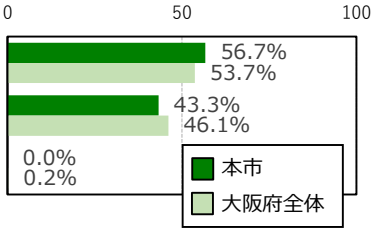
回答者の属性

問1　学年

回答者の学年は、「小学生」が497名・56.7%、「中学生」が380名・43.3%となっている。

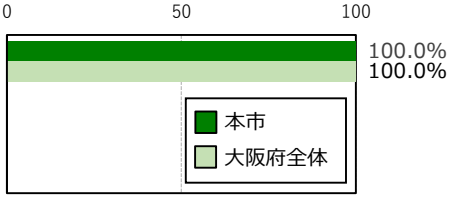
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
小学生	497名	56.7%	23,289名	53.7%
中学生	380名	43.3%	19,990名	46.1%
無回答	－	－	91名	0.2%



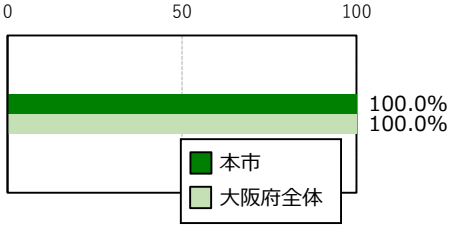
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
小学生	497名	100.0%	23,289名	100.0%
中学生	－	－	－	－
無回答	－	－	－	－



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
小学生	－	－	－	－
中学生	380名	100.0%	19,990名	100.0%
無回答	－	－	－	－



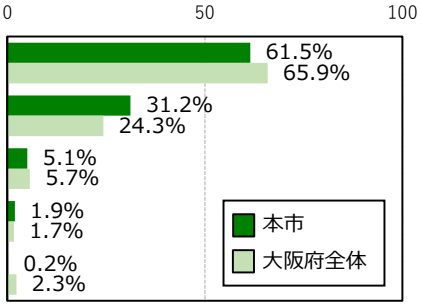
ふだんの生活のことについて

問２　起床時間の規則性

全体は、「起きている」が61.5％で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が31.2％、「あまり、起きていない」が5.1％、「起きていない」が1.9％となっている。
小学生は、「起きている」が60.6％で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が32.2％、「あまり、起きていない」が4.6％、「起きていない」が2.2％となっている。
中学生は、「起きている」が62.6％で最も多く、次いで「どちらかといえば、起きている」が30.0％、「あまり、起きていない」が5.8％、「起きていない」が1.6％となっている。

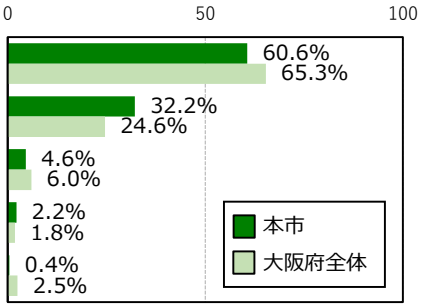
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
起きている	539名	61.5%	28,594名	65.9%
どちらかといえば、起きている	274名	31.2%	10,539名	24.3%
あまり、起きていない	45名	5.1%	2,478名	5.7%
起きていない	17名	1.9%	741名	1.7%
無回答	2名	0.2%	1,018名	2.3%



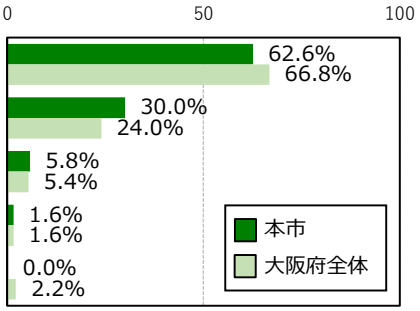
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
起きている	301名	60.6%	15,198名	65.3%
どちらかといえば、起きている	160名	32.2%	5,722名	24.6%
あまり、起きていない	23名	4.6%	1,386名	6.0%
起きていない	11名	2.2%	410名	1.8%
無回答	2名	0.4%	573名	2.5%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
起きている	238名	62.6%	13,344名	66.8%
どちらかといえば、起きている	114名	30.0%	4,791名	24.0%
あまり、起きていない	22名	5.8%	1,088名	5.4%
起きていない	6名	1.6%	328名	1.6%
無回答	－	－	439名	2.2%



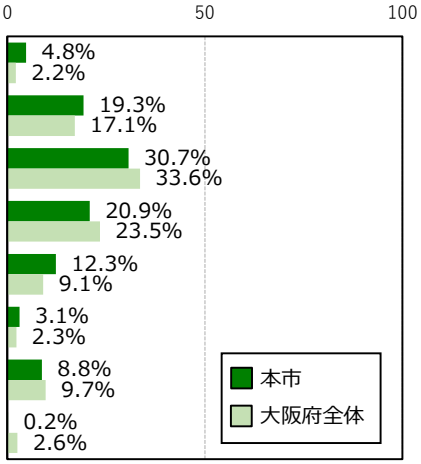
ふだんの生活のことについて

問３　就寝時間

全体は、「午後10時台」が30.7％で最も多く、次いで「午後11時台」が20.9％、「午後９時台」が19.3％、「午前０時台」が12.3％となっている。
小学生は、「午後10時台」が37.6％で最も多く、次いで「午後９時台」が31.4％、「午後11時台」が13.1％、「午後９時より前」が7.4％となっている。
中学生は、「午後11時台」が31.1％で最も多く、次いで「午前０時台」が25.0％、「午後10時台」が21.6％、「きまっていない」が11.1％となっている。

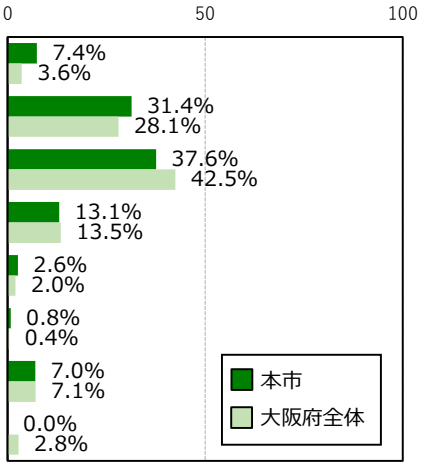
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
午後９時より前	42名	4.8%	963名	2.2%
午後９時台	169名	19.3%	7,400名	17.1%
午後10時台	269名	30.7%	14,573名	33.6%
午後11時台	183名	20.9%	10,204名	23.5%
午前０時台	108名	12.3%	3,927名	9.1%
午前１時より後	27名	3.1%	979名	2.3%
きまっていない	77名	8.8%	4,213名	9.7%
無回答	2名	0.2%	1,111名	2.6%



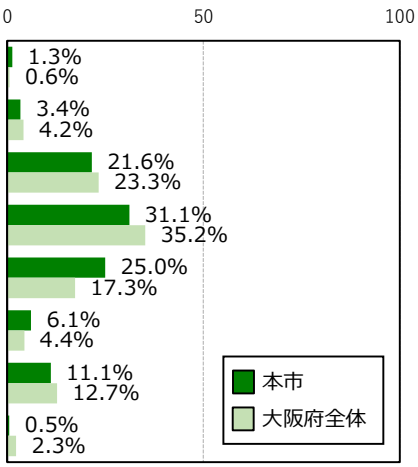
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
午後９時より前	37名	7.4%	845名	3.6%
午後９時台	156名	31.4%	6,553名	28.1%
午後10時台	187名	37.6%	9,894名	42.5%
午後11時台	65名	13.1%	3,139名	13.5%
午前０時台	13名	2.6%	455名	2.0%
午前１時より後	4名	0.8%	95名	0.4%
きまっていない	35名	7.0%	1,660名	7.1%
無回答	－	－	648名	2.8%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
午後９時より前	5名	1.3%	113名	0.6%
午後９時台	13名	3.4%	830名	4.2%
午後10時台	82名	21.6%	4,655名	23.3%
午後11時台	118名	31.1%	7,043名	35.2%
午前０時台	95名	25.0%	3,464名	17.3%
午前１時より後	23名	6.1%	883名	4.4%
きまっていない	42名	11.1%	2,544名	12.7%
無回答	2名	0.5%	458名	2.3%



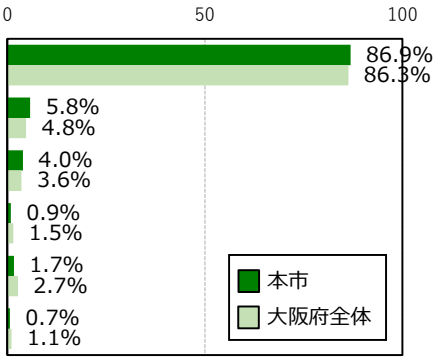
ふだんの生活のことについて

問４（１）朝食の頻度

全体は、「毎日またはほとんど毎日」が86.9％で最も多く、次いで「週に４～５回」が5.8％、「週に２～３回」が4.0％、「食べない」が1.7％となっている。
小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が90.1％で最も多く、次いで「週に４～５回」が3.8％、「週に２～３回」が3.4％、「食べない」が1.2％となっている。
中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が82.6％で最も多く、次いで「週に４～５回」が8.4％、「週に２～３回」が4.7％、「食べない」が2.4％となっている。

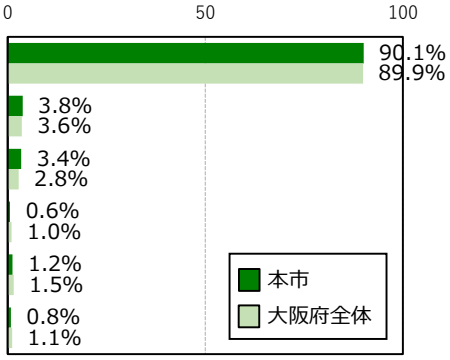
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	762名	86.9%	37,447名	86.3%
週に４～５回	51名	5.8%	2,062名	4.8%
週に２～３回	35名	4.0%	1,564名	3.6%
週に１回程度	8名	0.9%	649名	1.5%
食べない	15名	1.7%	1,180名	2.7%
無回答	6名	0.7%	468名	1.1%



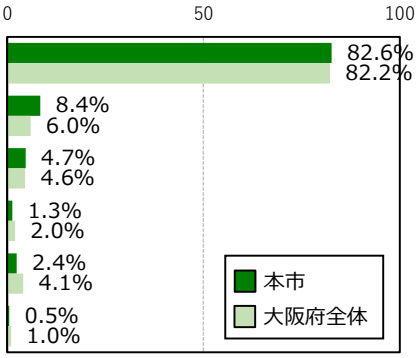
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	448名	90.1%	20,939名	89.9%
週に４～５回	19名	3.8%	849名	3.6%
週に２～３回	17名	3.4%	647名	2.8%
週に１回程度	3名	0.6%	241名	1.0%
食べない	6名	1.2%	359名	1.5%
無回答	4名	0.8%	254名	1.1%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	314名	82.6%	16,433名	82.2%
週に４～５回	32名	8.4%	1,207名	6.0%
週に２～３回	18名	4.7%	913名	4.6%
週に１回程度	5名	1.3%	408名	2.0%
食べない	9名	2.4%	820名	4.1%
無回答	2名	0.5%	209名	1.0%



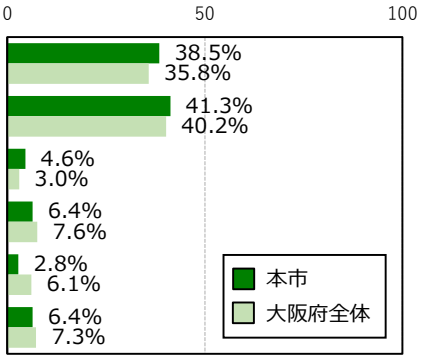
ふだんの生活のことについて

問４（２）朝食を食べない理由

全体は、「おなかがすいていない」が41.3%で最も多く、次いで「時間がない」が38.5%、「食べる習慣がない」が6.4%、「用意されていない」が4.6%となっている。
小学生は、「おなかがすいていない」が44.4%で最も多く、次いで「時間がない」が42.2%、「用意されていない」、「食べる習慣がない」がそれぞれ4.4%となっている。
中学生は、「おなかがすいていない」が39.1%で最も多く、次いで「時間がない」が35.9%、「食べる習慣がない」が7.8%、「用意されていない」が4.7%となっている。

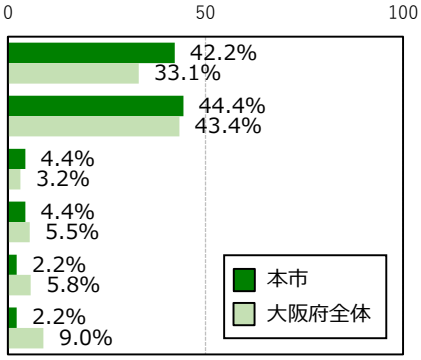
【全体】

	本市		大阪府全体	
	109名	100.0%	5,455名	100.0%
時間がない	42名	38.5%	1,954名	35.8%
おなかがすいていない	45名	41.3%	2,194名	40.2%
用意されていない	5名	4.6%	162名	3.0%
食べる習慣がない	7名	6.4%	414名	7.6%
わからない	3名	2.8%	334名	6.1%
無回答	7名	6.4%	397名	7.3%



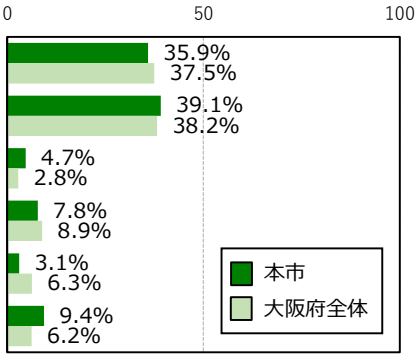
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	45名	100.0%	2,096名	100.0%
時間がない	19名	42.2%	694名	33.1%
おなかがすいていない	20名	44.4%	909名	43.4%
用意されていない	2名	4.4%	68名	3.2%
食べる習慣がない	2名	4.4%	116名	5.5%
わからない	1名	2.2%	121名	5.8%
無回答	1名	2.2%	188名	9.0%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	64名	100.0%	3,348名	100.0%
時間がない	23名	35.9%	1,257名	37.5%
おなかがすいていない	25名	39.1%	1,280名	38.2%
用意されていない	3名	4.7%	94名	2.8%
食べる習慣がない	5名	7.8%	298名	8.9%
わからない	2名	3.1%	212名	6.3%
無回答	6名	9.4%	207名	6.2%



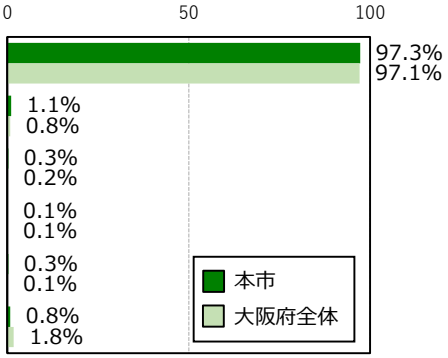
ふだんの生活のことについて

問５（１）夕食の頻度

全体は、「毎日またはほとんど毎日」が97.3%で最も多く、次いで「週に４～５回」が1.1%となっている。
小学生は、「毎日またはほとんど毎日」が98.0%で最も多くなっている。
中学生は、「毎日またはほとんど毎日」が96.3%で最も多く、次いで「週に４～５回」が1.6%となっている。

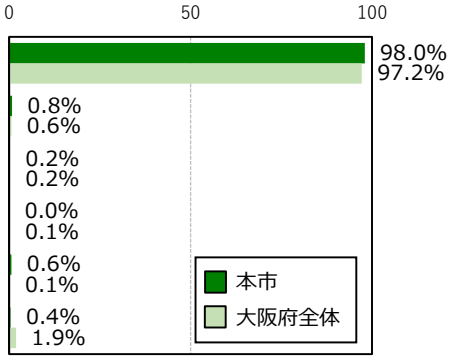
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	853名	97.3%	42,110名	97.1%
週に４～５回	10名	1.1%	327名	0.8%
週に２～３回	3名	0.3%	100名	0.2%
週に１回程度	1名	0.1%	31名	0.1%
食べない	3名	0.3%	32名	0.1%
無回答	7名	0.8%	770名	1.8%



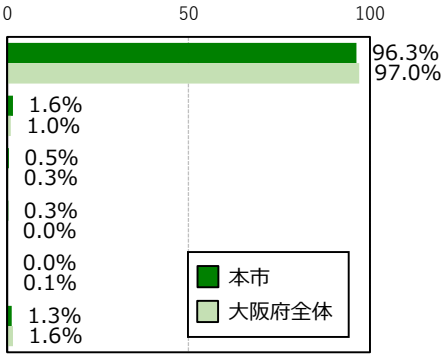
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	487名	98.0%	22,637名	97.2%
週に４～５回	4名	0.8%	132名	0.6%
週に２～３回	1名	0.2%	39名	0.2%
週に１回程度	－	－	23名	0.1%
食べない	3名	0.6%	16名	0.1%
無回答	2名	0.4%	442名	1.9%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	366名	96.3%	19,393名	97.0%
週に４～５回	6名	1.6%	195名	1.0%
週に２～３回	2名	0.5%	60名	0.3%
週に１回程度	1名	0.3%	8名	0.0%
食べない	－	－	16名	0.1%
無回答	5名	1.3%	318名	1.6%



ふだんの生活のことについて

問５（２）夕食を食べない理由

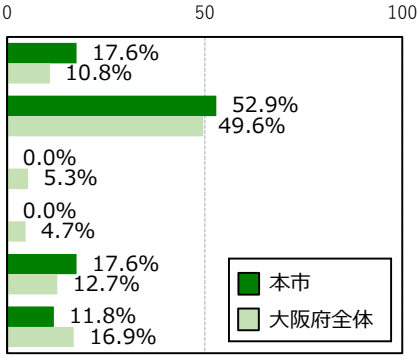
全体は、「おなかがすいていない」が52.9％で最も多く、次いで「時間がない」が17.6％となっている。

小学生は、「おなかがすいていない」が37.5％で最も多く、次いで「時間がない」が25.0％となっている。

中学生は、「おなかがすいていない」が66.7％で最も多く、次いで「時間がない」が11.1％となっている。

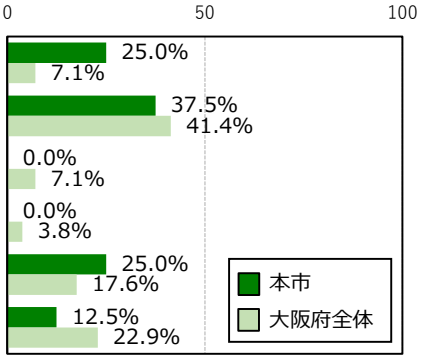
【全体】

	本市		大阪府全体	
	17名	100.0%	490名	100.0%
時間がない	3名	17.6%	53名	10.8%
おなかがすいていない	9名	52.9%	243名	49.6%
用意されていない	－	－	26名	5.3%
食べる習慣がない	－	－	23名	4.7%
わからない	3名	17.6%	62名	12.7%
無回答	2名	11.8%	83名	16.9%



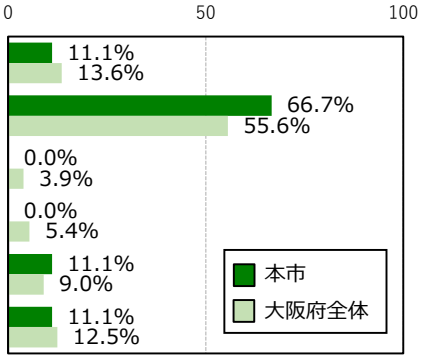
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	8名	100.0%	210名	100.0%
時間がない	2名	25.0%	15名	7.1%
おなかがすいていない	3名	37.5%	87名	41.4%
用意されていない	－	－	15名	7.1%
食べる習慣がない	－	－	8名	3.8%
わからない	2名	25.0%	37名	17.6%
無回答	1名	12.5%	48名	22.9%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	9名	100.0%	279名	100.0%
時間がない	1名	11.1%	38名	13.6%
おなかがすいていない	6名	66.7%	155名	55.6%
用意されていない	－	－	11名	3.9%
食べる習慣がない	－	－	15名	5.4%
わからない	1名	11.1%	25名	9.0%
無回答	1名	11.1%	35名	12.5%



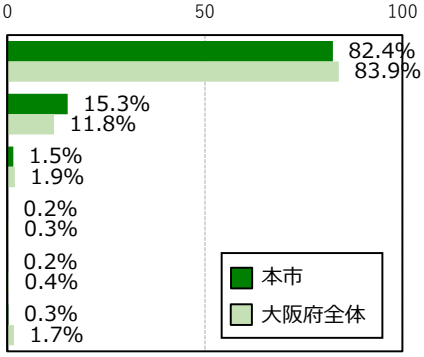
ふだんの生活のことについて

問６（１）休日の昼食の頻度

全体は、「必ず食べる」が82.4%で最も多く、次いで「食べることが多い」が15.3%、「食べないことが多い」が1.5%となっている。
小学生は、「必ず食べる」が85.7%で最も多く、次いで「食べることが多い」が13.5%となっている。
中学生は、「必ず食べる」が78.2%で最も多く、次いで「食べることが多い」が17.6%、「食べないことが多い」が2.4%となっている。

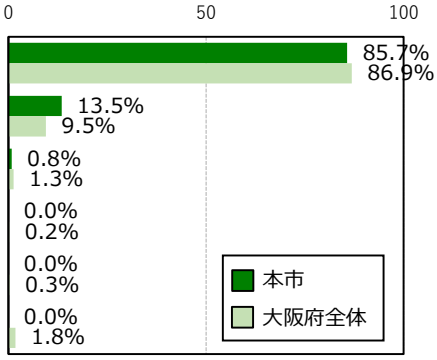
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
必ず食べる	723名	82.4%	36,388名	83.9%
食べることが多い	134名	15.3%	5,118名	11.8%
食べないことが多い	13名	1.5%	830名	1.9%
食べない	2名	0.2%	117名	0.3%
わからない	2名	0.2%	180名	0.4%
無回答	3名	0.3%	737名	1.7%



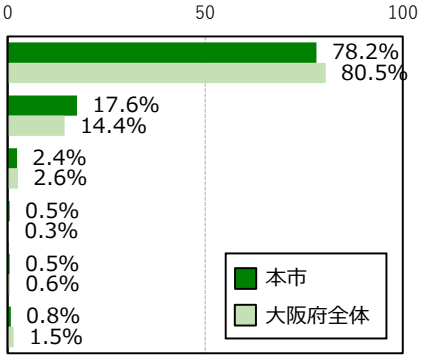
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
必ず食べる	426名	85.7%	20,227名	86.9%
食べることが多い	67名	13.5%	2,221名	9.5%
食べないことが多い	4名	0.8%	306名	1.3%
食べない	－	－	51名	0.2%
わからない	－	－	62名	0.3%
無回答	－	－	422名	1.8%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
必ず食べる	297名	78.2%	16,090名	80.5%
食べることが多い	67名	17.6%	2,886名	14.4%
食べないことが多い	9名	2.4%	524名	2.6%
食べない	2名	0.5%	66名	0.3%
わからない	2名	0.5%	117名	0.6%
無回答	3名	0.8%	307名	1.5%



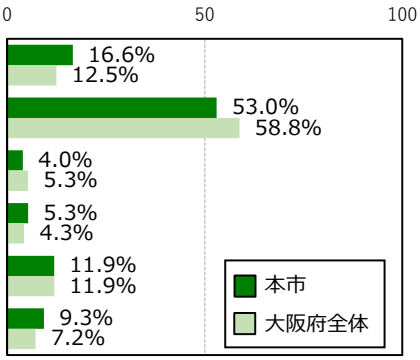
ふだんの生活のことについて

問６（２）休日に昼食を食べない理由

全体は、「おなかがすいていない」が53.0％で最も多く、次いで「時間がない」が16.6％、「食べる習慣がない」が5.3％、「用意されていない」が4.0％となっている。
小学生は、「おなかがすいていない」が49.3％で最も多く、次いで「時間がない」が15.5％、「用意されていない」が5.6％、「食べる習慣がない」が1.4％となっている。
中学生は、「おなかがすいていない」が56.3％で最も多く、次いで「時間がない」が17.5％、「食べる習慣がない」が8.8％、「用意されていない」が2.5％となっている。

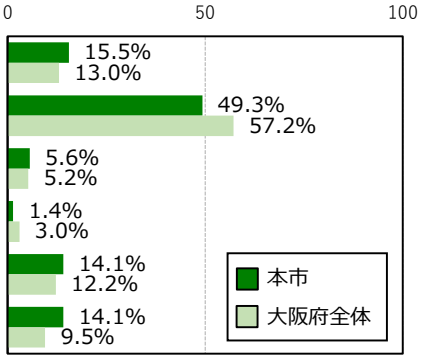
【全体】

	本市		大阪府全体	
	151名	100.0%	6,245名	100.0%
時間がない	25名	16.6%	783名	12.5%
おなかがすいていない	80名	53.0%	3,674名	58.8%
用意されていない	6名	4.0%	328名	5.3%
食べる習慣がない	8名	5.3%	266名	4.3%
わからない	18名	11.9%	744名	11.9%
無回答	14名	9.3%	450名	7.2%



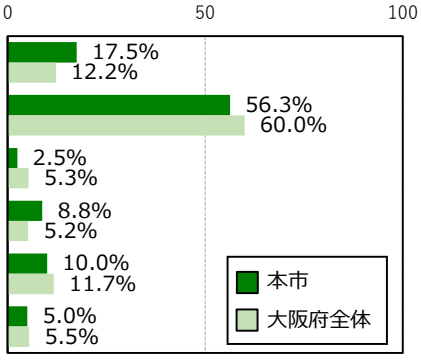
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	71名	100.0%	2,640名	100.0%
時間がない	11名	15.5%	343名	13.0%
おなかがすいていない	35名	49.3%	1,510名	57.2%
用意されていない	4名	5.6%	136名	5.2%
食べる習慣がない	1名	1.4%	78名	3.0%
わからない	10名	14.1%	321名	12.2%
無回答	10名	14.1%	252名	9.5%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	80名	100.0%	3,593名	100.0%
時間がない	14名	17.5%	438名	12.2%
おなかがすいていない	45名	56.3%	2,156名	60.0%
用意されていない	2名	2.5%	192名	5.3%
食べる習慣がない	7名	8.8%	188名	5.2%
わからない	8名	10.0%	422名	11.7%
無回答	4名	5.0%	197名	5.5%



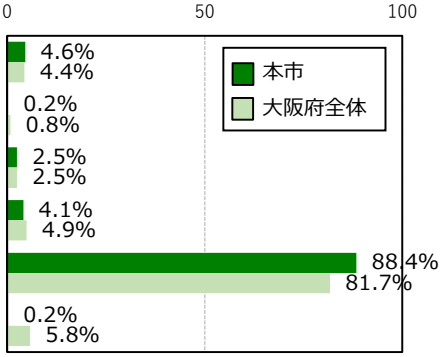
ふだんの生活のことについて

問７　学校への遅刻

全体は、「遅刻はしない」が88.4％で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が4.6％、「週に１回程度」が4.1％、「週に２～３回」が2.5％となっている。
小学生は、「遅刻はしない」が87.3％で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」が5.4％、「週に１回程度」が4.6％、「週に２～３回」が2.2％となっている。
中学生は、「遅刻はしない」が89.7％で最も多く、次いで「毎日またはほとんど毎日」、「週に１回程度」がそれぞれ3.4％、「週に２～３回」が2.9％となっている。

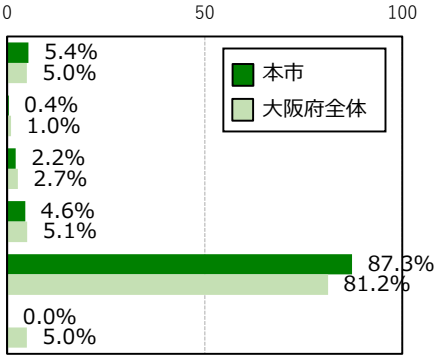
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	40名	4.6%	1,906名	4.4%
週に４～５回	2名	0.2%	333名	0.8%
週に２～３回	22名	2.5%	1,063名	2.5%
週に１回程度	36名	4.1%	2,132名	4.9%
遅刻はしない	775名	88.4%	35,435名	81.7%
無回答	2名	0.2%	2,501名	5.8%



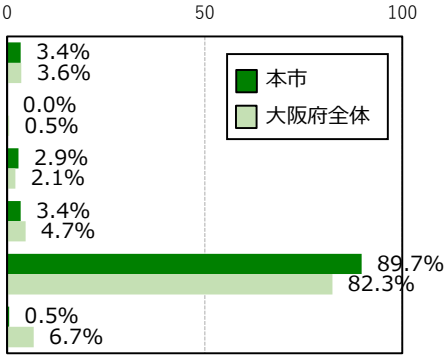
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	27名	5.4%	1,168名	5.0%
週に４～５回	2名	0.4%	223名	1.0%
週に２～３回	11名	2.2%	639名	2.7%
週に１回程度	23名	4.6%	1,194名	5.1%
遅刻はしない	434名	87.3%	18,907名	81.2%
無回答	－	－	1,158名	5.0%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
毎日またはほとんど毎日	13名	3.4%	729名	3.6%
週に４～５回	－	－	109名	0.5%
週に２～３回	11名	2.9%	423名	2.1%
週に１回程度	13名	3.4%	935名	4.7%
遅刻はしない	341名	89.7%	16,459名	82.3%
無回答	2名	0.5%	1,335名	6.7%



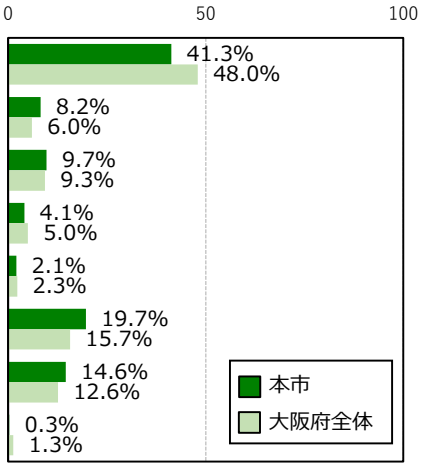
ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　①おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

全体は、「ほとんど毎日」が41.3%で最も多く、次いで「ほとんどない」が19.7%、「まったくない」が14.6%、「週に２～３回」が9.7%となっている。
小学生は、「ほとんど毎日」が47.1%で最も多く、次いで「ほとんどない」が17.9%、「まったくない」が12.3%、「週に２～３回」が10.3%となっている。
中学生は、「ほとんど毎日」が33.7%で最も多く、次いで「ほとんどない」が22.1%、「まったくない」が17.6%、「週に４～５回」、「週に２～３回」がそれぞれ8.9%となっている。

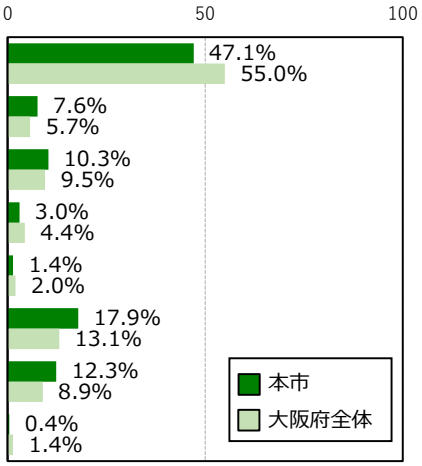
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	362名	41.3%	20,810名	48.0%
週に４～５回	72名	8.2%	2,583名	6.0%
週に２～３回	85名	9.7%	4,012名	9.3%
週に１回程度	36名	4.1%	2,155名	5.0%
月に１～２回	18名	2.1%	995名	2.3%
ほとんどない	173名	19.7%	6,794名	15.7%
まったくない	128名	14.6%	5,475名	12.6%
無回答	3名	0.3%	546名	1.3%



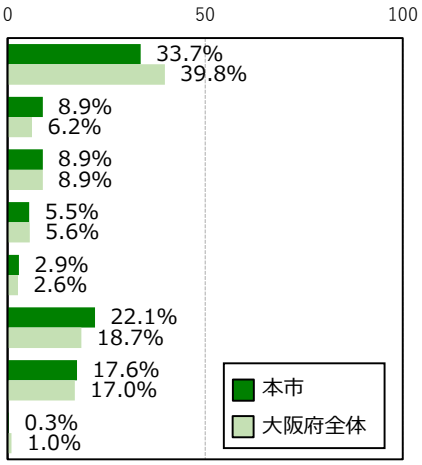
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	234名	47.1%	12,809名	55.0%
週に４～５回	38名	7.6%	1,328名	5.7%
週に２～３回	51名	10.3%	2,222名	9.5%
週に１回程度	15名	3.0%	1,023名	4.4%
月に１～２回	7名	1.4%	469名	2.0%
ほとんどない	89名	17.9%	3,042名	13.1%
まったくない	61名	12.3%	2,065名	8.9%
無回答	2名	0.4%	331名	1.4%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	128名	33.7%	7,962名	39.8%
週に４～５回	34名	8.9%	1,248名	6.2%
週に２～３回	34名	8.9%	1,780名	8.9%
週に１回程度	21名	5.5%	1,128名	5.6%
月に１～２回	11名	2.9%	526名	2.6%
ほとんどない	84名	22.1%	3,737名	18.7%
まったくない	67名	17.6%	3,400名	17.0%
無回答	1名	0.3%	209名	1.0%



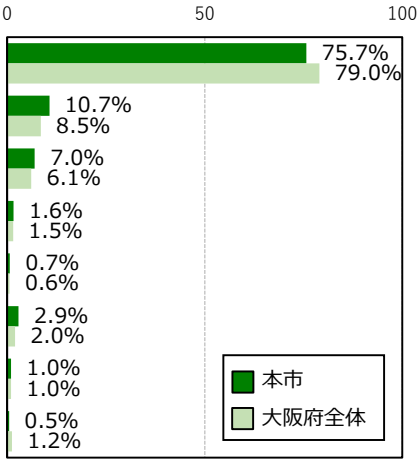
ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　②おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

全体は、「ほとんど毎日」が75.7%で最も多く、次いで「週に４～５回」が10.7%、「週に２～３回」が7.0%、「ほとんどない」が2.9%となっている。
小学生は、「ほとんど毎日」が80.7%で最も多く、次いで「週に４～５回」が8.0%、「週に２～３回」が4.4%、「ほとんどない」が3.0%となっている。
中学生は、「ほとんど毎日」が69.2%で最も多く、次いで「週に４～５回」が14.2%、「週に２～３回」が10.3%、「ほとんどない」が2.6%となっている。

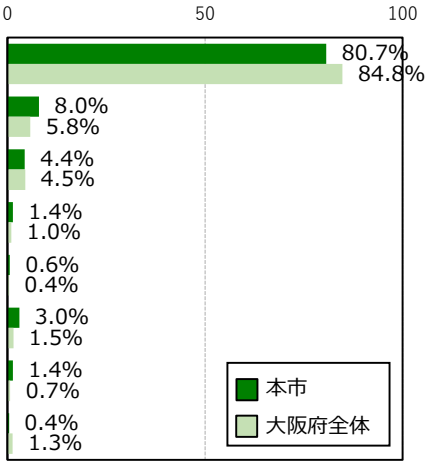
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	664名	75.7%	34,246名	79.0%
週に４～５回	94名	10.7%	3,679名	8.5%
週に２～３回	61名	7.0%	2,667名	6.1%
週に１回程度	14名	1.6%	656名	1.5%
月に１～２回	6名	0.7%	262名	0.6%
ほとんどない	25名	2.9%	889名	2.0%
まったくない	9名	1.0%	455名	1.0%
無回答	4名	0.5%	516名	1.2%



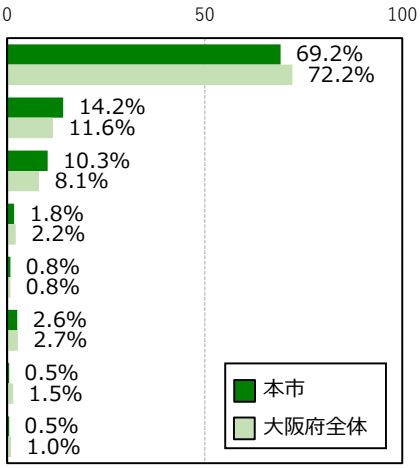
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	401名	80.7%	19,748名	84.8%
週に４～５回	40名	8.0%	1,360名	5.8%
週に２～３回	22名	4.4%	1,048名	4.5%
週に１回程度	7名	1.4%	222名	1.0%
月に１～２回	3名	0.6%	100名	0.4%
ほとんどない	15名	3.0%	349名	1.5%
まったくない	7名	1.4%	154名	0.7%
無回答	2名	0.4%	308名	1.3%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	263名	69.2%	14,429名	72.2%
週に４～５回	54名	14.2%	2,310名	11.6%
週に２～３回	39名	10.3%	1,616名	8.1%
週に１回程度	7名	1.8%	431名	2.2%
月に１～２回	3名	0.8%	162名	0.8%
ほとんどない	10名	2.6%	539名	2.7%
まったくない	2名	0.5%	301名	1.5%
無回答	2名	0.5%	202名	1.0%



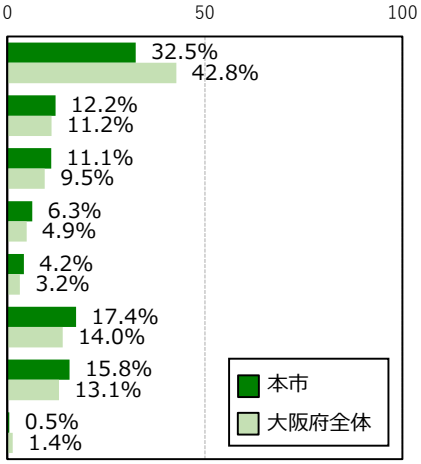
ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　③おうちの大人の人に朝、起こしてもらうか

全体は、「ほとんど毎日」が32.5%で最も多く、次いで「ほとんどない」が17.4%、「まったくない」が15.8%、「週に４～５回」が12.2%となっている。
小学生は、「ほとんど毎日」が36.0%で最も多く、次いで「ほとんどない」が16.5%、「まったくない」が15.9%、「週に４～５回」が11.5%となっている。
中学生は、「ほとんど毎日」が27.9%で最も多く、次いで「ほとんどない」が18.7%、「まったくない」が15.8%、「週に４～５回」が13.2%となっている。

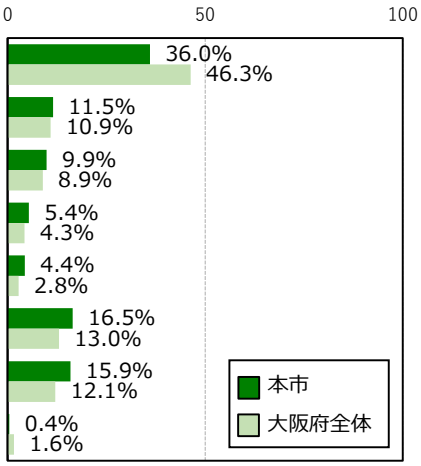
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	285名	32.5%	18,563名	42.8%
週に４～５回	107名	12.2%	4,840名	11.2%
週に２～３回	97名	11.1%	4,123名	9.5%
週に１回程度	55名	6.3%	2,130名	4.9%
月に１～２回	37名	4.2%	1,371名	3.2%
ほとんどない	153名	17.4%	6,057名	14.0%
まったくない	139名	15.8%	5,677名	13.1%
無回答	4名	0.5%	609名	1.4%



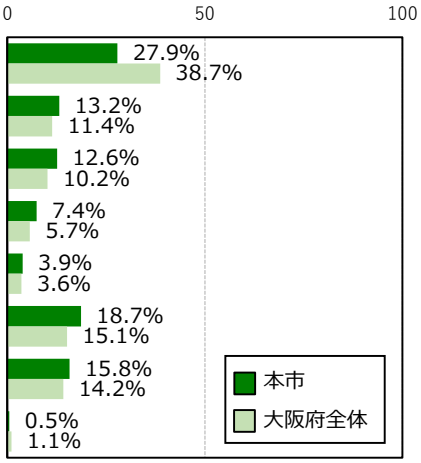
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	179名	36.0%	10,794名	46.3%
週に４～５回	57名	11.5%	2,544名	10.9%
週に２～３回	49名	9.9%	2,074名	8.9%
週に１回程度	27名	5.4%	992名	4.3%
月に１～２回	22名	4.4%	656名	2.8%
ほとんどない	82名	16.5%	3,036名	13.0%
まったくない	79名	15.9%	2,819名	12.1%
無回答	2名	0.4%	374名	1.6%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	106名	27.9%	7,736名	38.7%
週に４～５回	50名	13.2%	2,285名	11.4%
週に２～３回	48名	12.6%	2,040名	10.2%
週に１回程度	28名	7.4%	1,137名	5.7%
月に１～２回	15名	3.9%	711名	3.6%
ほとんどない	71名	18.7%	3,009名	15.1%
まったくない	60名	15.8%	2,843名	14.2%
無回答	2名	0.5%	229名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　④おうちの手伝いをしているか

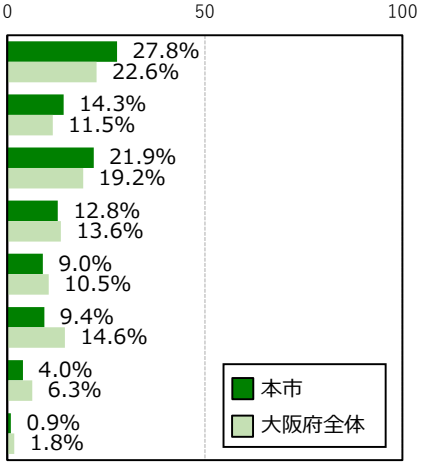
全体は、「ほとんど毎日」が27.8％で最も多く、次いで「週に２～３回」が21.9％、「週に４～５回」が14.3％、「週に１回程度」が12.8％となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が31.4％で最も多く、次いで「週に２～３回」が22.7％、「週に４～５回」が13.5％、「週に１回程度」が11.7％となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が23.2％で最も多く、次いで「週に２～３回」が20.8％、「週に４～５回」が15.3％、「週に１回程度」が14.2％となっている。

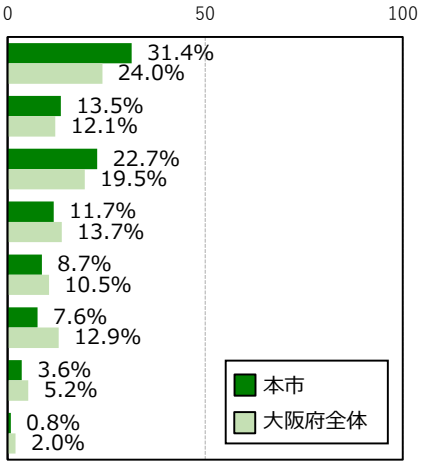
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	244名	27.8%	9,795名	22.6%
週に４～５回	125名	14.3%	5,006名	11.5%
週に２～３回	192名	21.9%	8,307名	19.2%
週に１回程度	112名	12.8%	5,879名	13.6%
月に１～２回	79名	9.0%	4,561名	10.5%
ほとんどない	82名	9.4%	6,329名	14.6%
まったくない	35名	4.0%	2,722名	6.3%
無回答	8名	0.9%	771名	1.8%



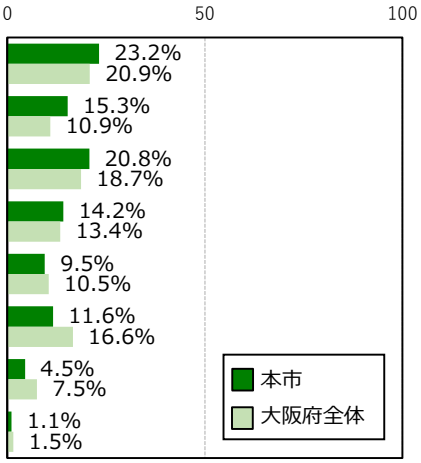
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	156名	31.4%	5,601名	24.0%
週に４～５回	67名	13.5%	2,812名	12.1%
週に２～３回	113名	22.7%	4,552名	19.5%
週に１回程度	58名	11.7%	3,186名	13.7%
月に１～２回	43名	8.7%	2,448名	10.5%
ほとんどない	38名	7.6%	3,000名	12.9%
まったくない	18名	3.6%	1,219名	5.2%
無回答	4名	0.8%	471名	2.0%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	88名	23.2%	4,171名	20.9%
週に４～５回	58名	15.3%	2,187名	10.9%
週に２～３回	79名	20.8%	3,741名	18.7%
週に１回程度	54名	14.2%	2,684名	13.4%
月に１～２回	36名	9.5%	2,103名	10.5%
ほとんどない	44名	11.6%	3,319名	16.6%
まったくない	17名	4.5%	1,494名	7.5%
無回答	4名	1.1%	291名	1.5%



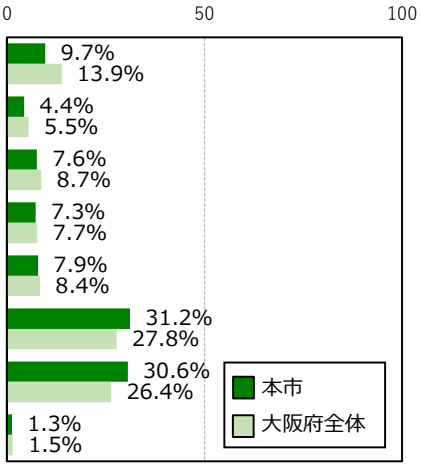
ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑤おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

全体は、「ほとんどない」が31.2%で最も多く、次いで「まったくない」が30.6%、「ほとんど毎日」が9.7%、「月に１～２回」が7.9%となっている。
小学生は、「ほとんどない」が30.6%で最も多く、次いで「まったくない」が19.7%、「ほとんど毎日」が15.1%、「週に２～３回」が9.9%となっている。
中学生は、「まったくない」が44.7%で最も多く、次いで「ほとんどない」が32.1%、「月に１～２回」が7.9%、「週に１回程度」が5.8%となっている。

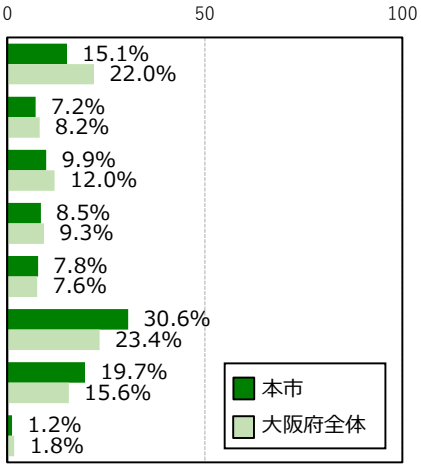
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	85名	9.7%	6,031名	13.9%
週に４～５回	39名	4.4%	2,392名	5.5%
週に２～３回	67名	7.6%	3,792名	8.7%
週に１回程度	64名	7.3%	3,336名	7.7%
月に１～２回	69名	7.9%	3,640名	8.4%
ほとんどない	274名	31.2%	12,077名	27.8%
まったくない	268名	30.6%	11,452名	26.4%
無回答	11名	1.3%	650名	1.5%



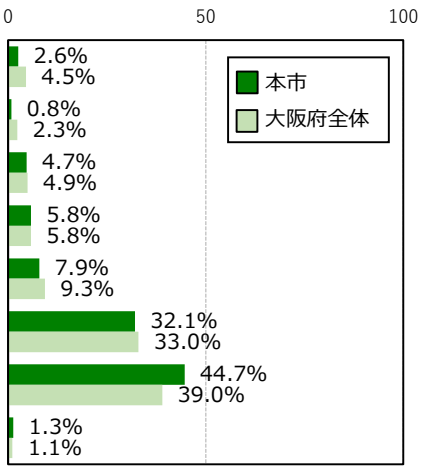
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	75名	15.1%	5,112名	22.0%
週に４～５回	36名	7.2%	1,921名	8.2%
週に２～３回	49名	9.9%	2,804名	12.0%
週に１回程度	42名	8.5%	2,176名	9.3%
月に１～２回	39名	7.8%	1,777名	7.6%
ほとんどない	152名	30.6%	5,454名	23.4%
まったくない	98名	19.7%	3,626名	15.6%
無回答	6名	1.2%	419名	1.8%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	10名	2.6%	905名	4.5%
週に４～５回	3名	0.8%	465名	2.3%
週に２～３回	18名	4.7%	983名	4.9%
週に１回程度	22名	5.8%	1,151名	5.8%
月に１～２回	30名	7.9%	1,857名	9.3%
ほとんどない	122名	32.1%	6,601名	33.0%
まったくない	170名	44.7%	7,803名	39.0%
無回答	5名	1.3%	225名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑥おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

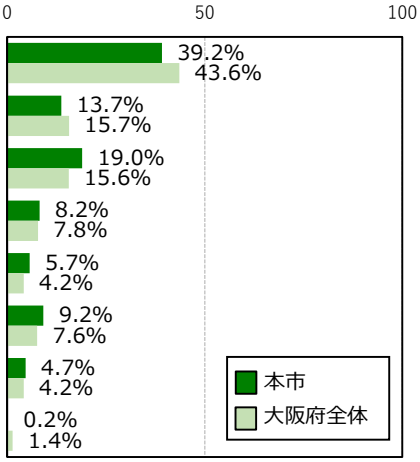
全体は、「ほとんど毎日」が39.2%で最も多く、次いで「週に２～３回」が19.0%、「週に４～５回」が13.7%、「ほとんどない」が9.2%となっている。

小学生は、「ほとんど毎日」が43.9%で最も多く、次いで「週に２～３回」が16.1%、「週に４～５回」が12.9%、「ほとんどない」が8.9%となっている。

中学生は、「ほとんど毎日」が33.2%で最も多く、次いで「週に２～３回」が22.9%、「週に４～５回」が14.7%、「ほとんどない」が9.7%となっている。

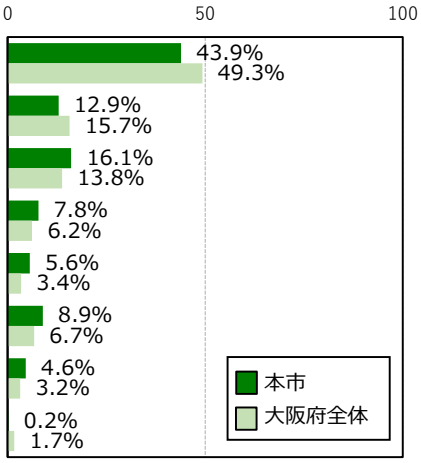
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	344名	39.2%	18,891名	43.6%
週に４～５回	120名	13.7%	6,809名	15.7%
週に２～３回	167名	19.0%	6,773名	15.6%
週に１回程度	72名	8.2%	3,386名	7.8%
月に１～２回	50名	5.7%	1,801名	4.2%
ほとんどない	81名	9.2%	3,283名	7.6%
まったくない	41名	4.7%	1,802名	4.2%
無回答	2名	0.2%	625名	1.4%



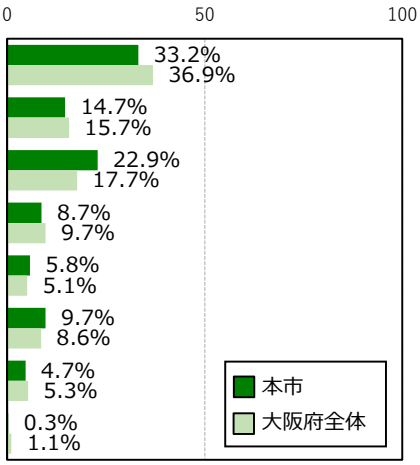
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	218名	43.9%	11,483名	49.3%
週に４～５回	64名	12.9%	3,660名	15.7%
週に２～３回	80名	16.1%	3,225名	13.8%
週に１回程度	39名	7.8%	1,447名	6.2%
月に１～２回	28名	5.6%	783名	3.4%
ほとんどない	44名	8.9%	1,558名	6.7%
まったくない	23名	4.6%	739名	3.2%
無回答	1名	0.2%	394名	1.7%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	126名	33.2%	7,374名	36.9%
週に４～５回	56名	14.7%	3,138名	15.7%
週に２～３回	87名	22.9%	3,533名	17.7%
週に１回程度	33名	8.7%	1,933名	9.7%
月に１～２回	22名	5.8%	1,015名	5.1%
ほとんどない	37名	9.7%	1,716名	8.6%
まったくない	18名	4.7%	1,056名	5.3%
無回答	1名	0.3%	225名	1.1%



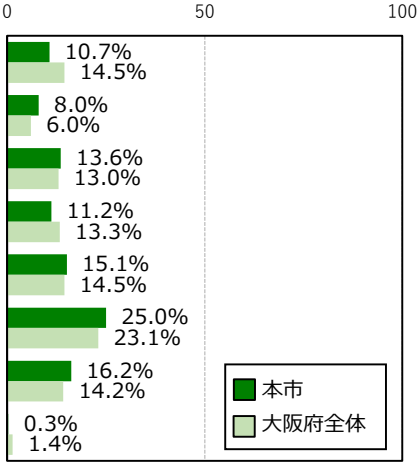
ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑦おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

全体は、「ほとんどない」が25.0%で最も多く、次いで「まったくない」が16.2%、「月に１～２回」が15.1%、「週に２～３回」が13.6%となっている。
小学生は、「ほとんどない」が20.9%で最も多く、次いで「週に２～３回」が15.5%、「ほとんど毎日」が14.5%、「まったくない」が12.7%となっている。
中学生は、「ほとんどない」が30.3%で最も多く、次いで「まったくない」が20.8%、「月に１～２回」が18.4%、「週に２～３回」が11.1%となっている。

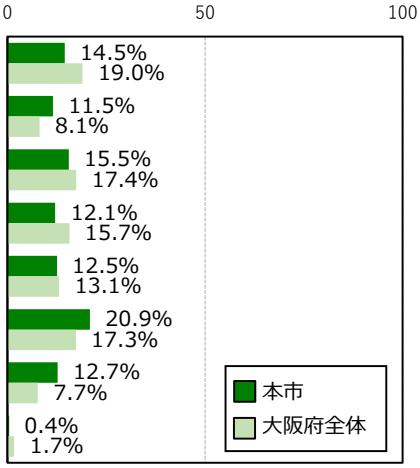
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	94名	10.7%	6,287名	14.5%
週に４～５回	70名	8.0%	2,582名	6.0%
週に２～３回	119名	13.6%	5,629名	13.0%
週に１回程度	98名	11.2%	5,782名	13.3%
月に１～２回	132名	15.1%	6,304名	14.5%
ほとんどない	219名	25.0%	10,004名	23.1%
まったくない	142名	16.2%	6,164名	14.2%
無回答	3名	0.3%	618名	1.4%



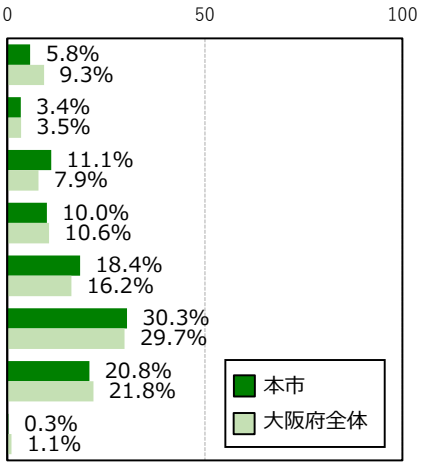
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	72名	14.5%	4,417名	19.0%
週に４～５回	57名	11.5%	1,880名	8.1%
週に２～３回	77名	15.5%	4,047名	17.4%
週に１回程度	60名	12.1%	3,656名	15.7%
月に１～２回	62名	12.5%	3,054名	13.1%
ほとんどない	104名	20.9%	4,038名	17.3%
まったくない	63名	12.7%	1,801名	7.7%
無回答	2名	0.4%	396名	1.7%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	22名	5.8%	1,860名	9.3%
週に４～５回	13名	3.4%	693名	3.5%
週に２～３回	42名	11.1%	1,571名	7.9%
週に１回程度	38名	10.0%	2,114名	10.6%
月に１～２回	70名	18.4%	3,240名	16.2%
ほとんどない	115名	30.3%	5,944名	29.7%
まったくない	79名	20.8%	4,352名	21.8%
無回答	1名	0.3%	216名	1.1%



ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑧おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

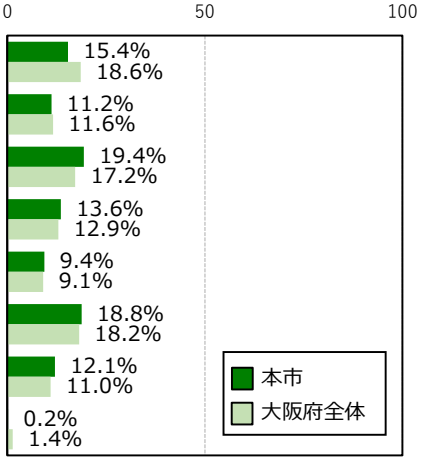
全体は、「週に２～３回」が19.4%で最も多く、次いで「ほとんどない」が18.8%、「ほとんど毎日」が15.4%、「週に１回程度」が13.6%となっている。

小学生は、「ほとんどない」が21.5%で最も多く、次いで「ほとんど毎日」が17.3%、「週に２～３回」が16.1%、「まったくない」が13.7%となっている。

中学生は、「週に２～３回」が23.7%で最も多く、次いで「週に１回程度」が16.6%、「ほとんどない」が15.3%、「ほとんど毎日」が12.9%となっている。

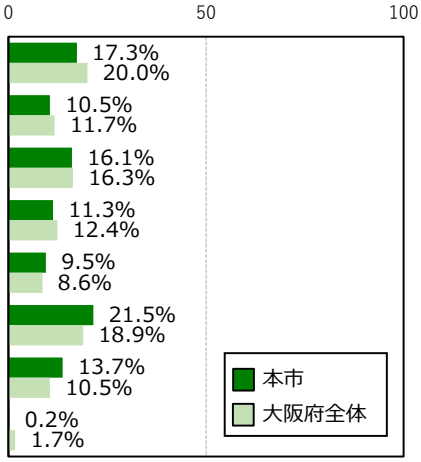
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	135名	15.4%	8,082名	18.6%
週に４～５回	98名	11.2%	5,025名	11.6%
週に２～３回	170名	19.4%	7,450名	17.2%
週に１回程度	119名	13.6%	5,585名	12.9%
月に１～２回	82名	9.4%	3,954名	9.1%
ほとんどない	165名	18.8%	7,892名	18.2%
まったくない	106名	12.1%	4,783名	11.0%
無回答	2名	0.2%	599名	1.4%



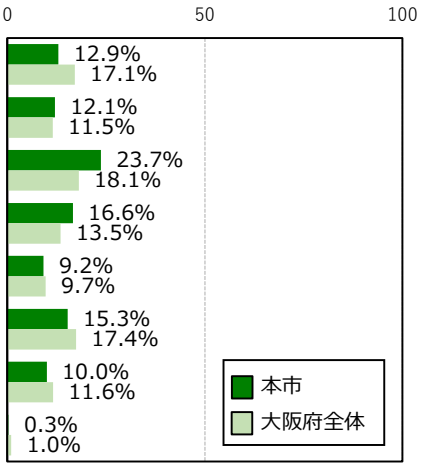
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	86名	17.3%	4,647名	20.0%
週に４～５回	52名	10.5%	2,717名	11.7%
週に２～３回	80名	16.1%	3,804名	16.3%
週に１回程度	56名	11.3%	2,879名	12.4%
月に１～２回	47名	9.5%	2,004名	8.6%
ほとんどない	107名	21.5%	4,397名	18.9%
まったくない	68名	13.7%	2,456名	10.5%
無回答	1名	0.2%	385名	1.7%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	49名	12.9%	3,421名	17.1%
週に４～５回	46名	12.1%	2,299名	11.5%
週に２～３回	90名	23.7%	3,626名	18.1%
週に１回程度	63名	16.6%	2,697名	13.5%
月に１～２回	35名	9.2%	1,940名	9.7%
ほとんどない	58名	15.3%	3,480名	17.4%
まったくない	38名	10.0%	2,319名	11.6%
無回答	1名	0.3%	208名	1.0%



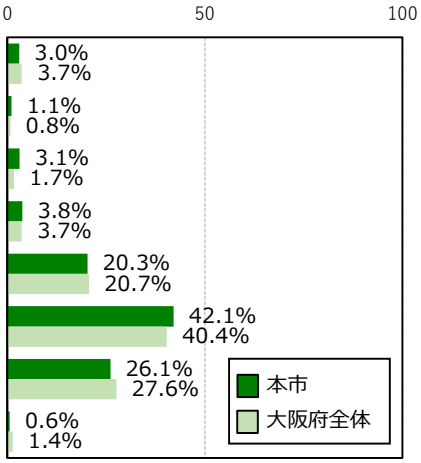
ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑨おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をするか

全体は、「ほとんどない」が42.1％で最も多く、次いで「まったくない」が26.1％、「月に１～２回」が20.3％、「週に１回程度」が3.8％となっている。
小学生は、「ほとんどない」が44.5％で最も多く、次いで「まったくない」が22.9％、「月に１～２回」が19.7％、「週に１回程度」が4.6％となっている。
中学生は、「ほとんどない」が38.9％で最も多く、次いで「まったくない」が30.3％、「月に１～２回」が21.1％、「週に２～３回」が2.9％となっている。

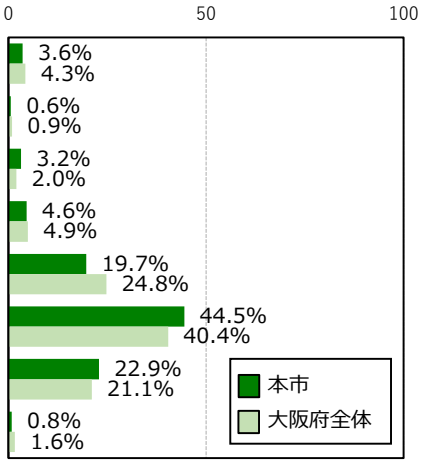
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	26名	3.0%	1,596名	3.7%
週に４～５回	10名	1.1%	344名	0.8%
週に２～３回	27名	3.1%	730名	1.7%
週に１回程度	33名	3.8%	1,609名	3.7%
月に１～２回	178名	20.3%	8,999名	20.7%
ほとんどない	369名	42.1%	17,538名	40.4%
まったくない	229名	26.1%	11,956名	27.6%
無回答	5名	0.6%	598名	1.4%



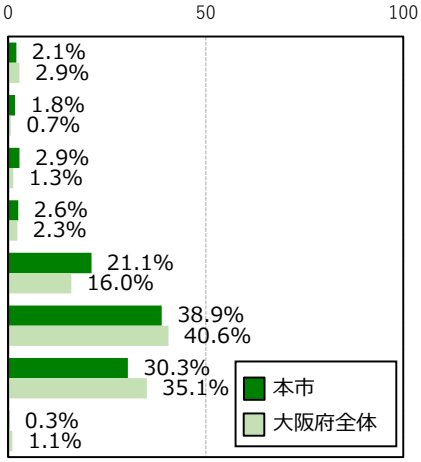
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	18名	3.6%	1,008名	4.3%
週に４～５回	3名	0.6%	204名	0.9%
週に２～３回	16名	3.2%	471名	2.0%
週に１回程度	23名	4.6%	1,140名	4.9%
月に１～２回	98名	19.7%	5,780名	24.8%
ほとんどない	221名	44.5%	9,401名	40.4%
まったくない	114名	22.9%	4,910名	21.1%
無回答	4名	0.8%	375名	1.6%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	8名	2.1%	583名	2.9%
週に４～５回	7名	1.8%	140名	0.7%
週に２～３回	11名	2.9%	257名	1.3%
週に１回程度	10名	2.6%	466名	2.3%
月に１～２回	80名	21.1%	3,195名	16.0%
ほとんどない	148名	38.9%	8,112名	40.6%
まったくない	115名	30.3%	7,020名	35.1%
無回答	1名	0.3%	217名	1.1%



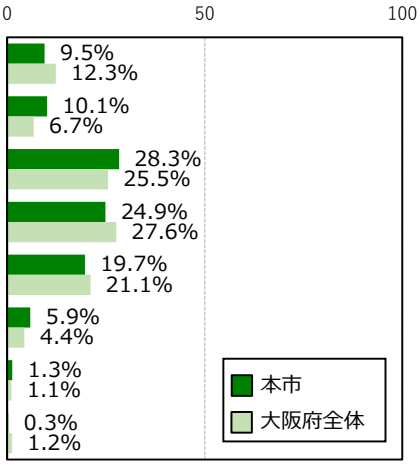
ふだんの生活のことについて

問８　保護者との関係性　⑩おうちの大人の人と一緒に外出するか（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）

全体は、「週に２～３回」が28.3%で最も多く、次いで「週に１回程度」が24.9%、「月に１～２回」が19.7%、「週に４～５回」が10.1%となっている。
小学生は、「週に２～３回」が30.4%で最も多く、次いで「週に１回程度」が19.5%、「月に１～２回」が14.7%、「ほとんど毎日」が14.3%となっている。
中学生は、「週に１回程度」が31.8%で最も多く、次いで「月に１～２回」が26.3%、「週に２～３回」が25.5%、「ほとんどない」が6.8%となっている。

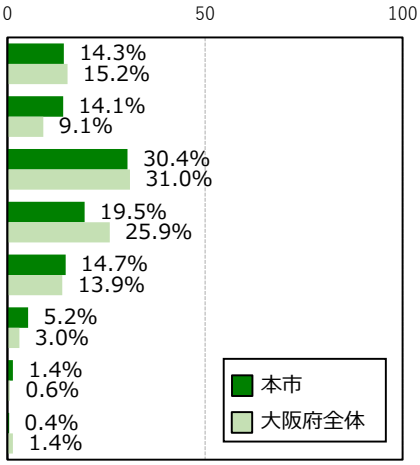
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ほとんど毎日	83名	9.5%	5,338名	12.3%
週に４～５回	89名	10.1%	2,912名	6.7%
週に２～３回	248名	28.3%	11,055名	25.5%
週に１回程度	218名	24.9%	11,977名	27.6%
月に１～２回	173名	19.7%	9,161名	21.1%
ほとんどない	52名	5.9%	1,915名	4.4%
まったくない	11名	1.3%	483名	1.1%
無回答	3名	0.3%	529名	1.2%



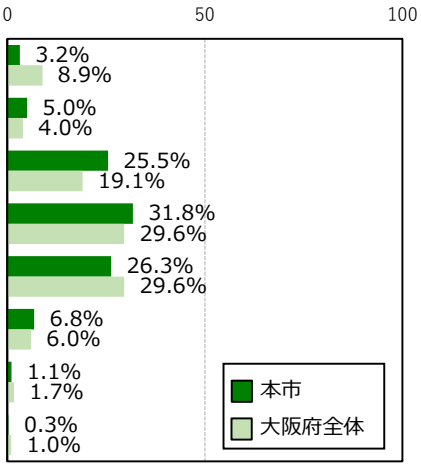
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ほとんど毎日	71名	14.3%	3,536名	15.2%
週に４～５回	70名	14.1%	2,109名	9.1%
週に２～３回	151名	30.4%	7,210名	31.0%
週に１回程度	97名	19.5%	6,032名	25.9%
月に１～２回	73名	14.7%	3,234名	13.9%
ほとんどない	26名	5.2%	705名	3.0%
まったくない	7名	1.4%	142名	0.6%
無回答	2名	0.4%	321名	1.4%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ほとんど毎日	12名	3.2%	1,787名	8.9%
週に４～５回	19名	5.0%	798名	4.0%
週に２～３回	97名	25.5%	3,820名	19.1%
週に１回程度	121名	31.8%	5,925名	29.6%
月に１～２回	100名	26.3%	5,911名	29.6%
ほとんどない	26名	6.8%	1,207名	6.0%
まったくない	4名	1.1%	340名	1.7%
無回答	1名	0.3%	202名	1.0%



ふだんの生活のことについて

問９　毎日の生活で楽しいこと

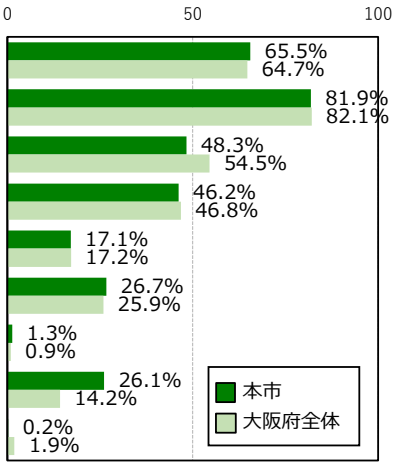
全体は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が81.9％で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が65.5％、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が48.3％、「ひとりで過ごしているとき」が46.2％となっている。

小学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が82.1％で最も多く、次いで「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が76.7％、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が44.7％、「ひとりで過ごしているとき」が39.2％となっている。

中学生は、「ともだちと一緒に過ごしているとき」が81.6％で最も多く、次いで「ひとりで過ごしているとき」が55.3％、「学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき」が53.2％、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が50.8％となっている。

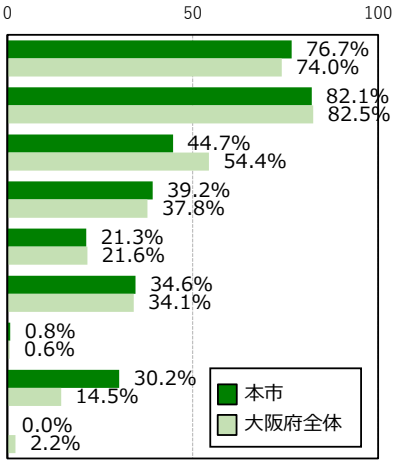
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	574名	65.5%	28,070名	64.7%
ともだちと一緒に過ごしているとき	718名	81.9%	35,599名	82.1%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	424名	48.3%	23,630名	54.5%
ひとりで過ごしているとき	405名	46.2%	20,290名	46.8%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	150名	17.1%	7,469名	17.2%
塾や習いごとで過ごしているとき	234名	26.7%	11,215名	25.9%
特に楽しいと思うときはない	11名	1.3%	407名	0.9%
その他	229名	26.1%	6,162名	14.2%
無回答	2名	0.2%	829名	1.9%



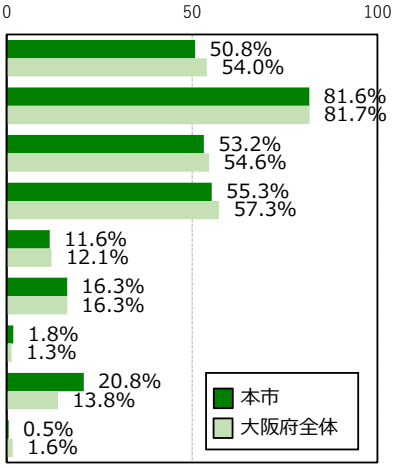
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	381名	76.7%	17,231名	74.0%
ともだちと一緒に過ごしているとき	408名	82.1%	19,212名	82.5%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	222名	44.7%	12,660名	54.4%
ひとりで過ごしているとき	195名	39.2%	8,805名	37.8%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	106名	21.3%	5,032名	21.6%
塾や習いごとで過ごしているとき	172名	34.6%	7,944名	34.1%
特に楽しいと思うときはない	4名	0.8%	143名	0.6%
その他	150名	30.2%	3,380名	14.5%
無回答	－	－	501名	2.2%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
おうちの人と一緒に過ごしているとき	193名	50.8%	10,789名	54.0%
ともだちと一緒に過ごしているとき	310名	81.6%	16,324名	81.7%
学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	202名	53.2%	10,924名	54.6%
ひとりで過ごしているとき	210名	55.3%	11,451名	57.3%
今、住んでいる地域の行事に参加しているとき	44名	11.6%	2,426名	12.1%
塾や習いごとで過ごしているとき	62名	16.3%	3,256名	16.3%
特に楽しいと思うときはない	7名	1.8%	264名	1.3%
その他	79名	20.8%	2,768名	13.8%
無回答	2名	0.5%	319名	1.6%



ふだんの生活のことについて

問10　放課後を一緒に過ごす人

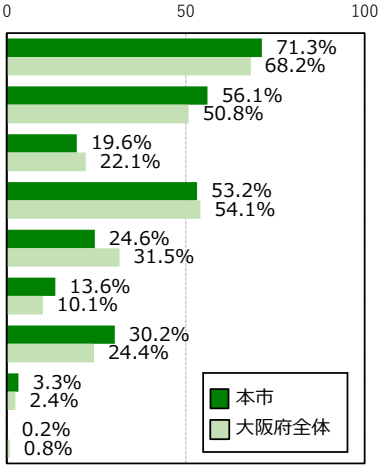
全体は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が71.3%で最も多く、次いで「きょうだい」が56.1%、「学校のともだち」が53.2%、「ひとりでいる」が30.2%となっている。

小学生は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が74.8%で最も多く、次いで「きょうだい」が60.8%、「学校のともだち」が54.7%、「ひとりでいる」が23.7%となっている。

中学生は、「おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）」が66.6%で最も多く、次いで「学校のともだち」が51.3%、「クラブ活動・部活動の仲間」が50.8%、「きょうだい」が50.0%となっている。

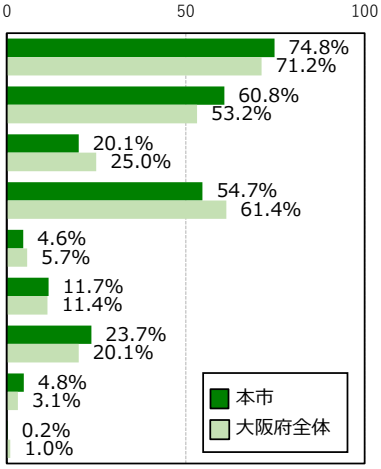
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	625名	71.3%	29,595名	68.2%
きょうだい	492名	56.1%	22,046名	50.8%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	172名	19.6%	9,564名	22.1%
学校のともだち	467名	53.2%	23,476名	54.1%
クラブ活動・部活動の仲間（※1）	216名	24.6%	13,664名	31.5%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	119名	13.6%	4,370名	10.1%
ひとりでいる	265名	30.2%	10,573名	24.4%
その他の人	29名	3.3%	1,050名	2.4%
無回答	2名	0.2%	366名	0.8%



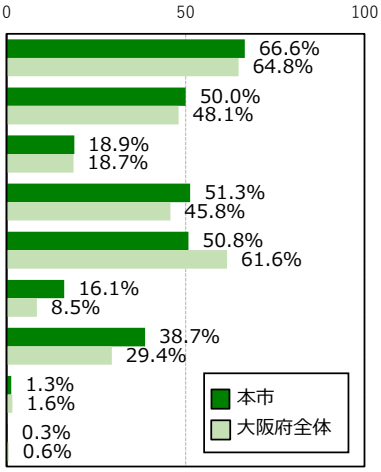
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	372名	74.8%	16,588名	71.2%
きょうだい	302名	60.8%	12,396名	53.2%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	100名	20.1%	5,819名	25.0%
学校のともだち	272名	54.7%	14,289名	61.4%
クラブ活動・部活動の仲間（※1）	23名	4.6%	1,326名	5.7%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	58名	11.7%	2,657名	11.4%
ひとりでいる	118名	23.7%	4,686名	20.1%
その他の人	24名	4.8%	732名	3.1%
無回答	1名	0.2%	243名	1.0%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	253名	66.6%	12,950名	64.8%
きょうだい	190名	50.0%	9,608名	48.1%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	72名	18.9%	3,729名	18.7%
学校のともだち	195名	51.3%	9,146名	45.8%
クラブ活動・部活動の仲間（※1）	193名	50.8%	12,308名	61.6%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	61名	16.1%	1,706名	8.5%
ひとりでいる	147名	38.7%	5,874名	29.4%
その他の人	5名	1.3%	316名	1.6%
無回答	1名	0.3%	118名	0.6%



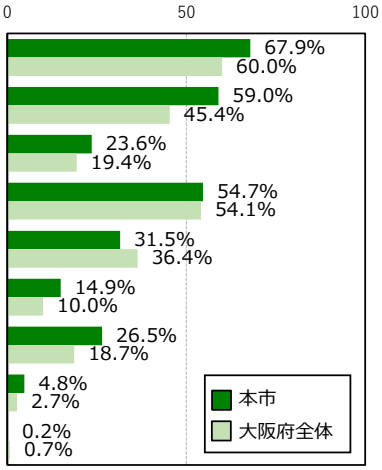
※1　2016年調査では「クラブ活動の仲間」

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、全体は、「クラブ活動・部活動の仲間」（2016年調査では「クラブ活動の仲間」）が6.9ポイント低くなっている。
小学生は、「学校のともだち」が9.0ポイント低くなっている。
中学生は、「ひとりでいる」が10.9ポイント高いが、「クラブ活動・部活動の仲間」が8.9ポイント低くなっている。

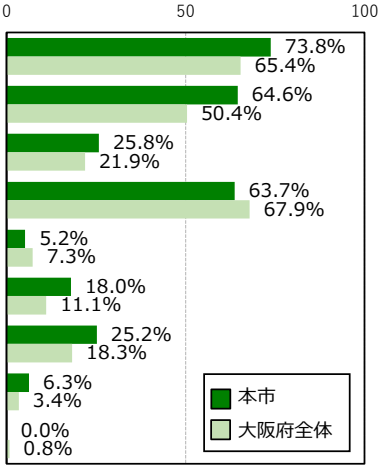
【全体】

	本市		大阪府全体	
	1,012名	100.0%	50,106名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	687名	67.9%	30,087名	60.0%
きょうだい	597名	59.0%	22,725名	45.4%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	239名	23.6%	9,699名	19.4%
学校のともだち	554名	54.7%	27,090名	54.1%
クラブ活動の仲間	319名	31.5%	18,236名	36.4%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	151名	14.9%	5,025名	10.0%
ひとりでいる	268名	26.5%	9,347名	18.7%
その他の人	49名	4.8%	1,367名	2.7%
無回答	2名	0.2%	329名	0.7%



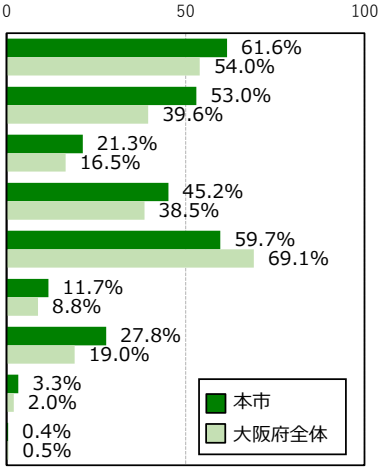
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	523名	100.0%	26,540名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	386名	73.8%	17,359名	65.4%
きょうだい	338名	64.6%	13,384名	50.4%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	135名	25.8%	5,810名	21.9%
学校のともだち	333名	63.7%	18,009名	67.9%
クラブ活動の仲間	27名	5.2%	1,947名	7.3%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	94名	18.0%	2,955名	11.1%
ひとりでいる	132名	25.2%	4,861名	18.3%
その他の人	33名	6.3%	895名	3.4%
無回答	－	－	203名	0.8%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	489名	100.0%	23,558名	100.0%
おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）	301名	61.6%	12,724名	54.0%
きょうだい	259名	53.0%	9,340名	39.6%
おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）	104名	21.3%	3,887名	16.5%
学校のともだち	221名	45.2%	9,081名	38.5%
クラブ活動の仲間	292名	59.7%	16,288名	69.1%
学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	57名	11.7%	2,069名	8.8%
ひとりでいる	136名	27.8%	4,485名	19.0%
その他の人	16名	3.3%	470名	2.0%
無回答	2名	0.4%	124名	0.5%



ふだんの生活のことについて

問11　放課後を過ごす場所

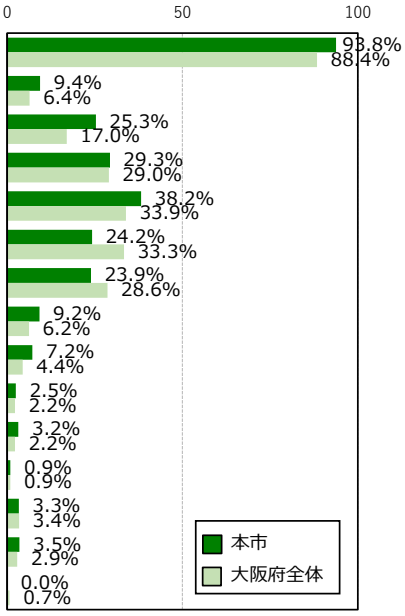
全体は、「自分の家」が93.8%で最も多く、次いで「習いごと」が38.2%、「塾」が29.3%、「ともだちの家」が25.3%となっている。

小学生は、「自分の家」が92.6%で最も多く、次いで「習いごと」が48.7%、「ともだちの家」が31.2%、「公園・広場」が30.0%となっている。

中学生は、「自分の家」が95.5%で最も多く、次いで「学校（クラブ活動・部活動など）」が48.7%、「塾」が43.2%、「習いごと」が24.5%となっている。

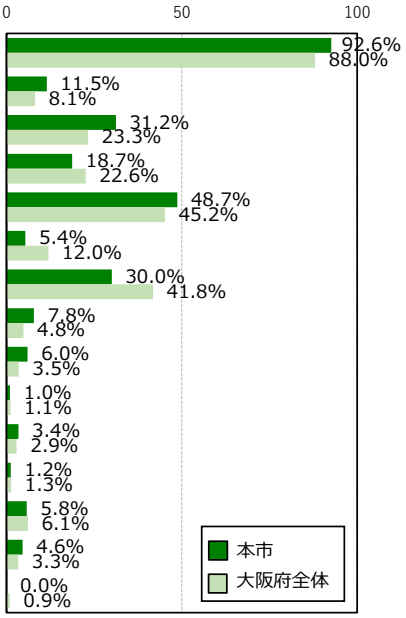
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
自分の家	823名	93.8%	38,352名	88.4%
おばあちゃん・おじいちゃんの家	82名	9.4%	2,771名	6.4%
ともだちの家	222名	25.3%	7,379名	17.0%
塾	257名	29.3%	12,575名	29.0%
習いごと	335名	38.2%	14,696名	33.9%
学校（クラブ活動・部活動など）	212名	24.2%	14,425名	33.3%
公園・広場	210名	23.9%	12,384名	28.6%
スーパーやショッピングモール	81名	9.2%	2,673名	6.2%
コンビニエンスストア	63名	7.2%	1,907名	4.4%
ゲームセンター	22名	2.5%	960名	2.2%
図書館や公民館など公共の施設	28名	3.2%	957名	2.2%
地域の居場所(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところ)	8名	0.9%	385名	0.9%
学童保育	29名	3.3%	1,459名	3.4%
その他	31名	3.5%	1,276名	2.9%
無回答	-	-	320名	0.7%



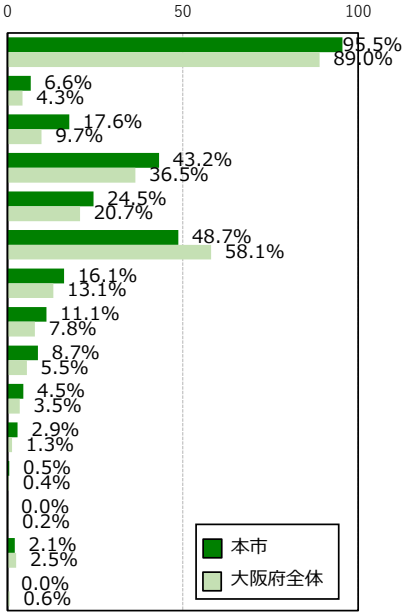
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
自分の家	460名	92.6%	20,484名	88.0%
おばあちゃん・おじいちゃんの家	57名	11.5%	1,898名	8.1%
ともだちの家	155名	31.2%	5,429名	23.3%
塾	93名	18.7%	5,264名	22.6%
習いごと	242名	48.7%	10,520名	45.2%
学校（クラブ活動・部活動など）	27名	5.4%	2,788名	12.0%
公園・広場	149名	30.0%	9,738名	41.8%
スーパーやショッピングモール	39名	7.8%	1,107名	4.8%
コンビニエンスストア	30名	6.0%	813名	3.5%
ゲームセンター	5名	1.0%	263名	1.1%
図書館や公民館など公共の施設	17名	3.4%	687名	2.9%
地域の居場所(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところ)	6名	1.2%	298名	1.3%
学童保育	29名	5.8%	1,419名	6.1%
その他	23名	4.6%	780名	3.3%
無回答	-	-	201名	0.9%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
自分の家	363名	95.5%	17,794名	89.0%
おばあちゃん・おじいちゃんの家	25名	6.6%	868名	4.3%
ともだちの家	67名	17.6%	1,933名	9.7%
塾	164名	43.2%	7,287名	36.5%
習いごと	93名	24.5%	4,147名	20.7%
学校（クラブ活動・部活動など）	185名	48.7%	11,607名	58.1%
公園・広場	61名	16.1%	2,625名	13.1%
スーパーやショッピングモール	42名	11.1%	1,560名	7.8%
コンビニエンスストア	33名	8.7%	1,090名	5.5%
ゲームセンター	17名	4.5%	696名	3.5%
図書館や公民館など公共の施設	11名	2.9%	268名	1.3%
地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところ）	2名	0.5%	86名	0.4%
学童保育	－	－	36名	0.2%
その他	8名	2.1%	494名	2.5%
無回答	－	－	114名	0.6%



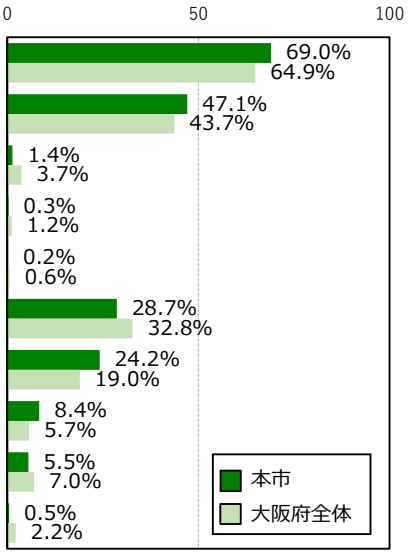
ふだんの生活のことについて

問12　授業以外の勉強状況

全体は、「自分で勉強する」が69.0%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が47.1%、「おうちの人に教えてもらう」が28.7%、「ともだちと勉強する」が24.2%となっている。
小学生は、「自分で勉強する」が68.4%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が37.2%、「おうちの人に教えてもらう」が36.4%、「ともだちと勉強する」が23.1%となっている。
中学生は、「自分で勉強する」が69.7%で最も多く、次いで「塾で勉強する」が60.0%、「ともだちと勉強する」が25.5%、「おうちの人に教えてもらう」が18.7%となっている。

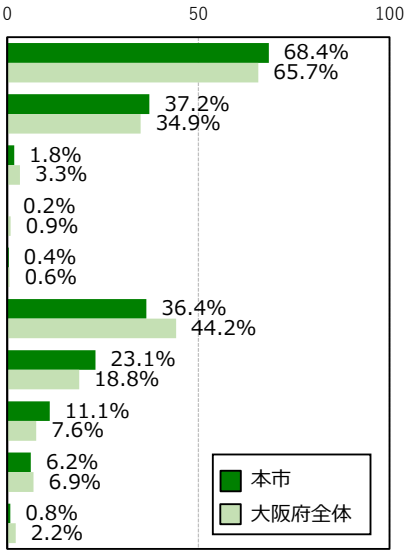
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
自分で勉強する	605名	69.0%	28,136名	64.9%
塾で勉強する	413名	47.1%	18,941名	43.7%
学校の補習を受ける	12名	1.4%	1,587名	3.7%
家庭教師に教えてもらう	3名	0.3%	505名	1.2%
地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	2名	0.2%	264名	0.6%
おうちの人に教えてもらう	252名	28.7%	14,227名	32.8%
ともだちと勉強する	212名	24.2%	8,251名	19.0%
その他	74名	8.4%	2,461名	5.7%
学校の授業以外で勉強はしない	48名	5.5%	3,051名	7.0%
無回答	4名	0.5%	934名	2.2%



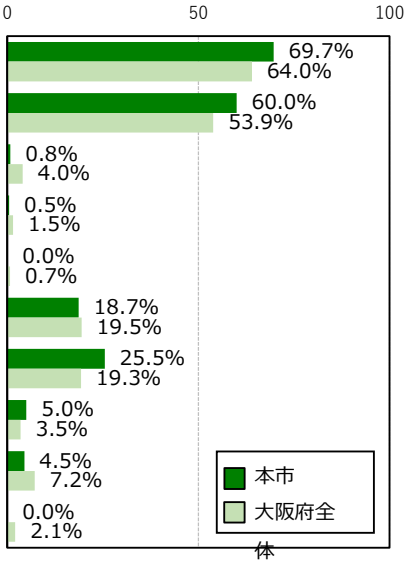
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
自分で勉強する	340名	68.4%	15,292名	65.7%
塾で勉強する	185名	37.2%	8,125名	34.9%
学校の補習を受ける	9名	1.8%	777名	3.3%
家庭教師に教えてもらう	1名	0.2%	203名	0.9%
地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	2名	0.4%	130名	0.6%
おうちの人に教えてもらう	181名	36.4%	10,302名	44.2%
ともだちと勉強する	115名	23.1%	4,381名	18.8%
その他	55名	11.1%	1,759名	7.6%
学校の授業以外で勉強はしない	31名	6.2%	1,601名	6.9%
無回答	4名	0.8%	508名	2.2%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
自分で勉強する	265名	69.7%	12,789名	64.0%
塾で勉強する	228名	60.0%	10,777名	53.9%
学校の補習を受ける	3名	0.8%	805名	4.0%
家庭教師に教えてもらう	2名	0.5%	300名	1.5%
地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	－	－	134名	0.7%
おうちの人に教えてもらう	71名	18.7%	3,895名	19.5%
ともだちと勉強する	97名	25.5%	3,859名	19.3%
その他	19名	5.0%	697名	3.5%
学校の授業以外で勉強はしない	17名	4.5%	1,443名	7.2%
無回答	－	－	421名	2.1%



ふだんの生活のことについて

問13　授業時間以外の１日あたりの勉強時間　①学校がある日（月～金曜日）

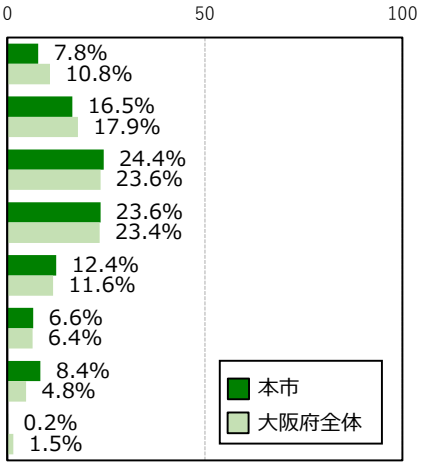
全体は、「30分以上、１時間より少ない」が24.4％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が23.6％、「30分より少ない」が16.5％となっている。

小学生は、「30分以上、１時間より少ない」が27.6％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が20.9％、「30分より少ない」が17.3％となっている。

中学生は、「１時間以上、２時間より少ない」が27.1％で最も多く、次いで「30分以上、１時間より少ない」が20.3％、「２時間以上、３時間より少ない」が18.2％となっている。

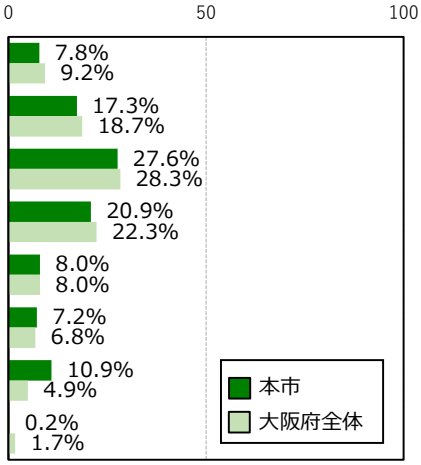
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
まったくしない	68名	7.8%	4,696名	10.8%
30分より少ない	145名	16.5%	7,745名	17.9%
30分以上、１時間より少ない	214名	24.4%	10,239名	23.6%
１時間以上、２時間より少ない	207名	23.6%	10,157名	23.4%
２時間以上、３時間より少ない	109名	12.4%	5,024名	11.6%
３時間以上	58名	6.6%	2,762名	6.4%
わからない	74名	8.4%	2,098名	4.8%
無回答	2名	0.2%	649名	1.5%



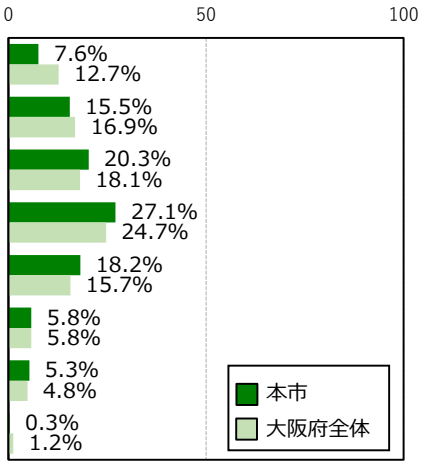
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
まったくしない	39名	7.8%	2,154名	9.2%
30分より少ない	86名	17.3%	4,360名	18.7%
30分以上、１時間より少ない	137名	27.6%	6,598名	28.3%
１時間以上、２時間より少ない	104名	20.9%	5,196名	22.3%
２時間以上、３時間より少ない	40名	8.0%	1,865名	8.0%
３時間以上	36名	7.2%	1,589名	6.8%
わからない	54名	10.9%	1,131名	4.9%
無回答	1名	0.2%	396名	1.7%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
まったくしない	29名	7.6%	2,534名	12.7%
30分より少ない	59名	15.5%	3,373名	16.9%
30分以上、１時間より少ない	77名	20.3%	3,617名	18.1%
１時間以上、２時間より少ない	103名	27.1%	4,943名	24.7%
２時間以上、３時間より少ない	69名	18.2%	3,147名	15.7%
３時間以上	22名	5.8%	1,168名	5.8%
わからない	20名	5.3%	959名	4.8%
無回答	1名	0.3%	249名	1.2%



ふだんの生活のことについて

問13　授業時間以外の１日あたりの勉強時間　②学校がない日（土・日曜日・祝日）

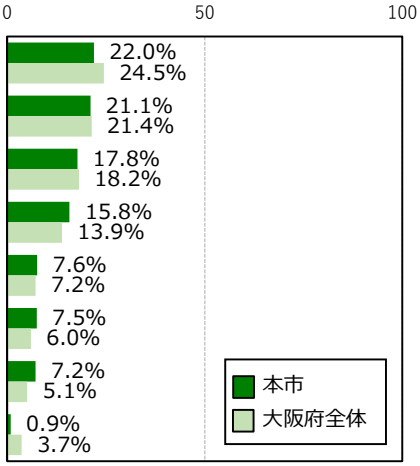
全体は、「まったくしない」が22.0％で最も多く、次いで「30分より少ない」が21.1％、「30分以上、１時間より少ない」が17.8％、「１時間以上、２時間より少ない」が15.8％となっている。

小学生は、「30分より少ない」が25.8％で最も多く、次いで「まったくしない」が21.1％、「30分以上、１時間より少ない」が17.5％、「１時間以上、２時間より少ない」が14.1％となっている。

中学生は、「まったくしない」が23.2％で最も多く、次いで「30分以上、１時間より少ない」、「１時間以上、２時間より少ない」がそれぞれ18.2％、「30分より少ない」が15.0％となっている。

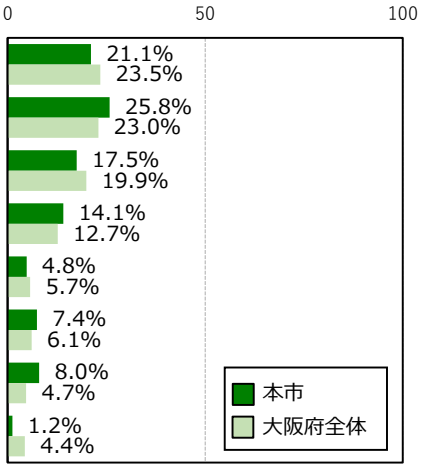
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
まったくしない	193名	22.0%	10,617名	24.5%
30分より少ない	185名	21.1%	9,301名	21.4%
30分以上、１時間より少ない	156名	17.8%	7,881名	18.2%
１時間以上、２時間より少ない	139名	15.8%	6,032名	13.9%
２時間以上、３時間より少ない	67名	7.6%	3,102名	7.2%
３時間以上	66名	7.5%	2,622名	6.0%
わからない	63名	7.2%	2,218名	5.1%
無回答	8名	0.9%	1,597名	3.7%



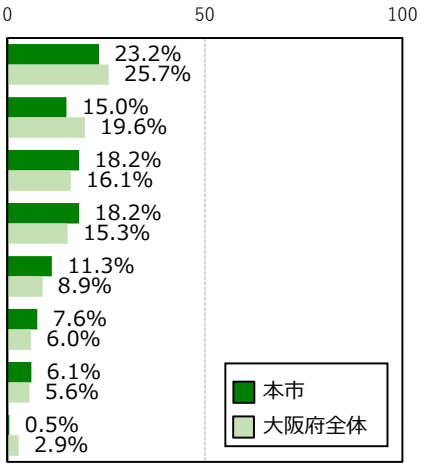
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
まったくしない	105名	21.1%	5,472名	23.5%
30分より少ない	128名	25.8%	5,361名	23.0%
30分以上、１時間より少ない	87名	17.5%	4,646名	19.9%
１時間以上、２時間より少ない	70名	14.1%	2,957名	12.7%
２時間以上、３時間より少ない	24名	4.8%	1,319名	5.7%
３時間以上	37名	7.4%	1,424名	6.1%
わからない	40名	8.0%	1,096名	4.7%
無回答	6名	1.2%	1,014名	4.4%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
まったくしない	88名	23.2%	5,131名	25.7%
30分より少ない	57名	15.0%	3,919名	19.6%
30分以上、１時間より少ない	69名	18.2%	3,226名	16.1%
１時間以上、２時間より少ない	69名	18.2%	3,060名	15.3%
２時間以上、３時間より少ない	43名	11.3%	1,777名	8.9%
３時間以上	29名	7.6%	1,192名	6.0%
わからない	23名	6.1%	1,112名	5.6%
無回答	2名	0.5%	573名	2.9%



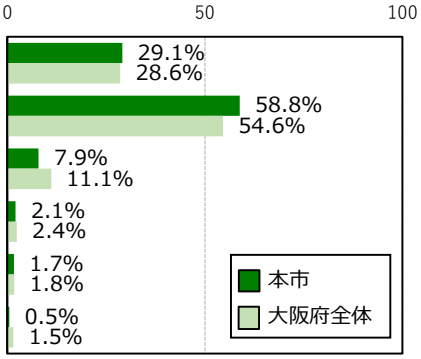
ふだんの生活のことについて

問14（１）学校の勉強で気持ちに近いもの

全体は、「だいたいわかる」が58.8%で最も多く、次いで「よくわかる」が29.1%、「あまりわからない」が7.9%、「ほとんどわからない」が2.1%となっている。
小学生は、「だいたいわかる」が55.7%で最も多く、次いで「よくわかる」が36.6%、「あまりわからない」が5.2%となっている。
中学生は、「だいたいわかる」が62.9%で最も多く、次いで「よくわかる」が19.2%、「あまりわからない」が11.3%、「ほとんどわからない」が3.7%となっている。

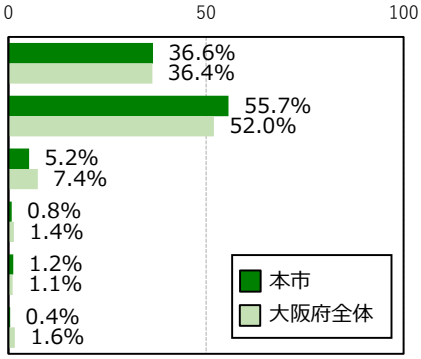
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
よくわかる	255名	29.1%	12,407名	28.6%
だいたいわかる	516名	58.8%	23,680名	54.6%
あまりわからない	69名	7.9%	4,834名	11.1%
ほとんどわからない	18名	2.1%	1,047名	2.4%
わからない	15名	1.7%	762名	1.8%
無回答	4名	0.5%	640名	1.5%



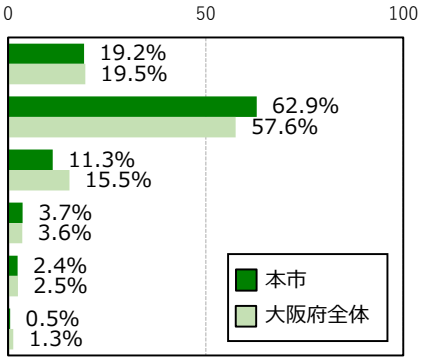
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
よくわかる	182名	36.6%	8,481名	36.4%
だいたいわかる	277名	55.7%	12,116名	52.0%
あまりわからない	26名	5.2%	1,721名	7.4%
ほとんどわからない	4名	0.8%	331名	1.4%
わからない	6名	1.2%	258名	1.1%
無回答	2名	0.4%	382名	1.6%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
よくわかる	73名	19.2%	3,902名	19.5%
だいたいわかる	239名	62.9%	11,516名	57.6%
あまりわからない	43名	11.3%	3,103名	15.5%
ほとんどわからない	14名	3.7%	715名	3.6%
わからない	9名	2.4%	500名	2.5%
無回答	2名	0.5%	254名	1.3%



ふだんの生活のことについて

問14（２）授業がわからなくなった時期

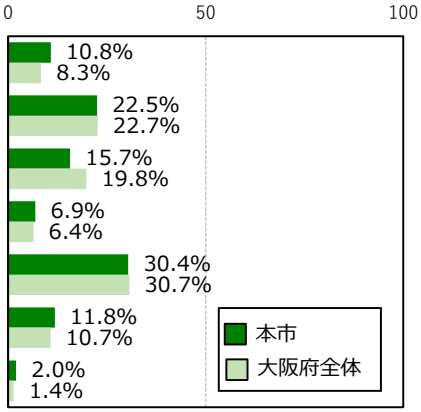
全体は、「中学１年生のころ」が30.4％で最も多く、次いで「小学３・４年生のころ」が22.5％、「小学５年生になってから」が15.7％、「中学２年生になってから」が11.8％となっている。

小学生は、「小学３・４年生のころ」が50.0％で最も多く、次いで「小学５年生になってから」が25.0％、「小学１・２年生のころ」が22.2％となっている。

中学生は、「中学１年生のころ」が47.0％で最も多く、次いで「中学２年生になってから」が18.2％、「小学５年生になってから」、「小学６年生のころ」がそれぞれ10.6％、「小学３・４年生のころ」が7.6％となっている。

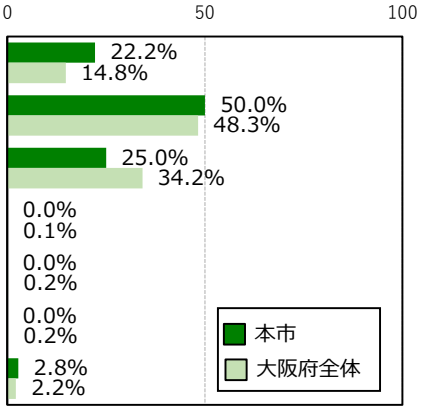
【全体】

	本市		大阪府全体	
	102名	100.0%	6,577名	100.0%
小学１・２年生のころ	11名	10.8%	547名	8.3%
小学３・４年生のころ	23名	22.5%	1,494名	22.7%
小学５年生になってから	16名	15.7%	1,301名	19.8%
小学６年生のころ	7名	6.9%	420名	6.4%
中学１年生のころ	31名	30.4%	2,022名	30.7%
中学２年生になってから	12名	11.8%	701名	10.7%
無回答	2名	2.0%	92名	1.4%



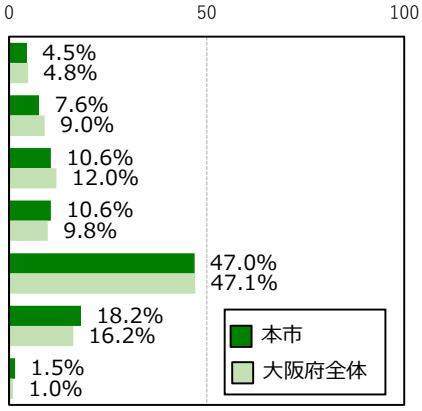
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	36名	100.0%	2,291名	100.0%
小学１・２年生のころ	8名	22.2%	339名	14.8%
小学３・４年生のころ	18名	50.0%	1,106名	48.3%
小学５年生になってから	9名	25.0%	784名	34.2%
小学６年生のころ	－	－	3名	0.1%
中学１年生のころ	－	－	5名	0.2%
中学２年生になってから	－	－	4名	0.2%
無回答	1名	2.8%	50名	2.2%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	66名	100.0%	4,272名	100.0%
小学１・２年生のころ	3名	4.5%	206名	4.8%
小学３・４年生のころ	5名	7.6%	386名	9.0%
小学５年生になってから	7名	10.6%	513名	12.0%
小学６年生のころ	7名	10.6%	417名	9.8%
中学１年生のころ	31名	47.0%	2,014名	47.1%
中学２年生になってから	12名	18.2%	694名	16.2%
無回答	1名	1.5%	42名	1.0%



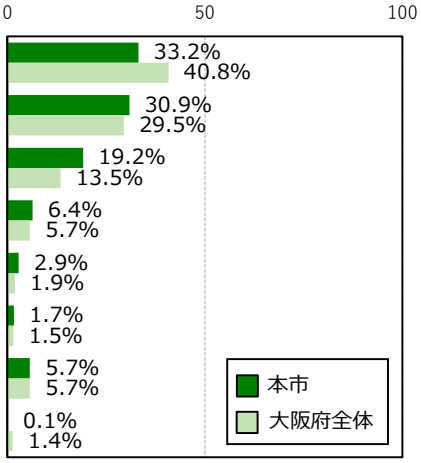
ふだんの生活のことについて

問15　授業以外の読書時間

全体は、「まったくしない」が33.2%で最も多く、次いで「30分より少ない」が30.9%、「30分以上、１時間より少ない」が19.2%、「１時間以上、２時間より少ない」が6.4%となっている。
小学生は、「30分より少ない」が31.0%で最も多く、次いで「まったくしない」が29.2%、「30分以上、１時間より少ない」が20.3%、「１時間以上、２時間より少ない」が6.2%となっている。
中学生は、「まったくしない」が38.4%で最も多く、次いで「30分より少ない」が30.8%、「30分以上、１時間より少ない」が17.6%、「１時間以上、２時間より少ない」が6.6%となっている。

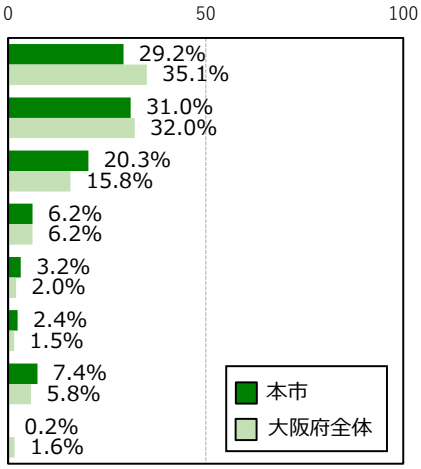
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
まったくしない	291名	33.2%	17,709名	40.8%
30分より少ない	271名	30.9%	12,811名	29.5%
30分以上、１時間より少ない	168名	19.2%	5,864名	13.5%
１時間以上、２時間より少ない	56名	6.4%	2,453名	5.7%
２時間以上、３時間より少ない	25名	2.9%	818名	1.9%
３時間以上	15名	1.7%	631名	1.5%
わからない	50名	5.7%	2,470名	5.7%
無回答	1名	0.1%	614名	1.4%



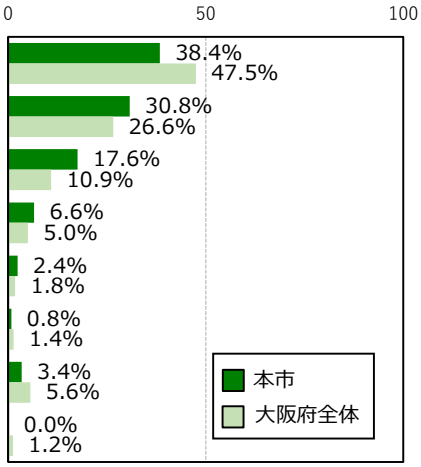
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
まったくしない	145名	29.2%	8,177名	35.1%
30分より少ない	154名	31.0%	7,458名	32.0%
30分以上、１時間より少ない	101名	20.3%	3,685名	15.8%
１時間以上、２時間より少ない	31名	6.2%	1,440名	6.2%
２時間以上、３時間より少ない	16名	3.2%	463名	2.0%
３時間以上	12名	2.4%	354名	1.5%
わからない	37名	7.4%	1,346名	5.8%
無回答	1名	0.2%	366名	1.6%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
まったくしない	146名	38.4%	9,496名	47.5%
30分より少ない	117名	30.8%	5,324名	26.6%
30分以上、１時間より少ない	67名	17.6%	2,169名	10.9%
１時間以上、２時間より少ない	25名	6.6%	1,008名	5.0%
２時間以上、３時間より少ない	9名	2.4%	354名	1.8%
３時間以上	3名	0.8%	277名	1.4%
わからない	13名	3.4%	1,118名	5.6%
無回答	－	－	244名	1.2%



ふだんの生活のことについて

問16　学校や学校の行事等の状況

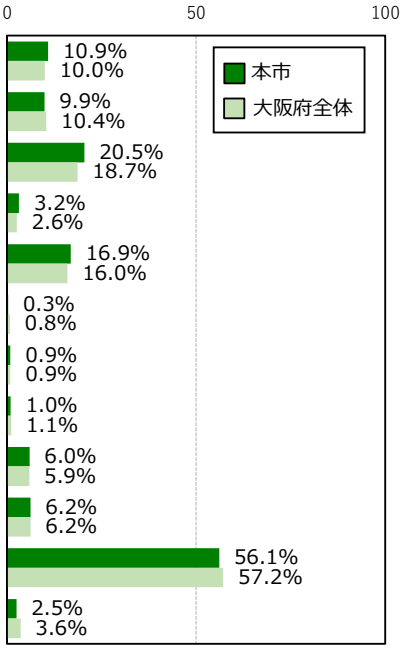
全体は、「持ち物の忘れ物が多い」が20.5%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が16.9%、「授業中に寝てしまうことが多い」が10.9%、「宿題ができていないことが多い」が9.9%となっている。

小学生は、「持ち物の忘れ物が多い」が20.9%で最も多く、次いで「提出物を出すのが遅れることが多い」が13.5%、「宿題ができていないことが多い」が7.0%、「学校ではひとりで過ごすことが多い」が5.8%となっている。

中学生は、「提出物を出すのが遅れることが多い」が21.3%で最も多く、次いで「授業中に寝てしまうことが多い」が20.8%、「持ち物の忘れ物が多い」が20.0%、「宿題ができていないことが多い」が13.7%となっている。

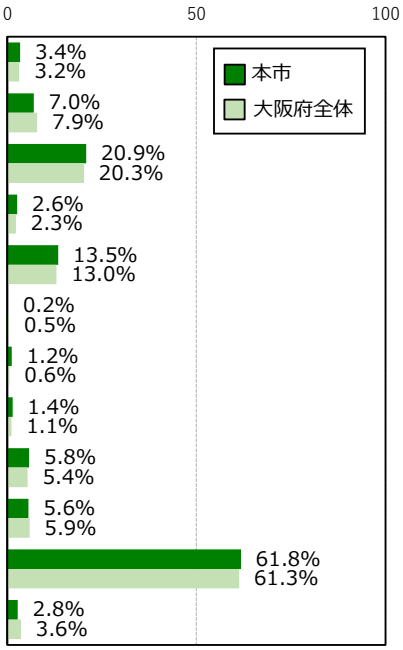
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
授業中に寝てしまうことが多い	96名	10.9%	4,341名	10.0%
宿題ができていないことが多い	87名	9.9%	4,490名	10.4%
持ち物の忘れ物が多い	180名	20.5%	8,102名	18.7%
習いごとを休むことが多い	28名	3.2%	1,140名	2.6%
提出物を出すのが遅れることが多い	148名	16.9%	6,952名	16.0%
修学旅行などの宿泊行事を欠席する	3名	0.3%	332名	0.8%
運動会や遠足などの学校行事を欠席する	8名	0.9%	394名	0.9%
保健室で過ごすことが多い	9名	1.0%	469名	1.1%
学校ではひとりで過ごすことが多い	53名	6.0%	2,548名	5.9%
ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	54名	6.2%	2,699名	6.2%
特にない	492名	56.1%	24,807名	57.2%
無回答	22名	2.5%	1,569名	3.6%



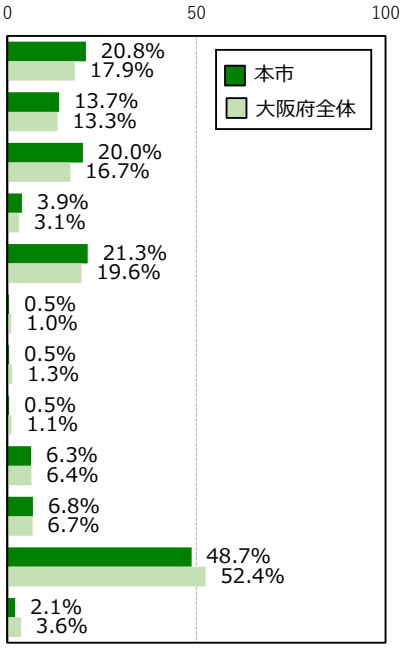
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
授業中に寝てしまうことが多い	17名	3.4%	748名	3.2%
宿題ができていないことが多い	35名	7.0%	1,829名	7.9%
持ち物の忘れ物が多い	104名	20.9%	4,736名	20.3%
習いごとを休むことが多い	13名	2.6%	525名	2.3%
提出物を出すのが遅れることが多い	67名	13.5%	3,020名	13.0%
修学旅行などの宿泊行事を欠席する	1名	0.2%	122名	0.5%
運動会や遠足などの学校行事を欠席する	6名	1.2%	135名	0.6%
保健室で過ごすことが多い	7名	1.4%	255名	1.1%
学校ではひとりで過ごすことが多い	29名	5.8%	1,263名	5.4%
ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	28名	5.6%	1,365名	5.9%
特にない	307名	61.8%	14,283名	61.3%
無回答	14名	2.8%	840名	3.6%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
授業中に寝てしまうことが多い	79名	20.8%	3,581名	17.9%
宿題ができていないことが多い	52名	13.7%	2,650名	13.3%
持ち物の忘れ物が多い	76名	20.0%	3,342名	16.7%
習いごとを休むことが多い	15名	3.9%	612名	3.1%
提出物を出すのが遅れることが多い	81名	21.3%	3,912名	19.6%
修学旅行などの宿泊行事を欠席する	2名	0.5%	208名	1.0%
運動会や遠足などの学校行事を欠席する	2名	0.5%	258名	1.3%
保健室で過ごすことが多い	2名	0.5%	214名	1.1%
学校ではひとりで過ごすことが多い	24名	6.3%	1,281名	6.4%
ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	26名	6.8%	1,331名	6.7%
特にない	185名	48.7%	10,481名	52.4%
無回答	8名	2.1%	721名	3.6%



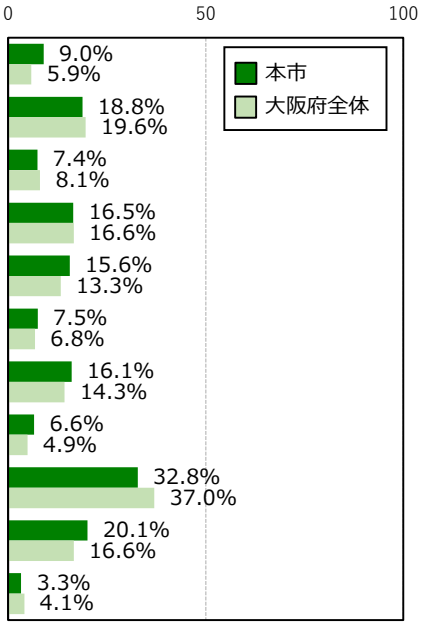
ふだんの生活のことについて

問17　嫌なことや悩んでいること

全体は、「いやなことや悩んでいることはない」が32.8%で最も多く、次いで「学校や勉強のこと」が18.8%、「自分のこと（外見や体型など）」が16.5%となっている。
小学生は、「いやなことや悩んでいることはない」が37.4%で最も多く、次いで「自分のこと（外見や体型など）」、「ともだちのこと」がそれぞれ14.7%、「学校や勉強のこと」が13.9%となっている。
中学生は、「進学・進路のこと」が27.1%で最も多く、次いで「いやなことや悩んでいることはない」が26.8%、「学校や勉強のこと」が25.3%となっている。

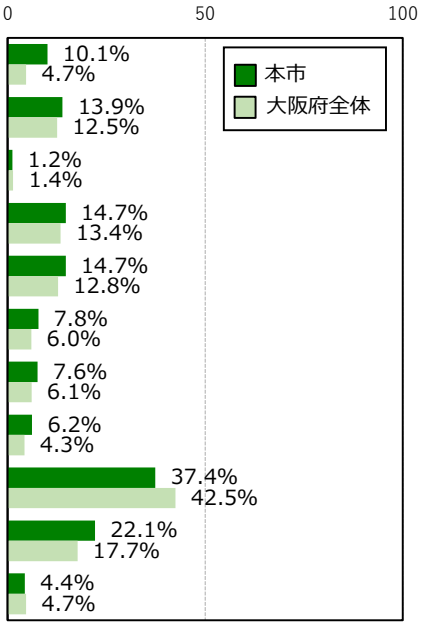
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
おうちのこと	79名	9.0%	2,567名	5.9%
学校や勉強のこと	165名	18.8%	8,499名	19.6%
クラブ活動や部活動のこと	65名	7.4%	3,513名	8.1%
自分のこと（外見や体型など）	145名	16.5%	7,191名	16.6%
ともだちのこと	137名	15.6%	5,755名	13.3%
好きな人のこと	66名	7.5%	2,940名	6.8%
進学・進路のこと	141名	16.1%	6,184名	14.3%
その他のこと	58名	6.6%	2,136名	4.9%
いやなことや悩んでいることはない	288名	32.8%	16,026名	37.0%
わからない	176名	20.1%	7,190名	16.6%
無回答	29名	3.3%	1,769名	4.1%



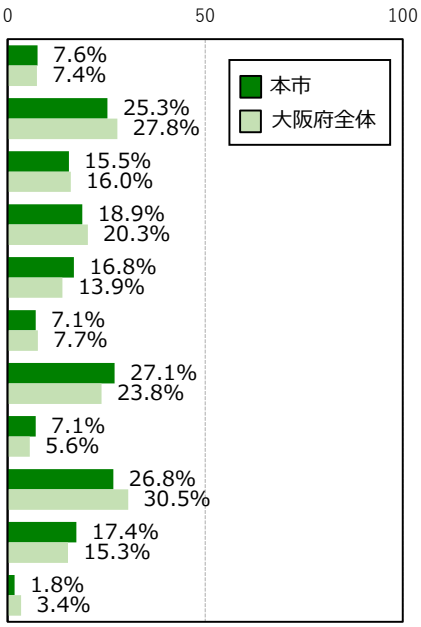
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
おうちのこと	50名	10.1%	1,086名	4.7%
学校や勉強のこと	69名	13.9%	2,922名	12.5%
クラブ活動や部活動のこと	6名	1.2%	318名	1.4%
自分のこと（外見や体型など）	73名	14.7%	3,121名	13.4%
ともだちのこと	73名	14.7%	2,974名	12.8%
好きな人のこと	39名	7.8%	1,394名	6.0%
進学・進路のこと	38名	7.6%	1,429名	6.1%
その他のこと	31名	6.2%	1,009名	4.3%
いやなことや悩んでいることはない	186名	37.4%	9,894名	42.5%
わからない	110名	22.1%	4,127名	17.7%
無回答	22名	4.4%	1,087名	4.7%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
おうちのこと	29名	7.6%	1,477名	7.4%
学校や勉強のこと	96名	25.3%	5,564名	27.8%
クラブ活動や部活動のこと	59名	15.5%	3,190名	16.0%
自分のこと（外見や体型など）	72名	18.9%	4,061名	20.3%
ともだちのこと	64名	16.8%	2,774名	13.9%
好きな人のこと	27名	7.1%	1,544名	7.7%
進学・進路のこと	103名	27.1%	4,748名	23.8%
その他のこと	27名	7.1%	1,120名	5.6%
いやなことや悩んでいることはない	102名	26.8%	6,096名	30.5%
わからない	66名	17.4%	3,051名	15.3%
無回答	7名	1.8%	671名	3.4%



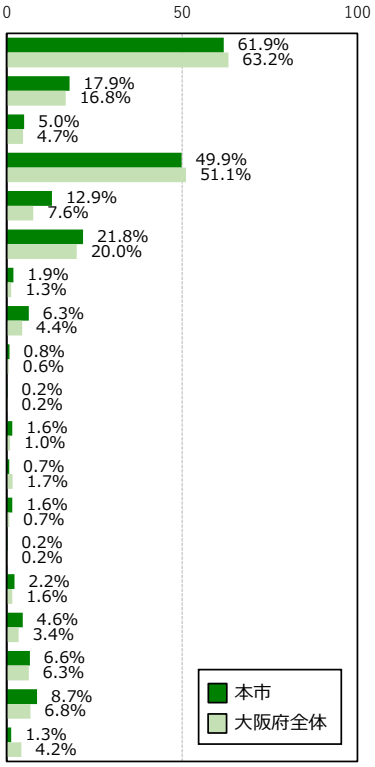
ふだんの生活のことについて

問18　嫌なことや悩んでいるときの相談相手

全体は、「親」が61.9％で最も多く、次いで「学校のともだち」が49.9％、「学校の先生」が21.8％、「きょうだい」が17.9％となっている。
小学生は、「親」が68.0％で最も多く、次いで「学校のともだち」が46.3％、「学校の先生」が23.3％、「きょうだい」が18.7％となっている。
中学生は、「学校のともだち」が54.7％で最も多く、次いで「親」が53.9％、「学校の先生」が19.7％、「きょうだい」が16.8％となっている。

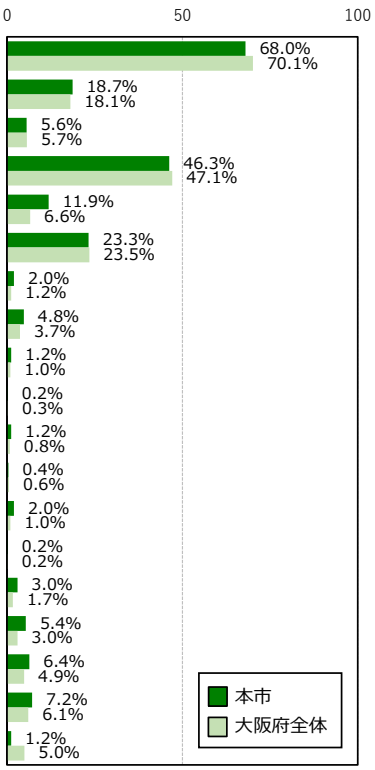
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
親	543名	61.9%	27,389名	63.2%
きょうだい	157名	17.9%	7,294名	16.8%
親せき（※1）	44名	5.0%	2,045名	4.7%
学校のともだち	438名	49.9%	22,150名	51.1%
学校以外のともだち（※2）	113名	12.9%	3,312名	7.6%
学校の先生（※3）	191名	21.8%	8,656名	20.0%
スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー（※4）	17名	1.9%	563名	1.3%
塾や習いごとの先生	55名	6.3%	1,916名	4.4%
学童保育の先生	7名	0.8%	275名	0.6%
子ども専用の電話相談	2名	0.2%	106名	0.2%
ＳＮＳなどのインターネットやＬＩＮＥの相談	14名	1.6%	415名	1.0%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	6名	0.7%	736名	1.7%
近所の人	14名	1.6%	295名	0.7%
地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人）	2名	0.2%	71名	0.2%
その他の人	19名	2.2%	696名	1.6%
だれにも相談できない	40名	4.6%	1,466名	3.4%
だれにも相談したくない	58名	6.6%	2,714名	6.3%
わからない	76名	8.7%	2,956名	6.8%
無回答	11名	1.3%	1,811名	4.2%



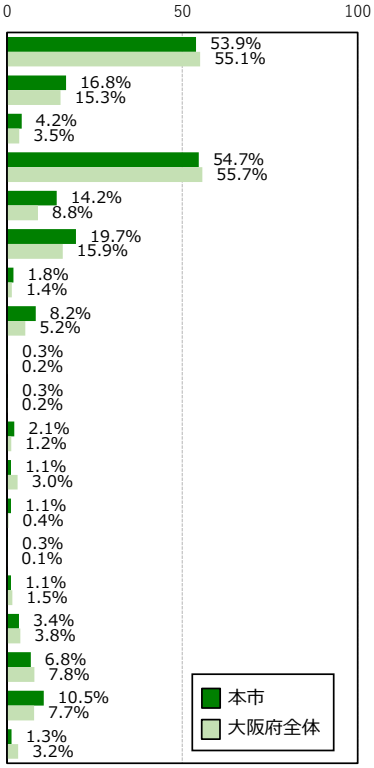
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
親	338名	68.0%	16,319名	70.1%
きょうだい	93名	18.7%	4,220名	18.1%
親せき（※1）	28名	5.6%	1,333名	5.7%
学校のともだち	230名	46.3%	10,971名	47.1%
学校以外のともだち（※2）	59名	11.9%	1,545名	6.6%
学校の先生（※3）	116名	23.3%	5,463名	23.5%
スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー（※4）	10名	2.0%	274名	1.2%
塾や習いごとの先生	24名	4.8%	869名	3.7%
学童保育の先生	6名	1.2%	239名	1.0%
子ども専用の電話相談	1名	0.2%	72名	0.3%
ＳＮＳなどのインターネットやＬＩＮＥの相談	6名	1.2%	184名	0.8%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	2名	0.4%	134名	0.6%
近所の人	10名	2.0%	224名	1.0%
地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人）	1名	0.2%	47名	0.2%
その他の人	15名	3.0%	392名	1.7%
だれにも相談できない	27名	5.4%	704名	3.0%
だれにも相談したくない	32名	6.4%	1,145名	4.9%
わからない	36名	7.2%	1,409名	6.1%
無回答	6名	1.2%	1,155名	5.0%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
親	205名	53.9%	11,019名	55.1%
きょうだい	64名	16.8%	3,063名	15.3%
親せき（※1）	16名	4.2%	705名	3.5%
学校のともだち	208名	54.7%	11,141名	55.7%
学校以外のともだち（※2）	54名	14.2%	1,761名	8.8%
学校の先生（※3）	75名	19.7%	3,177名	15.9%
スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー（※4）	7名	1.8%	286名	1.4%
塾や習いごとの先生	31名	8.2%	1,041名	5.2%
学童保育の先生	1名	0.3%	35名	0.2%
子ども専用の電話相談	1名	0.3%	34名	0.2%
ＳＮＳなどのインターネットやＬＩＮＥの相談	8名	2.1%	230名	1.2%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	4名	1.1%	601名	3.0%
近所の人	4名	1.1%	71名	0.4%
地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人）	1名	0.3%	24名	0.1%
その他の人	4名	1.1%	302名	1.5%
だれにも相談できない	13名	3.4%	760名	3.8%
だれにも相談したくない	26名	6.8%	1,566名	7.8%
わからない	40名	10.5%	1,537名	7.7%
無回答	5名	1.3%	646名	3.2%



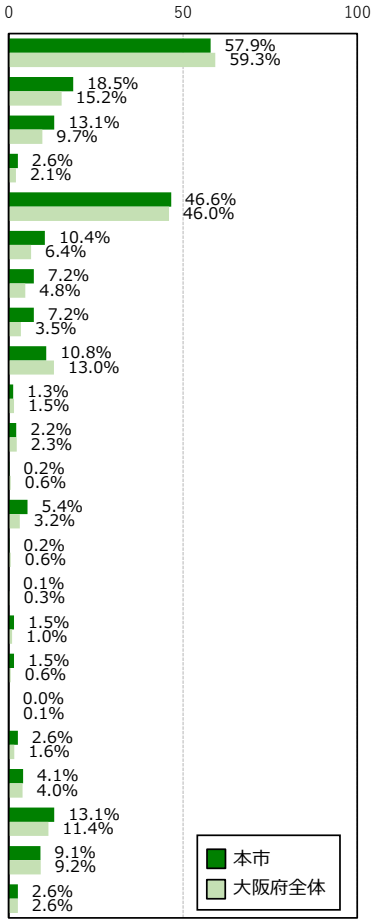
※1　2016年調査では「おじ、おばなど親戚」
※2　2016年調査では「塾や習いごとのともだち」「その他のともだち」
※3　2016年調査では「担任の先生や他のクラスの先生」「保健室の先生」
※4　2016年調査では「スクールカウンセラー」

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、全体は、「学校の先生」（2016年度は「担任の先生や他のクラスの先生」と「保健室の先生」をあわせた割合）が9.7ポイント高いが、「だれにも相談したくない」が6.5ポイント低くなっている。
小学生は、「学校のともだち」が8.4ポイント、「学校の先生」が7.3ポイント、それぞれ高くなっている。
中学生は、「学校の先生」が12.0ポイント高いが、「だれにも相談したくない」が7.1ポイント低くなっている。

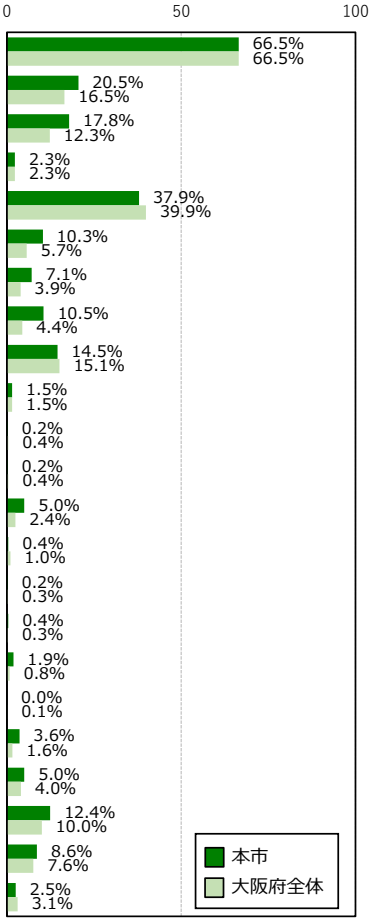
【全体】

	本市		大阪府全体	
	1,012名	100.0%	50,106名	100.0%
親	586名	57.9%	29,719名	59.3%
きょうだい	187名	18.5%	7,619名	15.2%
おばあちゃん・おじいちゃん	133名	13.1%	4,843名	9.7%
おじ、おばなど親戚	26名	2.6%	1,051名	2.1%
学校のともだち	472名	46.6%	23,028名	46.0%
塾や習いごとのともだち	105名	10.4%	3,211名	6.4%
その他のともだち	73名	7.2%	2,401名	4.8%
いとこ	73名	7.2%	1,767名	3.5%
担任の先生や他のクラスの先生	109名	10.8%	6,537名	13.0%
保健室の先生	13名	1.3%	768名	1.5%
クラブ活動の先生	22名	2.2%	1,143名	2.3%
スクールカウンセラー	2名	0.2%	286名	0.6%
塾や習いごとの先生	55名	5.4%	1,580名	3.2%
学童保育の先生	2名	0.2%	298名	0.6%
こども専用の電話相談	1名	0.1%	130名	0.3%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	15名	1.5%	479名	1.0%
近所の人	15名	1.5%	321名	0.6%
地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人）	－	－	35名	0.1%
その他の人	26名	2.6%	800名	1.6%
だれにも相談できない	41名	4.1%	2,025名	4.0%
だれにも相談したくない	133名	13.1%	5,699名	11.4%
わからない	92名	9.1%	4,623名	9.2%
無回答	26名	2.6%	1,300名	2.6%



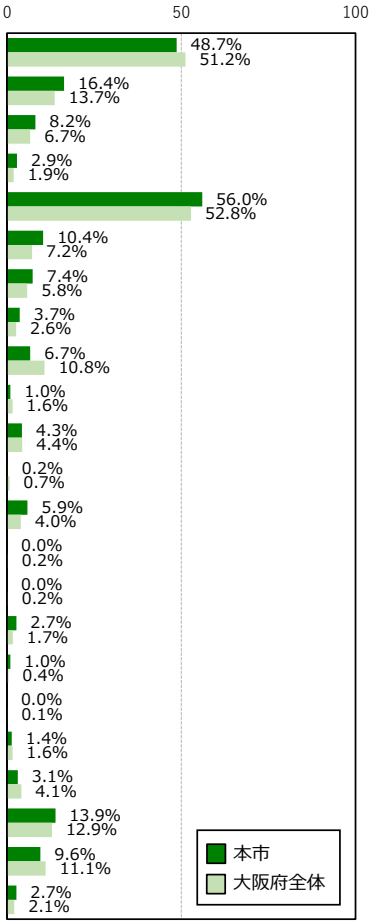
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	523名	100.0%	26,540名	100.0%
親	348名	66.5%	17,649名	66.5%
きょうだい	107名	20.5%	4,384名	16.5%
おばあちゃん・おじいちゃん	93名	17.8%	3,258名	12.3%
おじ、おばなど親戚	12名	2.3%	613名	2.3%
学校のともだち	198名	37.9%	10,593名	39.9%
塾や習いごとのともだち	54名	10.3%	1,523名	5.7%
その他のともだち	37名	7.1%	1,039名	3.9%
いとこ	55名	10.5%	1,156名	4.4%
担任の先生や他のクラスの先生	76名	14.5%	3,997名	15.1%
保健室の先生	8名	1.5%	399名	1.5%
クラブ活動の先生	1名	0.2%	116名	0.4%
スクールカウンセラー	1名	0.2%	116名	0.4%
塾や習いごとの先生	26名	5.0%	628名	2.4%
学童保育の先生	2名	0.4%	253名	1.0%
こども専用の電話相談	1名	0.2%	91名	0.3%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	2名	0.4%	83名	0.3%
近所の人	10名	1.9%	224名	0.8%
地域の支援団体(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人)	－	－	17名	0.1%
その他の人	19名	3.6%	417名	1.6%
だれにも相談できない	26名	5.0%	1,050名	4.0%
だれにも相談したくない	65名	12.4%	2,652名	10.0%
わからない	45名	8.6%	2,015名	7.6%
無回答	13名	2.5%	811名	3.1%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	489名	100.0%	23,558名	100.0%
親	238名	48.7%	12,068名	51.2%
きょうだい	80名	16.4%	3,235名	13.7%
おばあちゃん・おじいちゃん	40名	8.2%	1,584名	6.7%
おじ、おばなど親戚	14名	2.9%	438名	1.9%
学校のともだち	274名	56.0%	12,434名	52.8%
塾や習いごとのともだち	51名	10.4%	1,688名	7.2%
その他のともだち	36名	7.4%	1,362名	5.8%
いとこ	18名	3.7%	611名	2.6%
担任の先生や他のクラスの先生	33名	6.7%	2,540名	10.8%
保健室の先生	5名	1.0%	369名	1.6%
クラブ活動の先生	21名	4.3%	1,027名	4.4%
スクールカウンセラー	1名	0.2%	170名	0.7%
塾や習いごとの先生	29名	5.9%	952名	4.0%
学童保育の先生	－	－	45名	0.2%
こども専用の電話相談	－	－	39名	0.2%
インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人	13名	2.7%	396名	1.7%
近所の人	5名	1.0%	97名	0.4%
地域の支援団体(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人)	－	－	18名	0.1%
その他の人	7名	1.4%	383名	1.6%
だれにも相談できない	15名	3.1%	975名	4.1%
だれにも相談したくない	68名	13.9%	3,047名	12.9%
わからない	47名	9.6%	2,607名	11.1%
無回答	13名	2.7%	485名	2.1%



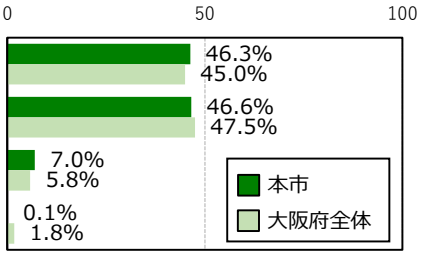
ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある

全体は、「ときどきそうだ」が46.6%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が46.3%、「そんなことはない」が7.0%となっている。
小学生は、「いつもそうだ」が49.7%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が43.5%、「そんなことはない」が6.8%となっている。
中学生は、「ときどきそうだ」が50.8%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が41.8%、「そんなことはない」が7.1%となっている。

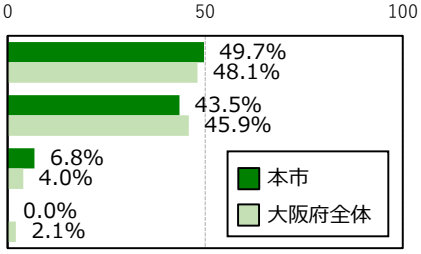
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	406名	46.3%	19,505名	45.0%
ときどきそうだ	409名	46.6%	20,583名	47.5%
そんなことはない	61名	7.0%	2,517名	5.8%
無回答	1名	0.1%	765名	1.8%



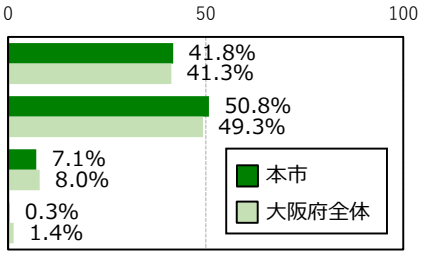
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	247名	49.7%	11,206名	48.1%
ときどきそうだ	216名	43.5%	10,683名	45.9%
そんなことはない	34名	6.8%	922名	4.0%
無回答	－	－	478名	2.1%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	159名	41.8%	8,256名	41.3%
ときどきそうだ	193名	50.8%	9,858名	49.3%
そんなことはない	27名	7.1%	1,595名	8.0%
無回答	1名	0.3%	281名	1.4%



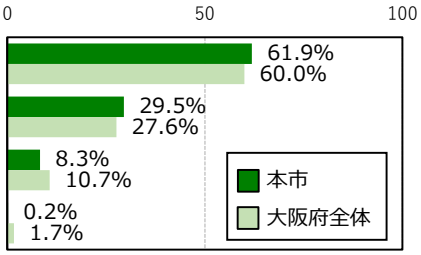
ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ

全体は、「いつもそうだ」が61.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が29.5%、「そんなことはない」が8.3%となっている。
小学生は、「いつもそうだ」が63.4%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が29.4%、「そんなことはない」が7.0%となっている。
中学生は、「いつもそうだ」が60.0%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が29.7%、「そんなことはない」が10.0%となっている。

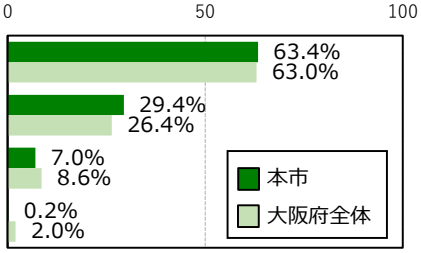
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	543名	61.9%	26,039名	60.0%
ときどきそうだ	259名	29.5%	11,956名	27.6%
そんなことはない	73名	8.3%	4,638名	10.7%
無回答	2名	0.2%	737名	1.7%



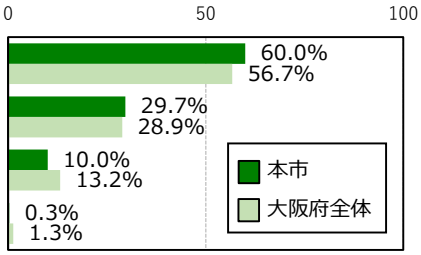
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	315名	63.4%	14,666名	63.0%
ときどきそうだ	146名	29.4%	6,154名	26.4%
そんなことはない	35名	7.0%	1,996名	8.6%
無回答	1名	0.2%	473名	2.0%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	228名	60.0%	11,325名	56.7%
ときどきそうだ	113名	29.7%	5,773名	28.9%
そんなことはない	38名	10.0%	2,634名	13.2%
無回答	1名	0.3%	258名	1.3%



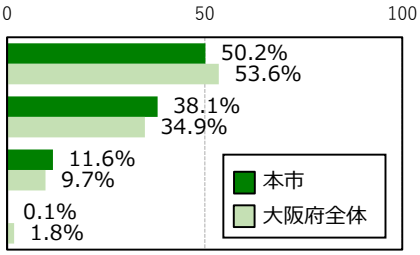
ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ

全体は、「いつもそうだ」が50.2%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が38.1%、「そんなことはない」が11.6%となっている。
小学生は、「いつもそうだ」が59.8%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が32.0%、「そんなことはない」が8.2%となっている。
中学生は、「ときどきそうだ」が46.1%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が37.6%、「そんなことはない」が16.1%となっている。

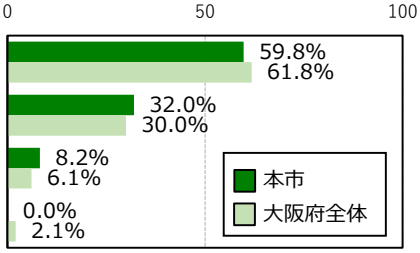
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	440名	50.2%	23,234名	53.6%
ときどきそうだ	334名	38.1%	15,146名	34.9%
そんなことはない	102名	11.6%	4,217名	9.7%
無回答	1名	0.1%	773名	1.8%



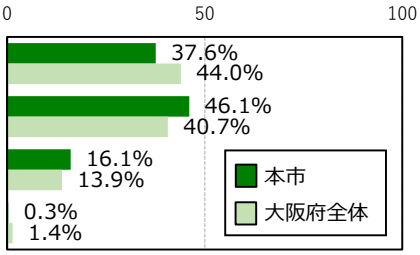
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	297名	59.8%	14,397名	61.8%
ときどきそうだ	159名	32.0%	6,978名	30.0%
そんなことはない	41名	8.2%	1,431名	6.1%
無回答	－	－	483名	2.1%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	143名	37.6%	8,796名	44.0%
ときどきそうだ	175名	46.1%	8,128名	40.7%
そんなことはない	61名	16.1%	2,782名	13.9%
無回答	1名	0.3%	284名	1.4%



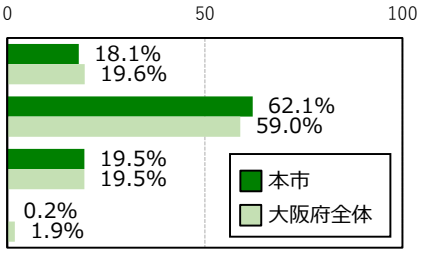
ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる

全体は、「ときどきそうだ」が62.1%で最も多く、次いで「そんなことはない」が19.5%、「いつもそうだ」が18.1%となっている。
小学生は、「ときどきそうだ」が64.4%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が21.3%、「そんなことはない」が14.3%となっている。
中学生は、「ときどきそうだ」が59.2%で最も多く、次いで「そんなことはない」が26.3%、「いつもそうだ」が13.9%となっている。

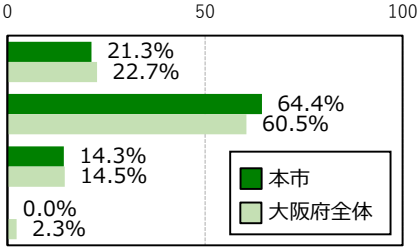
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	159名	18.1%	8,503名	19.6%
ときどきそうだ	545名	62.1%	25,567名	59.0%
そんなことはない	171名	19.5%	8,460名	19.5%
無回答	2名	0.2%	840名	1.9%



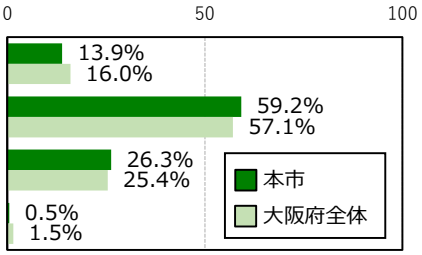
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	106名	21.3%	5,283名	22.7%
ときどきそうだ	320名	64.4%	14,099名	60.5%
そんなことはない	71名	14.3%	3,367名	14.5%
無回答	-	-	540名	2.3%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	53名	13.9%	3,199名	16.0%
ときどきそうだ	225名	59.2%	11,416名	57.1%
そんなことはない	100名	26.3%	5,081名	25.4%
無回答	2名	0.5%	294名	1.5%



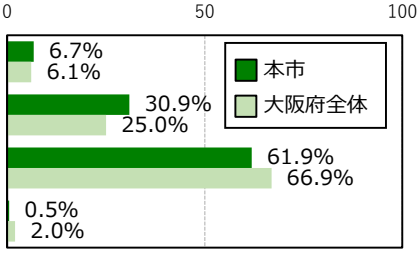
ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする

全体は、「そんなことはない」が61.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が30.9%、「いつもそうだ」が6.7%となっている。
小学生は、「そんなことはない」が67.4%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が27.2%、「いつもそうだ」が5.0%となっている。
中学生は、「そんなことはない」が54.7%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が35.8%、「いつもそうだ」が8.9%となっている。

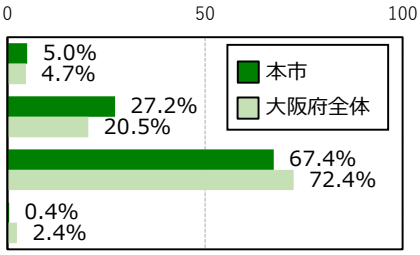
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	59名	6.7%	2,628名	6.1%
ときどきそうだ	271名	30.9%	10,860名	25.0%
そんなことはない	543名	61.9%	29,021名	66.9%
無回答	4名	0.5%	861名	2.0%



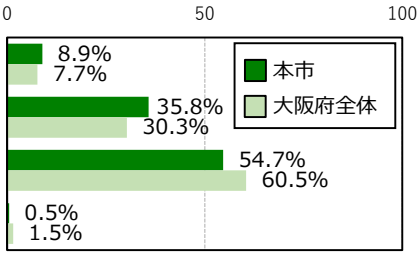
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	25名	5.0%	1,091名	4.7%
ときどきそうだ	135名	27.2%	4,776名	20.5%
そんなことはない	335名	67.4%	16,872名	72.4%
無回答	2名	0.4%	550名	2.4%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	34名	8.9%	1,534名	7.7%
ときどきそうだ	136名	35.8%	6,057名	30.3%
そんなことはない	208名	54.7%	12,095名	60.5%
無回答	2名	0.5%	304名	1.5%



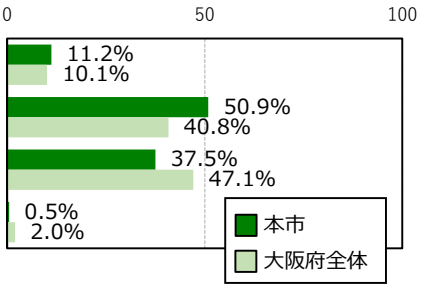
ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる

全体は、「ときどきそうだ」が50.9%で最も多く、次いで「そんなことはない」が37.5%、「いつもそうだ」が11.2%となっている。
小学生は、「ときどきそうだ」が48.7%で最も多く、次いで「そんなことはない」が43.5%、「いつもそうだ」が7.6%となっている。
中学生は、「ときどきそうだ」が53.7%で最も多く、次いで「そんなことはない」が29.7%、「いつもそうだ」が15.8%となっている。

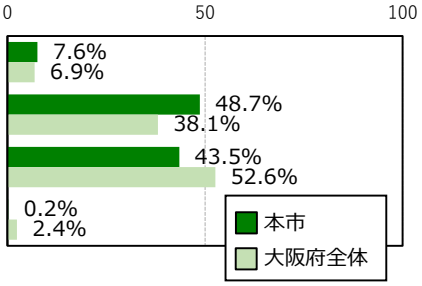
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	98名	11.2%	4,369名	10.1%
ときどきそうだ	446名	50.9%	17,713名	40.8%
そんなことはない	329名	37.5%	20,421名	47.1%
無回答	4名	0.5%	867名	2.0%



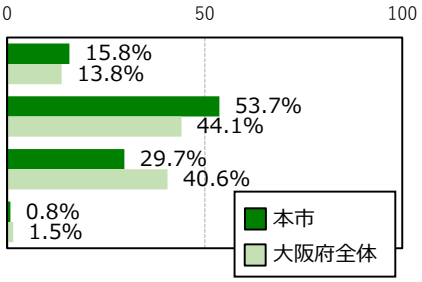
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	38名	7.6%	1,616名	6.9%
ときどきそうだ	242名	48.7%	8,865名	38.1%
そんなことはない	216名	43.5%	12,251名	52.6%
無回答	1名	0.2%	557名	2.4%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	60名	15.8%	2,750名	13.8%
ときどきそうだ	204名	53.7%	8,814名	44.1%
そんなことはない	113名	29.7%	8,122名	40.6%
無回答	3名	0.8%	304名	1.5%



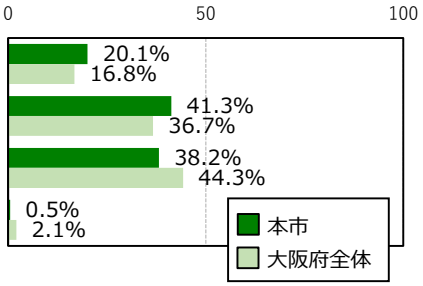
ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる

全体は、「ときどきそうだ」が41.3%で最も多く、次いで「そんなことはない」が38.2%、「いつもそうだ」が20.1%となっている。
小学生は、「そんなことはない」が46.9%で最も多く、次いで「ときどきそうだ」が39.0%、「いつもそうだ」が14.1%となっている。
中学生は、「ときどきそうだ」が44.2%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が27.9%、「そんなことはない」が26.8%となっている。

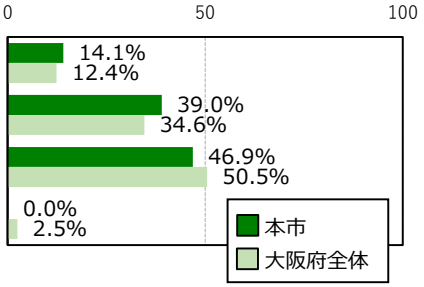
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	176名	20.1%	7,300名	16.8%
ときどきそうだ	362名	41.3%	15,932名	36.7%
そんなことはない	335名	38.2%	19,222名	44.3%
無回答	4名	0.5%	916名	2.1%



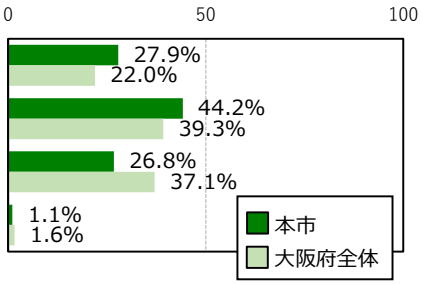
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	70名	14.1%	2,893名	12.4%
ときどきそうだ	194名	39.0%	8,049名	34.6%
そんなことはない	233名	46.9%	11,759名	50.5%
無回答	-	-	588名	2.5%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	106名	27.9%	4,399名	22.0%
ときどきそうだ	168名	44.2%	7,848名	39.3%
そんなことはない	102名	26.8%	7,422名	37.1%
無回答	4名	1.1%	321名	1.6%



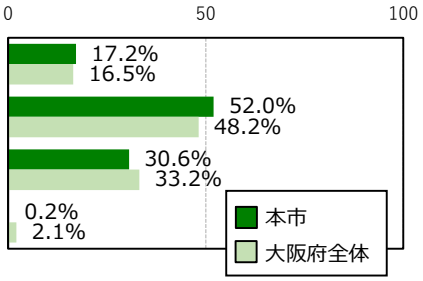
ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない

全体は、「ときどきそうだ」が52.0%で最も多く、次いで「そんなことはない」が30.6%、「いつもそうだ」が17.2%となっている。
小学生は、「ときどきそうだ」が49.3%で最も多く、次いで「そんなことはない」が38.0%、「いつもそうだ」が12.7%となっている。
中学生は、「ときどきそうだ」が55.5%で最も多く、次いで「いつもそうだ」が23.2%、「そんなことはない」が20.8%となっている。

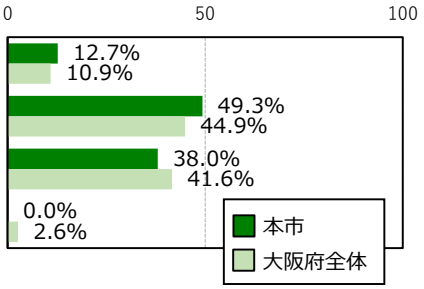
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	151名	17.2%	7,152名	16.5%
ときどきそうだ	456名	52.0%	20,902名	48.2%
そんなことはない	268名	30.6%	14,387名	33.2%
無回答	2名	0.2%	929名	2.1%



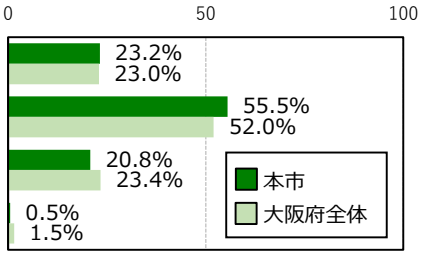
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	63名	12.7%	2,541名	10.9%
ときどきそうだ	245名	49.3%	10,454名	44.9%
そんなことはない	189名	38.0%	9,677名	41.6%
無回答	-	-	617名	2.6%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	88名	23.2%	4,606名	23.0%
ときどきそうだ	211名	55.5%	10,396名	52.0%
そんなことはない	79名	20.8%	4,682名	23.4%
無回答	2名	0.5%	306名	1.5%



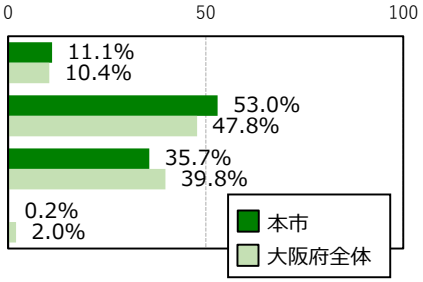
ふだんの生活のことについて

問19　この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする

全体は、「ときどきそうだ」が53.0%で最も多く、次いで「そんなことはない」が35.7%、「いつもそうだ」が11.1%となっている。
小学生は、「ときどきそうだ」が53.1%で最も多く、次いで「そんなことはない」が35.8%、「いつもそうだ」が11.1%となっている。
中学生は、「ときどきそうだ」が52.9%で最も多く、次いで「そんなことはない」が35.5%、「いつもそうだ」が11.1%となっている。

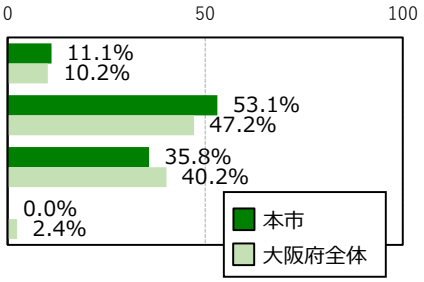
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
いつもそうだ	97名	11.1%	4,525名	10.4%
ときどきそうだ	465名	53.0%	20,712名	47.8%
そんなことはない	313名	35.7%	17,270名	39.8%
無回答	2名	0.2%	863名	2.0%



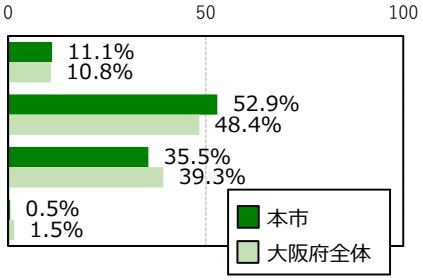
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
いつもそうだ	55名	11.1%	2,364名	10.2%
ときどきそうだ	264名	53.1%	10,997名	47.2%
そんなことはない	178名	35.8%	9,370名	40.2%
無回答	-	-	558名	2.4%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
いつもそうだ	42名	11.1%	2,152名	10.8%
ときどきそうだ	201名	52.9%	9,674名	48.4%
そんなことはない	135名	35.5%	7,865名	39.3%
無回答	2名	0.5%	299名	1.5%



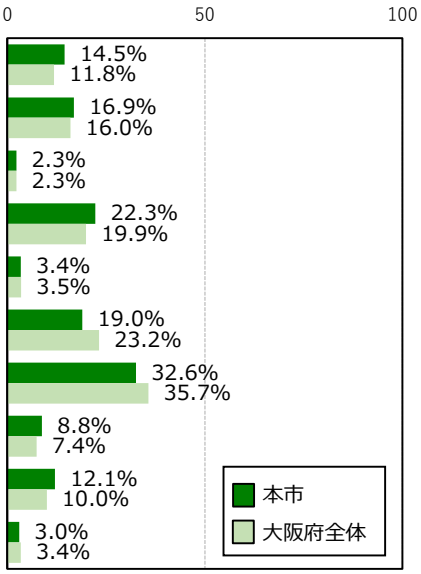
ふだんの生活のことについて

問20　自分の体の状態で気になること

全体は、「とくに気になるところはない」が32.6%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が22.3%、「よくかゆくなる」が19.0%、「よく頭がいたくなる」が16.9%となっている。
小学生は、「とくに気になるところはない」が33.6%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が20.9%、「よくかゆくなる」が20.7%、「ねむれない」が15.3%となっている。
中学生は、「とくに気になるところはない」が31.3%で最も多く、次いで「よくおなかがいたくなる」が24.2%、「よく頭がいたくなる」が20.8%、「よくかゆくなる」が16.8%となっている。

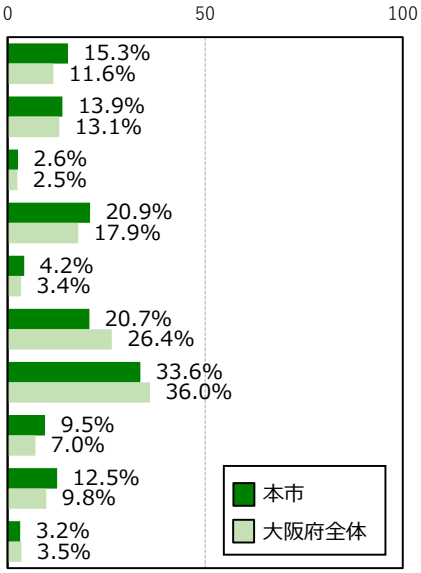
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ねむれない	127名	14.5%	5,129名	11.8%
よく頭がいたくなる	148名	16.9%	6,935名	16.0%
歯がいたい	20名	2.3%	979名	2.3%
よくおなかがいたくなる	196名	22.3%	8,644名	19.9%
よくかぜをひく	30名	3.4%	1,506名	3.5%
よくかゆくなる	167名	19.0%	10,046名	23.2%
とくに気になるところはない	286名	32.6%	15,487名	35.7%
その他	77名	8.8%	3,228名	7.4%
わからない	106名	12.1%	4,331名	10.0%
無回答	26名	3.0%	1,491名	3.4%



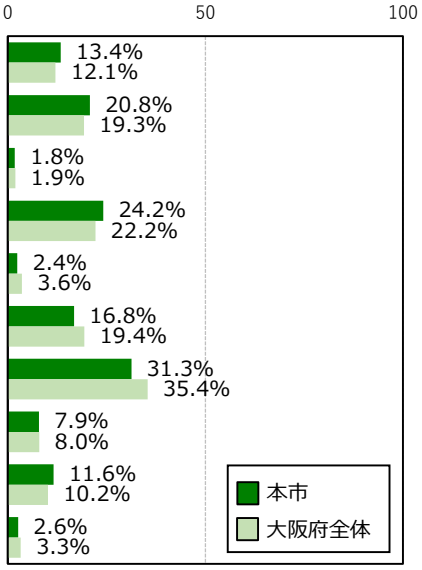
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ねむれない	76名	15.3%	2,704名	11.6%
よく頭がいたくなる	69名	13.9%	3,057名	13.1%
歯がいたい	13名	2.6%	589名	2.5%
よくおなかがいたくなる	104名	20.9%	4,177名	17.9%
よくかぜをひく	21名	4.2%	786名	3.4%
よくかゆくなる	103名	20.7%	6,142名	26.4%
とくに気になるところはない	167名	33.6%	8,390名	36.0%
その他	47名	9.5%	1,622名	7.0%
わからない	62名	12.5%	2,273名	9.8%
無回答	16名	3.2%	815名	3.5%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ねむれない	51名	13.4%	2,415名	12.1%
よく頭がいたくなる	79名	20.8%	3,864名	19.3%
歯がいたい	7名	1.8%	389名	1.9%
よくおなかがいたくなる	92名	24.2%	4,446名	22.2%
よくかぜをひく	9名	2.4%	719名	3.6%
よくかゆくなる	64名	16.8%	3,886名	19.4%
とくに気になるところはない	119名	31.3%	7,072名	35.4%
その他	30名	7.9%	1,598名	8.0%
わからない	44名	11.6%	2,047名	10.2%
無回答	10名	2.6%	666名	3.3%



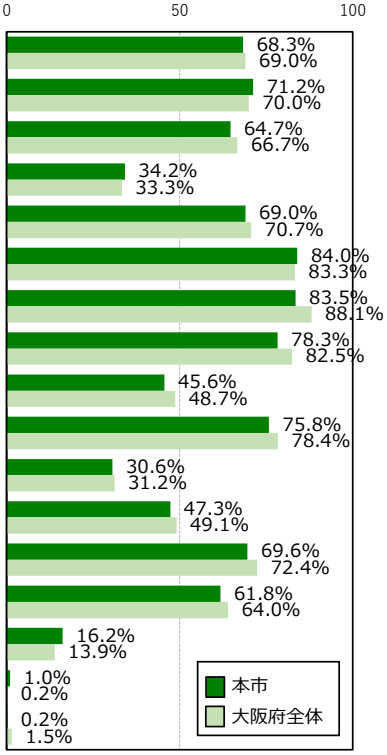
ふだんの生活のことについて

問21　持っているもの、使うことができるもの

全体は、「ゲーム機」が84.0%で最も多く、次いで「自転車」が83.5%、「テレビ」が78.3%、「スマートフォン・タブレット機器」が75.8%となっている。
小学生は、「ゲーム機」が84.9%で最も多く、次いで「自転車」が80.3%、「テレビ」が77.7%、「自分で選んだ服」が67.4%となっている。
中学生は、「スマートフォン・タブレット機器」が91.1%で最も多く、次いで「自転車」が87.6%、「ゲーム機」が82.9%、「テレビ」が79.2%となっている。

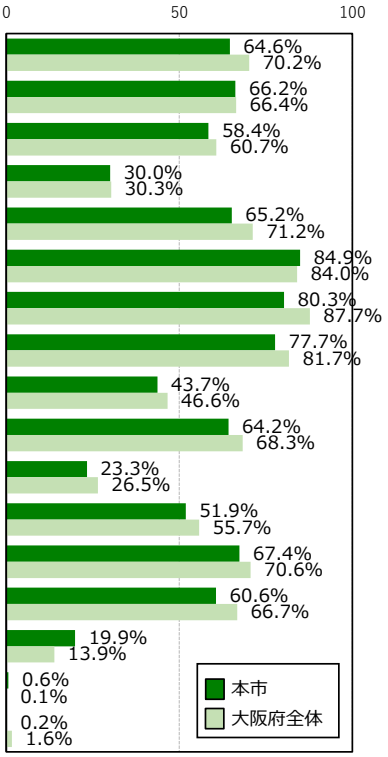
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
本（学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく）	599名	68.3%	29,930名	69.0%
マンガ・雑誌	624名	71.2%	30,358名	70.0%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	567名	64.7%	28,946名	66.7%
インターネットにつながるパソコン（学校のパソコンはのぞく）	300名	34.2%	14,432名	33.3%
運動用具（ボール・ラケットなど）	605名	69.0%	30,642名	70.7%
ゲーム機	737名	84.0%	36,137名	83.3%
自転車	732名	83.5%	38,228名	88.1%
テレビ	687名	78.3%	35,772名	82.5%
けいたい電話	400名	45.6%	21,131名	48.7%
スマートフォン・タブレット機器	665名	75.8%	33,995名	78.4%
化粧品・アクセサリー	268名	30.6%	13,521名	31.2%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	415名	47.3%	21,309名	49.1%
自分で選んだ服	610名	69.6%	31,410名	72.4%
キャラクターグッズ	542名	61.8%	27,742名	64.0%
その他	142名	16.2%	6,029名	13.9%
あてはまるものはない	9名	1.0%	73名	0.2%
無回答	2名	0.2%	654名	1.5%



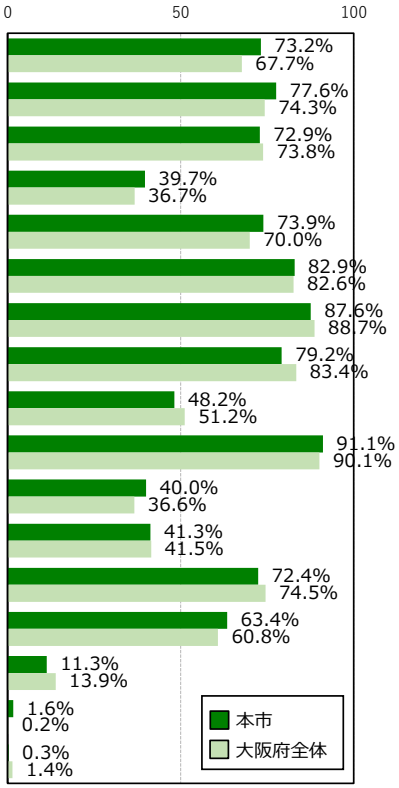
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
本（学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく）	321名	64.6%	16,345名	70.2%
マンガ・雑誌	329名	66.2%	15,454名	66.4%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	290名	58.4%	14,132名	60.7%
インターネットにつながるパソコン（学校のパソコンはのぞく）	149名	30.0%	7,061名	30.3%
運動用具（ボール・ラケットなど）	324名	65.2%	16,585名	71.2%
ゲーム機	422名	84.9%	19,560名	84.0%
自転車	399名	80.3%	20,424名	87.7%
テレビ	386名	77.7%	19,035名	81.7%
けいたい電話	217名	43.7%	10,858名	46.6%
スマートフォン・タブレット機器	319名	64.2%	15,917名	68.3%
化粧品・アクセサリー	116名	23.3%	6,173名	26.5%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	258名	51.9%	12,972名	55.7%
自分で選んだ服	335名	67.4%	16,446名	70.6%
キャラクターグッズ	301名	60.6%	15,532名	66.7%
その他	99名	19.9%	3,226名	13.9%
あてはまるものはない	3名	0.6%	34名	0.1%
無回答	1名	0.2%	376名	1.6%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
本（学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく）	278名	73.2%	13,525名	67.7%
マンガ・雑誌	295名	77.6%	14,848名	74.3%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	277名	72.9%	14,755名	73.8%
インターネットにつながるパソコン（学校のパソコンはのぞく）	151名	39.7%	7,334名	36.7%
運動用具（ボール・ラケットなど）	281名	73.9%	13,997名	70.0%
ゲーム機	315名	82.9%	16,510名	82.6%
自転車	333名	87.6%	17,735名	88.7%
テレビ	301名	79.2%	16,665名	83.4%
けいたい電話	183名	48.2%	10,236名	51.2%
スマートフォン・タブレット機器	346名	91.1%	18,012名	90.1%
化粧品・アクセサリー	152名	40.0%	7,324名	36.6%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	157名	41.3%	8,294名	41.5%
自分で選んだ服	275名	72.4%	14,894名	74.5%
キャラクターグッズ	241名	63.4%	12,152名	60.8%
その他	43名	11.3%	2,787名	13.9%
あてはまるものはない	6名	1.6%	38名	0.2%
無回答	1名	0.3%	273名	1.4%

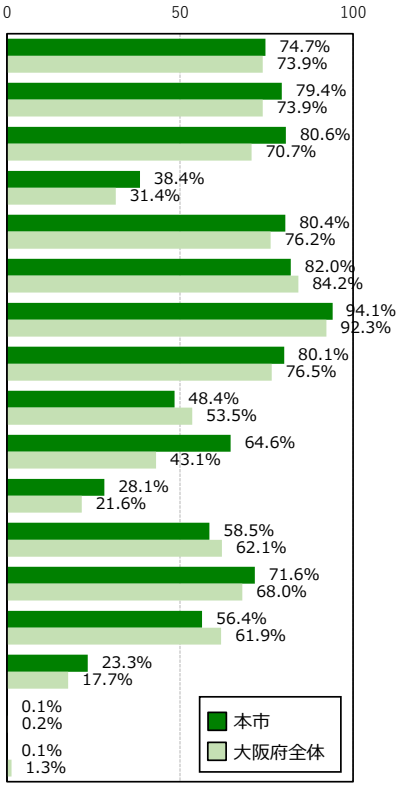


●2016年度　調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、全体は、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）」は15.9ポイント低いが、「スマートフォン・タブレット機器」は11.2ポイント高くなっている。
小学生は、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）」は18.7ポイント低いが、「スマートフォン・タブレット機器」は14.9ポイント高くなっている。
中学生は、「子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）」は11.6ポイント低いが、「キャラクターグッズ」は11.5ポイント高くなっている。

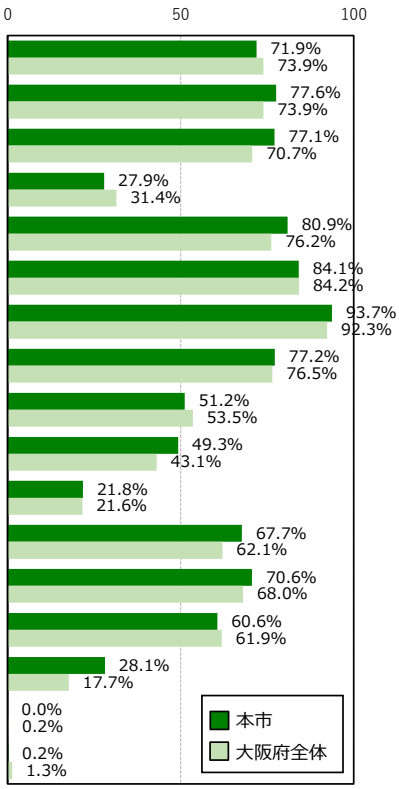
【全体】

	本市		大阪府全体	
	1,012名	100.0%	26,540名	100.0%
本（学校の教科書やマンガはのぞく）	756名	74.7%	19,604名	73.9%
マンガ・雑誌	804名	79.4%	19,607名	73.9%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	816名	80.6%	18,751名	70.7%
インターネットにつながるパソコン	389名	38.4%	8,326名	31.4%
運動用具（ボール・ラケットなど）	814名	80.4%	20,215名	76.2%
ゲーム機	830名	82.0%	22,355名	84.2%
自転車	952名	94.1%	24,500名	92.3%
テレビ	811名	80.1%	20,298名	76.5%
けいたい電話	490名	48.4%	14,188名	53.5%
スマートフォン・タブレット機器	654名	64.6%	11,445名	43.1%
化粧品・アクセサリー	284名	28.1%	5,739名	21.6%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	592名	58.5%	16,492名	62.1%
自分で選んだ服	725名	71.6%	18,050名	68.0%
キャラクターグッズ	571名	56.4%	16,416名	61.9%
その他	236名	23.3%	4,695名	17.7%
あてはまるものはない	1名	0.1%	50名	0.2%
無回答	1名	0.1%	337名	1.3%



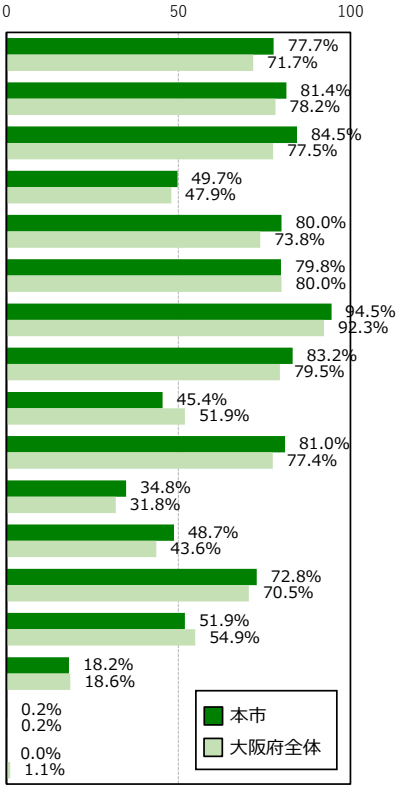
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	523名	100.0%	26,540名	100.0%
本（学校の教科書やマンガはのぞく）	376名	71.9%	19,604名	73.9%
マンガ・雑誌	406名	77.6%	19,607名	73.9%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	403名	77.1%	18,751名	70.7%
インターネットにつながるパソコン	146名	27.9%	8,326名	31.4%
運動用具（ボール・ラケットなど）	423名	80.9%	20,215名	76.2%
ゲーム機	440名	84.1%	22,355名	84.2%
自転車	490名	93.7%	24,500名	92.3%
テレビ	404名	77.2%	20,298名	76.5%
けいたい電話	268名	51.2%	14,188名	53.5%
スマートフォン・タブレット機器	258名	49.3%	11,445名	43.1%
化粧品・アクセサリー	114名	21.8%	5,739名	21.6%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	354名	67.7%	16,492名	62.1%
自分で選んだ服	369名	70.6%	18,050名	68.0%
キャラクターグッズ	317名	60.6%	16,416名	61.9%
その他	147名	28.1%	4,695名	17.7%
あてはまるものはない	-	-	50名	0.2%
無回答	1名	0.2%	337名	1.3%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	489名	100.0%	23,558名	100.0%
本（学校の教科書やマンガはのぞく）	380名	77.7%	16,891名	71.7%
マンガ・雑誌	398名	81.4%	18,423名	78.2%
子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など）	413名	84.5%	18,253名	77.5%
インターネットにつながるパソコン	243名	49.7%	11,289名	47.9%
運動用具（ボール・ラケットなど）	391名	80.0%	17,391名	73.8%
ゲーム機	390名	79.8%	18,851名	80.0%
自転車	462名	94.5%	21,745名	92.3%
テレビ	407名	83.2%	18,732名	79.5%
けいたい電話	222名	45.4%	12,238名	51.9%
スマートフォン・タブレット機器	396名	81.0%	18,237名	77.4%
化粧品・アクセサリー	170名	34.8%	7,492名	31.8%
習いごとなどの道具（ピアノなど）	238名	48.7%	10,275名	43.6%
自分で選んだ服	356名	72.8%	16,612名	70.5%
キャラクターグッズ	254名	51.9%	12,940名	54.9%
その他	89名	18.2%	4,377名	18.6%
あてはまるものはない	1名	0.2%	54名	0.2%
無回答	-	-	262名	1.1%



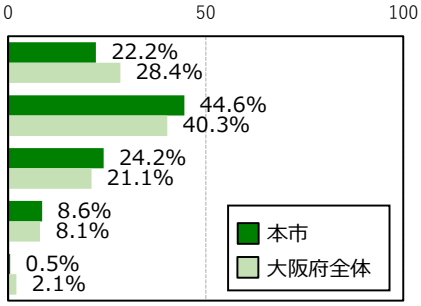
ふだん考えていることについて

問22　すぐに立ち直ることができる

全体は、「どちらかというとそう思う」が44.6%で最も多く、次いで「どちらかというとそう思わない」が24.2%、「そう思う」が22.2%、「そう思わない」が8.6%となっている。
小学生は、「どちらかというとそう思う」が40.6%で最も多く、次いで「そう思う」が26.6%、「どちらかというとそう思わない」が24.3%、「そう思わない」が8.5%となっている。
中学生は、「どちらかというとそう思う」が49.7%で最も多く、次いで「どちらかというとそう思わない」が23.9%、「そう思う」が16.6%、「そう思わない」が8.7%となっている。

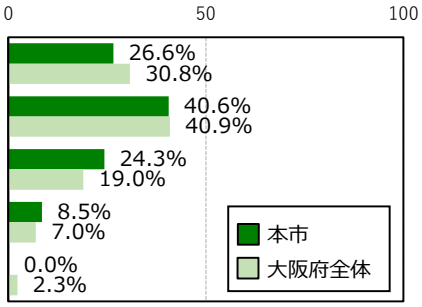
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
そう思う	195名	22.2%	12,318名	28.4%
どちらかというとそう思う	391名	44.6%	17,480名	40.3%
どちらかというとそう思わない	212名	24.2%	9,144名	21.1%
そう思わない	75名	8.6%	3,521名	8.1%
無回答	4名	0.5%	907名	2.1%



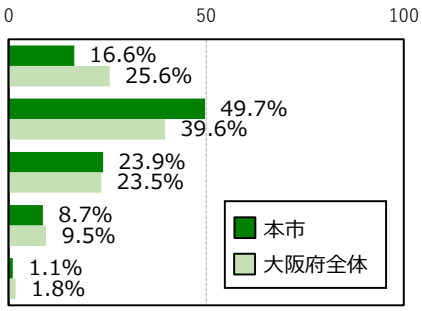
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
そう思う	132名	26.6%	7,172名	30.8%
どちらかというとそう思う	202名	40.6%	9,521名	40.9%
どちらかというとそう思わない	121名	24.3%	4,431名	19.0%
そう思わない	42名	8.5%	1,625名	7.0%
無回答	-	-	540名	2.3%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
そう思う	63名	16.6%	5,119名	25.6%
どちらかというとそう思う	189名	49.7%	7,917名	39.6%
どちらかというとそう思わない	91名	23.9%	4,703名	23.5%
そう思わない	33名	8.7%	1,891名	9.5%
無回答	4名	1.1%	360名	1.8%



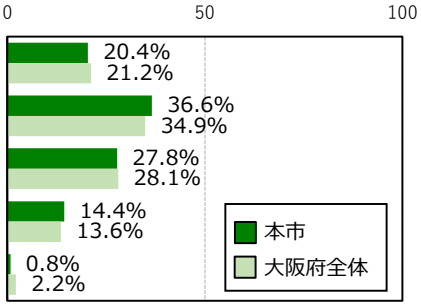
ふだん考えていることについて

問23　ふだん考えていること（１）自分に自信がある

全体は、「どちらかというとある」が36.6％で最も多く、次いで「どちらかというとない」が27.8％、「ある」が20.4％、「ない」が14.4％となっている。
小学生は、「どちらかというとある」が37.6％で最も多く、次いで「ある」が24.9％、「どちらかというとない」が24.5％、「ない」が12.3％となっている。
中学生は、「どちらかというとある」が35.3％で最も多く、次いで「どちらかというとない」が32.1％、「ない」が17.1％、「ある」が14.5％となっている。

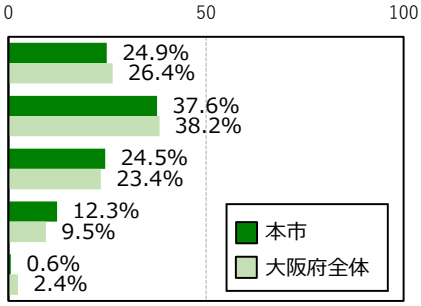
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
ある	179名	20.4%	9,192名	21.2%
どちらかというとある	321名	36.6%	15,132名	34.9%
どちらかというとない	244名	27.8%	12,192名	28.1%
ない	126名	14.4%	5,898名	13.6%
無回答	7名	0.8%	956名	2.2%



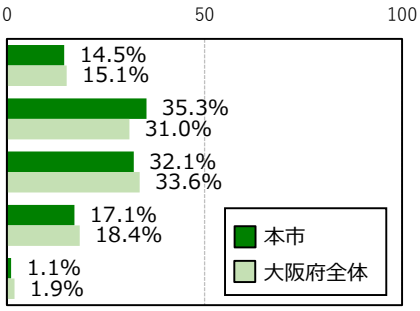
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
ある	124名	24.9%	6,157名	26.4%
どちらかというとある	187名	37.6%	8,904名	38.2%
どちらかというとない	122名	24.5%	5,450名	23.4%
ない	61名	12.3%	2,211名	9.5%
無回答	3名	0.6%	567名	2.4%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
ある	55名	14.5%	3,011名	15.1%
どちらかというとある	134名	35.3%	6,202名	31.0%
どちらかというとない	122名	32.1%	6,716名	33.6%
ない	65名	17.1%	3,679名	18.4%
無回答	4名	1.1%	382名	1.9%



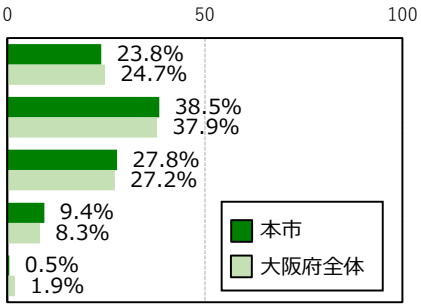
ふだん考えていることについて

問23　ふだん考えていること（２）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

全体は、「どちらかというとできる」が38.5%で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が27.8%、「できる」が23.8%、「できない」が9.4%となっている。
小学生は、「どちらかというとできる」が36.2%で最も多く、次いで「できる」が27.6%、「どちらかというとできない」が27.0%、「できない」が9.1%となっている。
中学生は、「どちらかというとできる」が41.6%で最も多く、次いで「どちらかというとできない」が28.9%、「できる」が18.9%、「できない」が9.7%となっている。

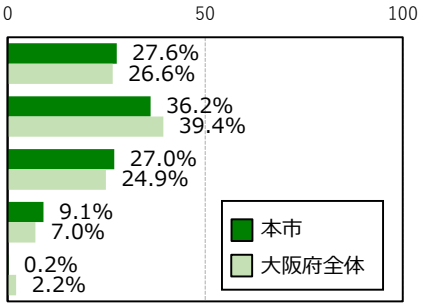
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
できる	209名	23.8%	10,725名	24.7%
どちらかというとできる	338名	38.5%	16,421名	37.9%
どちらかというとできない	244名	27.8%	11,801名	27.2%
できない	82名	9.4%	3,582名	8.3%
無回答	4名	0.5%	841名	1.9%



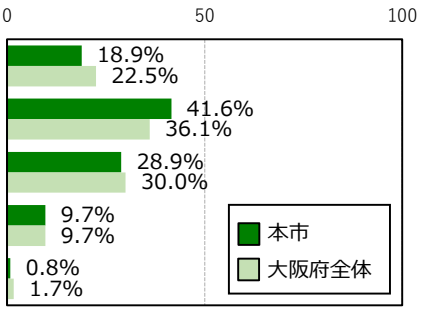
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
できる	137名	27.6%	6,187名	26.6%
どちらかというとできる	180名	36.2%	9,180名	39.4%
どちらかというとできない	134名	27.0%	5,791名	24.9%
できない	45名	9.1%	1,629名	7.0%
無回答	1名	0.2%	502名	2.2%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
できる	72名	18.9%	4,507名	22.5%
どちらかというとできる	158名	41.6%	7,209名	36.1%
どちらかというとできない	110名	28.9%	5,993名	30.0%
できない	37名	9.7%	1,947名	9.7%
無回答	3名	0.8%	334名	1.7%



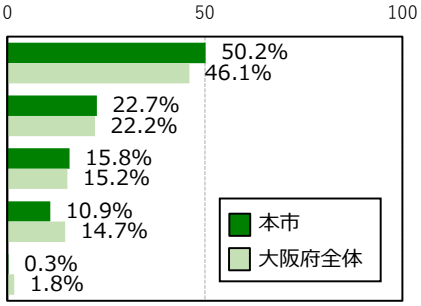
ふだん考えていることについて

問23　ふだん考えていること（３）自分の将来の夢や目標を持っている

全体は、「持っている」が50.2%で最も多く、次いで「どちらかというと持っている」が22.7%、「どちらかというと持っていない」が15.8%、「持っていない」が10.9%となっている。
小学生は、「持っている」が66.2%で最も多く、次いで「どちらかというと持っている」が16.9%、「どちらかというと持っていない」が9.9%、「持っていない」が6.6%となっている。
中学生は、「どちらかというと持っている」が30.3%で最も多く、次いで「持っている」が29.2%、「どちらかというと持っていない」が23.7%、「持っていない」が16.6%となっている。

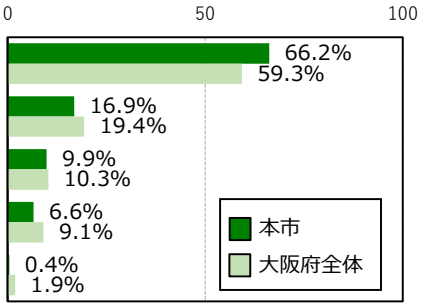
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
持っている	440名	50.2%	19,990名	46.1%
どちらかというと持っている	199名	22.7%	9,645名	22.2%
どちらかというと持っていない	139名	15.8%	6,609名	15.2%
持っていない	96名	10.9%	6,354名	14.7%
無回答	3名	0.3%	772名	1.8%



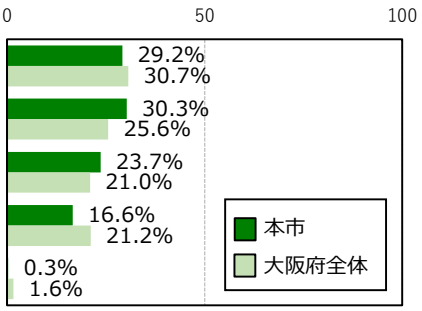
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
持っている	329名	66.2%	13,811名	59.3%
どちらかというと持っている	84名	16.9%	4,518名	19.4%
どちらかというと持っていない	49名	9.9%	2,398名	10.3%
持っていない	33名	6.6%	2,108名	9.1%
無回答	2名	0.4%	454名	1.9%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
持っている	111名	29.2%	6,139名	30.7%
どちらかというと持っている	115名	30.3%	5,108名	25.6%
どちらかというと持っていない	90名	23.7%	4,195名	21.0%
持っていない	63名	16.6%	4,235名	21.2%
無回答	1名	0.3%	313名	1.6%



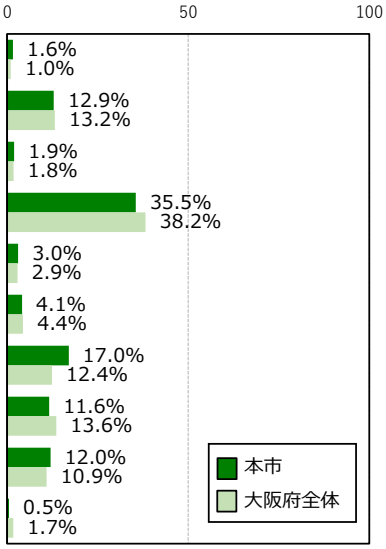
ふだん考えていることについて

問24　希望する進学先

全体は、「大学」が35.5%で最も多く、次いで「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が17.0%、「高校」が12.9%、「考えたことがない」が11.6%となっている。
小学生は、「大学」が26.8%で最も多く、次いで「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が19.5%、「考えたことがない」が14.7%、「高校」が14.3%となっている。
中学生は、「大学」が46.8%で最も多く、次いで「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」が13.7%、「高校」が11.1%、「考えたことがない」が7.6%となっている。

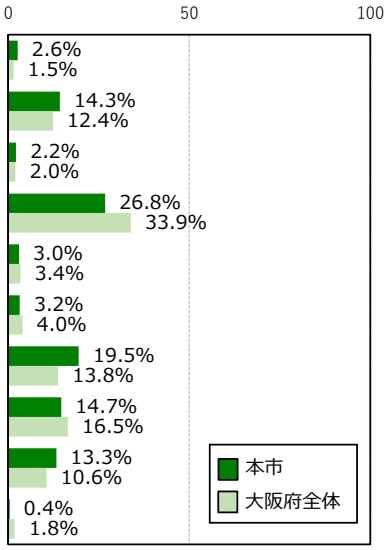
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
中学校	14名	1.6%	420名	1.0%
高校	113名	12.9%	5,709名	13.2%
短期大学	17名	1.9%	789名	1.8%
大学	311名	35.5%	16,554名	38.2%
大学院	26名	3.0%	1,248名	2.9%
留学（外国で長い期間勉強すること）	36名	4.1%	1,896名	4.4%
専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校	149名	17.0%	5,390名	12.4%
考えたことがない	102名	11.6%	5,904名	13.6%
わからない	105名	12.0%	4,735名	10.9%
無回答	4名	0.5%	725名	1.7%



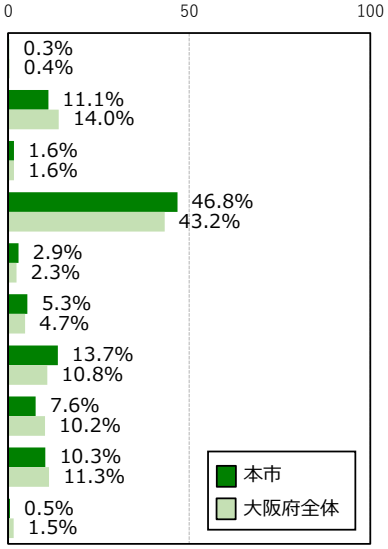
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
中学校	13名	2.6%	344名	1.5%
高校	71名	14.3%	2,899名	12.4%
短期大学	11名	2.2%	475名	2.0%
大学	133名	26.8%	7,884名	33.9%
大学院	15名	3.0%	790名	3.4%
留学（外国で長い期間勉強すること）	16名	3.2%	943名	4.0%
専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校	97名	19.5%	3,221名	13.8%
考えたことがない	73名	14.7%	3,850名	16.5%
わからない	66名	13.3%	2,466名	10.6%
無回答	2名	0.4%	417名	1.8%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
中学校	1名	0.3%	75名	0.4%
高校	42名	11.1%	2,801名	14.0%
短期大学	6名	1.6%	312名	1.6%
大学	178名	46.8%	8,638名	43.2%
大学院	11名	2.9%	456名	2.3%
留学（外国で長い期間勉強すること）	20名	5.3%	945名	4.7%
専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校	52名	13.7%	2,160名	10.8%
考えたことがない	29名	7.6%	2,043名	10.2%
わからない	39名	10.3%	2,257名	11.3%
無回答	2名	0.5%	303名	1.5%



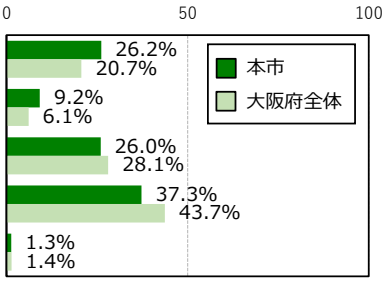
あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況　①平日の夜や休日を過ごすことができる場所（学童保育など）

全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が37.3%で最も多く、次いで「利用したことがある」が26.2%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が26.0%となっている。
小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が37.6%で最も多く、次いで「利用したことがある」が26.6%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が23.5%となっている。
中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が36.8%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が29.2%、「利用したことがある」が25.8%となっている。

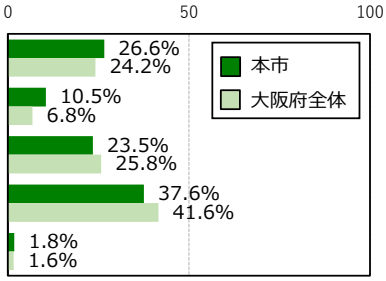
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
利用したことがある	230名	26.2%	8,997名	20.7%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	81名	9.2%	2,625名	6.1%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	228名	26.0%	12,198名	28.1%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	327名	37.3%	18,934名	43.7%
無回答	11名	1.3%	616名	1.4%



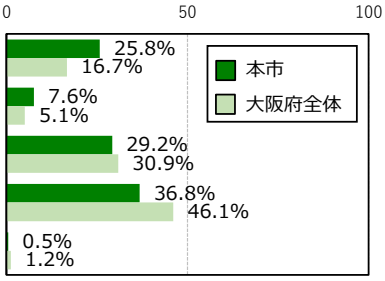
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
利用したことがある	132名	26.6%	5,639名	24.2%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	52名	10.5%	1,593名	6.8%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	117名	23.5%	5,997名	25.8%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	187名	37.6%	9,694名	41.6%
無回答	9名	1.8%	366名	1.6%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
利用したことがある	98名	25.8%	3,331名	16.7%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	29名	7.6%	1,026名	5.1%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	111名	29.2%	6,178名	30.9%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	140名	36.8%	9,208名	46.1%
無回答	2名	0.5%	247名	1.2%



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況
②昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）

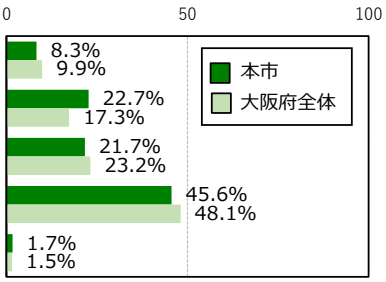
全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が45.6%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が22.7%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が21.7%、「利用したことがある」が8.3%となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が43.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が22.7%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が21.9%、「利用したことがある」が9.5%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が48.2%で最も多く、次いで「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が22.6%、「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が21.3%、「利用したことがある」が6.8%となっている。

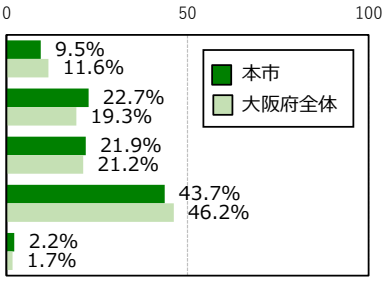
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
利用したことがある	73名	8.3%	4,310名	9.9%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	199名	22.7%	7,492名	17.3%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	190名	21.7%	10,062名	23.2%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	400名	45.6%	20,848名	48.1%
無回答	15名	1.7%	658名	1.5%



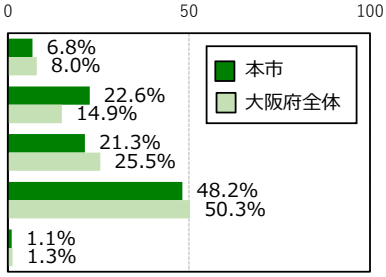
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
利用したことがある	47名	9.5%	2,704名	11.6%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	113名	22.7%	4,496名	19.3%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	109名	21.9%	4,946名	21.2%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	217名	43.7%	10,752名	46.2%
無回答	11名	2.2%	391名	1.7%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
利用したことがある	26名	6.8%	1,594名	8.0%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	86名	22.6%	2,984名	14.9%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	81名	21.3%	5,092名	25.5%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	183名	48.2%	10,057名	50.3%
無回答	4名	1.1%	263名	1.3%



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況
③勉強を無料か安い料金でみてくれる場所（一般的な学習塾とはちがう学習支援など）

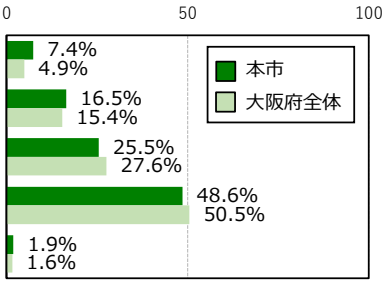
全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が48.6%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が25.5%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が16.5%、「利用したことがある」が7.4%となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が50.7%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が24.9%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が14.9%、「利用したことがある」が6.8%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が45.8%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が26.3%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が18.7%、「利用したことがある」が8.2%となっている。

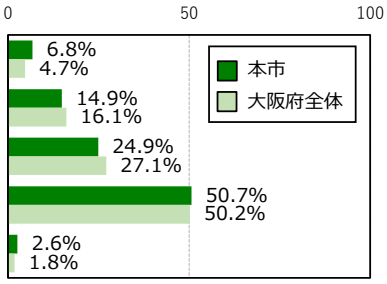
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
利用したことがある	65名	7.4%	2,125名	4.9%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	145名	16.5%	6,687名	15.4%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	224名	25.5%	11,951名	27.6%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	426名	48.6%	21,908名	50.5%
無回答	17名	1.9%	699名	1.6%



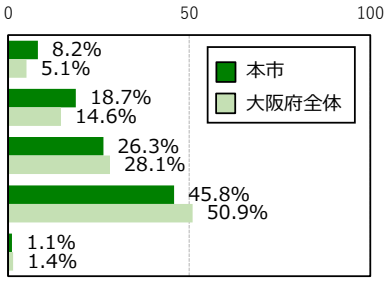
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
利用したことがある	34名	6.8%	1,094名	4.7%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	74名	14.9%	3,760名	16.1%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	124名	24.9%	6,317名	27.1%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	252名	50.7%	11,693名	50.2%
無回答	13名	2.6%	425名	1.8%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
利用したことがある	31名	8.2%	1,019名	5.1%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	71名	18.7%	2,916名	14.6%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	100名	26.3%	5,617名	28.1%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	174名	45.8%	10,168名	50.9%
無回答	4名	1.1%	270名	1.4%



あなたのことについて

問25（１）子どもの居場所の利用状況　④何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）

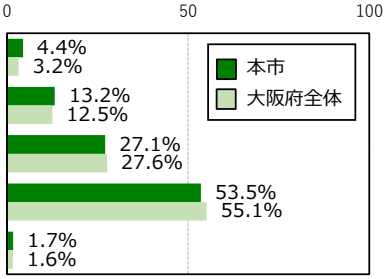
全体は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が53.5%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が27.1%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が13.2%、「利用したことがある」が4.4%となっている。

小学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が51.1%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が24.7%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が16.3%、「利用したことがある」が5.6%となっている。

中学生は、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」が56.6%で最も多く、次いで「利用したことはない（今後も利用したいと思わない）」が30.3%、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」が9.2%、「利用したことがある」が2.9%となっている。

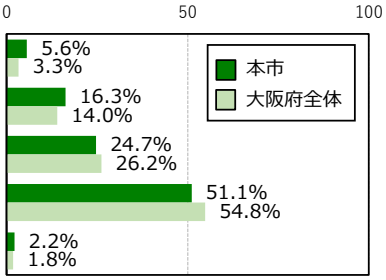
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
利用したことがある	39名	4.4%	1,392名	3.2%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	116名	13.2%	5,439名	12.5%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	238名	27.1%	11,956名	27.6%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	469名	53.5%	23,876名	55.1%
無回答	15名	1.7%	707名	1.6%



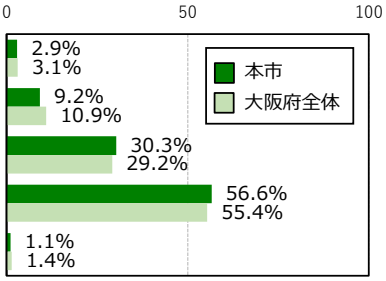
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
利用したことがある	28名	5.6%	763名	3.3%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	81名	16.3%	3,254名	14.0%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	123名	24.7%	6,091名	26.2%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	254名	51.1%	12,751名	54.8%
無回答	11名	2.2%	430名	1.8%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
利用したことがある	11名	2.9%	625名	3.1%
利用したことはない（あれば利用したいと思う）	35名	9.2%	2,178名	10.9%
利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	115名	30.3%	5,839名	29.2%
利用したことはない（今後も利用したいか分からない）	215名	56.6%	11,076名	55.4%
無回答	4名	1.1%	272名	1.4%



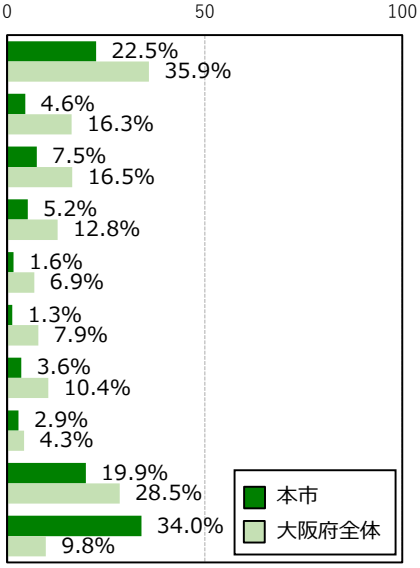
あなたのことについて

問25（２）子どもの居場所を利用したときの変化

全体は、「ともだちが増えた」が22.5%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が7.5%、「ほっとできる時間が増えた」が5.2%、「気軽に話せる大人が増えた」が4.6%となっている。
小学生は、「ともだちが増えた」が27.1%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が7.2%、「ほっとできる時間が増えた」が5.5%、「気軽に話せる大人が増えた」が3.9%となっている。
中学生は、「ともだちが増えた」が16.0%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が8.0%、「気軽に話せる大人が増えた」、「勉強する時間が増えた」がそれぞれ5.6%、「ほっとできる時間が増えた」が4.8%となっている。

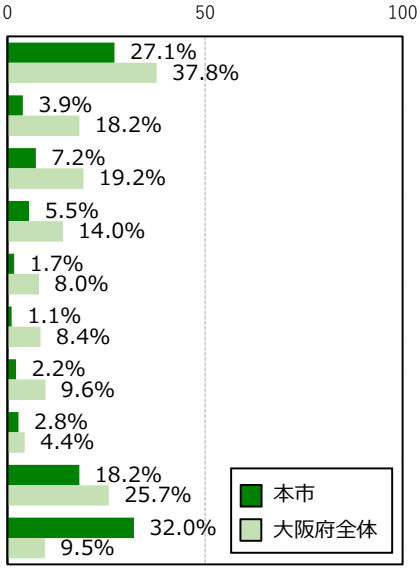
【全体】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	13,087名	100.0%
ともだちが増えた	69名	22.5%	4,703名	35.9%
気軽に話せる大人が増えた	14名	4.6%	2,135名	16.3%
生活の中で楽しみなことが増えた	23名	7.5%	2,158名	16.5%
ほっとできる時間が増えた	16名	5.2%	1,673名	12.8%
栄養のある食事をとれることが増えた	5名	1.6%	901名	6.9%
勉強がわかるようになった	4名	1.3%	1,033名	7.9%
勉強する時間が増えた	11名	3.6%	1,358名	10.4%
その他	9名	2.9%	559名	4.3%
特に変化はない	61名	19.9%	3,724名	28.5%
無回答	104名	34.0%	1,279名	9.8%



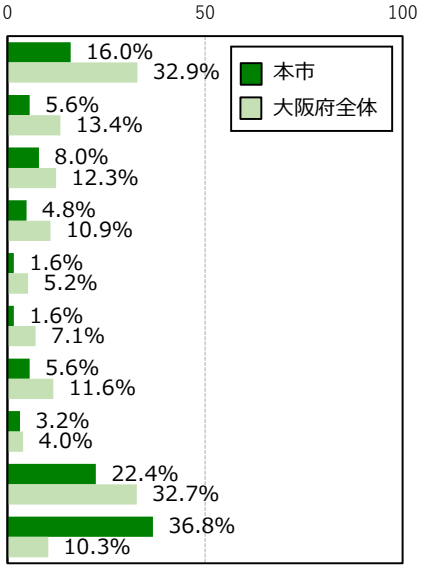
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	181名	100.0%	7,951名	100.0%
ともだちが増えた	49名	27.1%	3,009名	37.8%
気軽に話せる大人が増えた	7名	3.9%	1,444名	18.2%
生活の中で楽しみなことが増えた	13名	7.2%	1,528名	19.2%
ほっとできる時間が増えた	10名	5.5%	1,112名	14.0%
栄養のある食事をとれることが増えた	3名	1.7%	633名	8.0%
勉強がわかるようになった	2名	1.1%	666名	8.4%
勉強する時間が増えた	4名	2.2%	765名	9.6%
その他	5名	2.8%	352名	4.4%
特に変化はない	33名	18.2%	2,044名	25.7%
無回答	58名	32.0%	754名	9.5%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	125名	100.0%	5,099名	100.0%
ともだちが増えた	20名	16.0%	1,680名	32.9%
気軽に話せる大人が増えた	7名	5.6%	683名	13.4%
生活の中で楽しみなことが増えた	10名	8.0%	626名	12.3%
ほっとできる時間が増えた	6名	4.8%	557名	10.9%
栄養のある食事をとれることが増えた	2名	1.6%	267名	5.2%
勉強がわかるようになった	2名	1.6%	363名	7.1%
勉強する時間が増えた	7名	5.6%	590名	11.6%
その他	4名	3.2%	205名	4.0%
特に変化はない	28名	22.4%	1,666名	32.7%
無回答	46名	36.8%	524名	10.3%



あなたのことについて

問25（３）子どもの居場所を利用したことがない理由

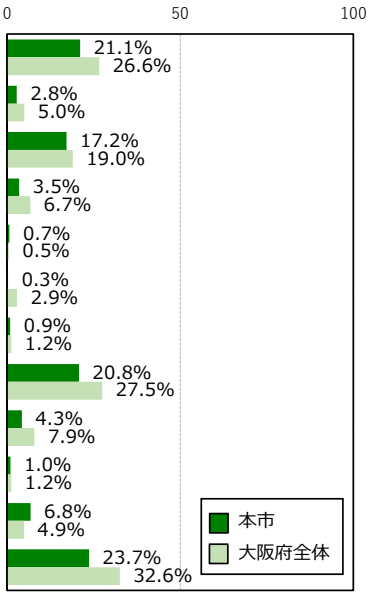
全体は、「どこにあるか知らないから」が21.1%で最も多く、次いで「行きたいと思わないから」が20.8%、「家で過ごしたいと思うから」が17.2%、「何をしているかわからないから」が4.3%となっている。

小学生は、「どこにあるか知らないから」が21.3%で最も多く、次いで「家で過ごしたいと思うから」が17.2%、「行きたいと思わないから」が16.8%、「何をしているかわからないから」が4.3%となっている。

中学生は、「行きたいと思わないから」が26.1%で最も多く、次いで「どこにあるか知らないから」が20.7%、「家で過ごしたいと思うから」が17.3%、「何をしているかわからないから」が4.3%となっている。

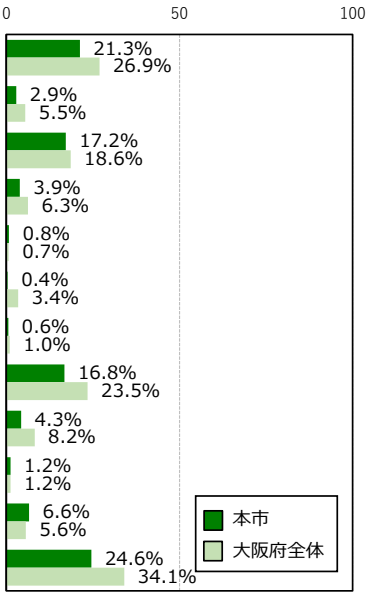
【全体】

	本市		大阪府全体	
	859名	100.0%	42,606名	100.0%
どこにあるか知らないから	181名	21.1%	11,335名	26.6%
家の近く（ひとりで行ける場所）にないから	24名	2.8%	2,124名	5.0%
家で過ごしたいと思うから	148名	17.2%	8,116名	19.0%
楽しくなさそうだから	30名	3.5%	2,868名	6.7%
「行ってはいけない」と親などの大人に言われるから	6名	0.7%	213名	0.5%
行きたい日・時間に開いていないから	3名	0.3%	1,250名	2.9%
Wi-fi（インターネット通信環境）がないから	8名	0.9%	492名	1.2%
行きたいと思わないから	179名	20.8%	11,726名	27.5%
何をしているかわからないから	37名	4.3%	3,383名	7.9%
利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから	9名	1.0%	529名	1.2%
その他	58名	6.8%	2,073名	4.9%
無回答	204名	23.7%	13,872名	32.6%



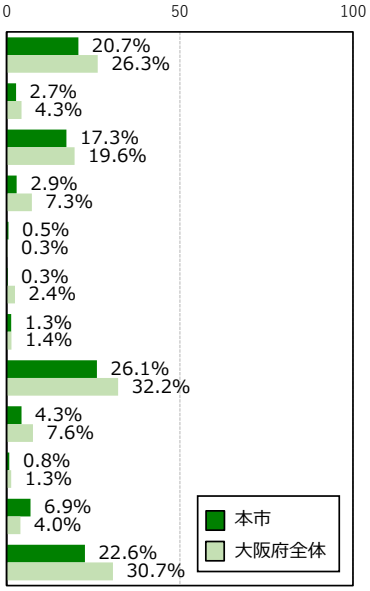
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	483名	100.0%	22,847名	100.0%
どこにあるか知らないから	103名	21.3%	6,139名	26.9%
家の近く（ひとりで行ける場所）にないから	14名	2.9%	1,267名	5.5%
家で過ごしたいと思うから	83名	17.2%	4,244名	18.6%
楽しくなさそうだから	19名	3.9%	1,437名	6.3%
「行ってはいけない」と親などの大人に言われるから	4名	0.8%	160名	0.7%
行きたい日・時間に開いていないから	2名	0.4%	784名	3.4%
Wi-fi（インターネット通信環境）がないから	3名	0.6%	223名	1.0%
行きたいと思わないから	81名	16.8%	5,374名	23.5%
何をしているかわからないから	21名	4.3%	1,879名	8.2%
利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから	6名	1.2%	263名	1.2%
その他	32名	6.6%	1,271名	5.6%
無回答	119名	24.6%	7,800名	34.1%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	376名	100.0%	19,674名	100.0%
どこにあるか知らないから	78名	20.7%	5,172名	26.3%
家の近く（ひとりで行ける場所）にないから	10名	2.7%	855名	4.3%
家で過ごしたいと思うから	65名	17.3%	3,857名	19.6%
楽しくなさそうだから	11名	2.9%	1,427名	7.3%
「行ってはいけない」と親などの大人に言われるから	2名	0.5%	53名	0.3%
行きたい日・時間に開いていないから	1名	0.3%	465名	2.4%
Wi-fi（インターネット通信環境）がないから	5名	1.3%	268名	1.4%
行きたいと思わないから	98名	26.1%	6,330名	32.2%
何をしているかわからないから	16名	4.3%	1,496名	7.6%
利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから	3名	0.8%	264名	1.3%
その他	26名	6.9%	795名	4.0%
無回答	85名	22.6%	6,044名	30.7%



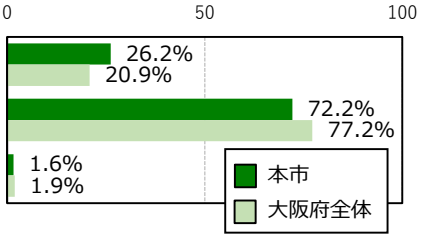
あなたのことについて

問26（１）自分が世話をしている人の有無

全体は、「いる」が26.2%、「いない」が72.2%となっている。
小学生は、「いる」が34.6%、「いない」が62.8%となっている。
中学生は、「いる」が15.3%、「いない」が84.5%となっている。

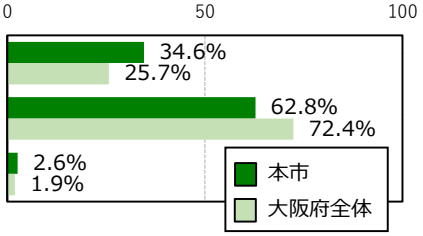
【全体】

	本市		大阪府全体	
	877名	100.0%	43,370名	100.0%
いる	230名	26.2%	9,054名	20.9%
いない	633名	72.2%	33,476名	77.2%
無回答	14名	1.6%	840名	1.9%



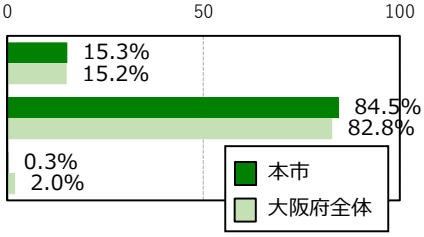
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	497名	100.0%	23,289名	100.0%
いる	172名	34.6%	5,988名	25.7%
いない	312名	62.8%	16,856名	72.4%
無回答	13名	2.6%	445名	1.9%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	380名	100.0%	19,990名	100.0%
いる	58名	15.3%	3,045名	15.2%
いない	321名	84.5%	16,553名	82.8%
無回答	1名	0.3%	392名	2.0%



あなたのことについて

問26（２）世話をしている相手

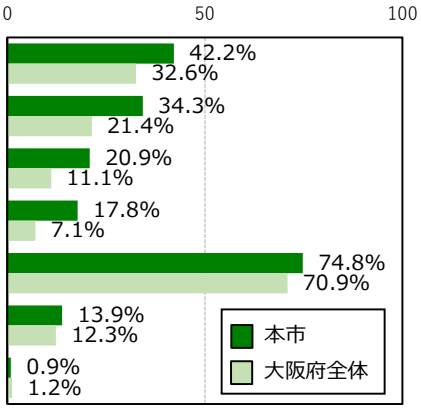
全体は、「きょうだい」が74.8%で最も多く、次いで「お母さん」が42.2%、「お父さん」が34.3%、「おばあちゃん」が20.9%となっている。

小学生は、「きょうだい」が73.3%で最も多く、次いで「お母さん」が41.9%、「お父さん」が33.1%、「おばあちゃん」が23.3%となっている。

中学生は、「きょうだい」が79.3%で最も多く、次いで「お母さん」が43.1%、「お父さん」が37.9%、「おばあちゃん」、「おじいちゃん」がそれぞれ13.8%となっている。

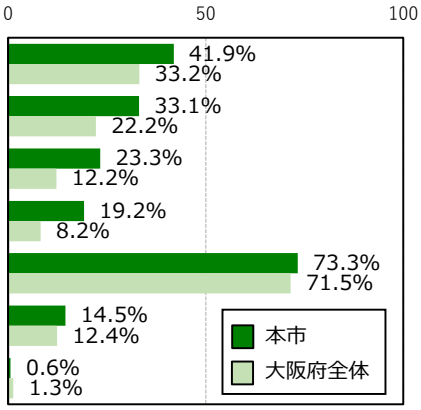
【全体】

	本市		大阪府全体	
	230名	100.0%	9,054名	100.0%
お母さん	97名	42.2%	2,954名	32.6%
お父さん	79名	34.3%	1,939名	21.4%
おばあちゃん	48名	20.9%	1,009名	11.1%
おじいちゃん	41名	17.8%	647名	7.1%
きょうだい	172名	74.8%	6,419名	70.9%
その他	32名	13.9%	1,117名	12.3%
無回答	2名	0.9%	112名	1.2%



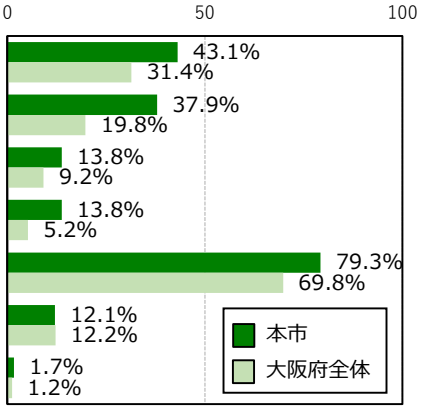
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	172名	100.0%	5,988名	100.0%
お母さん	72名	41.9%	1,990名	33.2%
お父さん	57名	33.1%	1,332名	22.2%
おばあちゃん	40名	23.3%	728名	12.2%
おじいちゃん	33名	19.2%	489名	8.2%
きょうだい	126名	73.3%	4,280名	71.5%
その他	25名	14.5%	741名	12.4%
無回答	1名	0.6%	75名	1.3%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	58名	100.0%	3,045名	100.0%
お母さん	25名	43.1%	957名	31.4%
お父さん	22名	37.9%	604名	19.8%
おばあちゃん	8名	13.8%	280名	9.2%
おじいちゃん	8名	13.8%	157名	5.2%
きょうだい	46名	79.3%	2,125名	69.8%
その他	7名	12.1%	370名	12.2%
無回答	1名	1.7%	37名	1.2%



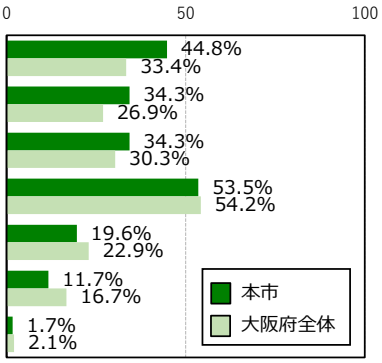
あなたのことについて

問26（３）世話を行っている内容

全体は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が53.5%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が44.8%、「洗濯など」、「そうじやゴミ捨てなど」がそれぞれ34.3%となっている。
小学生は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が52.3%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が41.9%、「そうじやゴミ捨てなど」が34.3%となっている。
中学生は、「きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど」が56.9%で最も多く、次いで「料理や買い物、食器洗いなど」が53.4%、「洗濯など」が37.9%となっている。

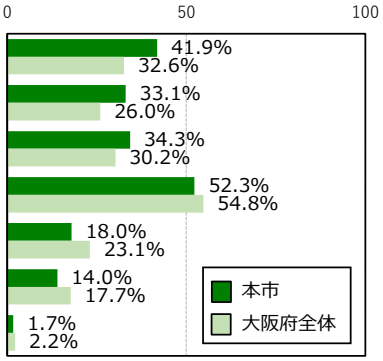
【全体】

	本市		大阪府全体	
	230名	100.0%	9,054名	100.0%
料理や買い物、食器洗いなど	103名	44.8%	3,021名	33.4%
洗濯など	79名	34.3%	2,439名	26.9%
そうじやゴミ捨てなど	79名	34.3%	2,746名	30.3%
きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど	123名	53.5%	4,907名	54.2%
病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など	45名	19.6%	2,069名	22.9%
その他	27名	11.7%	1,516名	16.7%
無回答	4名	1.7%	189名	2.1%



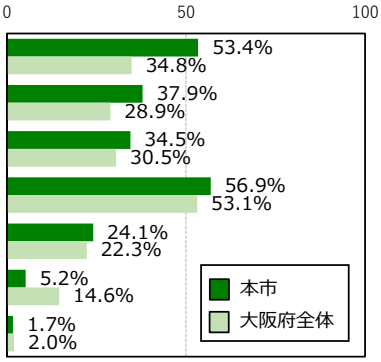
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	172名	100.0%	5,988名	100.0%
料理や買い物、食器洗いなど	72名	41.9%	1,954名	32.6%
洗濯など	57名	33.1%	1,554名	26.0%
そうじやゴミ捨てなど	59名	34.3%	1,810名	30.2%
きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど	90名	52.3%	3,280名	54.8%
病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など	31名	18.0%	1,385名	23.1%
その他	24名	14.0%	1,062名	17.7%
無回答	3名	1.7%	129名	2.2%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	58名	100.0%	3,045名	100.0%
料理や買い物、食器洗いなど	31名	53.4%	1,061名	34.8%
洗濯など	22名	37.9%	879名	28.9%
そうじやゴミ捨てなど	20名	34.5%	928名	30.5%
きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど	33名	56.9%	1,617名	53.1%
病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など	14名	24.1%	678名	22.3%
その他	3名	5.2%	446名	14.6%
無回答	1名	1.7%	60名	2.0%



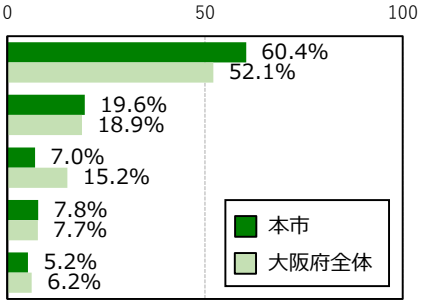
あなたのことについて

問26（５）世話をする頻度

全体は、「ほぼ毎日」が60.4％で最も多く、次いで「週に３日～５日」が19.6％、「１か月に数日」が7.8％、「週に１日または２日」が7.0％となっている。
小学生は、「ほぼ毎日」が61.6％で最も多く、次いで「週に３日～５日」が18.6％、「週に１日または２日」が8.1％、「１か月に数日」が7.6％となっている。
中学生は、「ほぼ毎日」が56.9％で最も多く、次いで「週に３日～５日」が22.4％、「１か月に数日」が8.6％、「週に１日または２日」が3.4％となっている。

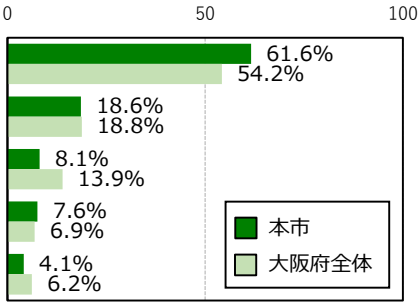
【全体】

	本市		大阪府全体	
	230名	100.0%	9,054名	100.0%
ほぼ毎日	139名	60.4%	4,716名	52.1%
週に３日～５日	45名	19.6%	1,708名	18.9%
週に１日または２日	16名	7.0%	1,375名	15.2%
１か月に数日	18名	7.8%	694名	7.7%
無回答	12名	5.2%	561名	6.2%



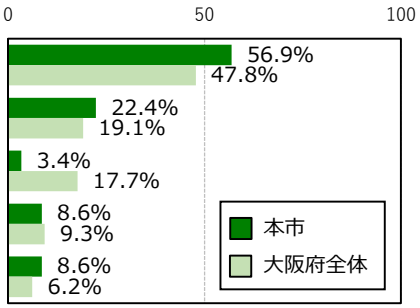
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	172名	100.0%	5,988名	100.0%
ほぼ毎日	106名	61.6%	3,246名	54.2%
週に３日～５日	32名	18.6%	1,125名	18.8%
週に１日または２日	14名	8.1%	832名	13.9%
１か月に数日	13名	7.6%	412名	6.9%
無回答	7名	4.1%	373名	6.2%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	58名	100.0%	3,045名	100.0%
ほぼ毎日	33名	56.9%	1,455名	47.8%
週に３日～５日	13名	22.4%	582名	19.1%
週に１日または２日	2名	3.4%	538名	17.7%
１か月に数日	5名	8.6%	282名	9.3%
無回答	5名	8.6%	188名	6.2%



あなたのことについて

問26（６）学校がある日に世話をする１日の時間

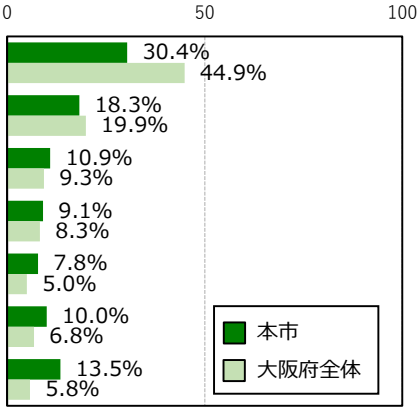
全体は、「１時間より少ない」が30.4％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が18.3％、「２時間以上、３時間より少ない」が10.9％、「７時間より多い」が10.0％となっている。

小学生は、「１時間より少ない」が29.1％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が18.6％、「７時間より多い」が12.2％、「２時間以上、３時間より少ない」、「３時間以上、５時間より少ない」がそれぞれ9.9％となっている。

中学生は、「１時間より少ない」が34.5％で最も多く、次いで「１時間以上、２時間より少ない」が17.2％、「２時間以上、３時間より少ない」が13.8％、「３時間以上、５時間より少ない」が6.9％となっている。

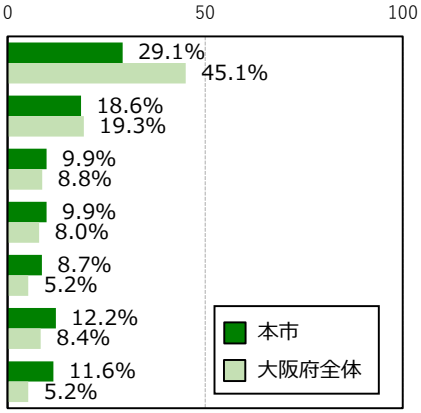
【全体】

	本市		大阪府全体	
	230名	100.0%	9,054名	100.0%
１時間より少ない	70名	30.4%	4,062名	44.9%
１時間以上、２時間より少ない	42名	18.3%	1,805名	19.9%
２時間以上、３時間より少ない	25名	10.9%	843名	9.3%
３時間以上、５時間より少ない	21名	9.1%	751名	8.3%
５時間以上、７時間より少ない	18名	7.8%	450名	5.0%
７時間より多い	23名	10.0%	617名	6.8%
無回答	31名	13.5%	526名	5.8%



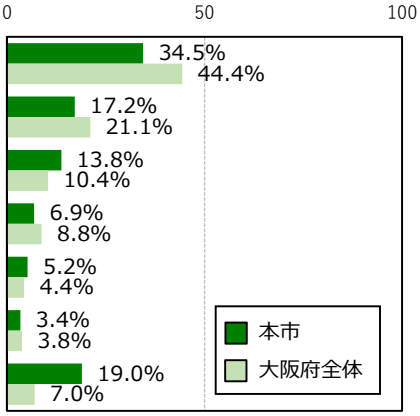
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	172名	100.0%	5,988名	100.0%
１時間より少ない	50名	29.1%	2,700名	45.1%
１時間以上、２時間より少ない	32名	18.6%	1,156名	19.3%
２時間以上、３時間より少ない	17名	9.9%	525名	8.8%
３時間以上、５時間より少ない	17名	9.9%	482名	8.0%
５時間以上、７時間より少ない	15名	8.7%	314名	5.2%
７時間より多い	21名	12.2%	500名	8.4%
無回答	20名	11.6%	311名	5.2%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	58名	100.0%	3,045名	100.0%
１時間より少ない	20名	34.5%	1,353名	44.4%
１時間以上、２時間より少ない	10名	17.2%	644名	21.1%
２時間以上、３時間より少ない	8名	13.8%	316名	10.4%
３時間以上、５時間より少ない	4名	6.9%	267名	8.8%
５時間以上、７時間より少ない	3名	5.2%	135名	4.4%
７時間より多い	2名	3.4%	116名	3.8%
無回答	11名	19.0%	214名	7.0%



あなたのことについて

問26（７）世話をしていることの影響

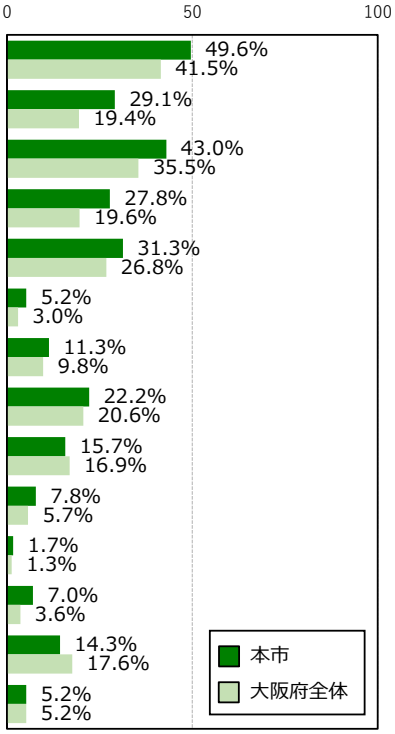
全体は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が49.6%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が43.0%、「「お世話」にやりがいを感じる」が31.3%、「時間の使い方を工夫できる」が29.1%、となっている。

小学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が52.9%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が46.5%、「「お世話」にやりがいを感じる」が34.9%、「おうちの人が健康に過ごすことができる」が31.4%となっている。

中学生は、「おうちの人と話したり遊んだりすることが増える」が39.7%で最も多く、次いで「家の中で気持ちよく過ごすことができる」が32.8%、「時間の使い方を工夫できる」が25.9%、「「お世話」にやりがいを感じる」が20.7%となっている。

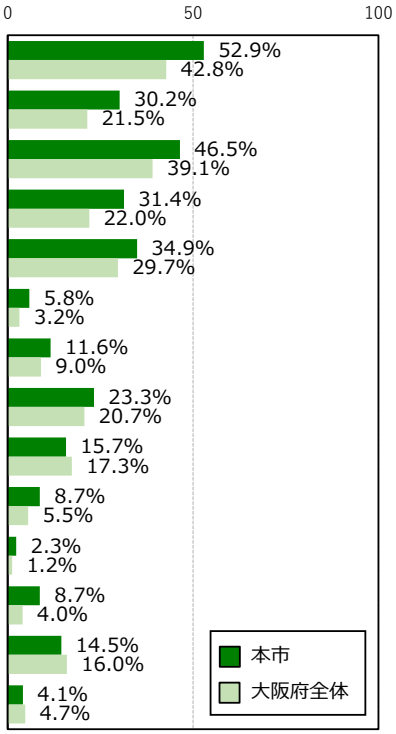
【全体】

	本市		大阪府全体	
	230名	100.0%	9,054名	100.0%
おうちの人と話したり遊んだりすることが増える	114名	49.6%	3,756名	41.5%
時間の使い方を工夫できる	67名	29.1%	1,754名	19.4%
家の中で気持ちよく過ごすことができる	99名	43.0%	3,214名	35.5%
おうちの人が健康に過ごすことができる	64名	27.8%	1,778名	19.6%
「お世話」にやりがいを感じる	72名	31.3%	2,422名	26.8%
おうちの人以外と話す時間が減る	12名	5.2%	273名	3.0%
自分のことをする時間がない	26名	11.3%	883名	9.8%
とても疲れることがある	51名	22.2%	1,862名	20.6%
いらいらしやすい	36名	15.7%	1,534名	16.9%
気持ちが落ち込む	18名	7.8%	513名	5.7%
学校を欠席や遅刻、早退することがある	4名	1.7%	114名	1.3%
その他	16名	7.0%	326名	3.6%
特にない	33名	14.3%	1,594名	17.6%
無回答	12名	5.2%	471名	5.2%



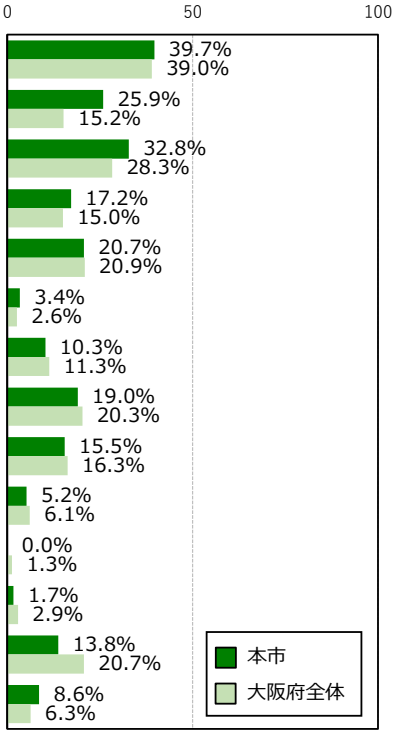
【小学生】

	本市		大阪府全体	
	172名	100.0%	5,988名	100.0%
おうちの人と話したり遊んだりすることが増える	91名	52.9%	2,560名	42.8%
時間の使い方を工夫できる	52名	30.2%	1,289名	21.5%
家の中で気持ちよく過ごすことができる	80名	46.5%	2,343名	39.1%
おうちの人が健康に過ごすことができる	54名	31.4%	1,318名	22.0%
「お世話」にやりがいを感じる	60名	34.9%	1,778名	29.7%
おうちの人以外と話す時間が減る	10名	5.8%	193名	3.2%
自分のことをする時間がない	20名	11.6%	537名	9.0%
とても疲れることがある	40名	23.3%	1,242名	20.7%
いらいらしやすい	27名	15.7%	1,033名	17.3%
気持ちが落ち込む	15名	8.7%	327名	5.5%
学校を欠席や遅刻、早退することがある	4名	2.3%	74名	1.2%
その他	15名	8.7%	237名	4.0%
特にない	25名	14.5%	958名	16.0%
無回答	7名	4.1%	280名	4.7%



【中学生】

	本市		大阪府全体	
	58名	100.0%	3,045名	100.0%
おうちの人と話したり遊んだりすることが増える	23名	39.7%	1,189名	39.0%
時間の使い方を工夫できる	15名	25.9%	462名	15.2%
家の中で気持ちよく過ごすことができる	19名	32.8%	861名	28.3%
おうちの人が健康に過ごすことができる	10名	17.2%	457名	15.0%
「お世話」にやりがいを感じる	12名	20.7%	637名	20.9%
おうちの人以外と話す時間が減る	2名	3.4%	79名	2.6%
自分のことをする時間がない	6名	10.3%	345名	11.3%
とても疲れることがある	11名	19.0%	617名	20.3%
いらいらしやすい	9名	15.5%	495名	16.3%
気持ちが落ち込む	3名	5.2%	185名	6.1%
学校を欠席や遅刻、早退することがある	－	－	40名	1.3%
その他	1名	1.7%	88名	2.9%
特にない	8名	13.8%	631名	20.7%
無回答	5名	8.6%	191名	6.3%



２．単純集計結果〔保護者〕

大阪狭山市

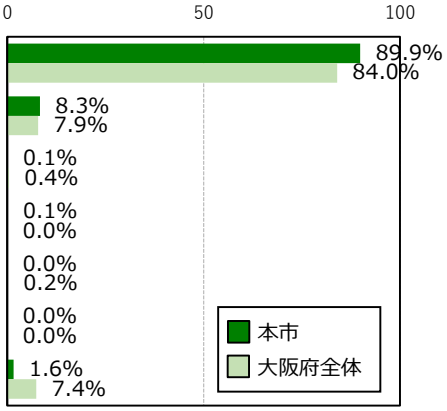
子どもとの関係について

問１　子どもとの続柄

保護者全体は、「お母さん」が89.9%で最も多く、次いで「お父さん」が8.3%となっている。
小学生の保護者は、「お母さん」が89.9%で最も多く、次いで「お父さん」が8.4%となっている。
中学生の保護者は、「お母さん」が89.5%で最も多く、次いで「お父さん」が8.2%となっている。

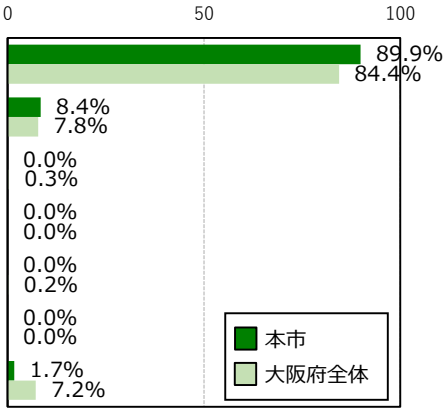
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,358名	100.0%
お母さん	686名	89.9%	36,436名	84.0%
お父さん	63名	8.3%	3,426名	7.9%
おじいさん・おばあさん	1名	0.1%	154名	0.4%
おじ、おばなど親戚	1名	0.1%	15名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	91名	0.2%
その他の人	-	-	14名	0.0%
無回答	12名	1.6%	3,222名	7.4%



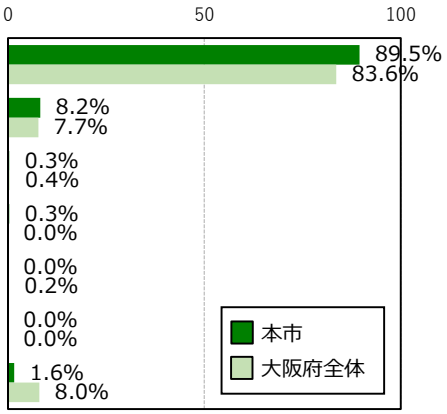
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,819名	100.0%
お母さん	365名	89.9%	19,261名	84.4%
お父さん	34名	8.4%	1,776名	7.8%
おじいさん・おばあさん	-	-	75名	0.3%
おじ、おばなど親戚	-	-	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	47名	0.2%
その他の人	-	-	3名	0.0%
無回答	7名	1.7%	1,650名	7.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,390名	100.0%
お母さん	274名	89.5%	16,208名	83.6%
お父さん	25名	8.2%	1,488名	7.7%
おじいさん・おばあさん	1名	0.3%	77名	0.4%
おじ、おばなど親戚	1名	0.3%	7名	0.0%
施設職員・ファミリーホーム・里親	-	-	44名	0.2%
その他の人	-	-	8名	0.0%
無回答	5名	1.6%	1,558名	8.0%



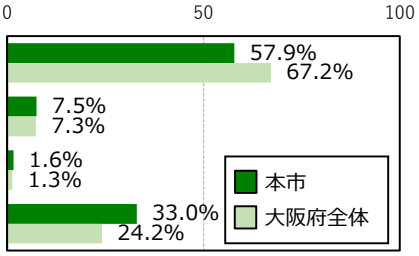
世帯の状況について

問２　世帯構成　①おばあさん

保護者全体は、「いない」が57.9%で最も多く、次いで「１人」が7.5%、「２人」が1.6%となっている。
小学生の保護者は、「いない」が57.1%で最も多く、次いで「１人」が8.1%、「２人」が1.5%となっている。
中学生の保護者は、「いない」が59.2%で最も多く、次いで「１人」が6.9%、「２人」が1.3%となっている。

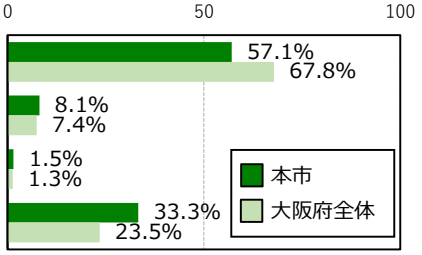
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	442名	57.9%	29,081名	67.2%
１人	57名	7.5%	3,181名	7.3%
２人	12名	1.6%	555名	1.3%
無回答	252名	33.0%	10,483名	24.2%



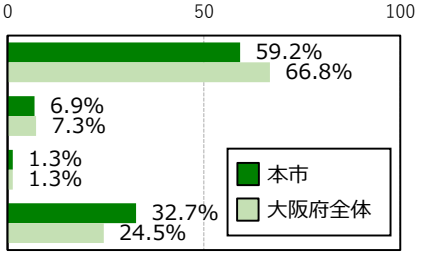
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	232名	57.1%	15,456名	67.8%
１人	33名	8.1%	1,681名	7.4%
２人	6名	1.5%	286名	1.3%
無回答	135名	33.3%	5,363名	23.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	181名	59.2%	12,942名	66.8%
１人	21名	6.9%	1,422名	7.3%
２人	4名	1.3%	257名	1.3%
無回答	100名	32.7%	4,744名	24.5%



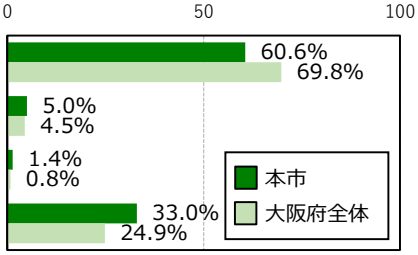
世帯の状況について

問２　世帯構成　②おじいさん

保護者全体は、「いない」が60.6％で最も多く、次いで「１人」が5.0％、「２人」が1.4％となっている。
小学生の保護者は、「いない」が58.9％で最も多く、次いで「１人」が6.7％、「２人」が1.5％となっている。
中学生の保護者は、「いない」が62.4％で最も多く、次いで「１人」が3.3％、「２人」が1.3％となっている。

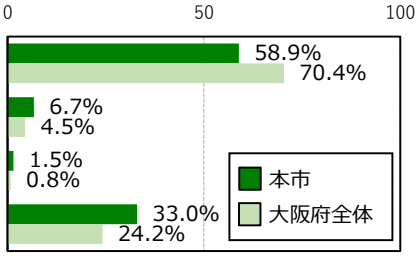
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	462名	60.6%	30,230名	69.8%
１人	38名	5.0%	1,932名	4.5%
２人	11名	1.4%	340名	0.8%
無回答	252名	33.0%	10,798名	24.9%



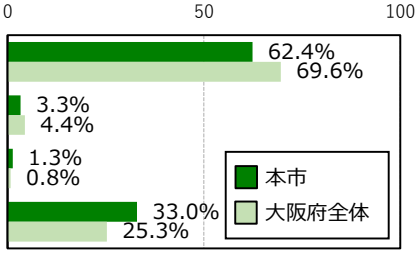
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	239名	58.9%	16,050名	70.4%
１人	27名	6.7%	1,031名	4.5%
２人	6名	1.5%	186名	0.8%
無回答	134名	33.0%	5,519名	24.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	191名	62.4%	13,474名	69.6%
１人	10名	3.3%	853名	4.4%
２人	4名	1.3%	148名	0.8%
無回答	101名	33.0%	4,890名	25.3%



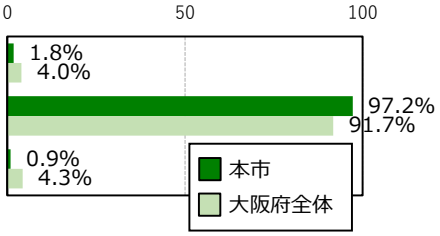
世帯の状況について

問２　世帯構成　③お母さん

保護者全体は、「いない」が1.8%、「１人」が97.2%となっている。
小学生の保護者は、「いない」が1.0%、「１人」が98.5%となっている。
中学生の保護者は、「いない」が2.6%、「１人」が96.4%となっている。

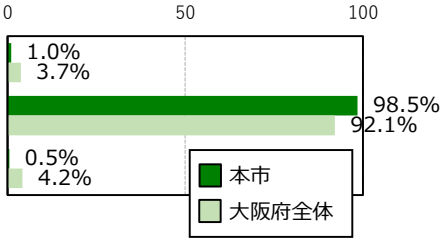
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	14名	1.8%	1,729名	4.0%
１人	742名	97.2%	39,706名	91.7%
無回答	7名	0.9%	1,865名	4.3%



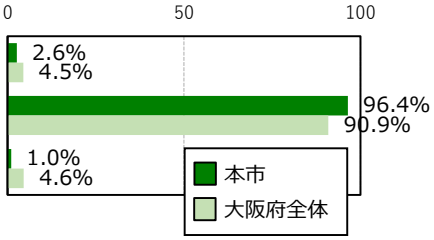
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	4名	1.0%	841名	3.7%
１人	400名	98.5%	20,990名	92.1%
無回答	2名	0.5%	955名	4.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	8名	2.6%	872名	4.5%
１人	295名	96.4%	17,597名	90.9%
無回答	3名	1.0%	896名	4.6%



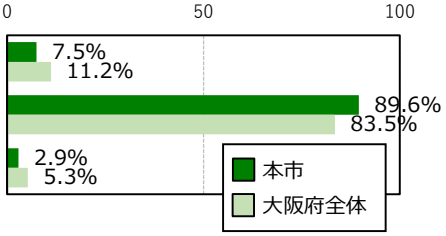
世帯の状況について

問２　世帯構成　④お父さん

保護者全体は、「いない」が7.5%、「１人」が89.6%となっている。
小学生の保護者は、「いない」が6.4%、「１人」が90.6%となっている。
中学生の保護者は、「いない」が8.8%、「１人」が87.9%となっている。

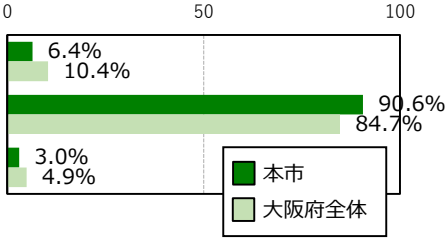
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	57名	7.5%	4,852名	11.2%
１人	684名	89.6%	36,166名	83.5%
無回答	22名	2.9%	2,282名	5.3%



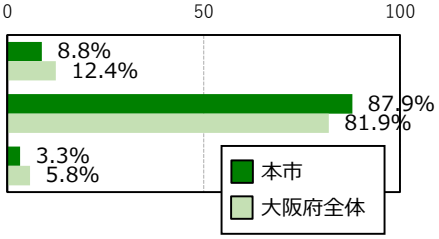
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	26名	6.4%	2,372名	10.4%
１人	368名	90.6%	19,301名	84.7%
無回答	12名	3.0%	1,113名	4.9%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	27名	8.8%	2,394名	12.4%
１人	269名	87.9%	15,852名	81.9%
無回答	10名	3.3%	1,119名	5.8%



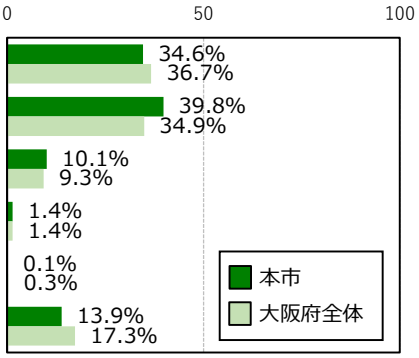
世帯の状況について

問２　世帯構成　⑤姉・兄

保護者全体は、「１人」が39.8％で最も多く、次いで「いない」が34.6％、「２人」が10.1％、「３人」が1.4％となっている。
小学生の保護者は、「１人」が40.6％で最も多く、次いで「いない」が33.0％、「２人」が9.9％、「３人」が2.0％となっている。
中学生の保護者は、「１人」が38.9％で最も多く、次いで「いない」が35.9％、「２人」が10.5％となっている。

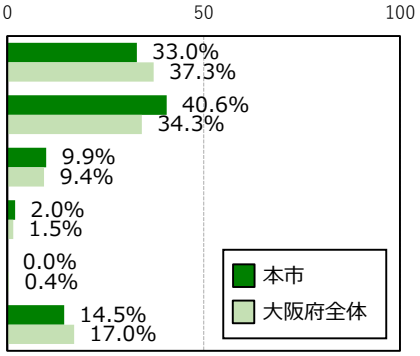
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	264名	34.6%	15,909名	36.7%
１人	304名	39.8%	15,123名	34.9%
２人	77名	10.1%	4,039名	9.3%
３人	11名	1.4%	601名	1.4%
４人以上	1名	0.1%	145名	0.3%
無回答	106名	13.9%	7,483名	17.3%



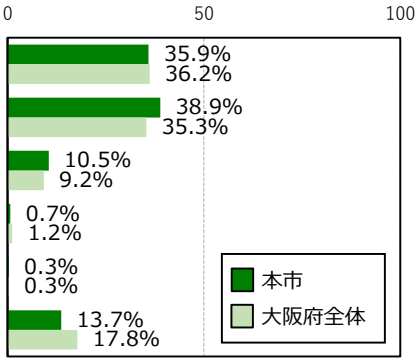
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	134名	33.0%	8,507名	37.3%
１人	165名	40.6%	7,823名	34.3%
２人	40名	9.9%	2,148名	9.4%
３人	8名	2.0%	350名	1.5%
４人以上	－	－	90名	0.4%
無回答	59名	14.5%	3,868名	17.0%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	110名	35.9%	7,016名	36.2%
１人	119名	38.9%	6,827名	35.3%
２人	32名	10.5%	1,782名	9.2%
３人	2名	0.7%	239名	1.2%
４人以上	1名	0.3%	50名	0.3%
無回答	42名	13.7%	3,451名	17.8%



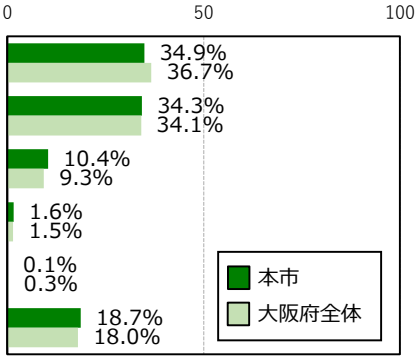
世帯の状況について

問２　世帯構成　⑥妹・弟

保護者全体は、「いない」が34.9％で最も多く、次いで「１人」が34.3％、「２人」が10.4％、「３人」が1.6％となっている。
小学生の保護者は、「いない」が36.7％で最も多く、次いで「１人」が31.3％、「２人」が11.8％、「３人」が1.7％となっている。
中学生の保護者は、「１人」が38.2％で最も多く、次いで「いない」が33.0％、「２人」が8.2％、「３人」が1.6％となっている。

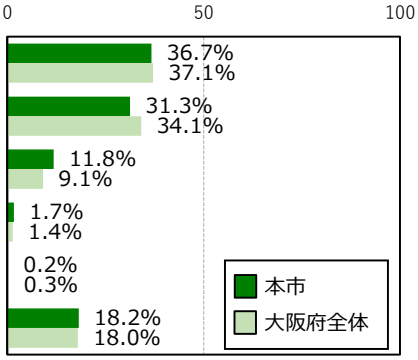
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	266名	34.9%	15,898名	36.7%
１人	262名	34.3%	14,782名	34.1%
２人	79名	10.4%	4,028名	9.3%
３人	12名	1.6%	655名	1.5%
４人以上	1名	0.1%	139名	0.3%
無回答	143名	18.7%	7,798名	18.0%



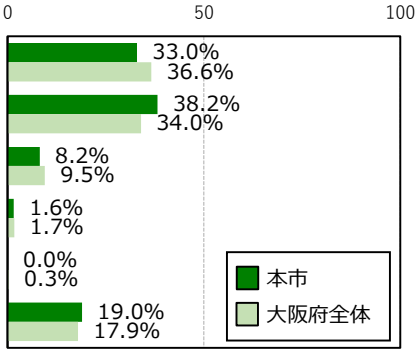
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	149名	36.7%	8,462名	37.1%
１人	127名	31.3%	7,772名	34.1%
２人	48名	11.8%	2,067名	9.1%
３人	7名	1.7%	314名	1.4%
４人以上	1名	0.2%	64名	0.3%
無回答	74名	18.2%	4,107名	18.0%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	101名	33.0%	7,085名	36.6%
１人	117名	38.2%	6,586名	34.0%
２人	25名	8.2%	1,846名	9.5%
３人	5名	1.6%	320名	1.7%
４人以上	－	－	66名	0.3%
無回答	58名	19.0%	3,462名	17.9%



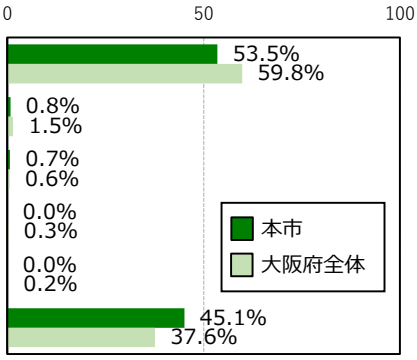
世帯の状況について

問２　世帯構成　⑦その他

保護者全体は、「いない」が53.5%で最も多くなっている。
小学生の保護者は、「いない」が51.5%で最も多く、次いで「１人」が1.2%となっている。
中学生の保護者は、「いない」が55.6%で最も多く、次いで「２人」が1.0%となっている。

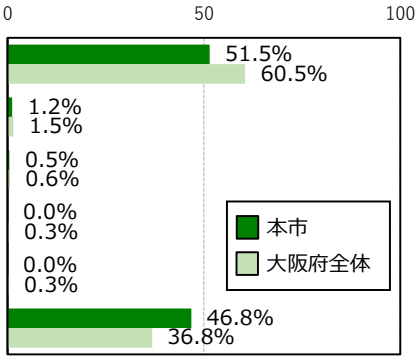
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	408名	53.5%	25,890名	59.8%
１人	6名	0.8%	628名	1.5%
２人	5名	0.7%	261名	0.6%
３人	－	－	133名	0.3%
４人以上	－	－	98名	0.2%
無回答	344名	45.1%	16,290名	37.6%



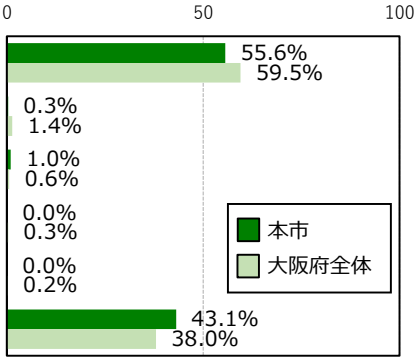
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	209名	51.5%	13,780名	60.5%
１人	5名	1.2%	347名	1.5%
２人	2名	0.5%	139名	0.6%
３人	－	－	73名	0.3%
４人以上	－	－	59名	0.3%
無回答	190名	46.8%	8,388名	36.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	170名	55.6%	11,529名	59.5%
１人	1名	0.3%	275名	1.4%
２人	3名	1.0%	119名	0.6%
３人	－	－	55名	0.3%
４人以上	－	－	36名	0.2%
無回答	132名	43.1%	7,351名	38.0%



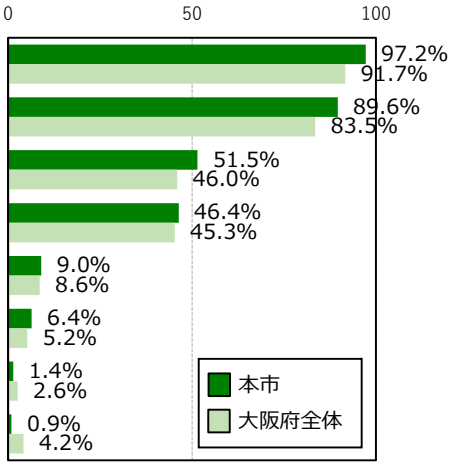
世帯の状況について

問２　世帯構成　＜世帯員の続柄＞

保護者全体は、「お母さん」が97.2％で最も多く、次いで「お父さん」が89.6％、「姉・兄」が51.5％、「妹・弟」が46.4％となっている。
小学生の保護者は、「お母さん」が98.5％で最も多く、次いで「お父さん」が90.6％、「姉・兄」が52.5％、「妹・弟」が45.1％となっている。
中学生の保護者は、「お母さん」が96.4％で最も多く、次いで「お父さん」が87.9％、「姉・兄」が50.3％、「妹・弟」が48.0％となっている。

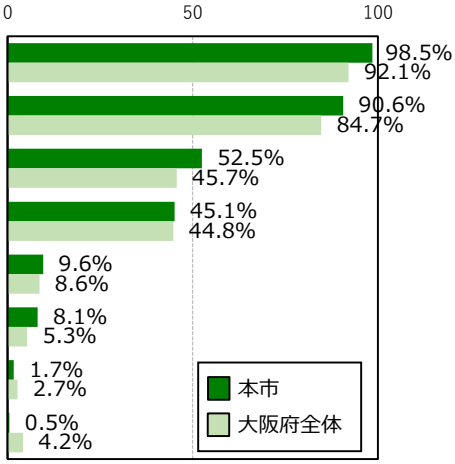
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
お母さん	742名	97.2%	39,706名	91.7%
お父さん	684名	89.6%	36,166名	83.5%
姉・兄	393名	51.5%	19,908名	46.0%
妹・弟	354名	46.4%	19,604名	45.3%
おばあさん	69名	9.0%	3,736名	8.6%
おじいさん	49名	6.4%	2,272名	5.2%
その他	11名	1.4%	1,120名	2.6%
無回答	7名	0.9%	1,839名	4.2%



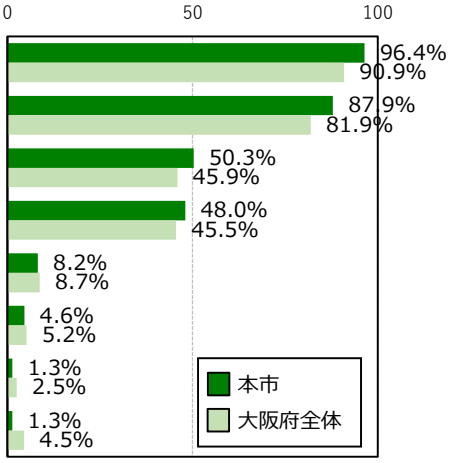
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
お母さん	400名	98.5%	20,990名	92.1%
お父さん	368名	90.6%	19,301名	84.7%
姉・兄	213名	52.5%	10,411名	45.7%
妹・弟	183名	45.1%	10,217名	44.8%
おばあさん	39名	9.6%	1,967名	8.6%
おじいさん	33名	8.1%	1,217名	5.3%
その他	7名	1.7%	618名	2.7%
無回答	2名	0.5%	953名	4.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
お母さん	295名	96.4%	17,597名	90.9%
お父さん	269名	87.9%	15,852名	81.9%
姉・兄	154名	50.3%	8,898名	45.9%
妹・弟	147名	48.0%	8,818名	45.5%
おばあさん	25名	8.2%	1,679名	8.7%
おじいさん	14名	4.6%	1,001名	5.2%
その他	4名	1.3%	485名	2.5%
無回答	4名	1.3%	876名	4.5%



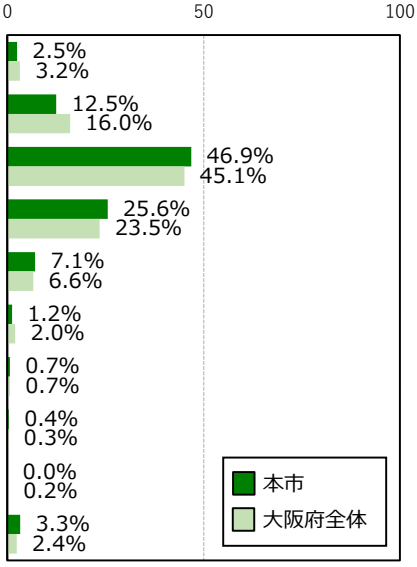
世帯の状況について

問２　世帯構成　⑧世帯人数

保護者全体は、「４人」が46.9%で最も多く、次いで「５人」が25.6%、「３人」が12.5%、「６人」が7.1%となっている。
小学生の保護者は、「４人」が46.3%で最も多く、次いで「５人」が25.1%、「３人」が12.1%、「６人」が8.4%となっている。
中学生の保護者は、「４人」が48.0%で最も多く、次いで「５人」が26.1%、「３人」が12.7%、「６人」が5.2%となっている。

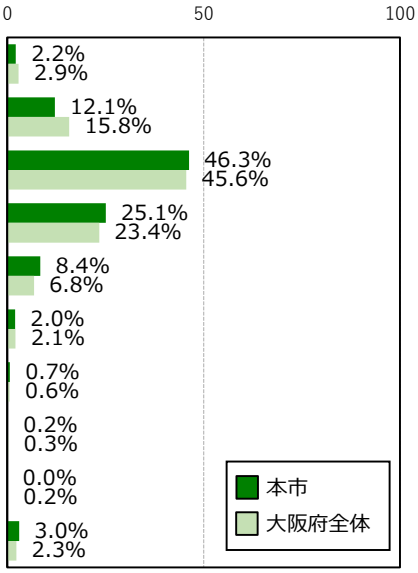
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
２人	19名	2.5%	1,367名	3.2%
３人	95名	12.5%	6,918名	16.0%
４人	358名	46.9%	19,537名	45.1%
	195名	25.6%	10,172名	23.5%
６人	54名	7.1%	2,865名	6.6%
７人	9名	1.2%	877名	2.0%
８人	5名	0.7%	319名	0.7%
９人	3名	0.4%	112名	0.3%
10人以上	－	－	96名	0.2%
無回答	25名	3.3%	1,037名	2.4%



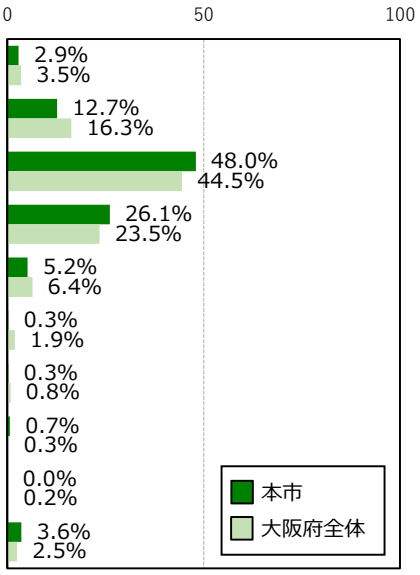
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
２人	9名	2.2%	658名	2.9%
３人	49名	12.1%	3,609名	15.8%
４人	188名	46.3%	10,388名	45.6%
５人	102名	25.1%	5,323名	23.4%
６人	34名	8.4%	1,543名	6.8%
７人	8名	2.0%	481名	2.1%
８人	3名	0.7%	147名	0.6%
９人	1名	0.2%	60名	0.3%
10人以上	－	－	50名	0.2%
無回答	12名	3.0%	527名	2.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
２人	9名	2.9%	680名	3.5%
３人	39名	12.7%	3,151名	16.3%
４人	147名	48.0%	8,626名	44.5%
５人	80名	26.1%	4,559名	23.5%
６人	16名	5.2%	1,237名	6.4%
７人	1名	0.3%	377名	1.9%
８人	1名	0.3%	161名	0.8%
９人	2名	0.7%	50名	0.3%
10人以上	－	－	45名	0.2%
無回答	11名	3.6%	479名	2.5%



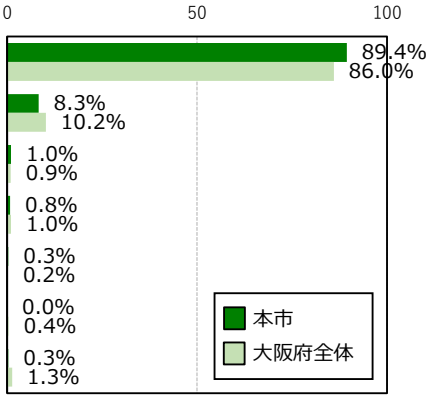
世帯の状況について

問３　親の婚姻状況

保護者全体は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が89.4％で最も多く、次いで「離婚」が8.3％、「死別」が1.0％となっている。
小学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が90.1％で最も多く、次いで「離婚」が7.4％、「死別」が1.0％となっている。
中学生の保護者は、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が88.6％で最も多く、次いで「離婚」が9.2％、「死別」、「未婚」がそれぞれ1.0％となっている。

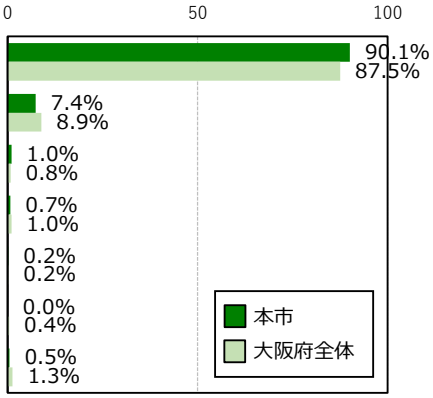
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	682名	89.4%	37,253名	86.0%
離婚	63名	8.3%	4,407名	10.2%
死別	8名	1.0%	400名	0.9%
未婚	6名	0.8%	412名	1.0%
わからない	2名	0.3%	77名	0.2%
いない	－	－	177名	0.4%
無回答	2名	0.3%	574名	1.3%



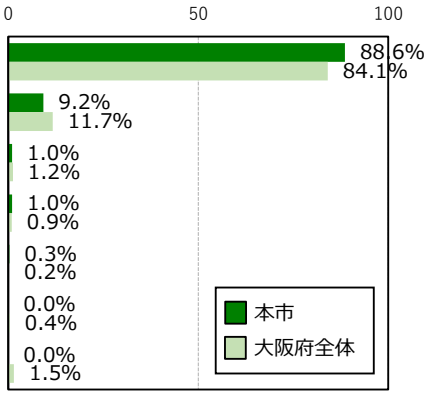
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	366名	90.1%	19,949名	87.5%
離婚	30名	7.4%	2,030名	8.9%
死別	4名	1.0%	172名	0.8%
未婚	3名	0.7%	224名	1.0%
わからない	1名	0.2%	39名	0.2%
いない	－	－	84名	0.4%
無回答	2名	0.5%	288名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
結婚している（再婚や事実婚を含む。）	271名	88.6%	16,290名	84.1%
離婚	28名	9.2%	2,273名	11.7%
死別	3名	1.0%	223名	1.2%
未婚	3名	1.0%	181名	0.9%
わからない	1名	0.3%	34名	0.2%
いない	－	－	82名	0.4%
無回答	－	－	282名	1.5%



世帯の状況について

問４　離婚相手との養育費の取り決めや受け取り

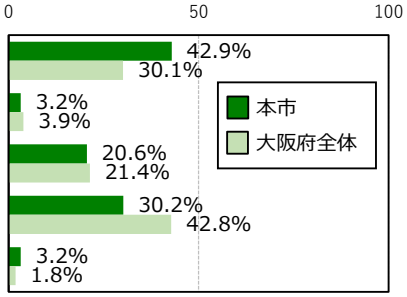
保護者全体は、「取り決めをしており、受け取っている」が42.9%で最も多く、次いで「取り決めをしておらず、受け取っていない」が30.2%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が20.6%、「特に取り決めはしていないが、受け取っている」が3.2%となっている。

小学生の保護者は、「取り決めをしており、受け取っている」が53.3%（16名）で最も多く、次いで「取り決めをしているが、受け取っていない」、「取り決めをしておらず、受け取っていない」がそれぞれ20.0%（6名）となっている。

中学生の保護者は、「取り決めをしており、受け取っている」、「取り決めをしておらず、受け取っていない」がそれぞれ35.7%（10名）で最も多く、次いで「取り決めをしているが、受け取っていない」が21.4%（6名）、「特に取り決めはしていないが、受け取っている」が7.1%（2名）となっている。

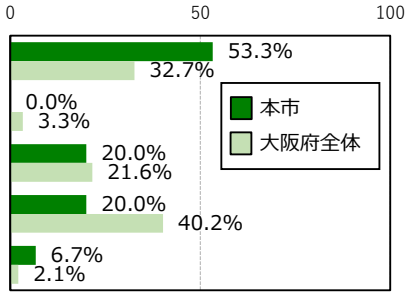
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	63名	100.0%	4,407名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	27名	42.9%	1,325名	30.1%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	2名	3.2%	174名	3.9%
取り決めをしているが、受け取っていない	13名	20.6%	941名	21.4%
取り決めをしておらず、受け取っていない	19名	30.2%	1,888名	42.8%
無回答	2名	3.2%	79名	1.8%



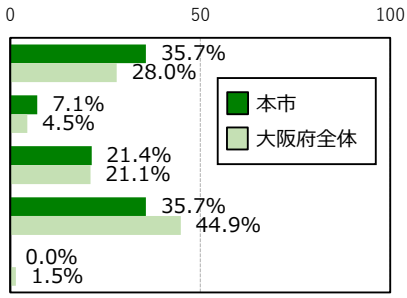
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	30名	100.0%	2,030名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	16名	53.3%	664名	32.7%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	－	－	68名	3.3%
取り決めをしているが、受け取っていない	6名	20.0%	438名	21.6%
取り決めをしておらず、受け取っていない	6名	20.0%	817名	40.2%
無回答	2名	6.7%	43名	2.1%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	28名	100.0%	2,273名	100.0%
取り決めをしており、受け取っている	10名	35.7%	636名	28.0%
特に取り決めはしていないが、受け取っている	2名	7.1%	103名	4.5%
取り決めをしているが、受け取っていない	6名	21.4%	479名	21.1%
取り決めをしておらず、受け取っていない	10名	35.7%	1,020名	44.9%
無回答	－	－	35名	1.5%



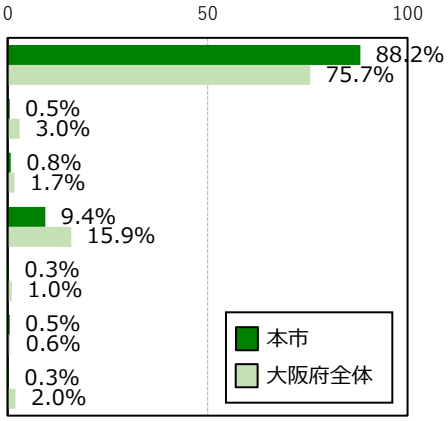
世帯の状況について

問５　住居形態

保護者全体は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が88.2%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が9.4%となっている。
小学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が88.9%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が8.6%となっている。
中学生の保護者は、「持ち家（親・きょうだいの名義を含む）」が87.6%で最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が10.1%、「ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅」が1.0%となっている。

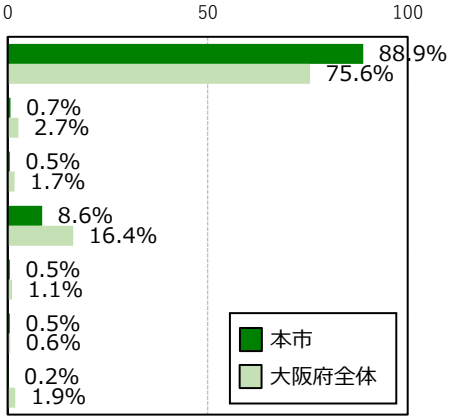
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	673名	88.2%	32,784名	75.7%
府営・市営の住宅	4名	0.5%	1,316名	3.0%
ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅	6名	0.8%	752名	1.7%
民間の賃貸住宅	72名	9.4%	6,890名	15.9%
官舎・社宅	2名	0.3%	438名	1.0%
その他	4名	0.5%	257名	0.6%
無回答	2名	0.3%	863名	2.0%



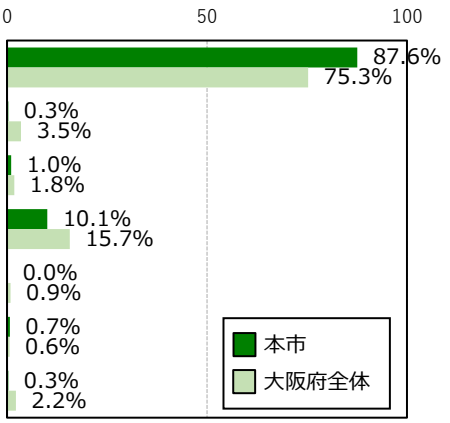
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	361名	88.9%	17,221名	75.6%
府営・市営の住宅	3名	0.7%	620名	2.7%
ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅	2名	0.5%	386名	1.7%
民間の賃貸住宅	35名	8.6%	3,738名	16.4%
官舎・社宅	2名	0.5%	255名	1.1%
その他	2名	0.5%	129名	0.6%
無回答	1名	0.2%	437名	1.9%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
持ち家（親・きょうだいの名義を含む）	268名	87.6%	14,585名	75.3%
府営・市営の住宅	1名	0.3%	676名	3.5%
ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅	3名	1.0%	356名	1.8%
民間の賃貸住宅	31名	10.1%	3,036名	15.7%
官舎・社宅	－	－	171名	0.9%
その他	2名	0.7%	121名	0.6%
無回答	1名	0.3%	420名	2.2%



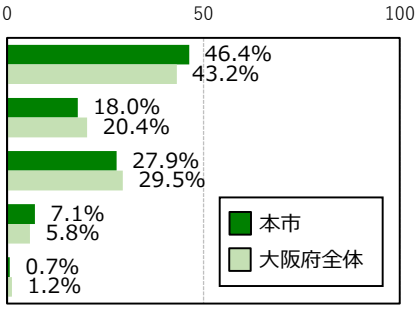
世帯の状況について

問６（１）家計の状況

保護者全体は、「貯蓄ができている」が46.4％で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が27.9％、「赤字である」が18.0％となっている。
小学生の保護者は、「貯蓄ができている」が46.8％で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が27.8％、「赤字である」が17.0％となっている。
中学生の保護者は、「貯蓄ができている」が47.1％で最も多く、次いで「赤字でもなく黒字でもない」が26.1％、「赤字である」が18.6％となっている。

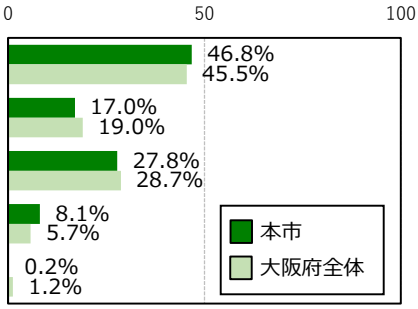
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
貯蓄ができている	354名	46.4%	18,686名	43.2%
赤字である	137名	18.0%	8,818名	20.4%
赤字でもなく黒字でもない	213名	27.9%	12,767名	29.5%
わからない	54名	7.1%	2,523名	5.8%
無回答	5名	0.7%	506名	1.2%



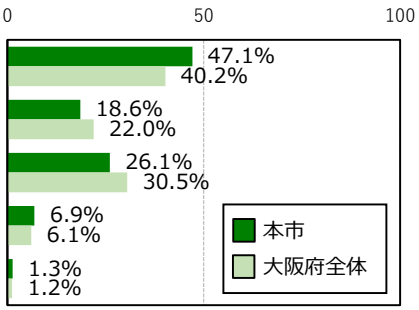
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
貯蓄ができている	190名	46.8%	10,376名	45.5%
赤字である	69名	17.0%	4,319名	19.0%
赤字でもなく黒字でもない	113名	27.8%	6,535名	28.7%
わからない	33名	8.1%	1,292名	5.7%
無回答	1名	0.2%	264名	1.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
貯蓄ができている	144名	47.1%	7,790名	40.2%
赤字である	57名	18.6%	4,255名	22.0%
赤字でもなく黒字でもない	80名	26.1%	5,912名	30.5%
わからない	21名	6.9%	1,173名	6.1%
無回答	4名	1.3%	235名	1.2%



世帯の状況について

問６（２）子どもの将来のための貯蓄状況

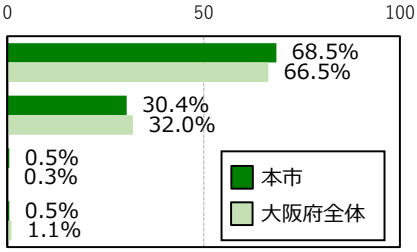
保護者全体は、「貯蓄をしている」が68.5％で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が30.4％となっている。

小学生の保護者は、「貯蓄をしている」が70.0％で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が29.1％となっている。

中学生の保護者は、「貯蓄をしている」が67.6％で最も多く、次いで「貯蓄をしたいが、できていない」が31.4％となっている。

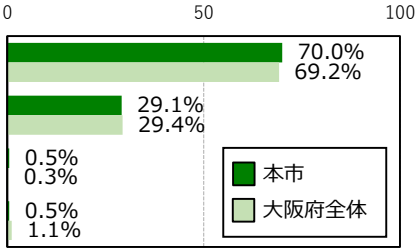
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
貯蓄をしている	523名	68.5%	28,802名	66.5%
貯蓄をしたいが、できていない	232名	30.4%	13,877名	32.0%
貯蓄をするつもりはない	4名	0.5%	138名	0.3%
無回答	4名	0.5%	483名	1.1%



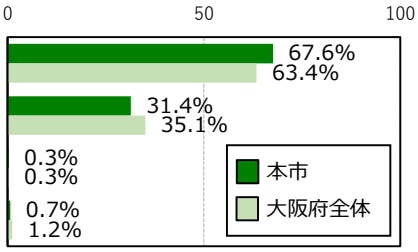
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
貯蓄をしている	284名	70.0%	15,765名	69.2%
貯蓄をしたいが、できていない	118名	29.1%	6,698名	29.4%
貯蓄をするつもりはない	2名	0.5%	74名	0.3%
無回答	2名	0.5%	249名	1.1%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
貯蓄をしている	207名	67.6%	12,277名	63.4%
貯蓄をしたいが、できていない	96名	31.4%	6,798名	35.1%
貯蓄をするつもりはない	1名	0.3%	63名	0.3%
無回答	2名	0.7%	227名	1.2%



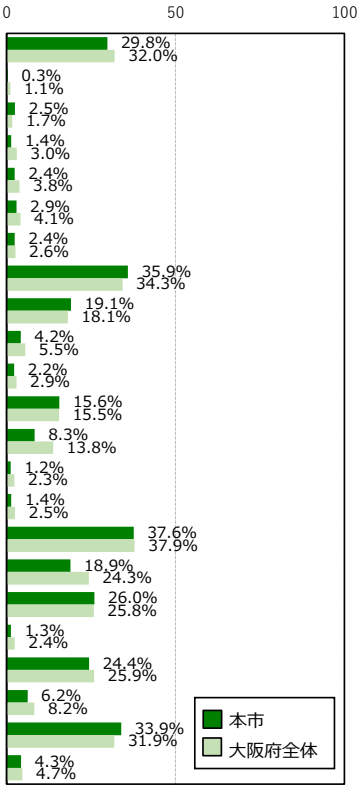
世帯の状況について

問７　経済的な理由による経験

保護者全体は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が37.6％で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が35.9％、「どれもあてはまらない」が33.9％、「食費を切りつめた」が29.8％となっている。
小学生の保護者は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が40.4％で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が35.5％、「どれもあてはまらない」が33.5％、「食費を切りつめた」が27.8％となっている。
中学生の保護者は、「どれもあてはまらない」が35.9％で最も多く、次いで「新しい衣服・靴を買うのを控えた」が35.3％、「趣味やレジャーの出費を減らした」が32.0％、「食費を切りつめた」が31.0％となっている。

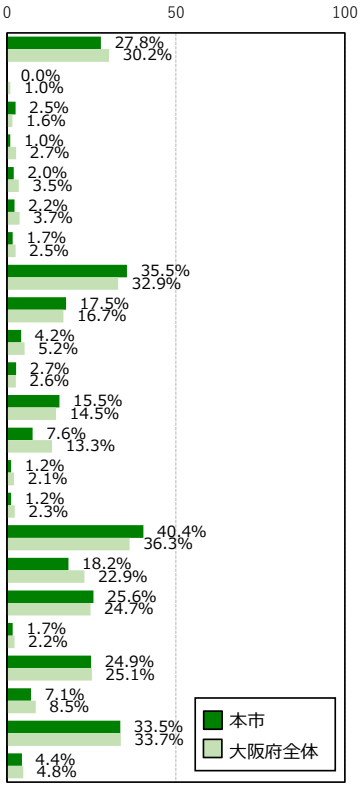
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
食費を切りつめた	227名	29.8%	13,842名	32.0%
電気・ガス・水道などが止められた	2名	0.3%	479名	1.1%
医療機関を受診できなかった	19名	2.5%	731名	1.7%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	11名	1.4%	1,281名	3.0%
国民年金の支払いが滞ったことがある	18名	2.4%	1,659名	3.8%
金融機関などに借金をしたことがある	22名	2.9%	1,781名	4.1%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	18名	2.4%	1,138名	2.6%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	274名	35.9%	14,859名	34.3%
新聞や雑誌を買うのを控えた	146名	19.1%	7,839名	18.1%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	32名	4.2%	2,378名	5.5%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	17名	2.2%	1,241名	2.9%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	119名	15.6%	6,729名	15.5%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	63名	8.3%	5,976名	13.8%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	9名	1.2%	1,000名	2.3%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	11名	1.4%	1,064名	2.5%
趣味やレジャーの出費を減らした	287名	37.6%	16,416名	37.9%
冷暖房の使用を控えた	144名	18.9%	10,541名	24.3%
友人・知人との外食を控えた	198名	26.0%	11,177名	25.8%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	10名	1.3%	1,031名	2.4%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	186名	24.4%	11,196名	25.9%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	47名	6.2%	3,568名	8.2%
どれもあてはまらない	259名	33.9%	13,812名	31.9%
無回答	33名	4.3%	2,053名	4.7%



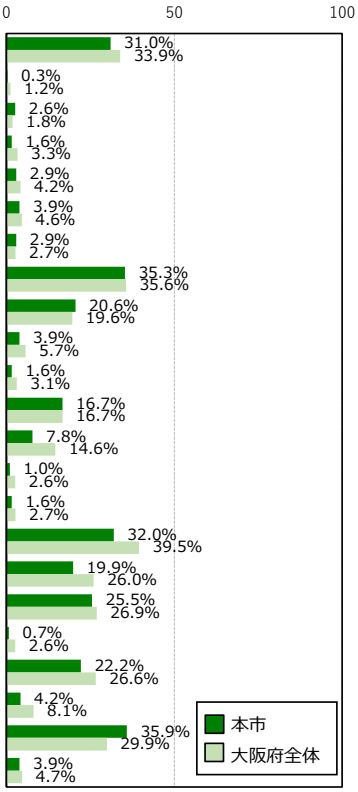
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
食費を切りつめた	113名	27.8%	6,880名	30.2%
電気・ガス・水道などが止められた	－	－	227名	1.0%
医療機関を受診できなかった	10名	2.5%	357名	1.6%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	4名	1.0%	609名	2.7%
国民年金の支払いが滞ったことがある	8名	2.0%	805名	3.5%
金融機関などに借金をしたことがある	9名	2.2%	837名	3.7%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	7名	1.7%	562名	2.5%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	144名	35.5%	7,507名	32.9%
新聞や雑誌を買うのを控えた	71名	17.5%	3,815名	16.7%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	17名	4.2%	1,194名	5.2%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	11名	2.7%	600名	2.6%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	63名	15.5%	3,296名	14.5%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	31名	7.6%	3,025名	13.3%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	5名	1.2%	475名	2.1%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	5名	1.2%	517名	2.3%
趣味やレジャーの出費を減らした	164名	40.4%	8,281名	36.3%
冷暖房の使用を控えた	74名	18.2%	5,226名	22.9%
友人・知人との外食を控えた	104名	25.6%	5,618名	24.7%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	7名	1.7%	503名	2.2%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	101名	24.9%	5,727名	25.1%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	29名	7.1%	1,927名	8.5%
どれもあてはまらない	136名	33.5%	7,672名	33.7%
無回答	18名	4.4%	1,102名	4.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
食費を切りつめた	95名	31.0%	6,570名	33.9%
電気・ガス・水道などが止められた	1名	0.3%	240名	1.2%
医療機関を受診できなかった	8名	2.6%	353名	1.8%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	5名	1.6%	635名	3.3%
国民年金の支払いが滞ったことがある	9名	2.9%	812名	4.2%
金融機関などに借金をしたことがある	12名	3.9%	895名	4.6%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	9名	2.9%	532名	2.7%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	108名	35.3%	6,896名	35.6%
新聞や雑誌を買うのを控えた	63名	20.6%	3,787名	19.6%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	12名	3.9%	1,108名	5.7%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	5名	1.6%	598名	3.1%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	51名	16.7%	3,240名	16.7%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	24名	7.8%	2,830名	14.6%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	3名	1.0%	501名	2.6%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	5名	1.6%	526名	2.7%
趣味やレジャーの出費を減らした	98名	32.0%	7,644名	39.5%
冷暖房の使用を控えた	61名	19.9%	5,029名	26.0%
友人・知人との外食を控えた	78名	25.5%	5,217名	26.9%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	2名	0.7%	510名	2.6%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	68名	22.2%	5,146名	26.6%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	13名	4.2%	1,565名	8.1%
どれもあてはまらない	110名	35.9%	5,789名	29.9%
無回答	12名	3.9%	913名	4.7%



●2016年度　調査結果〔参考データ〕

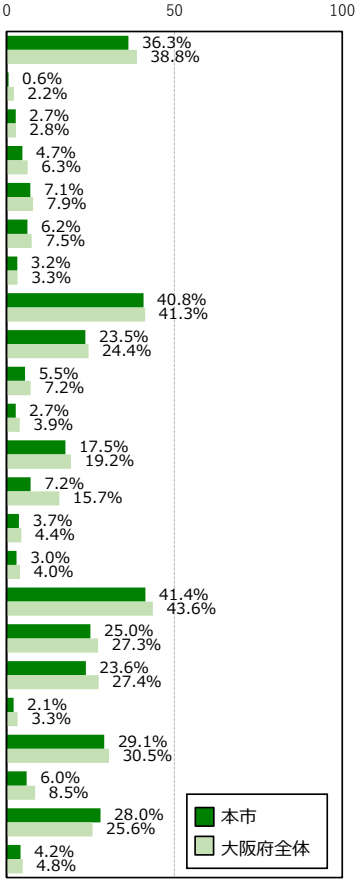
2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「食費を切りつめた」が6.5ポイント、「冷暖房の使用を控えた」が6.1ポイント、それぞれ低くなっている。

小学生の保護者は、「食費を切りつめた」が7.9ポイント、「冷暖房の使用を控えた」が7.4ポイント、それぞれ低くなっている。

中学生の保護者は、「趣味やレジャーの出費を減らした」が11.0ポイント低くなっている。

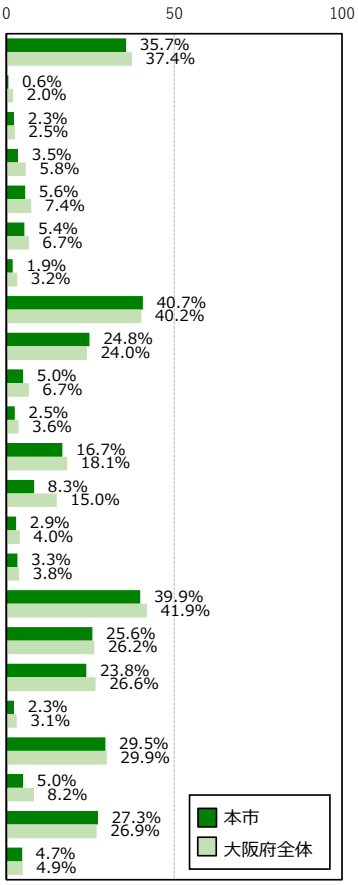
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	1,000名	100.0%	49,703名	100.0%
食費を切りつめた	363名	36.3%	19,278名	38.8%
電気・ガス・水道などが止められた	6名	0.6%	1,074名	2.2%
医療機関を受診できなかった	27名	2.7%	1,392名	2.8%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	47名	4.7%	3,132名	6.3%
国民年金の支払いが滞ったことがある	71名	7.1%	3,916名	7.9%
金融機関などに借金をしたことがある	62名	6.2%	3,734名	7.5%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	32名	3.2%	1,656名	3.3%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	408名	40.8%	20,550名	41.3%
新聞や雑誌を買うのを控えた	235名	23.5%	12,139名	24.4%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	55名	5.5%	3,560名	7.2%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	27名	2.7%	1,923名	3.9%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	175名	17.5%	9,541名	19.2%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	72名	7.2%	7,823名	15.7%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	37名	3.7%	2,171名	4.4%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	30名	3.0%	1,996名	4.0%
趣味やレジャーの出費を減らした	414名	41.4%	21,678名	43.6%
冷暖房の使用を控えた	250名	25.0%	13,591名	27.3%
友人・知人との外食を控えた	236名	23.6%	13,602名	27.4%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	21名	2.1%	1,635名	3.3%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	291名	29.1%	15,167名	30.5%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	60名	6.0%	4,225名	8.5%
どれもあてはまらない	280名	28.0%	12,707名	25.6%
無回答	42名	4.2%	2,409名	4.8%



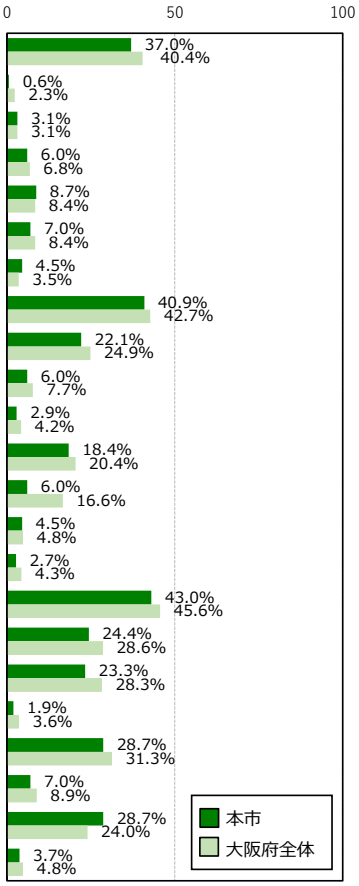
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	516名	100.0%	26,342名	100.0%
食費を切りつめた	184名	35.7%	9,845名	37.4%
電気・ガス・水道などが止められた	3名	0.6%	539名	2.0%
医療機関を受診できなかった	12名	2.3%	660名	2.5%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	18名	3.5%	1,541名	5.8%
国民年金の支払いが滞ったことがある	29名	5.6%	1,962名	7.4%
金融機関などに借金をしたことがある	28名	5.4%	1,775名	6.7%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	10名	1.9%	845名	3.2%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	210名	40.7%	10,584名	40.2%
新聞や雑誌を買うのを控えた	128名	24.8%	6,313名	24.0%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	26名	5.0%	1,763名	6.7%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	13名	2.5%	952名	3.6%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	86名	16.7%	4,781名	18.1%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	43名	8.3%	3,946名	15.0%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	15名	2.9%	1,053名	4.0%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	17名	3.3%	997名	3.8%
趣味やレジャーの出費を減らした	206名	39.9%	11,031名	41.9%
冷暖房の使用を控えた	132名	25.6%	6,913名	26.2%
友人・知人との外食を控えた	123名	23.8%	6,995名	26.6%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	12名	2.3%	805名	3.1%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	152名	29.5%	7,866名	29.9%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	26名	5.0%	2,149名	8.2%
どれもあてはまらない	141名	27.3%	7,090名	26.9%
無回答	24名	4.7%	1,283名	4.9%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	484名	100.0%	23,323名	100.0%
食費を切りつめた	179名	37.0%	9,418名	40.4%
電気・ガス・水道などが止められた	3名	0.6%	535名	2.3%
医療機関を受診できなかった	15名	3.1%	732名	3.1%
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	29名	6.0%	1,587名	6.8%
国民年金の支払いが滞ったことがある	42名	8.7%	1,952名	8.4%
金融機関などに借金をしたことがある	34名	7.0%	1,956名	8.4%
クレジットカードの利用が停止になったことがある	22名	4.5%	811名	3.5%
新しい衣服・靴を買うのを控えた	198名	40.9%	9,948名	42.7%
新聞や雑誌を買うのを控えた	107名	22.1%	5,816名	24.9%
スマートフォンへの切替・利用を断念した	29名	6.0%	1,793名	7.7%
冠婚葬祭のつきあいを控えた	14名	2.9%	970名	4.2%
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	89名	18.4%	4,747名	20.4%
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	29名	6.0%	3,867名	16.6%
電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある	22名	4.5%	1,118名	4.8%
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	13名	2.7%	998名	4.3%
趣味やレジャーの出費を減らした	208名	43.0%	10,630名	45.6%
冷暖房の使用を控えた	118名	24.4%	6,671名	28.6%
友人・知人との外食を控えた	113名	23.3%	6,593名	28.3%
敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した	9名	1.9%	829名	3.6%
理髪店・美容院に行く回数を減らした	139名	28.7%	7,291名	31.3%
子ども部屋が欲しかったがつくれなかった	34名	7.0%	2,076名	8.9%
どれもあてはまらない	139名	28.7%	5,608名	24.0%
無回答	18名	3.7%	1,121名	4.8%



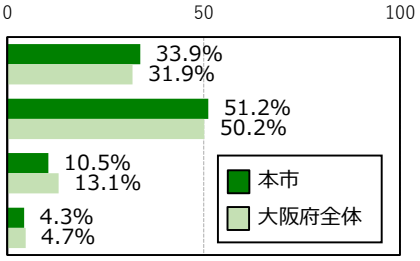
世帯の状況について

問７　経済的な理由による経験（はく奪指標）

保護者全体は、「１～６個に該当」が51.2％で最も多く、次いで「該当なし」が33.9％、「７個以上に該当」が10.5％となっている。
小学生の保護者は、「１～６個に該当」が51.5％で最も多く、次いで「該当なし」が33.5％、「７個以上に該当」が10.6％となっている。
中学生の保護者は、「１～６個に該当」が50.3％で最も多く、次いで「該当なし」が35.9％、「７個以上に該当」が9.8％となっている。

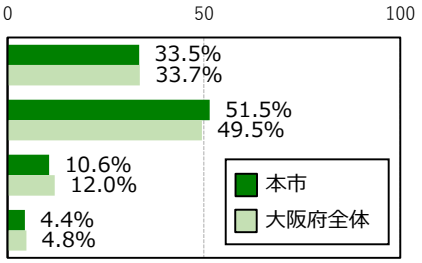
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
該当なし	259名	33.9%	13,812名	31.9%
１～６個に該当	391名	51.2%	21,747名	50.2%
７個以上に該当	80名	10.5%	5,688名	13.1%
無回答	33名	4.3%	2,053名	4.7%



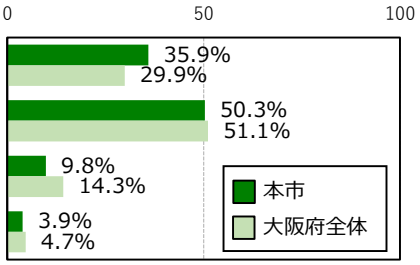
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
該当なし	136名	33.5%	7,672名	33.7%
１～６個に該当	209名	51.5%	11,270名	49.5%
７個以上に該当	43名	10.6%	2,742名	12.0%
無回答	18名	4.4%	1,102名	4.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
該当なし	110名	35.9%	5,789名	29.9%
１～６個に該当	154名	50.3%	9,888名	51.1%
７個以上に該当	30名	9.8%	2,775名	14.3%
無回答	12名	3.9%	913名	4.7%

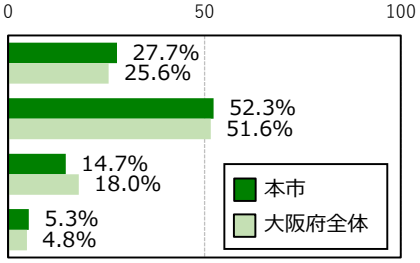


●2016年度　調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「該当なし」が6.2ポイント高くなっている。
小学生の保護者は、「該当なし」が6.5ポイント高くなっている。。
中学生の保護者は、「該当なし」が7.5ポイント高いが、「７個以上に該当」が6.2ポイント低くなっている。

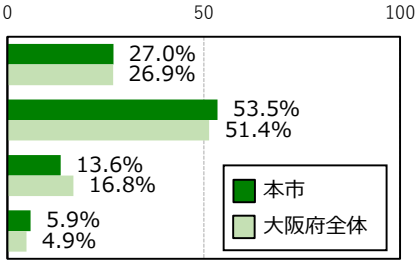
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	1,012名	100.0%	49,703名	100.0%
該当なし	280名	27.7%	12,707名	25.6%
１～６個に該当	529名	52.3%	25,649名	51.6%
７個以上に該当	149名	14.7%	8,938名	18.0%
無回答	54名	5.3%	2,409名	4.8%



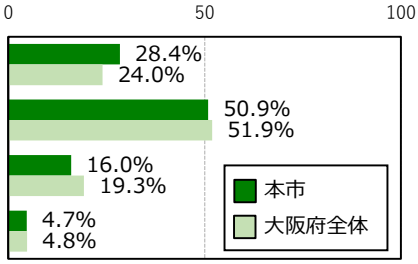
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	523名	100.0%	26,342名	100.0%
該当なし	141名	27.0%	7,090名	26.9%
１～６個に該当	280名	53.5%	13,535名	51.4%
７個以上に該当	71名	13.6%	4,434名	16.8%
無回答	31名	5.9%	1,283名	4.9%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	489名	100.0%	23,323名	100.0%
該当なし	139名	28.4%	5,608名	24.0%
１～６個に該当	249名	50.9%	12,098名	51.9%
７個以上に該当	78名	16.0%	4,496名	19.3%
無回答	23名	4.7%	1,121名	4.8%



世帯の状況について

問８　お母さんの最終学歴

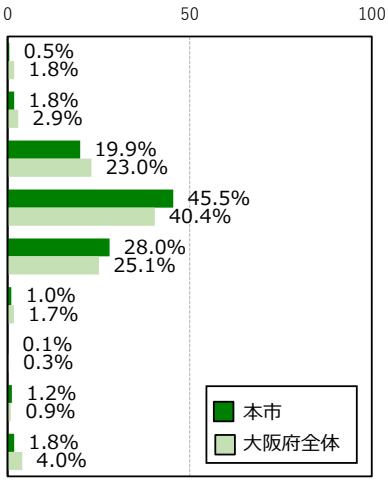
保護者全体は、「高専、短大、専門学校等卒業」が45.5％で最も多く、次いで「大学卒業」が28.0％、「高等学校卒業」が19.9％、「高等学校中途退学」が1.8％となっている。

小学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が44.1％で最も多く、次いで「大学卒業」が29.8％、「高等学校卒業」が20.2％、「高等学校中途退学」が2.2％、「大学院修了」が1.2％となっている。

中学生の保護者は、「高専、短大、専門学校等卒業」が48.4％で最も多く、次いで「大学卒業」が25.2％、「高等学校卒業」が19.3％、「答えたくない」が2.3％となっている。

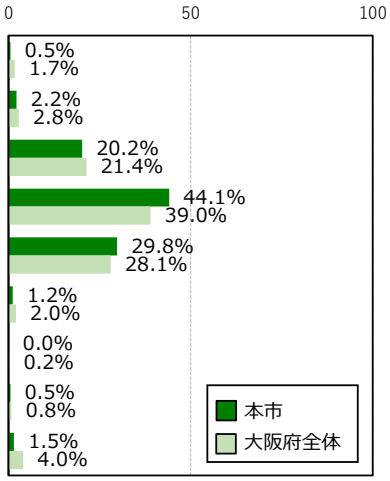
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	41,472名	100.0%
中学校卒業	4名	0.5%	729名	1.8%
高等学校中途退学	14名	1.8%	1,211名	2.9%
高等学校卒業	152名	19.9%	9,539名	23.0%
高専、短大、専門学校等卒業	347名	45.5%	16,755名	40.4%
大学卒業	214名	28.0%	10,392名	25.1%
大学院修了	8名	1.0%	703名	1.7%
その他の教育機関卒業	1名	0.1%	116名	0.3%
答えたくない	9名	1.2%	376名	0.9%
無回答	14名	1.8%	1,651名	4.0%



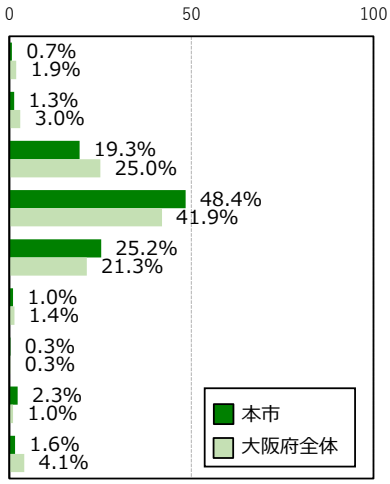
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	21,824名	100.0%
中学校卒業	2名	0.5%	365名	1.7%
高等学校中途退学	9名	2.2%	620名	2.8%
高等学校卒業	82名	20.2%	4,673名	21.4%
高専、短大、専門学校等卒業	179名	44.1%	8,501名	39.0%
大学卒業	121名	29.8%	6,142名	28.1%
大学院修了	5名	1.2%	433名	2.0%
その他の教育機関卒業	-	-	53名	0.2%
答えたくない	2名	0.5%	170名	0.8%
無回答	6名	1.5%	867名	4.0%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	18,499名	100.0%
中学校卒業	2名	0.7%	349名	1.9%
高等学校中途退学	4名	1.3%	560名	3.0%
高等学校卒業	59名	19.3%	4,623名	25.0%
高専、短大、専門学校等卒業	148名	48.4%	7,751名	41.9%
大学卒業	77名	25.2%	3,947名	21.3%
大学院修了	3名	1.0%	255名	1.4%
その他の教育機関卒業	1名	0.3%	60名	0.3%
答えたくない	7名	2.3%	194名	1.0%
無回答	5名	1.6%	760名	4.1%



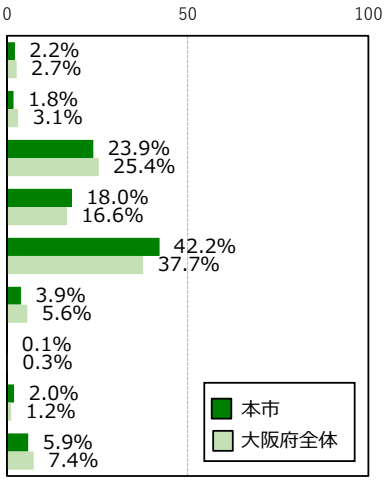
世帯の状況について

問８　お父さんの最終学歴

保護者全体は、「大学卒業」が42.2％で最も多く、次いで「高等学校卒業」が23.9％、「高専、短大、専門学校等卒業」が18.0％、「大学院修了」が3.9％となっている。
小学生の保護者は、「大学卒業」が43.1％で最も多く、次いで「高等学校卒業」が23.6％、「高専、短大、専門学校等卒業」が19.0％、「大学院修了」が4.9％となっている。
中学生の保護者は、「大学卒業」が39.9％で最も多く、次いで「高等学校卒業」が24.8％、「高専、短大、専門学校等卒業」が16.7％、「答えたくない」が3.3％となっている。

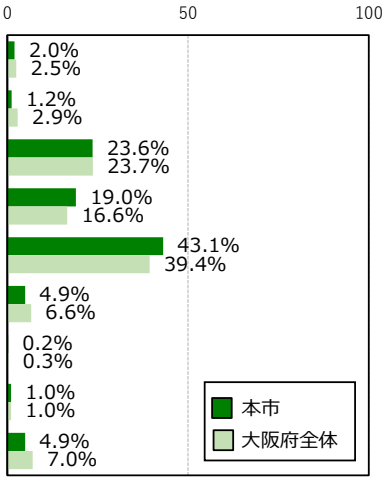
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	39,336名	100.0%
中学校卒業	17名	2.2%	1,048名	2.7%
高等学校中途退学	14名	1.8%	1,205名	3.1%
高等学校卒業	182名	23.9%	10,006名	25.4%
高専、短大、専門学校等卒業	137名	18.0%	6,549名	16.6%
大学卒業	322名	42.2%	14,832名	37.7%
大学院修了	30名	3.9%	2,219名	5.6%
その他の教育機関卒業	1名	0.1%	104名	0.3%
答えたくない	15名	2.0%	477名	1.2%
無回答	45名	5.9%	2,896名	7.4%



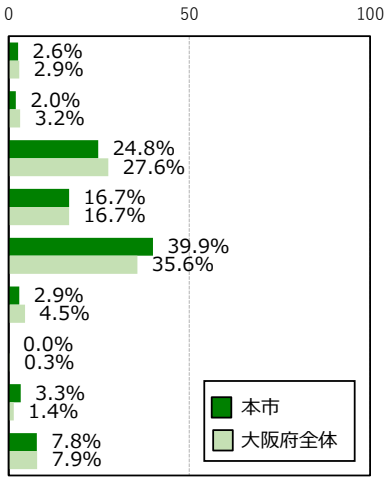
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	20,863名	100.0%
中学校卒業	8名	2.0%	524名	2.5%
高等学校中途退学	5名	1.2%	603名	2.9%
高等学校卒業	96名	23.6%	4,950名	23.7%
高専、短大、専門学校等卒業	77名	19.0%	3,468名	16.6%
大学卒業	175名	43.1%	8,211名	39.4%
大学院修了	20名	4.9%	1,384名	6.6%
その他の教育機関卒業	1名	0.2%	56名	0.3%
答えたくない	4名	1.0%	217名	1.0%
無回答	20名	4.9%	1,450名	7.0%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	17,324名	100.0%
中学校卒業	8名	2.6%	500名	2.9%
高等学校中途退学	6名	2.0%	561名	3.2%
高等学校卒業	76名	24.8%	4,775名	27.6%
高専、短大、専門学校等卒業	51名	16.7%	2,900名	16.7%
大学卒業	122名	39.9%	6,169名	35.6%
大学院修了	9名	2.9%	772名	4.5%
その他の教育機関卒業	－	－	45名	0.3%
答えたくない	10名	3.3%	235名	1.4%
無回答	24名	7.8%	1,367名	7.9%



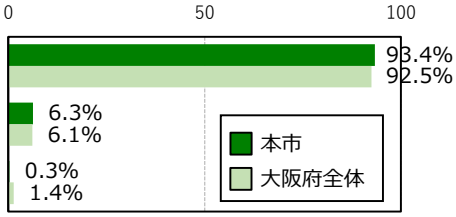
世帯の状況について

問９　お母さんの有無

保護者全体は、「いる」が93.4%、「いない」が6.3%となっている。
小学生の保護者は、「いる」が93.1%、「いない」が6.7%となっている。
中学生の保護者は、「いる」が94.4%、「いない」が5.2%となっている。

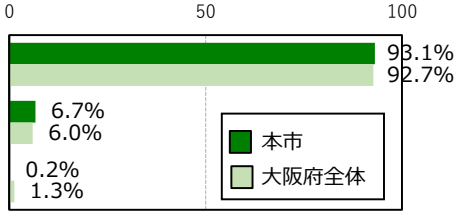
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	713名	93.4%	40,053名	92.5%
いない	48名	6.3%	2,634名	6.1%
無回答	2名	0.3%	613名	1.4%



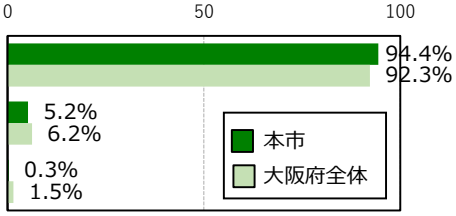
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	378名	93.1%	21,115名	92.7%
いない	27名	6.7%	1,368名	6.0%
無回答	1名	0.2%	303名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	289名	94.4%	17,877名	92.3%
いない	16名	5.2%	1,192名	6.2%
無回答	1名	0.3%	296名	1.5%



世帯の状況について

問９　お母さんの就業状況

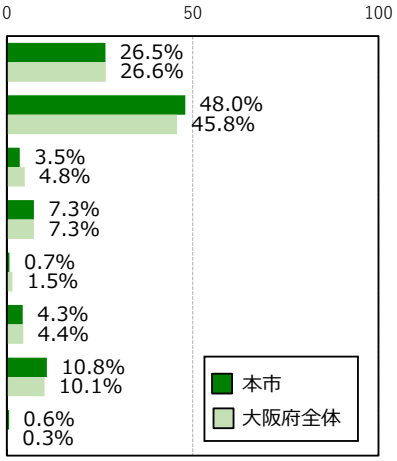
保護者全体は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が48.0%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が26.5%、「仕事を探していない」が10.8%、「自営業・家業」が7.3%となっている。

小学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が48.1%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が27.8%、「仕事を探していない」が11.9%、「自営業・家業」が6.9%となっている。

中学生の保護者は、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が48.4%で最も多く、次いで「勤め（常勤・正規職員）」が25.3%、「仕事を探していない」が9.7%、「自営業・家業」が7.6%となっている。

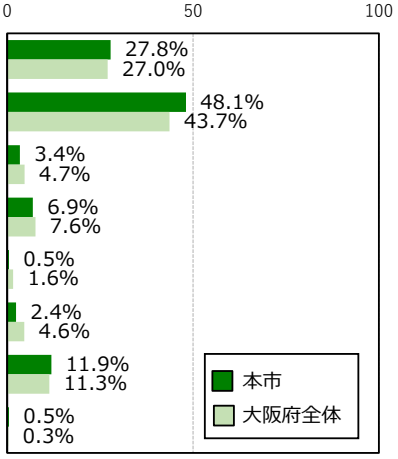
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	713名	100.0%	40,053名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	189名	26.5%	10,673名	26.6%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	342名	48.0%	18,336名	45.8%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	25名	3.5%	1,932名	4.8%
自営業・家業	52名	7.3%	2,943名	7.3%
その他の就業形態	5名	0.7%	592名	1.5%
仕事を探している	31名	4.3%	1,761名	4.4%
仕事を探していない	77名	10.8%	4,027名	10.1%
無回答	4名	0.6%	111名	0.3%



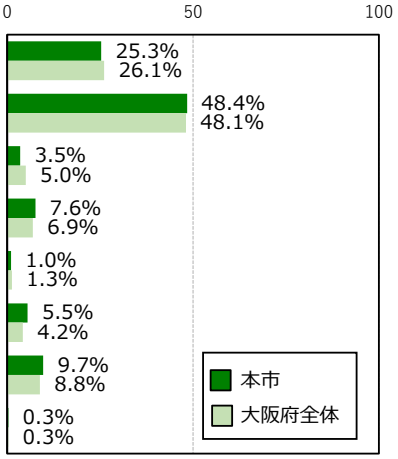
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	378名	100.0%	21,115名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	105名	27.8%	5,704名	27.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	182名	48.1%	9,234名	43.7%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	13名	3.4%	999名	4.7%
自営業・家業	26名	6.9%	1,615名	7.6%
その他の就業形態	2名	0.5%	339名	1.6%
仕事を探している	9名	2.4%	971名	4.6%
仕事を探していない	45名	11.9%	2,381名	11.3%
無回答	2名	0.5%	54名	0.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	289名	100.0%	17,877名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	73名	25.3%	4,670名	26.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	140名	48.4%	8,596名	48.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	10名	3.5%	895名	5.0%
自営業・家業	22名	7.6%	1,237名	6.9%
その他の就業形態	3名	1.0%	235名	1.3%
仕事を探している	16名	5.5%	744名	4.2%
仕事を探していない	28名	9.7%	1,570名	8.8%
無回答	1名	0.3%	51名	0.3%



●2016年度　調査結果〔参考データ〕

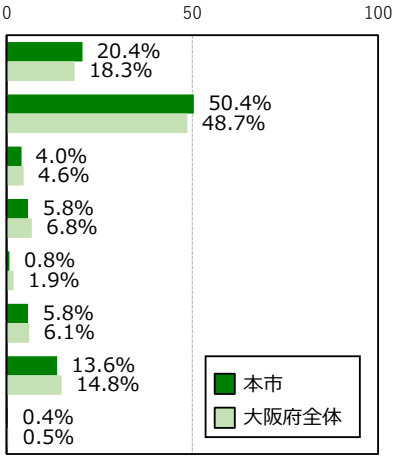
2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が6.1ポイント高くなっている。

小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が7.6ポイント高いが、「仕事を探していない」は4.7ポイント低くなっている。

中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」は4.7ポイント高くなっている。

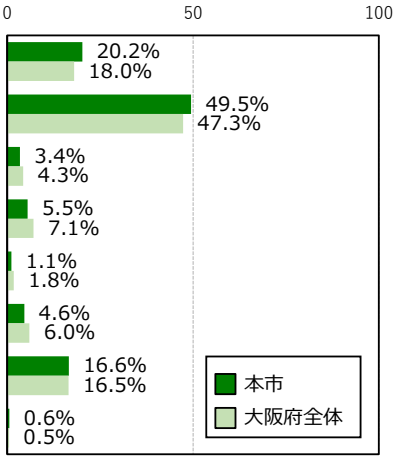
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	926名	100.0%	46,466名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	189名	20.4%	8,505名	18.3%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	467名	50.4%	22,634名	48.7%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	37名	4.0%	2,138名	4.6%
自営業・家業	54名	5.8%	3,162名	6.8%
その他の就業形態	7名	0.8%	861名	1.9%
仕事を探している	54名	5.8%	2,825名	6.1%
仕事を探していない	126名	13.6%	6,870名	14.8%
無回答	4名	0.4%	220名	0.5%



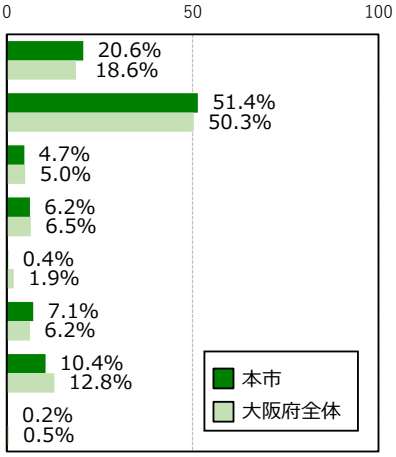
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	475名	100.0%	24,698名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	96名	20.2%	4,449名	18.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	235名	49.5%	11,693名	47.3%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	16名	3.4%	1,060名	4.3%
自営業・家業	26名	5.5%	1,742名	7.1%
その他の就業形態	5名	1.1%	446名	1.8%
仕事を探している	22名	4.6%	1,479名	6.0%
仕事を探していない	79名	16.6%	4,084名	16.5%
無回答	3名	0.6%	116名	0.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	451名	100.0%	21,737名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	93名	20.6%	4,053名	18.6%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	232名	51.4%	10,927名	50.3%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	21名	4.7%	1,076名	5.0%
自営業・家業	28名	6.2%	1,419名	6.5%
その他の就業形態	2名	0.4%	414名	1.9%
仕事を探している	32名	7.1%	1,344名	6.2%
仕事を探していない	47名	10.4%	2,778名	12.8%
無回答	1名	0.2%	104名	0.5%



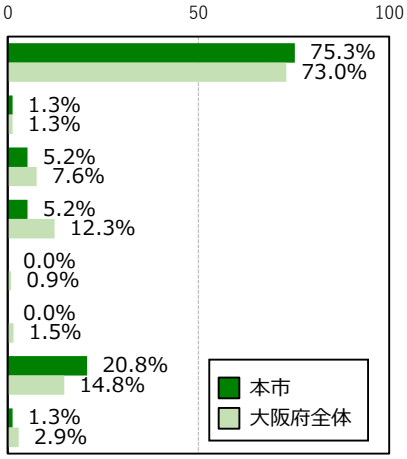
世帯の状況について

問９　お母さんが仕事を探していない理由

保護者全体は、「家事や育児に専念したいため」が75.3%で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」、「病気療養のため」がそれぞれ5.2%、「学生のため」が1.3%となっている。
小学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が77.8%で最も多く、次いで「病気療養のため」が6.7%、「おうちの人の介護や介助のため」が4.4%、「学生のため」が2.2%となっている。
中学生の保護者は、「家事や育児に専念したいため」が71.4%で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」が7.1%、「病気療養のため」が3.6%となっている。

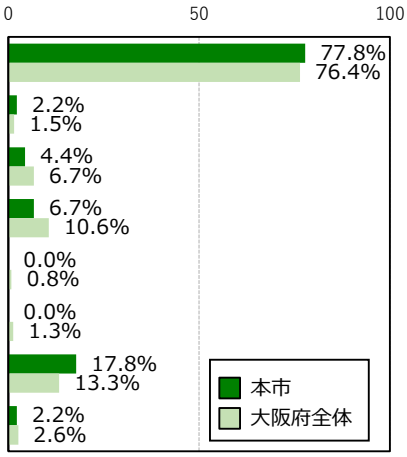
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	77名	100.0%	4,027名	100.0%
家事や育児に専念したいため	58名	75.3%	2,939名	73.0%
学生のため	1名	1.3%	51名	1.3%
おうちの人の介護や介助のため	4名	5.2%	307名	7.6%
病気療養のため	4名	5.2%	496名	12.3%
年金収入があるため	-	-	35名	0.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	62名	1.5%
その他	16名	20.8%	595名	14.8%
無回答	1名	1.3%	115名	2.9%



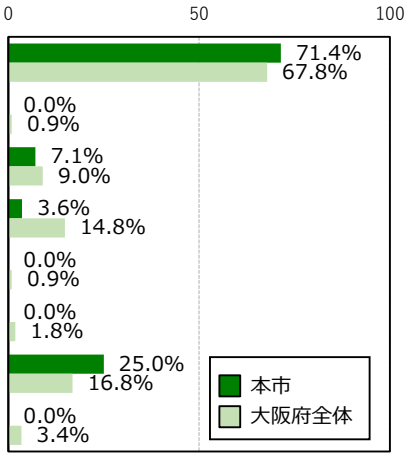
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	45名	100.0%	2,381名	100.0%
家事や育児に専念したいため	35名	77.8%	1,820名	76.4%
学生のため	1名	2.2%	36名	1.5%
おうちの人の介護や介助のため	2名	4.4%	160名	6.7%
病気療養のため	3名	6.7%	252名	10.6%
年金収入があるため	-	-	20名	0.8%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	32名	1.3%
その他	8名	17.8%	317名	13.3%
無回答	1名	2.2%	61名	2.6%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	28名	100.0%	1,570名	100.0%
家事や育児に専念したいため	20名	71.4%	1,064名	67.8%
学生のため	-	-	14名	0.9%
おうちの人の介護や介助のため	2名	7.1%	141名	9.0%
病気療養のため	1名	3.6%	232名	14.8%
年金収入があるため	-	-	14名	0.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	-	-	29名	1.8%
その他	7名	25.0%	263名	16.8%
無回答	-	-	54名	3.4%



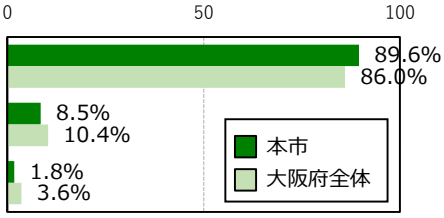
世帯の状況について

問９　お父さんの有無

保護者全体は、「いる」が89.6%、「いない」が8.5%となっている。
小学生の保護者は、「いる」が90.6%、「いない」が7.9%となっている。
中学生の保護者は、「いる」が87.6%、「いない」が9.8%となっている。

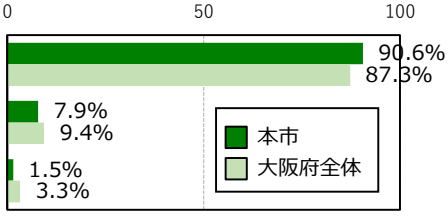
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	684名	89.6%	37,256名	86.0%
いない	65名	8.5%	4,504名	10.4%
無回答	14名	1.8%	1,540名	3.6%



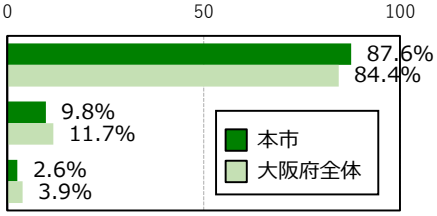
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	368名	90.6%	19,882名	87.3%
いない	32名	7.9%	2,149名	9.4%
無回答	6名	1.5%	755名	3.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	268名	87.6%	16,352名	84.4%
いない	30名	9.8%	2,261名	11.7%
無回答	8名	2.6%	752名	3.9%



世帯の状況について

問９　お父さんの就業状況

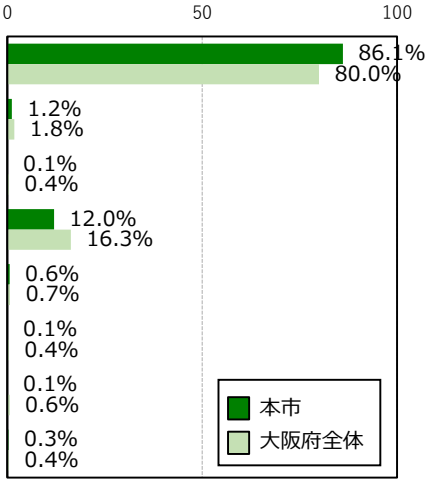
保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が86.1％で最も多く、次いで「自営業・家業」が12.0％、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が1.2％となっている。

小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が84.5％で最も多く、次いで「自営業・家業」が13.0％、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が1.1％となっている。

中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が88.1％で最も多く、次いで「自営業・家業」が10.4％、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が1.5％となっている。

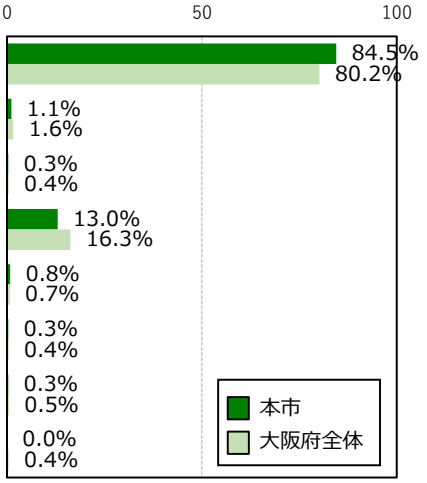
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	684名	100.0%	37,256名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	589名	86.1%	29,790名	80.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	8名	1.2%	660名	1.8%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	1名	0.1%	161名	0.4%
自営業・家業	82名	12.0%	6,063名	16.3%
その他の就業形態	4名	0.6%	258名	0.7%
仕事を探している	1名	0.1%	154名	0.4%
仕事を探していない	1名	0.1%	206名	0.6%
無回答	2名	0.3%	163名	0.4%



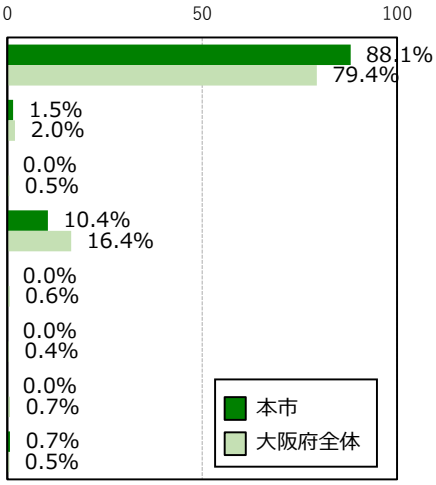
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	368名	100.0%	19,882名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	311名	84.5%	15,955名	80.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	4名	1.1%	324名	1.6%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	1名	0.3%	80名	0.4%
自営業・家業	48名	13.0%	3,232名	16.3%
その他の就業形態	3名	0.8%	143名	0.7%
仕事を探している	1名	0.3%	80名	0.4%
仕事を探していない	1名	0.3%	95名	0.5%
無回答	－	－	77名	0.4%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	268名	100.0%	16,352名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	236名	88.1%	12,988名	79.4%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	4名	1.5%	323名	2.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	－	－	79名	0.5%
自営業・家業	28名	10.4%	2,675名	16.4%
その他の就業形態	－	－	106名	0.6%
仕事を探している	－	－	72名	0.4%
仕事を探していない	－	－	109名	0.7%
無回答	2名	0.7%	82名	0.5%



●2016年度　調査結果〔参考データ〕

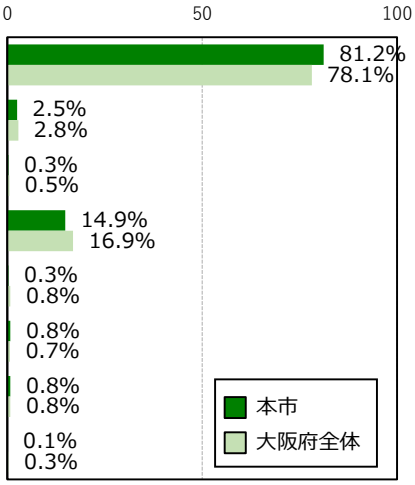
2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」は4.9ポイント高くなっている。

小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」は2.5ポイント高くなっている。

中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」は7.9ポイント高いが、「自営業・家業」は5.0ポイント低くなっている。

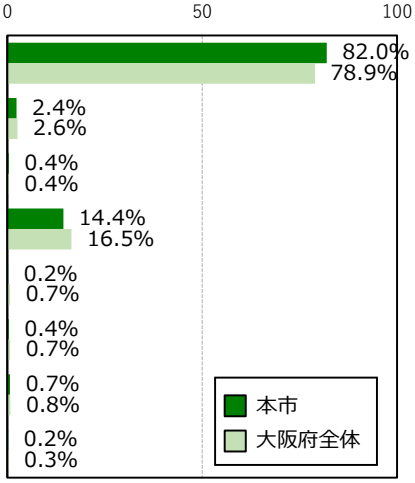
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	866名	100.0%	41,890名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	703名	81.2%	32,731名	78.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	22名	2.5%	1,162名	2.8%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	3名	0.3%	195名	0.5%
自営業・家業	129名	14.9%	7,077名	16.9%
その他の就業形態	3名	0.3%	327名	0.8%
仕事を探している	7名	0.8%	303名	0.7%
仕事を探していない	7名	0.8%	347名	0.8%
無回答	1名	0.1%	139名	0.3%



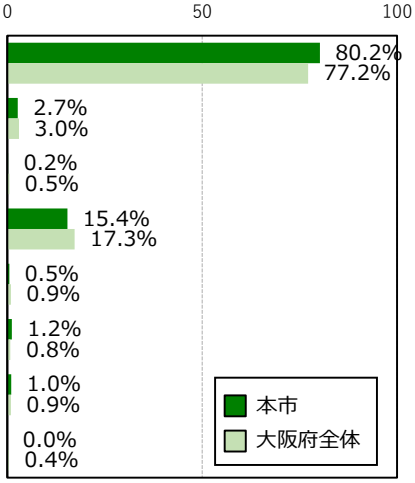
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	451名	100.0%	22,633名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	370名	82.0%	17,856名	78.9%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	11名	2.4%	589名	2.6%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	2名	0.4%	96名	0.4%
自営業・家業	65名	14.4%	3,740名	16.5%
その他の就業形態	1名	0.2%	159名	0.7%
仕事を探している	2名	0.4%	156名	0.7%
仕事を探していない	3名	0.7%	177名	0.8%
無回答	1名	0.2%	65名	0.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	415名	100.0%	19,230名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	333名	80.2%	14,852名	77.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	11名	2.7%	571名	3.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	1名	0.2%	99名	0.5%
自営業・家業	64名	15.4%	3,334名	17.3%
その他の就業形態	2名	0.5%	168名	0.9%
仕事を探している	5名	1.2%	147名	0.8%
仕事を探していない	4名	1.0%	170名	0.9%
無回答	-	-	74名	0.4%



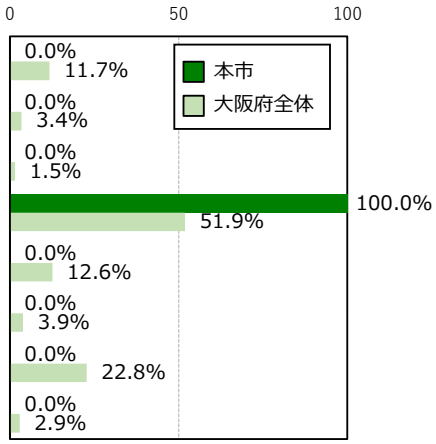
世帯の状況について

問９　お父さんが仕事を探していない理由

保護者全体は、「病気療養のため」が100.0%（1名）となっている。
小学生の保護者は、「病気療養のため」が100.0%（1名）となっている。

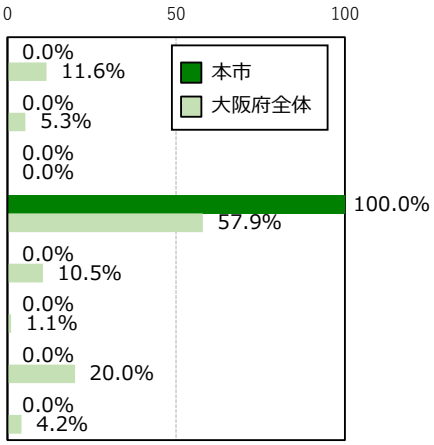
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	1名	100.0%	206名	100.0%
家事や育児に専念したいため	－	－	24名	11.7%
学生のため	－	－	7名	3.4%
おうちの人の介護や介助のため	－	－	3名	1.5%
病気療養のため	1名	100.0%	107名	51.9%
年金収入があるため	－	－	26名	12.6%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	－	－	8名	3.9%
その他	－	－	47名	22.8%
無回答	－	－	6名	2.9%



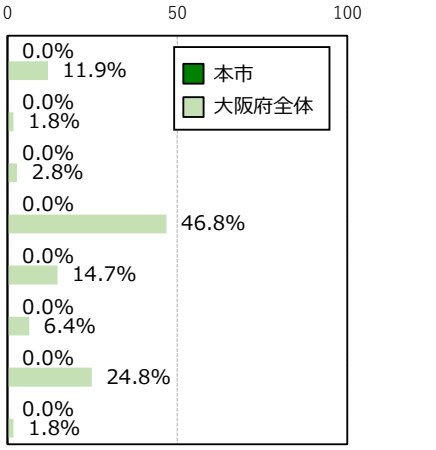
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	1名	100.0%	95名	100.0%
家事や育児に専念したいため	－	－	11名	11.6%
学生のため	－	－	5名	5.3%
おうちの人の介護や介助のため	－	－	－	－
病気療養のため	1名	100.0%	55名	57.9%
年金収入があるため	－	－	10名	10.5%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	－	－	1名	1.1%
その他	－	－	19名	20.0%
無回答	－	－	4名	4.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	－	－	109名	100.0%
家事や育児に専念したいため	－	－	13名	11.9%
学生のため	－	－	2名	1.8%
おうちの人の介護や介助のため	－	－	3名	2.8%
病気療養のため	－	－	51名	46.8%
年金収入があるため	－	－	16名	14.7%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	－	－	7名	6.4%
その他	－	－	27名	24.8%
無回答	－	－	2名	1.8%



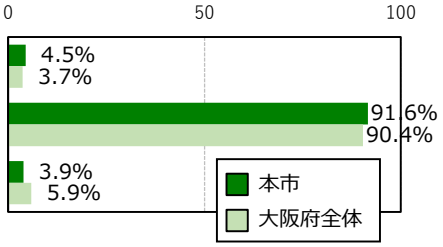
世帯の状況について

問９　親以外に主として家計を支えている人の有無

保護者全体は、「いる」が4.5%、「いない」が91.6%となっている。
小学生の保護者は、「いる」が4.7%、「いない」が91.6%となっている。
中学生の保護者は、「いる」が4.6%、「いない」が91.8%となっている。

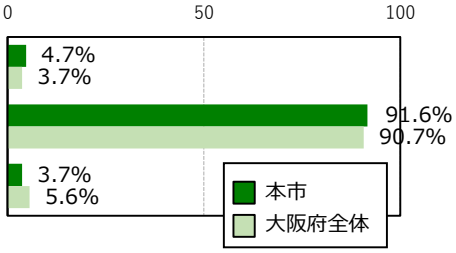
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	34名	4.5%	1,611名	3.7%
いない	699名	91.6%	39,140名	90.4%
無回答	30名	3.9%	2,549名	5.9%



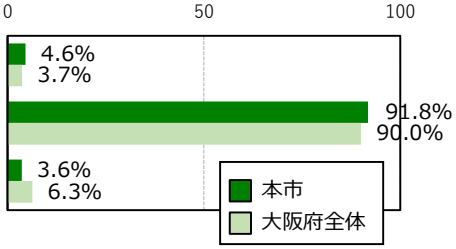
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	19名	4.7%	854名	3.7%
いない	372名	91.6%	20,666名	90.7%
無回答	15名	3.7%	1,266名	5.6%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	14名	4.6%	718名	3.7%
いない	281名	91.8%	17,432名	90.0%
無回答	11名	3.6%	1,215名	6.3%



世帯の状況について

問９　親以外に主として家計を支えている人の就業状況

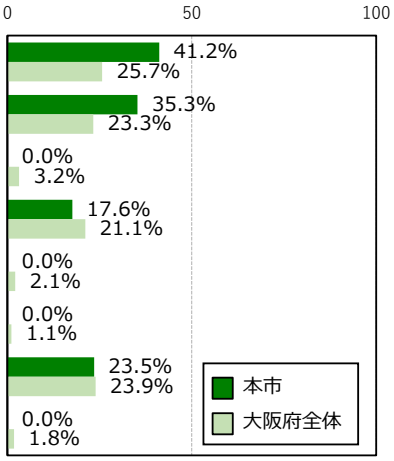
保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」が41.2%（14名）で最も多く、次いで「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」が35.3%（12名）、「仕事を探していない」が23.5%（8名）、「自営業・家業」が17.6%（6名）となっている。

小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」、「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」がそれぞれ42.1%（8名）で最も多く、次いで「仕事を探していない」が26.3%（5名）、「自営業・家業」が10.5%（2名）となっている。

中学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」が42.9%（6名）で最も多く、次いで「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）」、「自営業・家業」がそれぞれ28.6%（4名）、「仕事を探していない」が14.3%（2名）となっている。

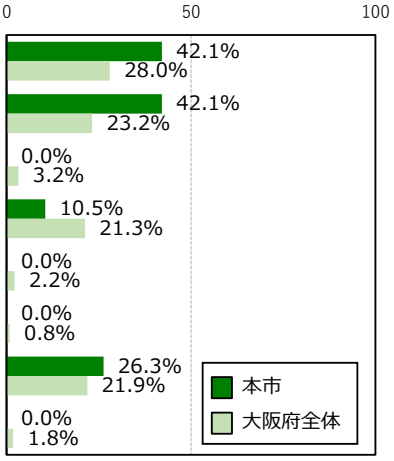
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	34名	100.0%	1,611名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	14名	41.2%	414名	25.7%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	12名	35.3%	375名	23.3%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	－	－	51名	3.2%
自営業・家業	6名	17.6%	340名	21.1%
その他の就業形態	－	－	34名	2.1%
仕事を探している	－	－	18名	1.1%
仕事を探していない	8名	23.5%	385名	23.9%
無回答	－	－	29名	1.8%



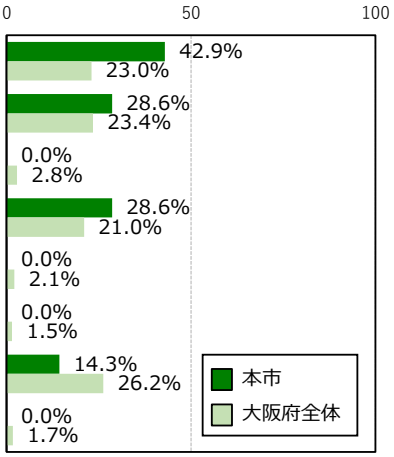
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	19名	100.0%	854名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	8名	42.1%	239名	28.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	8名	42.1%	198名	23.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	－	－	27名	3.2%
自営業・家業	2名	10.5%	182名	21.3%
その他の就業形態	－	－	19名	2.2%
仕事を探している	－	－	7名	0.8%
仕事を探していない	5名	26.3%	187名	21.9%
無回答	－	－	15名	1.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	14名	100.0%	718名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	6名	42.9%	165名	23.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	4名	28.6%	168名	23.4%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	－	－	20名	2.8%
自営業・家業	4名	28.6%	151名	21.0%
その他の就業形態	－	－	15名	2.1%
仕事を探している	－	－	11名	1.5%
仕事を探していない	2名	14.3%	188名	26.2%
無回答	－	－	12名	1.7%



●2016年度　調査結果〔参考データ〕

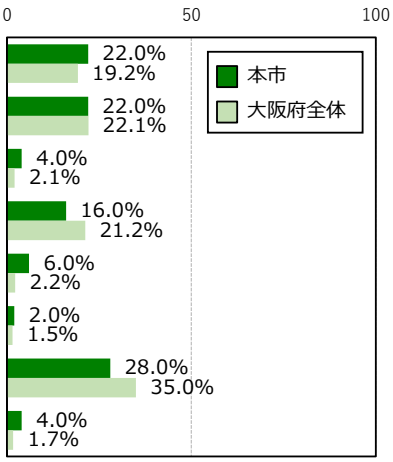
2016年度調査と比較すると、母数が少ないため一概には言えないが、保護者全体は、「勤め（常勤・正規職員）」は19.2ポイント高くなっている。

小学生の保護者は、「勤め（常勤・正規職員）」は33.4ポイント高くなっている。

中学生の保護者は、「仕事を探していない」は19.0ポイント低くなっている。

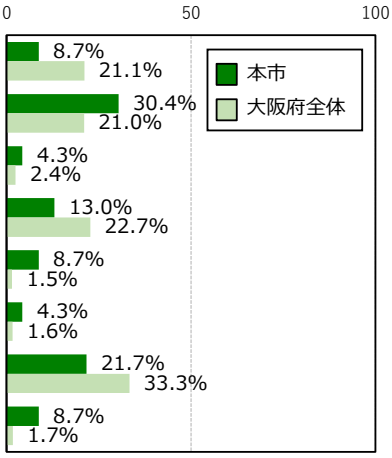
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	50名	100.0%	2,960名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	11名	22.0%	567名	19.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	11名	22.0%	654名	22.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	2名	4.0%	63名	2.1%
自営業・家業	8名	16.0%	628名	21.2%
その他の就業形態	3名	6.0%	66名	2.2%
仕事を探している	1名	2.0%	43名	1.5%
仕事を探していない	14名	28.0%	1,036名	35.0%
無回答	2名	4.0%	49名	1.7%



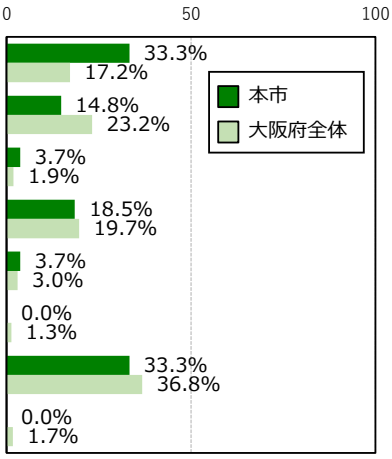
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	23名	100.0%	1,509名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	2名	8.7%	318名	21.1%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	7名	30.4%	317名	21.0%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	1名	4.3%	36名	2.4%
自営業・家業	3名	13.0%	343名	22.7%
その他の就業形態	2名	8.7%	22名	1.5%
仕事を探している	1名	4.3%	24名	1.6%
仕事を探していない	5名	21.7%	502名	33.3%
無回答	2名	8.7%	25名	1.7%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	27名	100.0%	1,450名	100.0%
勤め（常勤・正規職員）	9名	33.3%	249名	17.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務）	4名	14.8%	337名	23.2%
勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務）	1名	3.7%	27名	1.9%
自営業・家業	5名	18.5%	285名	19.7%
その他の就業形態	1名	3.7%	43名	3.0%
仕事を探している	－	－	19名	1.3%
仕事を探していない	9名	33.3%	534名	36.8%
無回答	－	－	24名	1.7%



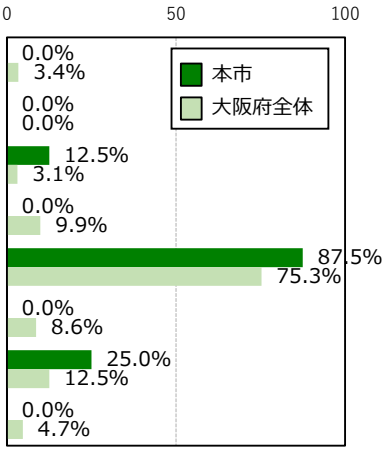
世帯の状況について

問９　親以外に主として家計を支えている人が仕事を探していない理由

保護者全体は、「年金収入があるため」が87.5%（7名）で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」が12.5%（1名）となっている。
小学生の保護者は、「年金収入があるため」が100.0%（5名）で最も多く、次いで「おうちの人の介護や介助のため」が20.0%（1名）となっている。
中学生の保護者は、「年金収入があるため」が50.0%（1名）となっている。

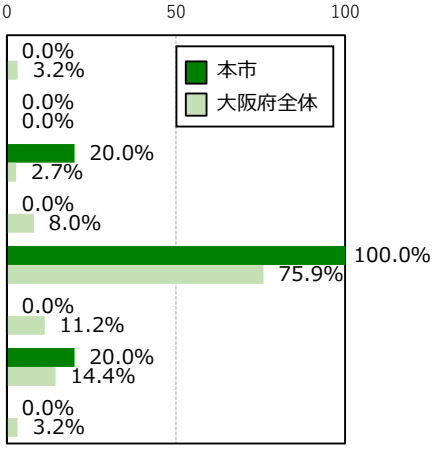
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	8名	100.0%	385名	100.0%
家事や育児に専念したいため	－	－	13名	3.4%
学生のため	－	－	－	－
おうちの人の介護や介助のため	1名	12.5%	12名	3.1%
病気療養のため	－	－	38名	9.9%
年金収入があるため	7名	87.5%	290名	75.3%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	－	－	33名	8.6%
その他	2名	25.0%	48名	12.5%
無回答	－	－	18名	4.7%



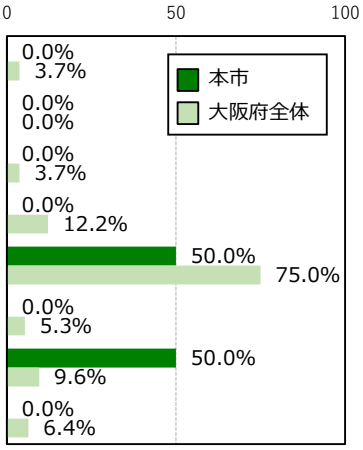
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	5名	100.0%	187名	100.0%
家事や育児に専念したいため	－	－	6名	3.2%
学生のため	－	－	－	－
おうちの人の介護や介助のため	1名	20.0%	5名	2.7%
病気療養のため	－	－	15名	8.0%
年金収入があるため	5名	100.0%	142名	75.9%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	－	－	21名	11.2%
その他	1名	20.0%	27名	14.4%
無回答	－	－	6名	3.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	2名	100.0%	188名	100.0%
家事や育児に専念したいため	－	－	7名	3.7%
学生のため	－	－	－	－
おうちの人の介護や介助のため	－	－	7名	3.7%
病気療養のため	－	－	23名	12.2%
年金収入があるため	1名	50.0%	141名	75.0%
家賃収入、株式運用などの収入があるため	－	－	10名	5.3%
その他	1名	50.0%	18名	9.6%
無回答	－	－	12名	6.4%



世帯の状況について

問10　保護者が家にいる時間帯

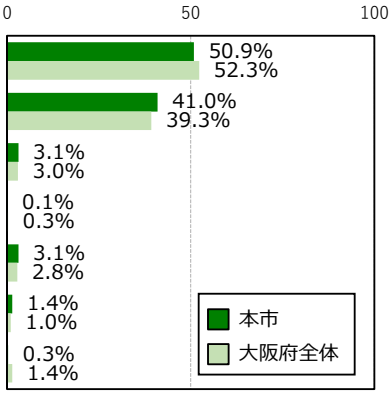
保護者全体は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が50.9%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が41.0%、「お子さんの寝る時間には家にいる」、「帰宅時間が決まっていない」がそれぞれ3.1%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が51.2%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が41.6%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が3.2%、「帰宅時間が決まっていない」が2.2%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」が51.6%で最も多く、次いで「お子さんの夕食時間には家にいる」が39.9%、「帰宅時間が決まっていない」が3.9%、「お子さんの寝る時間には家にいる」が2.9%となっている。

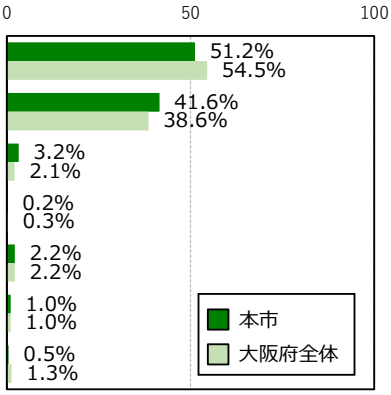
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	388名	50.9%	22,638名	52.3%
お子さんの夕食時間には家にいる	313名	41.0%	17,029名	39.3%
お子さんの寝る時間には家にいる	24名	3.1%	1,283名	3.0%
お子さんが寝た後に帰ってくる	1名	0.1%	129名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	24名	3.1%	1,212名	2.8%
その他	11名	1.4%	416名	1.0%
無回答	2名	0.3%	593名	1.4%



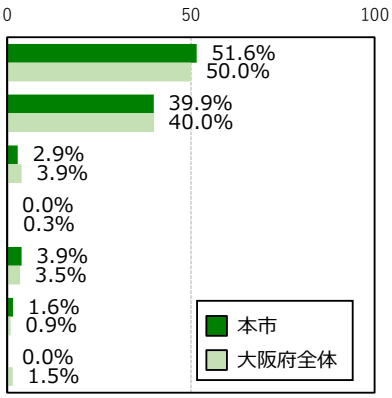
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	208名	51.2%	12,408名	54.5%
お子さんの夕食時間には家にいる	169名	41.6%	8,796名	38.6%
お子さんの寝る時間には家にいる	13名	3.2%	489名	2.1%
お子さんが寝た後に帰ってくる	1名	0.2%	66名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	9名	2.2%	505名	2.2%
その他	4名	1.0%	222名	1.0%
無回答	2名	0.5%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	158名	51.6%	9,674名	50.0%
お子さんの夕食時間には家にいる	122名	39.9%	7,739名	40.0%
お子さんの寝る時間には家にいる	9名	2.9%	747名	3.9%
お子さんが寝た後に帰ってくる	-	-	61名	0.3%
帰宅時間が決まっていない	12名	3.9%	676名	3.5%
その他	5名	1.6%	182名	0.9%
無回答	-	-	286名	1.5%



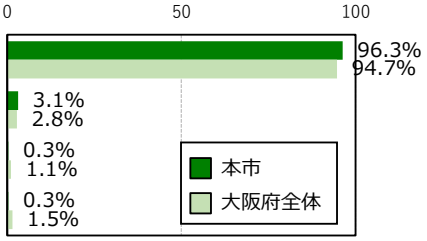
世帯の状況について

問11　日本語以外の言語の使用状況

保護者全体は、「日本語のみを使用している」が96.3%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が3.1%となっている。
小学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が95.6%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が3.7%となっている。
中学生の保護者は、「日本語のみを使用している」が96.7%で最も多く、次いで「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.9%となっている。

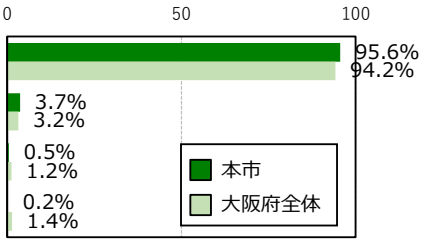
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
日本語のみを使用している	735名	96.3%	40,991名	94.7%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	24名	3.1%	1,201名	2.8%
日本語以外の言語を使うことが多い	2名	0.3%	476名	1.1%
無回答	2名	0.3%	632名	1.5%



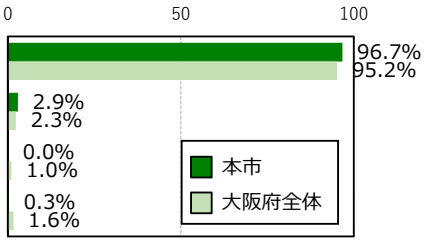
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
日本語のみを使用している	388名	95.6%	21,457名	94.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	15名	3.7%	729名	3.2%
日本語以外の言語を使うことが多い	2名	0.5%	280名	1.2%
無回答	1名	0.2%	320名	1.4%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
日本語のみを使用している	296名	96.7%	18,426名	95.2%
日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い	9名	2.9%	446名	2.3%
日本語以外の言語を使うことが多い	-	-	188名	1.0%
無回答	1名	0.3%	305名	1.6%



子どもに関することについて

問12　経済的な理由による子どもに関する経験

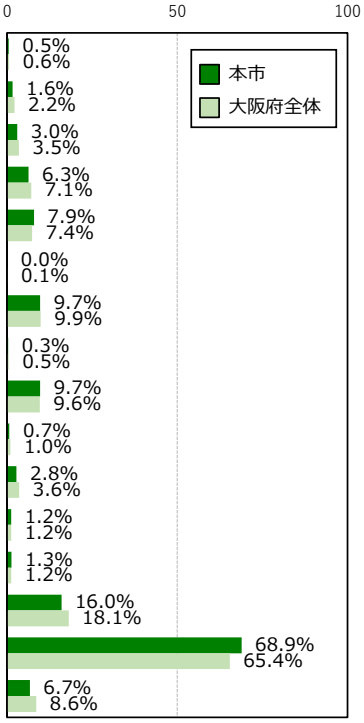
保護者全体は、「どれにもあてはまらない」が68.9%で最も多く、次いで「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が16.0%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」がそれぞれ9.7%、「お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった」が7.9%となっている。

小学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が68.7%で最も多く、次いで「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が15.8%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が10.1%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が9.9%となっている。

中学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が70.9%で最も多く、次いで「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が15.7%、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」が9.8%、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」が9.2%となっている。

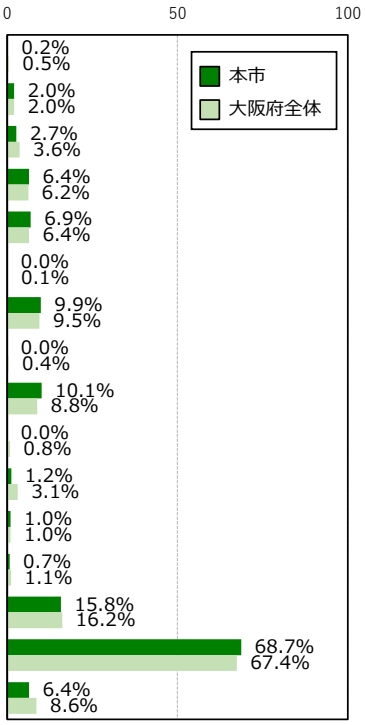
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,358名	100.0%
お子さんを医療機関に受診させることができなかった	4名	0.5%	264名	0.6%
お子さんの進路を変更した	12名	1.6%	953名	2.2%
お子さんのための本や絵本が買えなかった	23名	3.0%	1,509名	3.5%
お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	48名	6.3%	3,090名	7.1%
お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	60名	7.9%	3,199名	7.4%
お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	-	-	47名	0.1%
お子さんを習い事に通わすことができなかった	74名	9.7%	4,308名	9.9%
お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	2名	0.3%	197名	0.5%
お子さんを学習塾に通わせることができなかった	74名	9.7%	4,184名	9.6%
お子さんの誕生日を祝えなかった	5名	0.7%	425名	1.0%
お子さんにお年玉をあげることができなかった	21名	2.8%	1,542名	3.6%
お子さんの学校行事などに参加することができなかった	9名	1.2%	540名	1.2%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	10名	1.3%	519名	1.2%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	122名	16.0%	7,844名	18.1%
どれにもあてはまらない	526名	68.9%	28,369名	65.4%
無回答	51名	6.7%	3,728名	8.6%



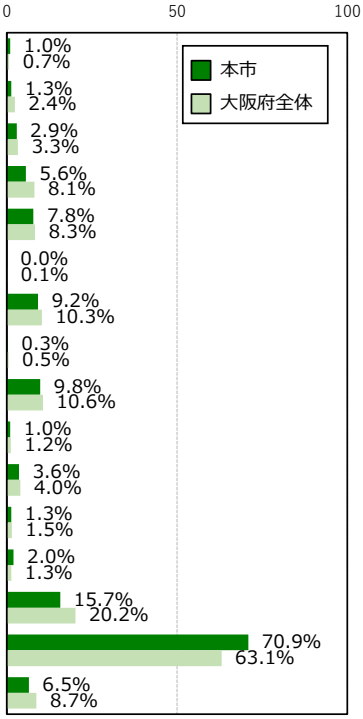
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,819名	100.0%
お子さんを医療機関に受診させることができなかった	1名	0.2%	122名	0.5%
お子さんの進路を変更した	8名	2.0%	456名	2.0%
お子さんのための本や絵本が買えなかった	11名	2.7%	817名	3.6%
お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	26名	6.4%	1,413名	6.2%
お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	28名	6.9%	1,464名	6.4%
お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	-	-	24名	0.1%
お子さんを習い事に通わすことができなかった	40名	9.9%	2,175名	9.5%
お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	-	-	96名	0.4%
お子さんを学習塾に通わせることができなかった	41名	10.1%	2,006名	8.8%
お子さんの誕生日を祝えなかった	-	-	180名	0.8%
お子さんにお年玉をあげることができなかった	5名	1.2%	718名	3.1%
お子さんの学校行事などに参加することができなかった	4名	1.0%	239名	1.0%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	3名	0.7%	245名	1.1%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	64名	15.8%	3,694名	16.2%
どれにもあてはまらない	279名	68.7%	15,385名	67.4%
無回答	26名	6.4%	1,971名	8.6%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,390名	100.0%
お子さんを医療機関に受診させることができなかった	3名	1.0%	135名	0.7%
お子さんの進路を変更した	4名	1.3%	472名	2.4%
お子さんのための本や絵本が買えなかった	9名	2.9%	636名	3.3%
お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	17名	5.6%	1,575名	8.1%
お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	24名	7.8%	1,608名	8.3%
お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	－	－	22名	0.1%
お子さんを習い事に通わすことができなかった	28名	9.2%	1,990名	10.3%
お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	1名	0.3%	96名	0.5%
お子さんを学習塾に通わせることができなかった	30名	9.8%	2,054名	10.6%
お子さんの誕生日を祝えなかった	3名	1.0%	237名	1.2%
お子さんにお年玉をあげることができなかった	11名	3.6%	777名	4.0%
お子さんの学校行事などに参加することができなかった	4名	1.3%	286名	1.5%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	6名	2.0%	259名	1.3%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	48名	15.7%	3,926名	20.2%
どれにもあてはまらない	217名	70.9%	12,238名	63.1%
無回答	20名	6.5%	1,685名	8.7%

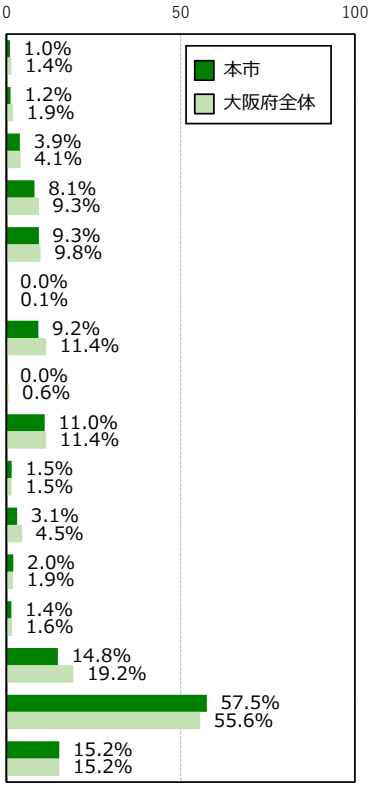


●2016年度　調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「どれにもあてはまらない」が11.4ポイント高くなっている。
小学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が9.2ポイント、「家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった」が3.6ポイント、それぞれ高くなっている。
中学生の保護者は、「どれにもあてはまらない」が15.5ポイント高くなっている。

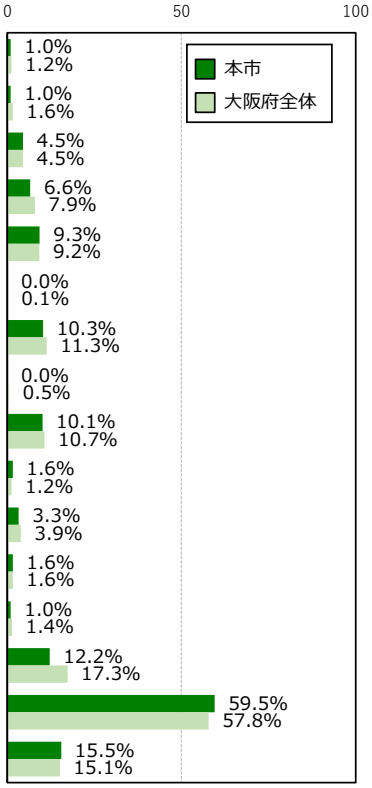
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	1,000名	100.0%	49,703名	100.0%
子どもを医療機関に受診させることができなかった	10名	1.0%	719名	1.4%
子どもの進路を変更した	12名	1.2%	935名	1.9%
子どものための本や絵本が買えなかった	39名	3.9%	2,061名	4.1%
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	81名	8.1%	4,598名	9.3%
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	93名	9.3%	4,895名	9.8%
子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	-	-	66名	0.1%
子どもを習い事に通わすことができなかった	92名	9.2%	5,689名	11.4%
子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	-	-	299名	0.6%
子どもを学習塾に通わすことができなかった	110名	11.0%	5,684名	11.4%
子どもの誕生日を祝えなかった	15名	1.5%	750名	1.5%
子どもにお年玉をあげることができなかった	31名	3.1%	2,221名	4.5%
子どもの学校行事などに参加することができなかった	20名	2.0%	947名	1.9%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	14名	1.4%	773名	1.6%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	148名	14.8%	9,526名	19.2%
どれにもあてはまらない	575名	57.5%	27,652名	55.6%
無回答	152名	15.2%	7,561名	15.2%



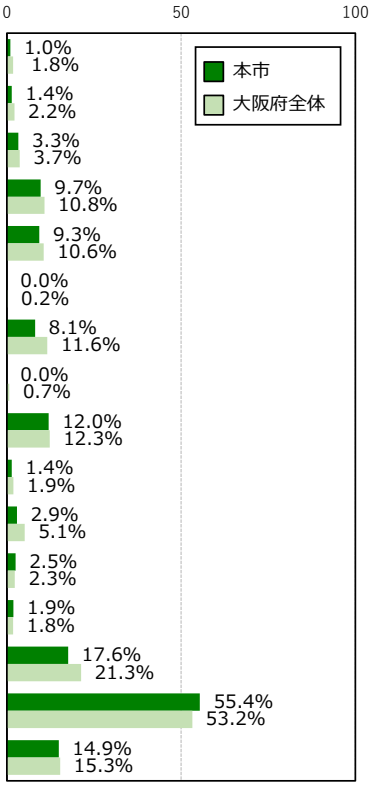
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	516名	100.0%	26,342名	100.0%
子どもを医療機関に受診させることができなかった	5名	1.0%	310名	1.2%
子どもの進路を変更した	5名	1.0%	418名	1.6%
子どものための本や絵本が買えなかった	23名	4.5%	1,195名	4.5%
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	34名	6.6%	2,086名	7.9%
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	48名	9.3%	2,416名	9.2%
子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	-	-	28名	0.1%
子どもを習い事に通わすことができなかった	53名	10.3%	2,982名	11.3%
子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	-	-	137名	0.5%
子どもを学習塾に通わすことができなかった	52名	10.1%	2,821名	10.7%
子どもの誕生日を祝えなかった	8名	1.6%	313名	1.2%
子どもにお年玉をあげることができなかった	17名	3.3%	1,027名	3.9%
子どもの学校行事などに参加することができなかった	8名	1.6%	411名	1.6%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	5名	1.0%	361名	1.4%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	63名	12.2%	4,559名	17.3%
どれにもあてはまらない	307名	59.5%	15,229名	57.8%
無回答	80名	15.5%	3,978名	15.1%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	484名	100.0%	23,323名	100.0%
子どもを医療機関に受診させることができなかった	5名	1.0%	409名	1.8%
子どもの進路を変更した	7名	1.4%	517名	2.2%
子どものための本や絵本が買えなかった	16名	3.3%	863名	3.7%
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	47名	9.7%	2,510名	10.8%
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	45名	9.3%	2,474名	10.6%
子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	-	-	37名	0.2%
子どもを習い事に通わすことができなかった	39名	8.1%	2,704名	11.6%
子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった	-	-	162名	0.7%
子どもを学習塾に通わすことができなかった	58名	12.0%	2,861名	12.3%
子どもの誕生日を祝えなかった	7名	1.4%	437名	1.9%
子どもにお年玉をあげることができなかった	14名	2.9%	1,193名	5.1%
子どもの学校行事などに参加することができなかった	12名	2.5%	535名	2.3%
子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった	9名	1.9%	412名	1.8%
家族旅行(ﾃｰﾏﾊﾟｰｸなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった	85名	17.6%	4,958名	21.3%
どれにもあてはまらない	268名	55.4%	12,400名	53.2%
無回答	72名	14.9%	3,578名	15.3%



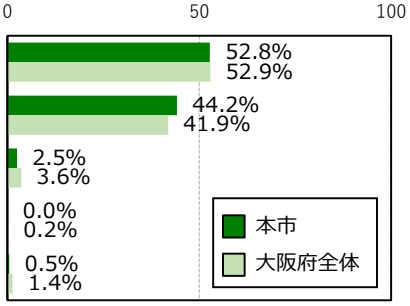
子どもに関することについて

問13（１）子どもへの信頼度

保護者全体は、「とても信頼している」が52.8％で最も多く、次いで「信頼している」が44.2％、「あまり信頼していない」が2.5％となっている。
小学生の保護者は、「とても信頼している」が58.4％で最も多く、次いで「信頼している」が39.7％、「あまり信頼していない」が1.5％となっている。
中学生の保護者は、「とても信頼している」が49.0％で最も多く、次いで「信頼している」が46.7％、「あまり信頼していない」が3.6％となっている。

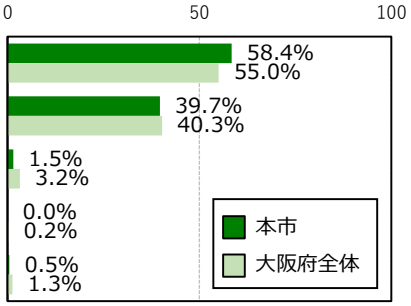
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,358名	100.0%
とても信頼している	403名	52.8%	22,948名	52.9%
信頼している	337名	44.2%	18,151名	41.9%
あまり信頼していない	19名	2.5%	1,566名	3.6%
信頼していない	－	－	101名	0.2%
無回答	4名	0.5%	592名	1.4%



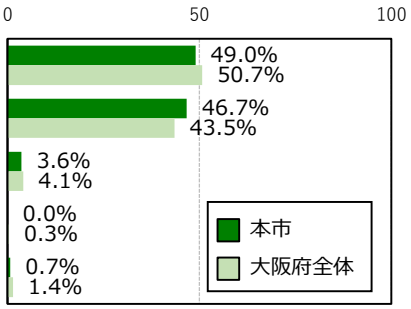
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,819名	100.0%
とても信頼している	237名	58.4%	12,553名	55.0%
信頼している	161名	39.7%	9,191名	40.3%
あまり信頼していない	6名	1.5%	720名	3.2%
信頼していない	－	－	48名	0.2%
無回答	2名	0.5%	307名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,390名	100.0%
とても信頼している	150名	49.0%	9,835名	50.7%
信頼している	143名	46.7%	8,429名	43.5%
あまり信頼していない	11名	3.6%	796名	4.1%
信頼していない	－	－	50名	0.3%
無回答	2名	0.7%	280名	1.4%



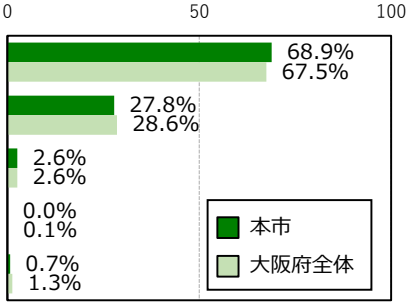
子どもに関することについて

問13（２）子どもとの会話頻度

保護者全体は、「よくする」が68.9％で最も多く、次いで「する」が27.8％、「あまりしない」が2.6％となっている。
小学生の保護者は、「よくする」が72.7％で最も多く、次いで「する」が25.4％、「あまりしない」が1.0％となっている。
中学生の保護者は、「よくする」が66.0％で最も多く、次いで「する」が29.4％、「あまりしない」が4.2％となっている。

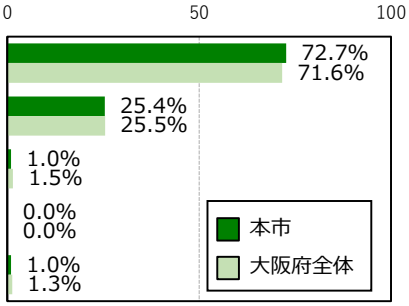
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,358名	100.0%
よくする	526名	68.9%	29,262名	67.5%
する	212名	27.8%	12,391名	28.6%
あまりしない	20名	2.6%	1,110名	2.6%
しない	－	－	30名	0.1%
無回答	5名	0.7%	565名	1.3%



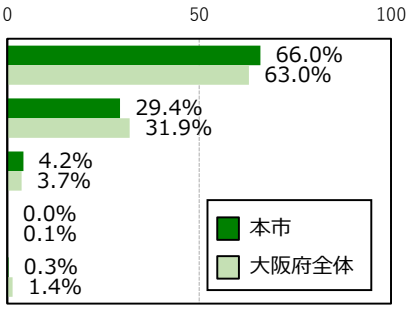
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,819名	100.0%
よくする	295名	72.7%	16,345名	71.6%
する	103名	25.4%	5,827名	25.5%
あまりしない	4名	1.0%	337名	1.5%
しない	－	－	10名	0.0%
無回答	4名	1.0%	300名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,390名	100.0%
よくする	202名	66.0%	12,214名	63.0%
する	90名	29.4%	6,176名	31.9%
あまりしない	13名	4.2%	719名	3.7%
しない	－	－	19名	0.1%
無回答	1名	0.3%	262名	1.4%



子どもに関することについて

問13（３）平日での子どもとの関わり時間

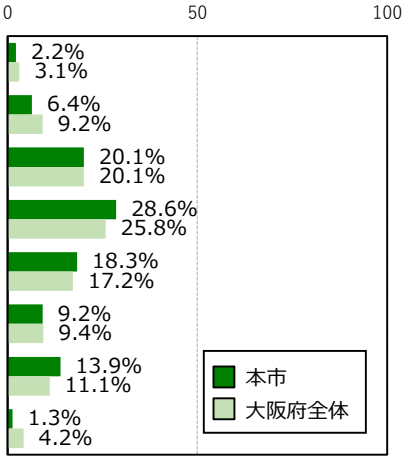
保護者全体は、「１時間～２時間未満」が28.6％で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が20.1％、「２時間～３時間未満」が18.3％、「４時間以上」が13.9％となっている。

小学生の保護者は、「１時間～２時間未満」が28.1％で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が18.7％、「４時間以上」が17.0％、「２時間～３時間未満」が16.5％となっている。

中学生の保護者は、「１時間～２時間未満」が28.1％で最も多く、次いで「30分～１時間未満」が21.6％、「２時間～３時間未満」が20.3％、「４時間以上」が11.1％となっている。

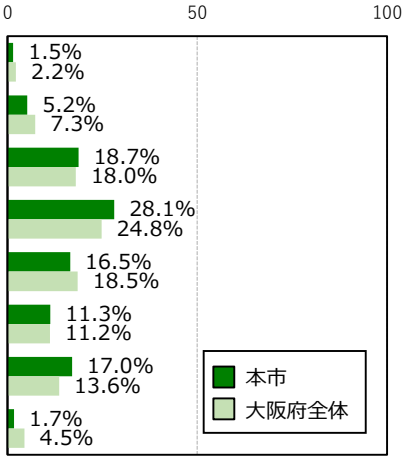
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,358名	100.0%
０～15分未満	17名	2.2%	1,323名	3.1%
15分～30分未満	49名	6.4%	3,978名	9.2%
30分～１時間未満	153名	20.1%	8,701名	20.1%
１時間～２時間未満	218名	28.6%	11,171名	25.8%
２時間～３時間未満	140名	18.3%	7,479名	17.2%
３時間～４時間未満	70名	9.2%	4,091名	9.4%
４時間以上	106名	13.9%	4,813名	11.1%
無回答	10名	1.3%	1,802名	4.2%



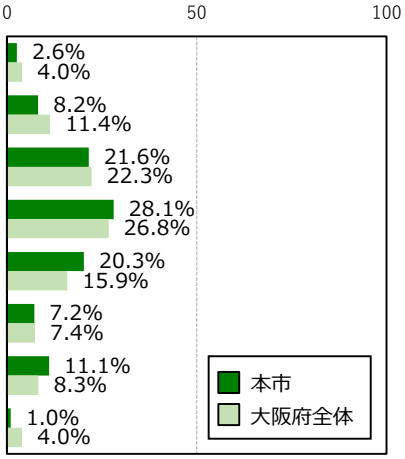
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,819名	100.0%
０～15分未満	6名	1.5%	494名	2.2%
15分～30分未満	21名	5.2%	1,662名	7.3%
30分～１時間未満	76名	18.7%	4,099名	18.0%
１時間～２時間未満	114名	28.1%	5,657名	24.8%
２時間～３時間未満	67名	16.5%	4,224名	18.5%
３時間～４時間未満	46名	11.3%	2,561名	11.2%
４時間以上	69名	17.0%	3,100名	13.6%
無回答	7名	1.7%	1,022名	4.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,390名	100.0%
０～15分未満	8名	2.6%	771名	4.0%
15分～30分未満	25名	8.2%	2,205名	11.4%
30分～１時間未満	66名	21.6%	4,316名	22.3%
１時間～２時間未満	86名	28.1%	5,203名	26.8%
２時間～３時間未満	62名	20.3%	3,075名	15.9%
３時間～４時間未満	22名	7.2%	1,435名	7.4%
４時間以上	34名	11.1%	1,617名	8.3%
無回答	3名	1.0%	768名	4.0%



子どもに関することについて

問13（３）休日での子どもとの関わり時間

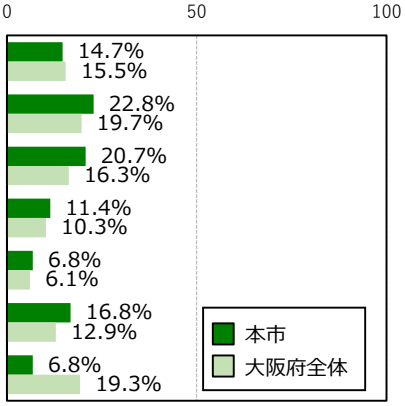
保護者全体は、「２時間～４時間未満」が22.8％で最も多く、次いで「４時間～６時間未満」が20.7％、「10時間以上」が16.8％、「２時間未満」が14.7％となっている。

小学生の保護者は、「２時間～４時間未満」が22.9％で最も多く、次いで「10時間以上」が21.9％、「４時間～６時間未満」が19.7％、「６時間～８時間未満」が12.3％となっている。

中学生の保護者は、「２時間～４時間未満」が22.5％で最も多く、次いで「２時間未満」、「４時間～６時間未満」がそれぞれ20.3％、「６時間～８時間未満」、「10時間以上」がそれぞれ10.8％となっている。

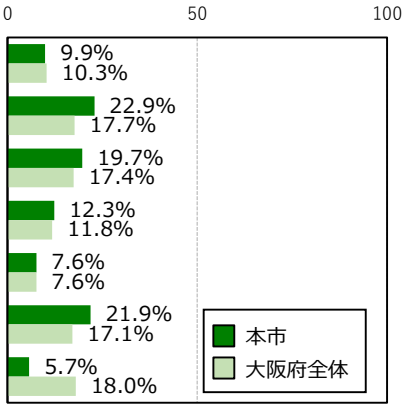
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,358名	100.0%
２時間未満	112名	14.7%	6,723名	15.5%
２時間～４時間未満	174名	22.8%	8,521名	19.7%
４時間～６時間未満	158名	20.7%	7,050名	16.3%
６時間～８時間未満	87名	11.4%	4,454名	10.3%
８時間～10時間未満	52名	6.8%	2,659名	6.1%
10時間以上	128名	16.8%	5,577名	12.9%
無回答	52名	6.8%	8,374名	19.3%



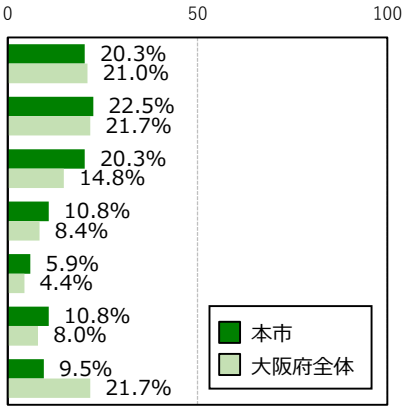
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,819名	100.0%
２時間未満	40名	9.9%	2,357名	10.3%
２時間～４時間未満	93名	22.9%	4,031名	17.7%
４時間～６時間未満	80名	19.7%	3,977名	17.4%
６時間～８時間未満	50名	12.3%	2,700名	11.8%
８時間～10時間未満	31名	7.6%	1,740名	7.6%
10時間以上	89名	21.9%	3,896名	17.1%
無回答	23名	5.7%	4,118名	18.0%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,390名	100.0%
２時間未満	62名	20.3%	4,070名	21.0%
２時間～４時間未満	69名	22.5%	4,216名	21.7%
４時間～６時間未満	62名	20.3%	2,876名	14.8%
６時間～８時間未満	33名	10.8%	1,632名	8.4%
８時間～10時間未満	18名	5.9%	845名	4.4%
10時間以上	33名	10.8%	1,542名	8.0%
無回答	29名	9.5%	4,209名	21.7%



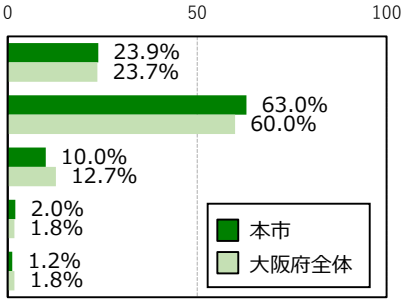
子どもに関することについて

問13（４）子どもの将来への期待度

保護者全体は、「期待している」が63.0%で最も多く、次いで「とても期待している」が23.9%、「あまり期待していない」が10.0%、「期待していない」が2.0%となっている。
小学生の保護者は、「期待している」が60.6%で最も多く、次いで「とても期待している」が28.8%、「あまり期待していない」が7.6%、「期待していない」が1.5%となっている。
中学生の保護者は、「期待している」が64.7%で最も多く、次いで「とても期待している」が19.3%、「あまり期待していない」が12.4%、「期待していない」が2.6%となっている。

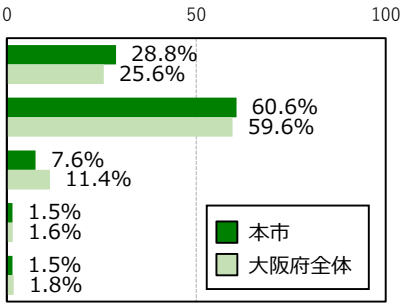
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,358名	100.0%
とても期待している	182名	23.9%	10,264名	23.7%
期待している	481名	63.0%	26,035名	60.0%
あまり期待していない	76名	10.0%	5,485名	12.7%
期待していない	15名	2.0%	779名	1.8%
無回答	9名	1.2%	795名	1.8%



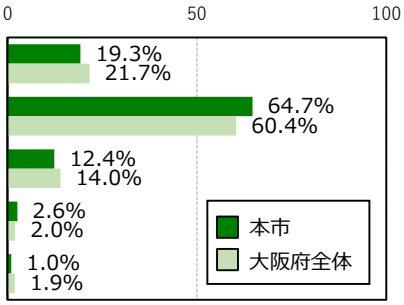
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,819名	100.0%
とても期待している	117名	28.8%	5,831名	25.6%
期待している	246名	60.6%	13,610名	59.6%
あまり期待していない	31名	7.6%	2,603名	11.4%
期待していない	6名	1.5%	363名	1.6%
無回答	6名	1.5%	412名	1.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,390名	100.0%
とても期待している	59名	19.3%	4,207名	21.7%
期待している	198名	64.7%	11,704名	60.4%
あまり期待していない	38名	12.4%	2,717名	14.0%
期待していない	8名	2.6%	388名	2.0%
無回答	3名	1.0%	374名	1.9%



子どもに関することについて

問13（５）子どもの授業参観や運動会などの学校行事への参加状況

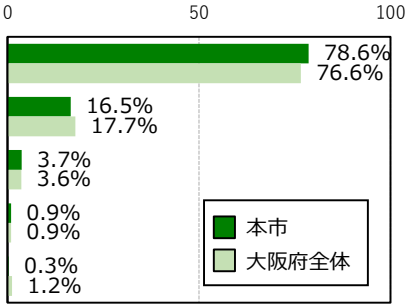
保護者全体は、「よく参加している」が78.6％で最も多く、次いで「ときどき参加している」が16.5％、「あまり参加していない」が3.7％となっている。

小学生の保護者は、「よく参加している」が88.9％で最も多く、次いで「ときどき参加している」が10.1％となっている。

中学生の保護者は、「よく参加している」が68.0％で最も多く、次いで「ときどき参加している」が23.5％、「あまり参加していない」が6.9％、「まったく参加していない」が1.3％となっている。

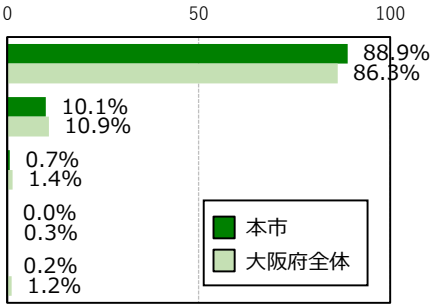
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,358名	100.0%
よく参加している	600名	78.6%	33,215名	76.6%
ときどき参加している	126名	16.5%	7,691名	17.7%
あまり参加していない	28名	3.7%	1,550名	3.6%
まったく参加していない	7名	0.9%	376名	0.9%
無回答	2名	0.3%	526名	1.2%



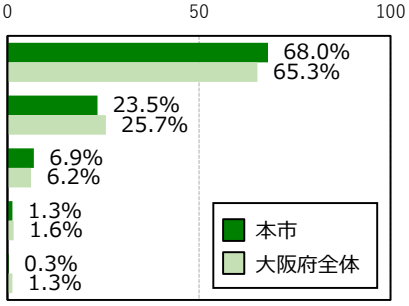
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,819名	100.0%
よく参加している	361名	88.9%	19,697名	86.3%
ときどき参加している	41名	10.1%	2,477名	10.9%
あまり参加していない	3名	0.7%	309名	1.4%
まったく参加していない	-	-	58名	0.3%
無回答	1名	0.2%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,390名	100.0%
よく参加している	208名	68.0%	12,665名	65.3%
ときどき参加している	72名	23.5%	4,975名	25.7%
あまり参加していない	21名	6.9%	1,202名	6.2%
まったく参加していない	4名	1.3%	304名	1.6%
無回答	1名	0.3%	244名	1.3%



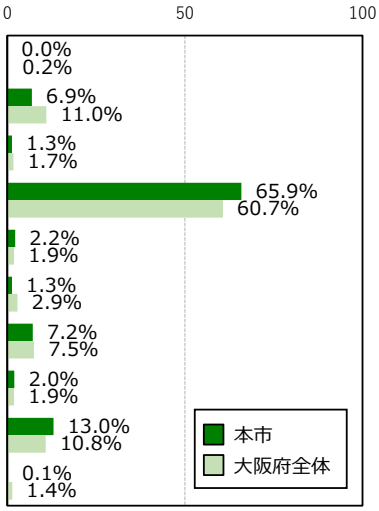
子どもに関することについて

問14　子どもに希望する進学

保護者全体は、「大学」が65.9%で最も多く、次いで「専門学校・高等専門学校」が7.2%、「高校」が6.9%、「大学院」が2.2%となっている。
小学生の保護者は、「大学」が67.2%で最も多く、次いで「専門学校・高等専門学校」が7.6%、「高校」が6.2%、「大学院」、「考えたことがない」がそれぞれ2.5%となっている。
中学生の保護者は、「大学」が64.1%で最も多く、次いで「高校」が8.5%、「専門学校・高等専門学校」が7.5%、「大学院」が2.0%となっている。

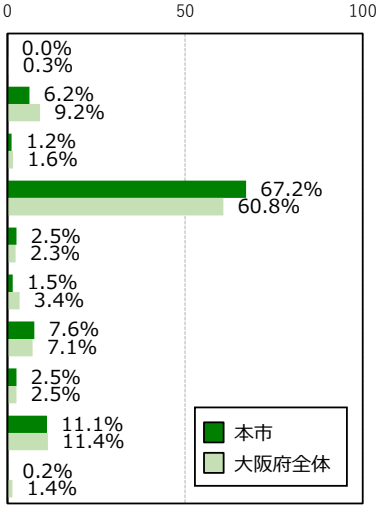
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,358名	100.0%
中学校	-	-	106名	0.2%
高校	53名	6.9%	4,765名	11.0%
短期大学	10名	1.3%	716名	1.7%
大学	503名	65.9%	26,334名	60.7%
大学院	17名	2.2%	827名	1.9%
留学	10名	1.3%	1,261名	2.9%
専門学校・高等専門学校	55名	7.2%	3,262名	7.5%
考えたことがない	15名	2.0%	818名	1.9%
わからない	99名	13.0%	4,674名	10.8%
無回答	1名	0.1%	595名	1.4%



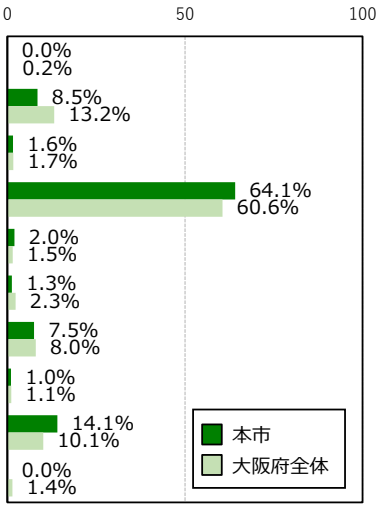
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,819名	100.0%
中学校	-	-	72名	0.3%
高校	25名	6.2%	2,090名	9.2%
短期大学	5名	1.2%	366名	1.6%
大学	273名	67.2%	13,868名	60.8%
大学院	10名	2.5%	519名	2.3%
留学	6名	1.5%	786名	3.4%
専門学校・高等専門学校	31名	7.6%	1,631名	7.1%
考えたことがない	10名	2.5%	579名	2.5%
わからない	45名	11.1%	2,592名	11.4%
無回答	1名	0.2%	316名	1.4%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,390名	100.0%
中学校	-	-	31名	0.2%
高校	26名	8.5%	2,557名	13.2%
短期大学	5名	1.6%	322名	1.7%
大学	196名	64.1%	11,753名	60.6%
大学院	6名	2.0%	285名	1.5%
留学	4名	1.3%	451名	2.3%
専門学校・高等専門学校	23名	7.5%	1,548名	8.0%
考えたことがない	3名	1.0%	219名	1.1%
わからない	43名	14.1%	1,951名	10.1%
無回答	-	-	273名	1.4%



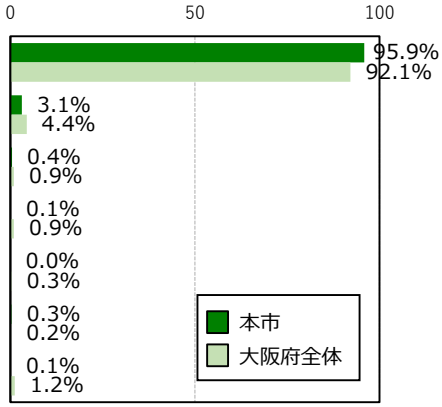
子どもに関することについて

問15　子どもの通学状況

保護者全体は、「ほぼ毎日通っている」が95.9%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が3.1%となっている。
小学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が97.0%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が2.7%となっている。
中学生の保護者は、「ほぼ毎日通っている」が95.8%で最も多く、次いで「欠席は年間30日未満である」が3.3%となっている。

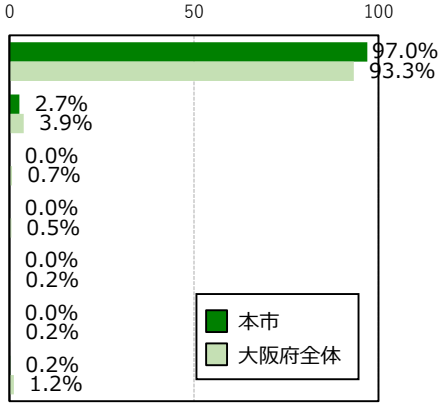
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,358名	100.0%
ほぼ毎日通っている	732名	95.9%	39,916名	92.1%
欠席は年間30日未満である	24名	3.1%	1,900名	4.4%
欠席が年間30日以上、60日未満である	3名	0.4%	406名	0.9%
欠席が年間60日以上、１年未満である	1名	0.1%	379名	0.9%
欠席が１年以上続いている	－	－	127名	0.3%
わからない	2名	0.3%	108名	0.2%
無回答	1名	0.1%	522名	1.2%



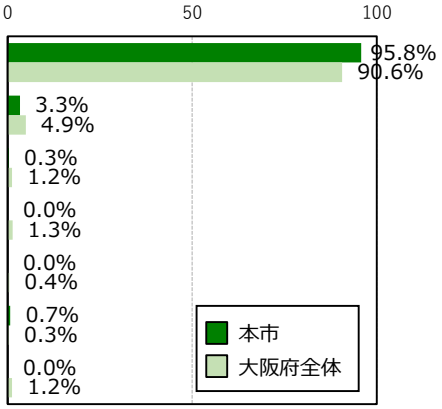
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,819名	100.0%
ほぼ毎日通っている	394名	97.0%	21,301名	93.3%
欠席は年間30日未満である	11名	2.7%	895名	3.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	－	－	158名	0.7%
欠席が年間60日以上、１年未満である	－	－	107名	0.5%
欠席が１年以上続いている	－	－	36名	0.2%
わからない	－	－	44名	0.2%
無回答	1名	0.2%	278名	1.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,390名	100.0%
ほぼ毎日通っている	293名	95.8%	17,568名	90.6%
欠席は年間30日未満である	10名	3.3%	945名	4.9%
欠席が年間30日以上、60日未満である	1名	0.3%	232名	1.2%
欠席が年間60日以上、１年未満である	－	－	257名	1.3%
欠席が１年以上続いている	－	－	86名	0.4%
わからない	2名	0.7%	62名	0.3%
無回答	－	－	240名	1.2%



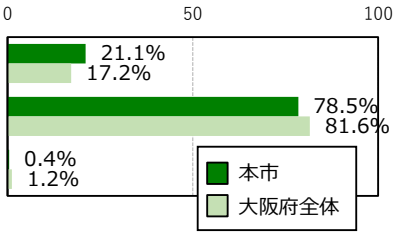
子どもに関することについて

問16（１）子どもの居場所の利用経験

保護者全体は、「利用したことがある」が21.1%、「利用したことがない」が78.5%となっている。
小学生の保護者は、「利用したことがある」が19.7%、「利用したことがない」が79.6%となっている。
中学生の保護者は、「利用したことがある」が24.2%、「利用したことがない」が75.8%となっている。

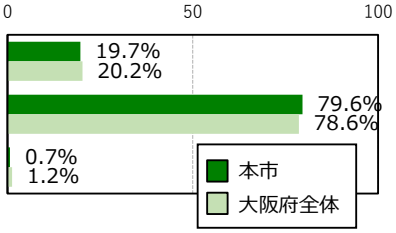
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,358名	100.0%
利用したことがある	161名	21.1%	7,459名	17.2%
利用したことがない	599名	78.5%	35,367名	81.6%
無回答	3名	0.4%	532名	1.2%



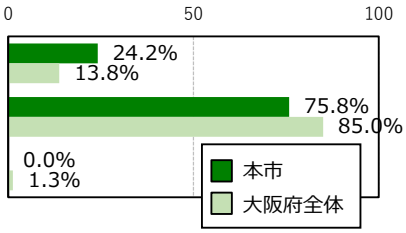
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,819名	100.0%
利用したことがある	80名	19.7%	4,599名	20.2%
利用したことがない	323名	79.6%	17,945名	78.6%
無回答	3名	0.7%	275名	1.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,390名	100.0%
利用したことがある	74名	24.2%	2,667名	13.8%
利用したことがない	232名	75.8%	16,472名	85.0%
無回答	－	－	251名	1.3%



子どもに関することについて

問16（２）子どもの居場所を利用することで良いと思うこと

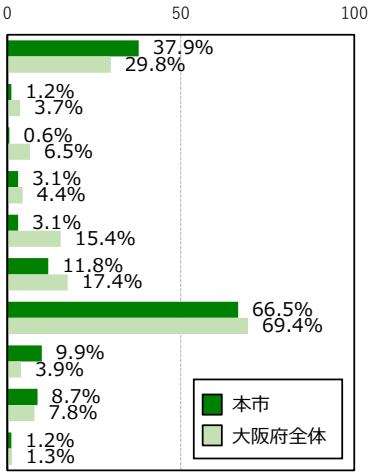
保護者全体は、「お子さんが楽しんでいるから」が66.5%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が37.9%、「宿題など勉強を見てくれるから」が11.8%、「運営者が相談に乗ってくれるから」、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」がそれぞれ3.1%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」が73.8%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が37.5%、「宿題など勉強を見てくれるから」が16.3%、「運営者が相談に乗ってくれるから」、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」がそれぞれ3.8%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんが楽しんでいるから」が60.8%で最も多く、次いで「地域の人とつながれるから」が37.8%、「宿題など勉強を見てくれるから」が8.1%、「運営者が相談に乗ってくれるから」、「低額（または無料）でご飯が食べられるから」がそれぞれ2.7%となっている。

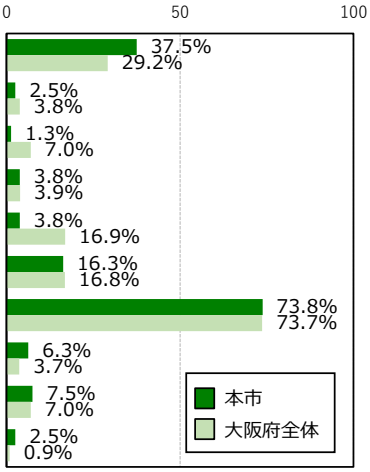
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	161名	100.0%	7,459名	100.0%
地域の人とつながれるから	61名	37.9%	2,226名	29.8%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	2名	1.2%	275名	3.7%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	1名	0.6%	484名	6.5%
運営者が相談に乗ってくれるから	5名	3.1%	329名	4.4%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	5名	3.1%	1,152名	15.4%
宿題など勉強を見てくれるから	19名	11.8%	1,301名	17.4%
お子さんが楽しんでいるから	107名	66.5%	5,178名	69.4%
特になし	16名	9.9%	291名	3.9%
その他	14名	8.7%	579名	7.8%
無回答	2名	1.2%	95名	1.3%



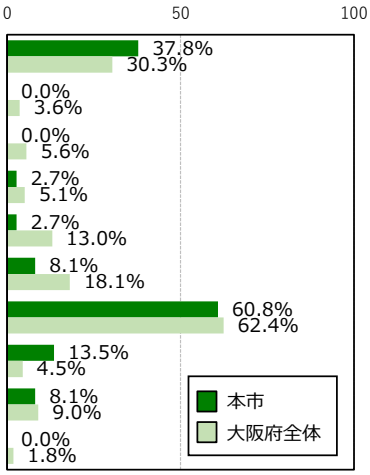
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	80名	100.0%	4,599名	100.0%
地域の人とつながれるから	30名	37.5%	1,344名	29.2%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	2名	2.5%	173名	3.8%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	1名	1.3%	322名	7.0%
運営者が相談に乗ってくれるから	3名	3.8%	180名	3.9%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	3名	3.8%	778名	16.9%
宿題など勉強を見てくれるから	13名	16.3%	773名	16.8%
お子さんが楽しんでいるから	59名	73.8%	3,388名	73.7%
特になし	5名	6.3%	168名	3.7%
その他	6名	7.5%	324名	7.0%
無回答	2名	2.5%	43名	0.9%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	74名	100.0%	2,667名	100.0%
地域の人とつながれるから	28名	37.8%	808名	30.3%
お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	-	-	97名	3.6%
栄養バランスがとれた食事がとれるから	-	-	150名	5.6%
運営者が相談に乗ってくれるから	2名	2.7%	136名	5.1%
低額（または無料）でご飯が食べられるから	2名	2.7%	348名	13.0%
宿題など勉強を見てくれるから	6名	8.1%	482名	18.1%
お子さんが楽しんでいるから	45名	60.8%	1,664名	62.4%
特になし	10名	13.5%	120名	4.5%
その他	6名	8.1%	241名	9.0%
無回答	-	-	47名	1.8%



子どもに関することについて

問16（３）子どもの居場所を利用しない理由

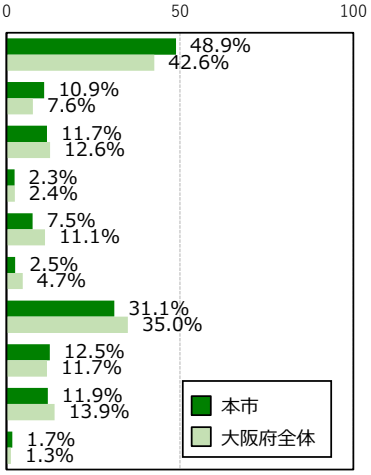
保護者全体は、「どこにあるか知らないから」が48.9%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が31.1%、「何をしているかわからないから」が12.5%、「家で過ごしてほしいと思うから」が11.7%となっている。

小学生の保護者は、「どこにあるか知らないから」が49.8%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が30.7%、「何をしているかわからないから」が11.8%、「家の近く（小学校区内）にないから」、「家で過ごしてほしいと思うから」がそれぞれ10.8%となっている。

中学生の保護者は、「どこにあるか知らないから」が44.0%で最も多く、次いで「利用したいと思わないから」が32.3%、「家で過ごしてほしいと思うから」が12.9%、「何をしているかわからないから」が12.5%となっている。

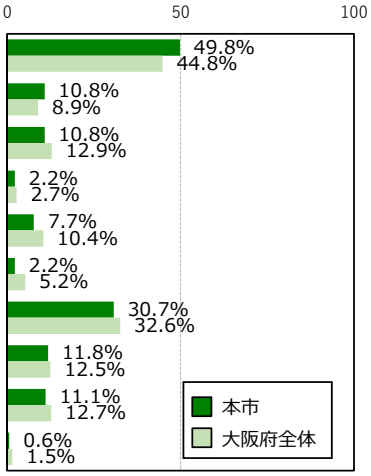
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	599名	100.0%	35,367名	100.0%
どこにあるか知らないから	293名	48.9%	15,060名	42.6%
家の近く（小学校区内）にないから	65名	10.9%	2,697名	7.6%
家で過ごしてほしいと思うから	70名	11.7%	4,452名	12.6%
居場所のイメージがよくないから	14名	2.3%	862名	2.4%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	45名	7.5%	3,936名	11.1%
行きたい日・時間に開いていないから	15名	2.5%	1,647名	4.7%
利用したいと思わないから	186名	31.1%	12,386名	35.0%
何をしているかわからないから	75名	12.5%	4,149名	11.7%
その他	71名	11.9%	4,908名	13.9%
無回答	10名	1.7%	473名	1.3%



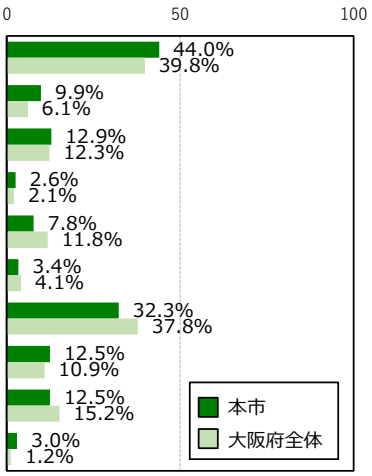
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	323名	100.0%	17,945名	100.0%
どこにあるか知らないから	161名	49.8%	8,048名	44.8%
家の近く（小学校区内）にないから	35名	10.8%	1,594名	8.9%
家で過ごしてほしいと思うから	35名	10.8%	2,318名	12.9%
居場所のイメージがよくないから	7名	2.2%	476名	2.7%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	25名	7.7%	1,873名	10.4%
行きたい日・時間に開いていないから	7名	2.2%	936名	5.2%
利用したいと思わないから	99名	30.7%	5,849名	32.6%
何をしているかわからないから	38名	11.8%	2,243名	12.5%
その他	36名	11.1%	2,278名	12.7%
無回答	2名	0.6%	261名	1.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	232名	100.0%	16,472名	100.0%
どこにあるか知らないから	102名	44.0%	6,563名	39.8%
家の近く（小学校区内）にないから	23名	9.9%	1,006名	6.1%
家で過ごしてほしいと思うから	30名	12.9%	2,030名	12.3%
居場所のイメージがよくないから	6名	2.6%	347名	2.1%
お子さんが「行きたくない」と言っているから	18名	7.8%	1,950名	11.8%
行きたい日・時間に開いていないから	8名	3.4%	673名	4.1%
利用したいと思わないから	75名	32.3%	6,227名	37.8%
何をしているかわからないから	29名	12.5%	1,797名	10.9%
その他	29名	12.5%	2,509名	15.2%
無回答	7名	3.0%	195名	1.2%



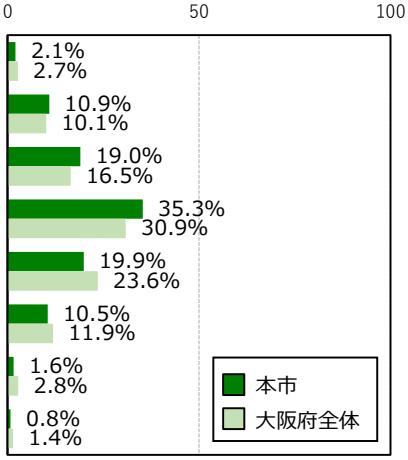
保護者のことについて

問17　初めて親となった年齢

保護者全体は、「27～30歳」が35.3％で最も多く、次いで「31～34歳」が19.9％、「24～26歳」が19.0％、「20～23歳」が10.9％となっている。
小学生の保護者は、「27～30歳」が35.0％で最も多く、次いで「31～34歳」が20.0％、「24～26歳」が18.0％、「35～39歳」が12.1％となっている。
中学生の保護者は、「27～30歳」が34.3％で最も多く、次いで「31～34歳」が20.9％、「24～26歳」が20.3％、「20～23歳」が12.4％となっている。

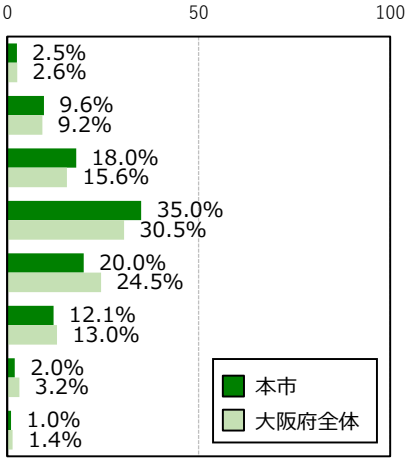
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
10代	16名	2.1%	1,166名	2.7%
20～23歳	83名	10.9%	4,373名	10.1%
24～26歳	145名	19.0%	7,159名	16.5%
27～30歳	269名	35.3%	13,389名	30.9%
31～34歳	152名	19.9%	10,233名	23.6%
35～39歳	80名	10.5%	5,150名	11.9%
40歳以上	12名	1.6%	1,206名	2.8%
無回答	6名	0.8%	624名	1.4%



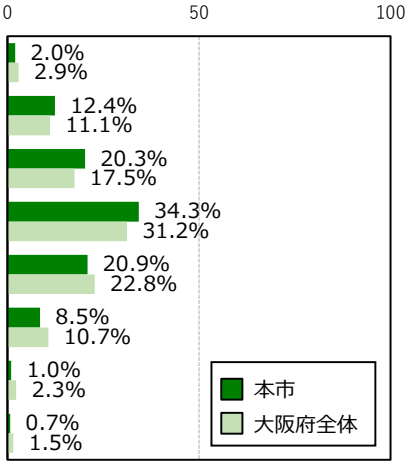
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
10代	10名	2.5%	587名	2.6%
20～23歳	39名	9.6%	2,104名	9.2%
24～26歳	73名	18.0%	3,559名	15.6%
27～30歳	142名	35.0%	6,941名	30.5%
31～34歳	81名	20.0%	5,575名	24.5%
35～39歳	49名	12.1%	2,969名	13.0%
40歳以上	8名	2.0%	735名	3.2%
無回答	4名	1.0%	316名	1.4%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
10代	6名	2.0%	552名	2.9%
20～23歳	38名	12.4%	2,142名	11.1%
24～26歳	62名	20.3%	3,389名	17.5%
27～30歳	105名	34.3%	6,049名	31.2%
31～34歳	64名	20.9%	4,419名	22.8%
35～39歳	26名	8.5%	2,069名	10.7%
40歳以上	3名	1.0%	447名	2.3%
無回答	2名	0.7%	298名	1.5%



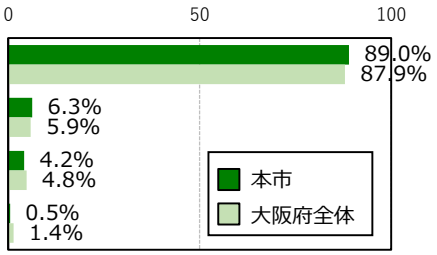
保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
①心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

保護者全体は、「いる」が89.0%、「いない」が6.3%となっている。
小学生の保護者は、「いる」が89.7%、「いない」が6.2%となっている。
中学生の保護者は、「いる」が87.6%、「いない」が6.5%となっている。

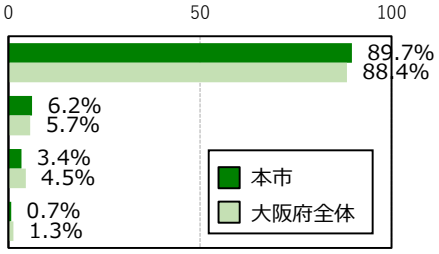
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	679名	89.0%	38,049名	87.9%
いない	48名	6.3%	2,548名	5.9%
わからない	32名	4.2%	2,099名	4.8%
無回答	4名	0.5%	604名	1.4%



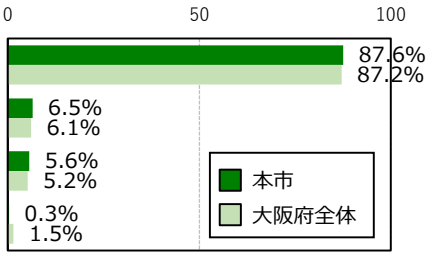
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	364名	89.7%	20,150名	88.4%
いない	25名	6.2%	1,304名	5.7%
わからない	14名	3.4%	1,026名	4.5%
無回答	3名	0.7%	306名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	268名	87.6%	16,885名	87.2%
いない	20名	6.5%	1,173名	6.1%
わからない	17名	5.6%	1,016名	5.2%
無回答	1名	0.3%	291名	1.5%



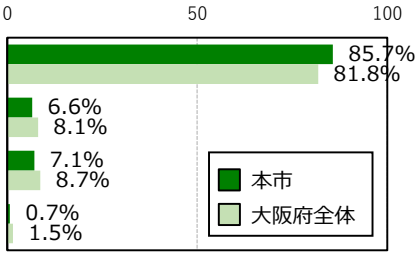
保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
②気持ちを察して思いやってくれる人

保護者全体は、「いる」が85.7%、「いない」が6.6%となっている。
小学生の保護者は、「いる」が86.2%、「いない」が4.9%となっている。
中学生の保護者は、「いる」が85.0%、「いない」が7.8%となっている。

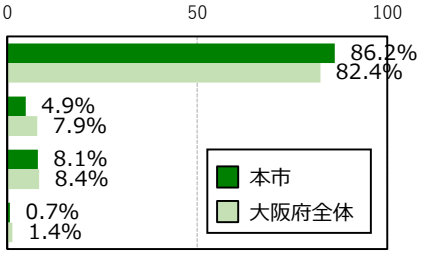
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	654名	85.7%	35,406名	81.8%
いない	50名	6.6%	3,491名	8.1%
わからない	54名	7.1%	3,748名	8.7%
無回答	5名	0.7%	655名	1.5%



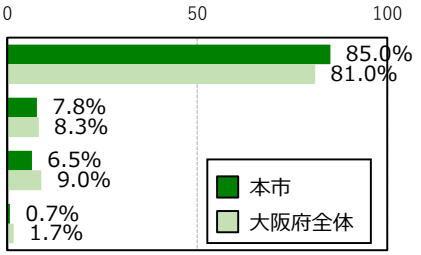
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	350名	86.2%	18,767名	82.4%
いない	20名	4.9%	1,791名	7.9%
わからない	33名	8.1%	1,904名	8.4%
無回答	3名	0.7%	324名	1.4%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	260名	85.0%	15,691名	81.0%
いない	24名	7.8%	1,610名	8.3%
わからない	20名	6.5%	1,741名	9.0%
無回答	2名	0.7%	323名	1.7%



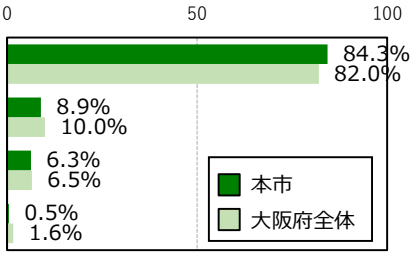
保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
③趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人

保護者全体は、「いる」が84.3%、「いない」が8.9%となっている。
小学生の保護者は、「いる」が84.0%、「いない」が7.6%となっている。
中学生の保護者は、「いる」が84.6%、「いない」が9.8%となっている。

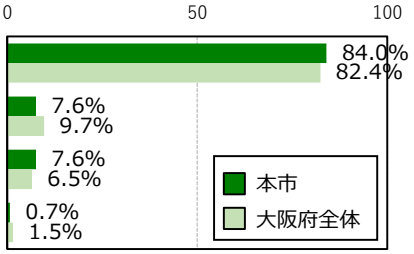
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	643名	84.3%	35,496名	82.0%
いない	68名	8.9%	4,317名	10.0%
わからない	48名	6.3%	2,806名	6.5%
無回答	4名	0.5%	681名	1.6%



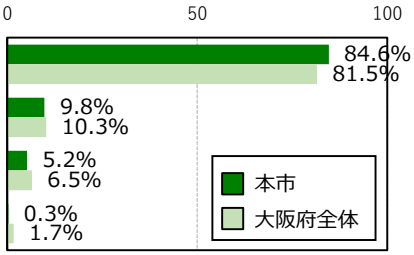
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	341名	84.0%	18,771名	82.4%
いない	31名	7.6%	2,201名	9.7%
わからない	31名	7.6%	1,474名	6.5%
無回答	3名	0.7%	340名	1.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	259名	84.6%	15,782名	81.5%
いない	30名	9.8%	1,990名	10.3%
わからない	16名	5.2%	1,259名	6.5%
無回答	1名	0.3%	334名	1.7%



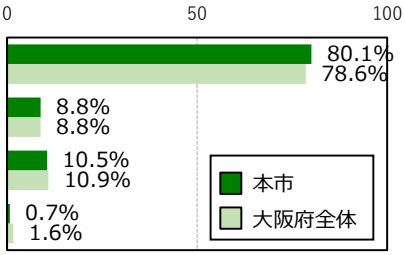
保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
④子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

保護者全体は、「いる」が80.1%、「いない」が8.8%となっている。
小学生の保護者は、「いる」が80.5%、「いない」が7.9%となっている。
中学生の保護者は、「いる」が78.8%、「いない」が9.8%となっている。

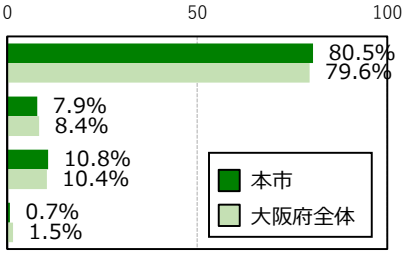
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	611名	80.1%	34,034名	78.6%
いない	67名	8.8%	3,824名	8.8%
わからない	80名	10.5%	4,731名	10.9%
無回答	5名	0.7%	711名	1.6%



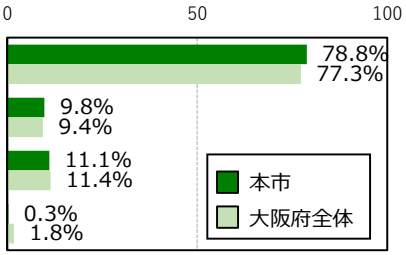
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	327名	80.5%	18,149名	79.6%
いない	32名	7.9%	1,912名	8.4%
わからない	44名	10.8%	2,381名	10.4%
無回答	3名	0.7%	344名	1.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	241名	78.8%	14,966名	77.3%
いない	30名	9.8%	1,826名	9.4%
わからない	34名	11.1%	2,217名	11.4%
無回答	1名	0.3%	356名	1.8%



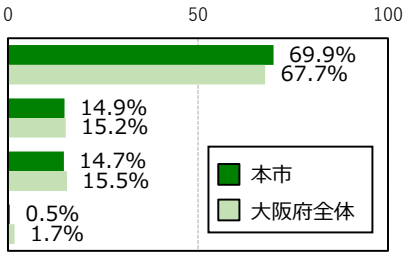
保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
⑤子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）

保護者全体は、「いる」が69.9%、「いない」が14.9%となっている。
小学生の保護者は、「いる」が69.7%、「いない」が13.3%となっている。
中学生の保護者は、「いる」が70.3%、「いない」が15.7%となっている。

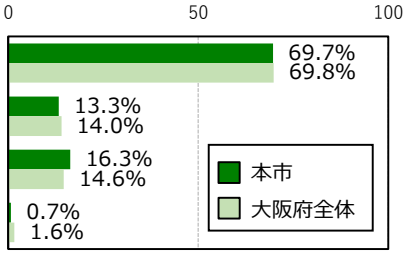
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	533名	69.9%	29,297名	67.7%
いない	114名	14.9%	6,570名	15.2%
わからない	112名	14.7%	6,713名	15.5%
無回答	4名	0.5%	720名	1.7%



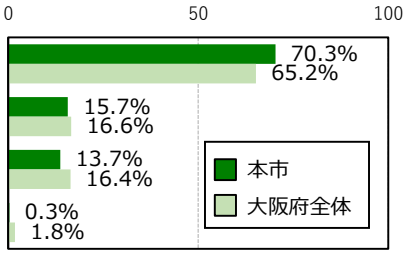
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	283名	69.7%	15,896名	69.8%
いない	54名	13.3%	3,195名	14.0%
わからない	66名	16.3%	3,334名	14.6%
無回答	3名	0.7%	361名	1.6%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	215名	70.3%	12,629名	65.2%
いない	48名	15.7%	3,218名	16.6%
わからない	42名	13.7%	3,167名	16.4%
無回答	1名	0.3%	351名	1.8%



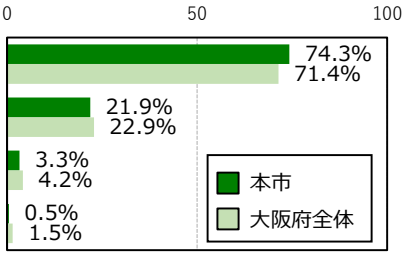
保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
⑥子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人

保護者全体は、「いる」が74.3%、「いない」が21.9%となっている。
小学生の保護者は、「いる」が74.9%、「いない」が20.2%となっている。
中学生の保護者は、「いる」が74.8%、「いない」が22.5%となっている。

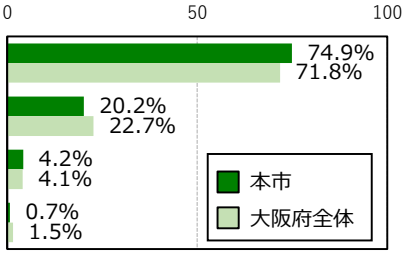
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	567名	74.3%	30,902名	71.4%
いない	167名	21.9%	9,922名	22.9%
わからない	25名	3.3%	1,822名	4.2%
無回答	4名	0.5%	654名	1.5%



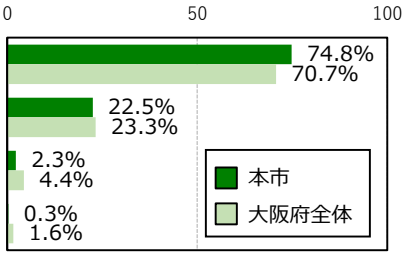
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	304名	74.9%	16,360名	71.8%
いない	82名	20.2%	5,164名	22.7%
わからない	17名	4.2%	930名	4.1%
無回答	3名	0.7%	332名	1.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	229名	74.8%	13,687名	70.7%
いない	69名	22.5%	4,519名	23.3%
わからない	7名	2.3%	850名	4.4%
無回答	1名	0.3%	309名	1.6%



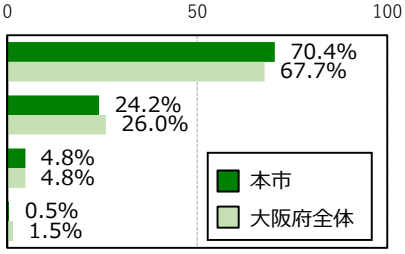
保護者のことについて

問18　支えてくれたり、手伝ってくれる人の有無
⑦留守を頼める人

保護者全体は、「いる」が70.4%、「いない」が24.2%となっている。
小学生の保護者は、「いる」が71.7%、「いない」が23.2%となっている。
中学生の保護者は、「いる」が69.9%、「いない」が24.5%となっている。

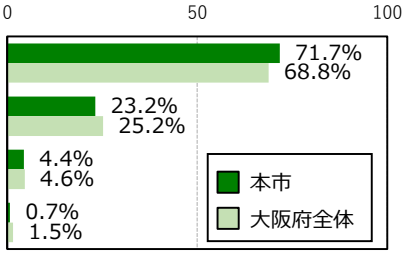
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いる	537名	70.4%	29,312名	67.7%
いない	185名	24.2%	11,256名	26.0%
わからない	37名	4.8%	2,066名	4.8%
無回答	4名	0.5%	666名	1.5%



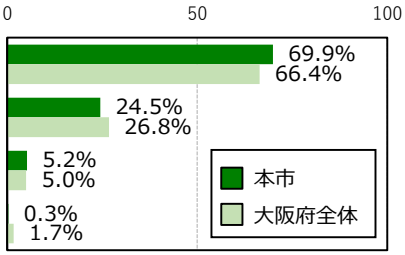
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いる	291名	71.7%	15,668名	68.8%
いない	94名	23.2%	5,746名	25.2%
わからない	18名	4.4%	1,037名	4.6%
無回答	3名	0.7%	335名	1.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いる	214名	69.9%	12,868名	66.4%
いない	75名	24.5%	5,198名	26.8%
わからない	16名	5.2%	977名	5.0%
無回答	1名	0.3%	322名	1.7%



保護者のことについて

問19　本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

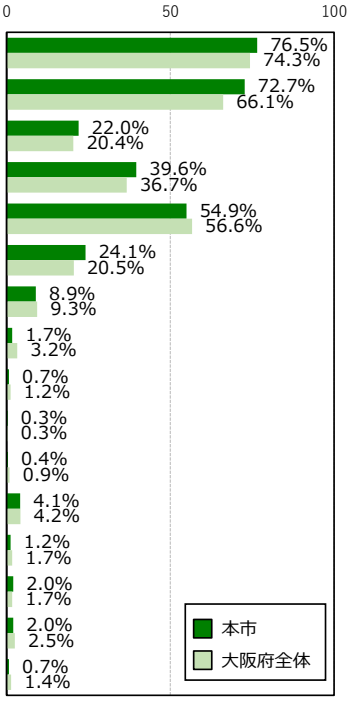
保護者全体は、「配偶者・パートナー」が76.5%で最も多く、次いで「自分の親」が72.7%、「知人や友人」が54.9%、「きょうだい・その他の親戚」が39.6%となっている。

小学生の保護者は、「配偶者・パートナー」が79.3%で最も多く、次いで「自分の親」が74.6%、「知人や友人」が55.7%、「きょうだい・その他の親戚」が40.6%となっている。

中学生の保護者は、「配偶者・パートナー」が74.5%で最も多く、次いで「自分の親」が71.2%、「知人や友人」が53.9%、「きょうだい・その他の親戚」が38.6%となっている。

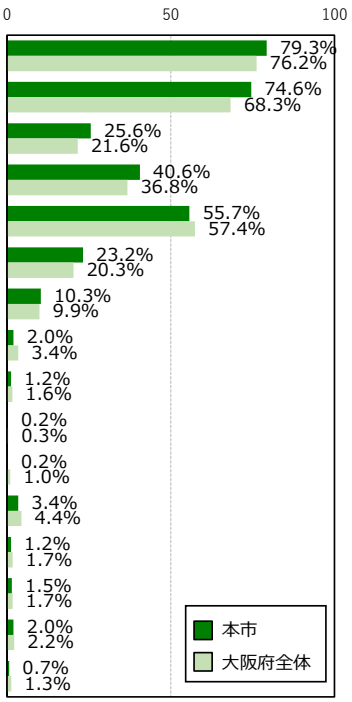
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
配偶者・パートナー	584名	76.5%	32,160名	74.3%
自分の親	555名	72.7%	28,615名	66.1%
配偶者・パートナーの親	168名	22.0%	8,825名	20.4%
きょうだい・その他の親戚	302名	39.6%	15,893名	36.7%
知人や友人（※1）	419名	54.9%	24,497名	56.6%
職場関係者	184名	24.1%	8,895名	20.5%
学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー（※2）	68名	8.9%	4,012名	9.3%
公的機関や役所の相談員	13名	1.7%	1,370名	3.2%
学童保育の指導員	5名	0.7%	499名	1.2%
地域の民生委員・児童委員	2名	0.3%	121名	0.3%
民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）（※3）	3名	0.4%	393名	0.9%
医療機関の医師や看護師	31名	4.1%	1,805名	4.2%
インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談（※4）	9名	1.2%	718名	1.7%
その他	15名	2.0%	753名	1.7%
相談できる相手がいない	15名	2.0%	1,074名	2.5%
無回答	5名	0.7%	594名	1.4%



【小学生の保護者】

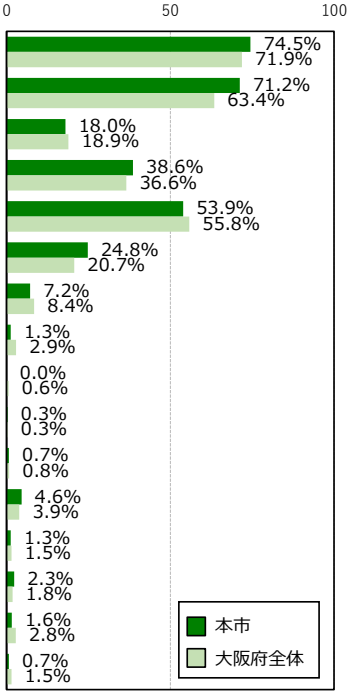
	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
配偶者・パートナー	322名	79.3%	17,361名	76.2%
自分の親	303名	74.6%	15,573名	68.3%
配偶者・パートナーの親	104名	25.6%	4,929名	21.6%
きょうだい・その他の親戚	165名	40.6%	8,396名	36.8%
知人や友人（※1）	226名	55.7%	13,079名	57.4%
職場関係者	94名	23.2%	4,623名	20.3%
学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー（※2）	42名	10.3%	2,265名	9.9%
公的機関や役所の相談員	8名	2.0%	778名	3.4%
学童保育の指導員	5名	1.2%	367名	1.6%
地域の民生委員・児童委員	1名	0.2%	70名	0.3%
民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）（※3）	1名	0.2%	226名	1.0%
医療機関の医師や看護師	14名	3.4%	999名	4.4%
インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談（※4）	5名	1.2%	394名	1.7%
その他	6名	1.5%	378名	1.7%
相談できる相手がいない	8名	2.0%	512名	2.2%
無回答	3名	0.7%	298名	1.3%



※1　2016年度調査の「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」を「知人や友人」に変更
※2　2016年度調査では「学校の先生やスクールカウンセラー」
※3　2016年度調査の「民間の支援団体」と「民間のカウンセラー・電話相談」を「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」に変更
※4　2016年度調査では「インターネットのサイトへの書き込み」

【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
配偶者・パートナー	228名	74.5%	13,928名	71.9%
自分の親	218名	71.2%	12,272名	63.4%
配偶者・パートナーの親	55名	18.0%	3,659名	18.9%
きょうだい・その他の親戚	118名	38.6%	7,086名	36.6%
知人や友人（※1）	165名	53.9%	10,808名	55.8%
職場関係者	76名	24.8%	4,004名	20.7%
学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー（※2）	22名	7.2%	1,618名	8.4%
公的機関や役所の相談員	4名	1.3%	564名	2.9%
学童保育の指導員	-	-	122名	0.6%
地域の民生委員・児童委員	1名	0.3%	49名	0.3%
民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）（※3）	2名	0.7%	153名	0.8%
医療機関の医師や看護師	14名	4.6%	759名	3.9%
インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談（※4）	4名	1.3%	300名	1.5%
その他	7名	2.3%	346名	1.8%
相談できる相手がいない	5名	1.6%	536名	2.8%
無回答	2名	0.7%	290名	1.5%



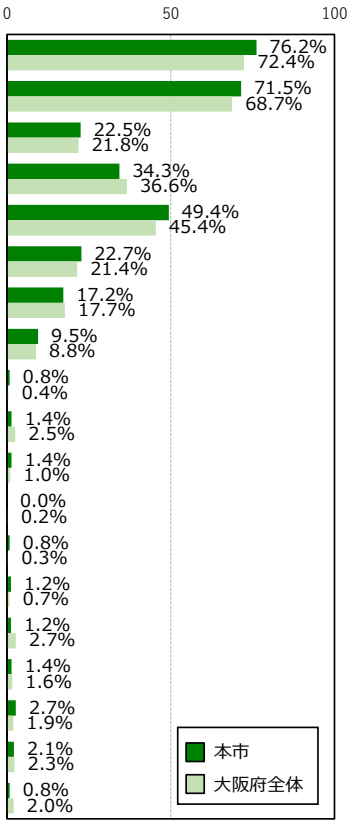
※1　2016年度調査の「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」を「知人や友人」に変更
※2　2016年度調査では「学校の先生やスクールカウンセラー」
※3　2016年度調査の「民間の支援団体」と「民間のカウンセラー・電話相談」を「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」に変更
※4　2016年度調査では「インターネットのサイトへの書き込み」

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「知人や友人」（2016年度は「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」の合計）が14.9ポイント低くなっている。
小学生の保護者は、「知人や友人」が16.4ポイント低く、「きょうだい・その他の親戚」が6.3ポイント高くなっている。
中学生の保護者は、「知人や友人」が13.4ポイント低く、「配偶者・パートナー」が5.3ポイント高くなっている。

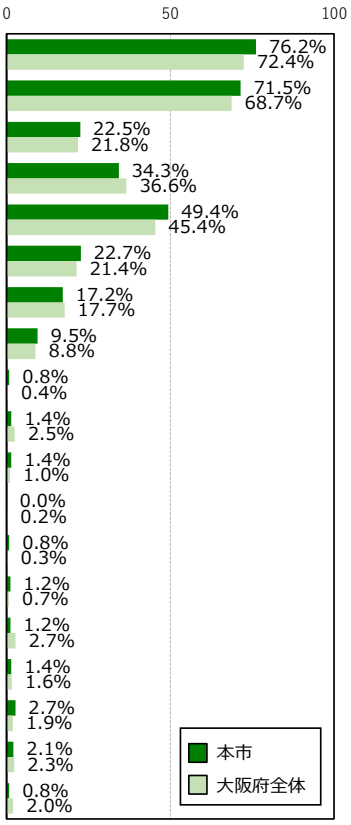
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	1,000名	100.0%	49,703名	100.0%
配偶者・パートナー	728名	72.8%	34,711名	69.8%
自分の親	693名	69.3%	32,884名	66.2%
配偶者・パートナーの親	209名	20.9%	9,808名	19.7%
きょうだい・その他の親戚	346名	34.6%	17,831名	35.9%
近隣に住む知人や友人	473名	47.3%	21,691名	43.6%
近隣に住んでいない知人や友人	225名	22.5%	10,172名	20.5%
職場関係者	193名	19.3%	9,052名	18.2%
学校の先生やスクールカウンセラー	71名	7.1%	3,938名	7.9%
子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等	5名	0.5%	145名	0.3%
公的機関や役所の相談員	15名	1.5%	1,227名	2.5%
学童保育の指導員	9名	0.9%	360名	0.7%
地域の民生委員・児童委員	-	-	105名	0.2%
民間の支援団体	6名	0.6%	145名	0.3%
民間のカウンセラー・電話相談	8名	0.8%	360名	0.7%
医療機関の医師や看護師	11名	1.1%	1,251名	2.5%
インターネットのサイトへの書き込み	10名	1.0%	694名	1.4%
その他	22名	2.2%	1,029名	2.1%
相談できる相手がいない	26名	2.6%	1,281名	2.6%
無回答	8名	0.8%	1,176名	2.4%



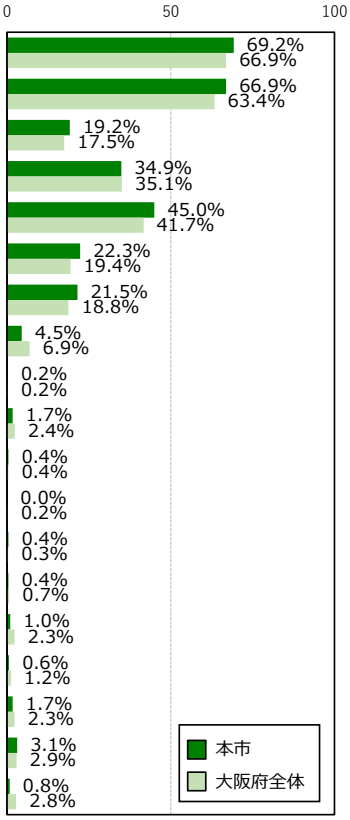
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	516名	100.0%	26,342名	100.0%
配偶者・パートナー	393名	76.2%	19,075名	72.4%
自分の親	369名	71.5%	18,092名	68.7%
配偶者・パートナーの親	116名	22.5%	5,732名	21.8%
きょうだい・その他の親戚	177名	34.3%	9,630名	36.6%
近隣に住む知人や友人	255名	49.4%	11,951名	45.4%
近隣に住んでいない知人や友人	117名	22.7%	5,632名	21.4%
職場関係者	89名	17.2%	4,655名	17.7%
学校の先生やスクールカウンセラー	49名	9.5%	2,327名	8.8%
子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等	4名	0.8%	97名	0.4%
公的機関や役所の相談員	7名	1.4%	657名	2.5%
学童保育の指導員	7名	1.4%	273名	1.0%
地域の民生委員・児童委員	-	-	59名	0.2%
民間の支援団体	4名	0.8%	79名	0.3%
民間のカウンセラー・電話相談	6名	1.2%	195名	0.7%
医療機関の医師や看護師	6名	1.2%	710名	2.7%
インターネットのサイトへの書き込み	7名	1.4%	413名	1.6%
その他	14名	2.7%	493名	1.9%
相談できる相手がいない	11名	2.1%	612名	2.3%
無回答	4名	0.8%	519名	2.0%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	484名	100.0%	23,323名	100.0%
配偶者・パートナー	335名	69.2%	15,612名	66.9%
自分の親	324名	66.9%	14,777名	63.4%
配偶者・パートナーの親	93名	19.2%	4,074名	17.5%
きょうだい・その他の親戚	169名	34.9%	8,194名	35.1%
近隣に住む知人や友人	218名	45.0%	9,732名	41.7%
近隣に住んでいない知人や友人	108名	22.3%	4,536名	19.4%
職場関係者	104名	21.5%	4,395名	18.8%
学校の先生やスクールカウンセラー	22名	4.5%	1,605名	6.9%
子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等	1名	0.2%	48名	0.2%
公的機関や役所の相談員	8名	1.7%	563名	2.4%
学童保育の指導員	2名	0.4%	87名	0.4%
地域の民生委員・児童委員	－	－	46名	0.2%
民間の支援団体	2名	0.4%	64名	0.3%
民間のカウンセラー・電話相談	2名	0.4%	165名	0.7%
医療機関の医師や看護師	5名	1.0%	537名	2.3%
インターネットのサイトへの書き込み	3名	0.6%	281名	1.2%
その他	8名	1.7%	534名	2.3%
相談できる相手がいない	15名	3.1%	668名	2.9%
無回答	4名	0.8%	653名	2.8%



保護者のことについて

問20　身近にあるといいと思うこと

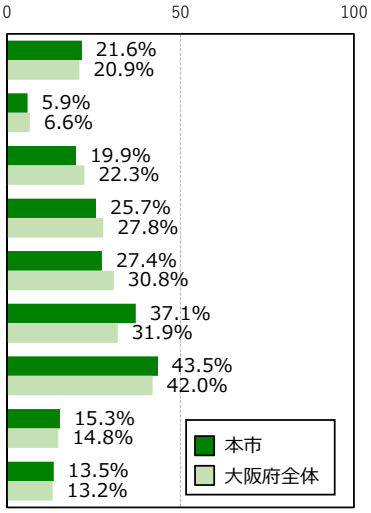
保護者全体は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が43.5%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が37.1%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が27.4%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が25.7%となっている。

小学生の保護者は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が44.6%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が38.9%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が30.5%、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が29.6%となっている。

中学生の保護者は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」が41.2%で最も多く、次いで「お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」が34.3%、「保護者どうしで気軽に話せる場」が23.2%、「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が22.9%となっている。

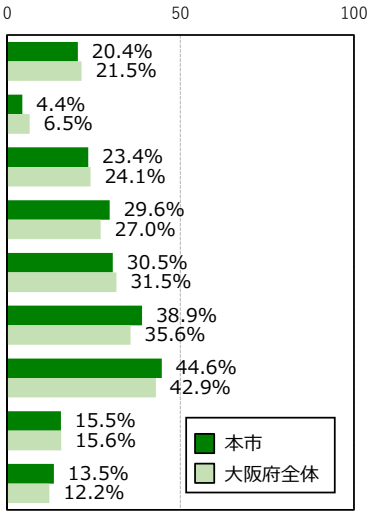
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
保護者どうしで気軽に話せる場	165名	21.6%	9,044名	20.9%
ＳＮＳなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ	45名	5.9%	2,876名	6.6%
家事の援助が受けられること	152名	19.9%	9,636名	22.3%
支援制度など必要な情報を届けてくれること	196名	25.7%	12,054名	27.8%
困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス	209名	27.4%	13,345名	30.8%
お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること	283名	37.1%	13,796名	31.9%
お子さんが無料で学習支援を受けられる場所	332名	43.5%	18,191名	42.0%
お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること	117名	15.3%	6,387名	14.8%
無回答	103名	13.5%	5,723名	13.2%



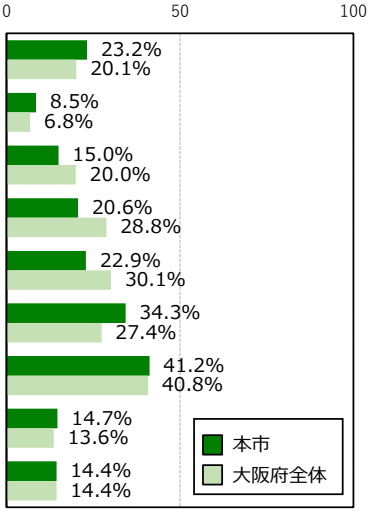
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
保護者どうしで気軽に話せる場	83名	20.4%	4,890名	21.5%
ＳＮＳなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ	18名	4.4%	1,475名	6.5%
家事の援助が受けられること	95名	23.4%	5,491名	24.1%
支援制度など必要な情報を届けてくれること	120名	29.6%	6,145名	27.0%
困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス	124名	30.5%	7,171名	31.5%
お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること	158名	38.9%	8,107名	35.6%
お子さんが無料で学習支援を受けられる場所	181名	44.6%	9,769名	42.9%
お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること	63名	15.5%	3,559名	15.6%
無回答	55名	13.5%	2,776名	12.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
保護者どうしで気軽に話せる場	71名	23.2%	3,898名	20.1%
ＳＮＳなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ	26名	8.5%	1,312名	6.8%
家事の援助が受けられること	46名	15.0%	3,872名	20.0%
支援制度など必要な情報を届けてくれること	63名	20.6%	5,580名	28.8%
困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス	70名	22.9%	5,831名	30.1%
お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること	105名	34.3%	5,315名	27.4%
お子さんが無料で学習支援を受けられる場所	126名	41.2%	7,901名	40.8%
お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること	45名	14.7%	2,641名	13.6%
無回答	44名	14.4%	2,789名	14.4%



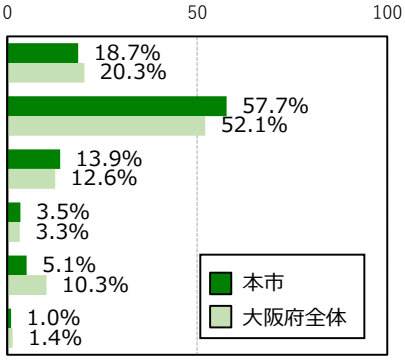
保護者のことについて

問21（１）生活を楽しんでいるか

保護者全体は、「楽しんでいる」が57.7%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が18.7%、「あまり楽しんでいない」が13.9%、「楽しんでいない」が3.5%となっている。
小学生の保護者は、「楽しんでいる」が56.4%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が19.7%、「あまり楽しんでいない」が13.3%、「楽しんでいない」が3.7%となっている。
中学生の保護者は、「楽しんでいる」が59.2%で最も多く、次いで「とても楽しんでいる」が17.3%、「あまり楽しんでいない」が14.1%、「楽しんでいない」が3.9%となっている。

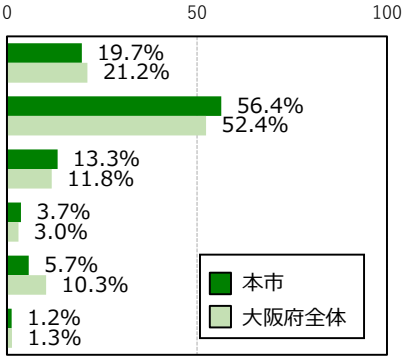
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
とても楽しんでいる	143名	18.7%	8,791名	20.3%
楽しんでいる	440名	57.7%	22,555名	52.1%
あまり楽しんでいない	106名	13.9%	5,466名	12.6%
楽しんでいない	27名	3.5%	1,411名	3.3%
わからない	39名	5.1%	4,473名	10.3%
無回答	8名	1.0%	604名	1.4%



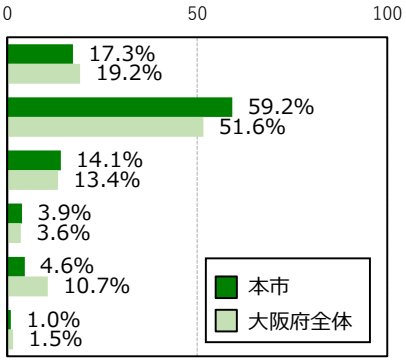
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
とても楽しんでいる	80名	19.7%	4,835名	21.2%
楽しんでいる	229名	56.4%	11,934名	52.4%
あまり楽しんでいない	54名	13.3%	2,699名	11.8%
楽しんでいない	15名	3.7%	680名	3.0%
わからない	23名	5.7%	2,340名	10.3%
無回答	5名	1.2%	298名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
とても楽しんでいる	53名	17.3%	3,719名	19.2%
楽しんでいる	181名	59.2%	9,994名	51.6%
あまり楽しんでいない	43名	14.1%	2,592名	13.4%
楽しんでいない	12名	3.9%	690名	3.6%
わからない	14名	4.6%	2,070名	10.7%
無回答	3名	1.0%	300名	1.5%



保護者のことについて

問21（２）将来に対して希望を持っているか

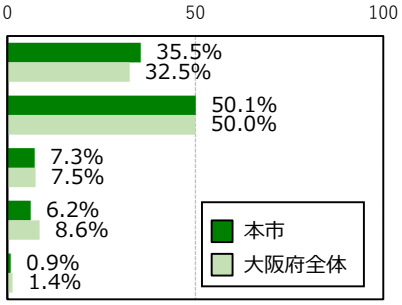
保護者全体は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が50.1％で最も多く、次いで「希望が持てる」が35.5％、「希望が持てない」が7.3％となっている。

小学生の保護者は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が49.0％で最も多く、次いで「希望が持てる」が38.2％、「希望が持てない」が6.4％となっている。

中学生の保護者は、「希望が持てるときもあれば、持てないときもある」が49.3％で最も多く、次いで「希望が持てる」が33.3％、「希望が持てない」が9.8％となっている。

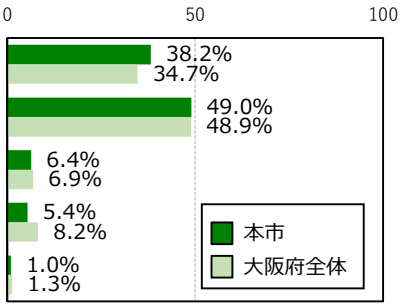
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
希望が持てる	271名	35.5%	14,080名	32.5%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	382名	50.1%	21,662名	50.0%
希望が持てない	56名	7.3%	3,239名	7.5%
わからない	47名	6.2%	3,718名	8.6%
無回答	7名	0.9%	601名	1.4%



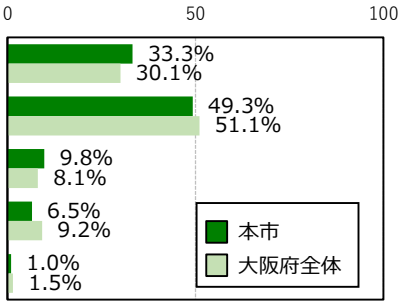
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
希望が持てる	155名	38.2%	7,896名	34.7%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	199名	49.0%	11,142名	48.9%
希望が持てない	26名	6.4%	1,575名	6.9%
わからない	22名	5.4%	1,874名	8.2%
無回答	4名	1.0%	299名	1.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
希望が持てる	102名	33.3%	5,831名	30.1%
希望が持てるときもあれば、持てないときもある	151名	49.3%	9,890名	51.1%
希望が持てない	30名	9.8%	1,574名	8.1%
わからない	20名	6.5%	1,774名	9.2%
無回答	3名	1.0%	296名	1.5%



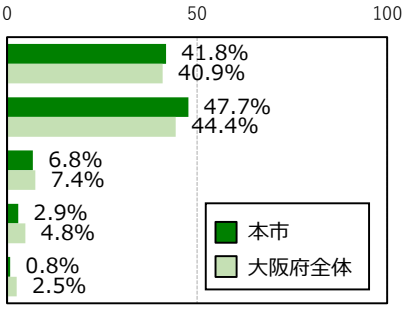
保護者のことについて

問21（３）ストレスを発散できるものがあるか

保護者全体は、「あるときもあれば、ないときもある」が47.7％で最も多く、次いで「ある」が41.8％、「ない」が6.8％となっている。
小学生の保護者は、「あるときもあれば、ないときもある」が46.1％で最も多く、次いで「ある」が41.9％、「ない」が8.4％となっている。
中学生の保護者は、「あるときもあれば、ないときもある」が49.0％で最も多く、次いで「ある」が42.2％、「ない」が5.2％となっている。

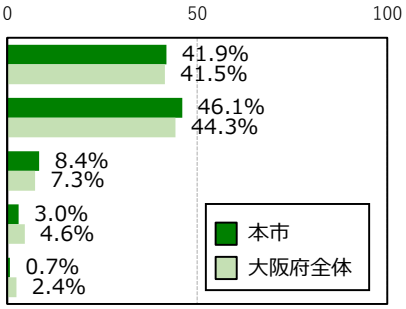
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
ある	319名	41.8%	17,707名	40.9%
あるときもあれば、ないときもある	364名	47.7%	19,240名	44.4%
ない	52名	6.8%	3,221名	7.4%
わからない	22名	2.9%	2,061名	4.8%
無回答	6名	0.8%	1,071名	2.5%



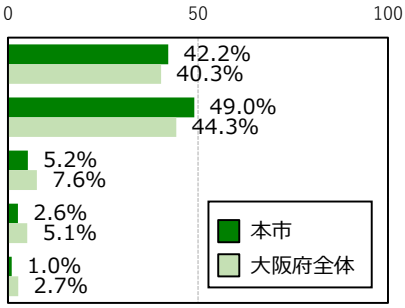
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
ある	170名	41.9%	9,455名	41.5%
あるときもあれば、ないときもある	187名	46.1%	10,090名	44.3%
ない	34名	8.4%	1,668名	7.3%
わからない	12名	3.0%	1,037名	4.6%
無回答	3名	0.7%	536名	2.4%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
ある	129名	42.2%	7,803名	40.3%
あるときもあれば、ないときもある	150名	49.0%	8,576名	44.3%
ない	16名	5.2%	1,467名	7.6%
わからない	8名	2.6%	990名	5.1%
無回答	3名	1.0%	529名	2.7%



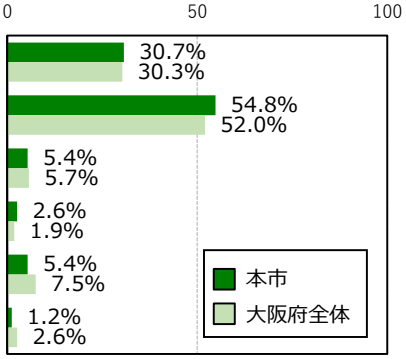
保護者のことについて

問21（４）自分が幸せだと思うか

保護者全体は、「幸せだと思う」が54.8%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が30.7%、「あまり幸せだと思わない」が5.4%、「幸せだと思わない」が2.6%となっている。
小学生の保護者は、「幸せだと思う」が51.5%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が34.0%、「あまり幸せだと思わない」が4.9%、「幸せだと思わない」が2.2%となっている。
中学生の保護者は、「幸せだと思う」が56.9%で最も多く、次いで「とても幸せだと思う」が27.5%、「あまり幸せだと思わない」が6.5%、「幸せだと思わない」が3.3%となっている。

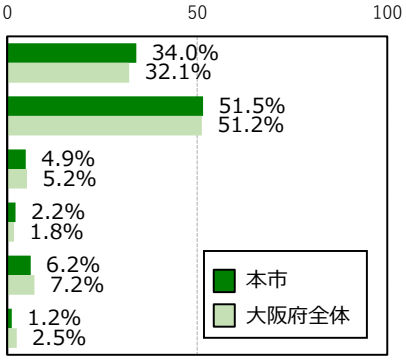
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
とても幸せだと思う	234名	30.7%	13,119名	30.3%
幸せだと思う	418名	54.8%	22,517名	52.0%
あまり幸せだと思わない	41名	5.4%	2,464名	5.7%
幸せだと思わない	20名	2.6%	819名	1.9%
わからない	41名	5.4%	3,246名	7.5%
無回答	9名	1.2%	1,135名	2.6%



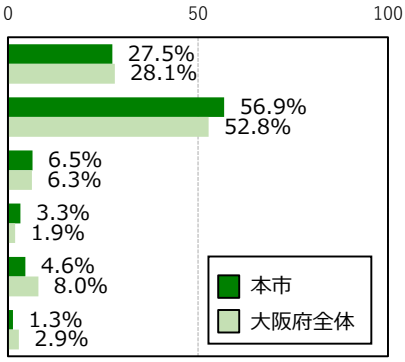
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
とても幸せだと思う	138名	34.0%	7,323名	32.1%
幸せだと思う	209名	51.5%	11,664名	51.2%
あまり幸せだと思わない	20名	4.9%	1,176名	5.2%
幸せだと思わない	9名	2.2%	413名	1.8%
わからない	25名	6.2%	1,640名	7.2%
無回答	5名	1.2%	570名	2.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
とても幸せだと思う	84名	27.5%	5,439名	28.1%
幸せだと思う	174名	56.9%	10,225名	52.8%
あまり幸せだと思わない	20名	6.5%	1,211名	6.3%
幸せだと思わない	10名	3.3%	376名	1.9%
わからない	14名	4.6%	1,555名	8.0%
無回答	4名	1.3%	559名	2.9%



保護者のことについて

問22　自分の体や気持ちで気になること

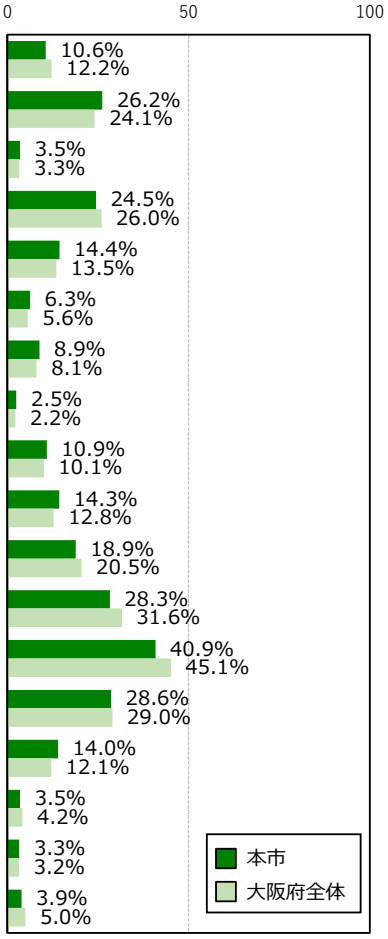
保護者全体は、「よく肩がこる」が40.9%で最も多く、次いで「よく腰がいたくなる」が28.6%、「イライラする」が28.3%、「よく頭がいたくなる」が26.2%となっている。

小学生の保護者は、「よく肩がこる」が42.4%で最も多く、次いで「イライラする」が30.3%、「よく腰がいたくなる」が29.3%、「よく頭がいたくなる」が23.4%となっている。

中学生の保護者は、「よく肩がこる」が39.9%で最も多く、次いで「よく頭がいたくなる」が29.4%、「よく腰がいたくなる」が27.1%、「不安な気持ちになる」が26.1%となっている。

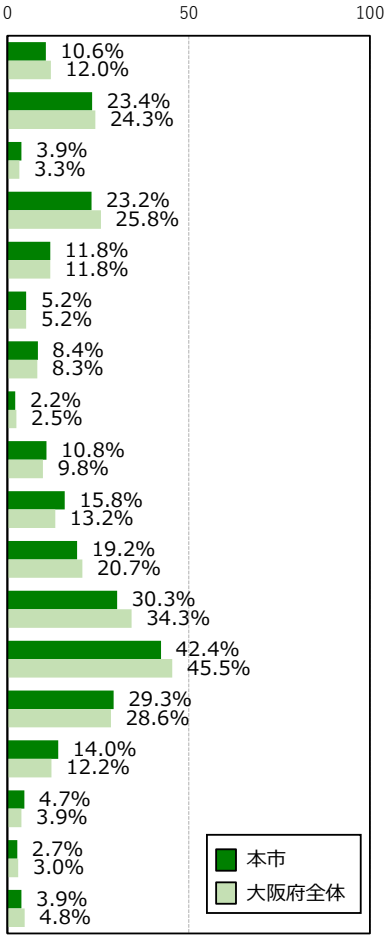
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
ねむれない	81名	10.6%	5,304名	12.2%
よく頭がいたくなる	200名	26.2%	10,446名	24.1%
歯がいたい	27名	3.5%	1,443名	3.3%
不安な気持ちになる	187名	24.5%	11,237名	26.0%
ものを見づらい	110名	14.4%	5,840名	13.5%
聞こえにくい	48名	6.3%	2,442名	5.6%
よくおなかがいたくなる	68名	8.9%	3,528名	8.1%
よくかぜをひく	19名	2.5%	937名	2.2%
よくかゆくなる	83名	10.9%	4,377名	10.1%
まわりが気になる	109名	14.3%	5,553名	12.8%
やる気が起きない	144名	18.9%	8,864名	20.5%
イライラする	216名	28.3%	13,687名	31.6%
よく肩がこる	312名	40.9%	19,531名	45.1%
よく腰がいたくなる	218名	28.6%	12,563名	29.0%
とくに気になるところはない	107名	14.0%	5,235名	12.1%
その他	27名	3.5%	1,805名	4.2%
わからない	25名	3.3%	1,376名	3.2%
無回答	30名	3.9%	2,175名	5.0%



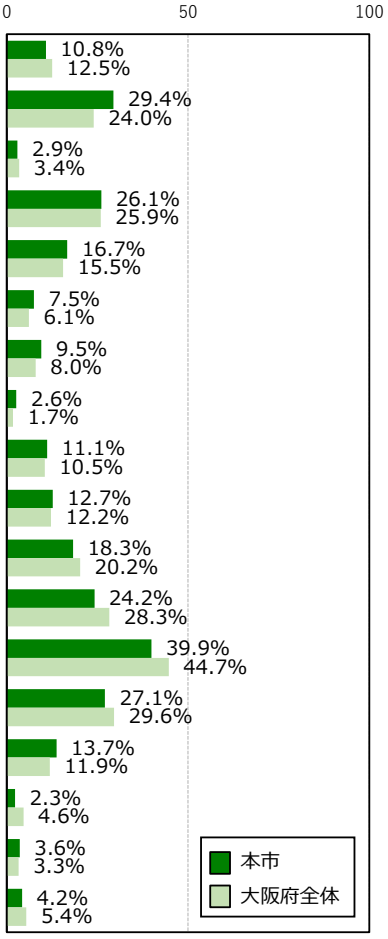
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
ねむれない	43名	10.6%	2,729名	12.0%
よく頭がいたくなる	95名	23.4%	5,527名	24.3%
歯がいたい	16名	3.9%	743名	3.3%
不安な気持ちになる	94名	23.2%	5,889名	25.8%
ものを見づらい	48名	11.8%	2,690名	11.8%
聞こえにくい	21名	5.2%	1,177名	5.2%
よくおなかがいたくなる	34名	8.4%	1,881名	8.3%
よくかぜをひく	9名	2.2%	579名	2.5%
よくかゆくなる	44名	10.8%	2,233名	9.8%
まわりが気になる	64名	15.8%	3,007名	13.2%
やる気が起きない	78名	19.2%	4,720名	20.7%
イライラする	123名	30.3%	7,824名	34.3%
よく肩がこる	172名	42.4%	10,371名	45.5%
よく腰がいたくなる	119名	29.3%	6,526名	28.6%
とくに気になるところはない	57名	14.0%	2,788名	12.2%
その他	19名	4.7%	886名	3.9%
わからない	11名	2.7%	684名	3.0%
無回答	16名	3.9%	1,097名	4.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
ねむれない	33名	10.8%	2,419名	12.5%
よく頭がいたくなる	90名	29.4%	4,640名	24.0%
歯がいたい	9名	2.9%	654名	3.4%
不安な気持ちになる	80名	26.1%	5,022名	25.9%
ものを見づらい	51名	16.7%	3,003名	15.5%
聞こえにくい	23名	7.5%	1,190名	6.1%
よくおなかがいたくなる	29名	9.5%	1,542名	8.0%
よくかぜをひく	8名	2.6%	331名	1.7%
よくかゆくなる	34名	11.1%	2,028名	10.5%
まわりが気になる	39名	12.7%	2,367名	12.2%
やる気が起きない	56名	18.3%	3,909名	20.2%
イライラする	74名	24.2%	5,480名	28.3%
よく肩がこる	122名	39.9%	8,655名	44.7%
よく腰がいたくなる	83名	27.1%	5,734名	29.6%
とくに気になるところはない	42名	13.7%	2,295名	11.9%
その他	7名	2.3%	889名	4.6%
わからない	11名	3.6%	646名	3.3%
無回答	13名	4.2%	1,038名	5.4%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　a　就学援助

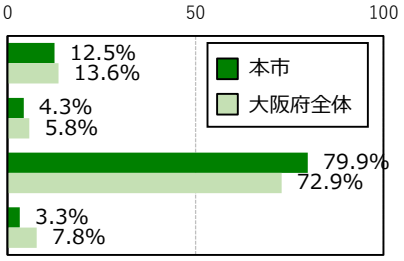
保護者全体は、「利用したことがない」が79.9%で最も多く、次いで「現在利用している」が12.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.3%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が82.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が9.9%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.4%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が76.5%で最も多く、次いで「現在利用している」が16.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.9%となっている。

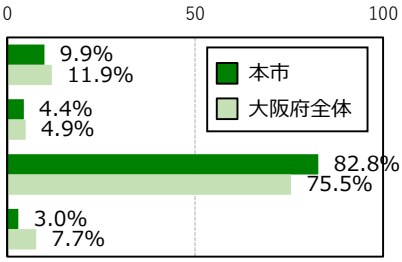
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	95名	12.5%	5,869名	13.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	33名	4.3%	2,503名	5.8%
利用したことがない	610名	79.9%	31,557名	72.9%
無回答	25名	3.3%	3,371名	7.8%



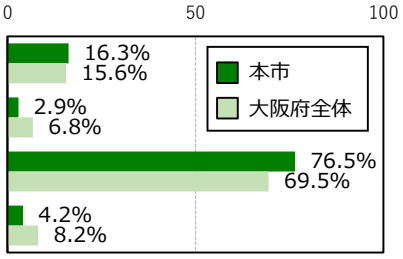
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	40名	9.9%	2,714名	11.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	18名	4.4%	1,110名	4.9%
利用したことがない	336名	82.8%	17,198名	75.5%
無回答	12名	3.0%	1,764名	7.7%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	50名	16.3%	3,020名	15.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	9名	2.9%	1,308名	6.8%
利用したことがない	234名	76.5%	13,453名	69.5%
無回答	13名	4.2%	1,584名	8.2%



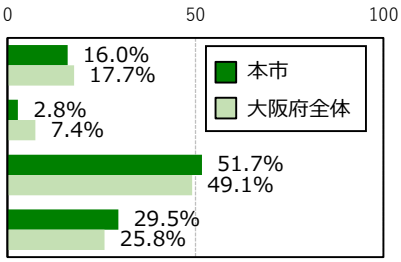
※　2016年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、全体は、「利用したことがない」（2016年度調査では「受けたことはない」）が28.2ポイント高くなっている。
小学生の保護者は、「利用したことがない」が27.0ポイント高くなっている。
中学生の保護者は、「利用したことがない」が29.2ポイント高くなっている。

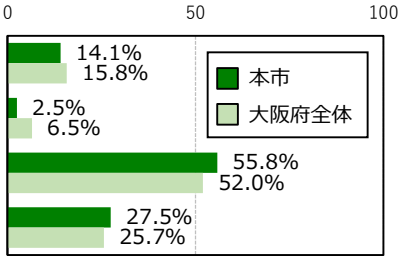
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	1,000名	100.0%	49,703名	100.0%
受けている	160名	16.0%	8,792名	17.7%
受けたことがある	28名	2.8%	3,669名	7.4%
受けたことはない	517名	51.7%	24,429名	49.1%
無回答	295名	29.5%	12,813名	25.8%



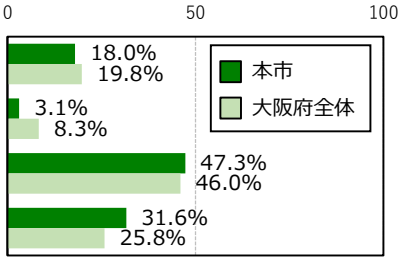
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	516名	100.0%	26,342名	100.0%
受けている	73名	14.1%	4,154名	15.8%
受けたことがある	13名	2.5%	1,724名	6.5%
受けたことはない	288名	55.8%	13,686名	52.0%
無回答	142名	27.5%	6,778名	25.7%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	484名	100.0%	23,323名	100.0%
受けている	87名	18.0%	4,628名	19.8%
受けたことがある	15名	3.1%	1,942名	8.3%
受けたことはない	229名	47.3%	10,733名	46.0%
無回答	153名	31.6%	6,020名	25.8%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　a 就学援助 ＜利用したことがない理由＞

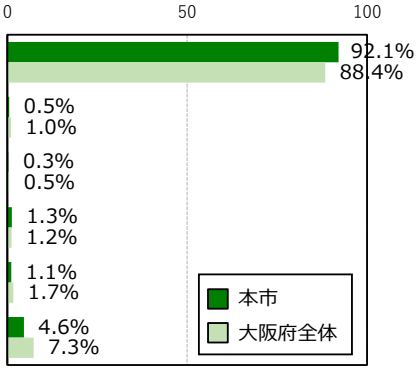
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.1%で最も多く、次いで「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が1.3%、「それ以外の理由」が1.1%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.9%で最も多く、次いで「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が1.5%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.2%で最も多く、次いで「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」、「それ以外の理由」がそれぞれ1.3%となっている。

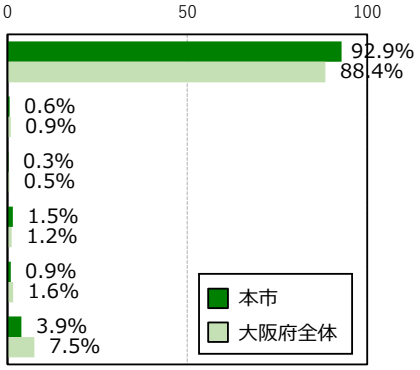
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	610名	100.0%	31,557名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	562名	92.1%	27,883名	88.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	3名	0.5%	315名	1.0%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	0.3%	161名	0.5%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	8名	1.3%	382名	1.2%
それ以外の理由	7名	1.1%	524名	1.7%
無回答	28名	4.6%	2,292名	7.3%



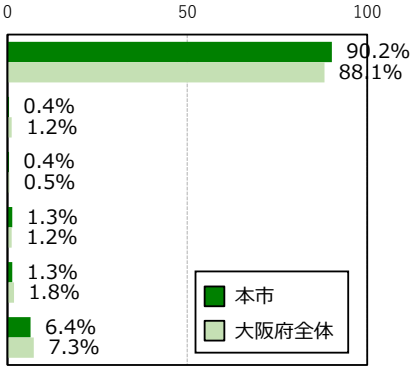
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	336名	100.0%	17,198名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	312名	92.9%	15,195名	88.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	0.6%	153名	0.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.3%	87名	0.5%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	5名	1.5%	209名	1.2%
それ以外の理由	3名	0.9%	270名	1.6%
無回答	13名	3.9%	1,284名	7.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	234名	100.0%	13,453名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	211名	90.2%	11,847名	88.1%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	1名	0.4%	157名	1.2%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.4%	69名	0.5%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	3名	1.3%	156名	1.2%
それ以外の理由	3名	1.3%	236名	1.8%
無回答	15名	6.4%	988名	7.3%



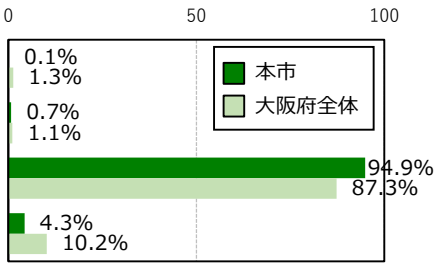
保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　b　生活保護

保護者全体は、「利用したことがない」が94.9%で最も多くなっている。
小学生の保護者は、「利用したことがない」が95.8%で最も多くなっている。
中学生の保護者は、「利用したことがない」が93.1%で最も多くなっている。

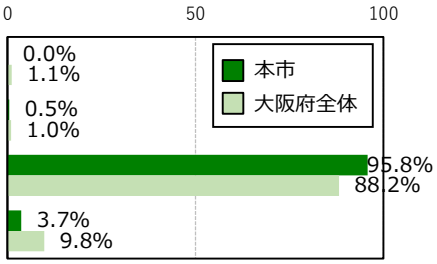
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	1名	0.1%	580名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	5名	0.7%	497名	1.1%
利用したことがない	724名	94.9%	37,793名	87.3%
無回答	33名	4.3%	4,430名	10.2%



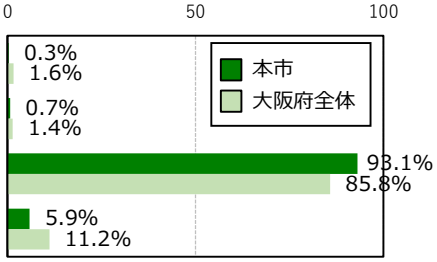
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	－	－	254名	1.1%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	0.5%	218名	1.0%
利用したことがない	389名	95.8%	20,090名	88.2%
無回答	15名	3.7%	2,224名	9.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	1名	0.3%	316名	1.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	0.7%	267名	1.4%
利用したことがない	285名	93.1%	16,608名	85.8%
無回答	18名	5.9%	2,174名	11.2%



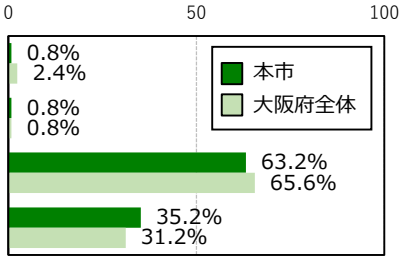
※　2016年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、全体は、「利用したことがない」（2016年度調査では「受けたことはない」）が31.7ポイント高くなっている。
小学生の保護者は、「利用したことがない」が28.9ポイント高くなっている。
中学生の保護者は、「利用したことがない」が33.8ポイント高くなっている。

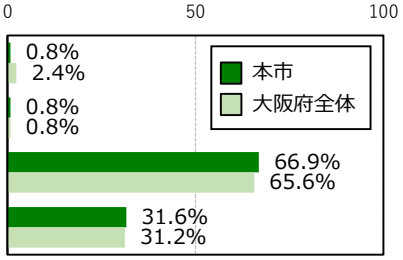
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	1,000名	100.0%	26,342名	100.0%
受けている	8名	0.8%	622名	2.4%
受けたことがある	8名	0.8%	211名	0.8%
受けたことはない	632名	63.2%	17,286名	65.6%
無回答	352名	35.2%	8,223名	31.2%



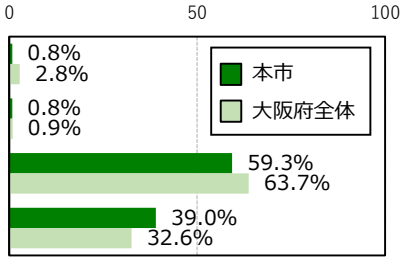
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	516名	100.0%	26,342名	100.0%
受けている	4名	0.8%	622名	2.4%
受けたことがある	4名	0.8%	211名	0.8%
受けたことはない	345名	66.9%	17,286名	65.6%
無回答	163名	31.6%	8,223名	31.2%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	484名	100.0%	23,323名	100.0%
受けている	4名	0.8%	650名	2.8%
受けたことがある	4名	0.8%	211名	0.9%
受けたことはない	287名	59.3%	14,855名	63.7%
無回答	189名	39.0%	7,607名	32.6%



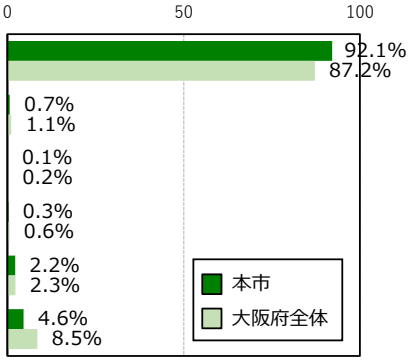
保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　b 生活保護 ＜利用したことがない理由＞

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.1%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.2%となっている。
小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.3%となっている。
中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.9%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.5%となっている。

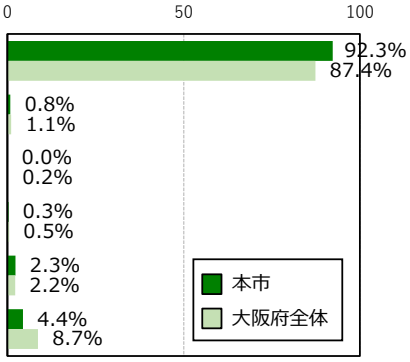
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	724名	100.0%	37,793名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	667名	92.1%	32,964名	87.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	5名	0.7%	434名	1.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.1%	73名	0.2%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	2名	0.3%	230名	0.6%
それ以外の理由	16名	2.2%	867名	2.3%
無回答	33名	4.6%	3,225名	8.5%



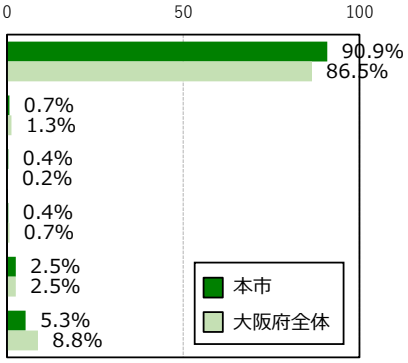
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	389名	100.0%	20,090名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	359名	92.3%	17,567名	87.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	3名	0.8%	211名	1.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	－	－	31名	0.2%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	1名	0.3%	104名	0.5%
それ以外の理由	9名	2.3%	433名	2.2%
無回答	17名	4.4%	1,744名	8.7%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	285名	100.0%	16,608名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	259名	90.9%	14,367名	86.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	0.7%	219名	1.3%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.4%	40名	0.2%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	1名	0.4%	117名	0.7%
それ以外の理由	7名	2.5%	411名	2.5%
無回答	15名	5.3%	1,454名	8.8%



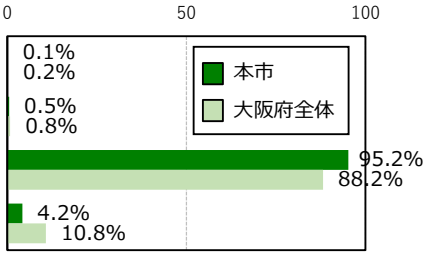
保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　c 生活困窮者の自立支援相談窓口

保護者全体は、「利用したことがない」が95.2%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%となっている。
小学生の保護者は、「利用したことがない」が96.3%で最も多くなっている。
中学生の保護者は、「利用したことがない」が93.1%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.0%となっている。

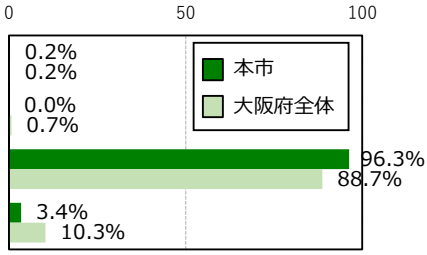
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	1名	0.1%	101名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	4名	0.5%	338名	0.8%
利用したことがない	726名	95.2%	38,173名	88.2%
無回答	32名	4.2%	4,688名	10.8%



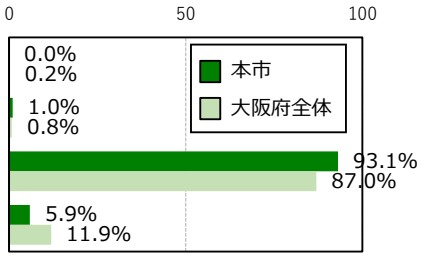
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	1名	0.2%	55名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	-	-	163名	0.7%
利用したことがない	391名	96.3%	20,220名	88.7%
無回答	14名	3.4%	2,348名	10.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	-	-	44名	0.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	3名	1.0%	162名	0.8%
利用したことがない	285名	93.1%	16,851名	87.0%
無回答	18名	5.9%	2,308名	11.9%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　c 生活困窮者の自立支援相談窓口 ＜利用したことがない理由＞

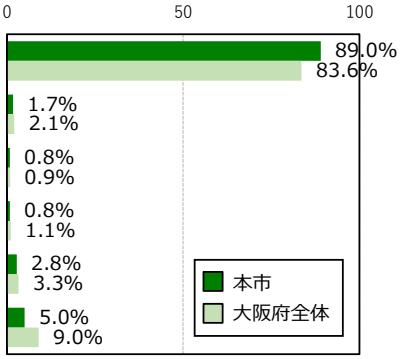
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.0%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.7%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.3%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が1.3%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が1.0%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.9%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.1%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.1%となっている。

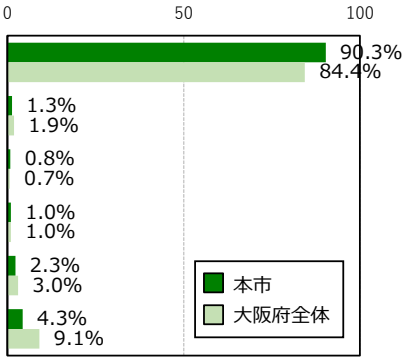
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	726名	100.0%	38,173名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	646名	89.0%	31,919名	83.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	12名	1.7%	790名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	6名	0.8%	332名	0.9%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	6名	0.8%	410名	1.1%
それ以外の理由	20名	2.8%	1,275名	3.3%
無回答	36名	5.0%	3,447名	9.0%



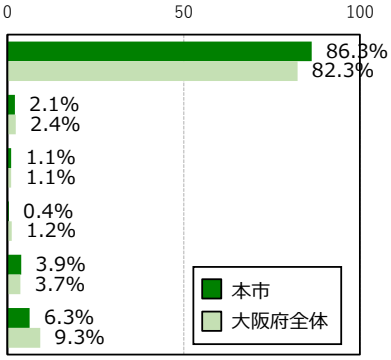
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	391名	100.0%	20,220名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	353名	90.3%	17,059名	84.4%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	5名	1.3%	382名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	0.8%	134名	0.7%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	4名	1.0%	193名	1.0%
それ以外の理由	9名	2.3%	609名	3.0%
無回答	17名	4.3%	1,843名	9.1%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	285名	100.0%	16,851名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	246名	86.3%	13,863名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	6名	2.1%	397名	2.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	1.1%	192名	1.1%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	1名	0.4%	204名	1.2%
それ以外の理由	11名	3.9%	625名	3.7%
無回答	18名	6.3%	1,570名	9.3%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　d 児童扶養手当（ひとり親世帯のみ）

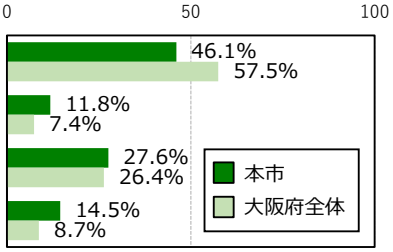
保護者全体は、「現在利用している」が46.1％で最も多く、次いで「利用したことがない」が27.6％、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が11.8％となっている。

小学生の保護者は、「現在利用している」が36.8％で最も多く、次いで「利用したことがない」が31.6％、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が10.5％となっている。

中学生の保護者は、「現在利用している」が56.3％で最も多く、次いで「利用したことがない」が21.9％、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が12.5％となっている。

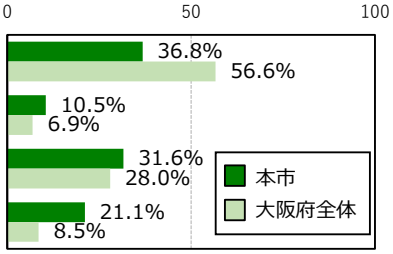
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	76名	100.0%	5,126名	100.0%
現在利用している	35名	46.1%	2,948名	57.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	9名	11.8%	380名	7.4%
利用したことがない	21名	27.6%	1,354名	26.4%
無回答	11名	14.5%	444名	8.7%



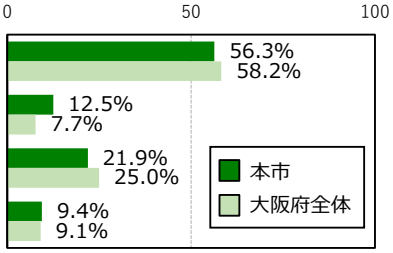
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	38名	100.0%	2,447名	100.0%
現在利用している	14名	36.8%	1,385名	56.6%
現在利用していないが、以前利用したことがある	4名	10.5%	168名	6.9%
利用したことがない	12名	31.6%	686名	28.0%
無回答	8名	21.1%	208名	8.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	32名	100.0%	2,547名	100.0%
現在利用している	18名	56.3%	1,483名	58.2%
現在利用していないが、以前利用したことがある	4名	12.5%	196名	7.7%
利用したことがない	7名	21.9%	636名	25.0%
無回答	3名	9.4%	232名	9.1%



※　2016年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

※　ひとり親世帯のみ

●2016年度　調査結果〔参考データ〕

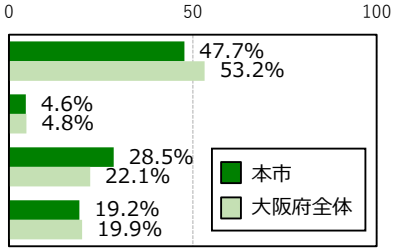
2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「現在利用していないが、以前利用したことがある」（2016年度調査では「受けたことがある」）が7.2ポイント高くなっている。

小学生の保護者は、「現在利用している」（2016年度調査では「受けている」）が17.0ポイント低いが、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が7.4ポイント高くなっている。

中学生の保護者は、「現在利用している」が13.3ポイント、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が6.7ポイント、それぞれ高くなっている。

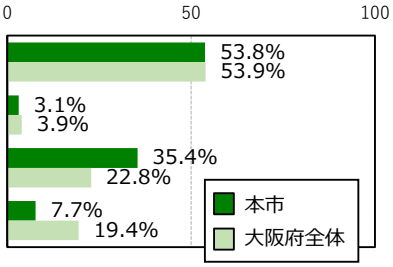
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	151名	100.0%	8,765名	100.0%
受けている	72名	47.7%	4,660名	53.2%
受けたことがある	7名	4.6%	425名	4.8%
受けたことはない	43名	28.5%	1,936名	22.1%
無回答	29名	19.2%	1,744名	19.9%



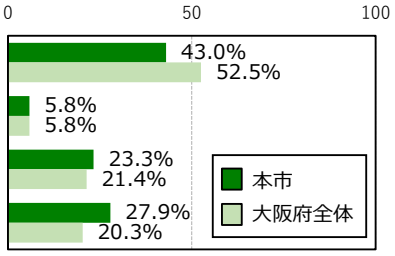
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	65名	100.0%	4,263名	100.0%
受けている	35名	53.8%	2,296名	53.9%
受けたことがある	2名	3.1%	165名	3.9%
受けたことはない	23名	35.4%	973名	22.8%
無回答	5名	7.7%	829名	19.4%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	86名	100.0%	4,497名	100.0%
受けている	37名	43.0%	2,362名	52.5%
受けたことがある	5名	5.8%	260名	5.8%
受けたことはない	20名	23.3%	963名	21.4%
無回答	24名	27.9%	912名	20.3%



※　ひとり親世帯のみ

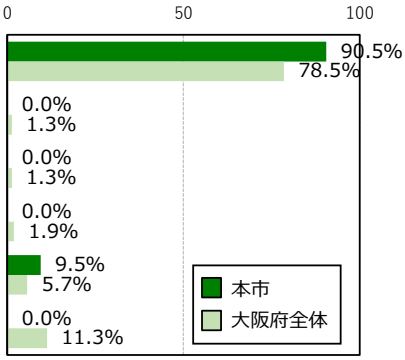
保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　d 児童扶養手当 ＜利用したことがない理由＞（ひとり親世帯のみ）

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が90.5%（19名）で最も多く、次いで「それ以外の理由」が9.5%（2名）となっている。
小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が91.7%（11名）で最も多く、次いで「それ以外の理由」が8.3%（1名）となっている。
中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が85.7%（6名）で最も多く、次いで「それ以外の理由」が14.3%（1名）となっている。

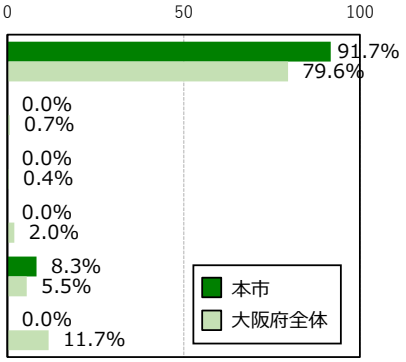
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	21名	100.0%	1,354名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	19名	90.5%	1,063名	78.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	17名	1.3%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	18名	1.3%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	-	-	26名	1.9%
それ以外の理由	2名	9.5%	77名	5.7%
無回答	-	-	153名	11.3%



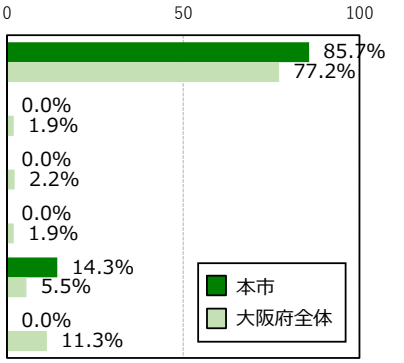
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	12名	100.0%	686名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	11名	91.7%	546名	79.6%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	5名	0.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	3名	0.4%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	-	-	14名	2.0%
それ以外の理由	1名	8.3%	38名	5.5%
無回答	-	-	80名	11.7%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	7名	100.0%	636名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	6名	85.7%	491名	77.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	-	-	12名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	-	-	14名	2.2%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	-	-	12名	1.9%
それ以外の理由	1名	14.3%	35名	5.5%
無回答	-	-	72名	11.3%



※　ひとり親世帯のみ

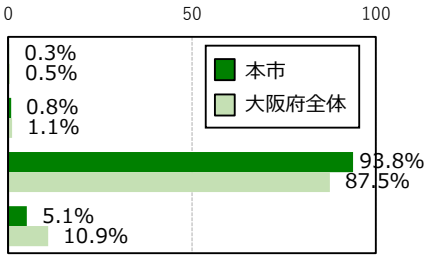
保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　e 母子家庭等就業・自立支援センター

保護者全体は、「利用したことがない」が93.8%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.8%となっている。
小学生の保護者は、「利用したことがない」が94.6%で最も多くなっている。
中学生の保護者は、「利用したことがない」が92.5%で最も多くなっている。

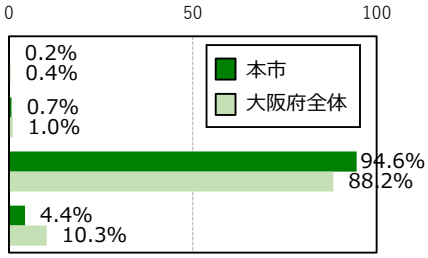
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	2名	0.3%	200名	0.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	6名	0.8%	496名	1.1%
利用したことがない	716名	93.8%	37,904名	87.5%
無回答	39名	5.1%	4,700名	10.9%



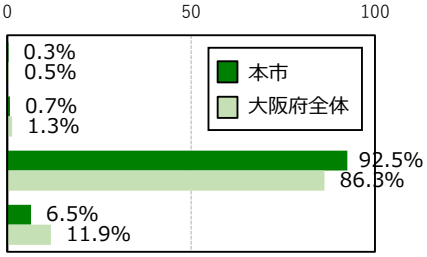
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	1名	0.2%	100名	0.4%
現在利用していないが、以前利用したことがある	3名	0.7%	236名	1.0%
利用したことがない	384名	94.6%	20,103名	88.2%
無回答	18名	4.4%	2,347名	10.3%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	1名	0.3%	98名	0.5%
現在利用していないが、以前利用したことがある	2名	0.7%	246名	1.3%
利用したことがない	283名	92.5%	16,713名	86.3%
無回答	20名	6.5%	2,308名	11.9%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　e 母子家庭等就業・自立支援センター ＜利用したことがない理由＞

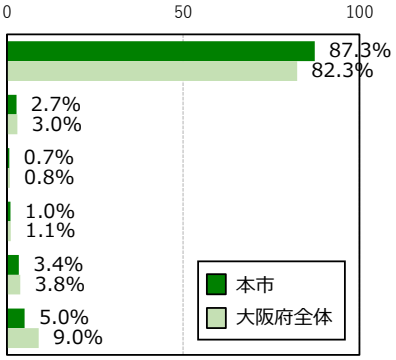
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が87.3%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.7%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が1.0%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が87.0%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.6%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が1.3%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が86.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が3.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が2.8%となっている。

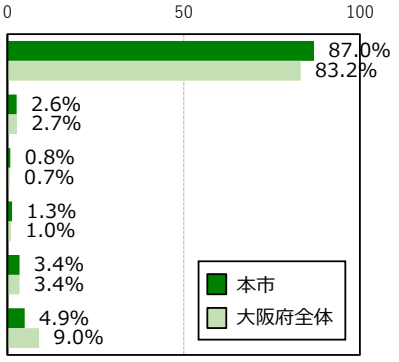
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	716名	100.0%	37,904名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	625名	87.3%	31,197名	82.3%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	19名	2.7%	1,139名	3.0%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	5名	0.7%	316名	0.8%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	7名	1.0%	401名	1.1%
それ以外の理由	24名	3.4%	1,448名	3.8%
無回答	36名	5.0%	3,403名	9.0%



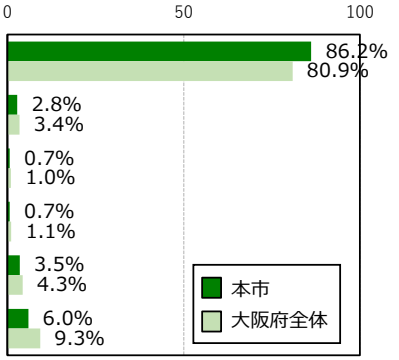
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	384名	100.0%	20,103名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	334名	87.0%	16,718名	83.2%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	10名	2.6%	540名	2.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	0.8%	138名	0.7%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	5名	1.3%	203名	1.0%
それ以外の理由	13名	3.4%	686名	3.4%
無回答	19名	4.9%	1,818名	9.0%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	283名	100.0%	16,713名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	244名	86.2%	13,516名	80.9%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	8名	2.8%	572名	3.4%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	2名	0.7%	169名	1.0%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	2名	0.7%	188名	1.1%
それ以外の理由	10名	3.5%	714名	4.3%
無回答	17名	6.0%	1,554名	9.3%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金

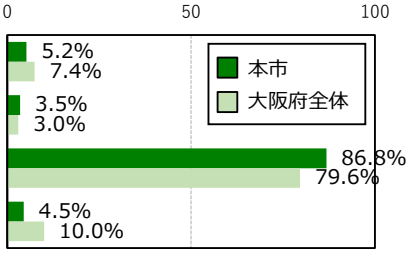
保護者全体は、「利用したことがない」が86.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が5.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.5%となっている。

小学生の保護者は、「利用したことがない」が88.2%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が4.4%、「現在利用している」が3.9%となっている。

中学生の保護者は、「利用したことがない」が85.3%で最も多く、次いで「現在利用している」が6.5%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.0%となっている。

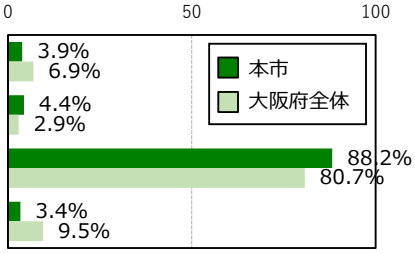
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	40名	5.2%	3,205名	7.4%
現在利用していないが、以前利用したことがある	27名	3.5%	1,293名	3.0%
利用したことがない	662名	86.8%	34,472名	79.6%
無回答	34名	4.5%	4,330名	10.0%



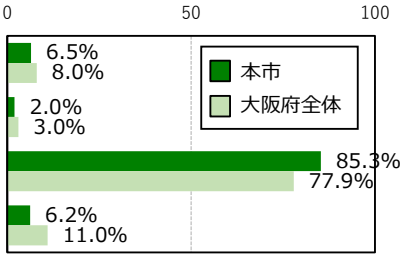
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	16名	3.9%	1,562名	6.9%
現在利用していないが、以前利用したことがある	18名	4.4%	672名	2.9%
利用したことがない	358名	88.2%	18,390名	80.7%
無回答	14名	3.4%	2,162名	9.5%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	20名	6.5%	1,557名	8.0%
現在利用していないが、以前利用したことがある	6名	2.0%	588名	3.0%
利用したことがない	261名	85.3%	15,094名	77.9%
無回答	19名	6.2%	2,126名	11.0%



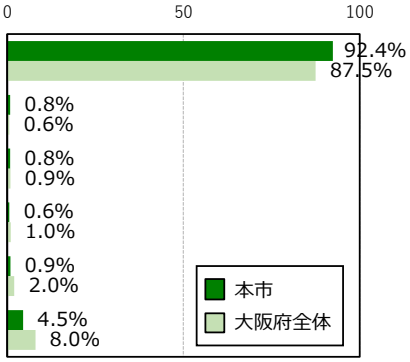
保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金
＜利用したことがない理由＞

保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.4%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が0.9%となっている。
小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.5%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が1.1%となっている。
中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が92.0%で最も多く、次いで「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.1%となっている。

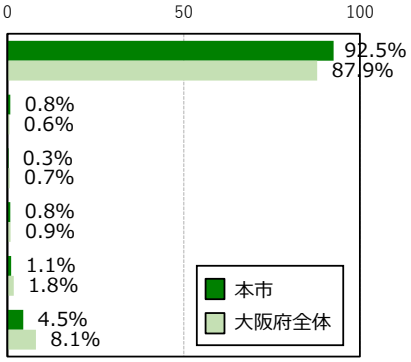
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	662名	100.0%	34,472名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	612名	92.4%	30,150名	87.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	5名	0.8%	201名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	5名	0.8%	322名	0.9%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	4名	0.6%	336名	1.0%
それ以外の理由	6名	0.9%	696名	2.0%
無回答	30名	4.5%	2,767名	8.0%



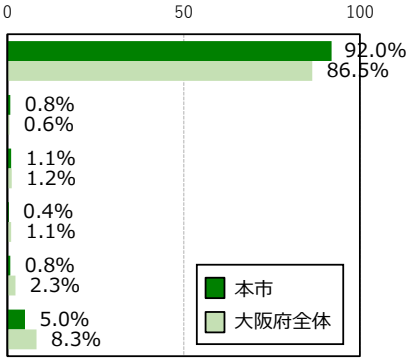
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	358名	100.0%	18,390名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	331名	92.5%	16,160名	87.9%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	3名	0.8%	102名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	1名	0.3%	133名	0.7%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	3名	0.8%	168名	0.9%
それ以外の理由	4名	1.1%	338名	1.8%
無回答	16名	4.5%	1,489名	8.1%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	261名	100.0%	15,094名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	240名	92.0%	13,056名	86.5%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	2名	0.8%	98名	0.6%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	3名	1.1%	182名	1.2%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	1名	0.4%	162名	1.1%
それ以外の理由	2名	0.8%	343名	2.3%
無回答	13名	5.0%	1,253名	8.3%



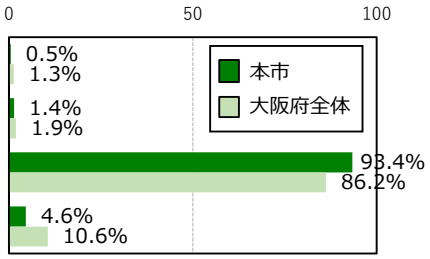
保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）

保護者全体は、「利用したことがない」が93.4%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.4%となっている。
小学生の保護者は、「利用したことがない」が94.6%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.5%となっている。
中学生の保護者は、「利用したことがない」が91.5%で最も多く、次いで「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.6%となっている。

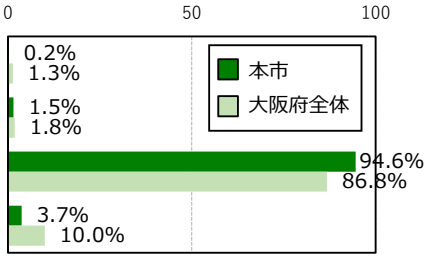
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
現在利用している	4名	0.5%	569名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	11名	1.4%	814名	1.9%
利用したことがない	713名	93.4%	37,313名	86.2%
無回答	35名	4.6%	4,604名	10.6%



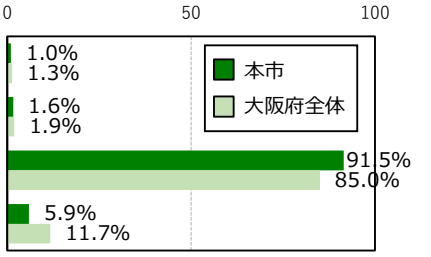
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
現在利用している	1名	0.2%	298名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	6名	1.5%	419名	1.8%
利用したことがない	384名	94.6%	19,782名	86.8%
無回答	15名	3.7%	2,287名	10.0%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
現在利用している	3名	1.0%	258名	1.3%
現在利用していないが、以前利用したことがある	5名	1.6%	372名	1.9%
利用したことがない	280名	91.5%	16,467名	85.0%
無回答	18名	5.9%	2,268名	11.7%



保護者のことについて

問23　支援制度の利用状況　g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）＜利用したことがない理由＞

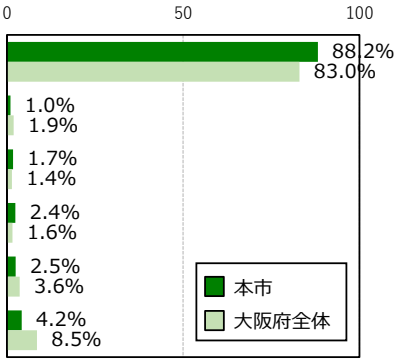
保護者全体は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が88.2%で最も多く、次いで「それ以外の理由」が2.5%、「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が2.4%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.7%となっている。

小学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が89.6%で最も多く、次いで「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が2.1%、「それ以外の理由」が1.8%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.6%となっている。

中学生の保護者は、「制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから」が85.4%で最も多く、次いで「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」、「それ以外の理由」がそれぞれ3.2%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が1.8%となっている。

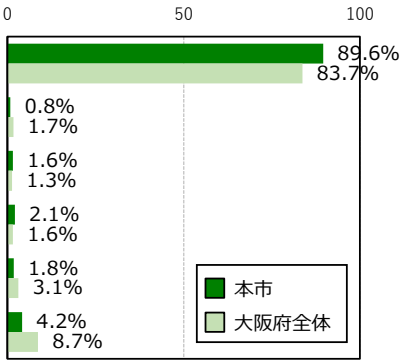
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	713名	100.0%	37,313名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	629名	88.2%	30,971名	83.0%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	7名	1.0%	708名	1.9%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	12名	1.7%	529名	1.4%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	17名	2.4%	611名	1.6%
それ以外の理由	18名	2.5%	1,331名	3.6%
無回答	30名	4.2%	3,163名	8.5%



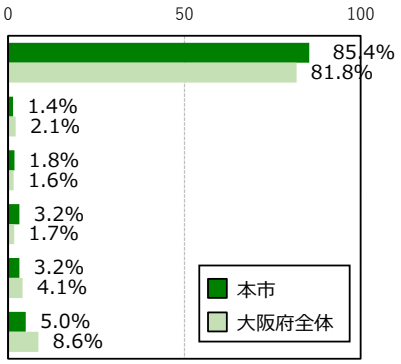
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	384名	100.0%	19,782名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	344名	89.6%	16,548名	83.7%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	3名	0.8%	343名	1.7%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	6名	1.6%	258名	1.3%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	8名	2.1%	308名	1.6%
それ以外の理由	7名	1.8%	613名	3.1%
無回答	16名	4.2%	1,712名	8.7%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	280名	100.0%	16,467名	100.0%
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	239名	85.4%	13,474名	81.8%
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	4名	1.4%	350名	2.1%
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	5名	1.8%	263名	1.6%
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	9名	3.2%	284名	1.7%
それ以外の理由	9名	3.2%	675名	4.1%
無回答	14名	5.0%	1,421名	8.6%



保護者のことについて

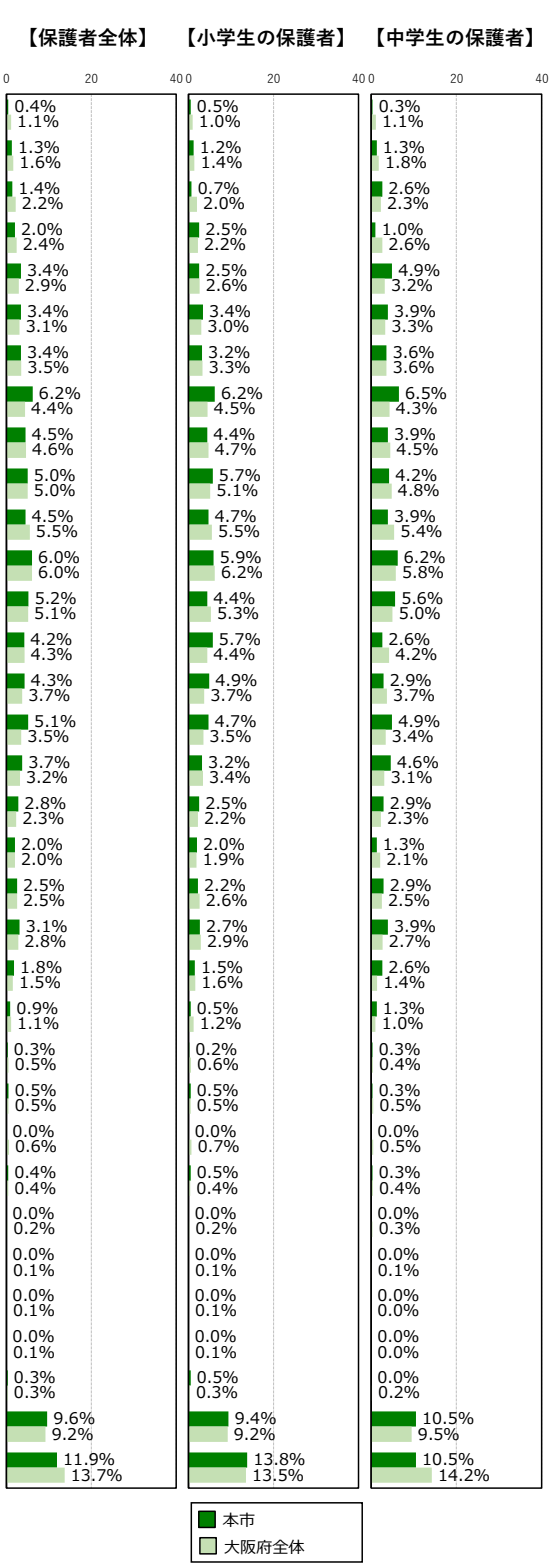
問24　世帯収入

保護者全体は、「350～400万円未満」が6.2%で最も多く、次いで「550～600万円未満」が6.0%、「600～650万円未満」が5.2%、「750～800万円未満」が5.1%となっている。

小学生の保護者は、「350～400万円未満」が6.2%で最も多く、次いで「550～600万円未満」が5.9%、「450～500万円未満」、「650～700万円未満」がそれぞれ5.7%、「700～750万円未満」が4.9%となっている。

中学生の保護者は、「350～400万円未満」が6.5%で最も多く、次いで「550～600万円未満」が6.2%、「600～650万円未満」が5.6%、「200～250万円未満」、「750～800万円未満」がそれぞれ4.9%となっている。

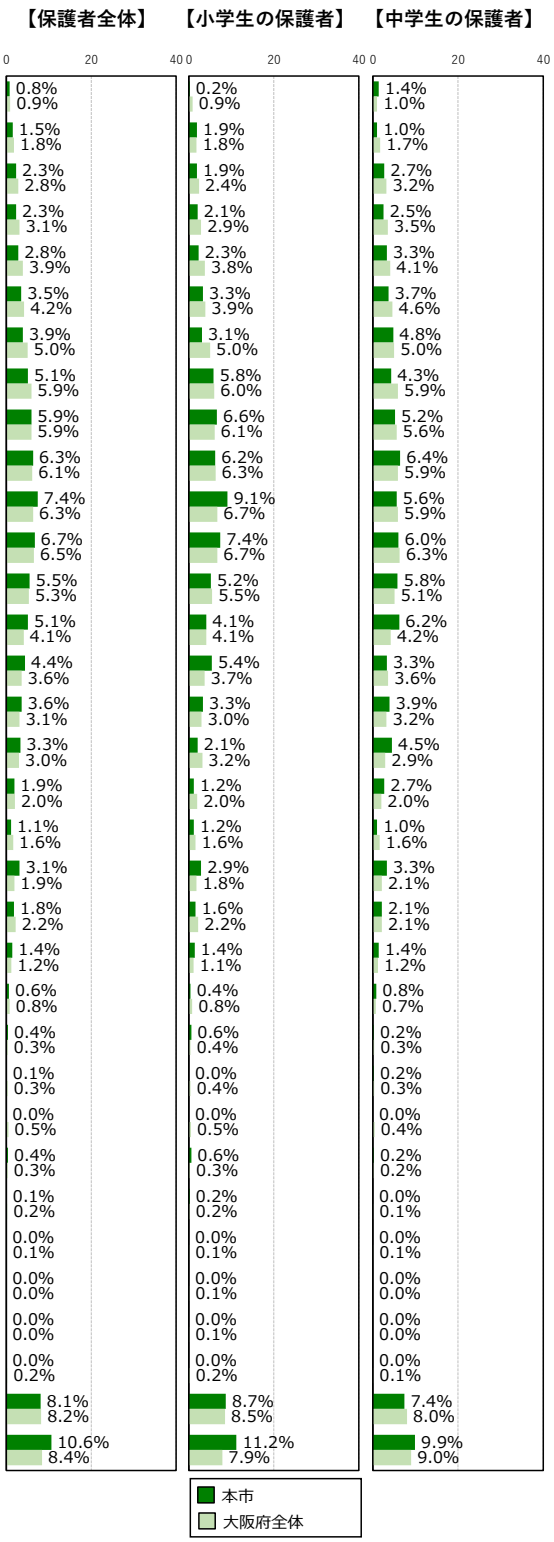
	【保護者全体】				【小学生の保護者】				【中学生の保護者】			
	本市		大阪府全体		本市		大阪府全体		本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%	406名	100.0%	22,786名	100.0%	306名	100.0%	19,365名	100.0%
50万円未満	3名	0.4%	475名	1.1%	2名	0.5%	239名	1.0%	1名	0.3%	220名	1.1%
50～100万円未満	10名	1.3%	692名	1.6%	5名	1.2%	323名	1.4%	4名	1.3%	349名	1.8%
100～150万円未満	11名	1.4%	931名	2.2%	3名	0.7%	463名	2.0%	8名	2.6%	439名	2.3%
150～200万円未満	15名	2.0%	1,041名	2.4%	10名	2.5%	502名	2.2%	3名	1.0%	513名	2.6%
200～250万円未満	26名	3.4%	1,248名	2.9%	10名	2.5%	601名	2.6%	15名	4.9%	619名	3.2%
250～300万円未満	26名	3.4%	1,348名	3.1%	14名	3.4%	687名	3.0%	12名	3.9%	631名	3.3%
300～350万円未満	26名	3.4%	1,524名	3.5%	13名	3.2%	759名	3.3%	11名	3.6%	705名	3.6%
350～400万円未満	47名	6.2%	1,907名	4.4%	25名	6.2%	1,022名	4.5%	20名	6.5%	824名	4.3%
400～450万円未満	34名	4.5%	1,996名	4.6%	18名	4.4%	1,060名	4.7%	12名	3.9%	868名	4.5%
450～500万円未満	38名	5.0%	2,150名	5.0%	23名	5.7%	1,160名	5.1%	13名	4.2%	923名	4.8%
500～550万円未満	34名	4.5%	2,360名	5.5%	19名	4.7%	1,246名	5.5%	12名	3.9%	1,055名	5.4%
550～600万円未満	46名	6.0%	2,591名	6.0%	24名	5.9%	1,406名	6.2%	19名	6.2%	1,119名	5.8%
600～650万円未満	40名	5.2%	2,227名	5.1%	18名	4.4%	1,198名	5.3%	17名	5.6%	967名	5.0%
650～700万円未満	32名	4.2%	1,852名	4.3%	23名	5.7%	1,007名	4.4%	8名	2.6%	808名	4.2%
700～750万円未満	33名	4.3%	1,606名	3.7%	20名	4.9%	849名	3.7%	9名	2.9%	710名	3.7%
750～800万円未満	39名	5.1%	1,501名	3.5%	19名	4.7%	793名	3.5%	15名	4.9%	657名	3.4%
800～850万円未満	28名	3.7%	1,404名	3.2%	13名	3.2%	771名	3.4%	14名	4.6%	592名	3.1%
850～900万円未満	21名	2.8%	994名	2.3%	10名	2.5%	509名	2.2%	9名	2.9%	446名	2.3%
900～950万円未満	15名	2.0%	860名	2.0%	8名	2.0%	429名	1.9%	4名	1.3%	406名	2.1%
950～1,000万円未満	19名	2.5%	1,102名	2.5%	9名	2.2%	590名	2.6%	9名	2.9%	480名	2.5%
1,000～1,100万円未満	24名	3.1%	1,215名	2.8%	11名	2.7%	656名	2.9%	12名	3.9%	518名	2.7%
1,100～1,200万円未満	14名	1.8%	654名	1.5%	6名	1.5%	355名	1.6%	8名	2.6%	279名	1.4%
1,200～1,300万円未満	7名	0.9%	478名	1.1%	2名	0.5%	270名	1.2%	4名	1.3%	197名	1.0%
1,300～1,400万円未満	2名	0.3%	221名	0.5%	1名	0.2%	139名	0.6%	1名	0.3%	79名	0.4%
1,400～1,500万円未満	4名	0.5%	230名	0.5%	2名	0.5%	125名	0.5%	1名	0.3%	95名	0.5%
1,500～1,750万円未満	－	－	259名	0.6%	－	－	165名	0.7%	－	－	92名	0.5%
1,750～2,000万円未満	3名	0.4%	171名	0.4%	2名	0.5%	98名	0.4%	1名	0.3%	69名	0.4%
2,000～2,250万円未満	－	－	105名	0.2%	－	－	53名	0.2%	－	－	50名	0.3%
2,250～2,500万円未満	－	－	54名	0.1%	－	－	31名	0.1%	－	－	22名	0.1%
2,500～2,750万円未満	－	－	31名	0.1%	－	－	23名	0.1%	－	－	8名	0.0%
2,750～3,000万円未満	－	－	25名	0.1%	－	－	16名	0.1%	－	－	9名	0.0%
3,000万円以上	2名	0.3%	110名	0.3%	2名	0.5%	67名	0.3%	－	－	41名	0.2%
わからない	73名	9.6%	4,000名	9.2%	38名	9.4%	2,090名	9.2%	32名	10.5%	1,832名	9.5%
無回答	91名	11.9%	5,938名	13.7%	56名	13.8%	3,084名	13.5%	32名	10.5%	2,743名	14.2%



●2016年度　調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「500～550万円未満」が2.9ポイント低くなっている。
小学生の保護者は、「500～550万円未満」が4.4ポイント低くなっている。
中学生の保護者は、「650～700万円未満」が3.6ポイント低くなっている。

	【保護者全体】				【小学生の保護者】				【中学生の保護者】			
	本市		大阪府全体		本市		大阪府全体		本市		大阪府全体	
	1,000名	100.0%	49,703名	100.0%	516名	100.0%	26,342名	100.0%	484名	100.0%	23,323名	100.0%
50万円未満	8名	0.8%	468名	0.9%	1名	0.2%	230名	0.9%	7名	1.4%	238名	1.0%
50～100万円未満	15名	1.5%	883名	1.8%	10名	1.9%	485名	1.8%	5名	1.0%	397名	1.7%
100～150万円未満	23名	2.3%	1,375名	2.8%	10名	1.9%	623名	2.4%	13名	2.7%	751名	3.2%
150～200万円未満	23名	2.3%	1,565名	3.1%	11名	2.1%	755名	2.9%	12名	2.5%	810名	3.5%
200～250万円未満	28名	2.8%	1,956名	3.9%	12名	2.3%	999名	3.8%	16名	3.3%	955名	4.1%
250～300万円未満	35名	3.5%	2,110名	4.2%	17名	3.3%	1,034名	3.9%	18名	3.7%	1,074名	4.6%
300～350万円未満	39名	3.9%	2,492名	5.0%	16名	3.1%	1,326名	5.0%	23名	4.8%	1,165名	5.0%
350～400万円未満	51名	5.1%	2,951名	5.9%	30名	5.8%	1,572名	6.0%	21名	4.3%	1,377名	5.9%
400～450万円未満	59名	5.9%	2,929名	5.9%	34名	6.6%	1,615名	6.1%	25名	5.2%	1,309名	5.6%
450～500万円未満	63名	6.3%	3,018名	6.1%	32名	6.2%	1,652名	6.3%	31名	6.4%	1,365名	5.9%
500～550万円未満	74名	7.4%	3,142名	6.3%	47名	9.1%	1,755名	6.7%	27名	5.6%	1,387名	5.9%
550～600万円未満	67名	6.7%	3,236名	6.5%	38名	7.4%	1,752名	6.7%	29名	6.0%	1,481名	6.3%
600～650万円未満	55名	5.5%	2,636名	5.3%	27名	5.2%	1,438名	5.5%	28名	5.8%	1,197名	5.1%
650～700万円未満	51名	5.1%	2,056名	4.1%	21名	4.1%	1,078名	4.1%	30名	6.2%	977名	4.2%
700～750万円未満	44名	4.4%	1,803名	3.6%	28名	5.4%	968名	3.7%	16名	3.3%	834名	3.6%
750～800万円未満	36名	3.6%	1,549名	3.1%	17名	3.3%	796名	3.0%	19名	3.9%	752名	3.2%
800～850万円未満	33名	3.3%	1,511名	3.0%	11名	2.1%	846名	3.2%	22名	4.5%	665名	2.9%
850～900万円未満	19名	1.9%	987名	2.0%	6名	1.2%	530名	2.0%	13名	2.7%	457名	2.0%
900～950万円未満	11名	1.1%	779名	1.6%	6名	1.2%	414名	1.6%	5名	1.0%	365名	1.6%
950～1,000万円未満	31名	3.1%	962名	1.9%	15名	2.9%	482名	1.8%	16名	3.3%	480名	2.1%
1,000～1,100万円未満	18名	1.8%	1,087名	2.2%	8名	1.6%	590名	2.2%	10名	2.1%	497名	2.1%
1,100～1,200万円未満	14名	1.4%	592名	1.2%	7名	1.4%	301名	1.1%	7名	1.4%	291名	1.2%
1,200～1,300万円未満	6名	0.6%	373名	0.8%	2名	0.4%	209名	0.8%	4名	0.8%	164名	0.7%
1,300～1,400万円未満	4名	0.4%	172名	0.3%	3名	0.6%	105名	0.4%	1名	0.2%	67名	0.3%
1,400～1,500万円未満	1名	0.1%	171名	0.3%	－	－	93名	0.4%	1名	0.2%	78名	0.3%
1,500～1,750万円未満	－	－	225名	0.5%	－	－	133名	0.5%	－	－	92名	0.4%
1,750～2,000万円未満	4名	0.4%	139名	0.3%	3名	0.6%	83名	0.3%	1名	0.2%	56名	0.2%
2,000～2,250万円未満	1名	0.1%	85名	0.2%	1名	0.2%	57名	0.2%	－	－	28名	0.1%
2,250～2,500万円未満	－	－	36名	0.1%	－	－	20名	0.1%	－	－	16名	0.1%
2,500～2,750万円未満	－	－	23名	0.0%	－	－	17名	0.1%	－	－	6名	0.0%
2,750～3,000万円未満	－	－	21名	0.0%	－	－	14名	0.1%	－	－	7名	0.0%
3,000万円以上	－	－	88名	0.2%	－	－	55名	0.2%	－	－	33名	0.1%
わからない	81名	8.1%	4,092名	8.2%	45名	8.7%	2,230名	8.5%	36名	7.4%	1,857名	8.0%
無回答	106名	10.6%	4,191名	8.4%	58名	11.2%	2,085名	7.9%	48名	9.9%	2,095名	9.0%



世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得

今回の調査において世帯所得をたずねているが、この回答のみで世帯の困窮の状態を測ることはできない。実際の生活上の体験や困りごとを把握するため、多面的に貧困を測る指標として、「等価可処分所得」およびそれらを基に区分した「困窮度」を用いている。

国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいう。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいう。算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づく。EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は60%を採用している。

世帯の可処分所得はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要がある。最も簡単なのは「世帯の可処分所得÷世帯人員数」とすることであるが、生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要があり、このため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いている。

出典：厚生労働省 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21a-01.pdf

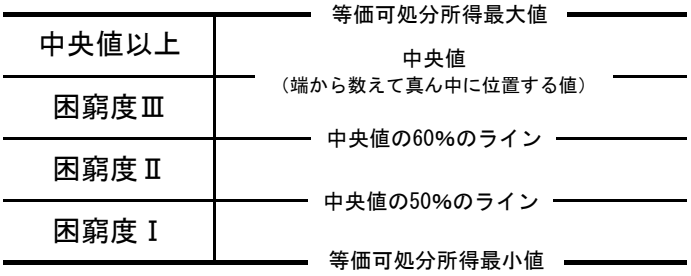
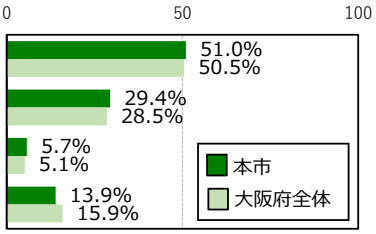


図　困窮度の分類と基準

中央値は280万円、国の定める基準で行くと相対的貧困率は13.9%であった。
なお、大阪府内全自治体における相対的貧困率は15.9%であった。

【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	598名	100.0%	33,035名	100.0%
中央値以上	305名	51.0%	16,687名	50.5%
困窮度Ⅲ	176名	29.4%	9,408名	28.5%
困窮度Ⅱ	34名	5.7%	1,694名	5.1%
困窮度Ⅰ	83名	13.9%	5,246名	15.9%



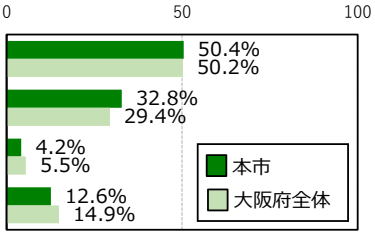
保護者全体は、「中央値以上」が51.0%で最も多く、次いで「困窮度Ⅲ」が29.4%、「困窮度Ⅰ」が13.9%、「困窮度Ⅱ」が5.7%となっている。

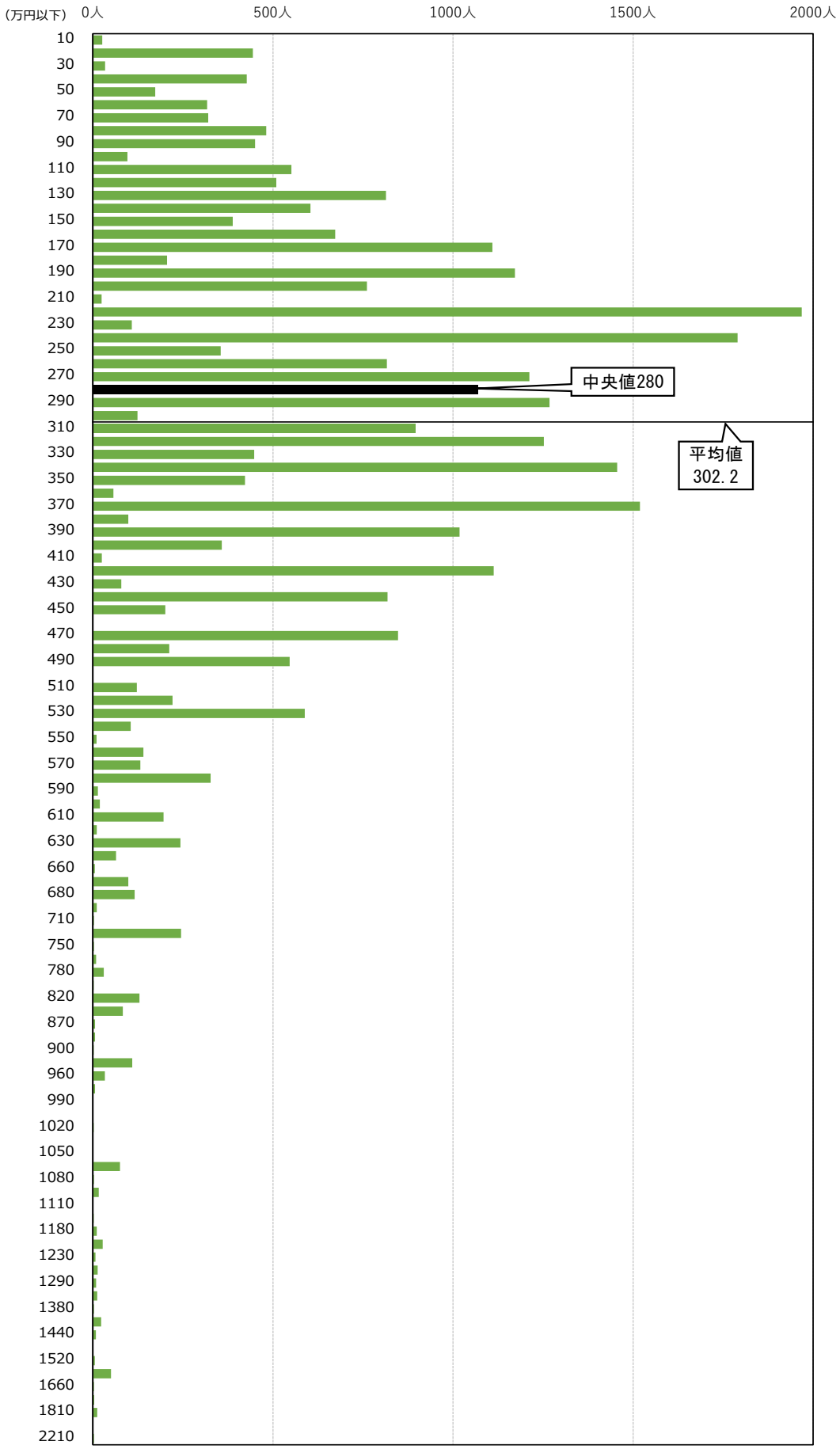
●2016年度　調査結果〔参考データ〕

2016年度調査と比較すると、保護者全体は、「困窮度Ⅲ」が3.4ポイント低くなっている。

【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	811名	100.0%	40,996名	100.0%
中央値以上	409名	50.4%	20,570名	50.2%
困窮度Ⅲ	266名	32.8%	12,057名	29.4%
困窮度Ⅱ	34名	4.2%	2,245名	5.5%
困窮度Ⅰ	102名	12.6%	6,124名	14.9%





※ 2016年度調査では、中央値255万円、平均値272.7万円であった。
注）2023年度調査ではグラフ作成方法を改訂している。

図　大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布

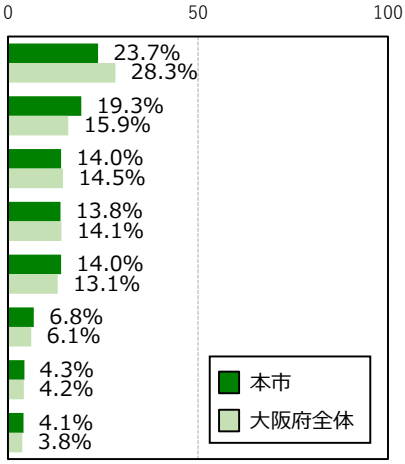
保護者のことについて

問25　同居家族が新型コロナウイルスに感染した延べ回数

保護者全体は、「いない」が23.7%で最も多く、次いで「１回」が19.3%、「２回」、「４回」がそれぞれ14.0%、「３回」が13.8%となっている。
小学生の保護者は、「いない」が24.1%で最も多く、次いで「１回」が18.7%、「４回」が15.0%、「３回」が13.8%となっている。
中学生の保護者は、「いない」が23.2%で最も多く、次いで「１回」が21.9%、「２回」が15.7%、「４回」が13.4%となっている。

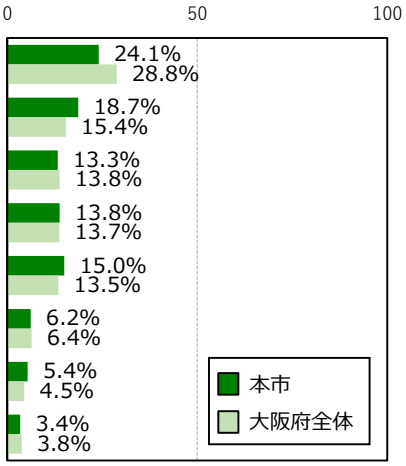
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
いない	181名	23.7%	12,265名	28.3%
１回	147名	19.3%	6,894名	15.9%
２回	107名	14.0%	6,279名	14.5%
３回	105名	13.8%	6,098名	14.1%
４回	107名	14.0%	5,651名	13.1%
５回	52名	6.8%	2,637名	6.1%
６回以上	33名	4.3%	1,828名	4.2%
無回答	31名	4.1%	1,648名	3.8%



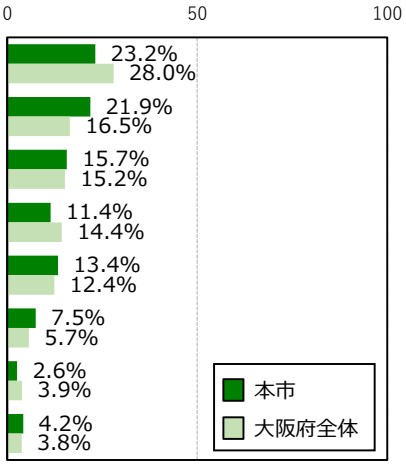
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
いない	98名	24.1%	6,573名	28.8%
１回	76名	18.7%	3,508名	15.4%
２回	54名	13.3%	3,152名	13.8%
３回	56名	13.8%	3,119名	13.7%
４回	61名	15.0%	3,085名	13.5%
５回	25名	6.2%	1,457名	6.4%
６回以上	22名	5.4%	1,029名	4.5%
無回答	14名	3.4%	863名	3.8%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
いない	71名	23.2%	5,415名	28.0%
１回	67名	21.9%	3,195名	16.5%
２回	48名	15.7%	2,948名	15.2%
３回	35名	11.4%	2,796名	14.4%
４回	41名	13.4%	2,410名	12.4%
５回	23名	7.5%	1,107名	5.7%
６回以上	8名	2.6%	758名	3.9%
無回答	13名	4.2%	736名	3.8%



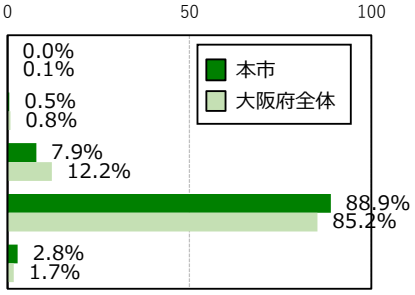
保護者のことについて

問26（１）住居の間取り

保護者全体は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が88.9％で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が7.9％となっている。
小学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が89.7％で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が7.9％となっている。
中学生の保護者は、「居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上」が88.2％で最も多く、次いで「居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）」が7.5％となっている。

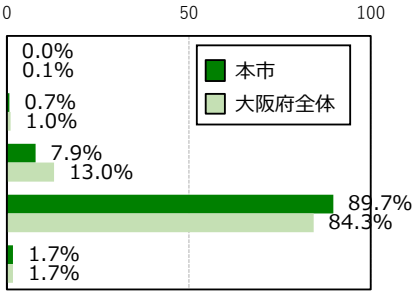
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
ワンルーム	－	－	43名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	4名	0.5%	358名	0.8%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	60名	7.9%	5,272名	12.2%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	678名	88.9%	36,876名	85.2%
無回答	21名	2.8%	751名	1.7%



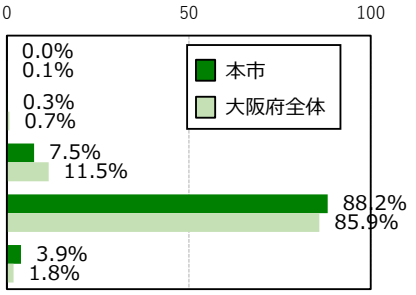
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
ワンルーム	－	－	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	3名	0.7%	217名	1.0%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	32名	7.9%	2,951名	13.0%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	364名	89.7%	19,206名	84.3%
無回答	7名	1.7%	391名	1.7%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
ワンルーム	－	－	21名	0.1%
居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	1名	0.3%	134名	0.7%
居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）	23名	7.5%	2,233名	11.5%
居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上	270名	88.2%	16,638名	85.9%
無回答	12名	3.9%	339名	1.8%



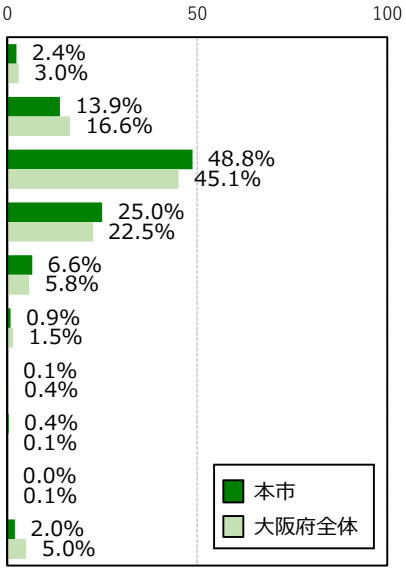
保護者のことについて

問26（２）同居人数

保護者全体は、「４人」が48.8%で最も多く、次いで「５人」が25.0%、「３人」が13.9%、「６人」が6.6%となっている。
小学生の保護者は、「４人」が47.8%で最も多く、次いで「５人」が25.6%、「３人」が13.8%、「６人」が7.1%となっている。
中学生の保護者は、「４人」が50.0%で最も多く、次いで「５人」が24.8%、「３人」が13.4%、「６人」が5.6%となっている。

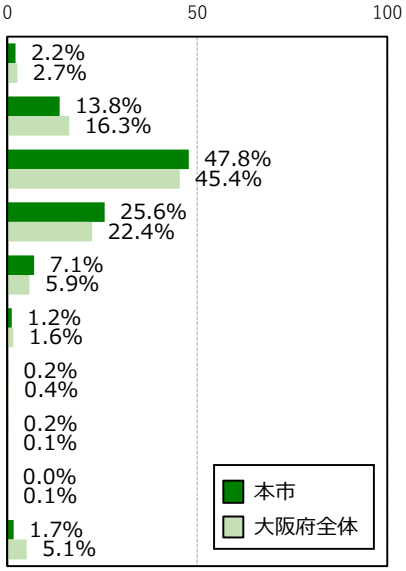
【保護者全体】

	本市		大阪府全体	
	763名	100.0%	43,300名	100.0%
２人	18名	2.4%	1,311名	3.0%
３人	106名	13.9%	7,168名	16.6%
４人	372名	48.8%	19,512名	45.1%
５人	191名	25.0%	9,732名	22.5%
６人	50名	6.6%	2,503名	5.8%
７人	7名	0.9%	662名	1.5%
８人	1名	0.1%	188名	0.4%
９人	3名	0.4%	46名	0.1%
10人以上	－	－	33名	0.1%
無回答	15名	2.0%	2,145名	5.0%



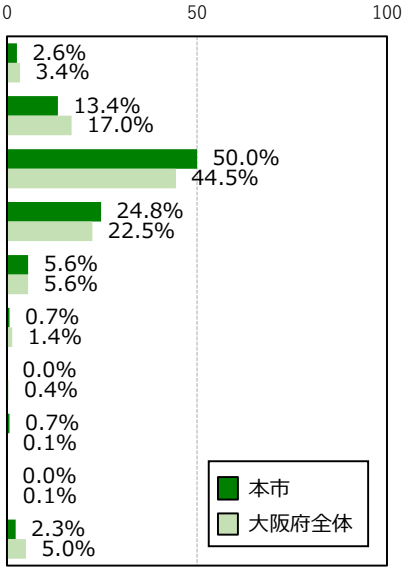
【小学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	406名	100.0%	22,786名	100.0%
２人	9名	2.2%	621名	2.7%
３人	56名	13.8%	3,703名	16.3%
４人	194名	47.8%	10,353名	45.4%
５人	104名	25.6%	5,100名	22.4%
６人	29名	7.1%	1,341名	5.9%
７人	5名	1.2%	366名	1.6%
８人	1名	0.2%	94名	0.4%
９人	1名	0.2%	26名	0.1%
10人以上	－	－	18名	0.1%
無回答	7名	1.7%	1,164名	5.1%



【中学生の保護者】

	本市		大阪府全体	
	306名	100.0%	19,365名	100.0%
２人	8名	2.6%	661名	3.4%
３人	41名	13.4%	3,292名	17.0%
４人	153名	50.0%	8,626名	44.5%
５人	76名	24.8%	4,348名	22.5%
６人	17名	5.6%	1,078名	5.6%
７人	2名	0.7%	277名	1.4%
８人	－	－	86名	0.4%
９人	2名	0.7%	19名	0.1%
10人以上	－	－	14名	0.1%
無回答	7名	2.3%	964名	5.0%



３．クロス集計および分析結果

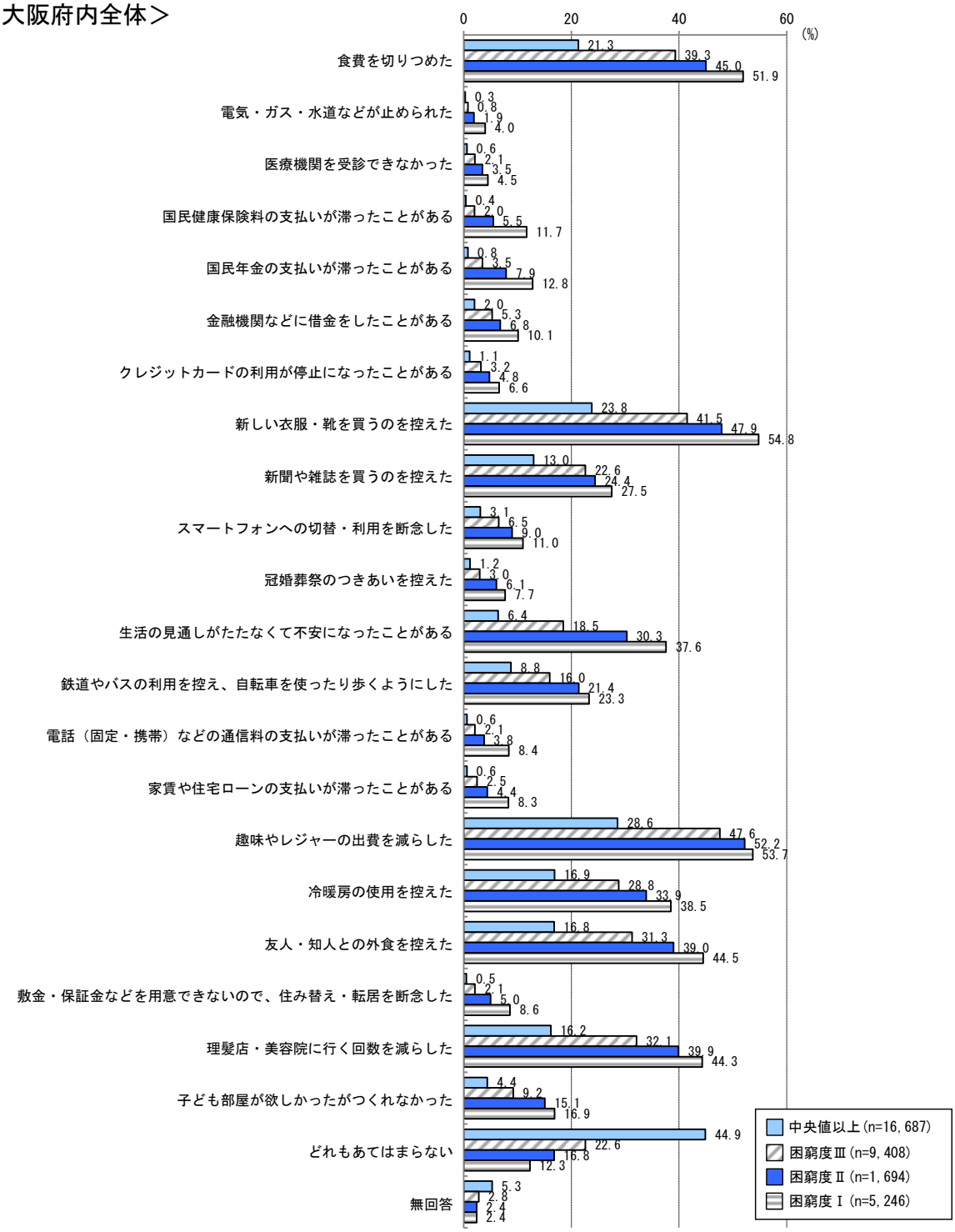
以下のグラフは、主に困窮度別に示している。大阪府内全自治体の傾向については記述していないが、多くにおいて、本自治体調査結果と同様の傾向が見られる。さらに顕著な傾向が見られるものもある。

３－１．基本情報

（１）経済状況

困窮度別に見た、経済的な理由による経験（保護者票問７）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

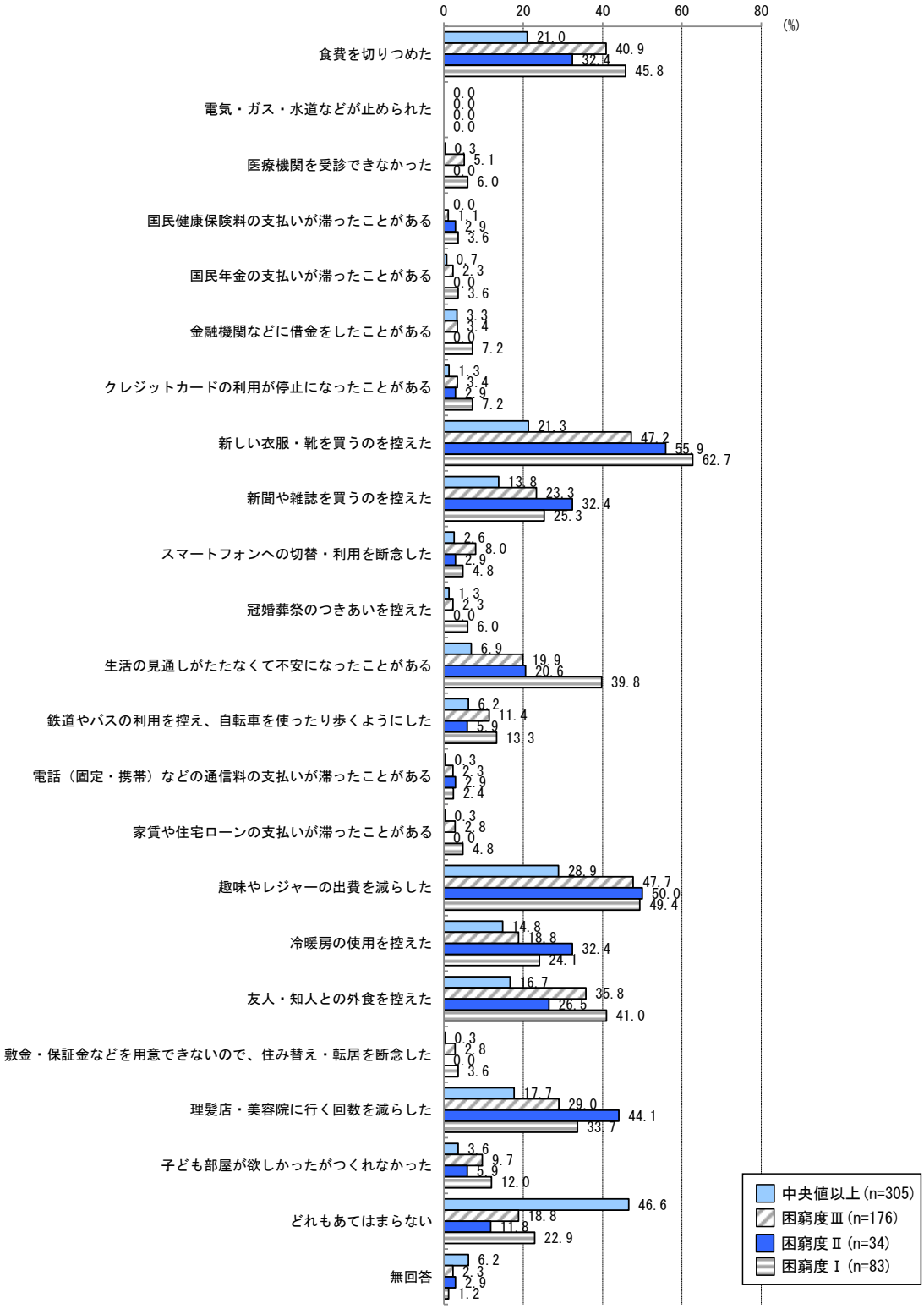
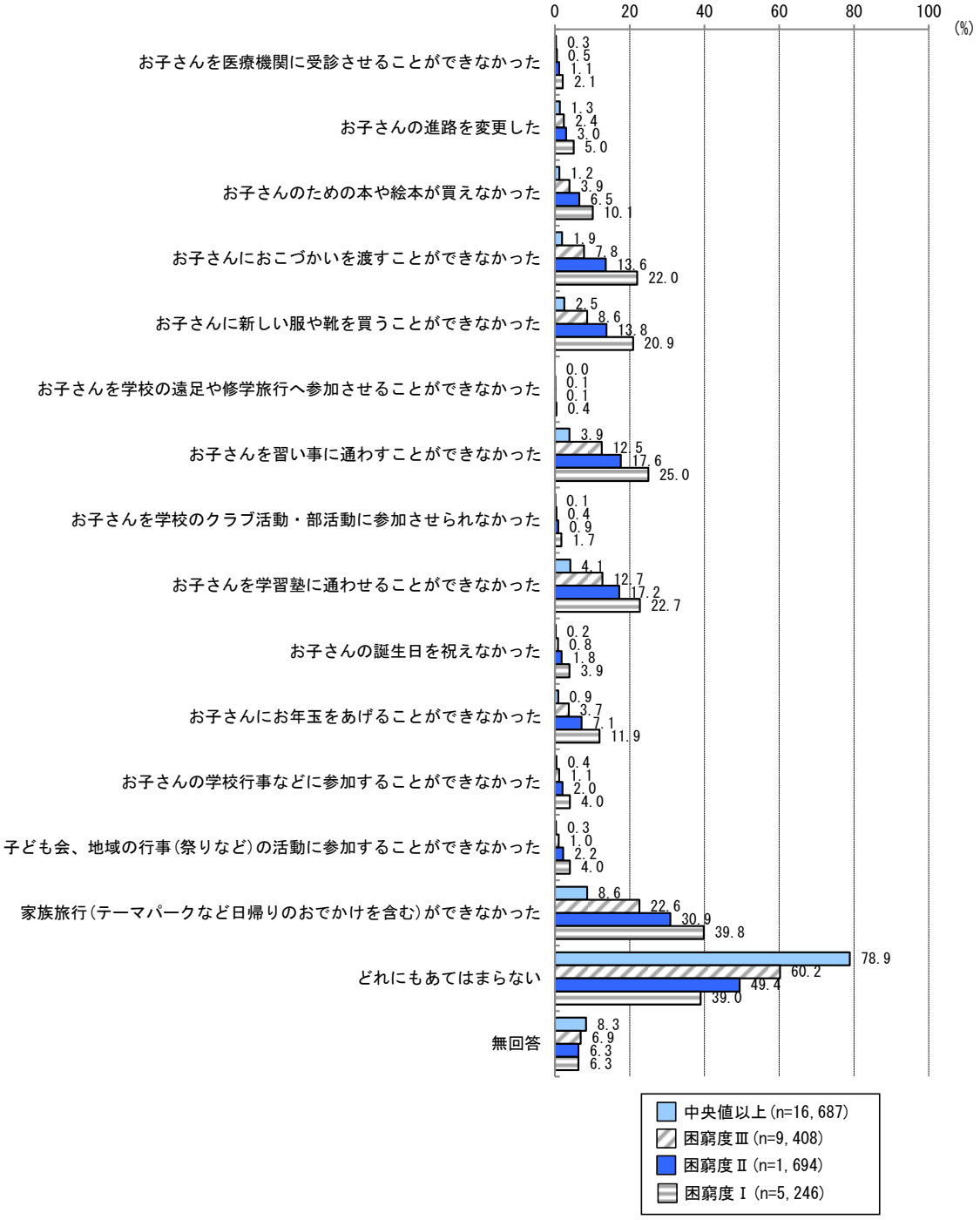


図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験

困窮度別に経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「医療機関を受診できなかった」が6.0%（中央値以上群に対して20.0倍）、「家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある」が4.8%（中央値以上群に対して16.0倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。また「どれもあてはまらない」は中央値以上群で46.6%に対して、困窮度Ⅰ群において22.9%だった。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験（保護者票問 12）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

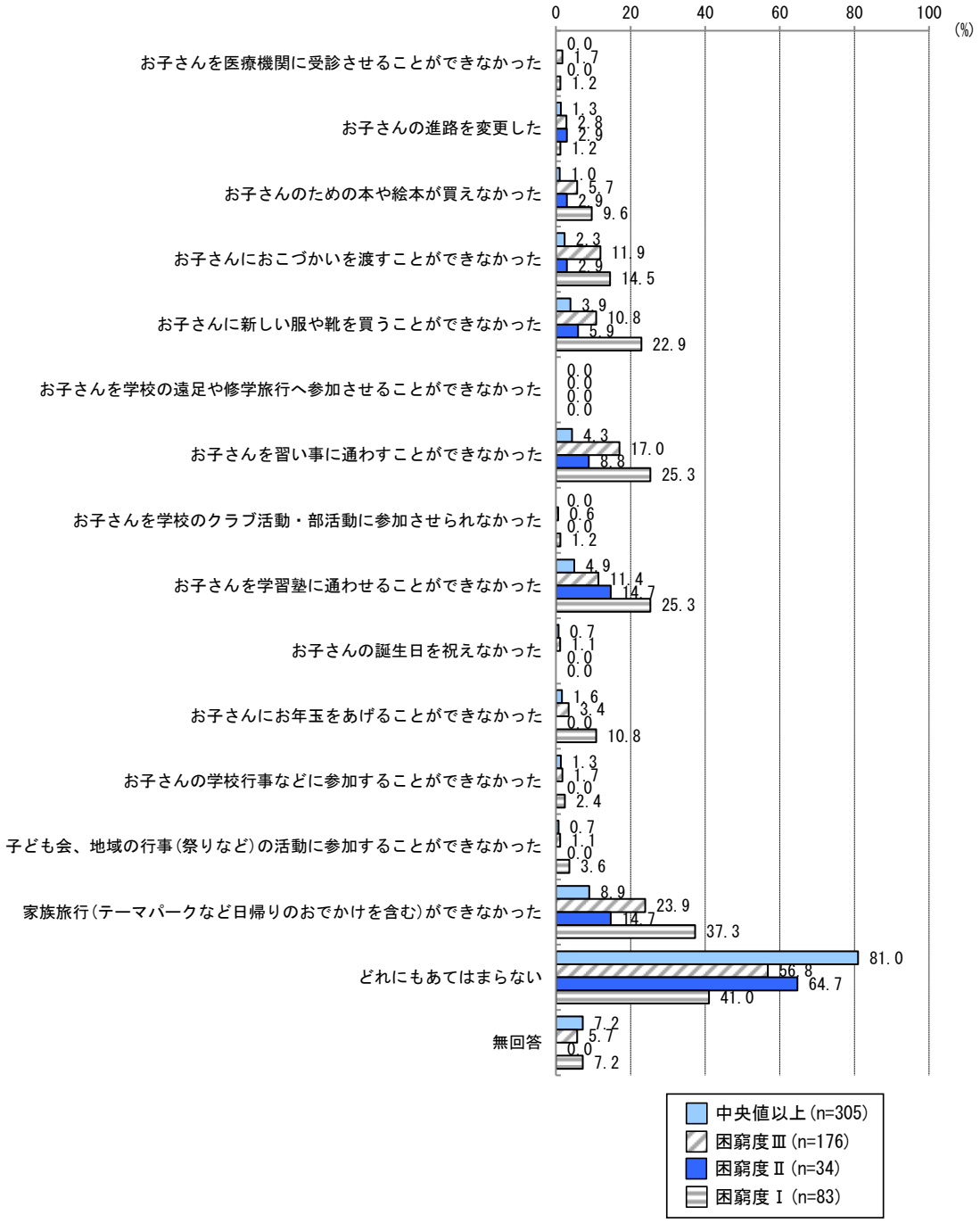


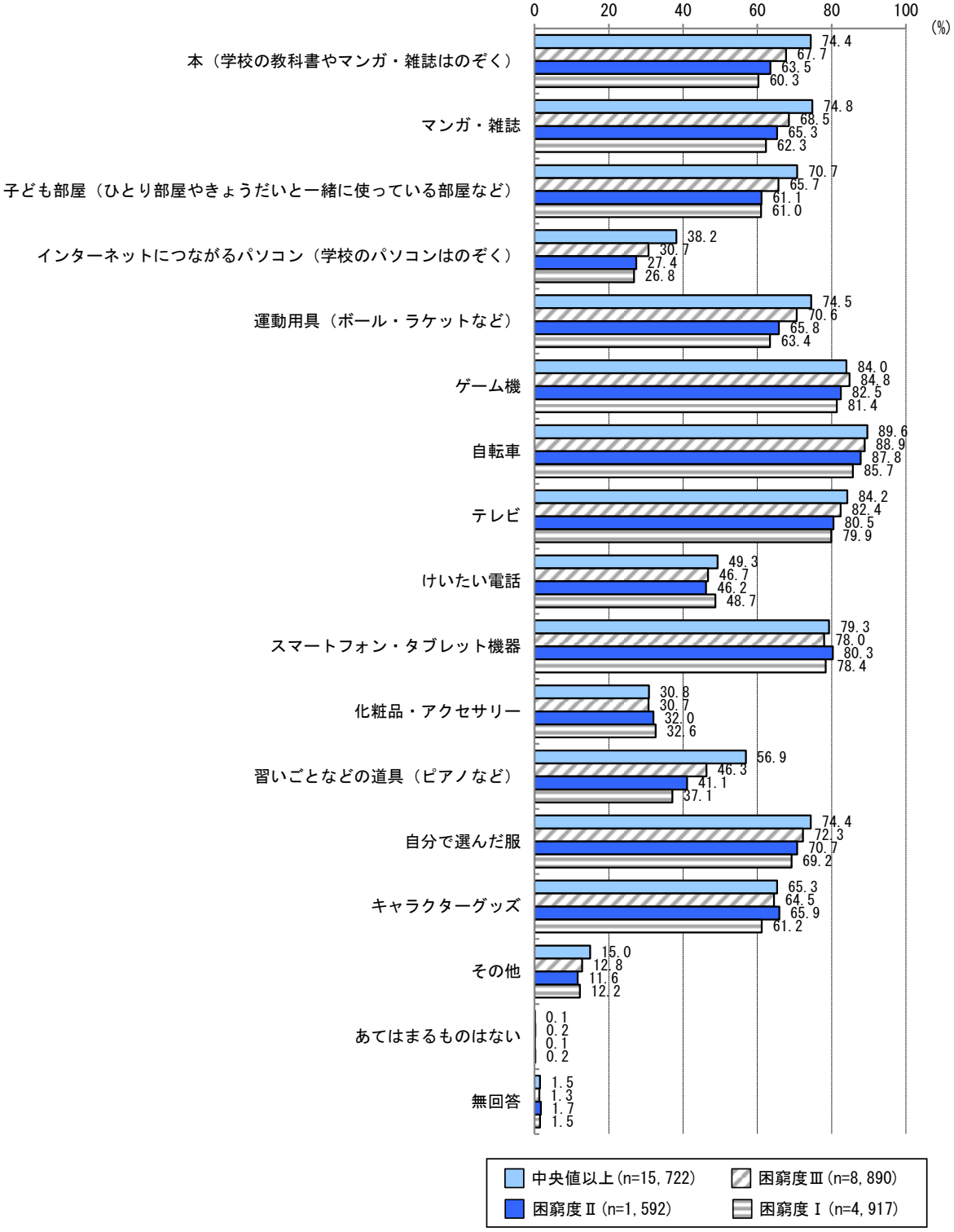
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験

困窮度別に子どもへの経済的な理由による経験を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群を見ると、「お子さんのための本や絵本が買えなかった」が9.6%（中央値以上群に対して9.6倍）、「お子さんにお年玉をあげることができなかった」が10.8%（同じく6.8倍）、「お子さんにおこづかいを渡すことができなかった」が14.5%（同じく6.3倍）となっている。

また、「どれにもあてはまらない」は中央値以上群で81.0%に対して、困窮度Ⅰ群において41.0%だった。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの（子ども票問 21）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

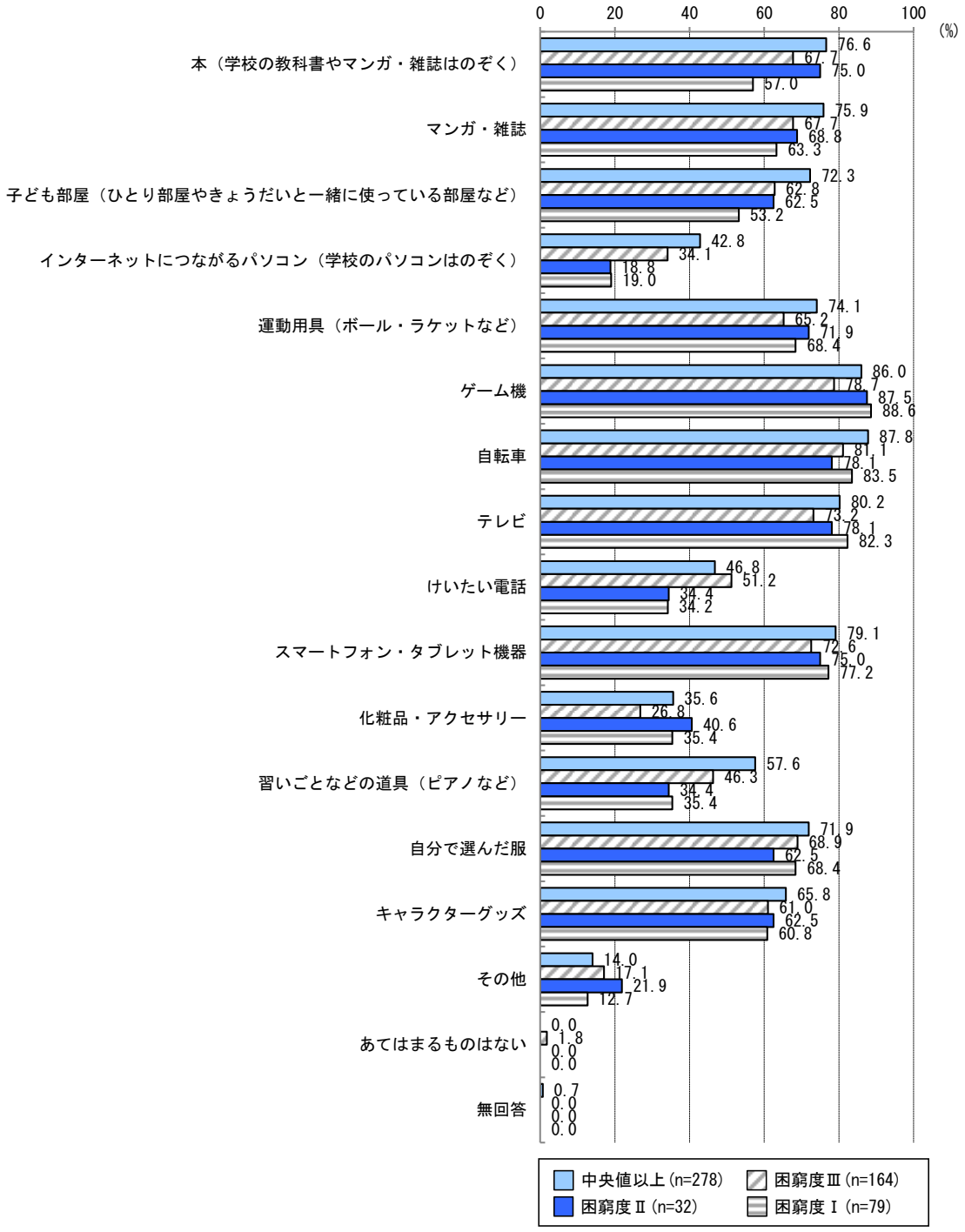
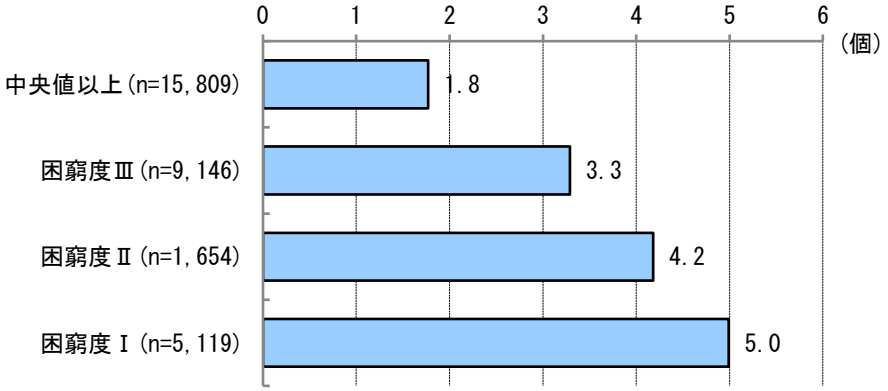


図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの

困窮度別に持っているもの、使うことができるものを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群を見ると、「インターネットにつながるパソコン（学校のパソコンはのぞく）」が42.8％（困窮度Ⅰ群に対して2.3倍）、「習いごとなどの道具（ピアノなど）」が57.6％（同じく1.6倍）、「けいたい電話」が46.8％（同じく1.4倍）となり、中央値以上群において高い項目、すなわち困窮度Ⅰ群においては低い項目が複数みられた。

困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問７）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

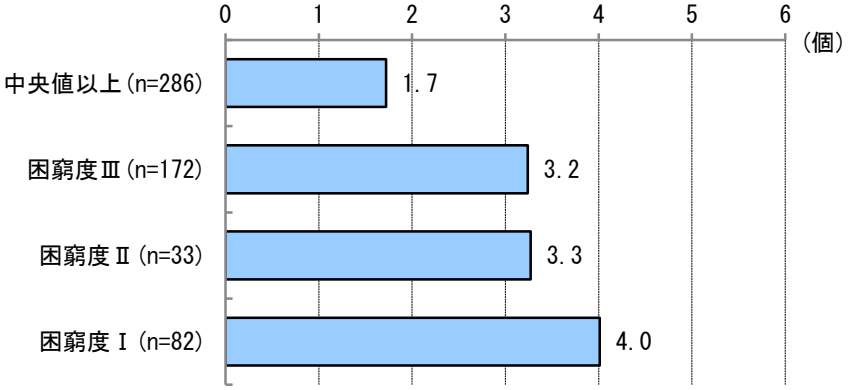


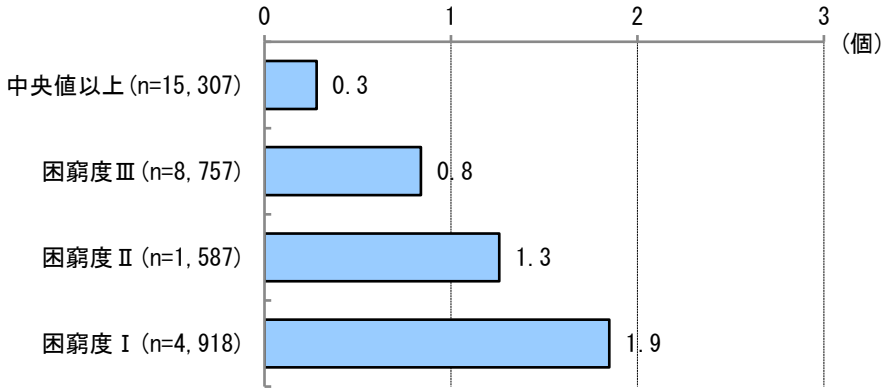
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

経済的な理由による経験として示した21個の項目のうち､該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度が高くなるにつれ、経済的な理由による経験の該当数は多くなっていることがみられた。

困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票問 12）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

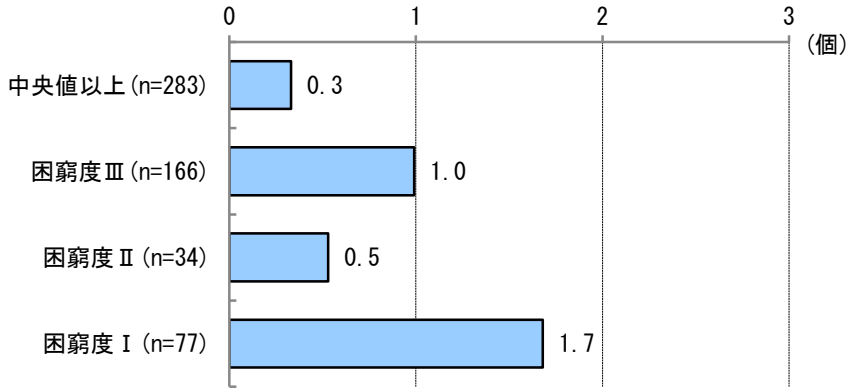


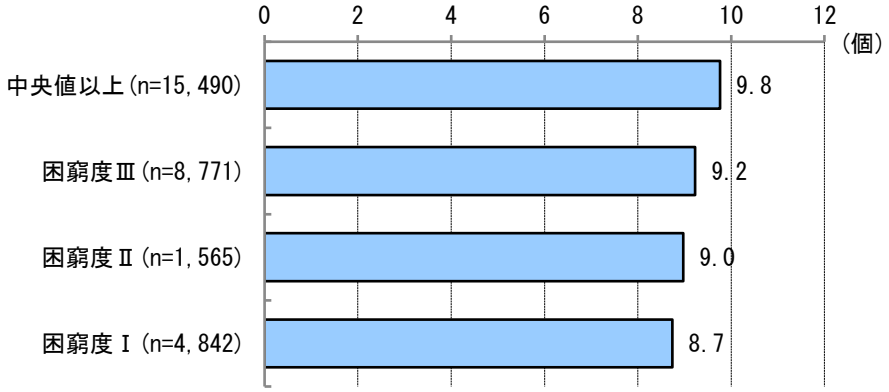
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

子どもに関して経済的な理由による経験として示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、困窮度Ⅰ群が1.7個で最も多く、次いで困窮度Ⅲ群が1.0個となっている。

困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均（子ども票問 21）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

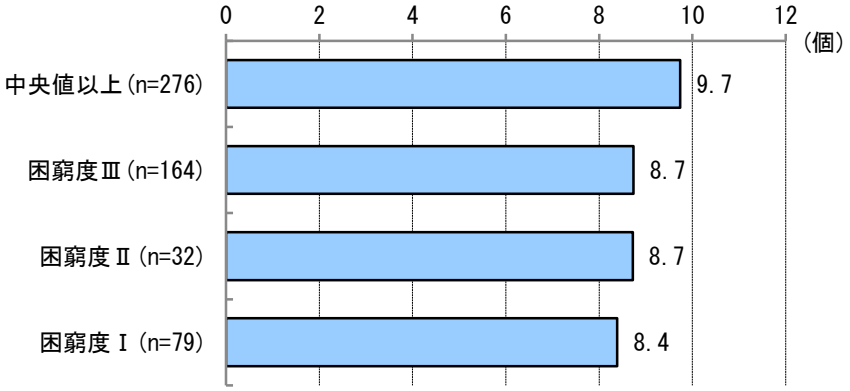


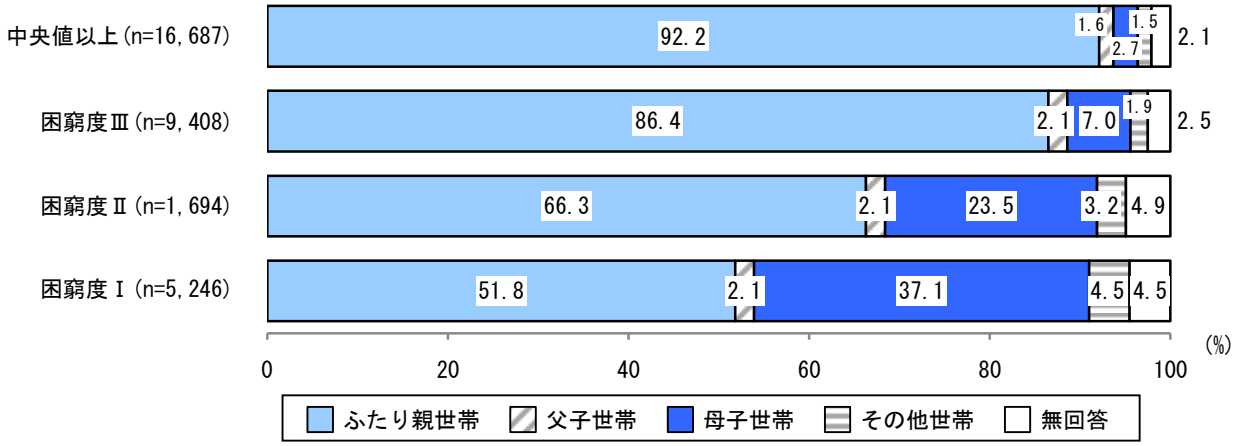
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均

子どもの持っているもの、使うことができるものとして示した14個の項目のうち、該当すると回答された数について、困窮度別に平均値を算出した。

その結果、中央値以上群が9.7個で最も多く、困窮度Ⅰ群が8.4個で最も少なくなっている。

困窮度別に見た、世帯員の構成（保護者票問２より）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

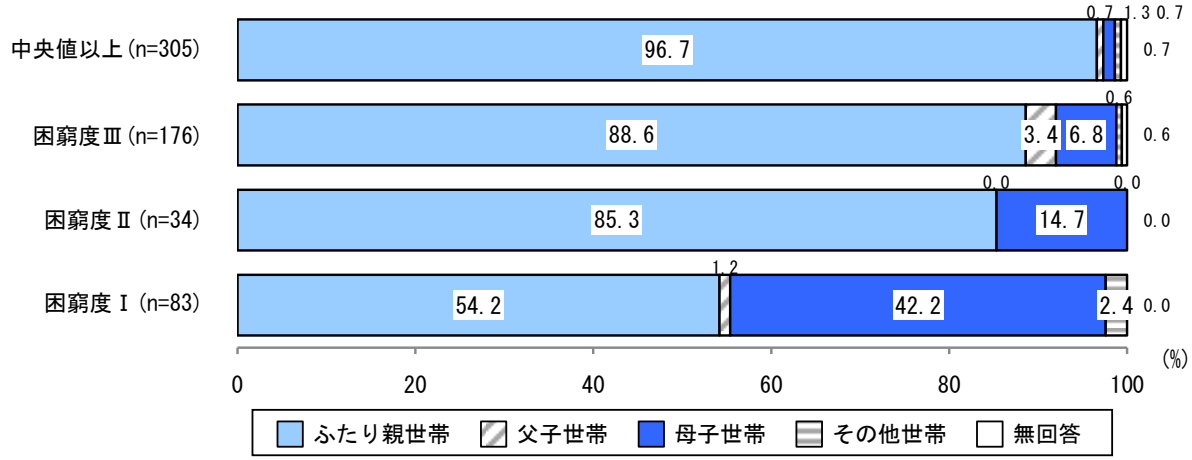


図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成

困窮度別に世帯員の構成を見ると、「ふたり親世帯」と回答したのは、中央値以上群が96.7%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は54.2%だった。また、「母子世帯」と回答したのは、中央値以上群が1.3%であるのに対して、困窮度Ⅰ群は42.2%だった。

＜2016年度調査との比較／大阪狭山市＞

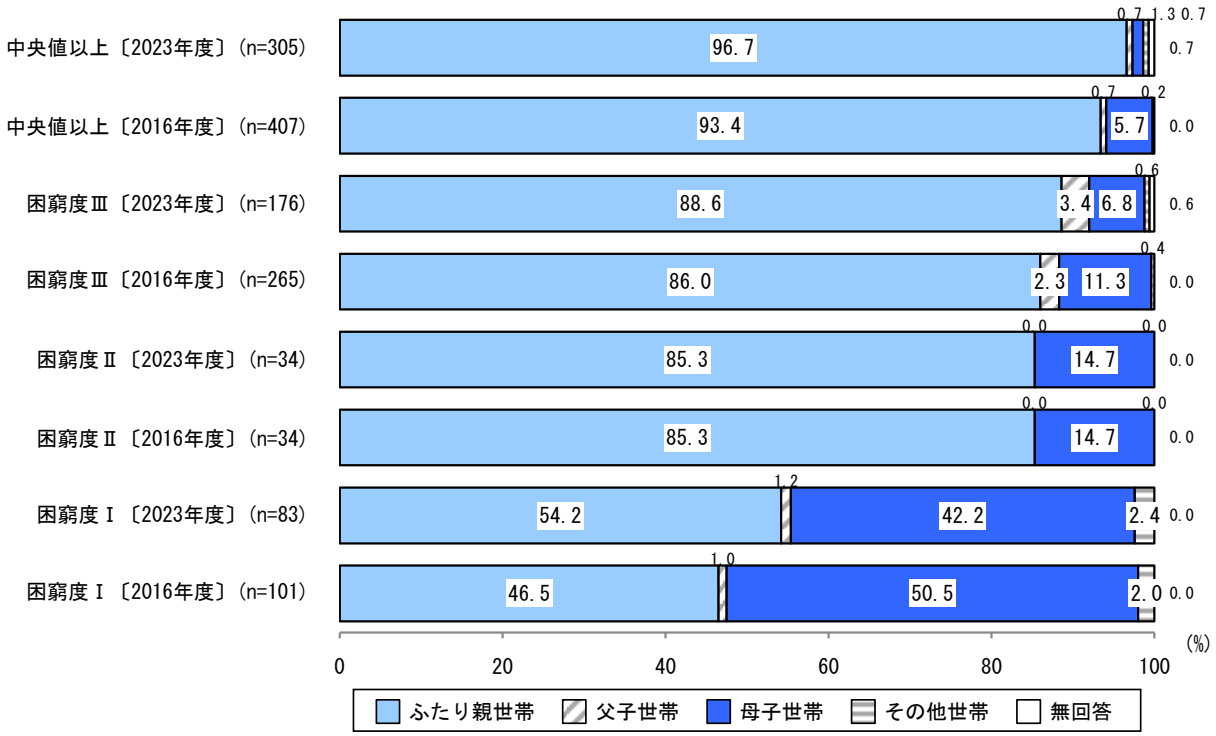
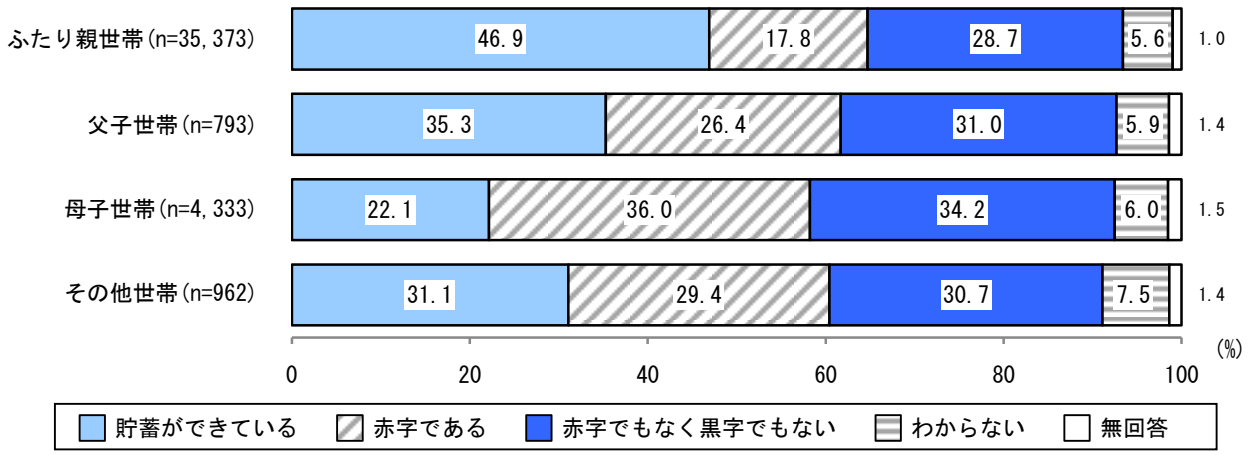


図 8. 困窮度別に見た、世帯員の構成（2016 年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「ふたり親世帯」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて高くなっており、一方で、「母子世帯」は2016年度調査に比べて割合が低くなっている。

世帯構成別に見た、家計の状況（保護者票問６(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

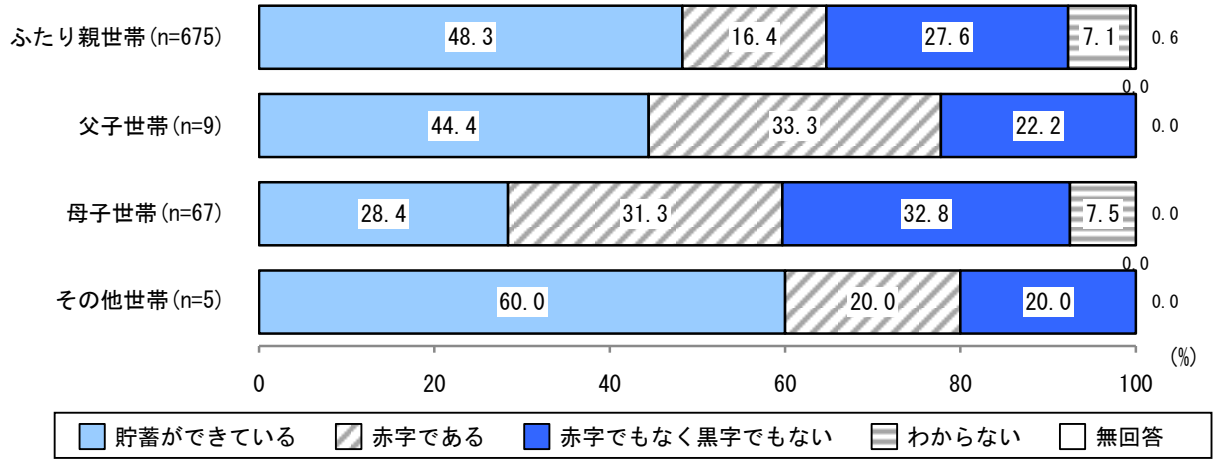
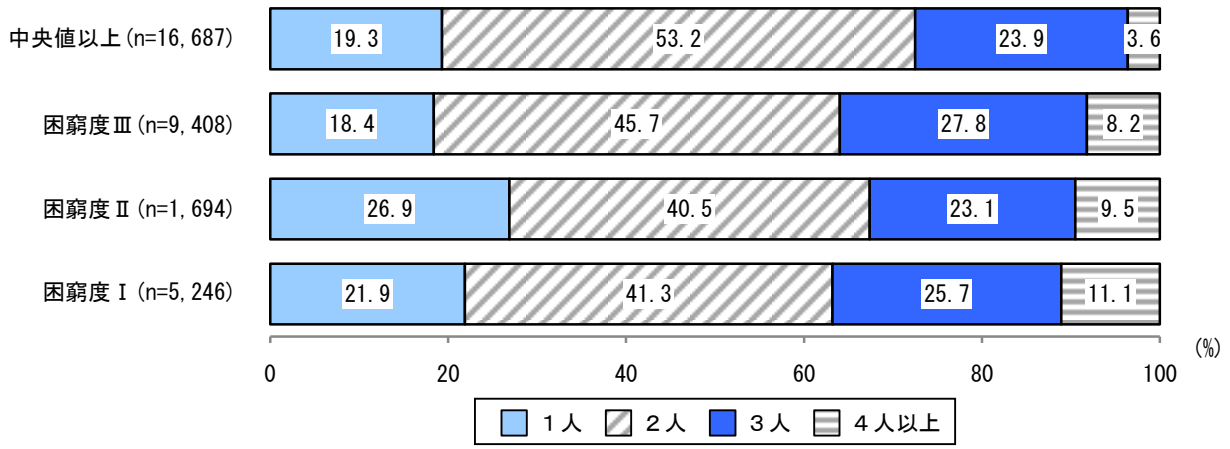


図 9. 世帯構成別に見た、家計の状況

世帯構成別に家計の状況を見ると、「貯蓄ができている」と回答した割合は、ふたり親世帯が48.3％なのに対して、父子世帯44.4％、母子世帯28.4％だった。また、「赤字である」と回答したのは、ふたり親世帯が16.4％なのに対して、父子世帯は33.3％だった。

困窮度別に見た、子どもの人数（保護者票問２より）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

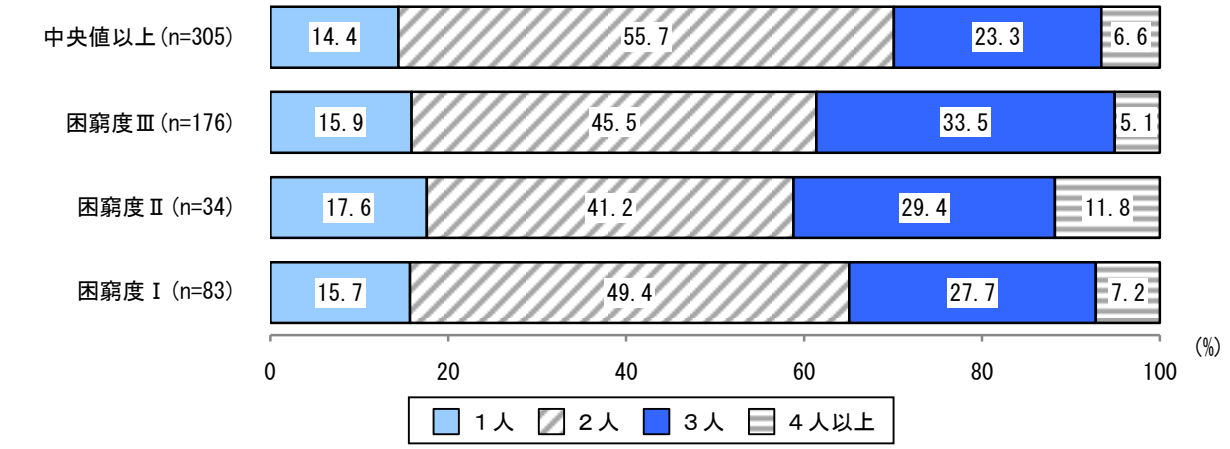
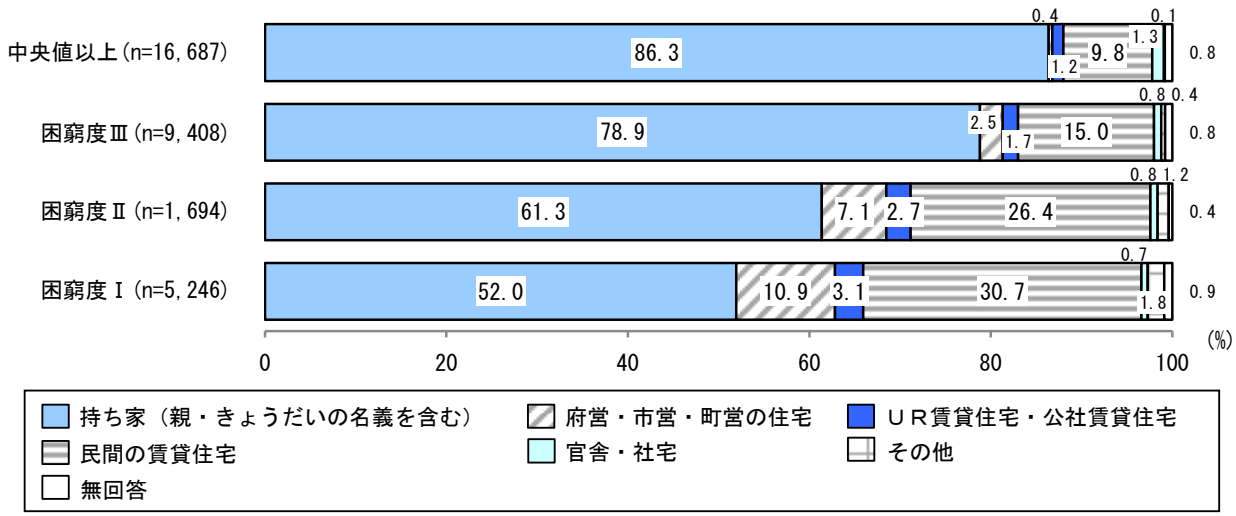


図 10. 困窮度別に見た、子どもの人数

困窮度別に子どもの人数を見ると、中央値以上群において３人以上が29.9%（３人23.3%、４人以上6.6%）であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、３人以上が34.9%（３人27.7%、４人以上7.2%）と高くなっている。

困窮度別に見た、住居形態（保護者票問５）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

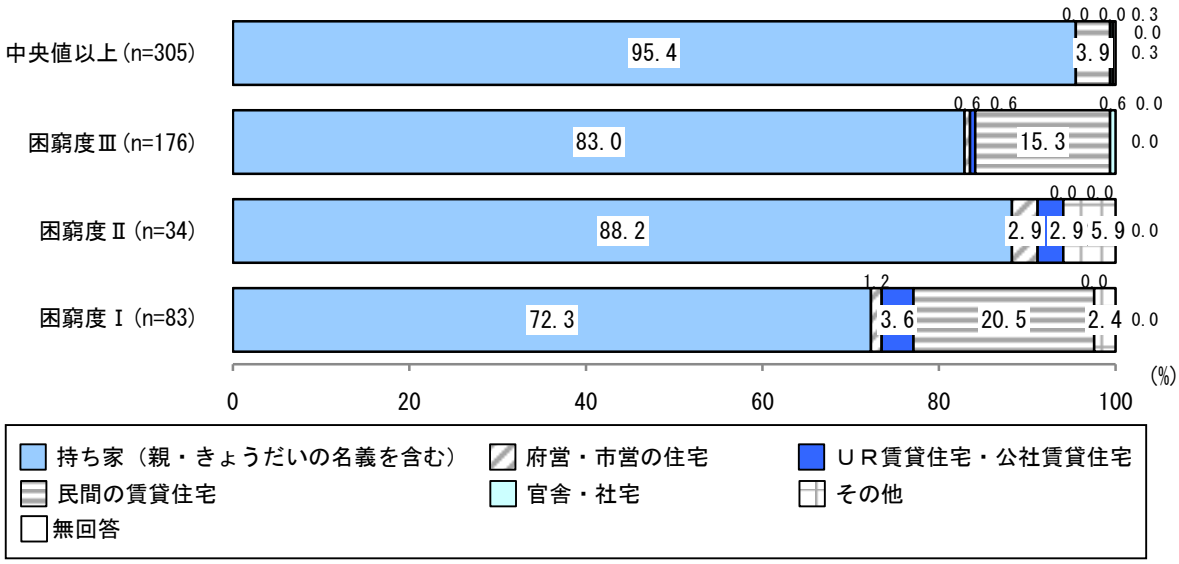
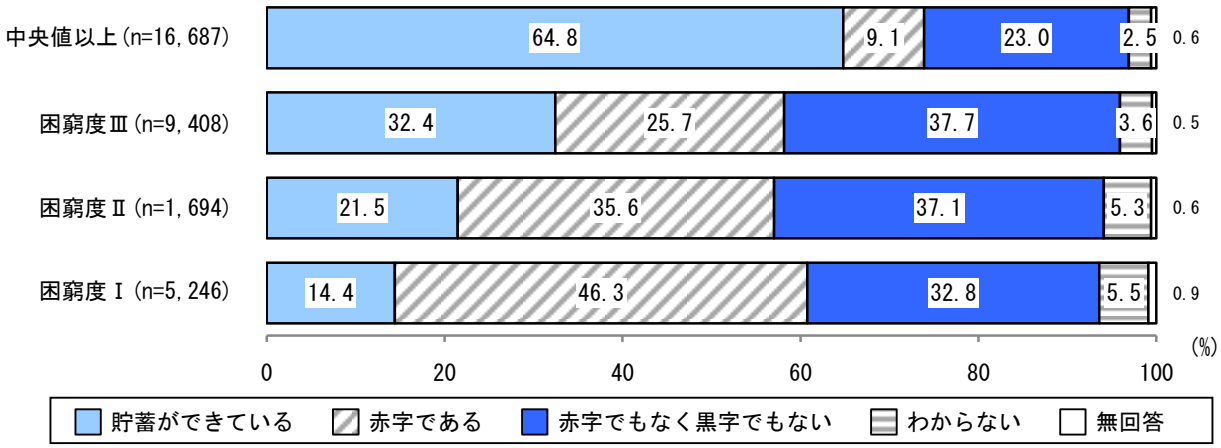


図 11. 困窮度別に見た、住居形態

困窮度別に住居形態を見ると、困窮度が高まるにつれ、持ち家の保有率は低くなっている。中央値以上群では、「持ち家」と回答した割合は95.4%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、72.3%にととどまっている。

困窮度別に見た、家計の状況（保護者票問６(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

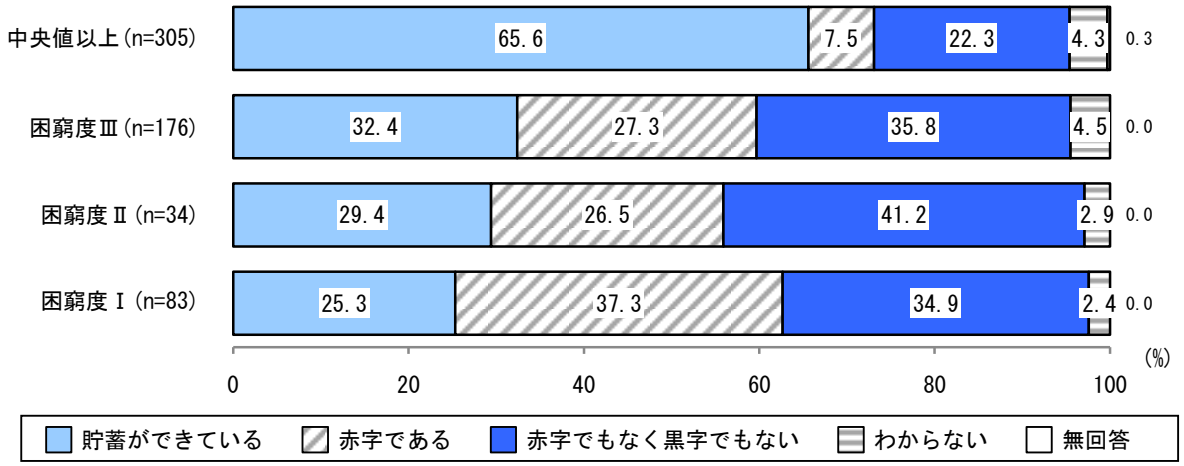
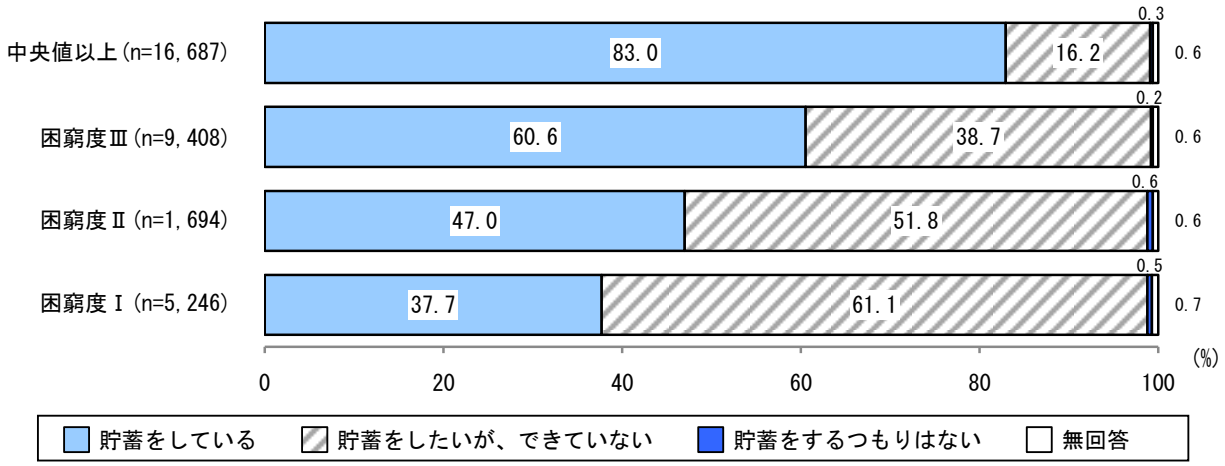


図 12. 困窮度別に見た、家計の状況

困窮度別に家計の状況を見ると、困窮度が高まるにつれて、「貯蓄ができている」と回答する割合が低くなり、逆に、「赤字である」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「赤字である」と回答した世帯の割合は、7.5%であるのに対して、困窮度Ⅰ群では、37.3%となっている。

困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問６(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

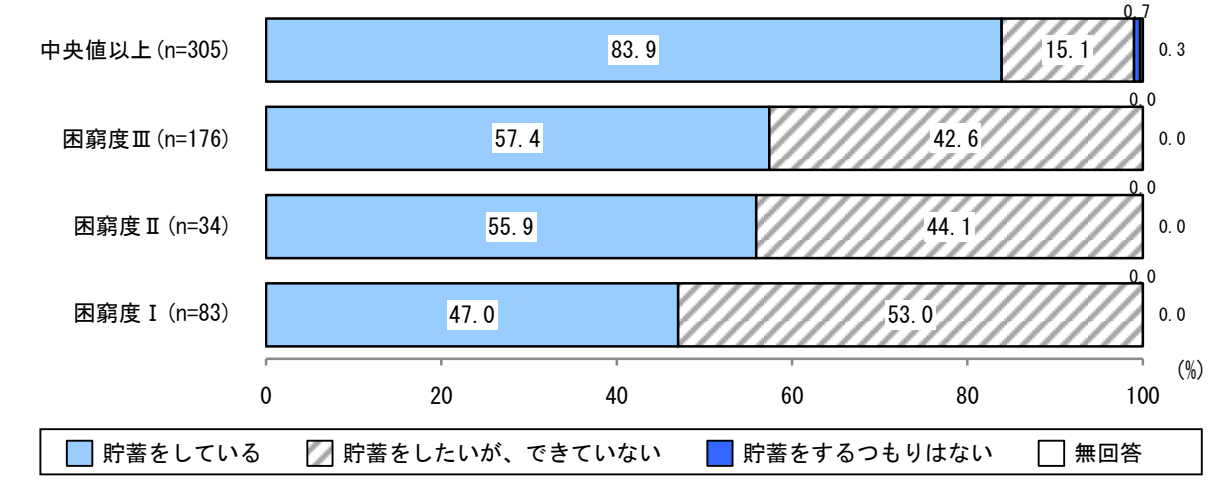
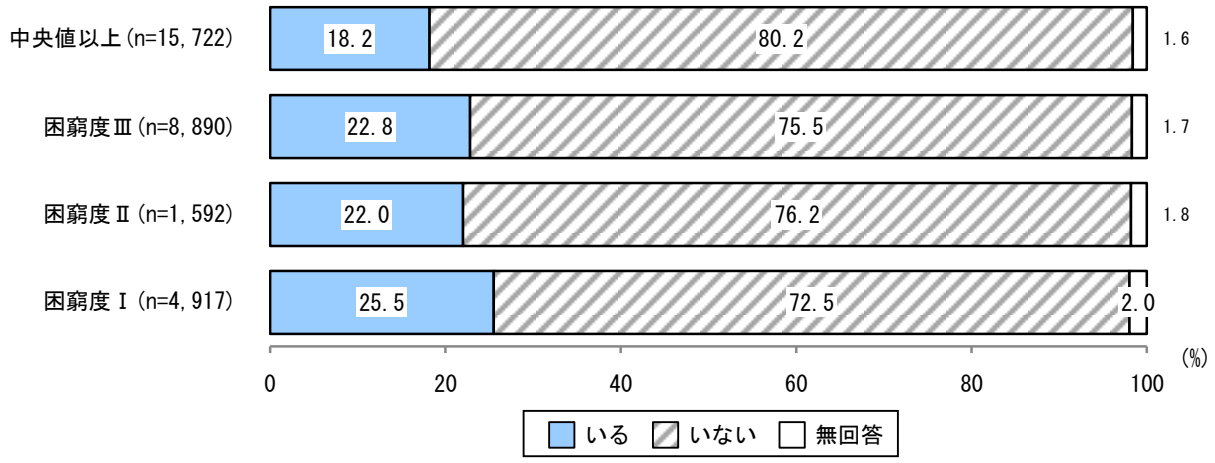


図 13. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

困窮度別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「貯蓄をしたいが、できていない」という回答が高くなっている。中央値以上群では、「貯蓄をしている」と回答する割合が83.9%を占めたが、困窮度Ⅰ群では47.0%にとどまり、約5割が「貯蓄をしたいが、できていない」と回答している。

困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無（子ども票問 26(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

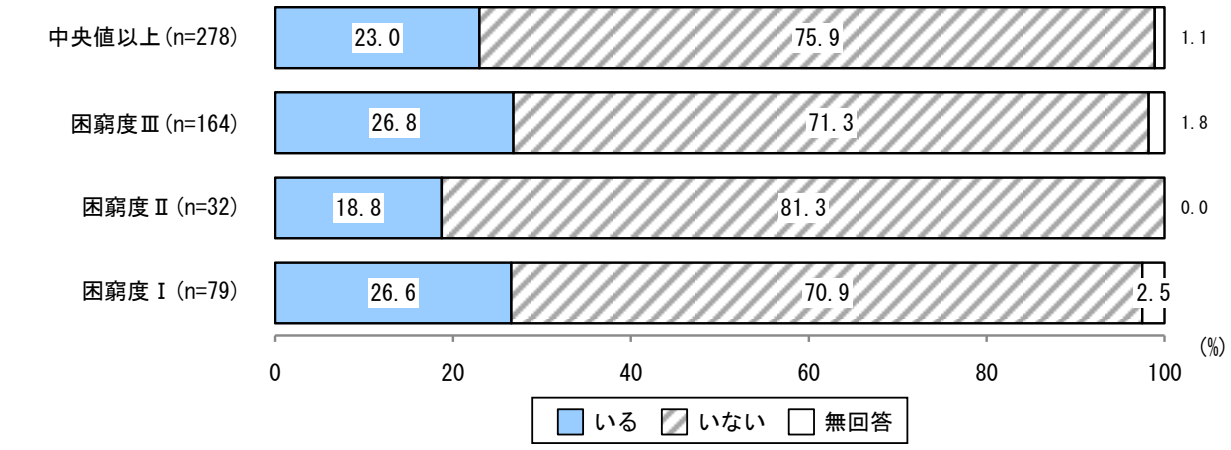


図 14. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無

困窮度別に自分が世話をしている人の有無を見ると、自分が世話をしている人が「いる」と回答した割合は困窮度Ⅲ群で26.8%と最も高くなっている。困窮度Ⅱ群では、「いない」と回答する割合が81.3%を占め、最も高くなっている。

＜経済状況に関する考察＞

経済的理由で生じた生活上の困難についての質問項目は、現在の日本社会において、「通常であれば可能な生活」を基準に設定している。「どれもあてはまらない」という回答は、その基準に達していることを示すものであるが、中央値以上群で46.6%に対して、困窮度Ⅰ群では22.9%にすぎない。一方、困窮度が深刻化するにしたがい経済的理由から生活面での困難は増す傾向にあり、「食費を切り詰めた」(45.8%対21.0%)、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」(33.7%対17.7%)では中央値以上群よりも困窮度Ⅰ群が15～20ポイント以上高く、猛暑が続く中でも「冷暖房の使用を控えた」(24.1%対14.8%）でも困窮度Ⅰ群の方が高くなっている。嗜好的要因である「趣味やレジャーの出費を減らした」(49.4%対28.9%)、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」(62.7%対21.3%）でも中央値以上群よりも困窮度Ⅰ群が20～40ポイント以上高くなっているほか、ほぼすべての項目で中央値以上群よりも困窮度Ⅰ群の方が高くなっており、生活面で大きな格差が存在する。また、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「国民年金の支払いが滞ったことがある」(3.6%対0.7%）でも中央値以上群よりも困窮度Ⅰ群の方が高く、子どもの親（保護者）の将来（老後）の生活困窮を示唆するデータも見られた。さらに、こういった経済状況は、親の心理的な面にも影響しており、「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」(39.8%対6.9%）では中央値以上群よりも困窮度Ⅰ群が30ポイント以上高くなっている。これらの結果から、経済的困難な家庭では、生活インフラへの支払いの滞りや年金支払いの義務が果たせなくなることに加え、将来への不安感が多いことが示唆される。

世帯の経済状況は、子どもの教育にも影響を及ぼしていることが確認できる。主な項目をあげると、「お子さんを習い事に通わすことができなかった」(25.3%対4.3%)、「お子さんを学習塾に通わせることができなかった」(25.3%対4.9%）では、いずれも中央値以上群よりも困窮度Ⅰ群の方が20ポイント以上高く、子どもに与える教育の格差が示されている。これらの結果から、経済状況によって、子どもの進路や学習環境、家族以外の社会的交流を行う機会が制限されることが示唆される。

同様に、学校以外での子どもの多様な「体験」の有無は、子どものヒューマンキャピタルの形成に影響を与えることが予想されるが、調査結果では、所得階群によって体験の機会に格差があることが示されている。具体的には、「家族旅行（日帰りのおでかけを含む）ができなかった」(37.3%対8.9%）では中央値以上群よりも困窮度Ⅰ群が約30ポイント高く、経験に大きな差がある。以上のように、所得階群によって体験の機会に差が見られるが、修学旅行への参加やクラブ・部活動への参加などでは大きな格差は見られず、子どもに対して貴重な体験や勉強の機会が提供しようとしている姿勢がデータから読み取れる。

また、「子どもの将来のための貯蓄状況」という質問項目に対して、中央値以上群は困窮度Ⅰの群と比べ、「貯蓄をしている」(83.9%対47.0%)、と回答した割合が35ポイント以上高くなっている。一方で、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「貯蓄をしたいが、できていない」(53.0%対15.1%)と回答した割合が35ポイント以上高くなっており、貯蓄の状況に大きな差があることが確認できる。これらの結果から、経済的困難な家庭では、貯蓄不足により、将来子どもに起こり得るリスク（病気や進路選択など）に備えることや、子どもに対しての投資が難しくなると予想される。

近年、子どもの貧困やヤングケアラーへの社会的関心が深まりつつあり、子どもの貧困やヤングケアラーへの社会的関心が深まりつつあり、厚生労働省と文部科学省が連携して行った全国調査では、ヤングケアラーと思われる子どもは小学6年生で6.5%（令和3年度実施)、中学2年生で5.7%（令和2年度実施）と報告されている（『ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告（令和3年5月17日)』)。全国調査の結果より、回答した小学6

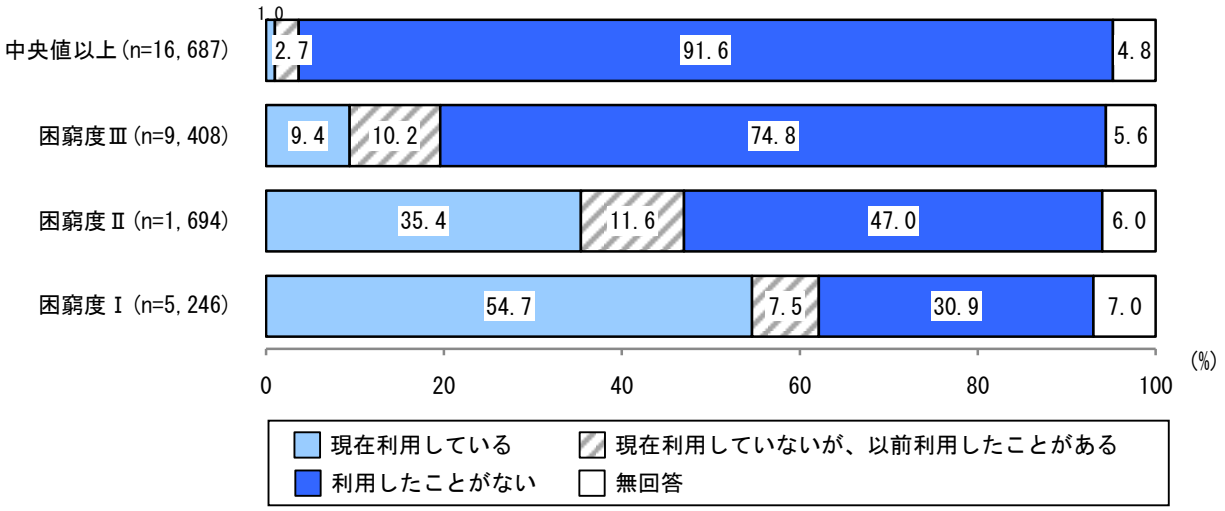
年生の15人に１人程度、中学2年生の17人に1人程度が家族の世話をしていることが明らかになった。

全国の状況を踏まえて、大阪狭山市が令和５年に実施した、小学5年生、中学2年生を対象とする本調査では、「自分が世話をしている人の有無」という質問に対して「いる」と答えている割合は、全体においては25.1％であるが、困窮度Ｉ群は中央値以上群と比べて「いる」と答えた割合が高くなっている（26.6％対23.0％）。経済的困難な家庭ではその割合が高いことが読み取れる。

（２）家庭状況（制度等）

困窮度別に見た、就学援助の利用状況（保護者票問 23-a）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

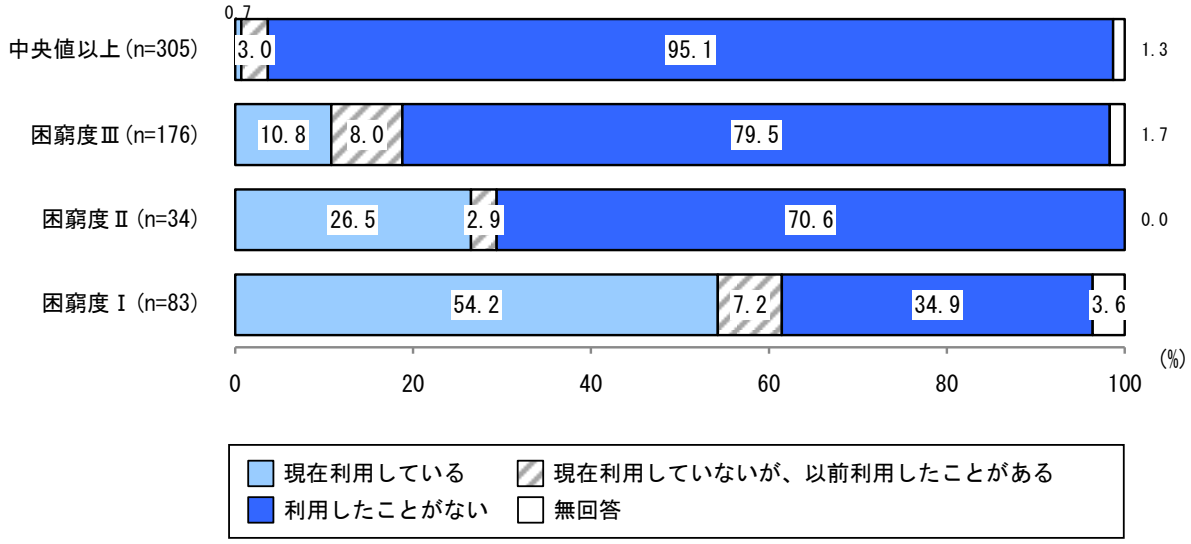
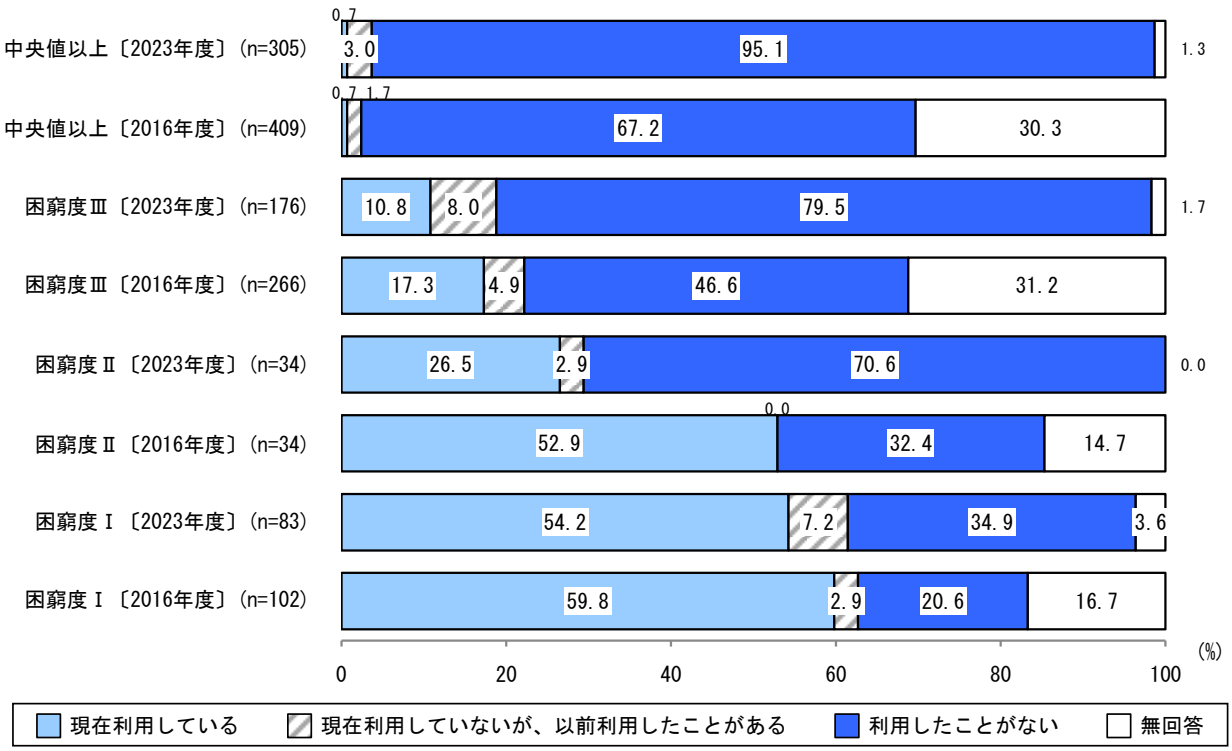


図 15. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況

困窮度別に就学援助の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

＜2016年度調査との比較／大阪狭山市＞



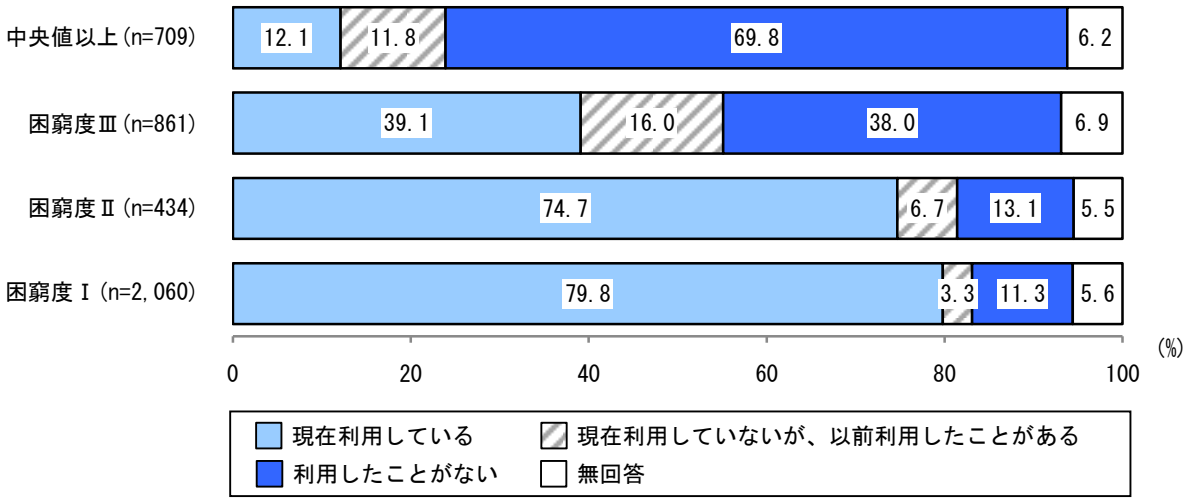
※　2016 年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

図 16. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況（2016 年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「現在利用している」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて低くなっており、一方で、「利用したことがない」は2016年度調査に比べて割合が高くなっている。

困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（保護者票問 23-d）・ひとり親世帯のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

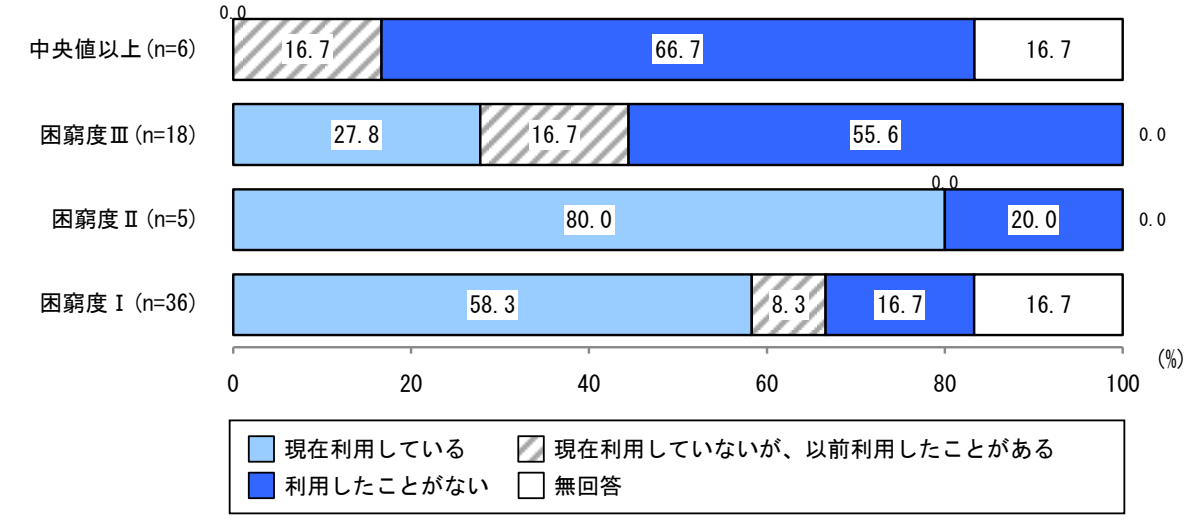
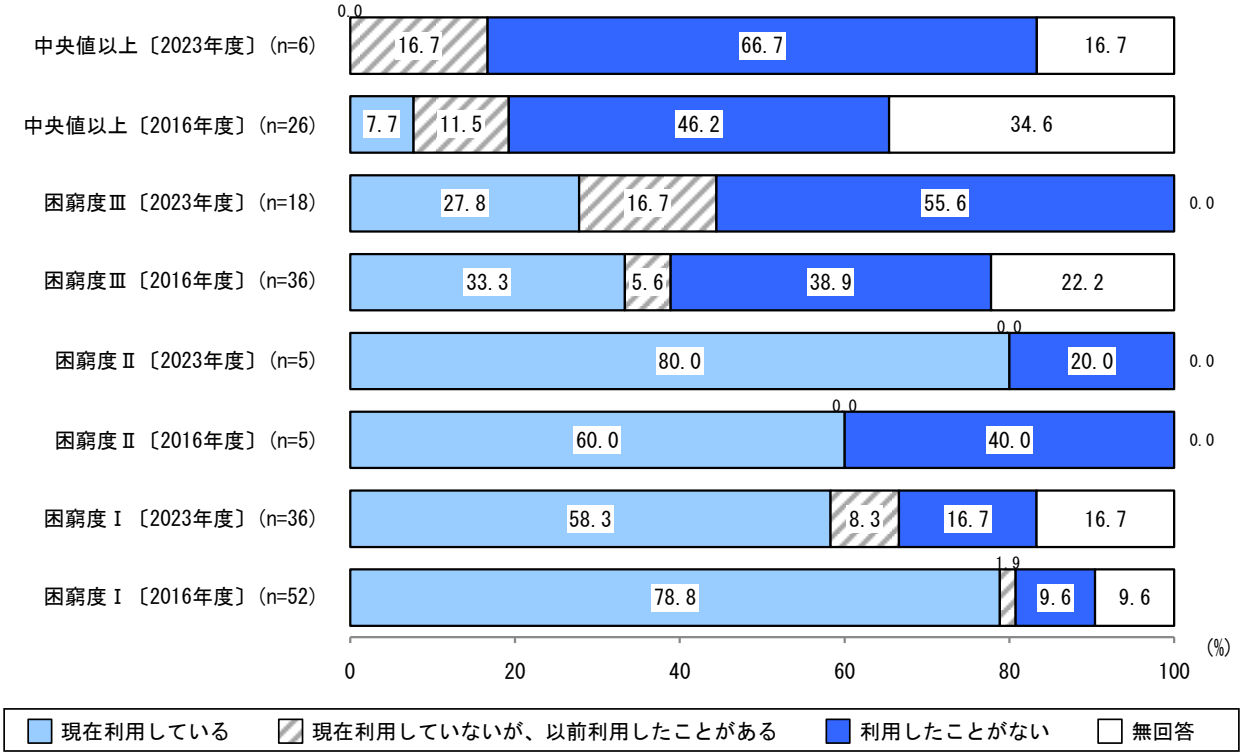


図 17. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に児童扶養手当の利用状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群でも「利用したことがない」と回答した割合が16.7%を占めている。

＜2016年度調査との比較／大阪狭山市＞



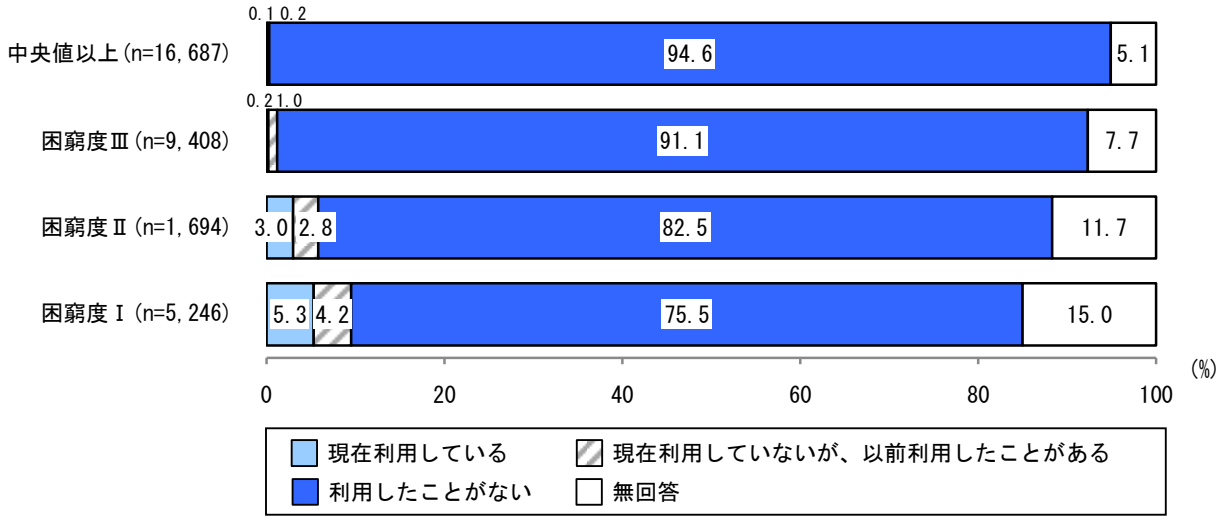
※　2016 年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

図 18. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「現在利用している」と回答した割合は、困窮度Ⅲでは2016年度調査より割合が低いが、それ以外の困窮度では2016年度調査よりも高くなっている。

困窮度別に見た、生活保護の利用状況（保護者票問 23-b）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

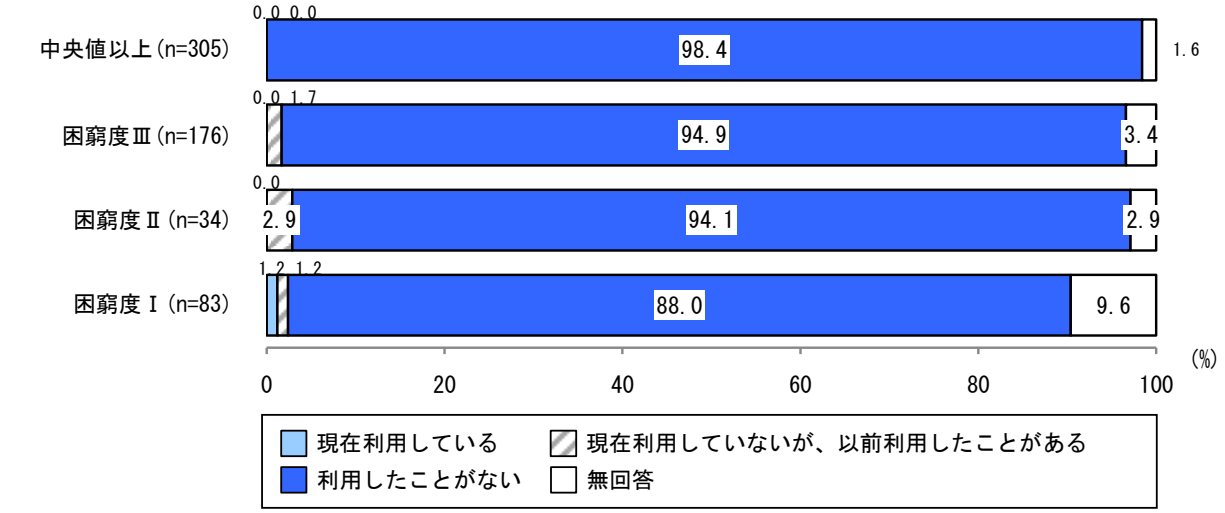
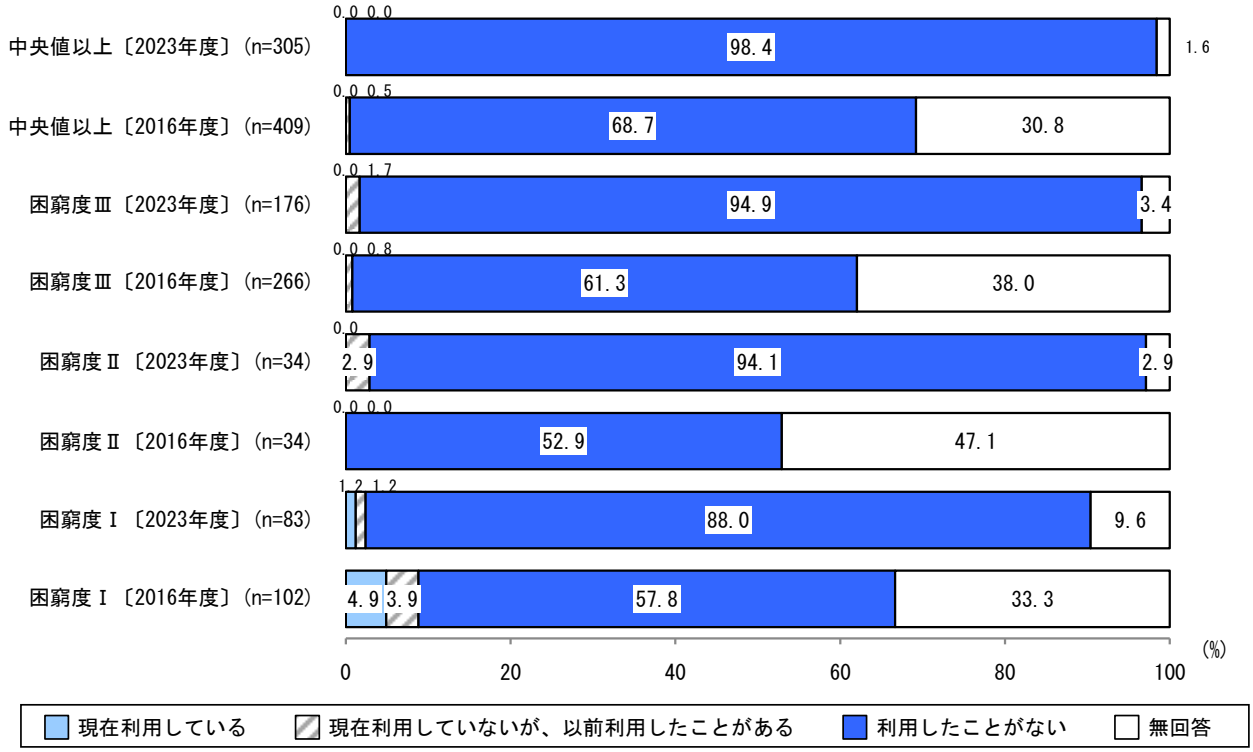


図 19. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況

困窮度別に生活保護の利用状況を見ると、困窮度Ⅰ群においては「現在利用している」と回答した割合は1.2%であった。困窮度が高まるにつれ、「現在利用している」の割合が高くなっている。

＜2016年度調査との比較／大阪狭山市＞



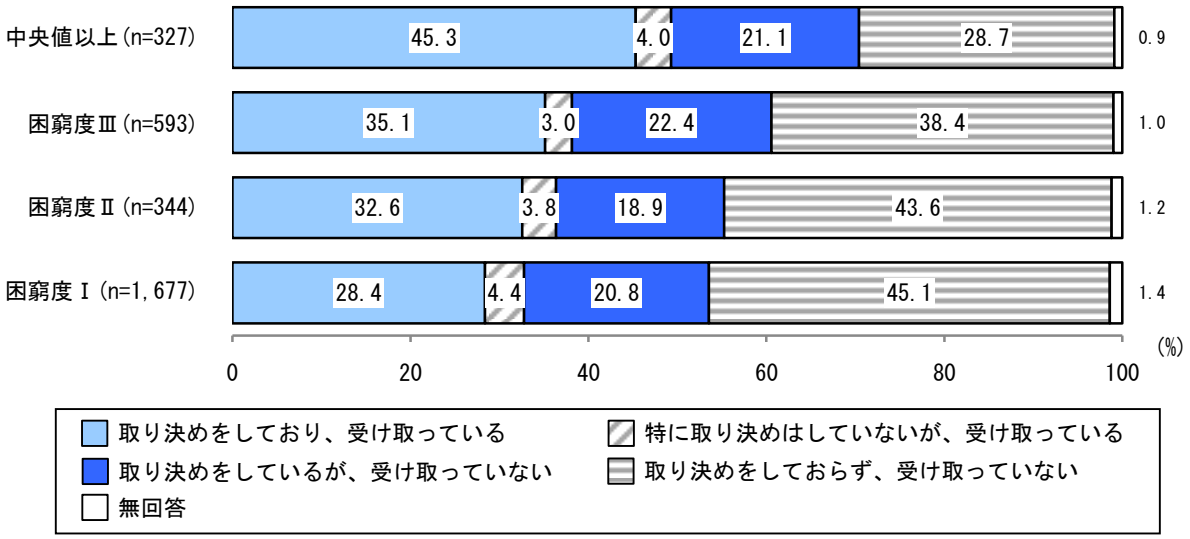
※　2016 年度調査では「受けている」「受けたことがある」「受けたことはない」

図 20. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「現在利用している」と回答した割合は、困窮度Ⅰ・Ⅱ・Ⅲとも2016年度調査より割合が低くなっている。

困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（保護者票問４）・ひとり親世帯のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

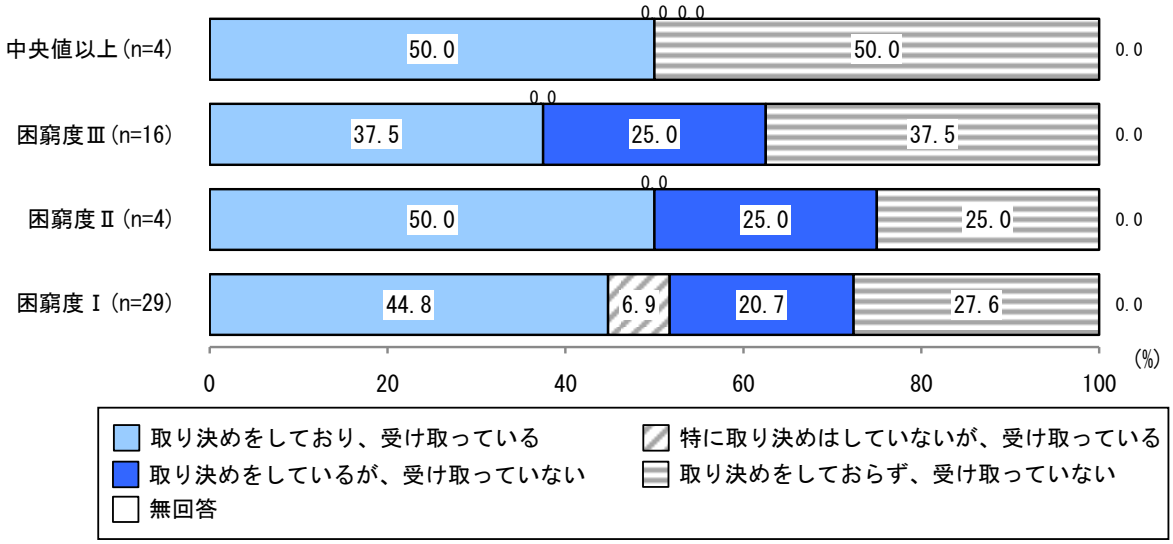
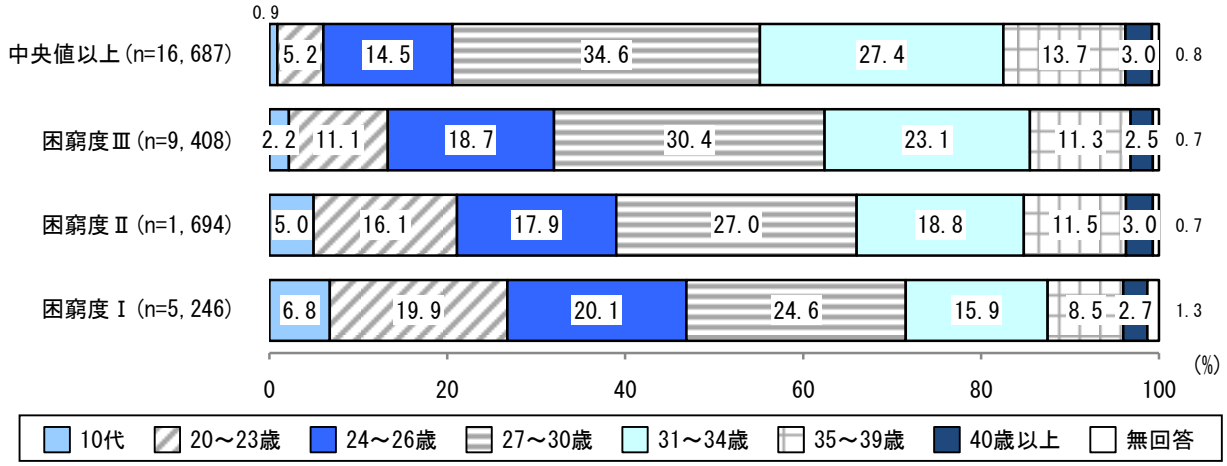


図 21. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ）

ひとり親世帯の困窮度別に離婚相手との養育費の取り決めや受け取りを見ると、困窮度Ⅰ群においては「取り決めをしており、受け取っている」と回答した割合は44.8%であり、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が27.6%と高く「取り決めをしているが、受け取っていない」の20.7%をあわせた養育費を受け取っていない人が48.3%となっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

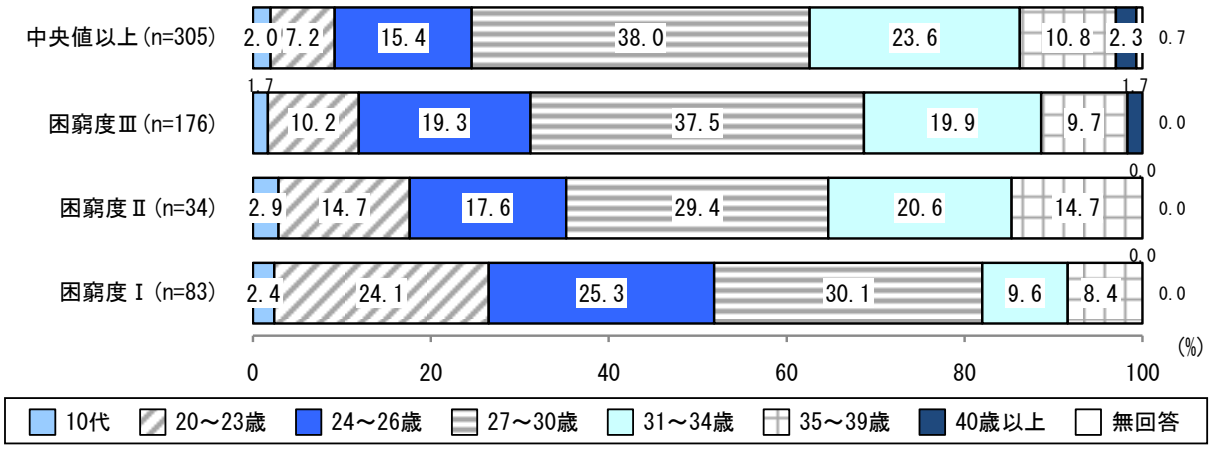
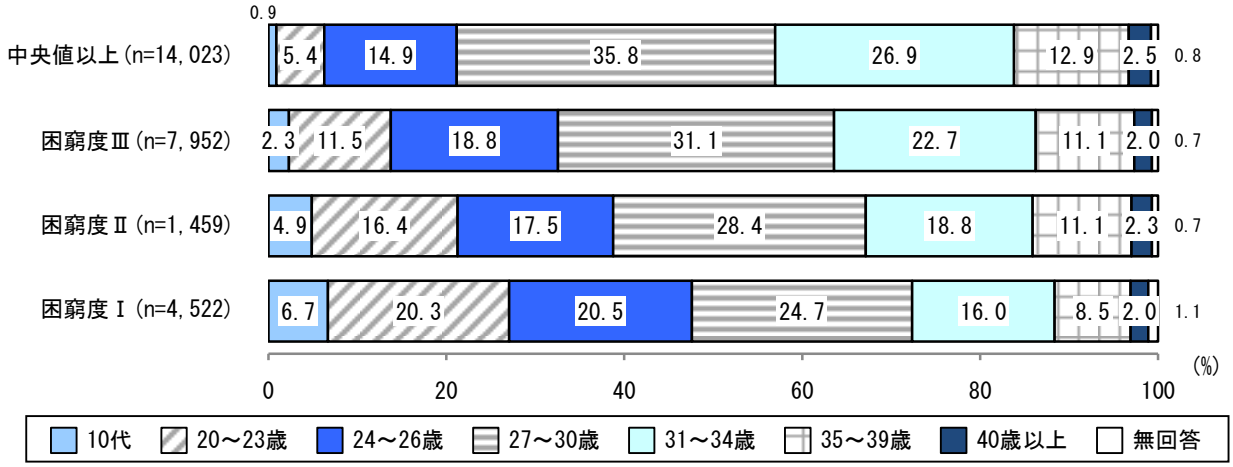


図 22. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

全ての回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、10代で初めて親となったと答えた割合が高くなっている。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票問 17）・母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

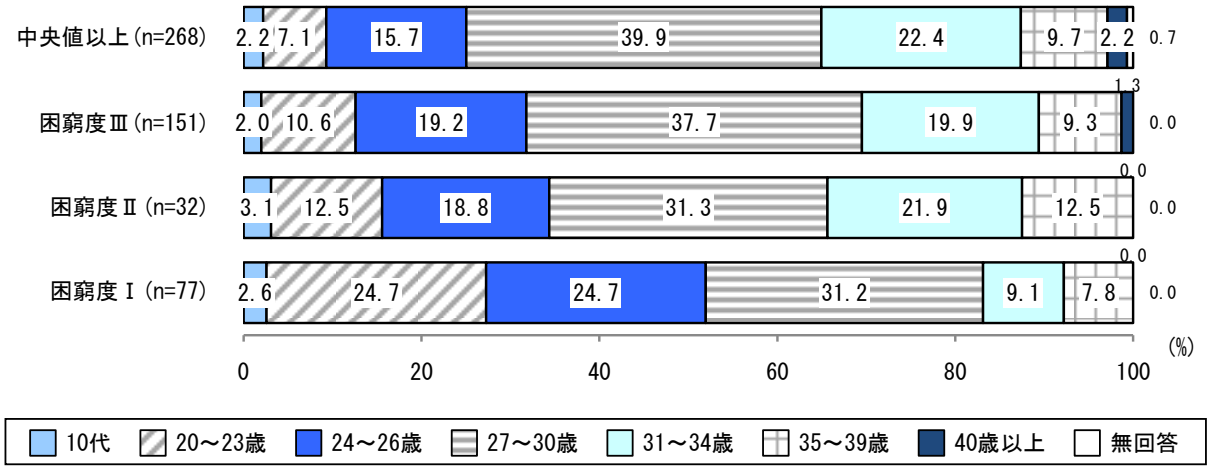
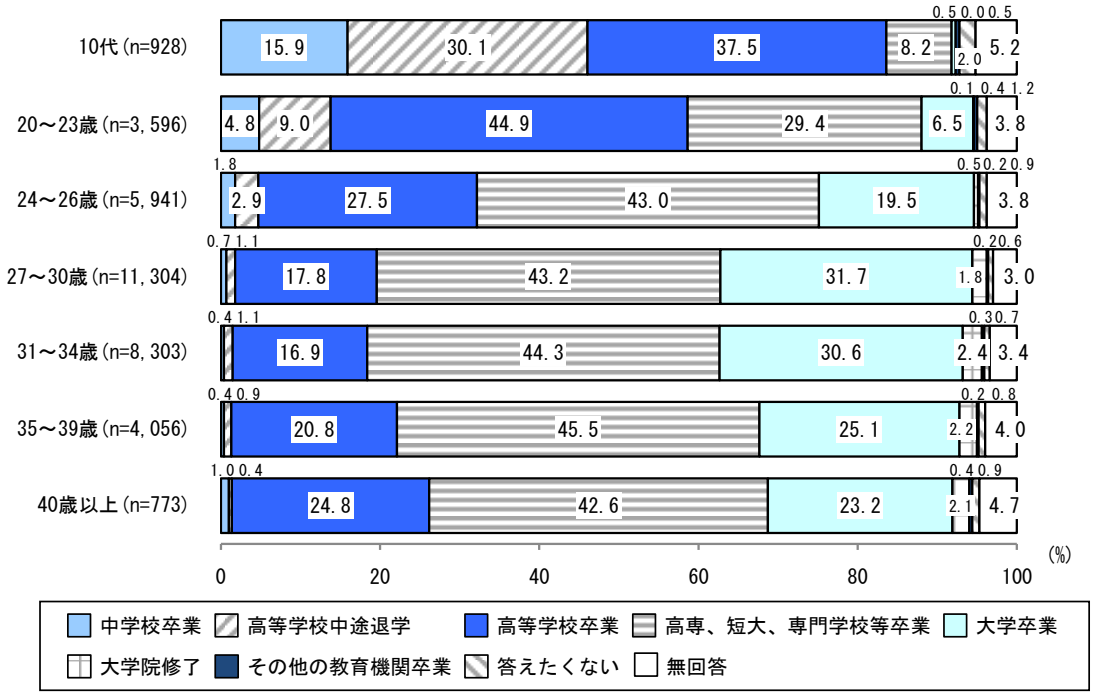


図 23. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度が高まるにつれ、10代で初めて親となったと答えた割合が高くなっている。若くして母親となった人ほど、経済的な問題を抱えている可能性が考えられる。

初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問８）
※母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

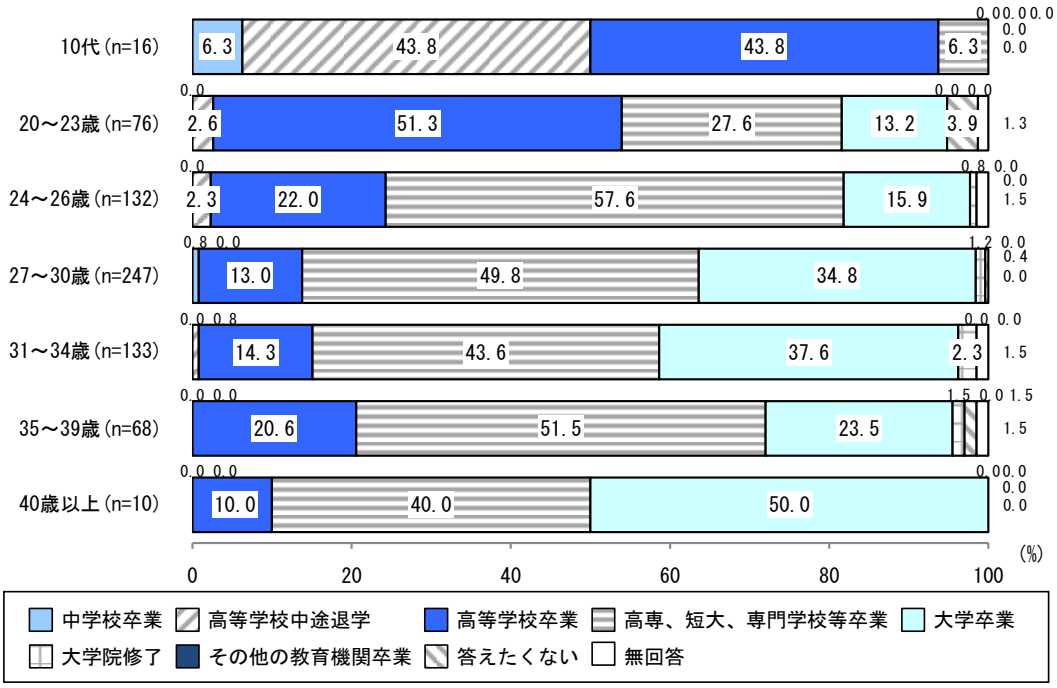
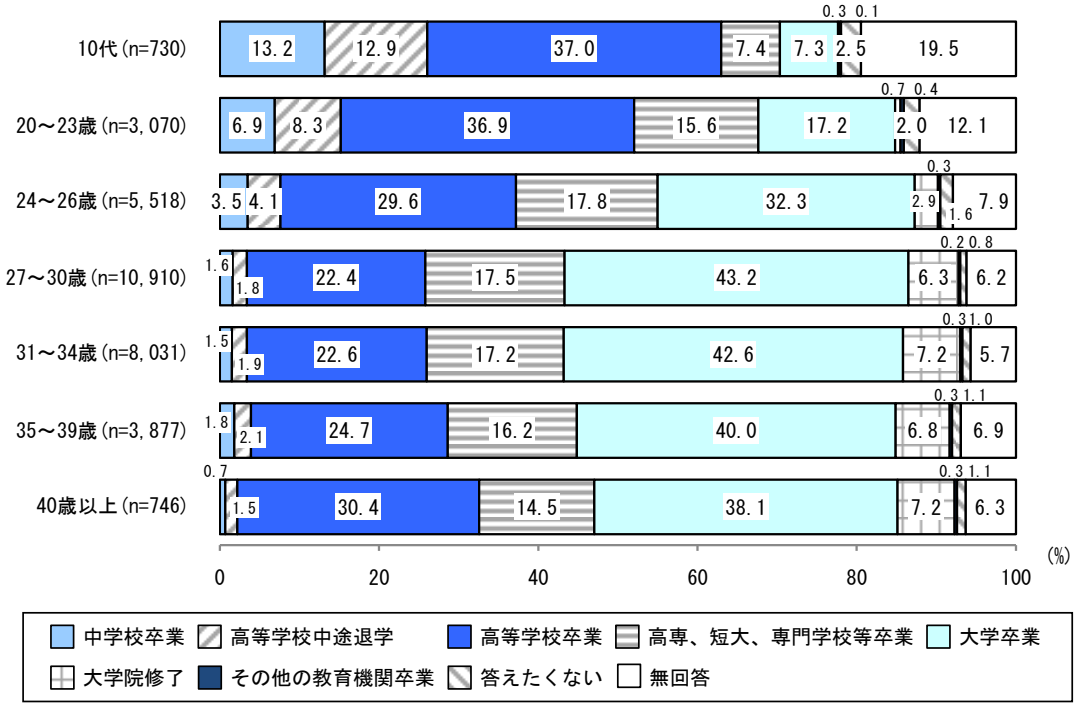


図 24. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に母親自身の最終学歴を見ると、10代において「中学校卒業」（6.3%）または「高等学校中途退学」（43.8%）と回答した割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問 17×保護者票問８）
※母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

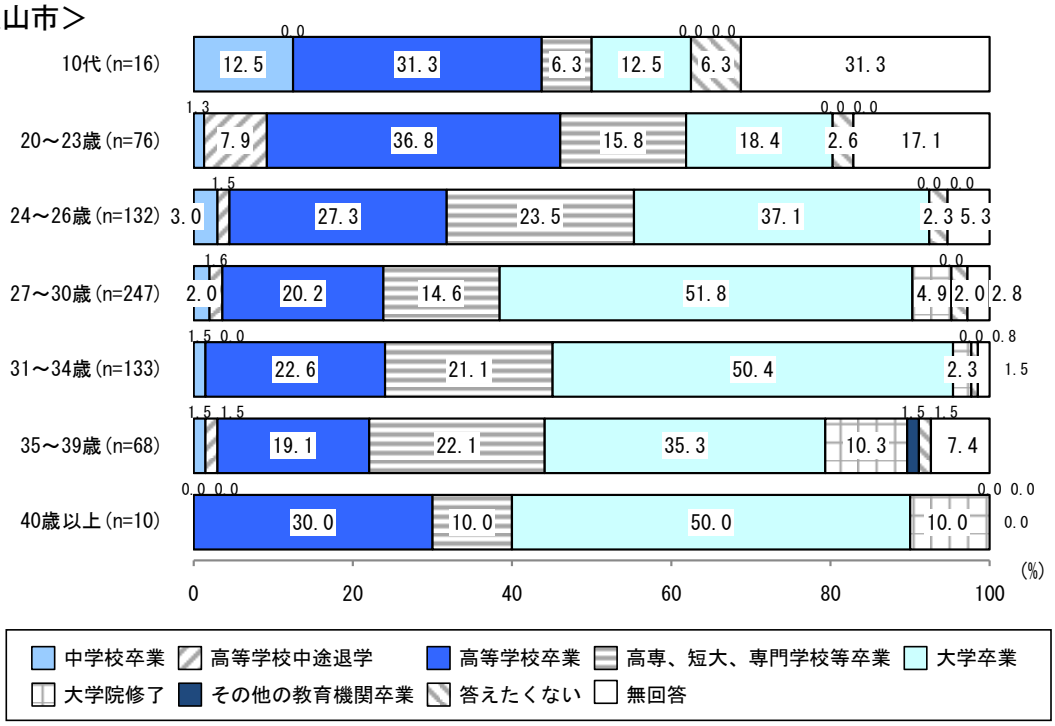
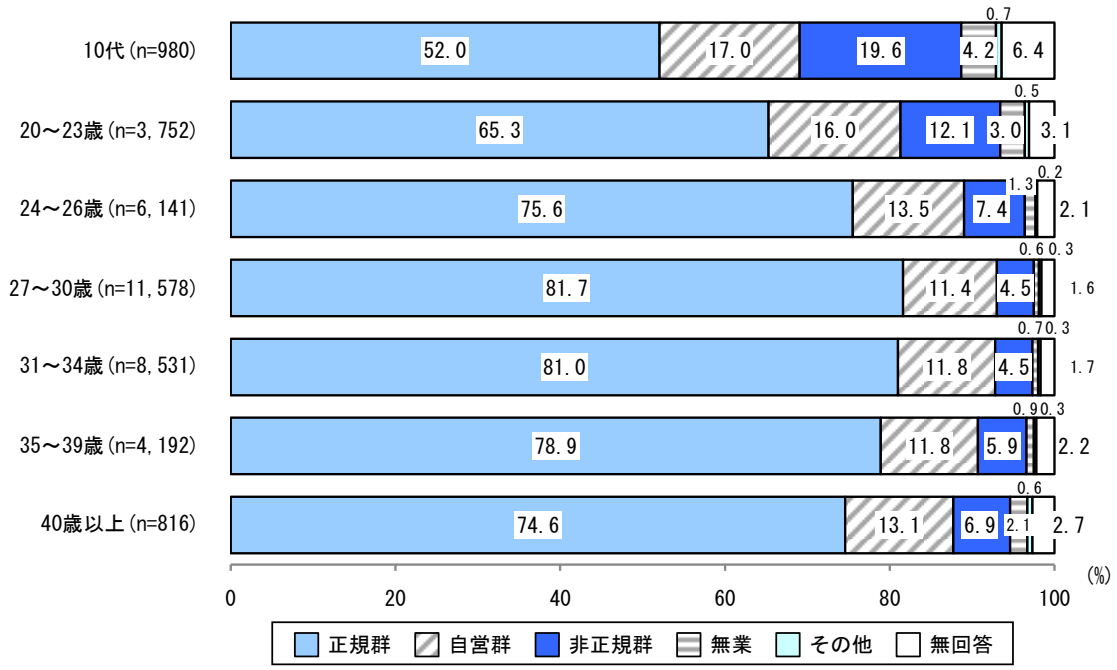


図 25. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に父親の最終学歴を見ると、10代において「高等学校中途退学」（0.0%）と回答した割合が他の群と比べて低かった。

初めて親となった年齢別に見た、就労状況（保護者票問 17×保護者票問９）
※母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

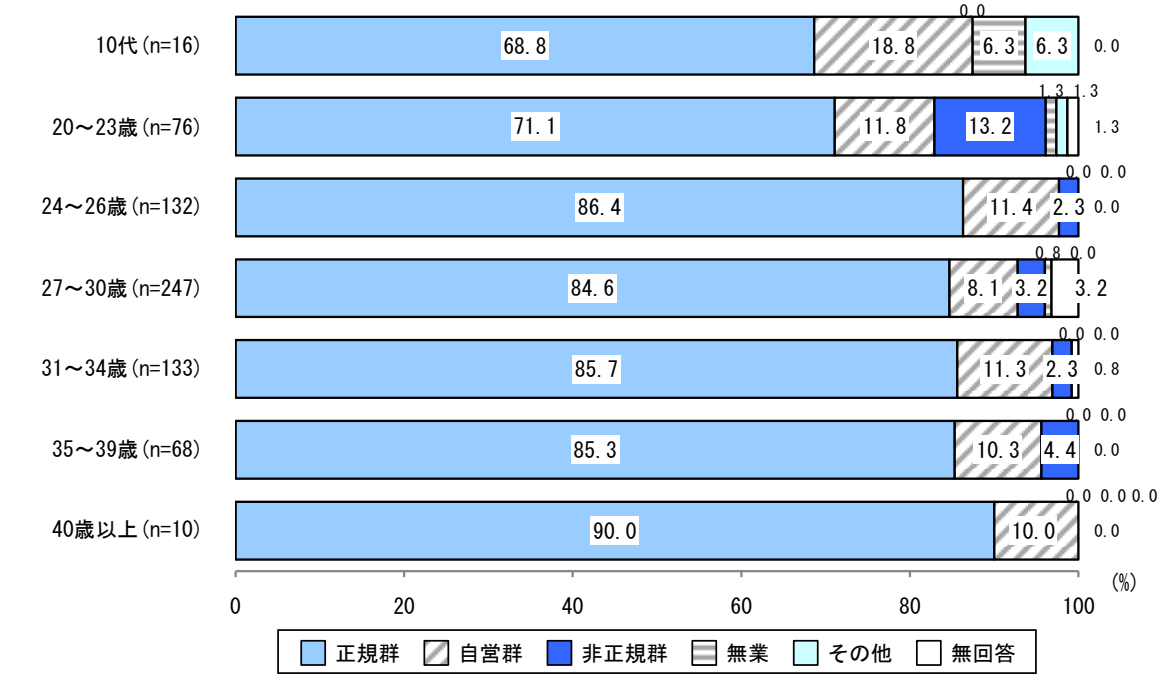
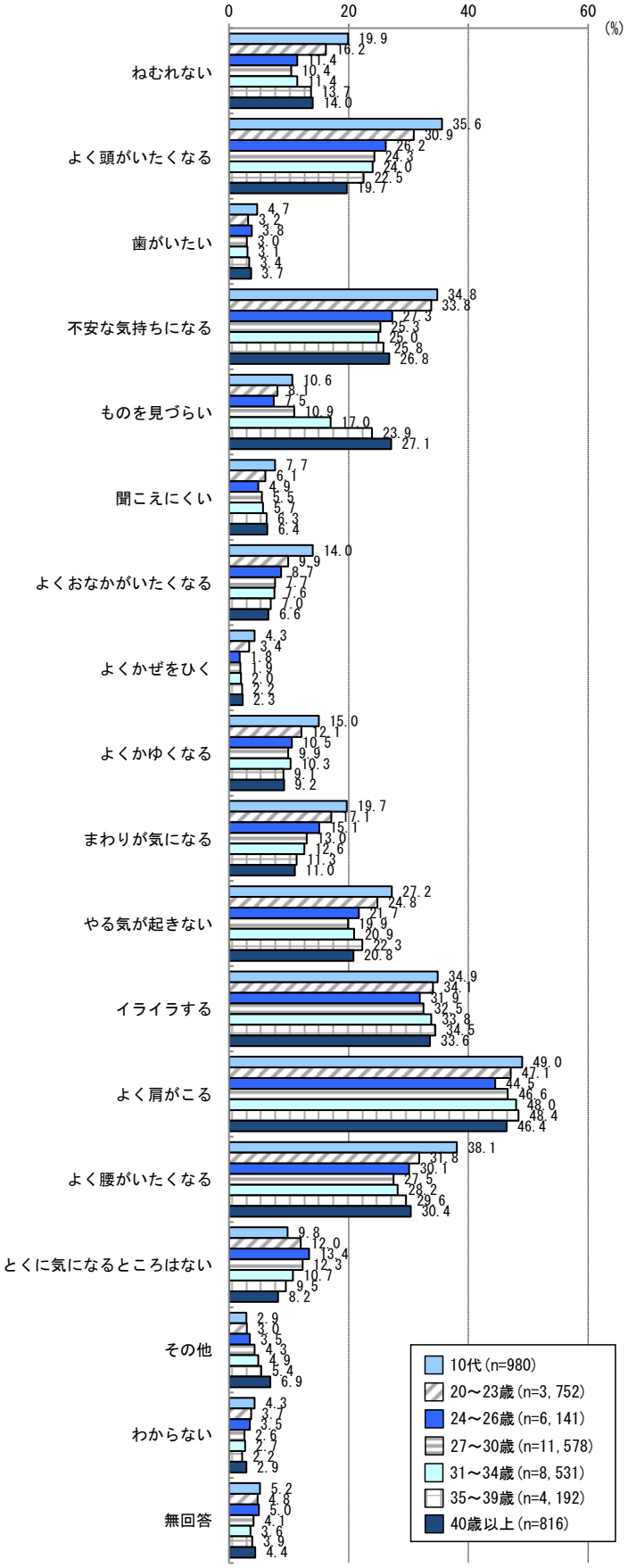


図 26. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ）

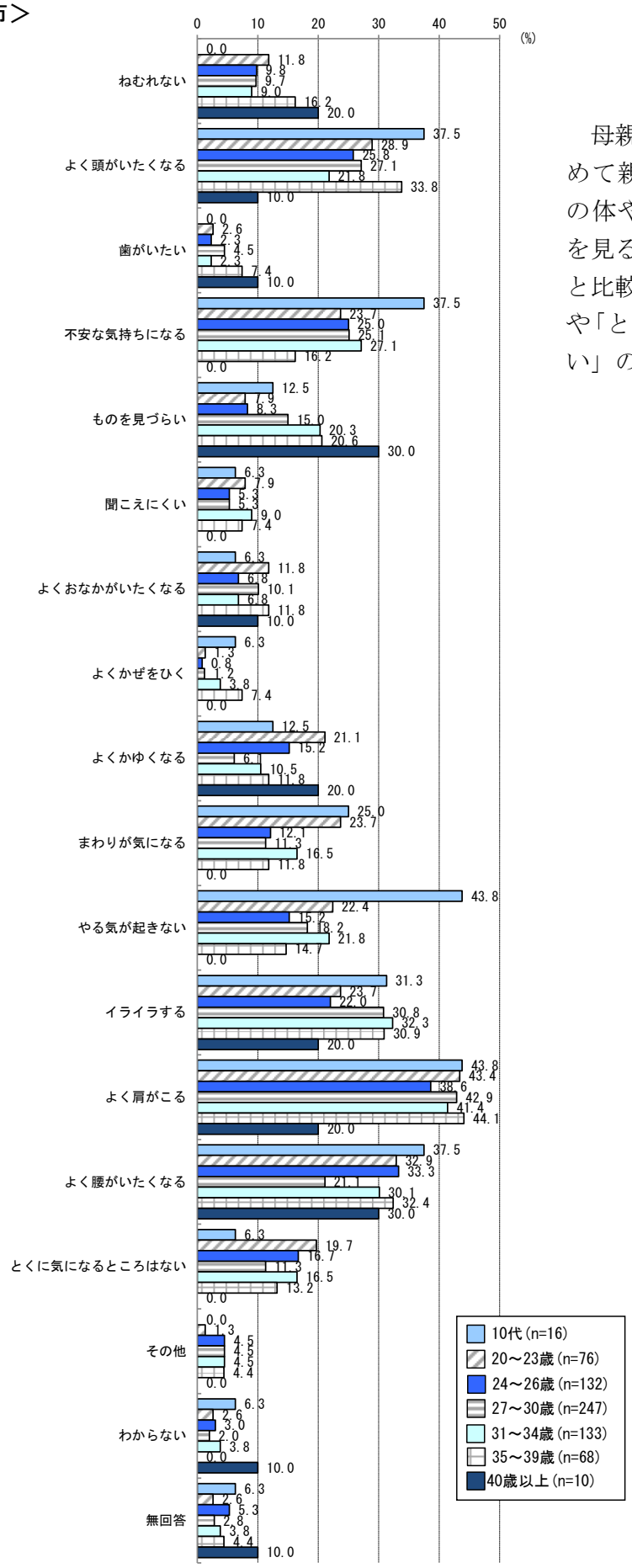
母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に就労状況を見ると、10代は他の群と比較して「正規群」の割合が低く、「自営群」の割合が高かった。

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること
（保護者票問 17×保護者票問 22）　※母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

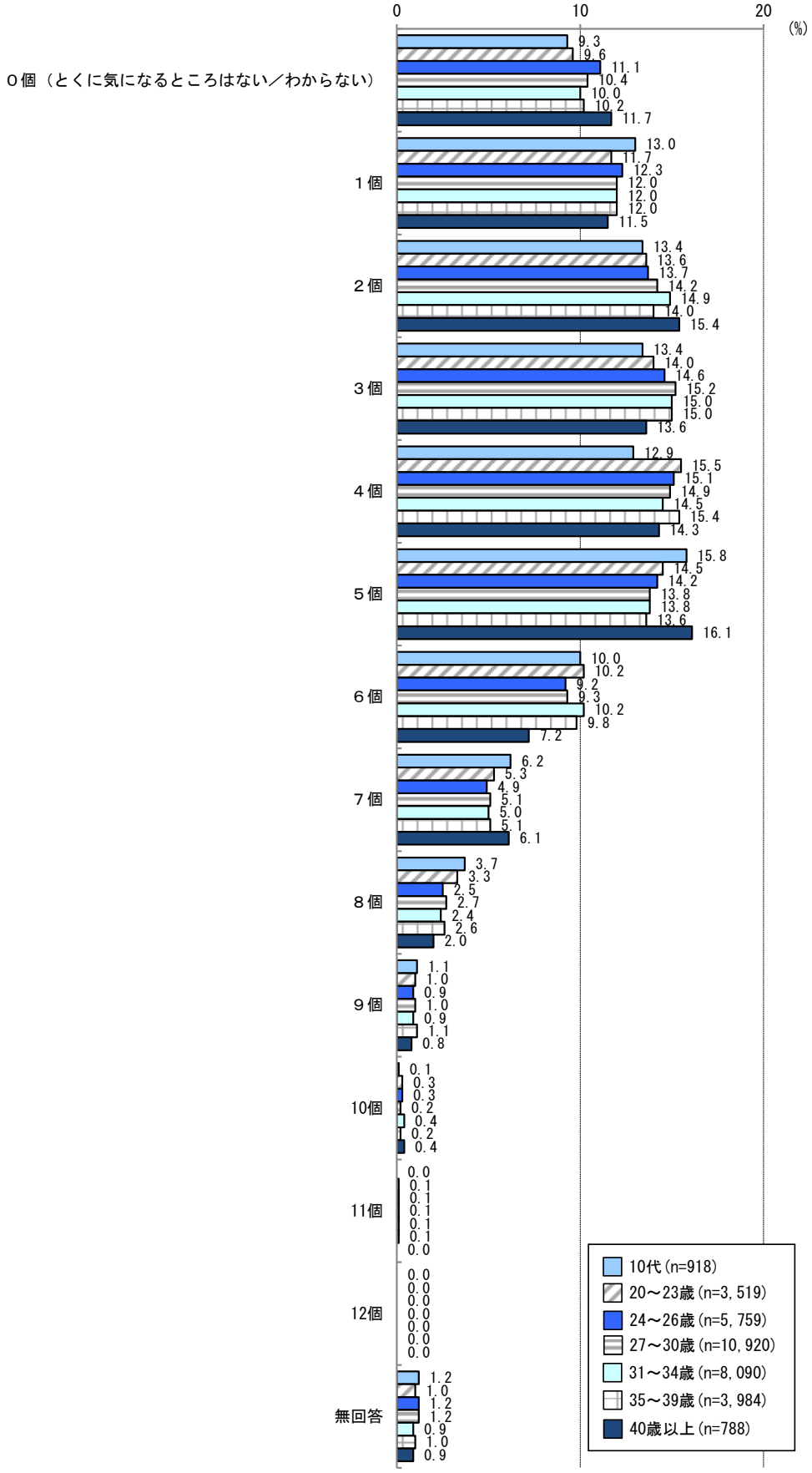


母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることを見ると、20～23歳は他の年代と比較して「よくかゆくなる」や「とくに気になるところはない」の割合が高かった。

図 27. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ）

初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 17×子ども票問 19・20）　※母親の回答者のみ

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

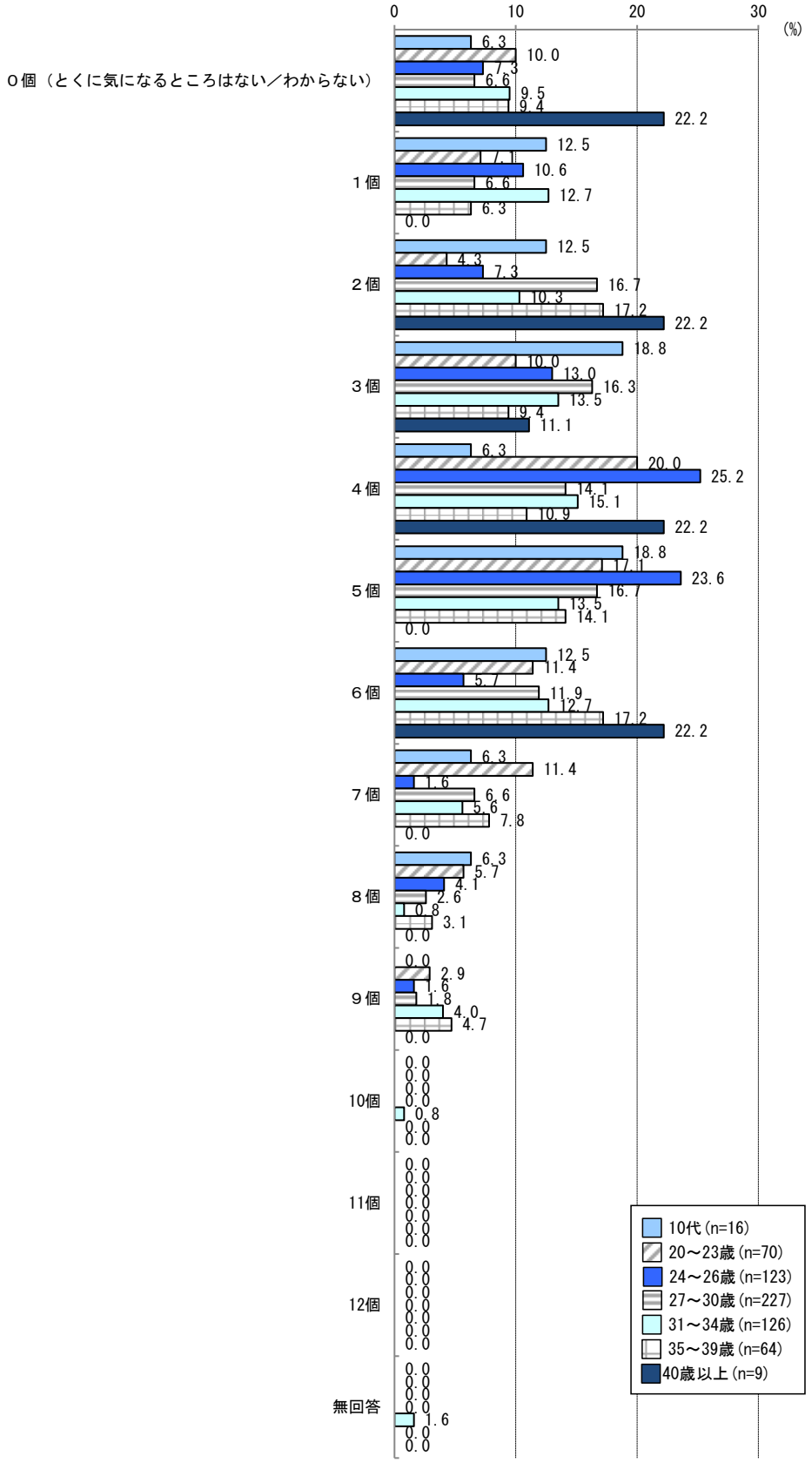
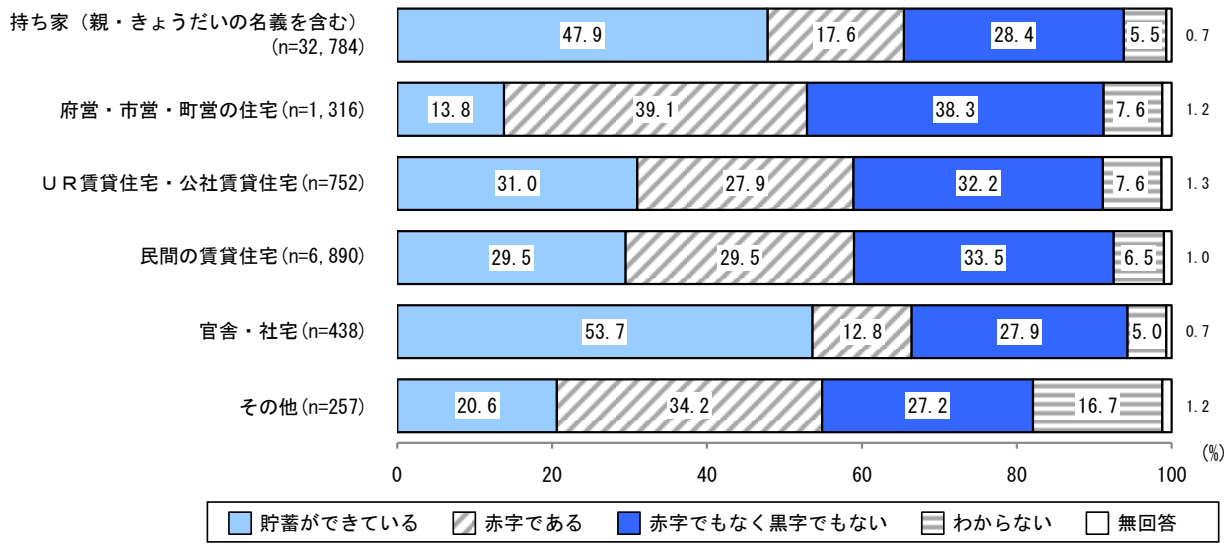


図 28. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ）

母親回答者を対象として、初めて親となった年齢別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、10代は、他の年齢と比較して「3個」（18.8%）の割合が最も高かった。

住居形態別に見た、家計の状況（保護者票問５×保護者票問６(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

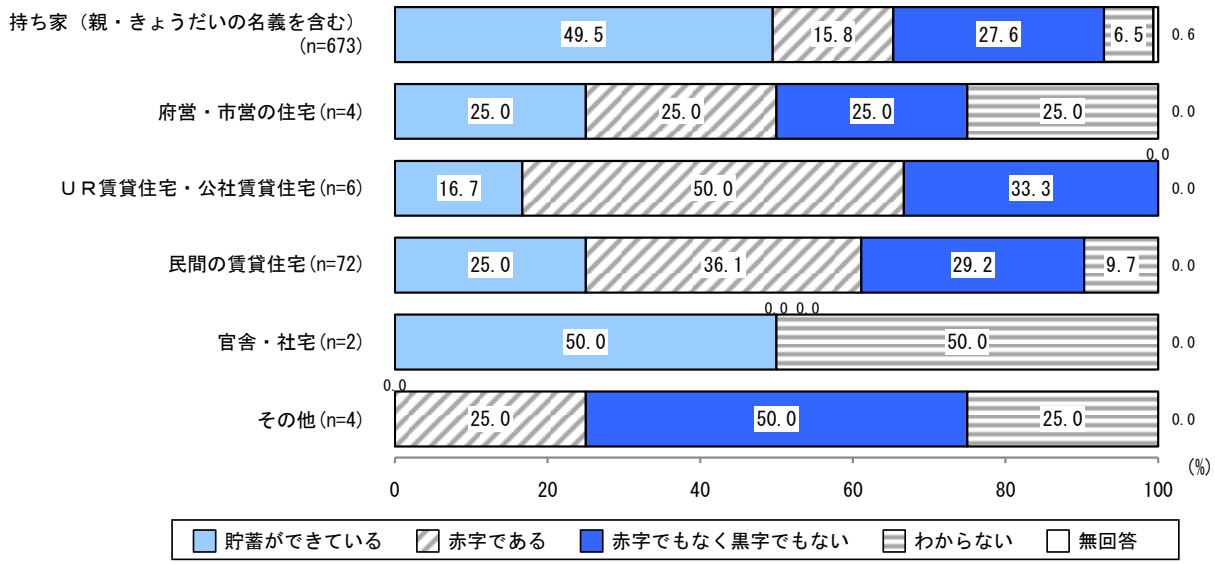
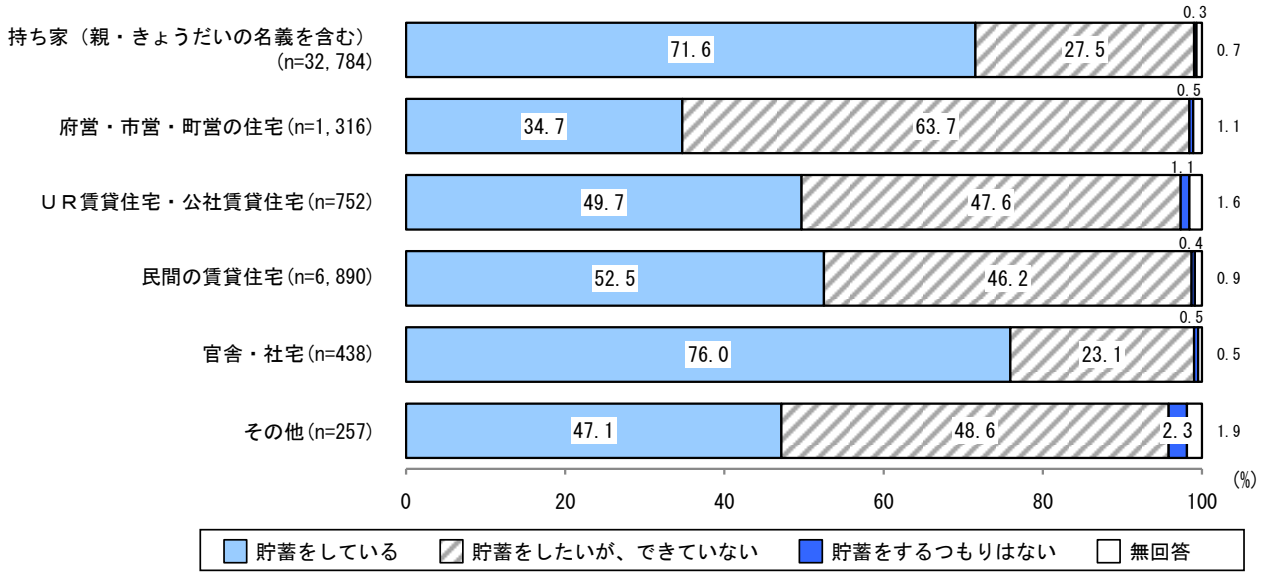


図 29. 住居形態別に見た、家計の状況

住居別に家計状況を見ると、ＵＲ賃貸住宅･公社賃貸住宅(50.0%)、民間の賃貸住宅(36.1%)に住む人で、「赤字である」と回答した割合が高かった。また、持ち家に住む人で「赤字である」と回答した割合は15.8%であった。

住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況（保護者票問５×保護者票問６(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

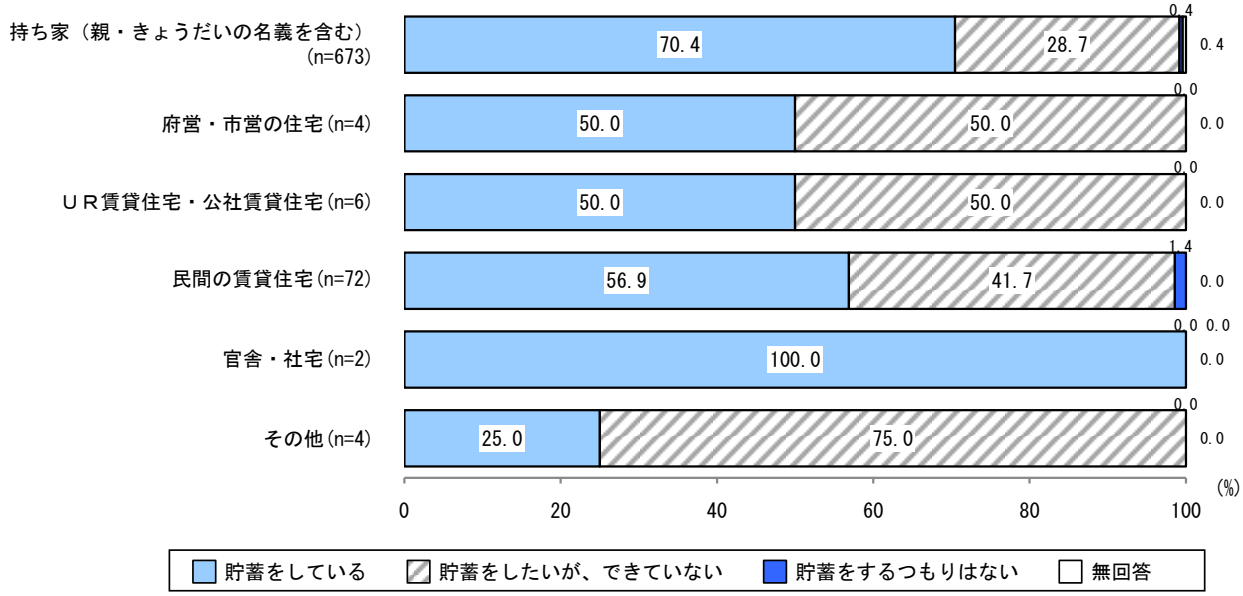
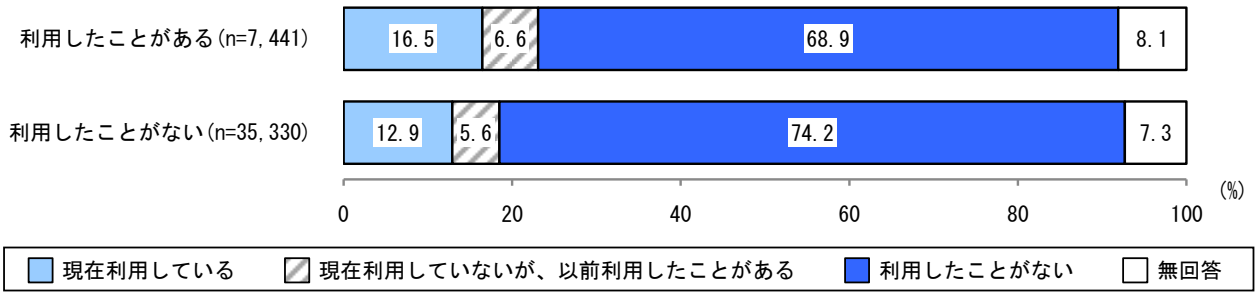


図 30. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況

住居形態別に子どもの将来のための貯蓄状況を見ると、府営・市営の住宅（50.0%）ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅（50.0%）、民間の賃貸住宅（41.7%）に住む人で、「貯蓄をしたいが、できていない」と回答した割合が高かった。

子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況
（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-a）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

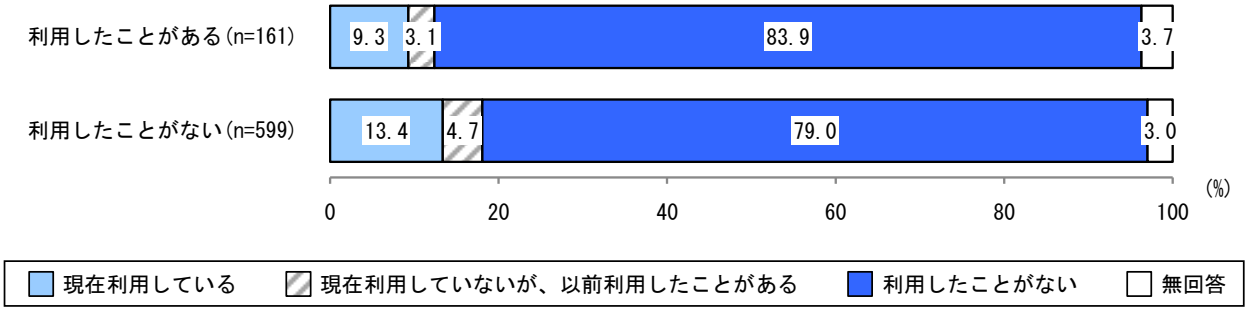
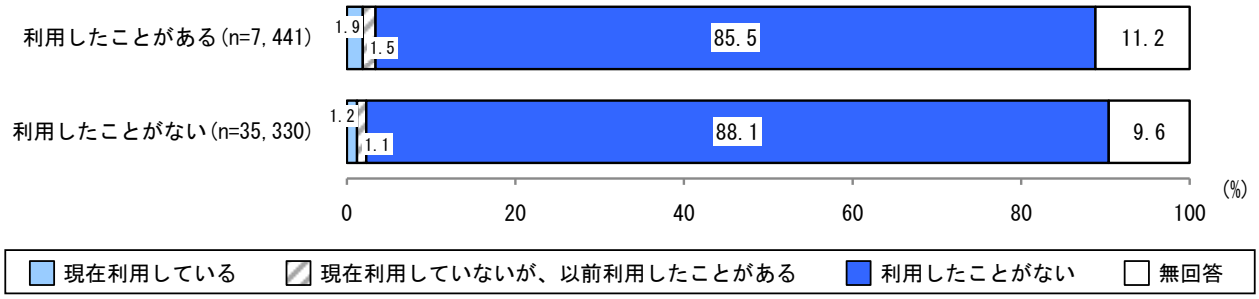


図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に就学援助の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが就学援助を「現在利用している」と回答した割合がやや高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況
（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-b）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

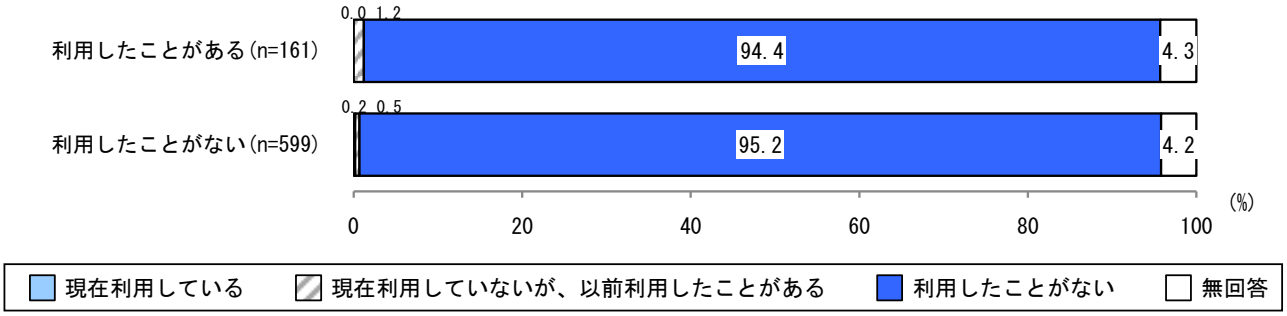
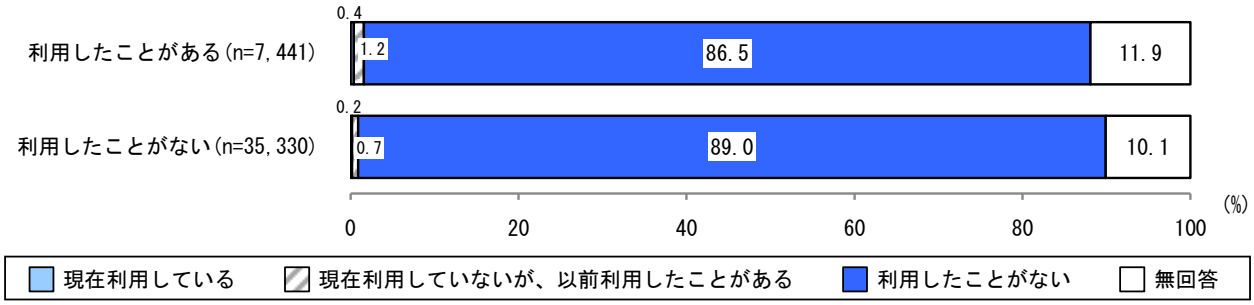


図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活保護の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが生活保護を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-c）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

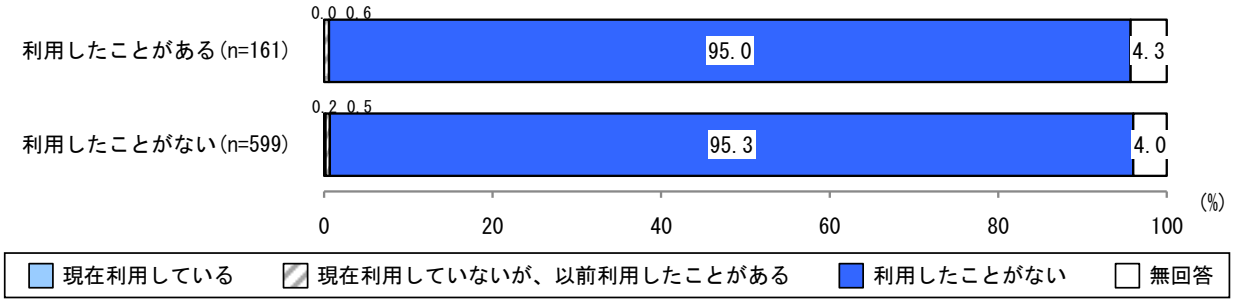
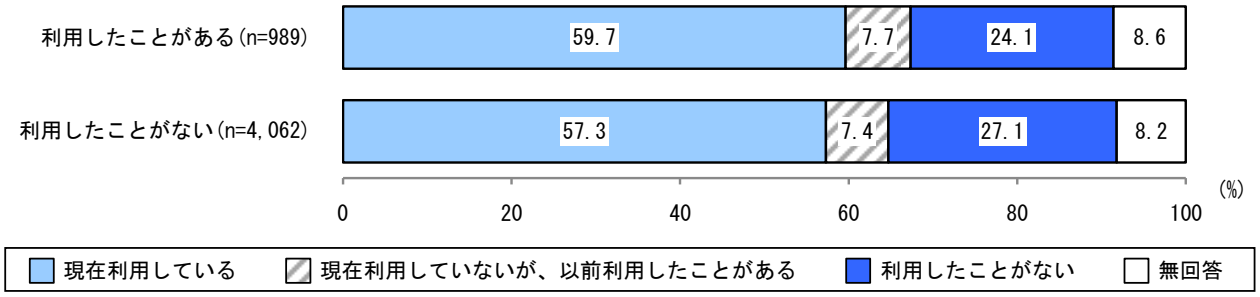


図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが生活困窮者の自立支援相談窓口を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-d）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

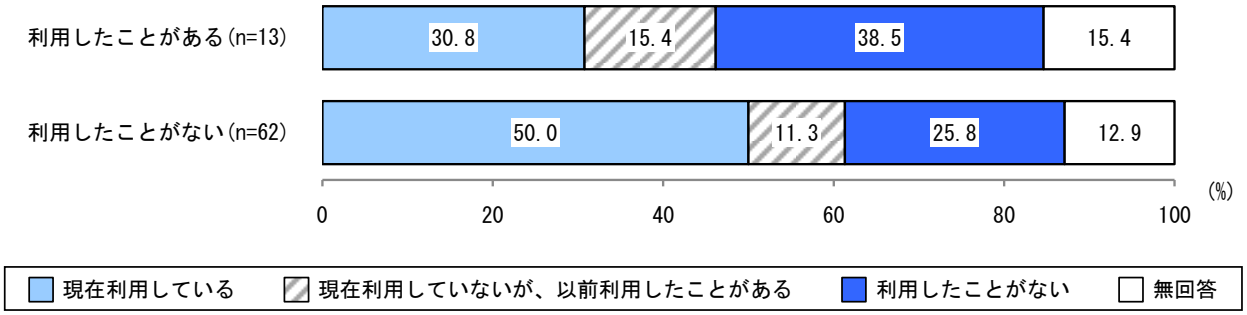
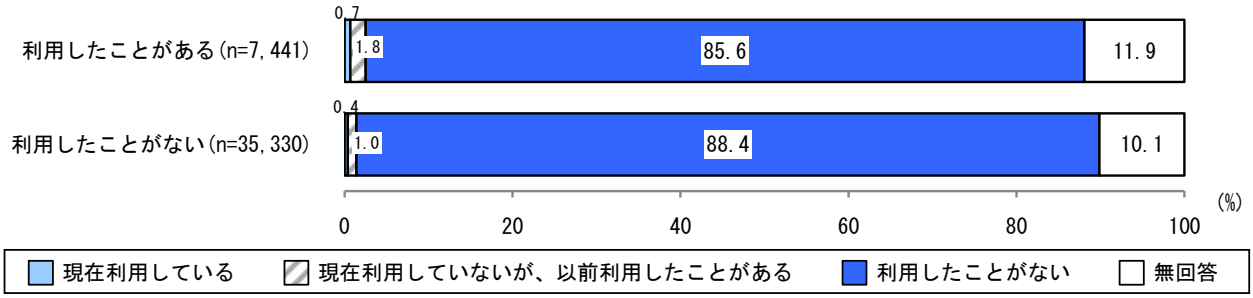


図 34. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

子どもの居場所の利用経験別に児童扶養手当の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが児童扶養手当を「現在利用している」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-e）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

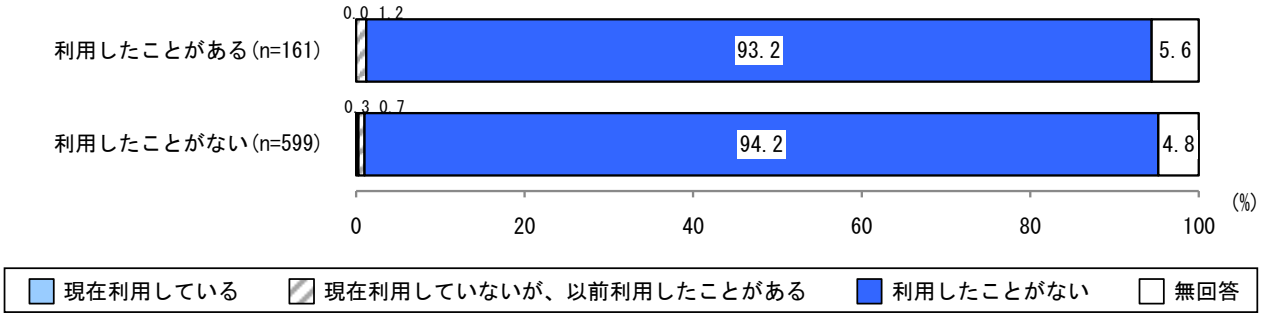
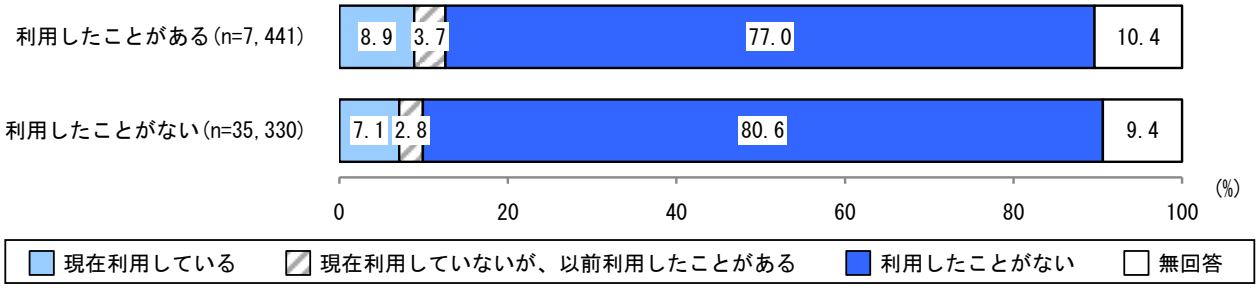


図 35. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

子どもの居場所の利用経験別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがある」人より「利用したことがない」人のほうが母子家庭等就業・自立支援センターを「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-f）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

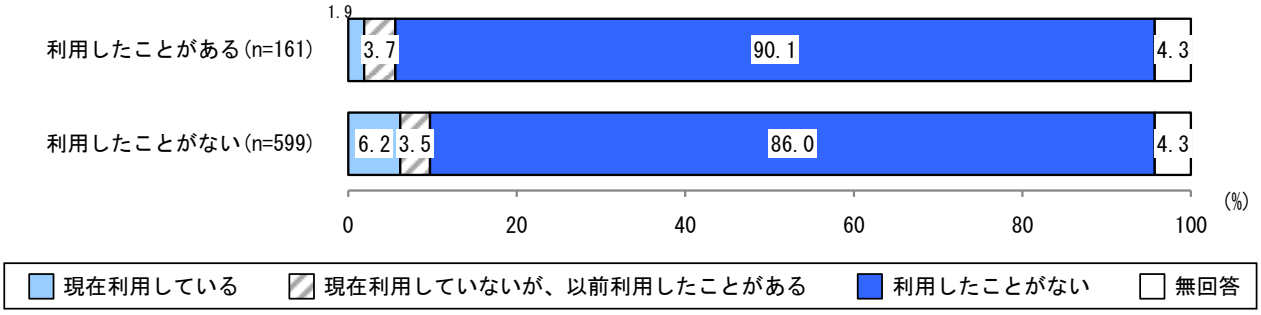
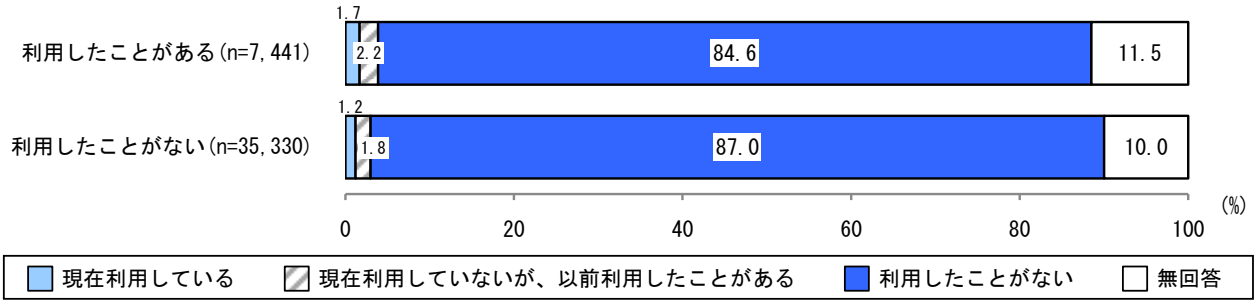


図 36. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人より「利用したことがある」人のほうが低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 16(1)×保護者票問 23-g）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

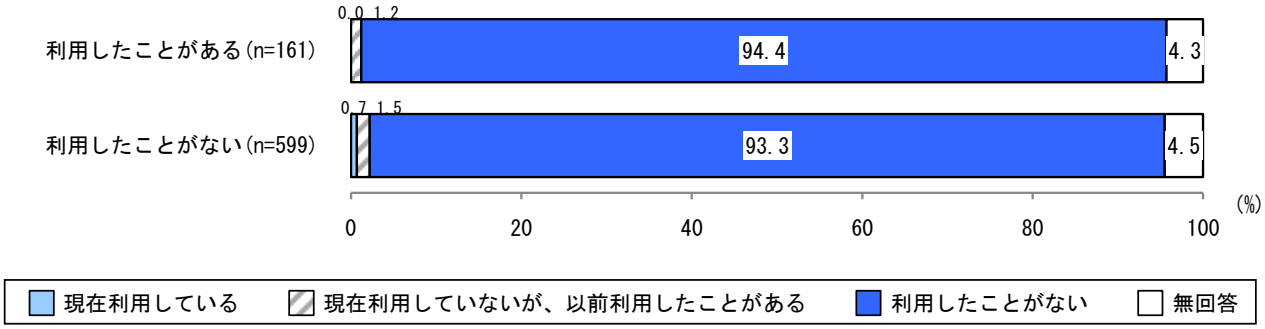
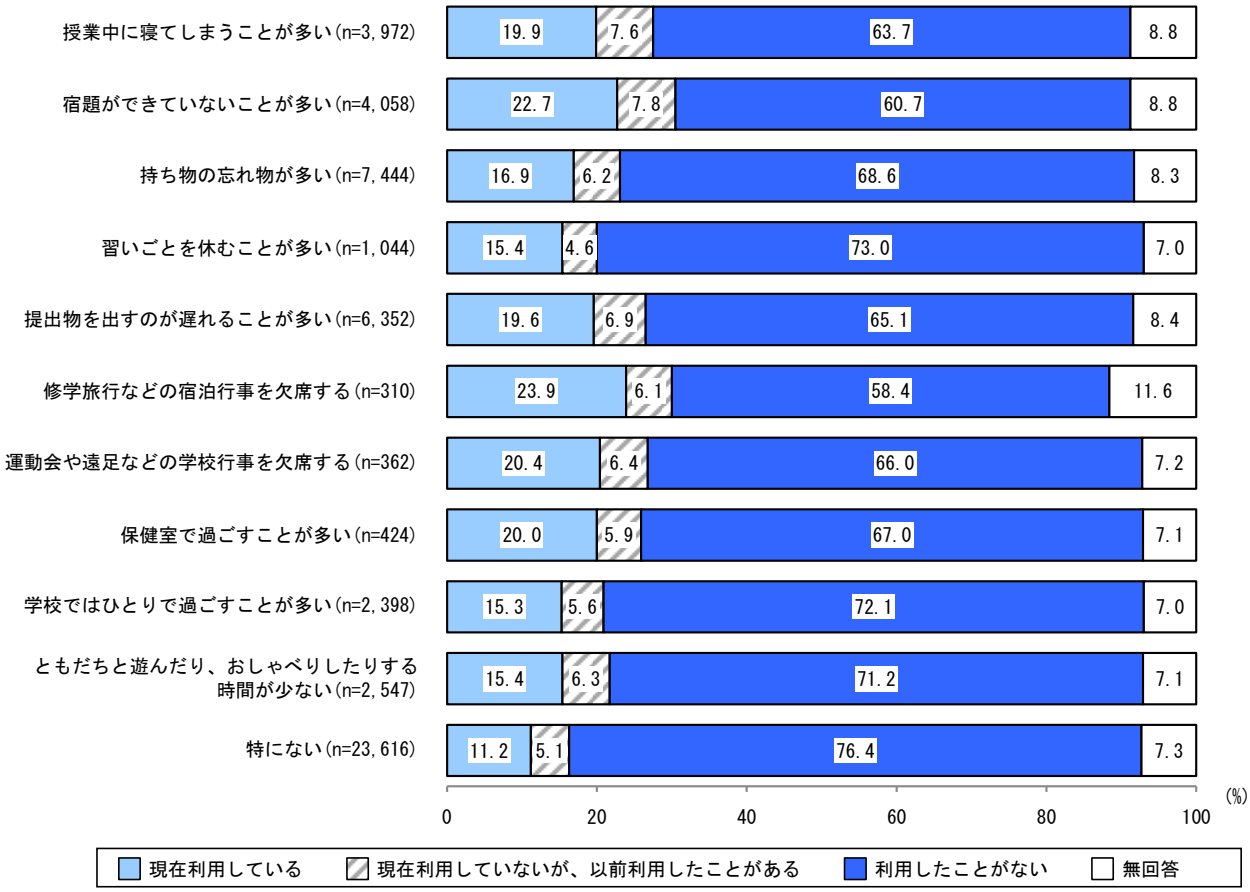


図 37. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

子どもの居場所の利用経験別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、子どもの居場所を「利用したことがない」人より「利用したことがある」人のほうが新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）を「利用したことがない」と回答した割合が高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-a）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

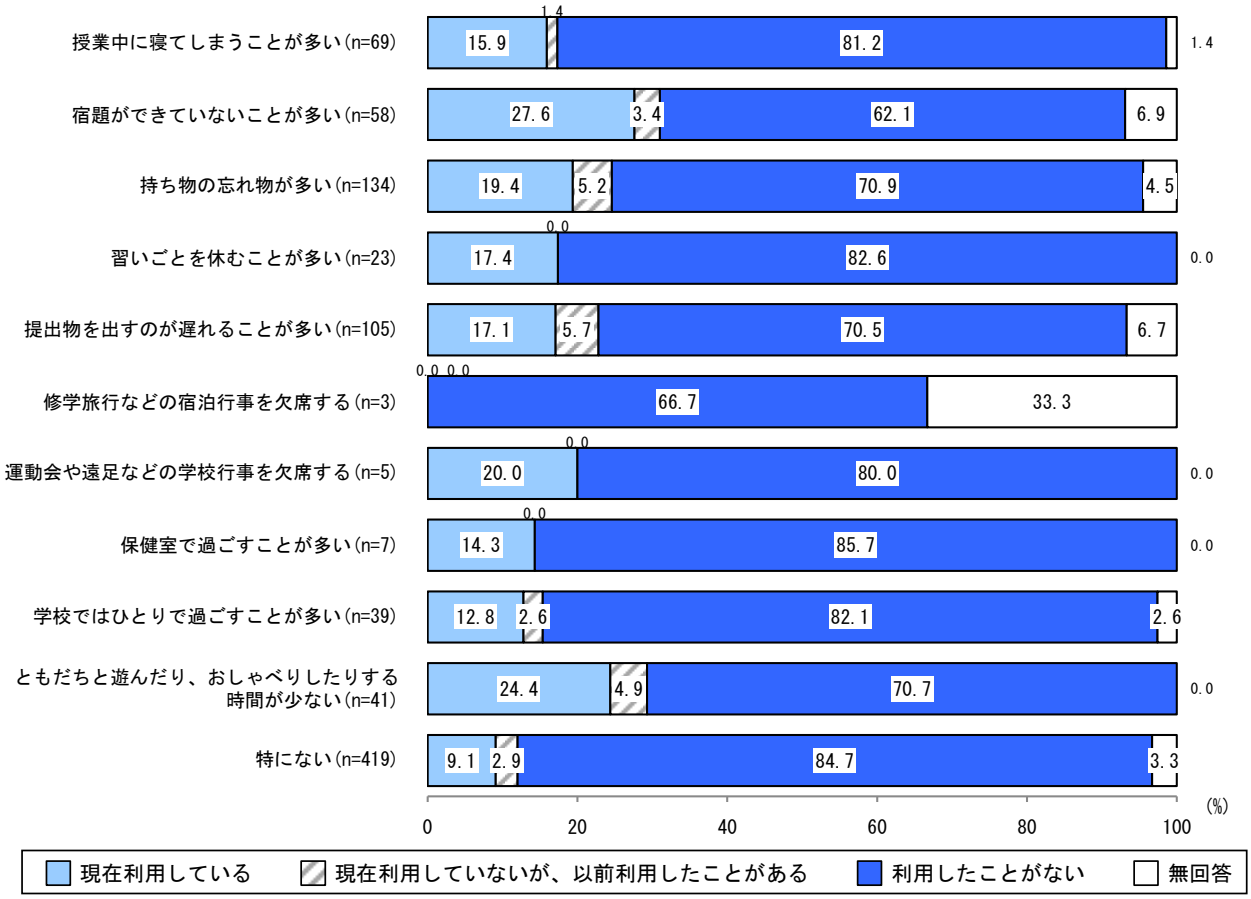
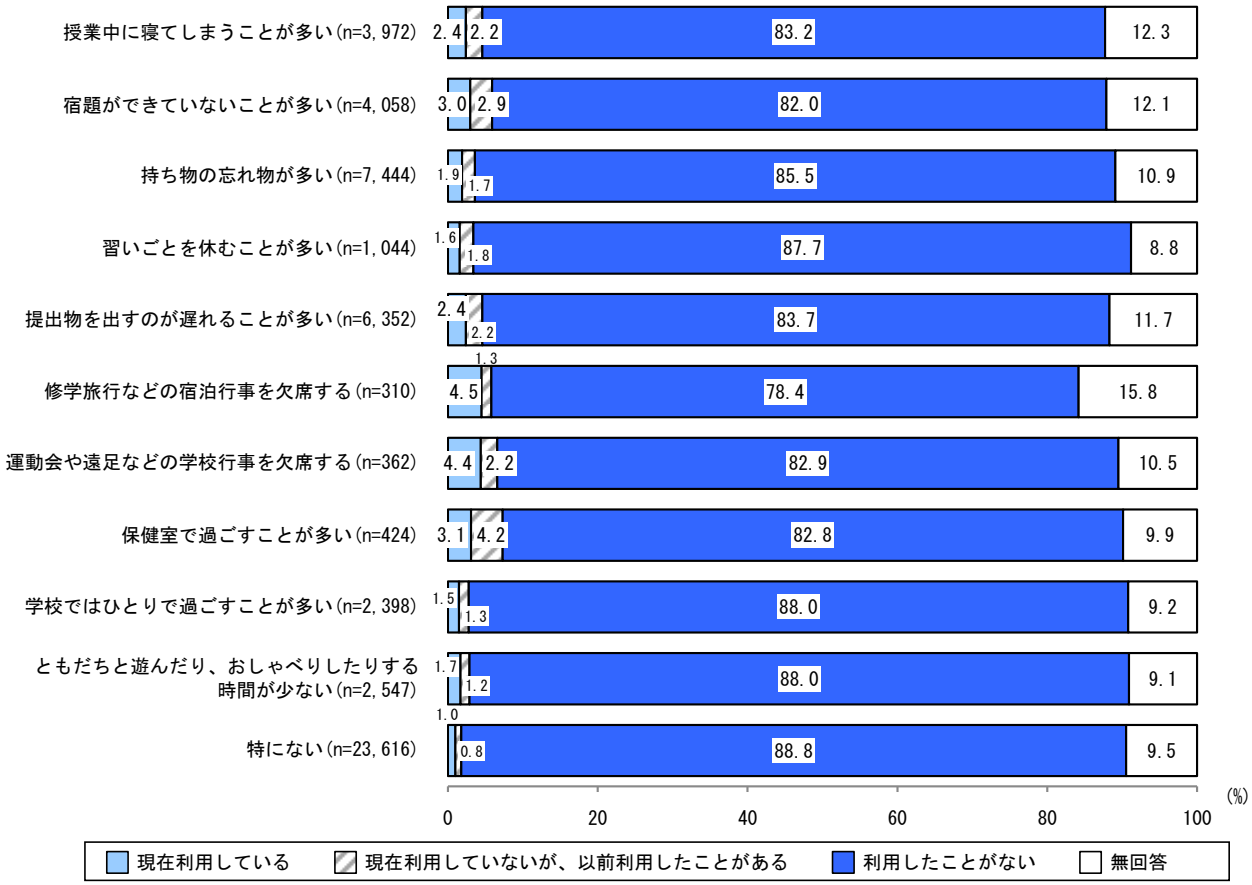


図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「宿題ができていないことが多い」と回答した割合が27.6%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-b）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

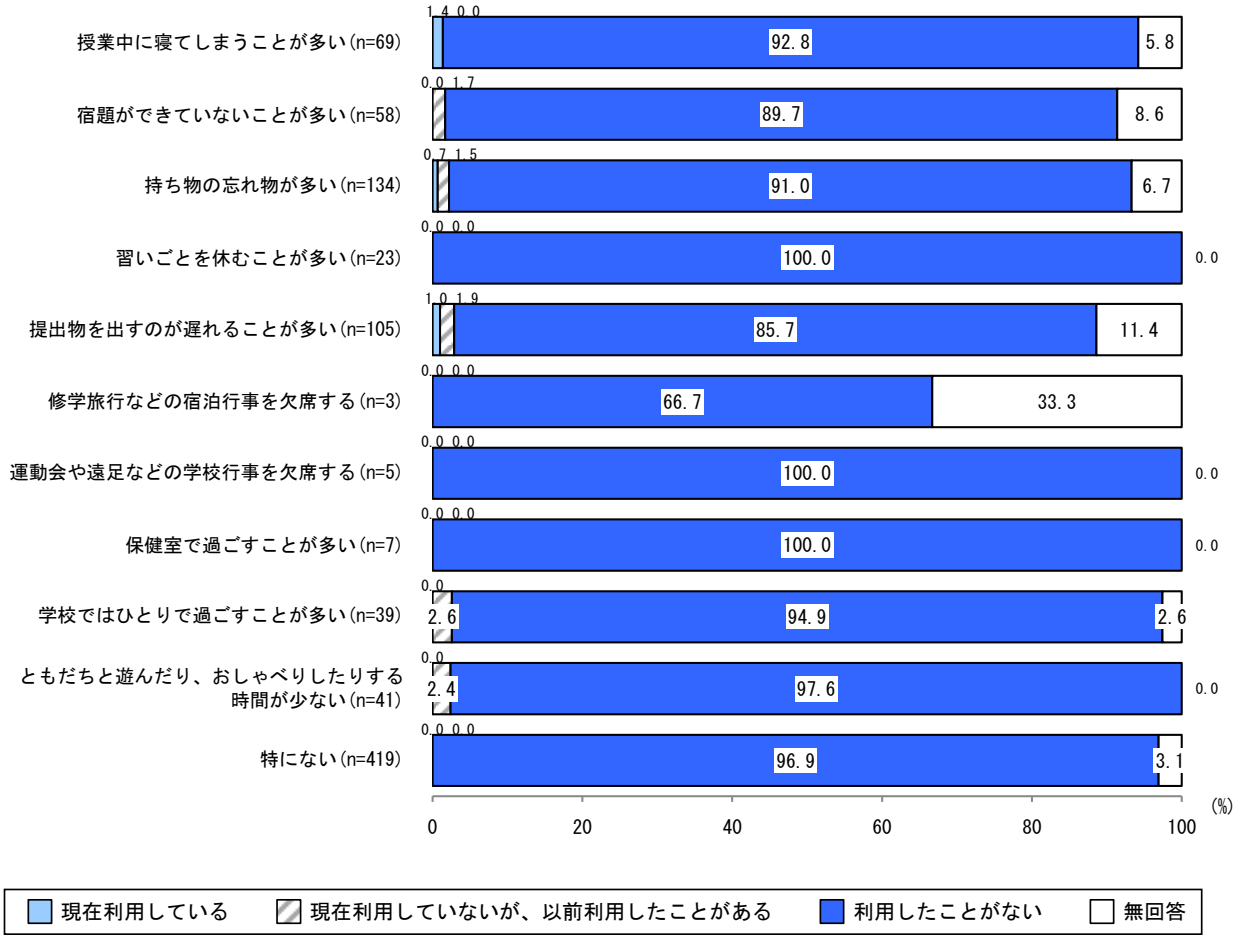
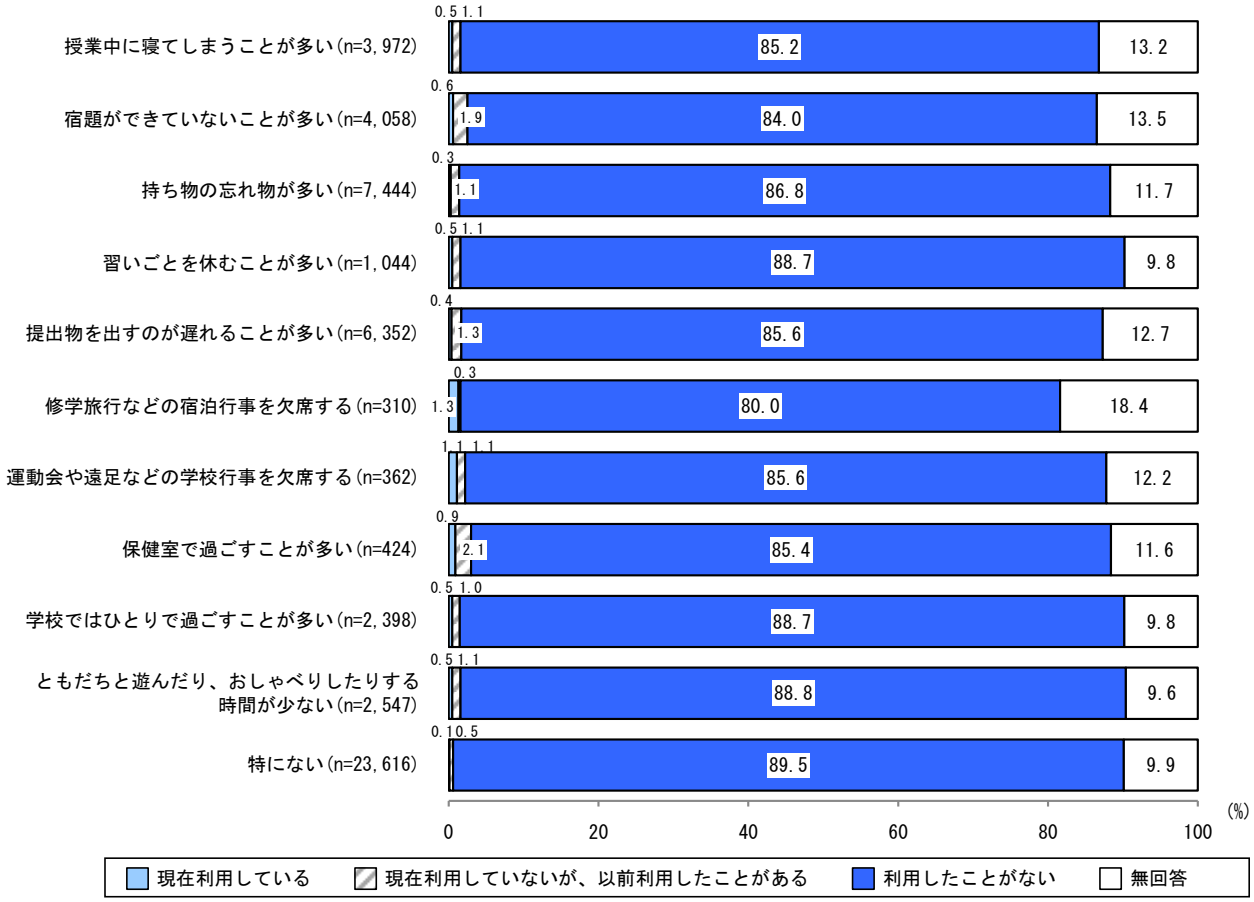


図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活保護の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「授業中に寝てしまうことが多い」と回答した割合が1.4%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
（子ども票問 16×保護者票問 23-c）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

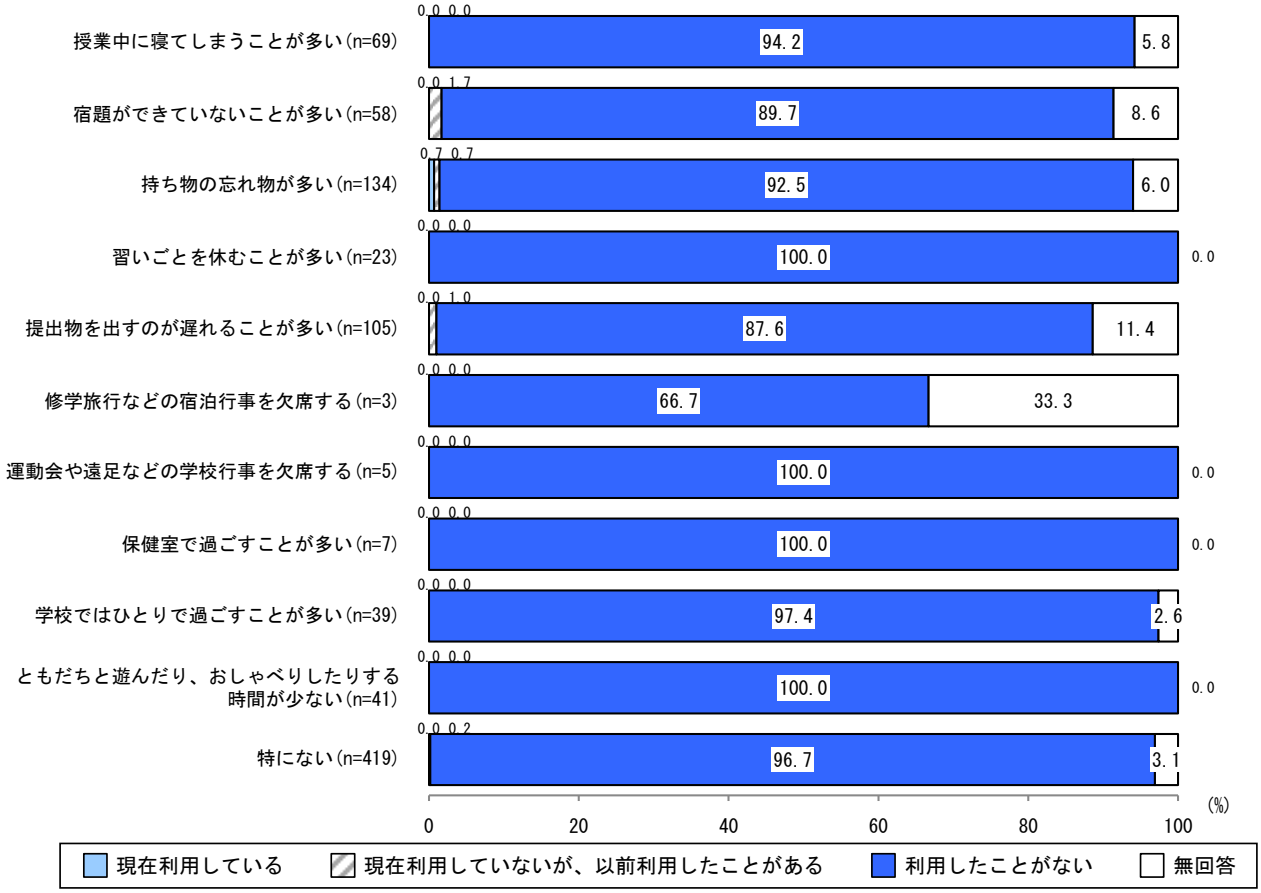
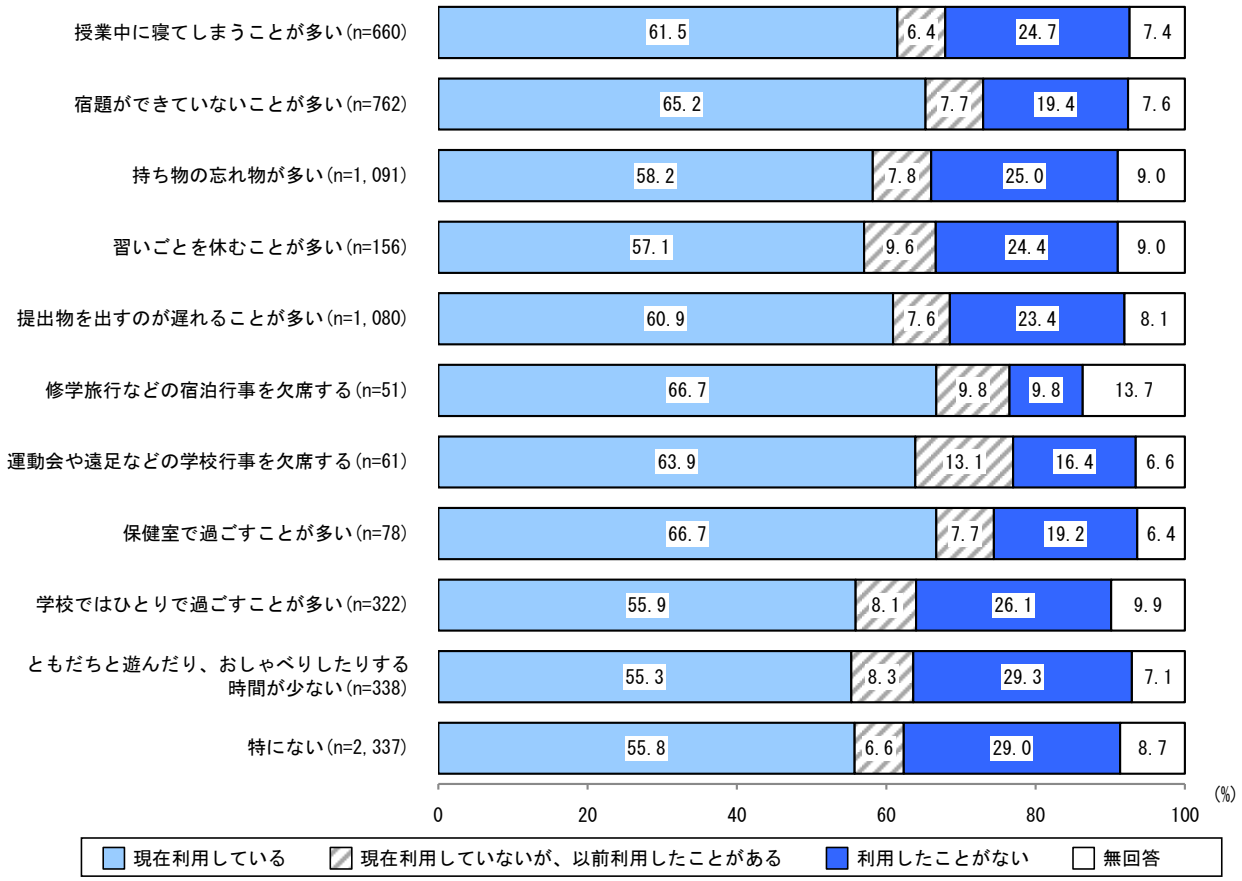


図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ると、「利用したことがない」と回答した人の割合は、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」と回答した割合が66.7%で最も低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（子ども票問 16×保護者票問 23-d）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

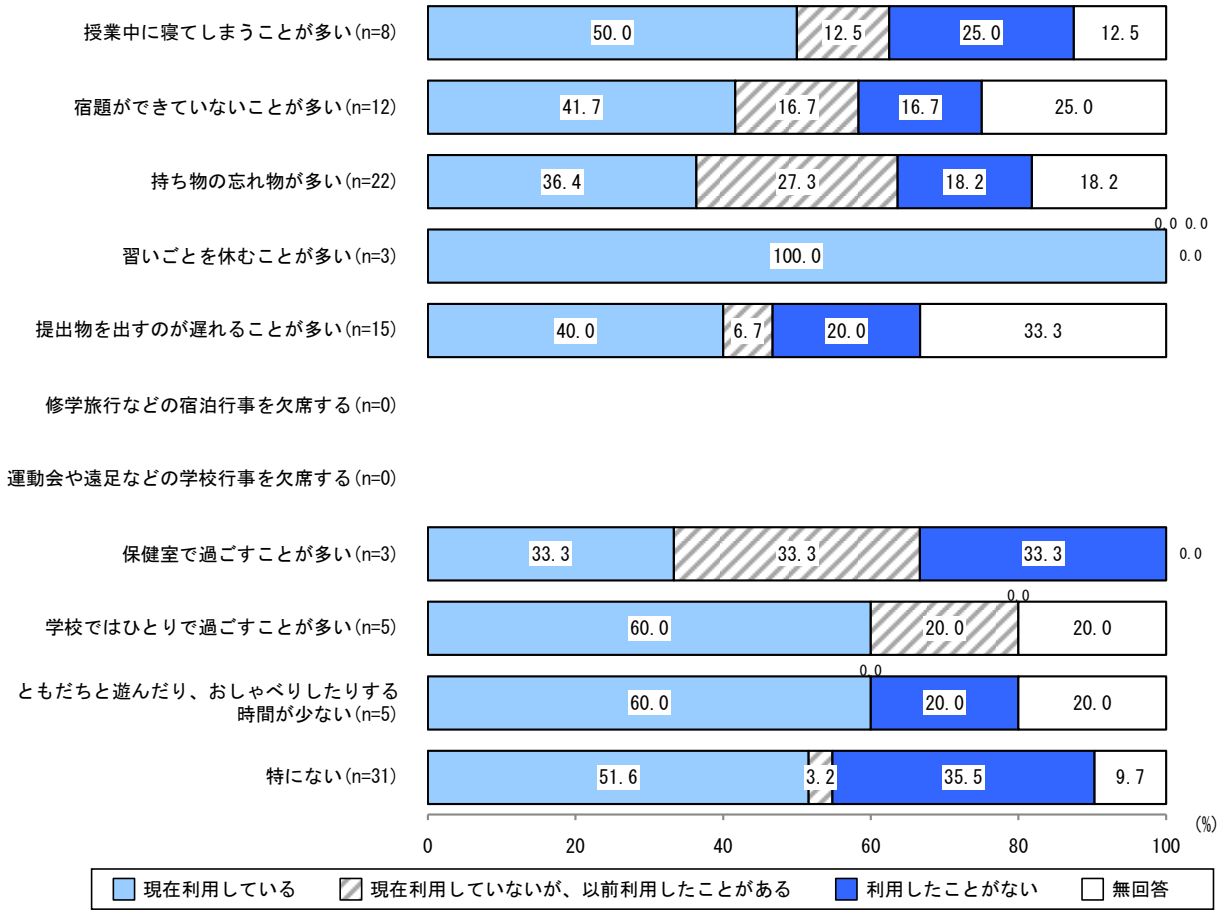
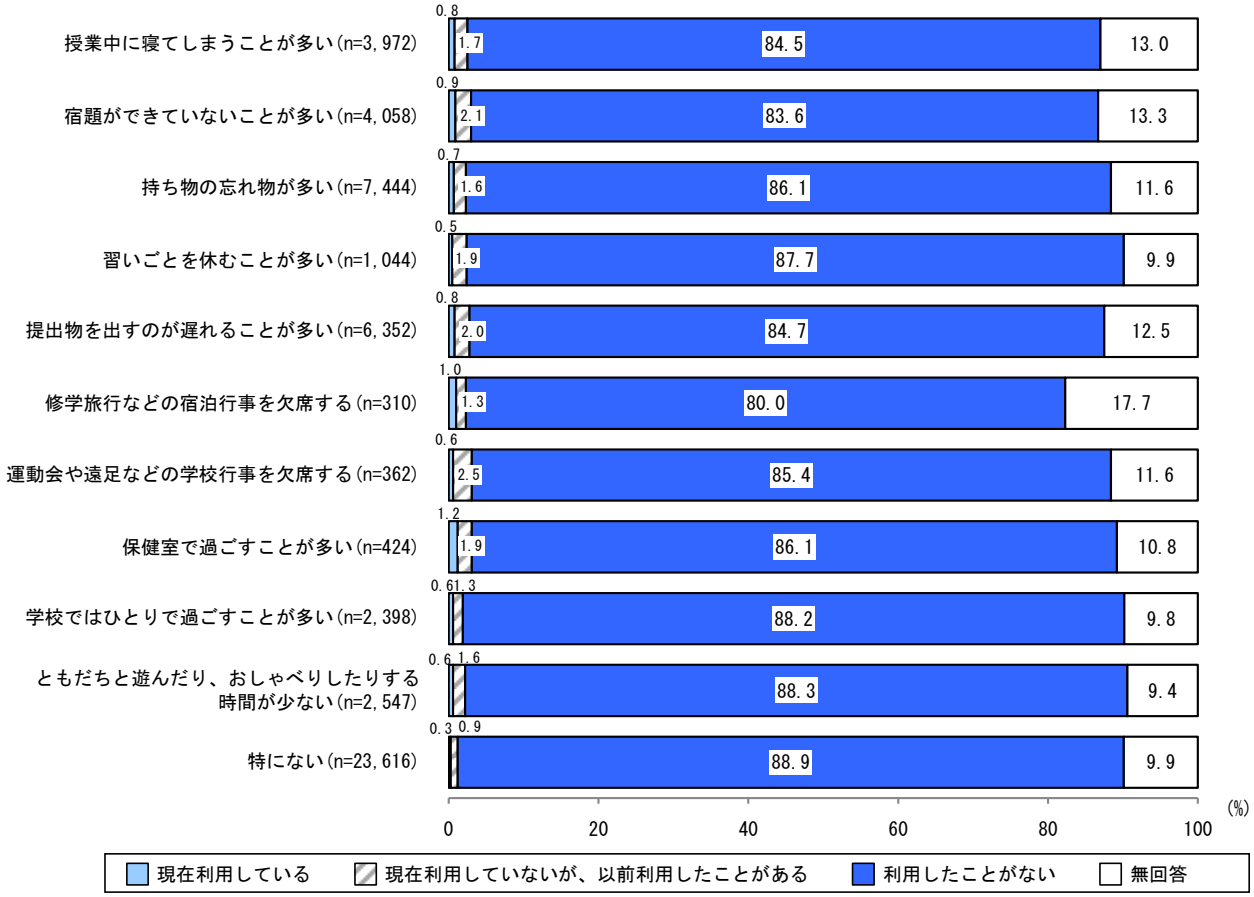


図 41. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

学校や学校の行事等の状況別に児童扶養手当の利用状況を見ると、母数が少ないため一概には言えないが、「現在利用している」と回答した人の割合は、「保健室で過ごすことが多い」と回答した割合が33.3%で最も低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
（子ども票問 16×保護者票問 23-e）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

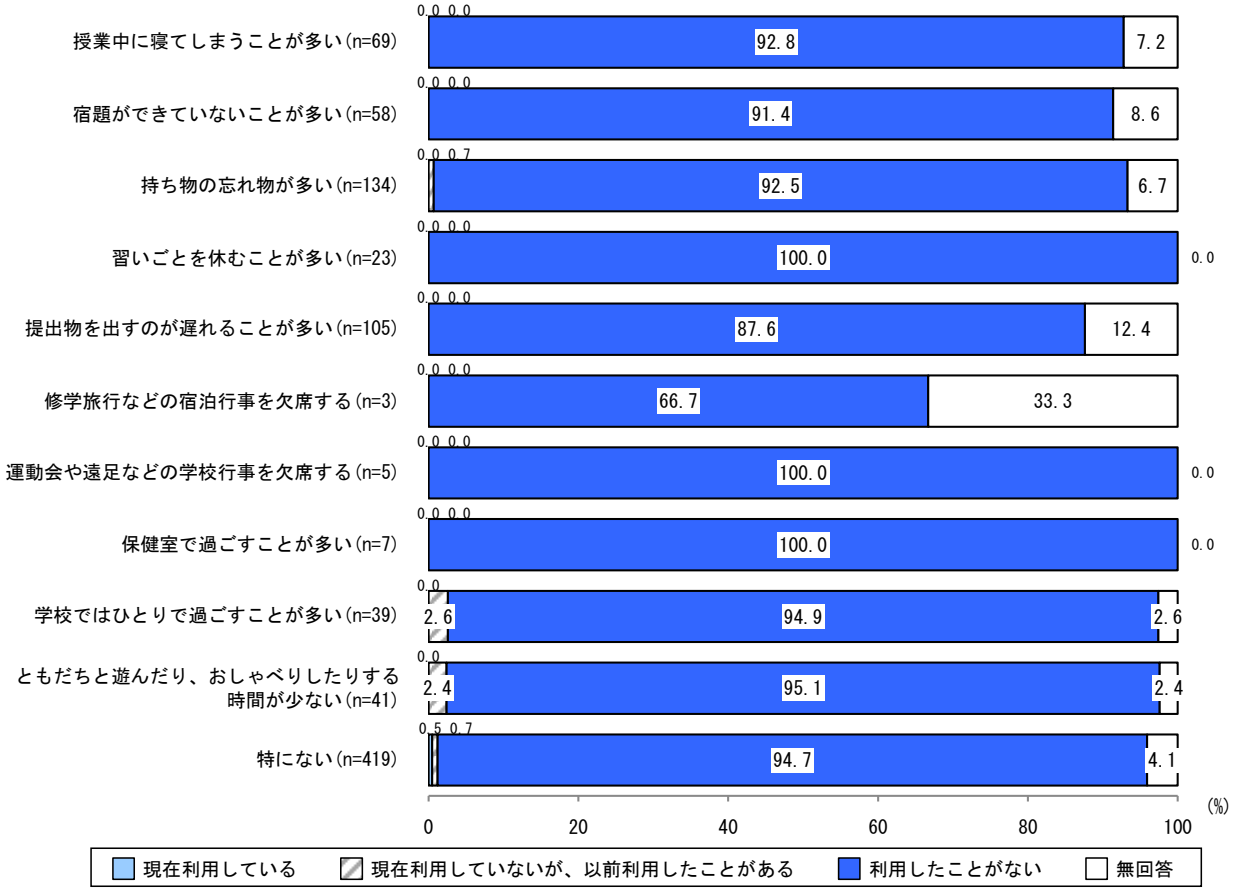
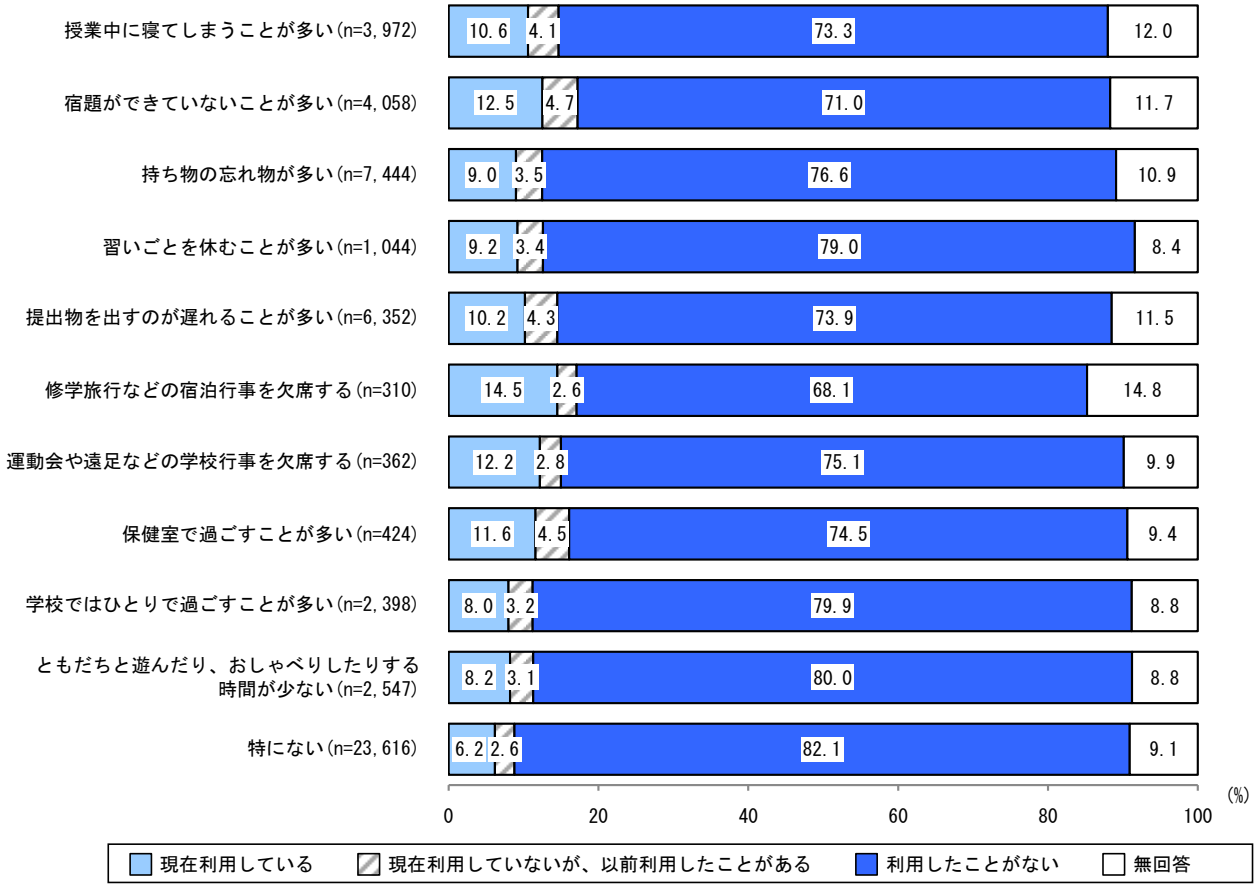


図 42. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

学校や学校の行事等の状況別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ると、「利用したことがない」と回答した人の割合は、「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」と回答した割合が66.7%で最も低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-f）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

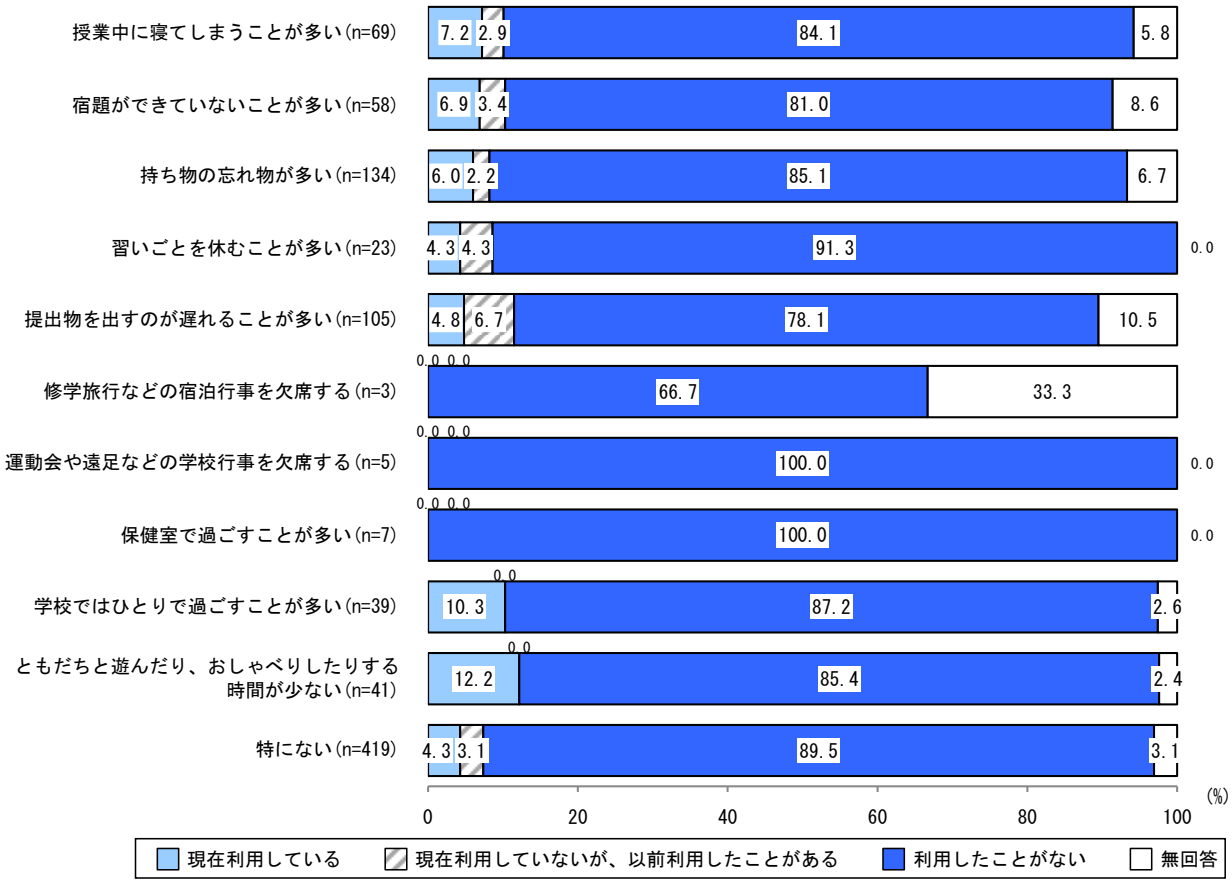
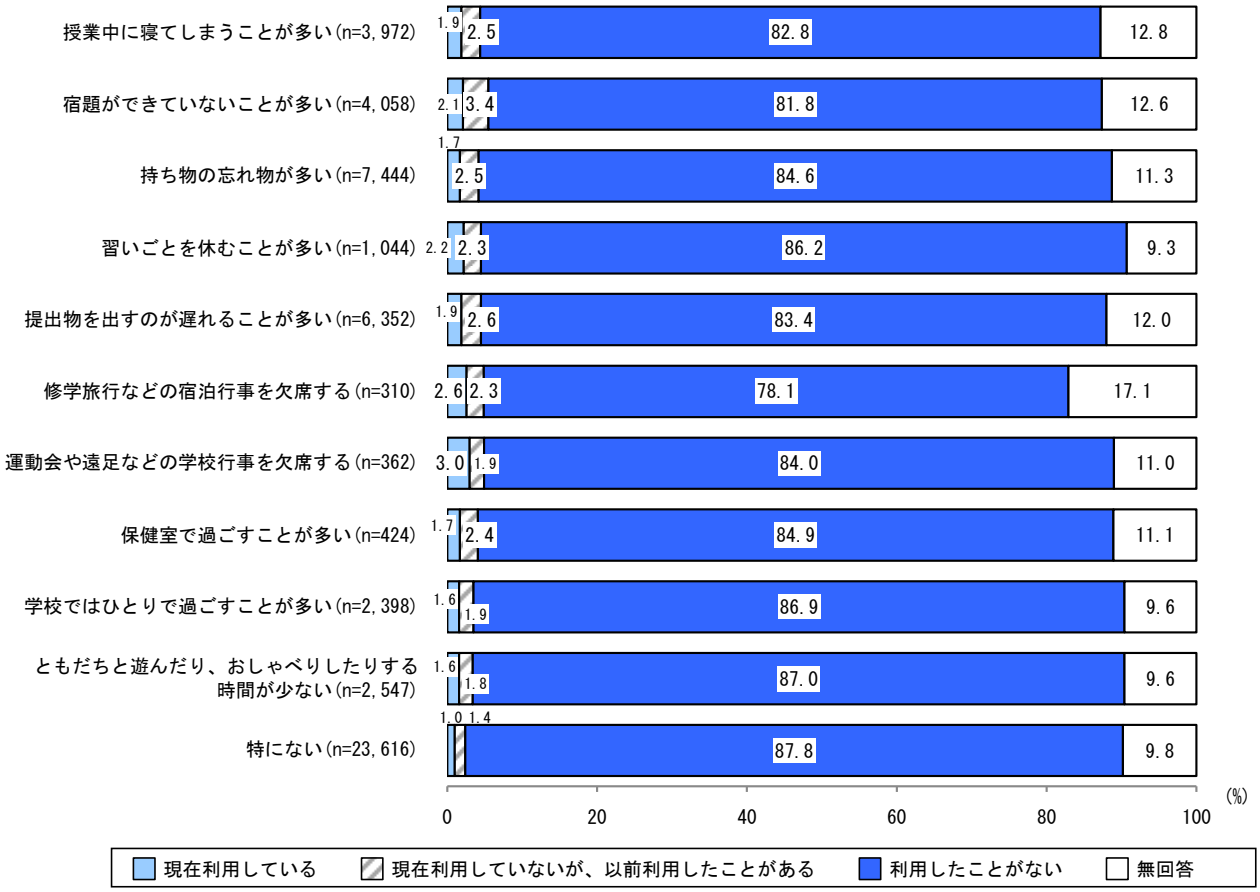


図 43. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、母数が少ないため一概には言えないが、「現在利用している」と回答した人の割合は、「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」と回答した割合が12.2%で最も高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（子ども票問 16×保護者票問 23-g）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

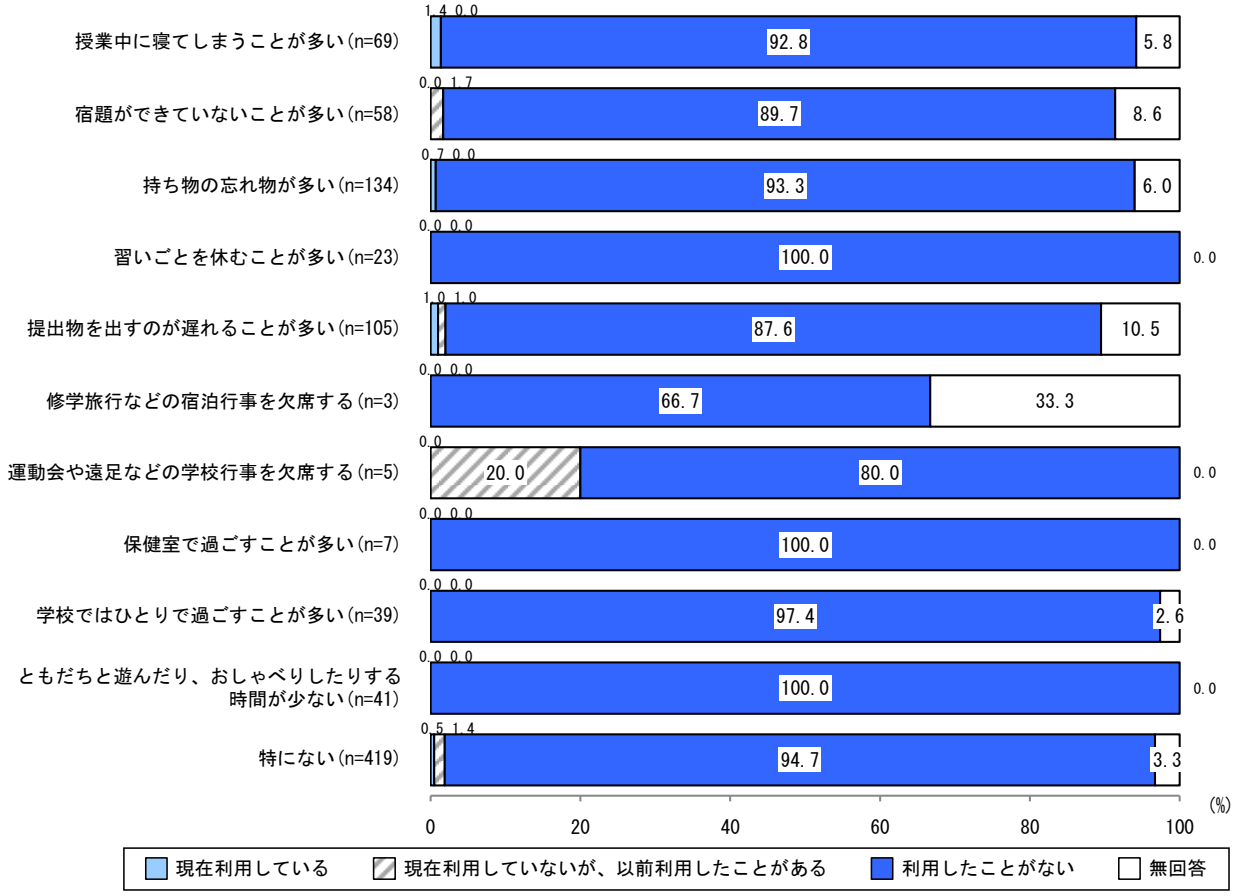
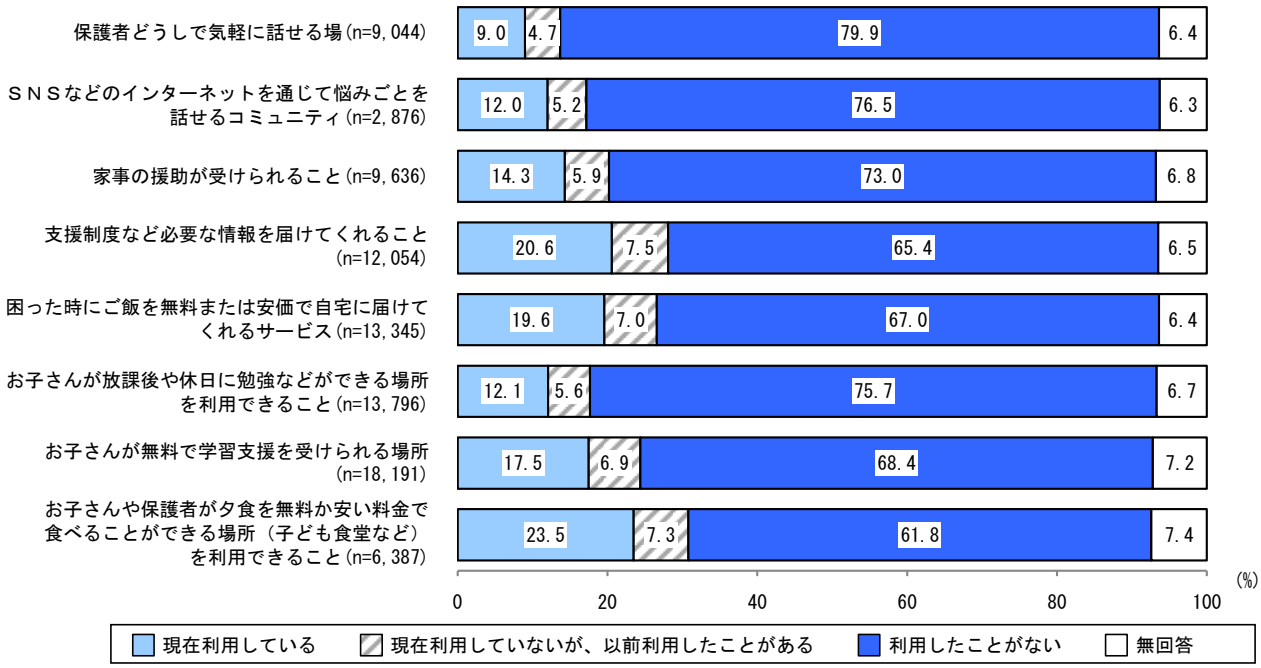


図 44. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

学校や学校の行事等の状況別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「授業中に寝てしまうことが多い」と回答した割合が1.4%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況
（保護者票問 20×保護者票問 23-a）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

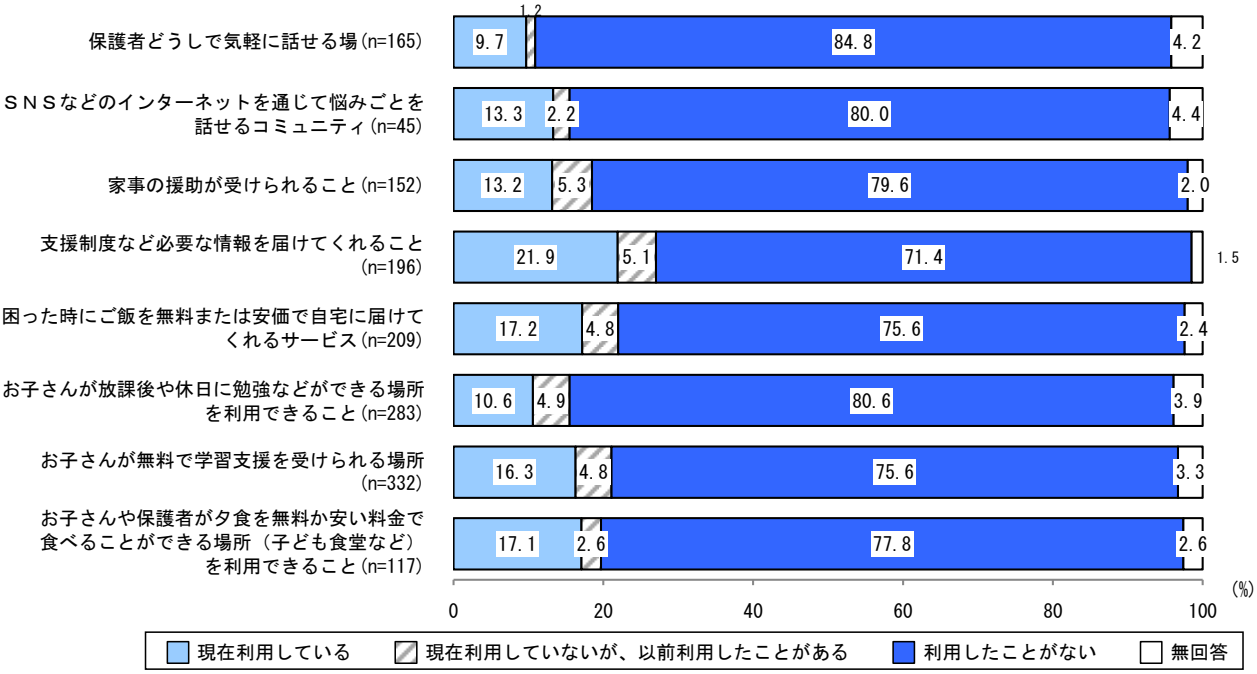
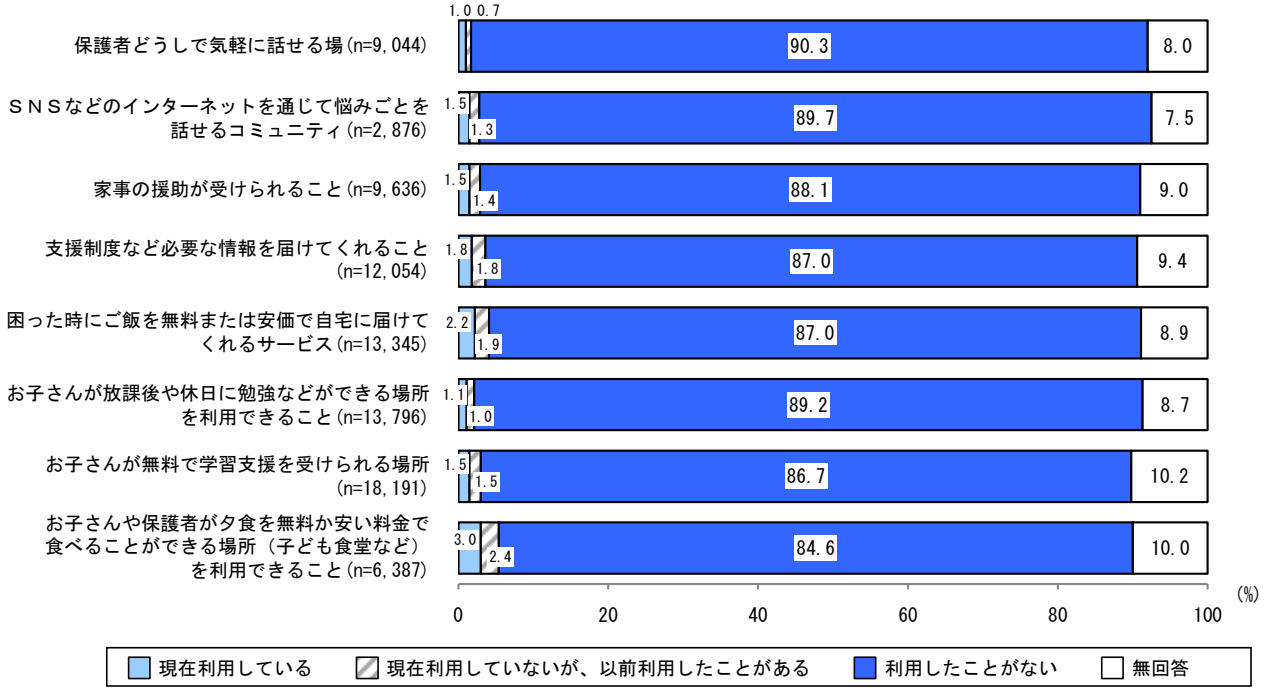


図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に就学援助の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」と回答した割合が21.9%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況
（保護者票問 20×保護者票問 23-b）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

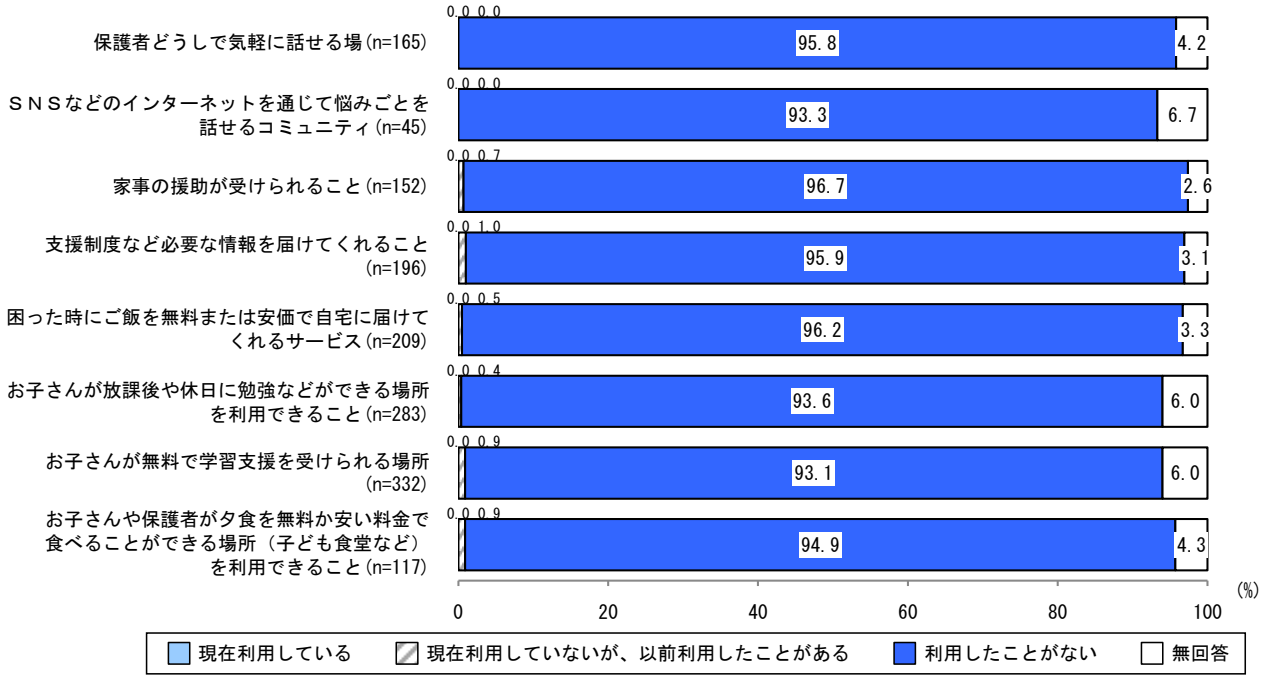
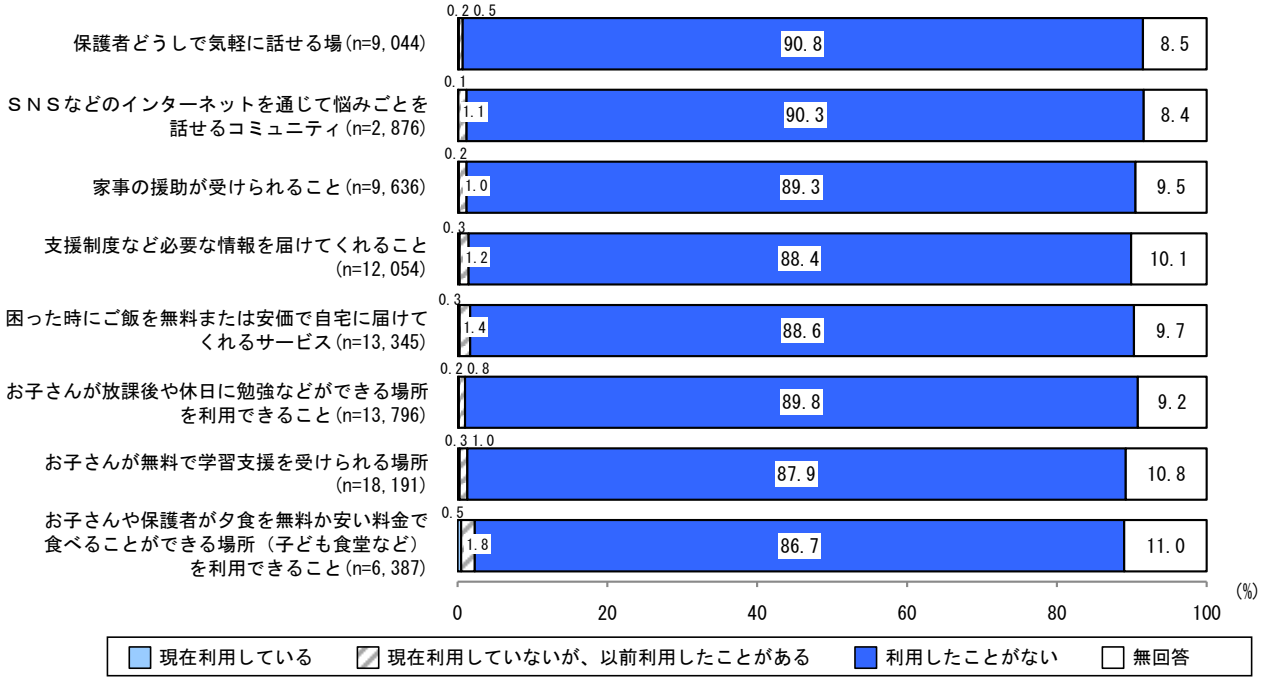


図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活保護の利用状況を見ると、「利用したことがない」と回答した人の割合は、「家事の援助が受けられること」と回答した割合が96.7%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況
（保護者票問 20×保護者票問 23-c）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

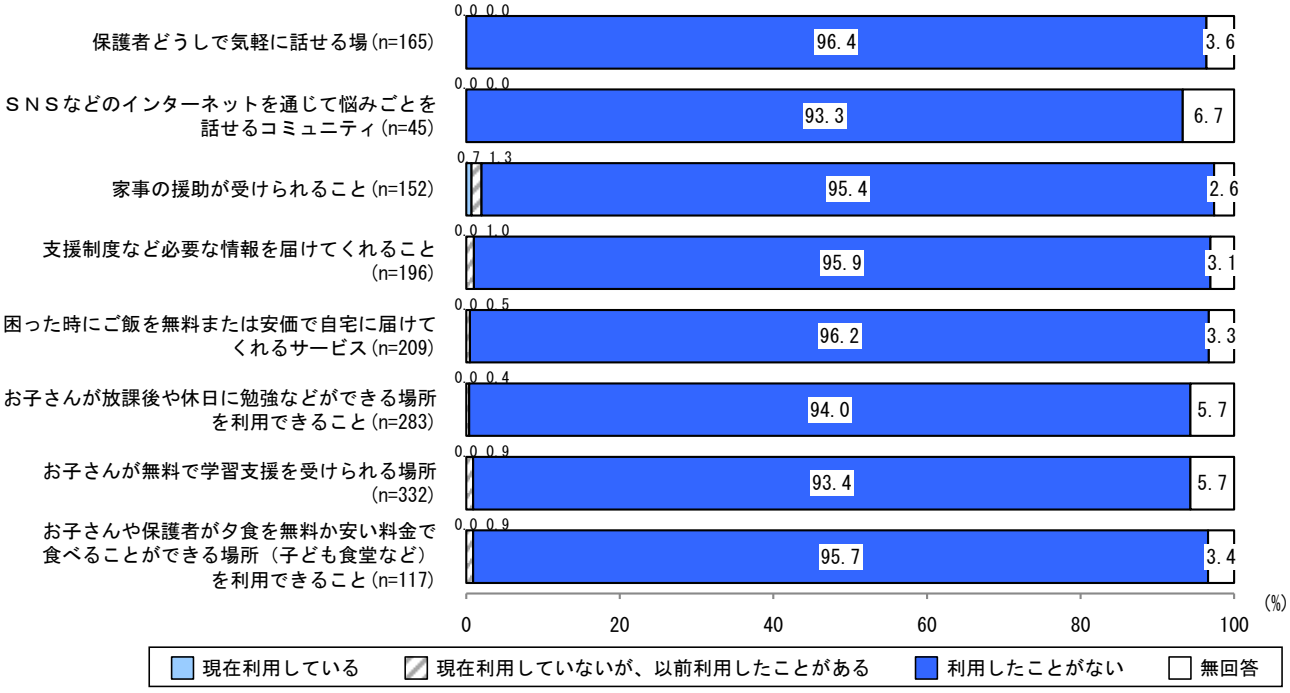
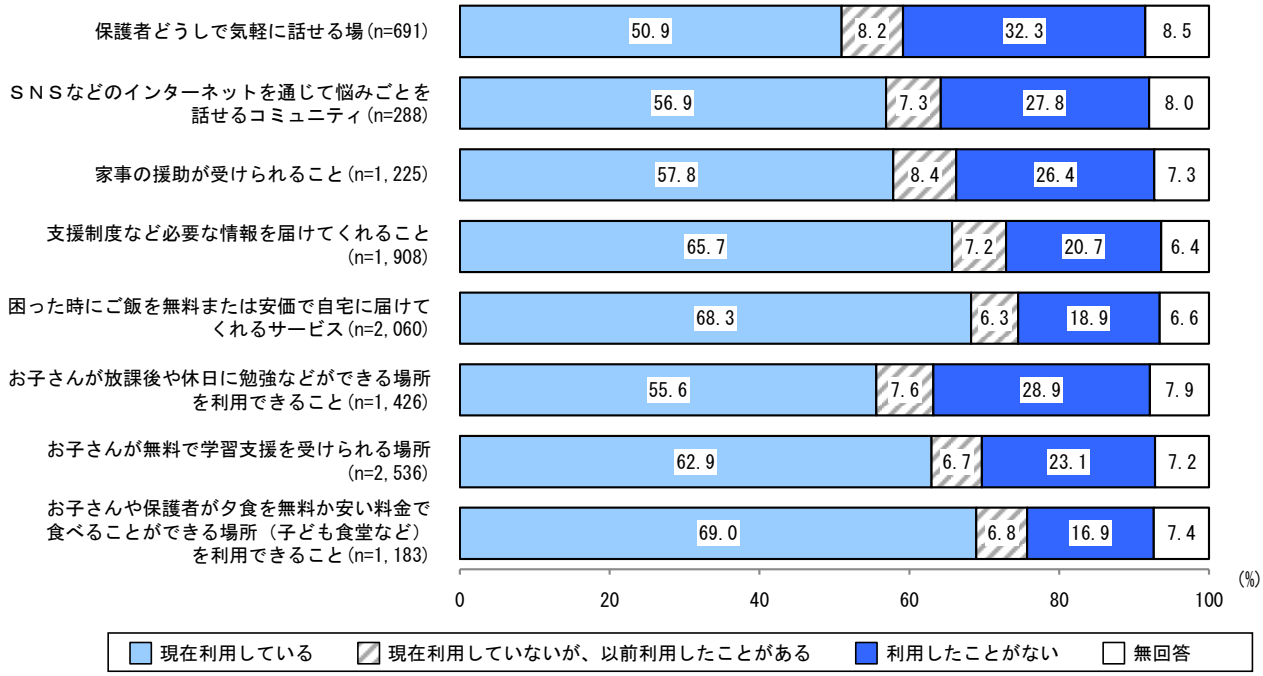


図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況を見ても、大きな差はみられない。

身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）
（保護者票問 20×保護者票問 23-d）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

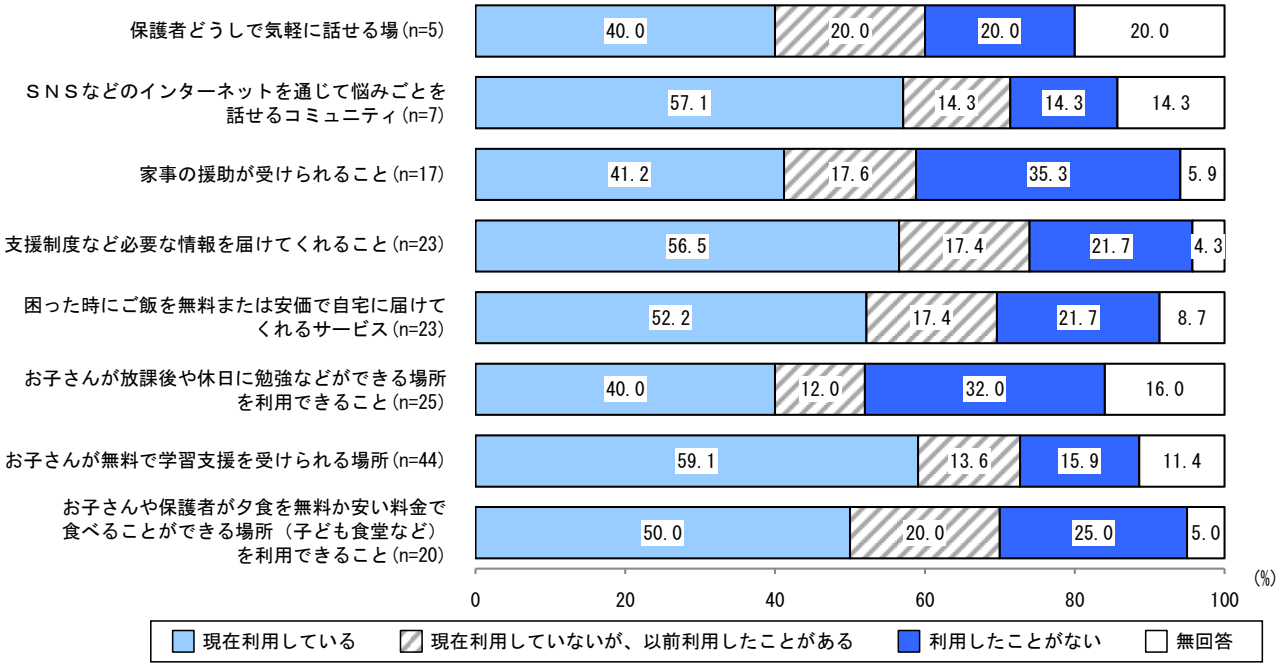
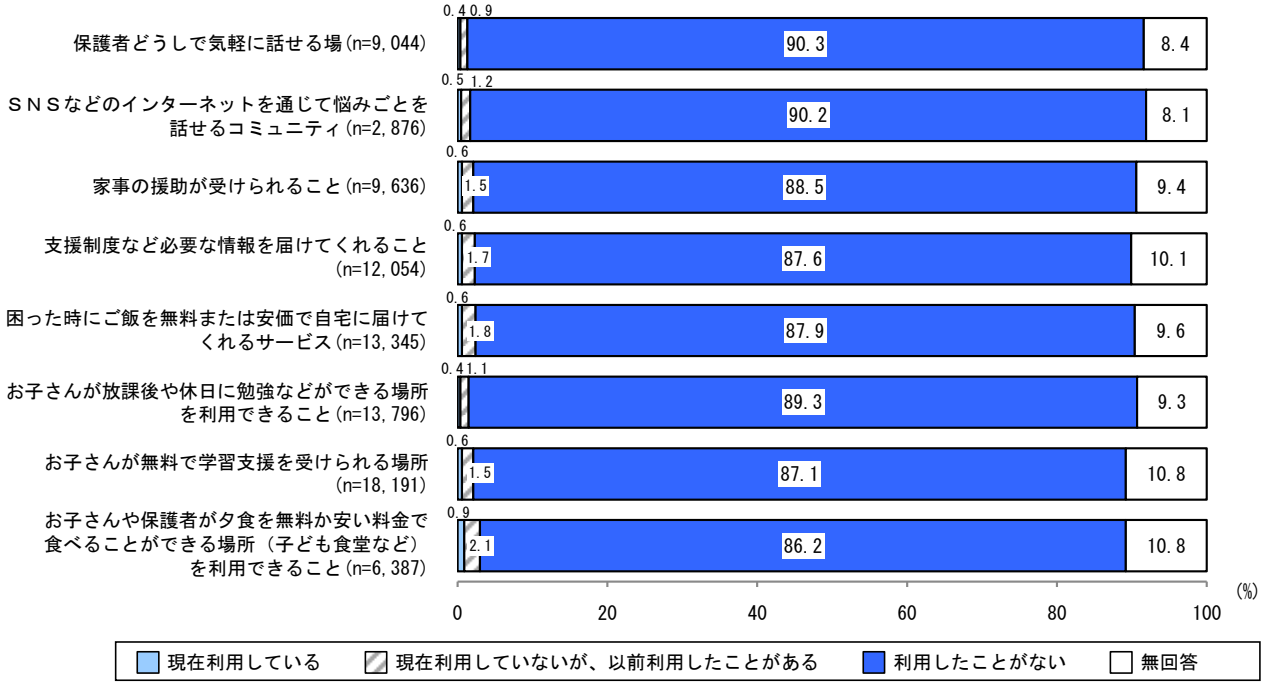


図 48. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）

身近にあるといいと思うこと別に児童扶養手当の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」と回答した割合が59.1%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況
（保護者票問 20×保護者票問 23-e）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

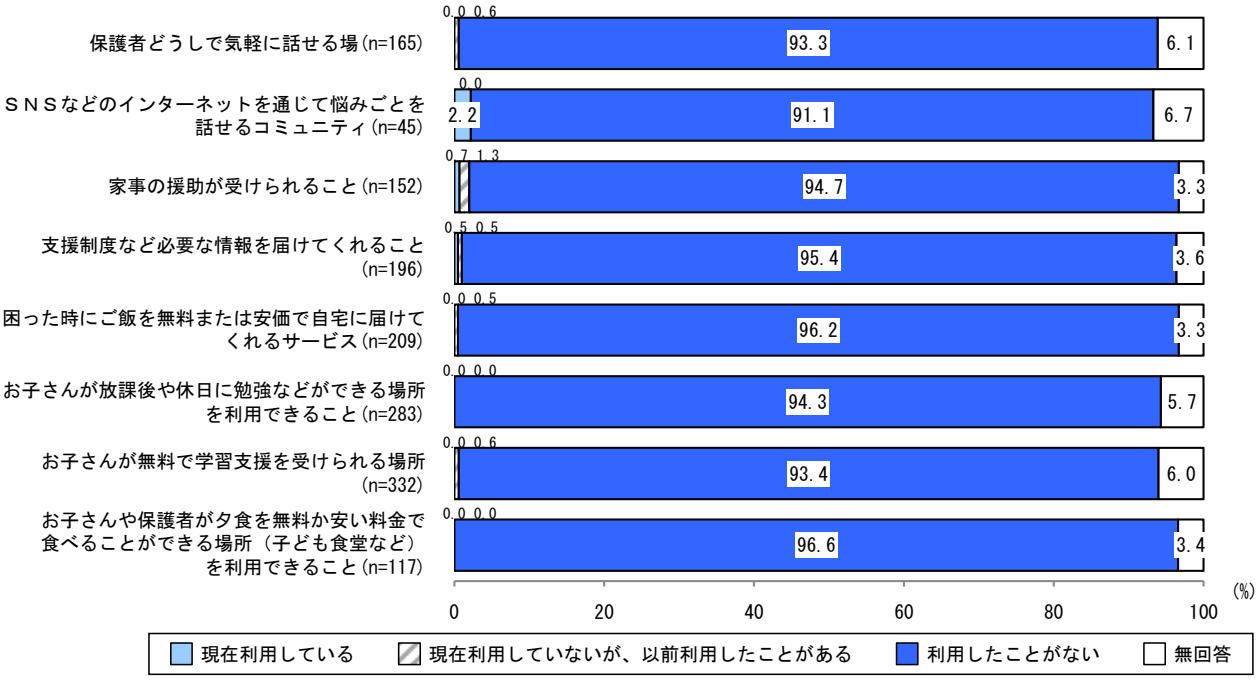
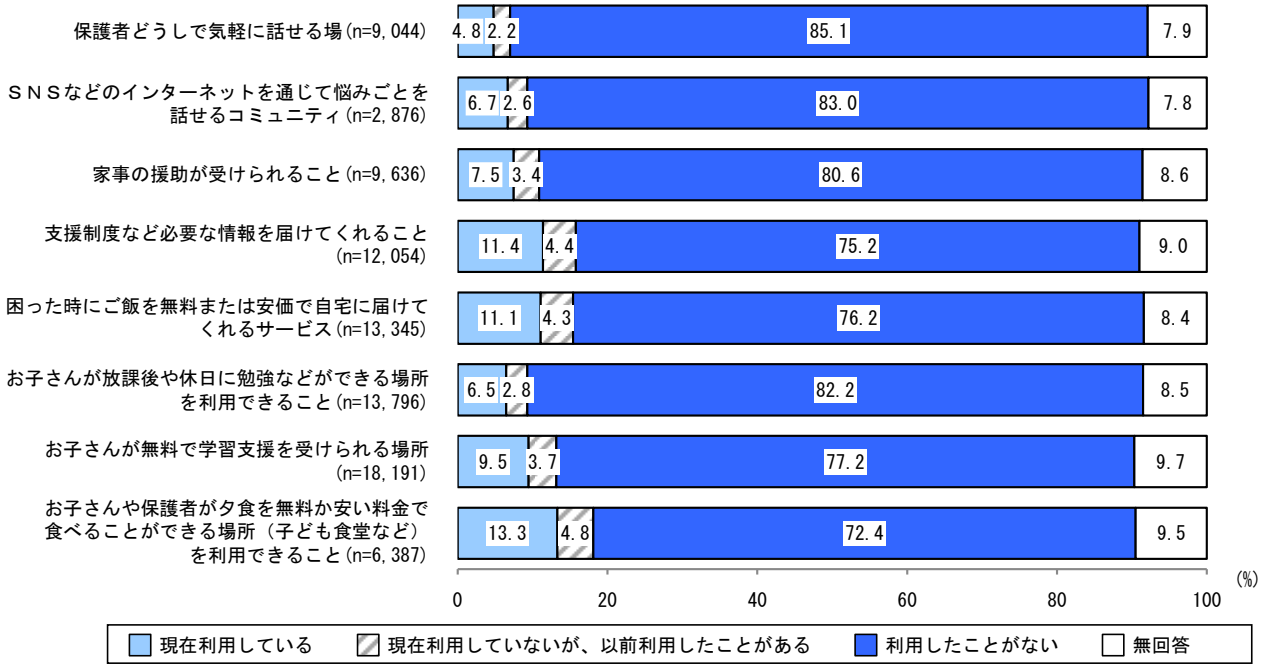


図 49. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況

身近にあるといいと思うこと別に母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況を見ても、大きな差はみられない。

身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-f）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

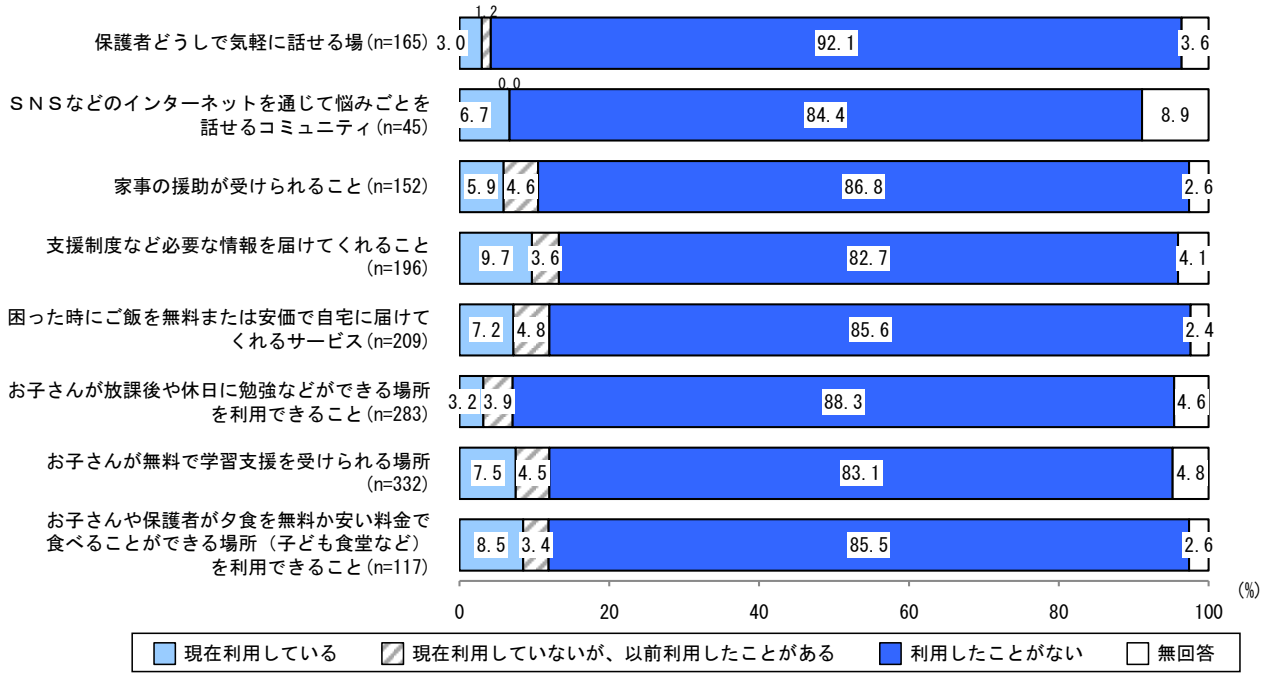
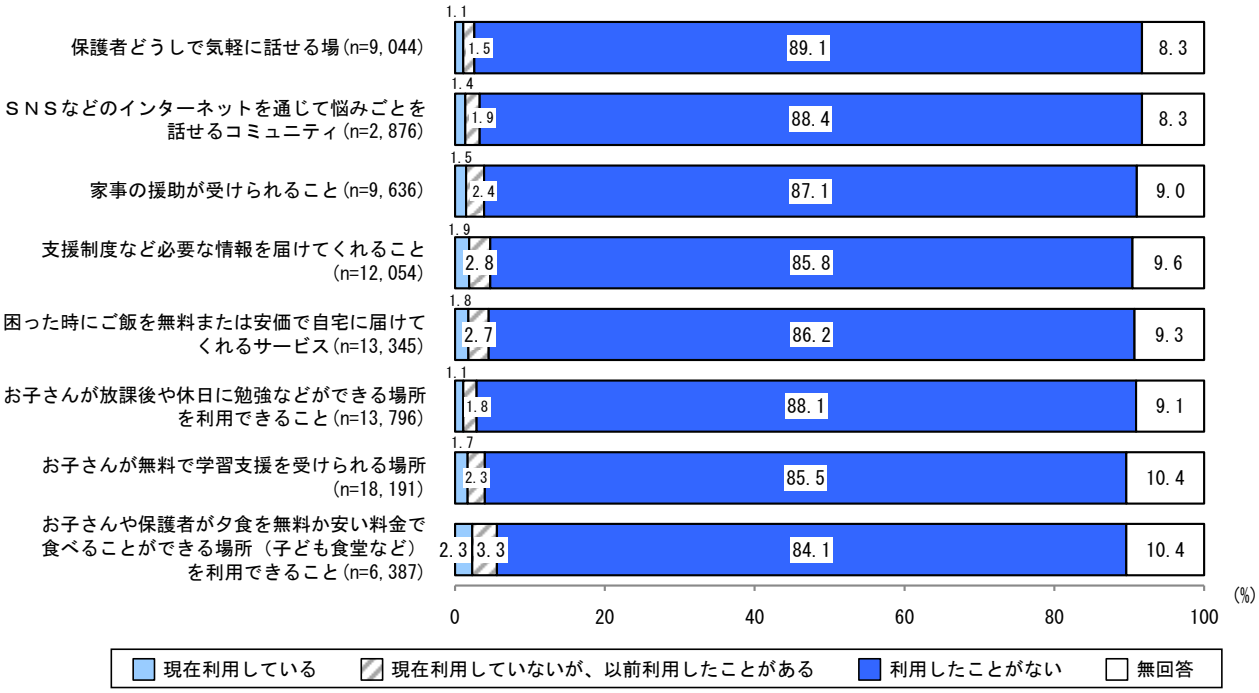


図 50. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「お子さんが無料で学習支援を受けられる場所」と回答した割合が59.1%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況（保護者票問 20×保護者票問 23-g）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

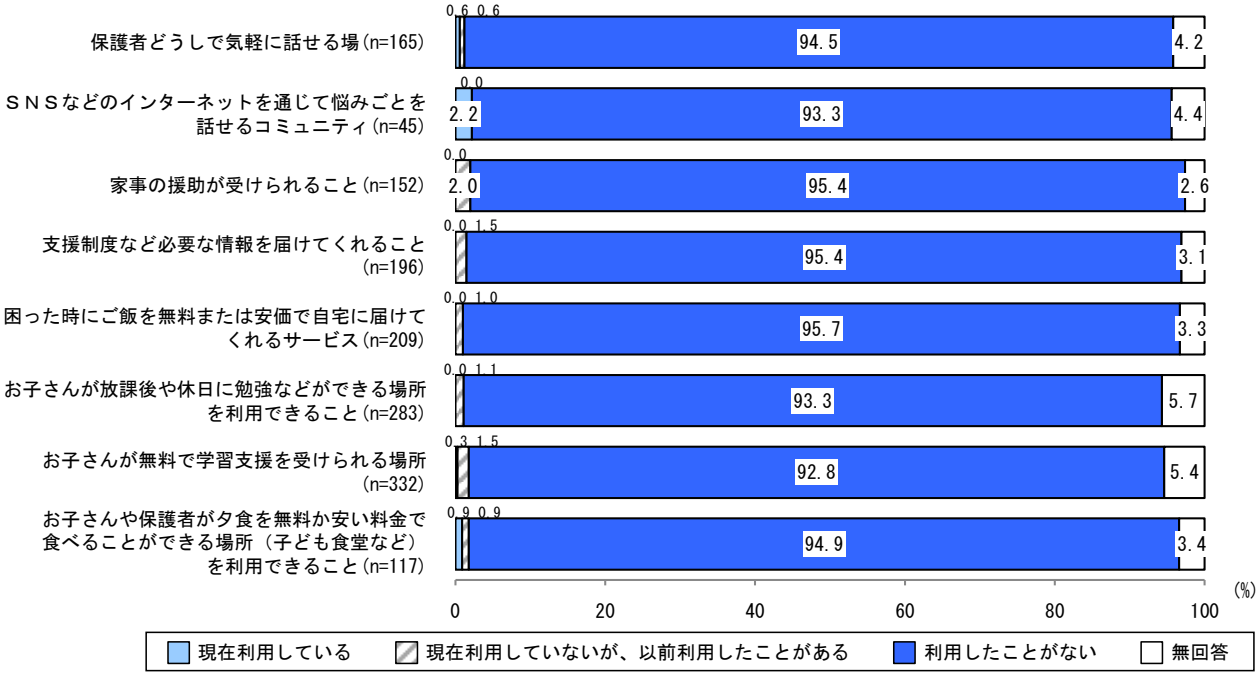


図 51. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況

身近にあるといいと思うこと別に新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況を見ると、「現在利用している」と回答した人の割合は、「ＳＮＳなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」と回答した割合が2.2%で最も高くなっている。

＜家庭状況（制度等）に関する考察＞

就学援助の利用状況については、全体で、「現在利用している」が12.5％となっている。困窮度Ⅰ群では、54.2％、困窮度Ⅱ群では、26.5％を占めている。次にひとり親世帯を対象とする児童扶養手当の利用状況は、全体で46.1％、困窮度Ⅰ群で58.3％、困窮度Ⅱ群で80.0％となっている。生活保護制度の利用状況は、全体で0.1％と低水準にとどまっている。困窮度Ⅰ群では、1.2％となっている。今回調査の回答者から一定層の貧困層が漏れ落ちている可能性についても留意しておく必要がある。いずれにしても、社会保障制度の捕捉率を上げるために、給付が必要な世帯が利用しやすいような各制度の要件緩和、手続きの簡素化等の施策が求められている。

ひとり親世帯について、養育費の取り決めや受け取りをしている世帯は、全体で44.1％にとどまっている。「取り決めをしておらず、受け取っていない」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群で27.6％、困窮度Ⅱ群で25.0％となっている。離別の場合、生活状況の激変のなか、ひとり親自身が養育費の取り決めを行うことは容易なことではないため、相談機関等の支援策の充実が求められる。

初めて親となった年齢と最終学歴について、特に母親に着目すると、「10代」で中学校卒業が6.3％、高等学校中途退学が43.8％と、他の年齢階層に比べて高くなっている。妊娠・出産しても学修を中断せず継続できるような学修面でのサポート体制、子育て支援が求められる。また学びを一時中断した者についても、あとからでも「学び直し」を可能にするような学修機会の提供等が求められる。

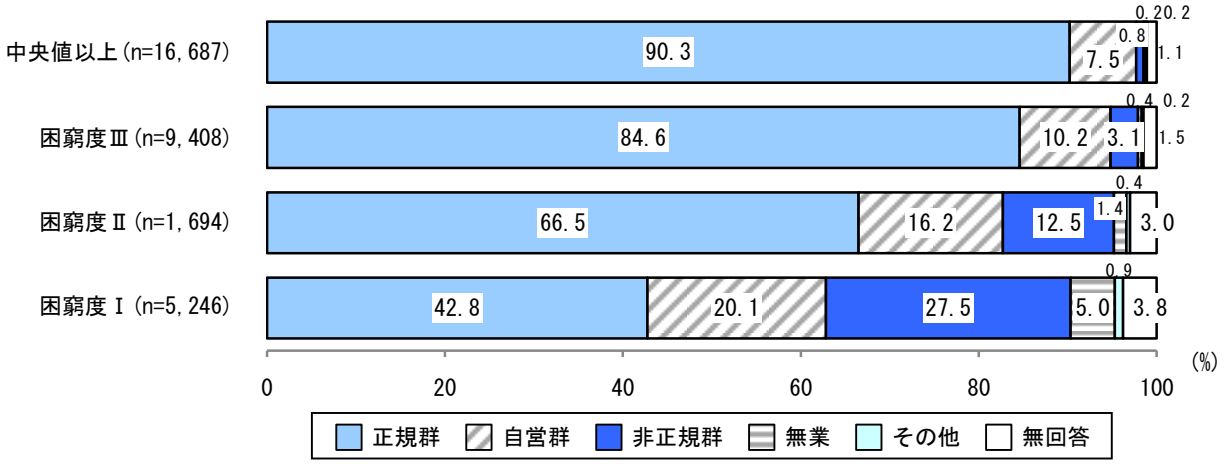
住居形態別に家計の状況をみると、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」において「赤字である」と回答した者の割合が50.0％と半数を占める。同様に、「UR賃貸住宅・公社賃貸住宅」については、「子どもの将来のための貯蓄状況」についても「貯蓄をしたいが、できていない」が50.0％と経済的余裕のなさが示されている。家賃分の負担軽減に加えて、生活費部分の経済的支援の必要性が示されている。

全般的に、公的な生活援助の利用状況が困窮度によって大きく開いている。また、母子世帯における養育費の受け取り世帯割合が十分ではなく、若くして母親になった者への教育支援の必要性も示唆される。さらに、公共性の高い住宅に住む世帯の方が、経済的に余裕を欠く状況に置かれる割合が大きいことが示されている。

３－２．雇用

困窮度別に見た、就労状況（保護者票問９より）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

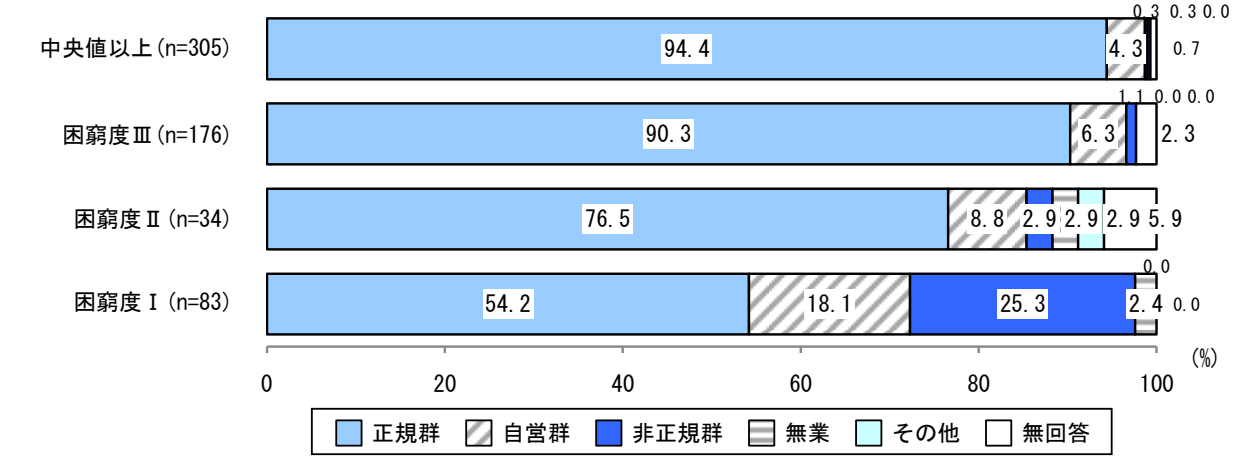


図 52. 困窮度別に見た、就労状況

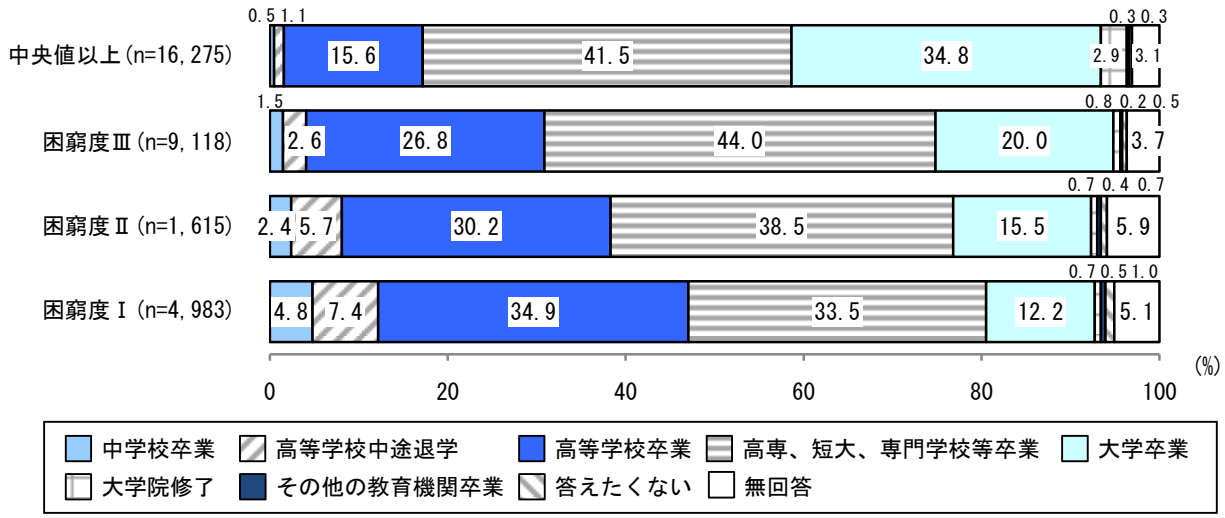
困窮度別に就労状況を見ると、困窮度が高まるにつれ、「正規群」の割合が低くなり、「自営群」、「非正規群」、「無業」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群においては他と比べて「非正規群」、「無業」の割合がやや高く、それぞれ25.3%、2.4%となっている。

※分類方法は以下の通り。
父母あるいは主たる生計者に正規が含まれれば「正規群」（問９選択肢１）、
上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれれば「自営群」（問９選択肢４）、
上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれれば「非正規群」（問９選択肢２、３）、
上記以外で、誰も働いていなければ「無業」（問９選択肢６、７）。
上記以外が「その他」となる。

ここでの無業とは、「ふだん仕事をしていない者、すなわち、ふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をしていない者」を指す（就業構造基本調査による）。 クロス集計で「就労状況」を用いる時は、上記区分による。

困窮度別に見た、お母さんの最終学歴（保護者票問８）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

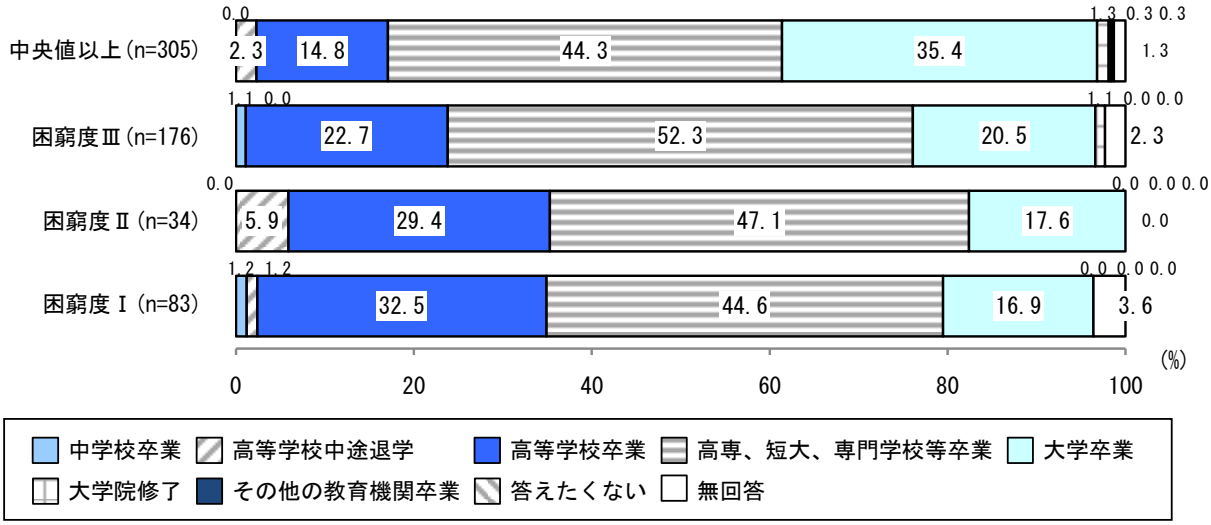
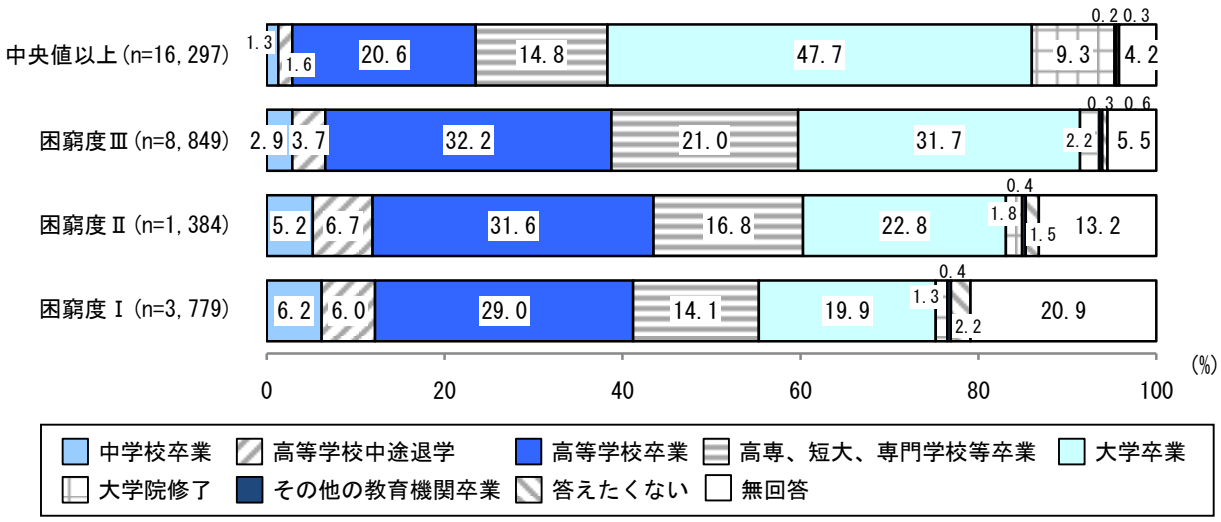


図 53. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴

困窮度別に母親の最終学歴を見ると、困窮度が高まるにつれ、「高等学校卒業」の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ～Ⅲ群では中央値以上群に比べ、「大学卒業」の割合が低い。

困窮度別に見た、お父さんの最終学歴（保護者票問８）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

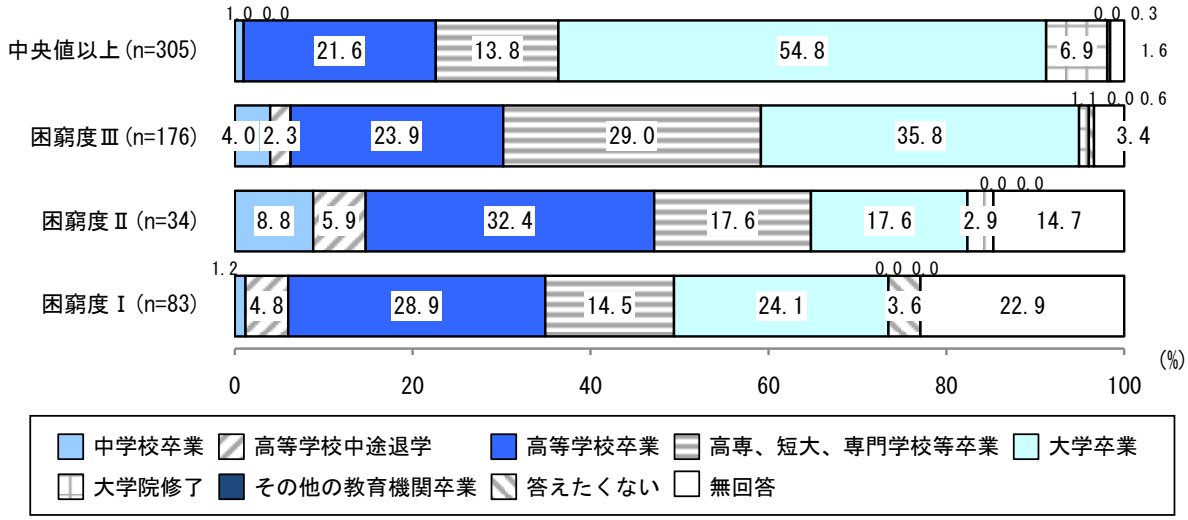
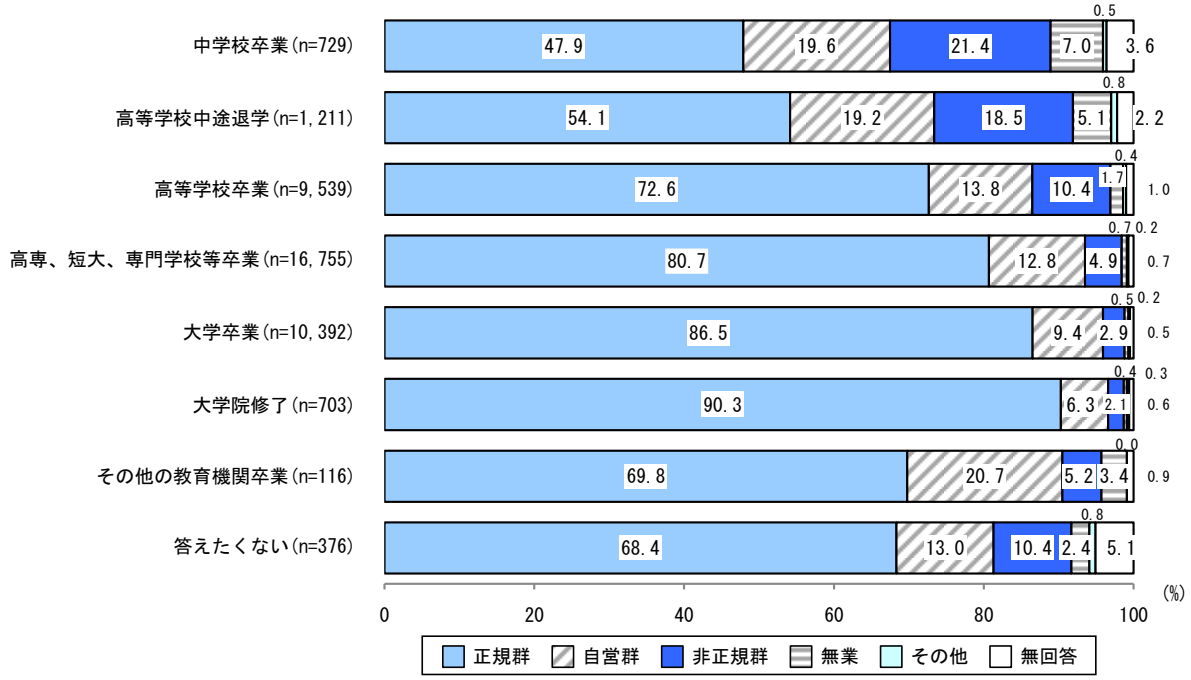


図 54. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴

困窮度別に父親の最終学歴を見ると、困窮度Ⅰ群において、「中学校卒業」と「高等学校中途退学」の割合はそれぞれ1.2%、4.8%である。また、困窮度Ⅰ群では無回答（22.9%）の割合も高い。

お母さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問８×保護者票問９）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

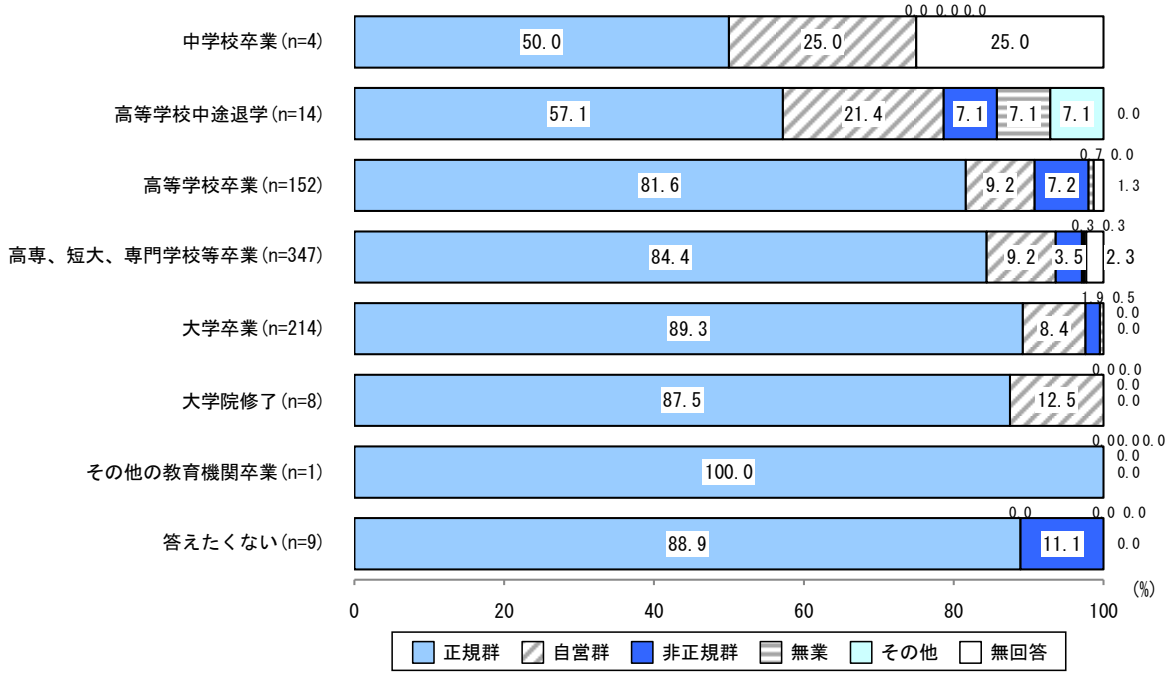
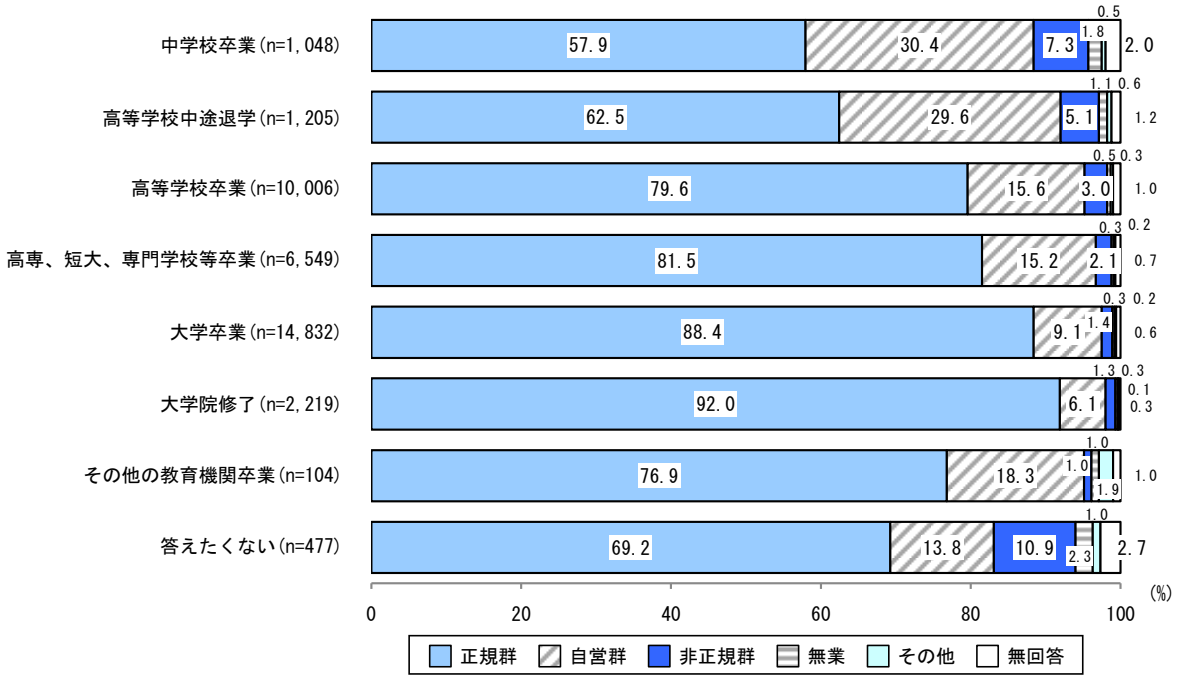


図 55. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況

母親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、「母親の最終学歴」が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

お父さんの最終学歴別に見た、就労状況（保護者票問８×保護者票問９）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

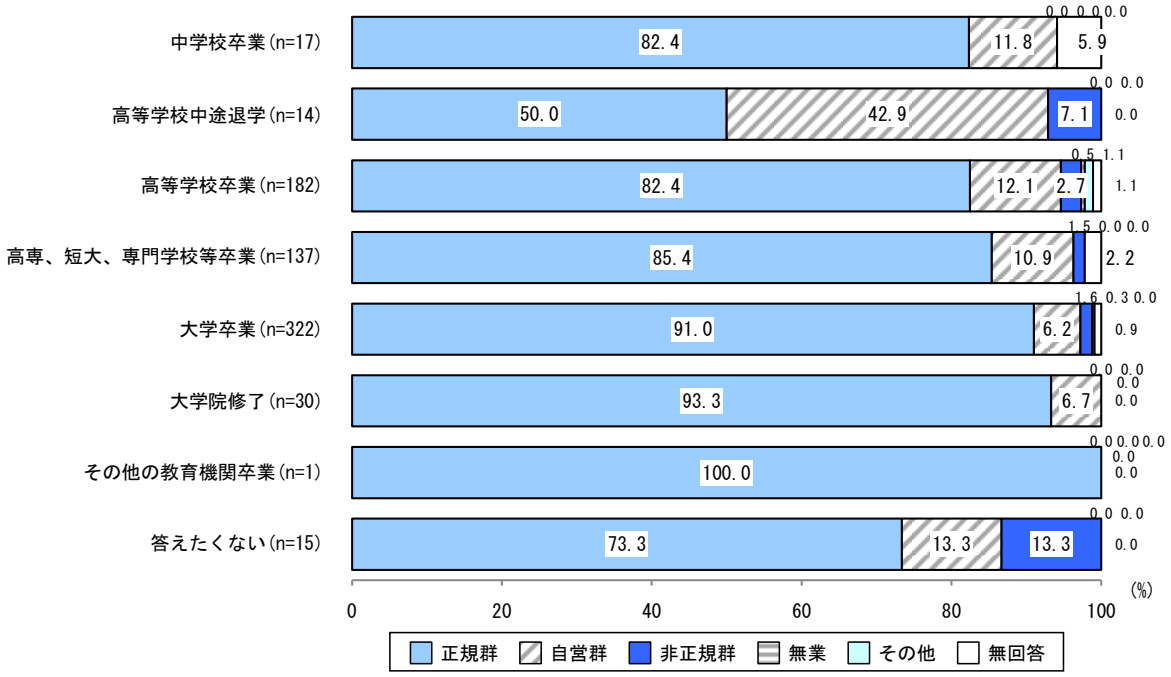
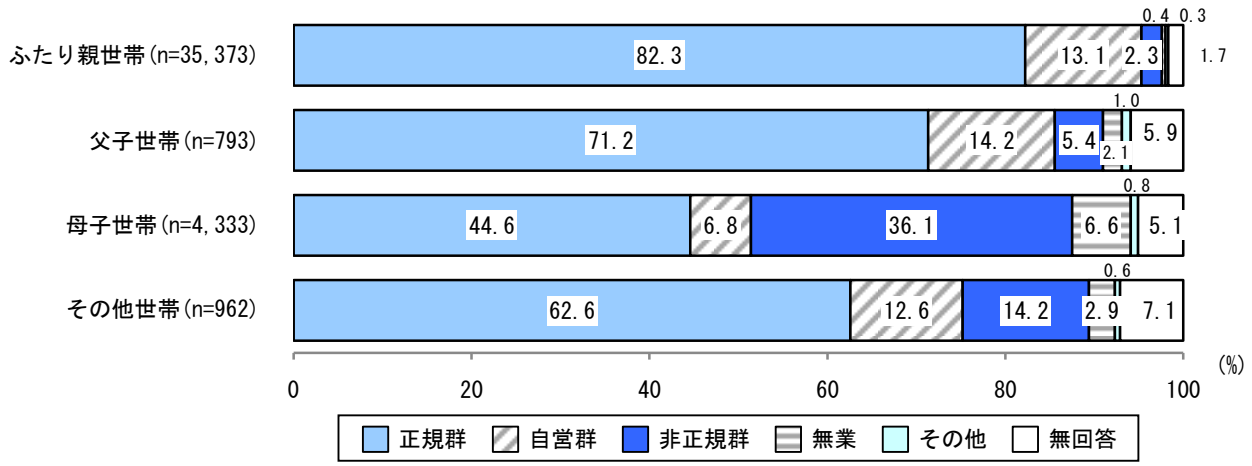


図 56. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況

父親の最終学歴別に就労状況を見ると、概ね、父親の最終学歴が高くなるにつれて「正規群」の割合が高くなる。

世帯構成別に見た、就労状況（保護者票問２×保護者票問９）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

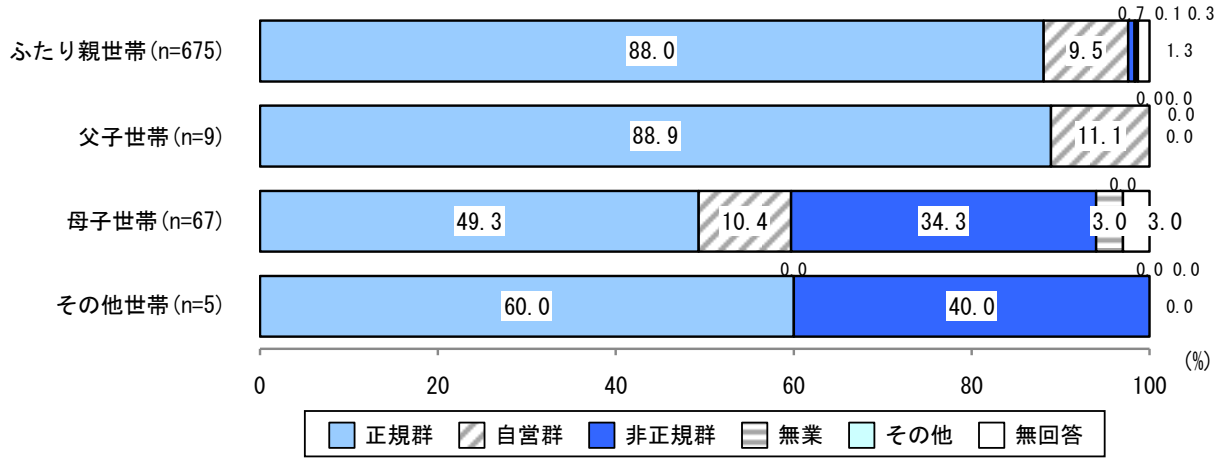
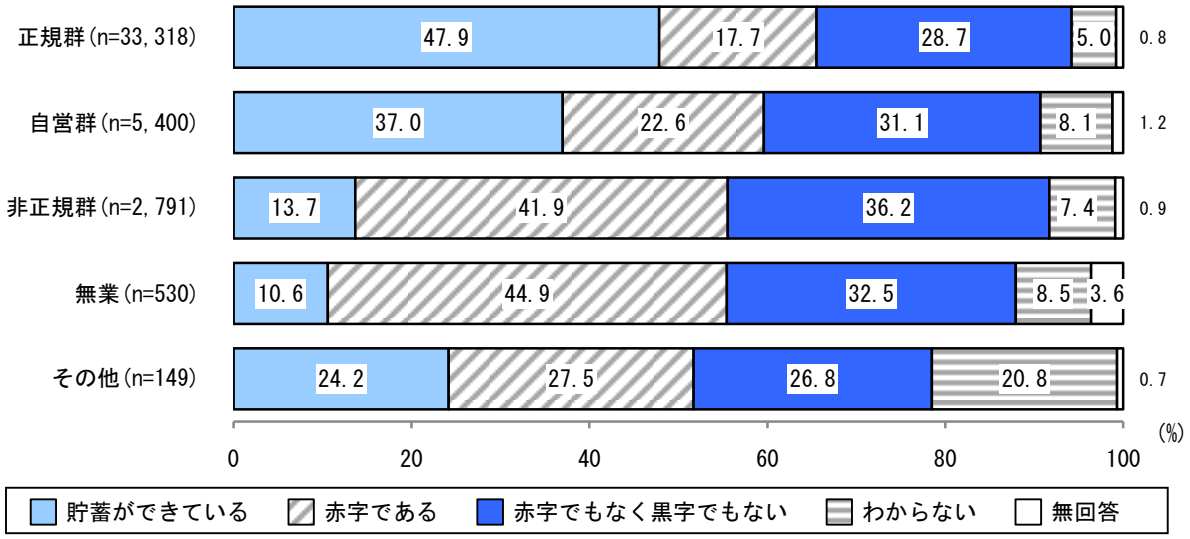


図 57. 世帯構成別に見た、就労状況

世帯構成別に就労状況を見ると、「ふたり親世帯」では「正規群」の割合が88.0%であるが、「父子世帯」では88.9%、「母子世帯」では49.3%と低くなる。「非正規群」は、「父子世帯」では0.0%、「母子世帯」では34.3%となっている。

就労状況別に見た、家計の状況（保護者票問９×保護者票問６(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

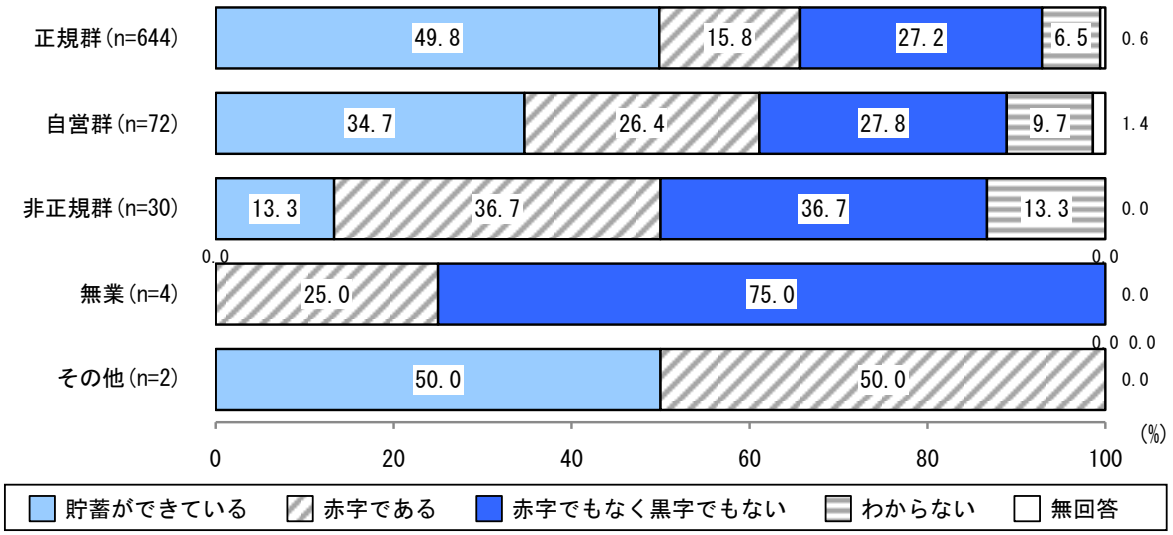


図 58. 就労状況別に見た、家計の状況

就労状況別に家計状況を見ると、「正規群」・「自営群」では「貯蓄ができている」割合がそれぞれ、49.8%、34.7%である。「無業」では「赤字である」と回答した人が25.0%にのぼっている。

＜雇用に関する考察＞

はじめに、困窮度別の保護者の就労状況と最終学歴について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群の間で差が大きい項目に着目して述べる。親の就業状況を困窮度別に見ると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「正規」群（94.4％対54.2％）が約40ポイント以上高く、大きな開きがある。一方で、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「非正規」群（25.3％対0.3％）が25ポイント高くなっている。母親の最終学歴を困窮度別に見ると、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（32.5％対14.8％）は約18ポイント高くなっている。一方で、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（35.4％対16.9％）は18ポイント以上高くなっている。同様に、父親の最終学歴においても、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「高等学校卒業」群（28.9％対21.6％）は約7ポイント高くなっている。また、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「大学卒業」群（54.8％対24.1％）は約30ポイント高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の保護者の雇用形態が所得階層の分布に反映されていることが示された。また、困窮度が高い群では学歴が低い傾向が見られる。

次に、保護者の最終学歴別に就労状況を確認する。母親の最終学歴別に見ると、「大学院修了」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（87.5％対81.6％）は約6ポイント、「大学卒業」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（89.3％対81.6％）は約8ポイント高くなっている。母親の就労状況において、「高等学校卒業」群は「大学卒業」群と比べ、「非正規」群（7.2％対1.9％）は約5ポイント高くなっている。父親の最終学歴別に見ると、「大学院修了」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（93.3％対82.4％）は10ポイント以上、「大学卒業」群は「高等学校卒業」群と比べ、「正規」群（91.0％対82.4％）は約9ポイント高くなっている。この結果から、学歴が高い群ほど正規雇用の割合が高いことを示唆している。

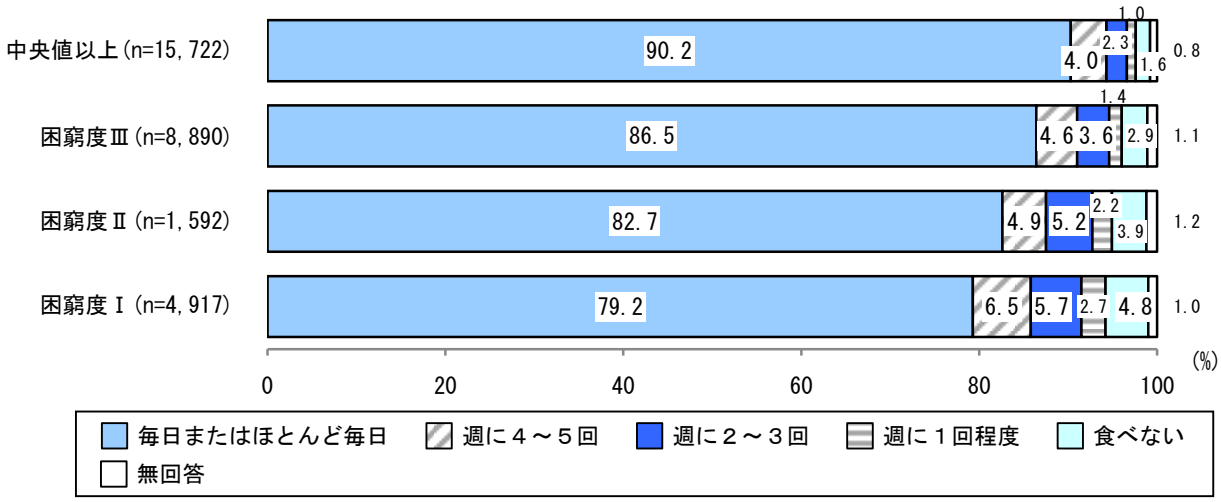
次に、世帯構成別に親の就労状況を確認すると、ふたり親世帯および父子世帯は母子世帯と比べ、「正規」群（88.0％、88.9％対49.3％）が38ポイント以上高くなっており、母子世帯の正規雇用の割合の低さが顕著である。さらに、母子世帯は、「非正規」群（34.3％）の割合が他の世帯構成に比べて極めて高くなっており、不安定な就労状況にあることが示唆される。

最後に、保護者の就労状況別に見る家計の状況に着目する。親の就労状況別に見ると、「正規」群は「非正規」群と比べ、「貯蓄が出来ている」（49.8％対13.3％）は約37ポイント高く、大きな開きがある。また、親の就労状況別で見ると、「非正規」群は「正規」群と比べ、家計状況が「赤字である」（36.7％対15.8％）は2倍以上高くなっている。この結果から、保護者の就業状況が正規雇用であるほど、貯蓄ができるなど生活が安定している傾向が見られる。

３－３．健康

困窮度別に見た、朝食の頻度（子ども票問４(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

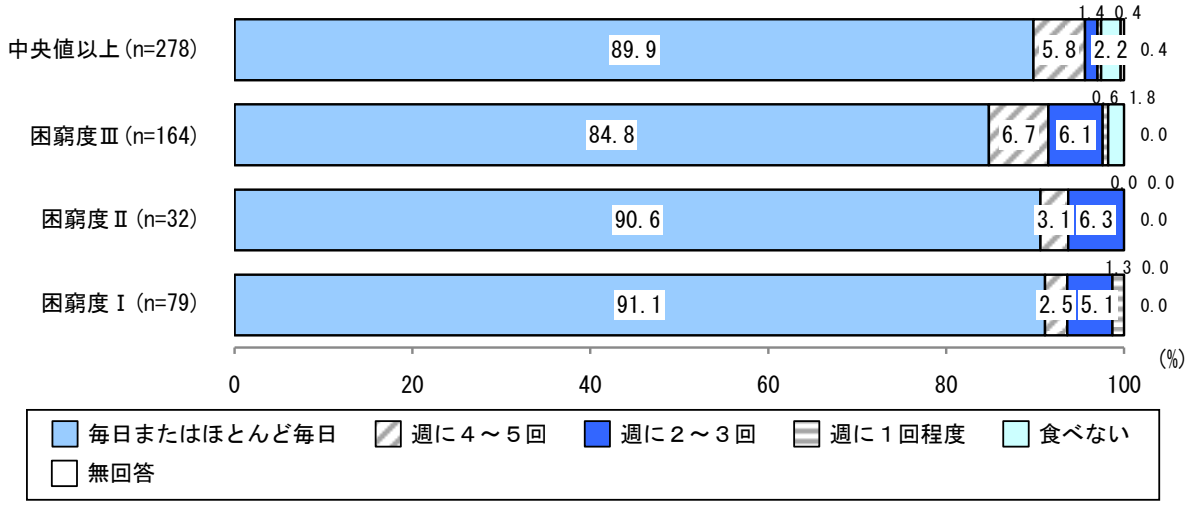
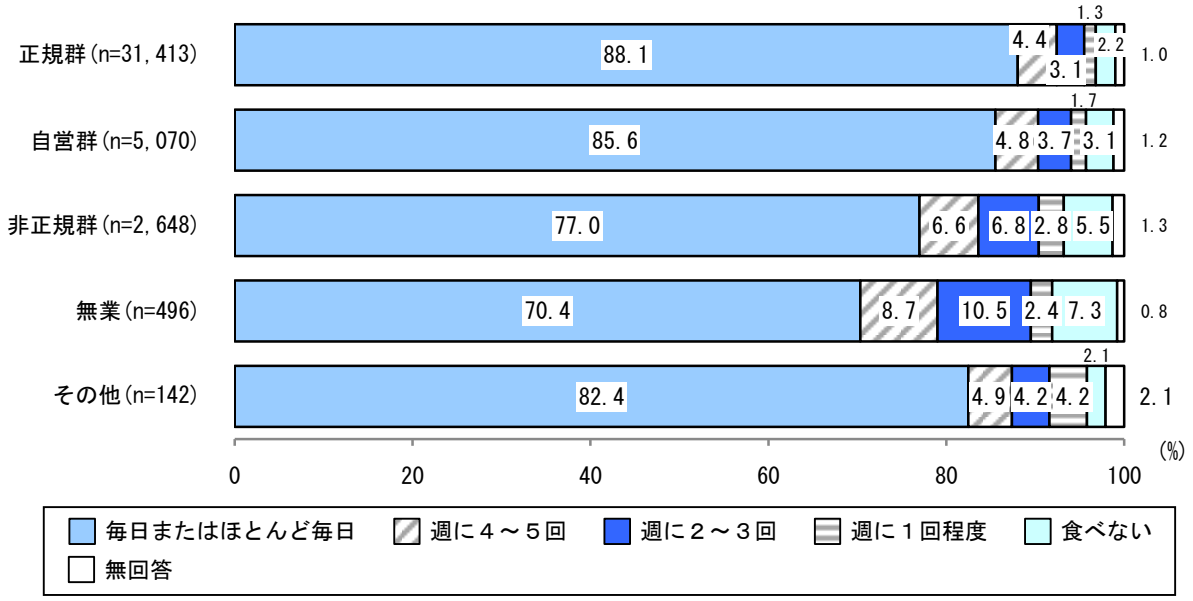


図 59. 困窮度別に見た、朝食の頻度

困窮度別に朝食の頻度を見ると、困窮度が高くなるにしたがって、「毎日またはほとんど毎日」朝食を食べる頻度が増える傾向が見られた。困窮度Ⅰ群では、91.1%が「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した。

就労状況別に見た、朝食の頻度（子ども票問４(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

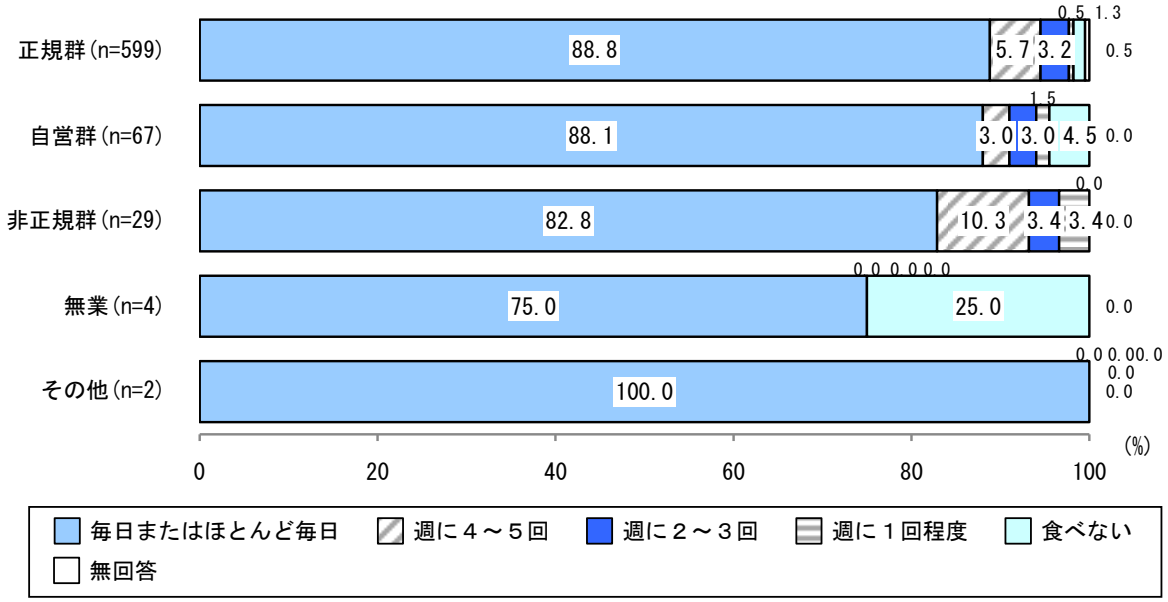
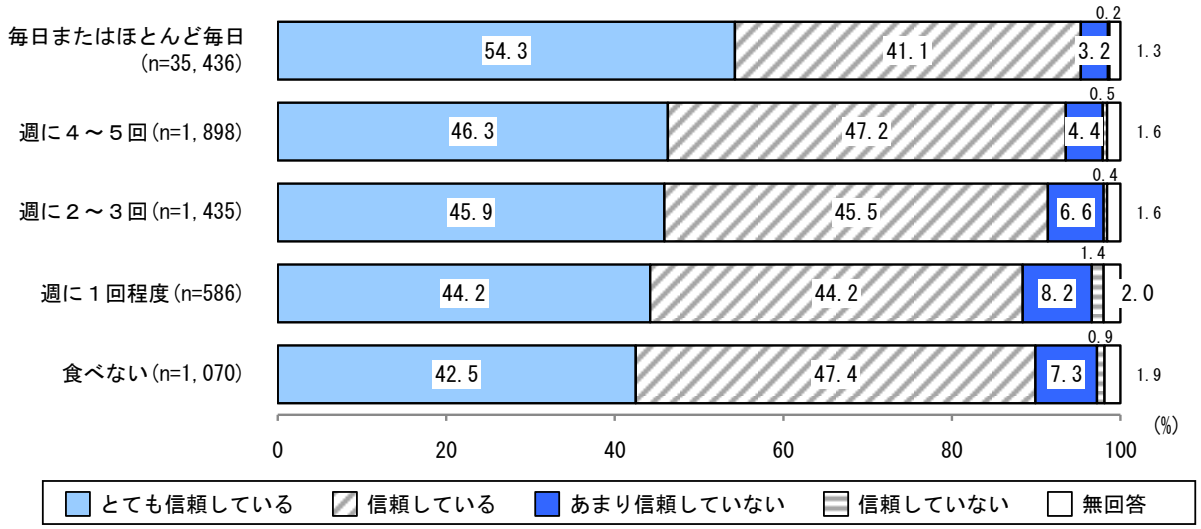


図 60. 就労状況別に見た、朝食の頻度

就労状況別に朝食の頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとる割合は、「正規群」（88.8%）が最も高く、次いで、「自営群」（88.1%）、「非正規群」（82.8%）、「無業」（75.0%）の順で朝食の頻度が低くなる。

朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問４(1)×保護者票問13(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

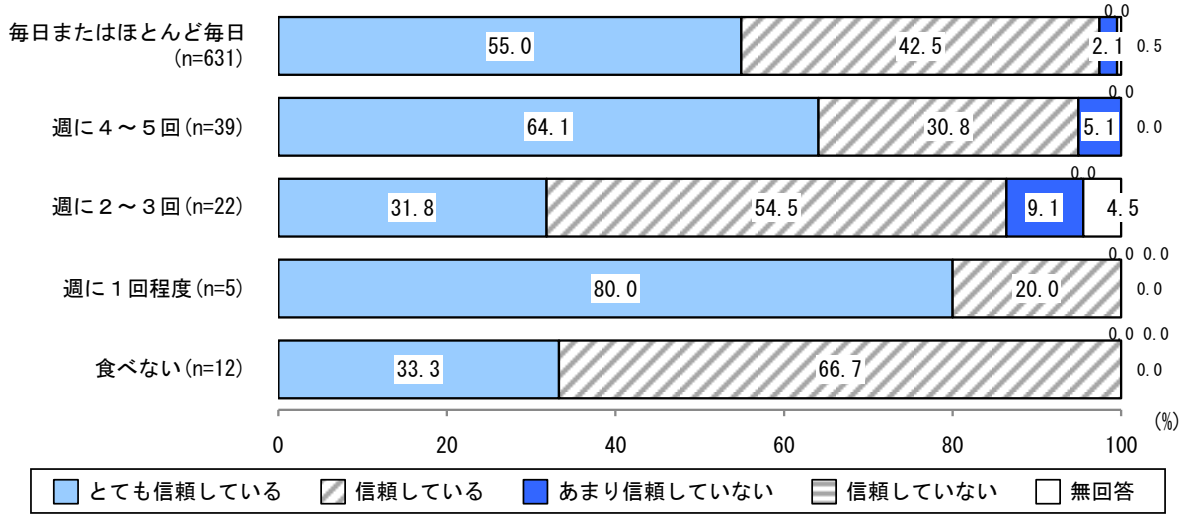
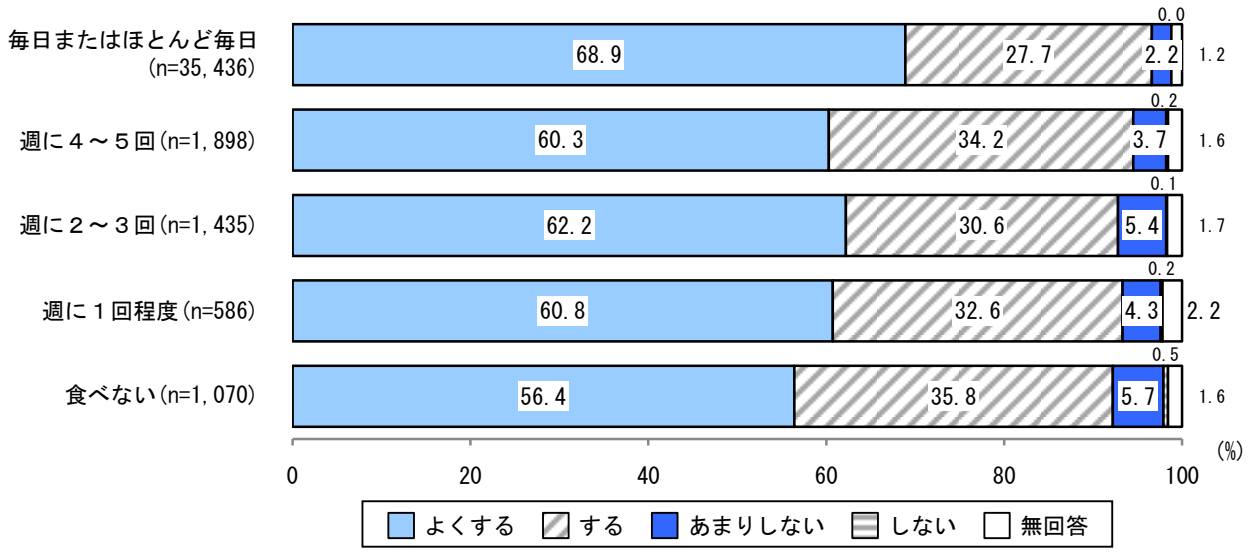


図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度

朝食の頻度別に子どもへの信頼度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、子どもを「とても信頼している」との回答が55.0％であるのに対し、「週２～３回」では、「とても信頼している」と回答した人は31.8％と低い。

朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問４(1)×保護者票問 13(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

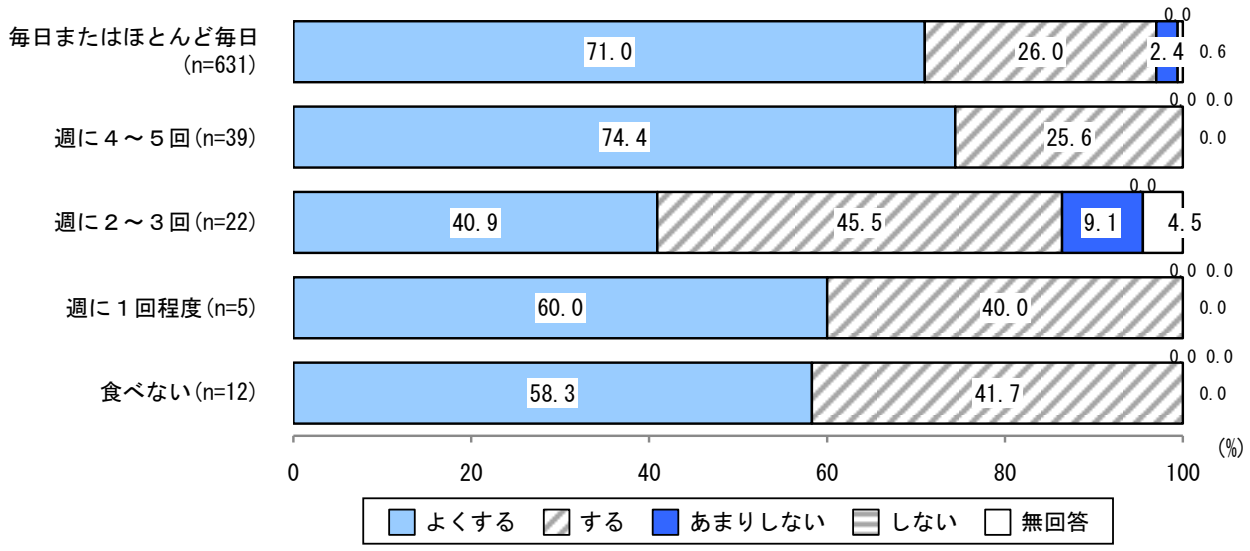
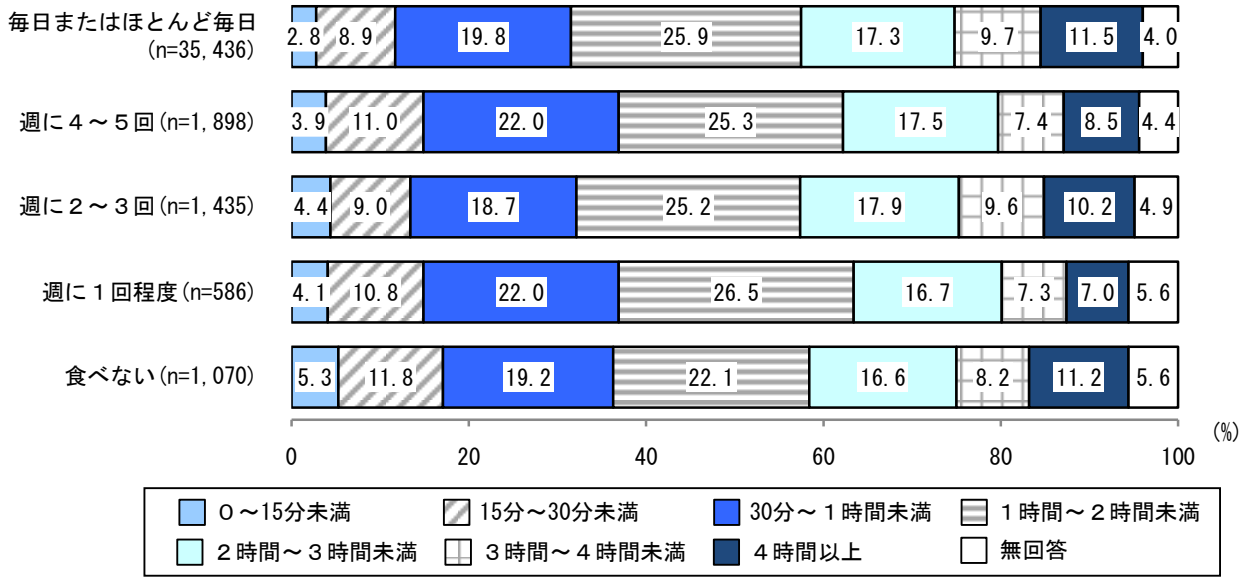


図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度

朝食の頻度別に子どもと会話頻度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、会話を「よくする」との回答が71.0%であるのに対し、「食べない」と回答した人では、「よくする」と回答した人は58.3%と低い。

朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問４(1)×保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

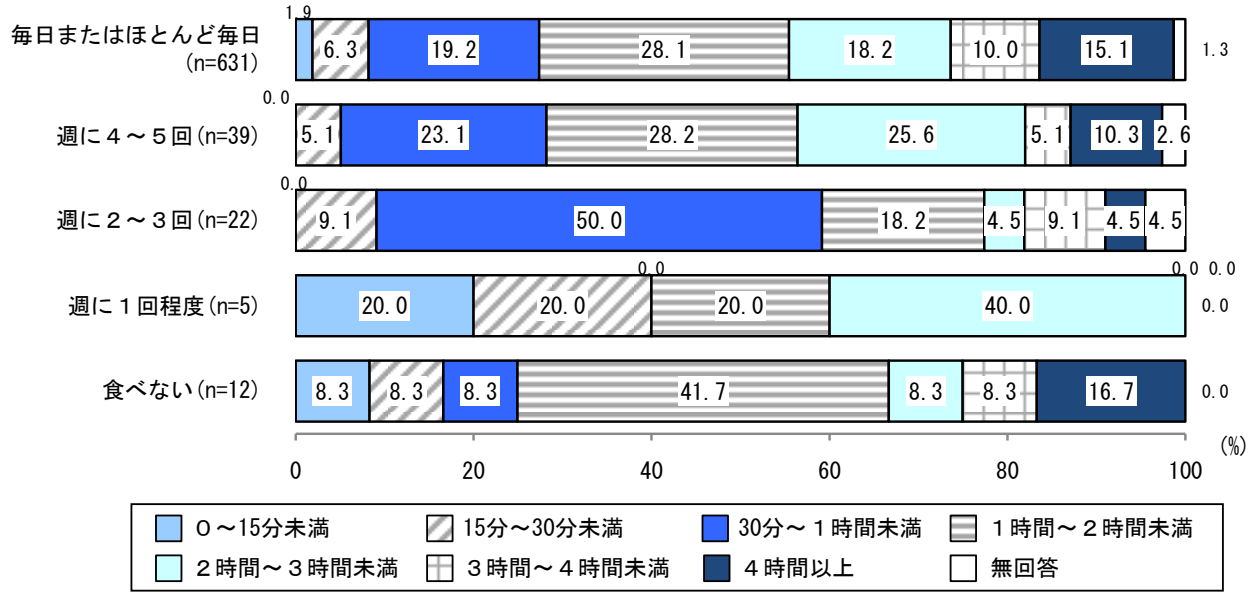
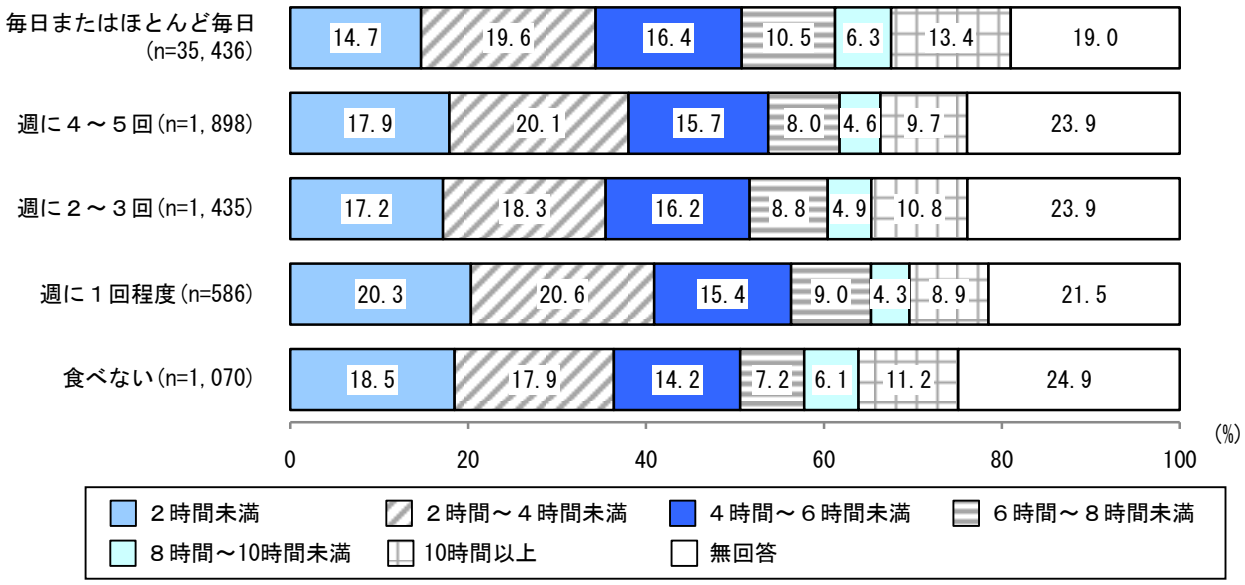


図 63. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが「食べない」の人よりも平日に子どもと一緒にいる時間が長くなっている。

朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問４(1)×保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

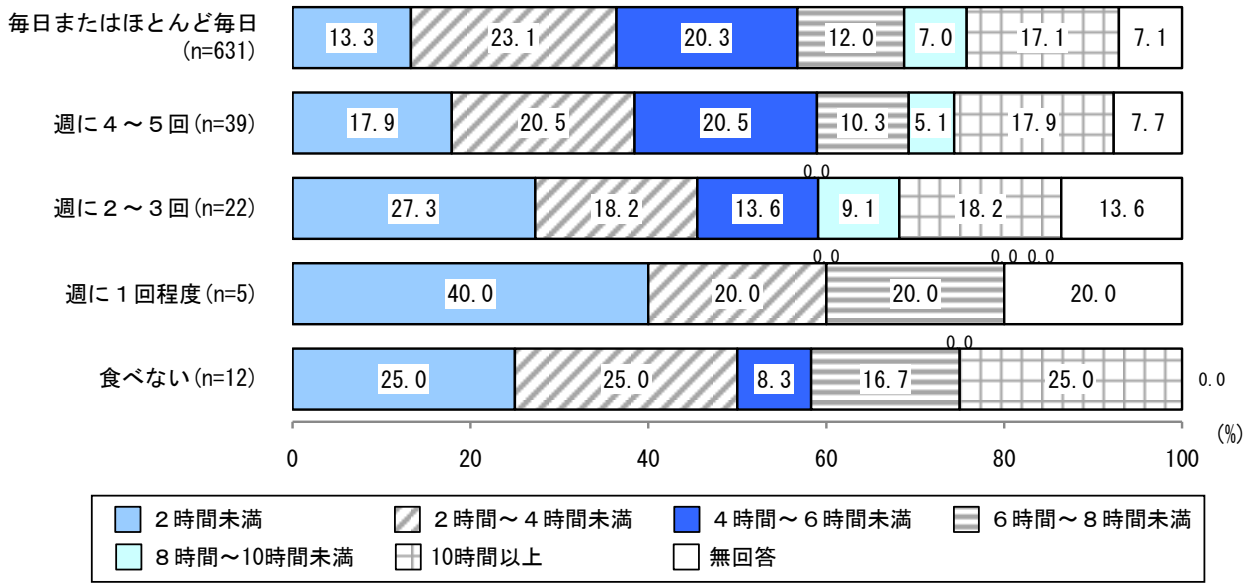
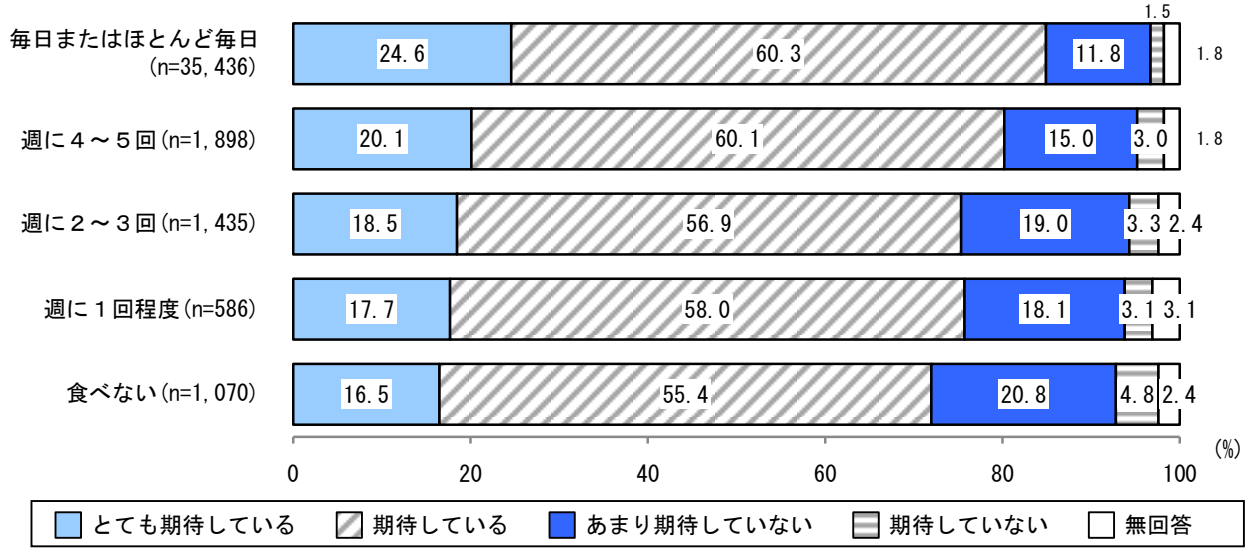


図 64. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

朝食の頻度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが、「食べない」の人よりも休日に子どもと一緒にいる時間が長くなっている。

朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問４(1)×保護者票問 13(4)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

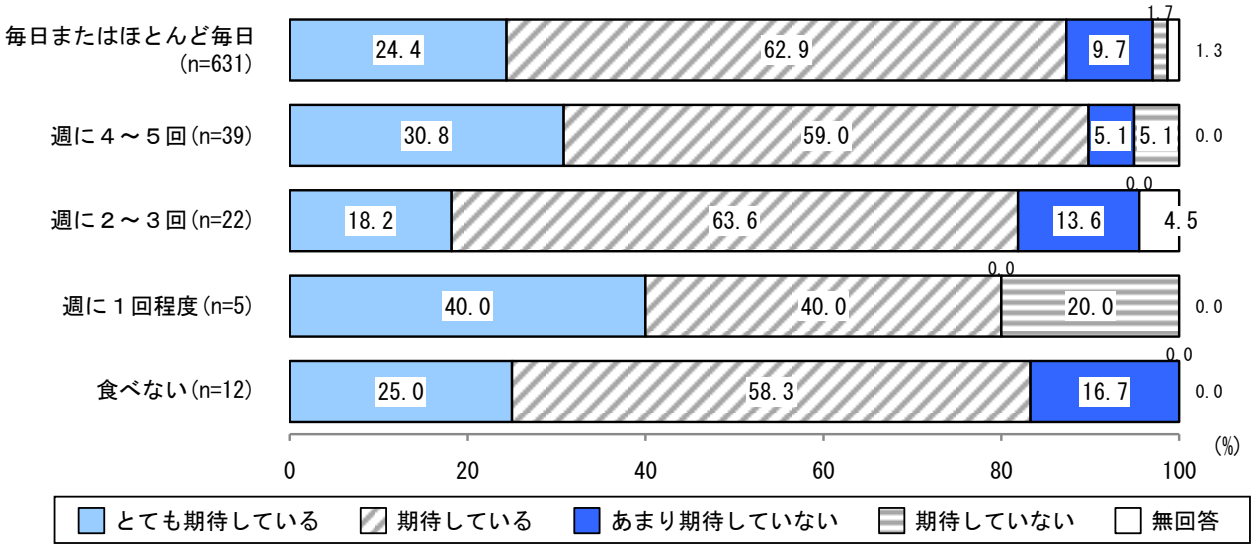


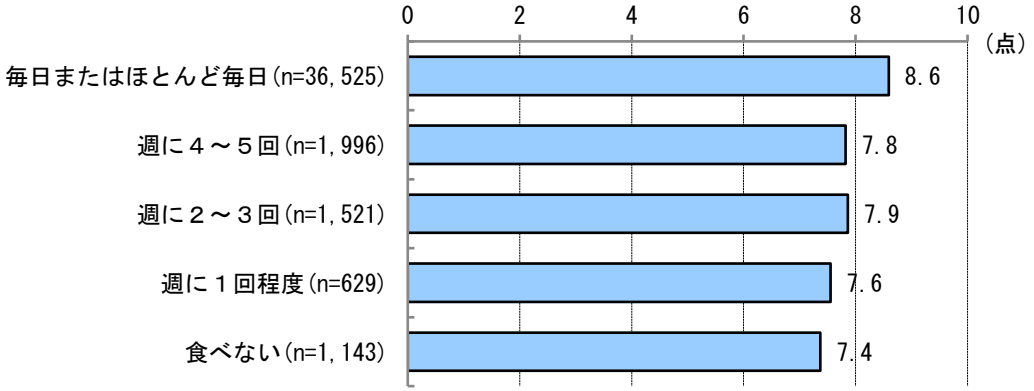
図 65. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度

朝食の頻度別に子どもの将来への期待度を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人では、「とても期待している」「期待している」をあわせて、87.3%であるのに対して、「食べない」の人では、「とても期待している」「期待している」と回答した人をあわせて83.3%と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっている人のほうが子どもの将来に対する期待が高い結果となった。

朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問４(1)×子ども票問23）

※「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「自分の将来の夢や目標を持っている」の３項目について、それぞれ４段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

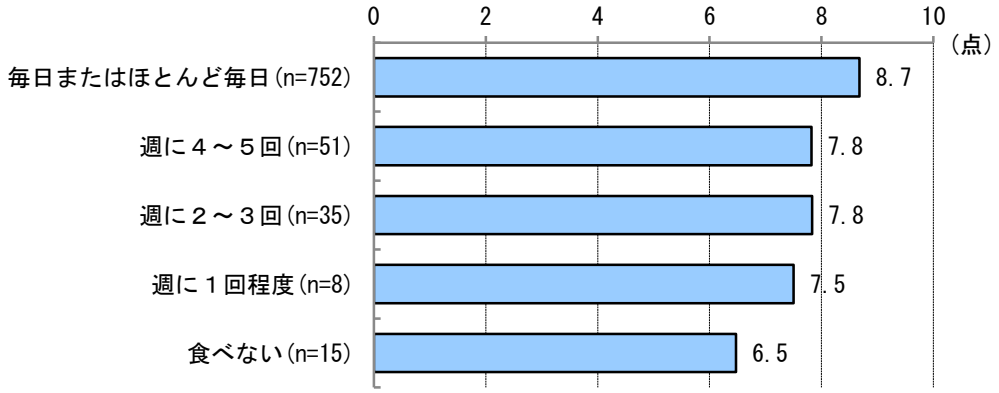
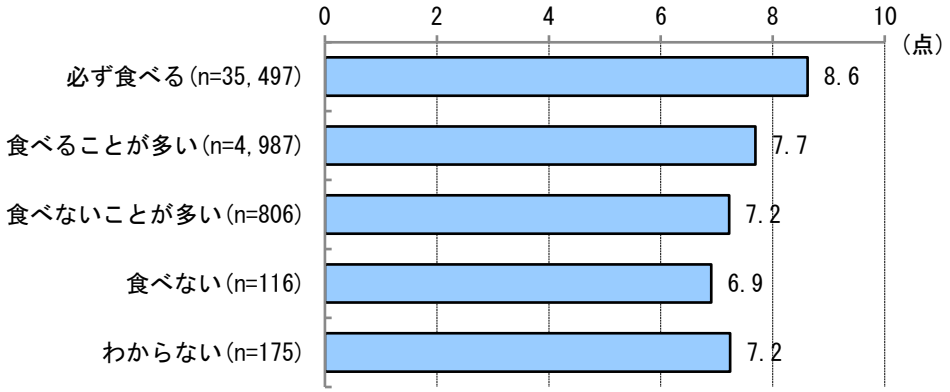


図 66. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

朝食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人では、8.7点であるのに対して、「食べない」では、6.5点と、「毎日またはほとんど毎日」朝食をとっていると回答した人のほうが子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問６(1)×子ども票問 23）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

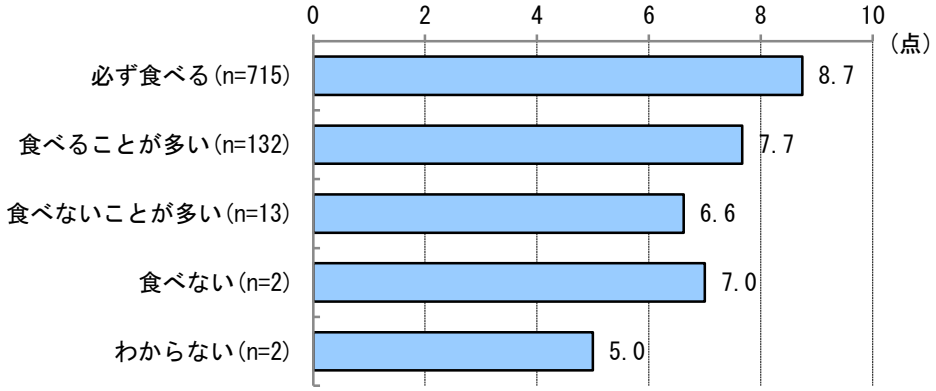
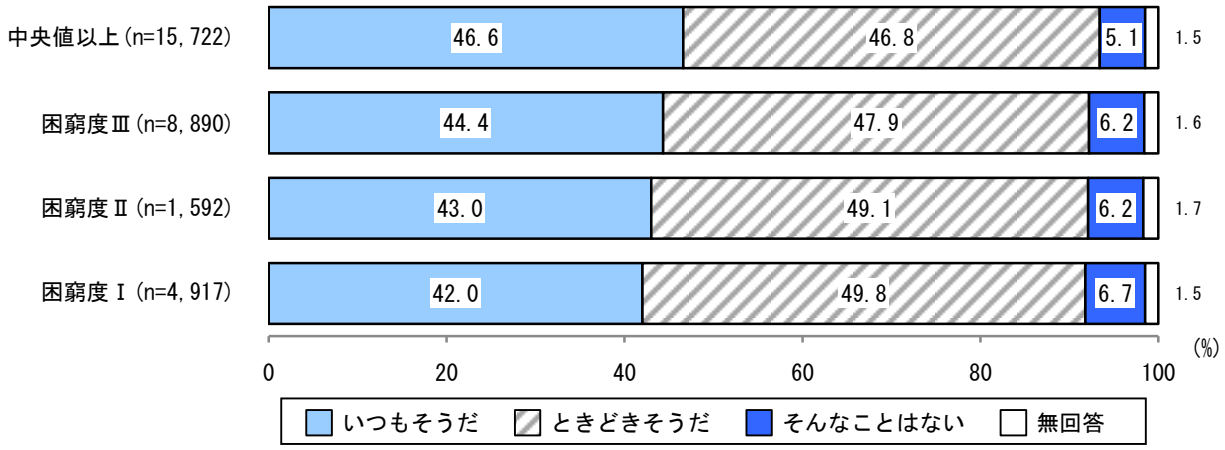


図 67. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

休日の昼食の頻度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「必ず食べる」と回答した人の得点が8.7点であるのに対して、「食べない」と回答した人は5.0点と昼食を「必ず食べる」と回答した人のほうが、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い結果となった。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある
（子ども票問 19①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

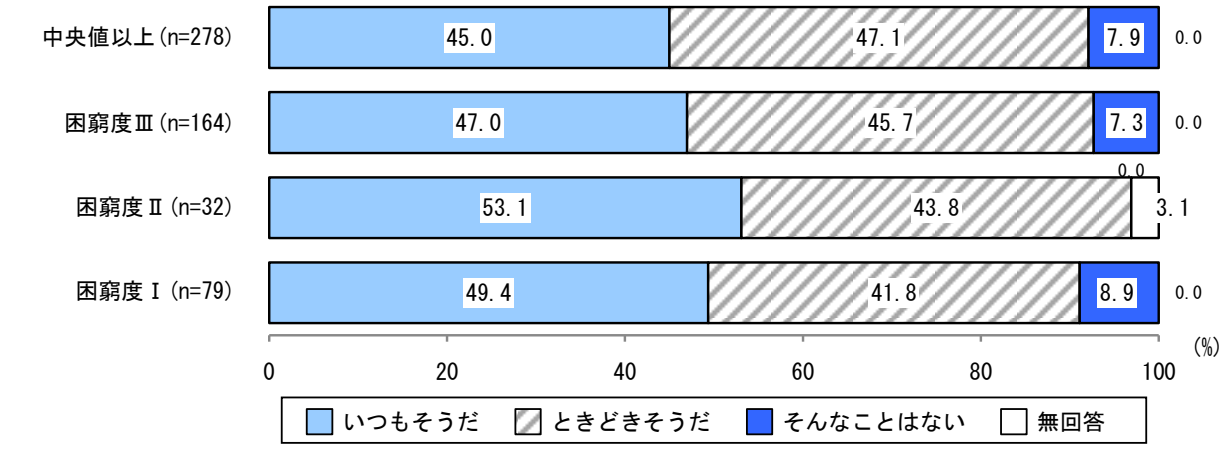
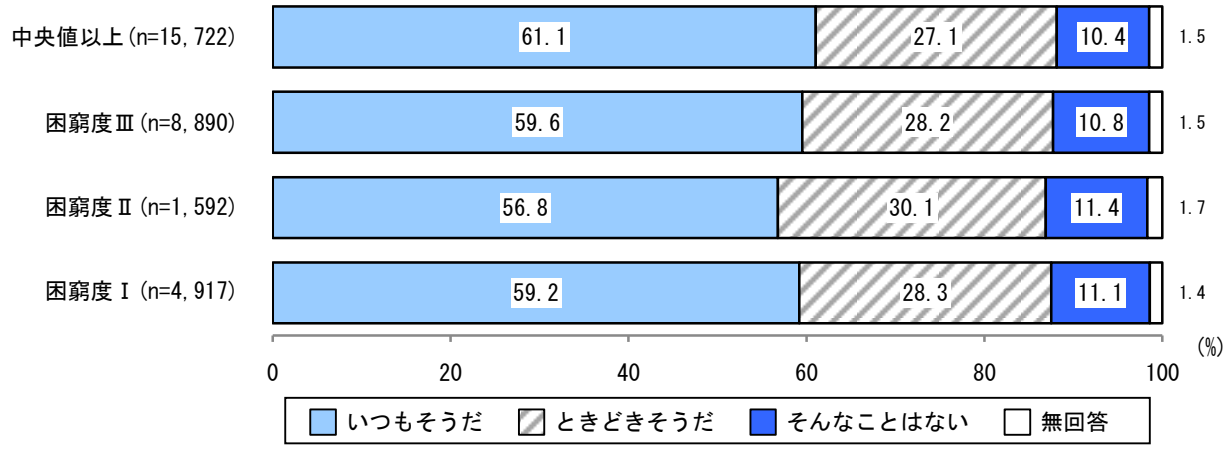


図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、「いつもそうだ」と回答する人の割合は困窮度Ⅱ群が53.1%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ（子ども票問 19②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

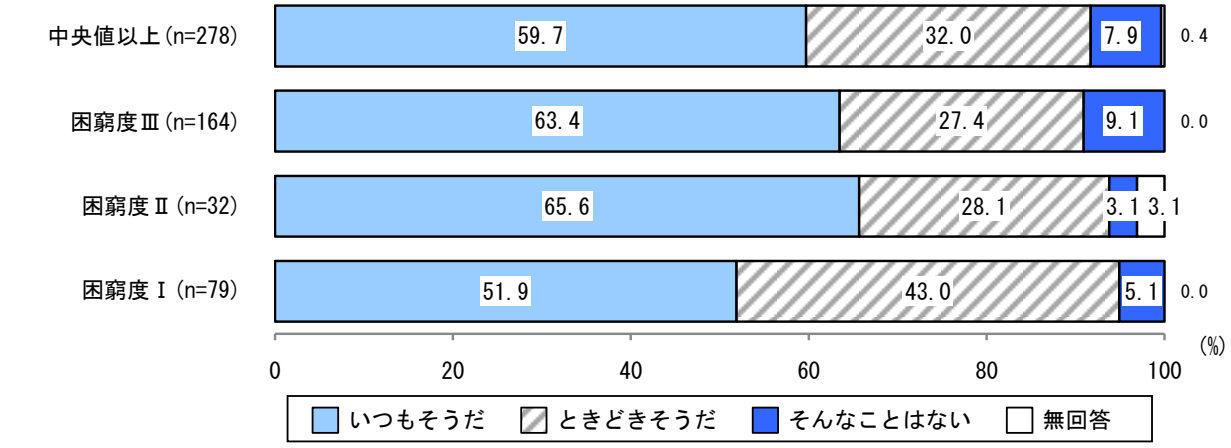
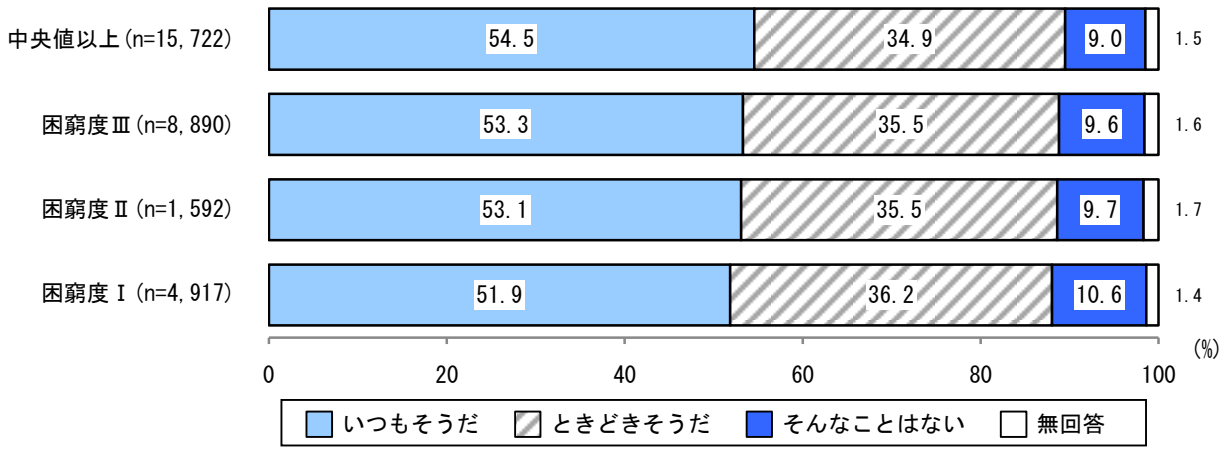


図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（51.9%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ（子ども票問 19③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

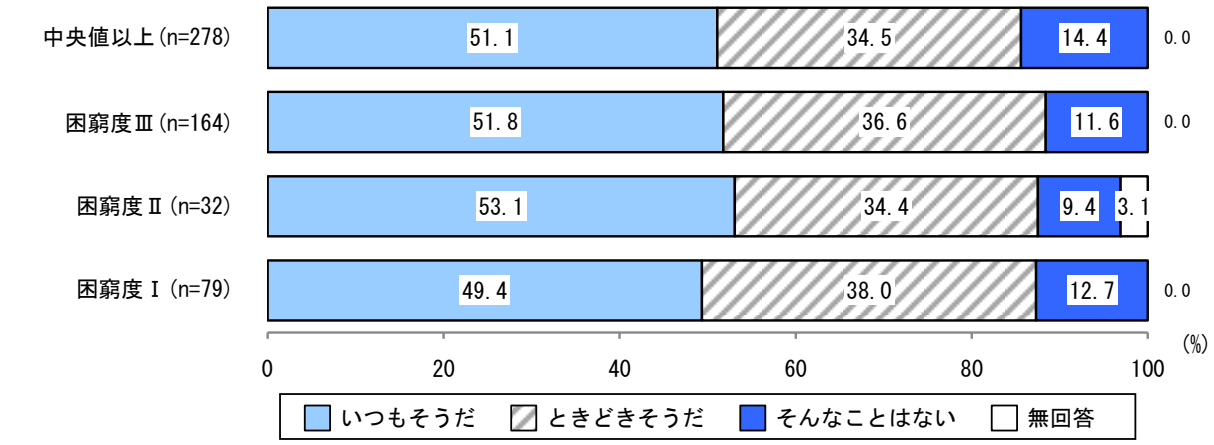
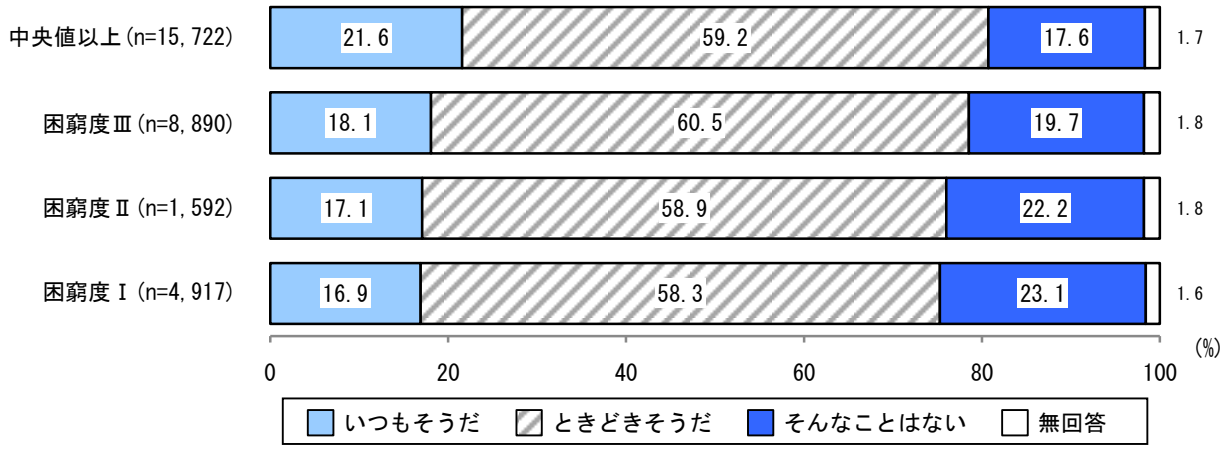


図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（49.4%）で最も低くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる
（子ども票問 19④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

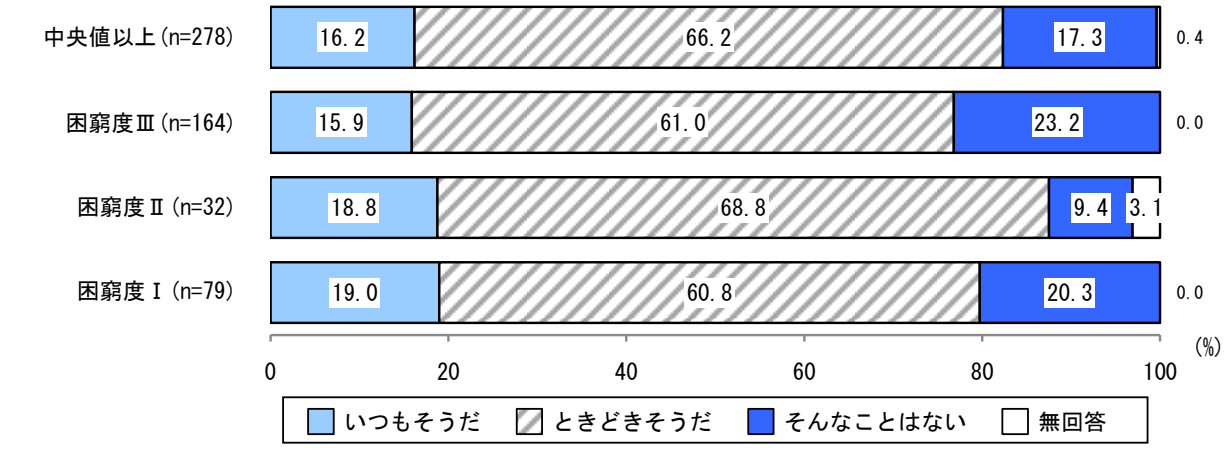
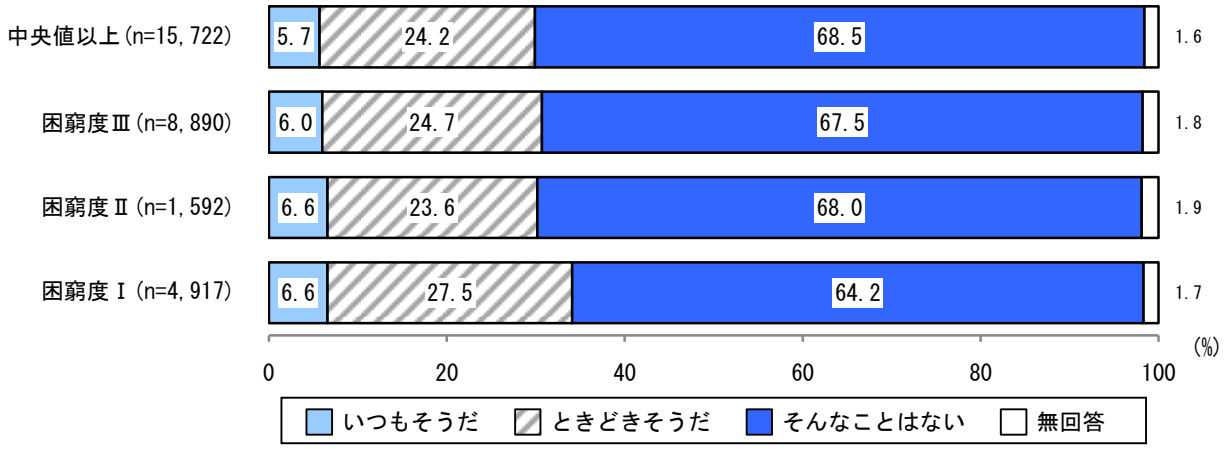


図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、困窮度が高まるにつれ、「いつもそうだ」と回答する割合が高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする
（子ども票問 19⑤）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

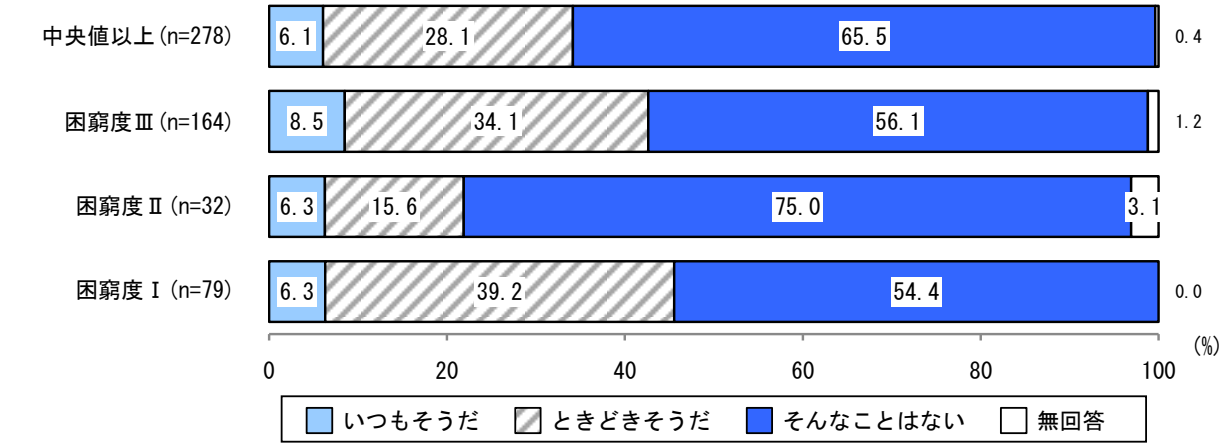
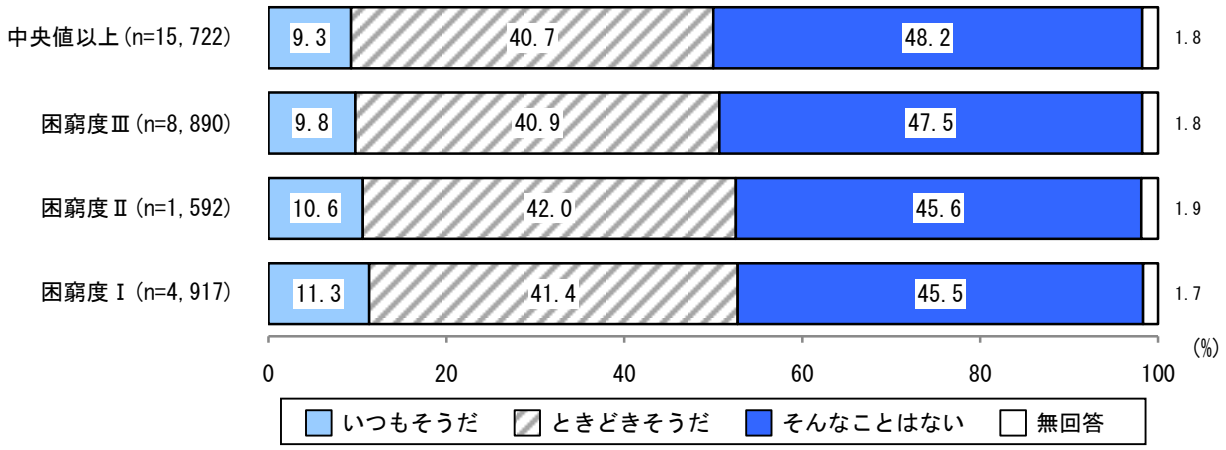


図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅲ群（8.5%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる（子ども票問 19⑥）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

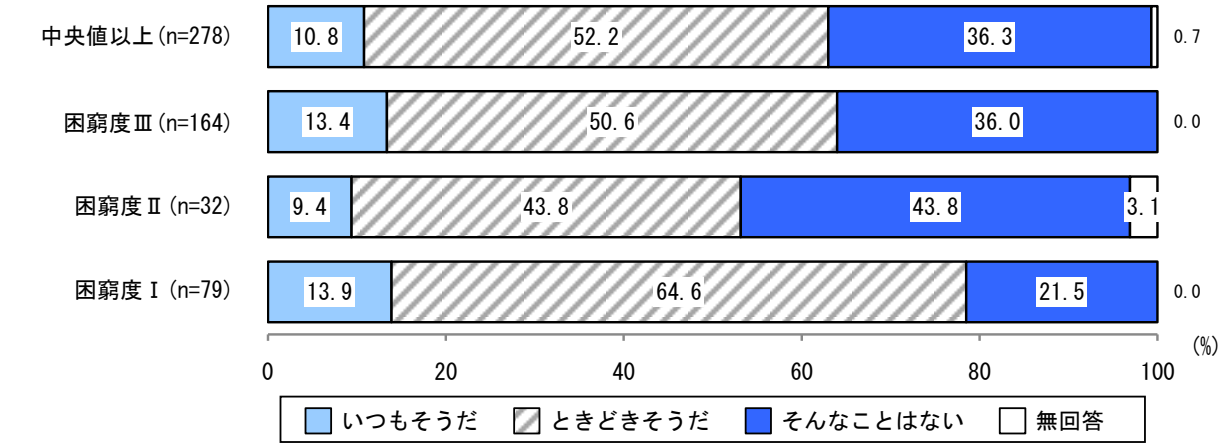
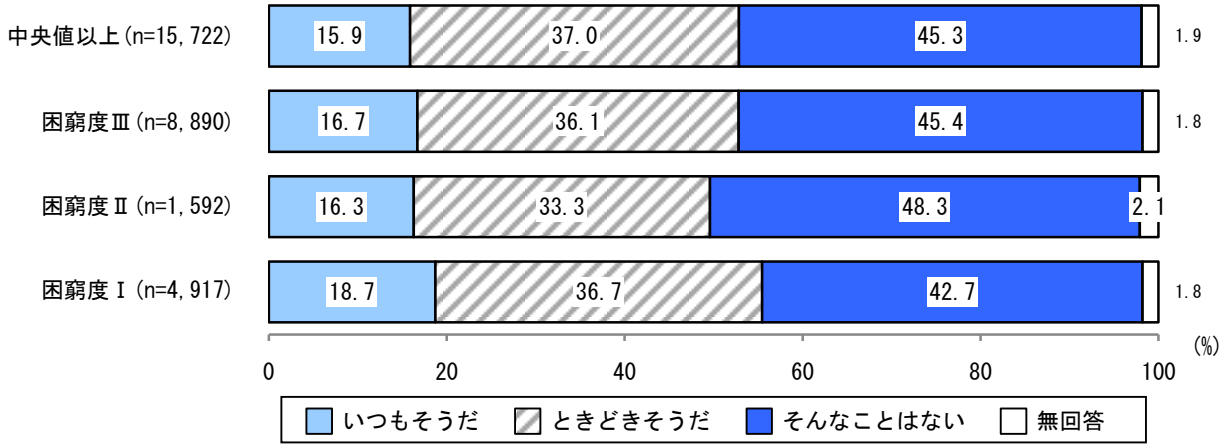


図 73. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅰ群（13.9%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる（子ども票問 19⑦）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

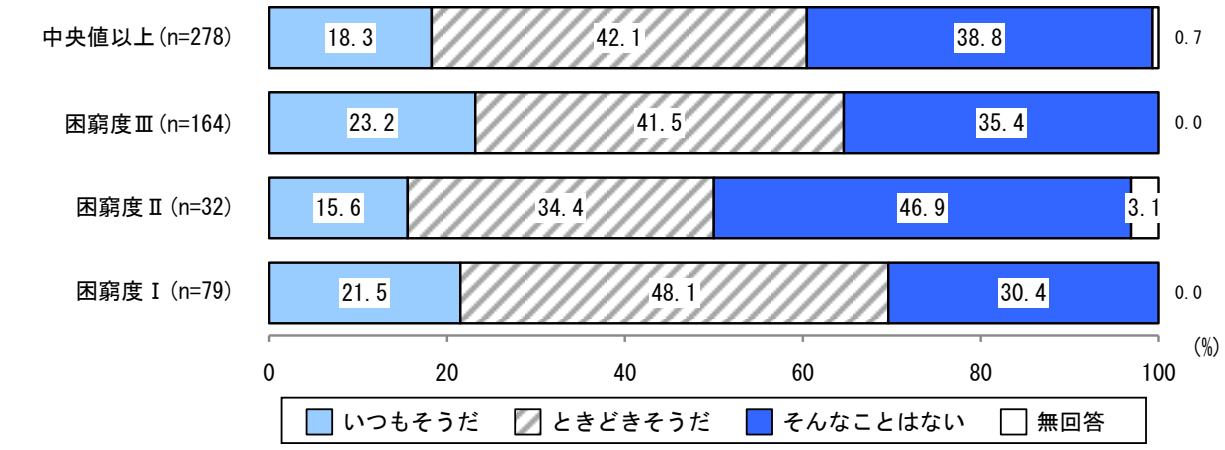
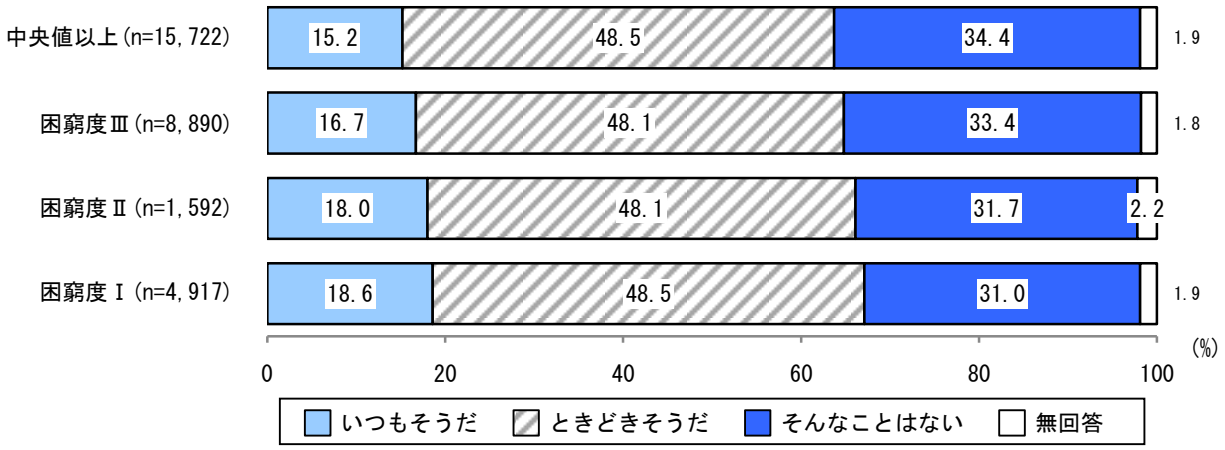


図 74. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅲ群（23.2%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない（子ども票問 19⑧）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

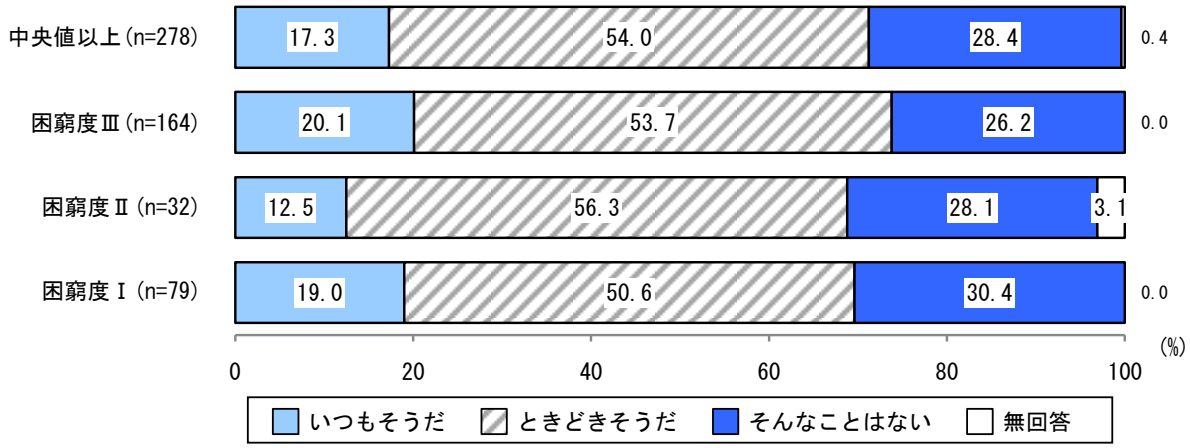
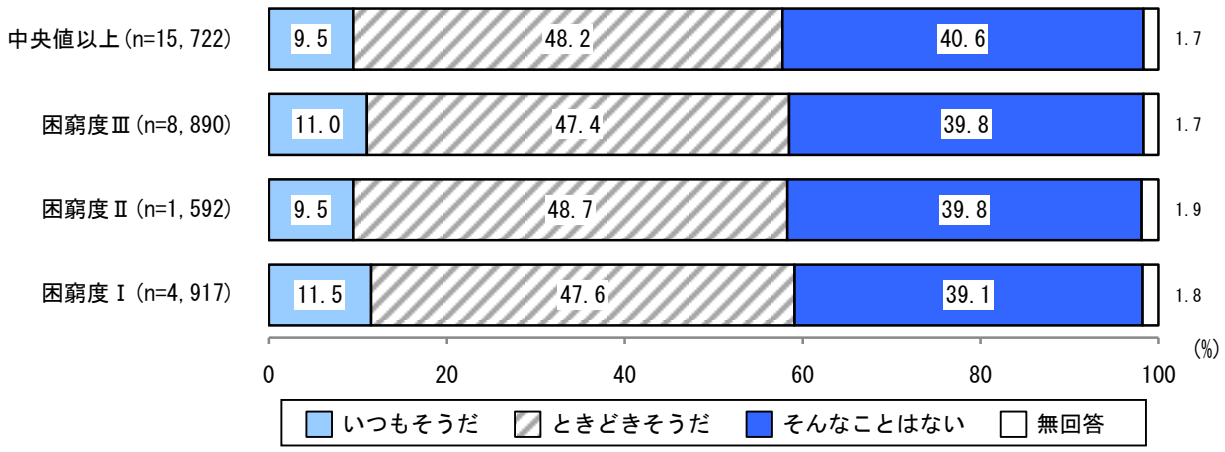


図 75. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅲ群（20.1%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする（子ども票問 19⑨）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

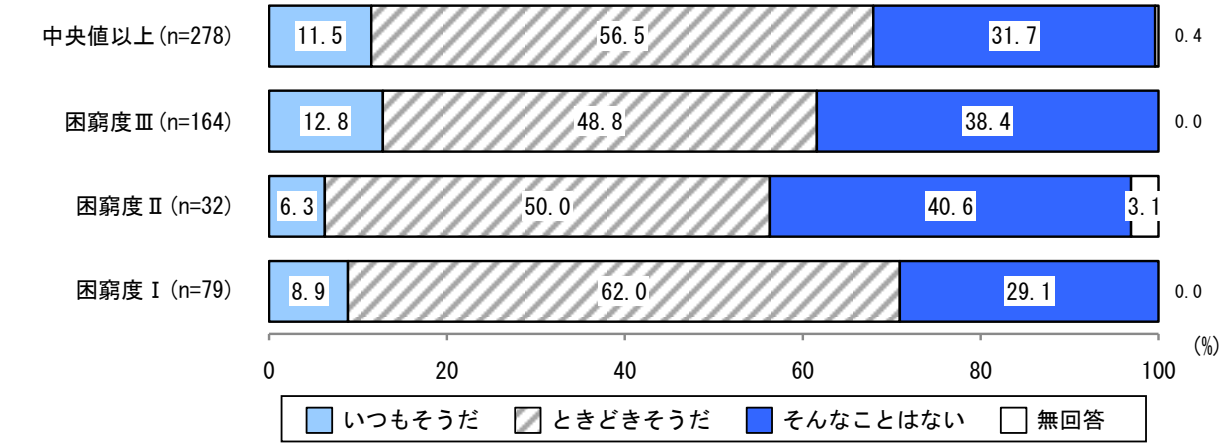
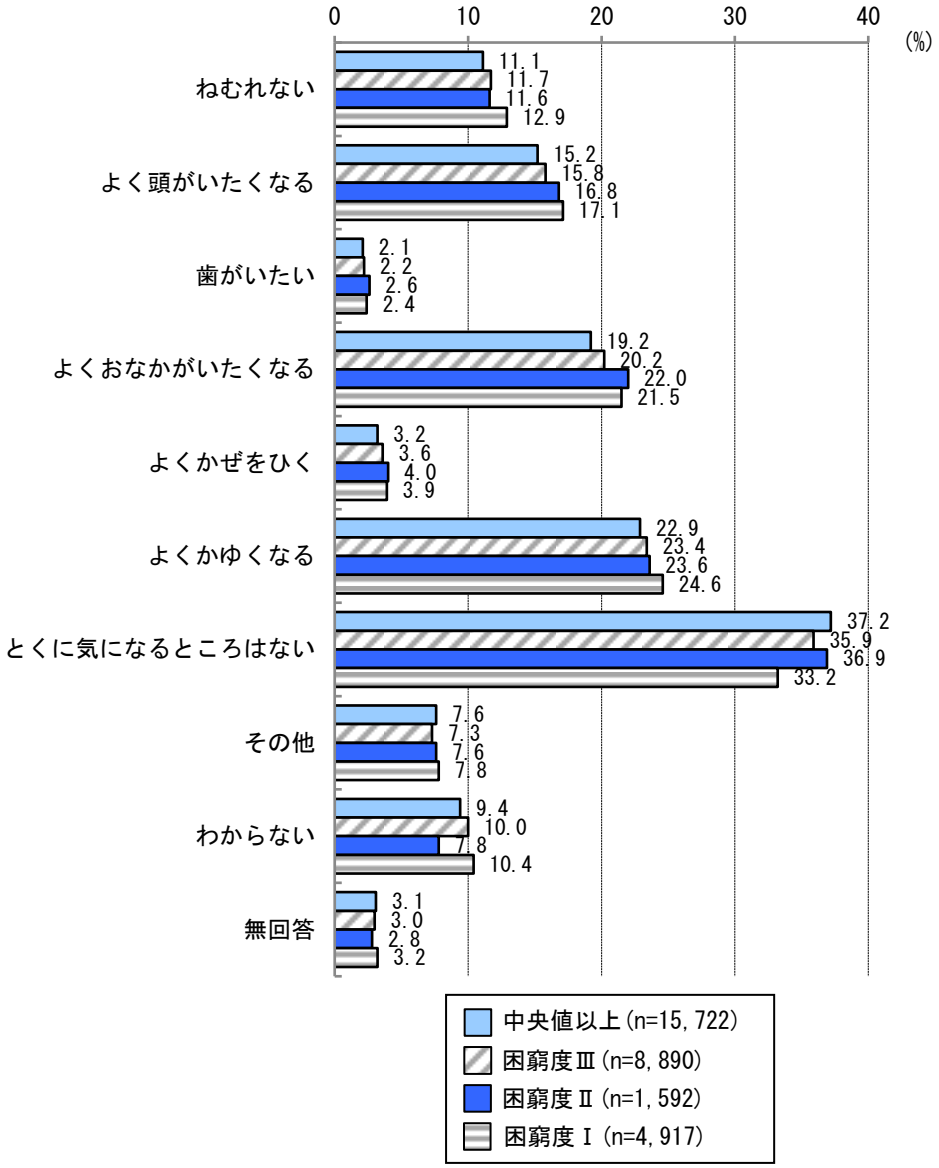


図 76. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする

困窮度別にこの一週間の気持ちの状況でいらいらするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は困窮度Ⅲ群（12.8%）で最も高くなっている。

困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること（子ども票問 20）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

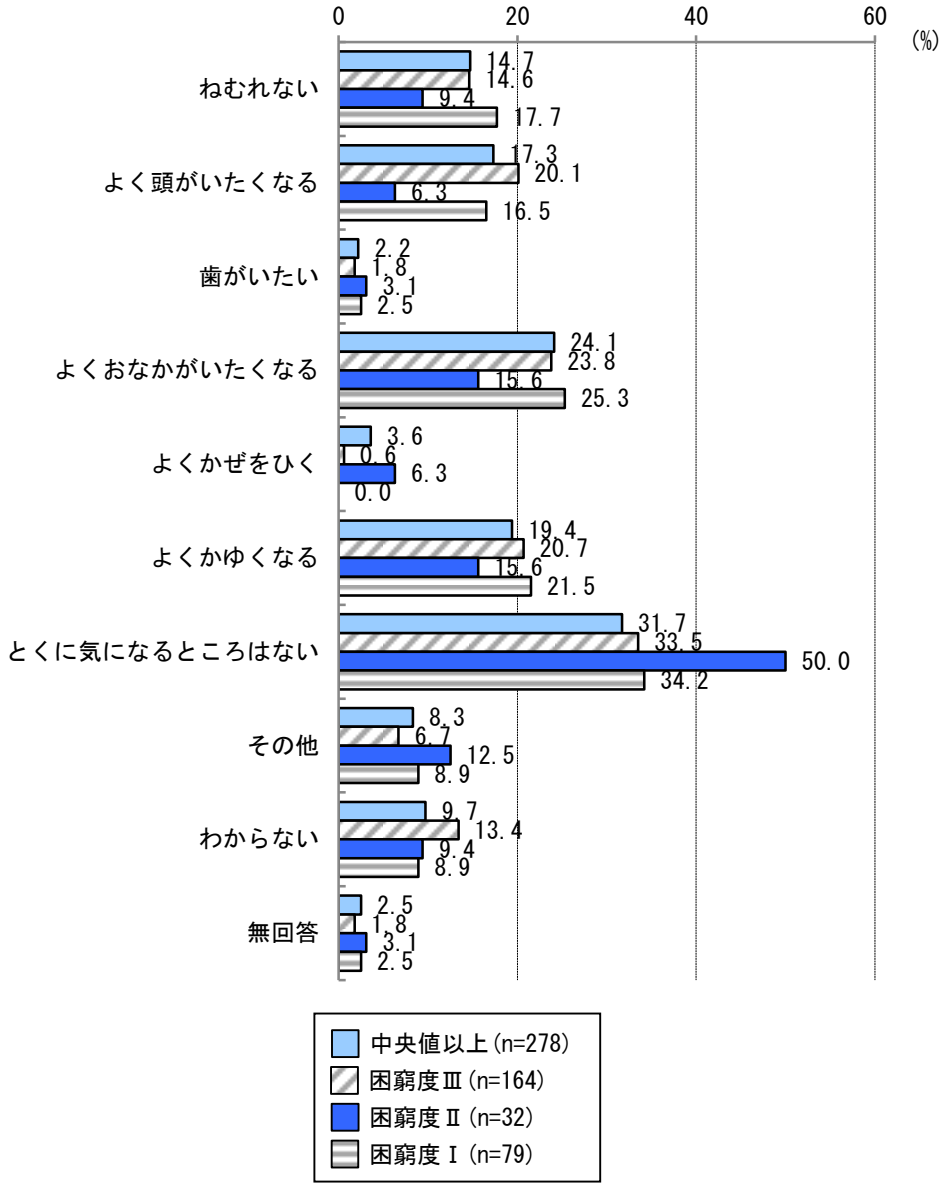
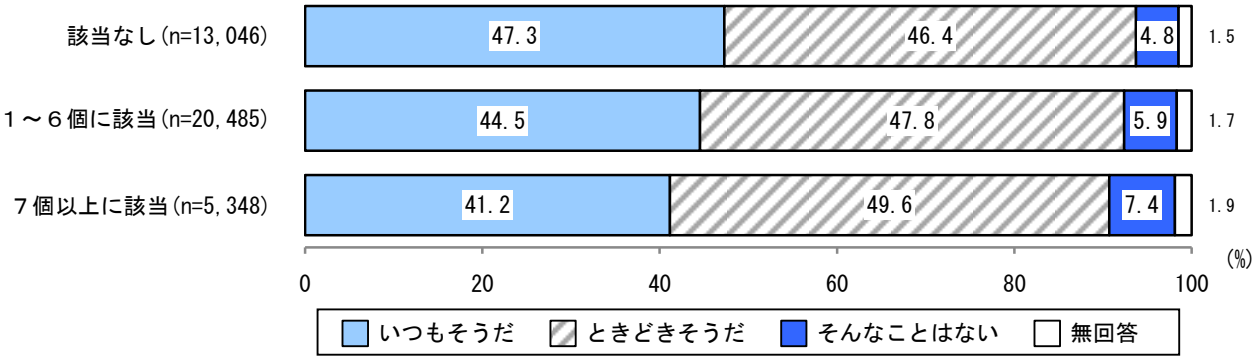


図 77. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること

困窮度別に自分の体の状態で気になることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「ねむれない」17.7%（中央値以上群に対して1.2倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある（保護者票問７×子ども票問 19①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

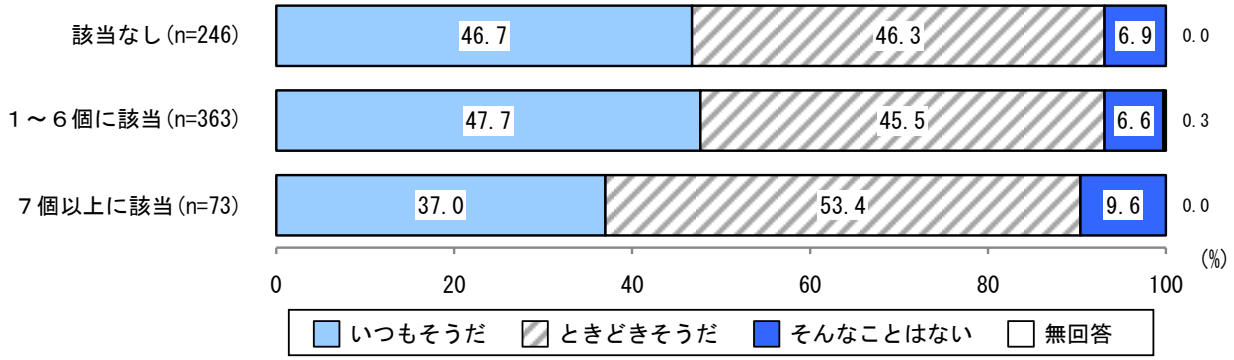
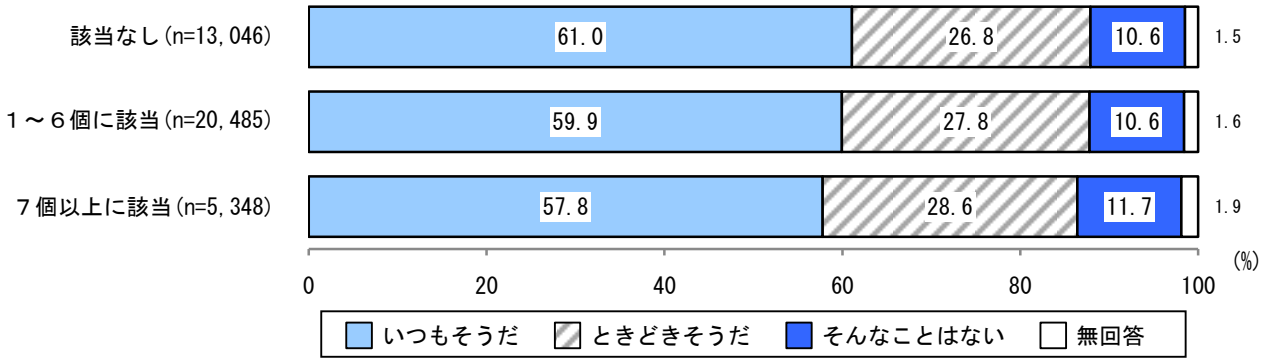


図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
①楽しみにしていることがたくさんある

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で楽しみにしていることがたくさんあるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が低く、「７個以上に該当」（37.0%）で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ（保護者票問７×子ども票問 19②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

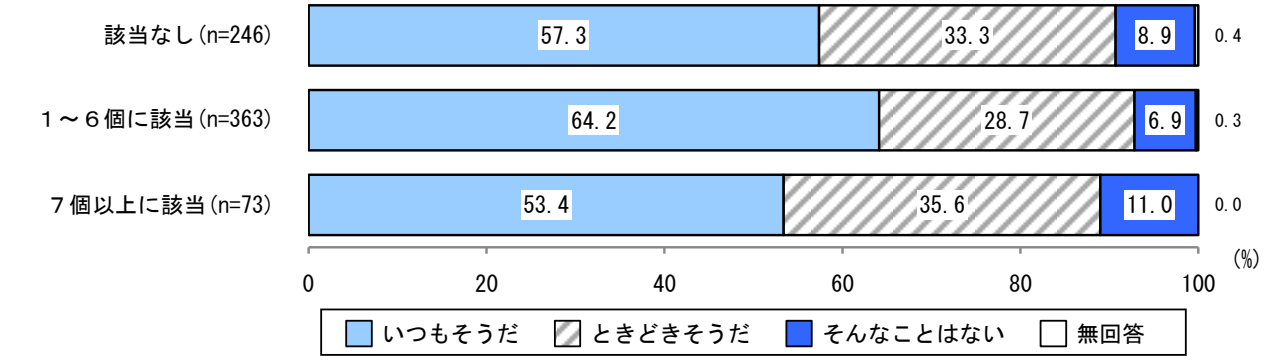
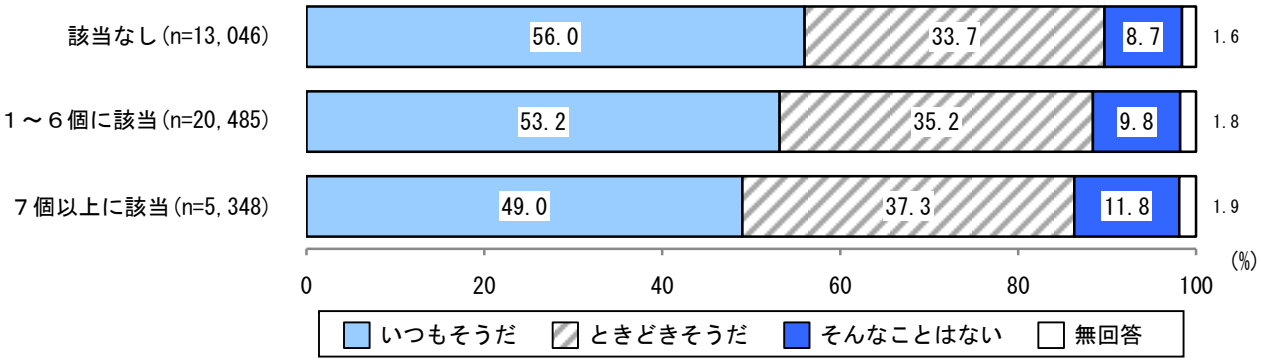


図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
②遊びにでかけるのが好きだ

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で遊びにでかけるのが好きだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「７個以上に該当」（53.4%）で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ
（保護者票問７×子ども票問 19③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

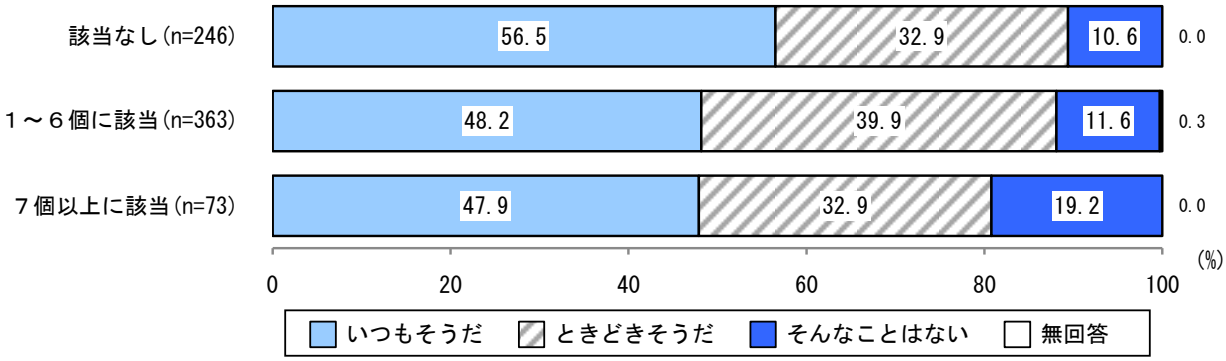
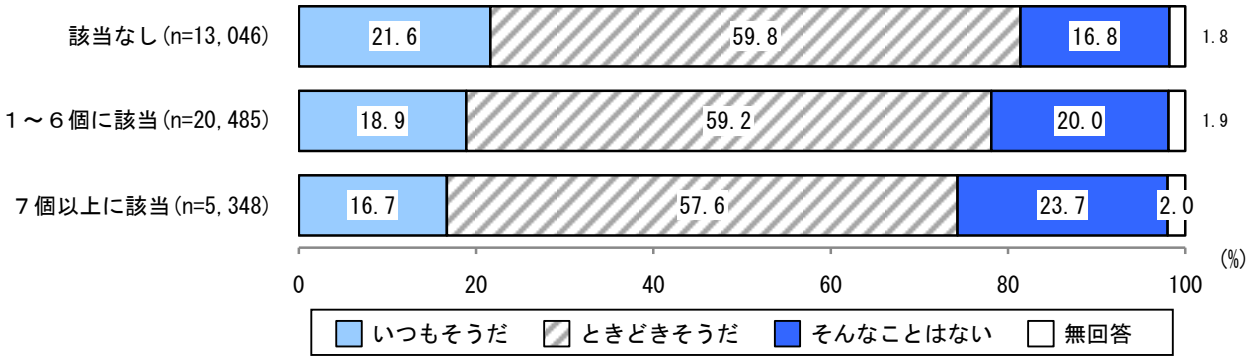


図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で元気いっぱいだを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は概ね、該当数が多い人ほど割合が低く、「７個以上に該当」が47.9%となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる（保護者票問７×子ども票問 19④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

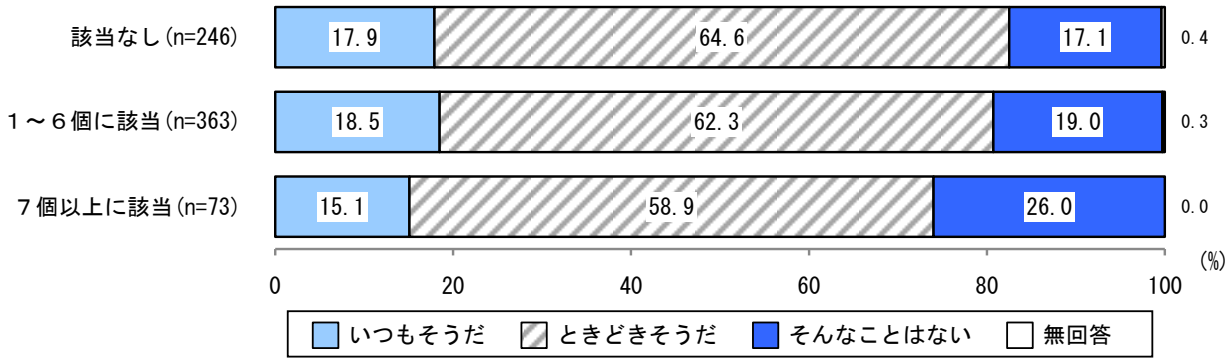
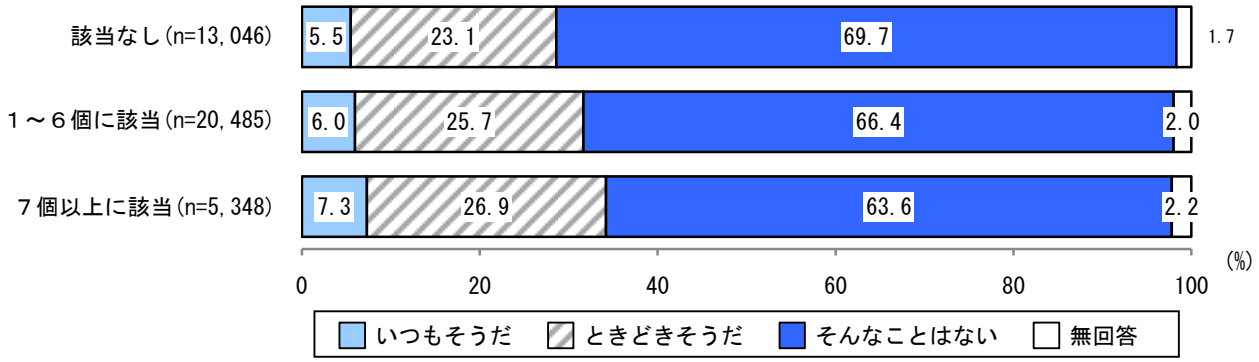


図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
④やろうと思ったことがうまくできる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやろうと思ったことがうまくできるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「７個以上に該当」（15.1%）で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする（保護者票問７×子ども票問 19⑤）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

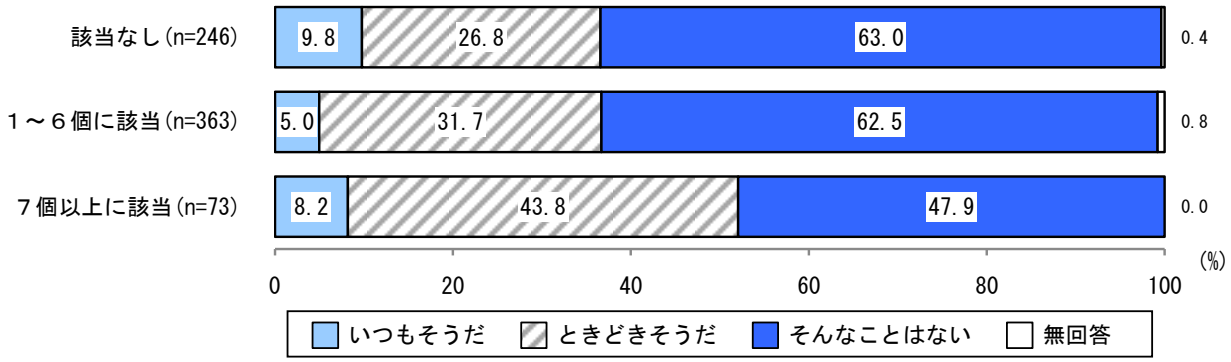
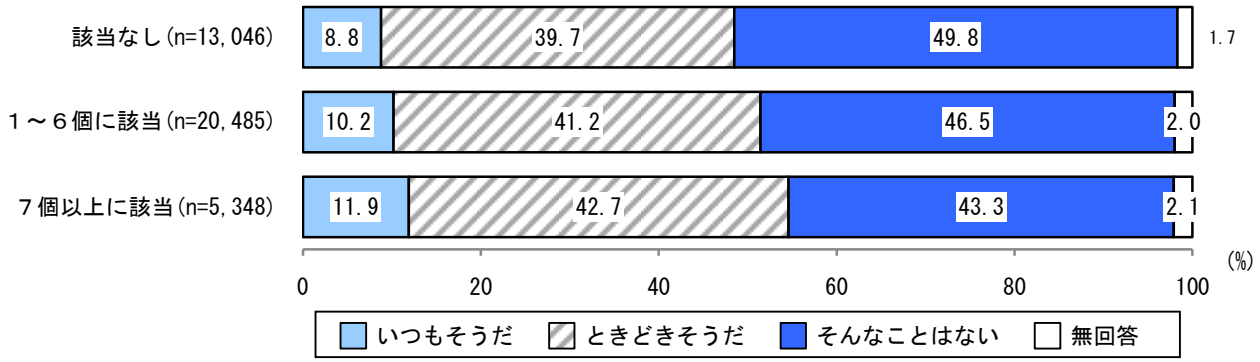


図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑤一人ぼっちのような気がする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で一人ぼっちのような気がするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「該当なし」（9.8%）で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況
⑥不安な気持ちになる（保護者票問７×子ども票問 19⑥）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

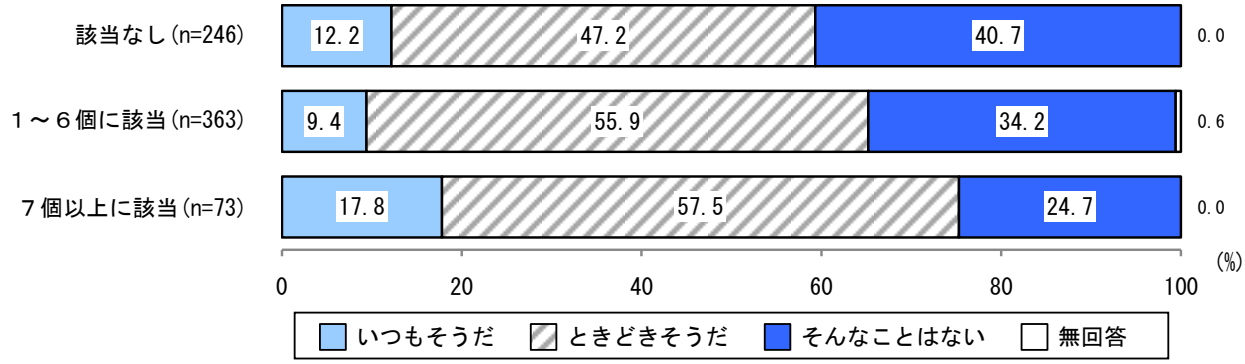
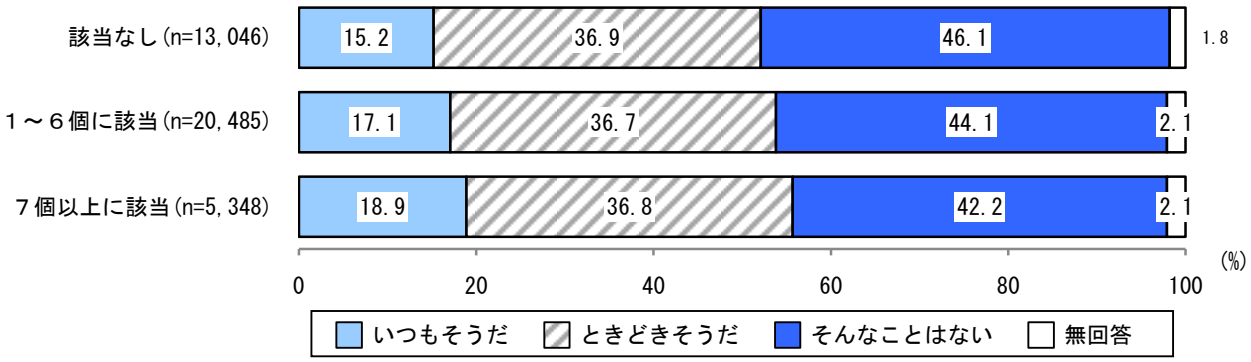


図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況で不安な気持ちになるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「１～６個に該当」（9.4%）で最も低くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる
（保護者票問７×子ども票問 19⑦）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

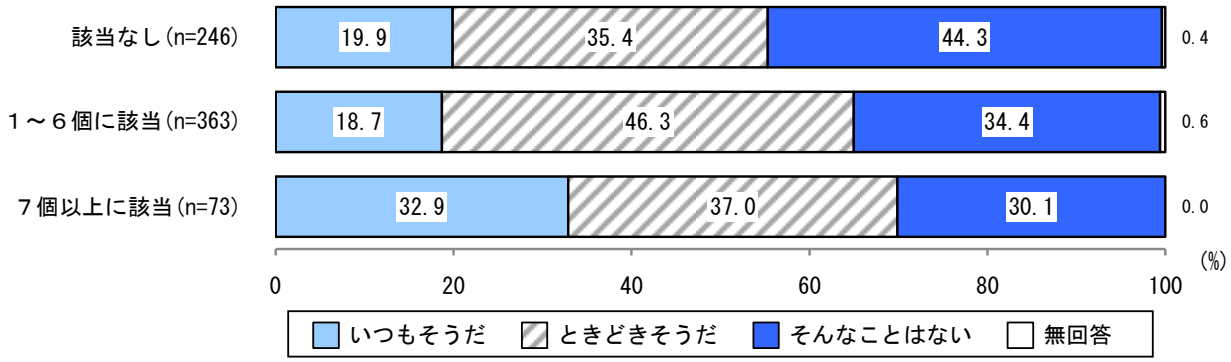
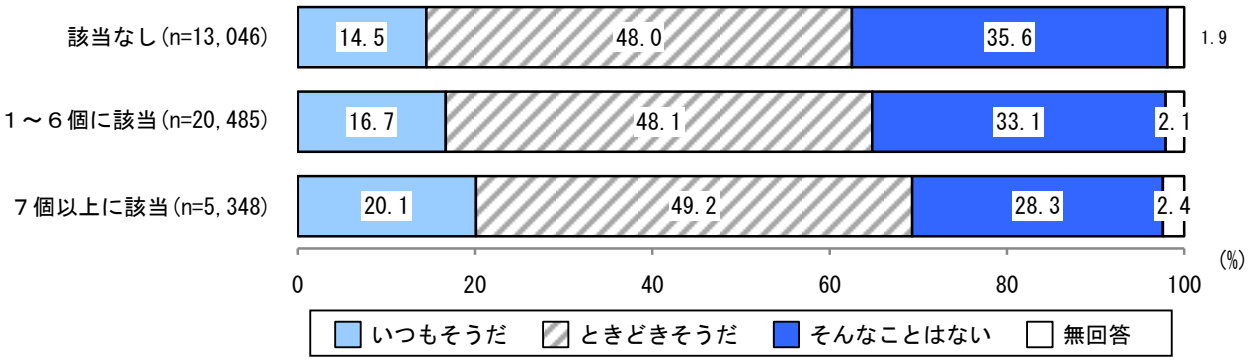


図 84. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でまわりが気になるを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「７個以上に該当」（32.9%）で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない
（保護者票問７×子ども票問 19⑧）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

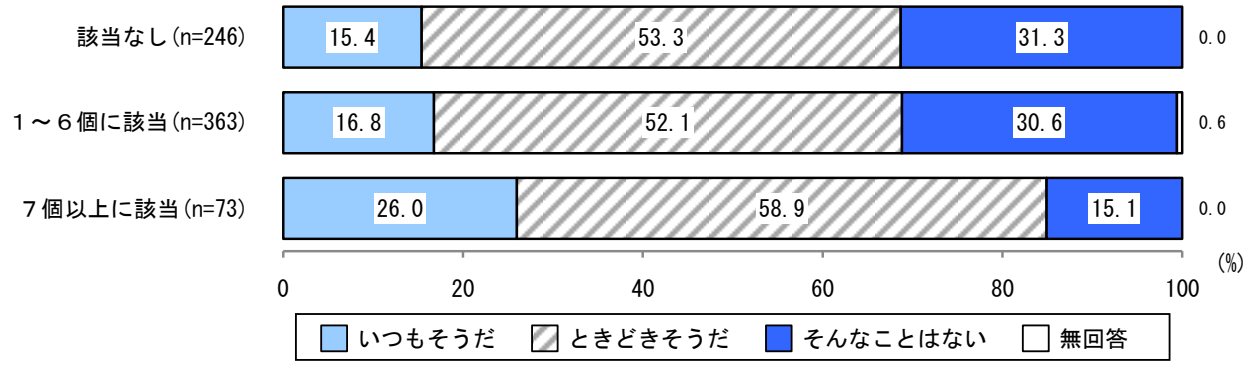
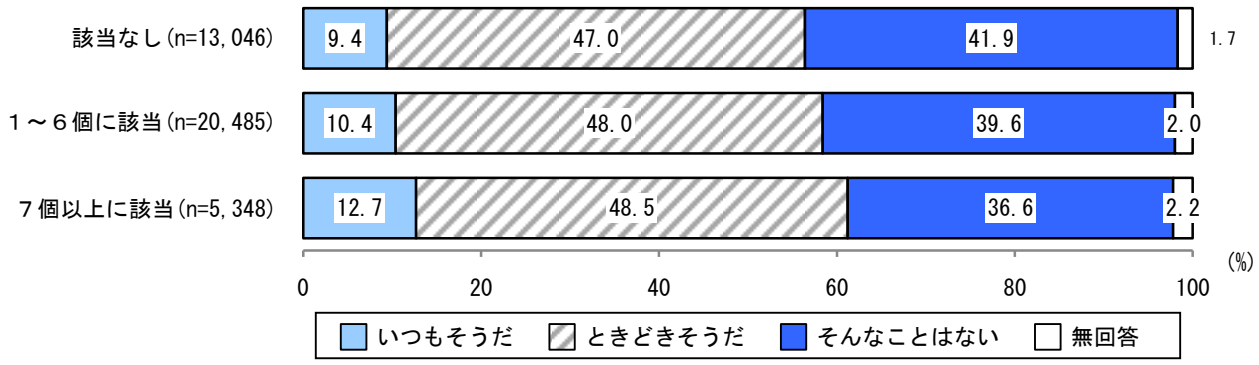


図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でやる気が起きないを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は該当数が多い人ほど割合が高く、「７個以上に該当」が26.0%で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする
（保護者票問７×子ども票問 19⑨）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

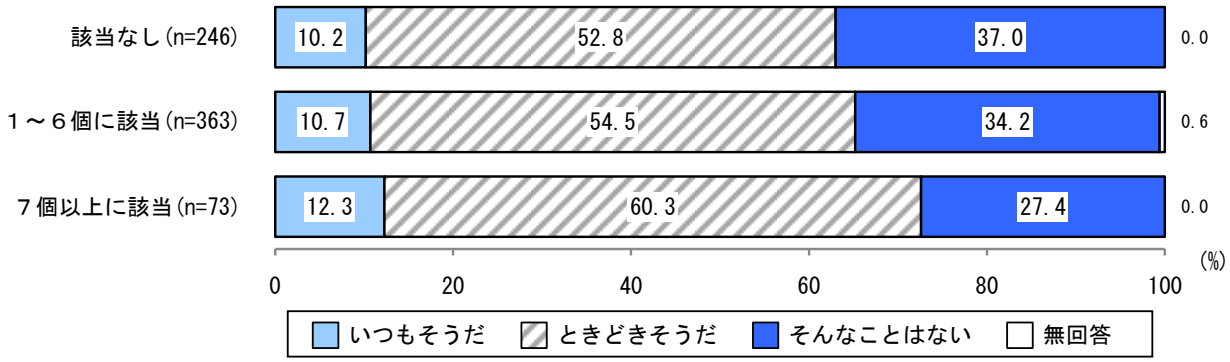
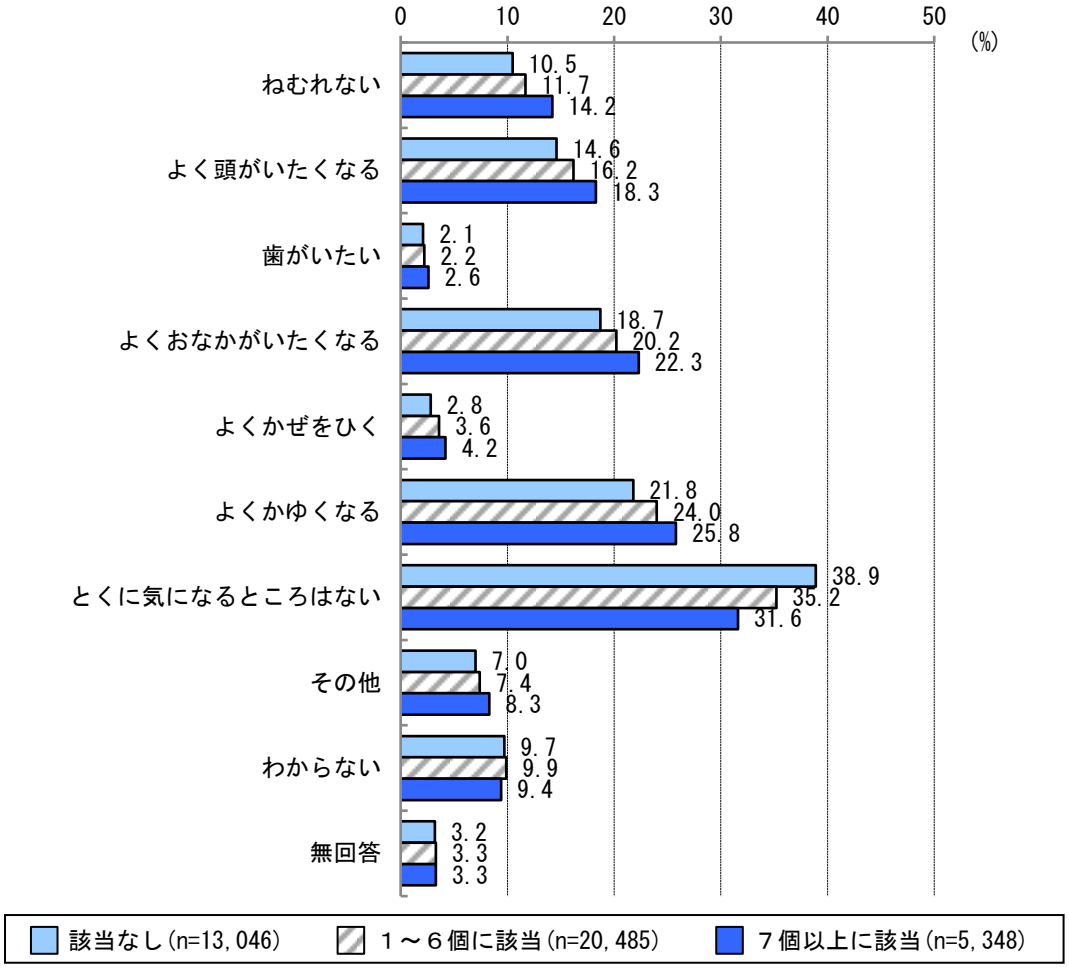


図 86. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする

経済的な理由による経験の該当数別にこの一週間の気持ちの状況でいらいらするを見ると、「いつもそうだ」と回答した人は「７個以上に該当」が12.3%で最も高くなっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること
（保護者票問７×子ども票問 20）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

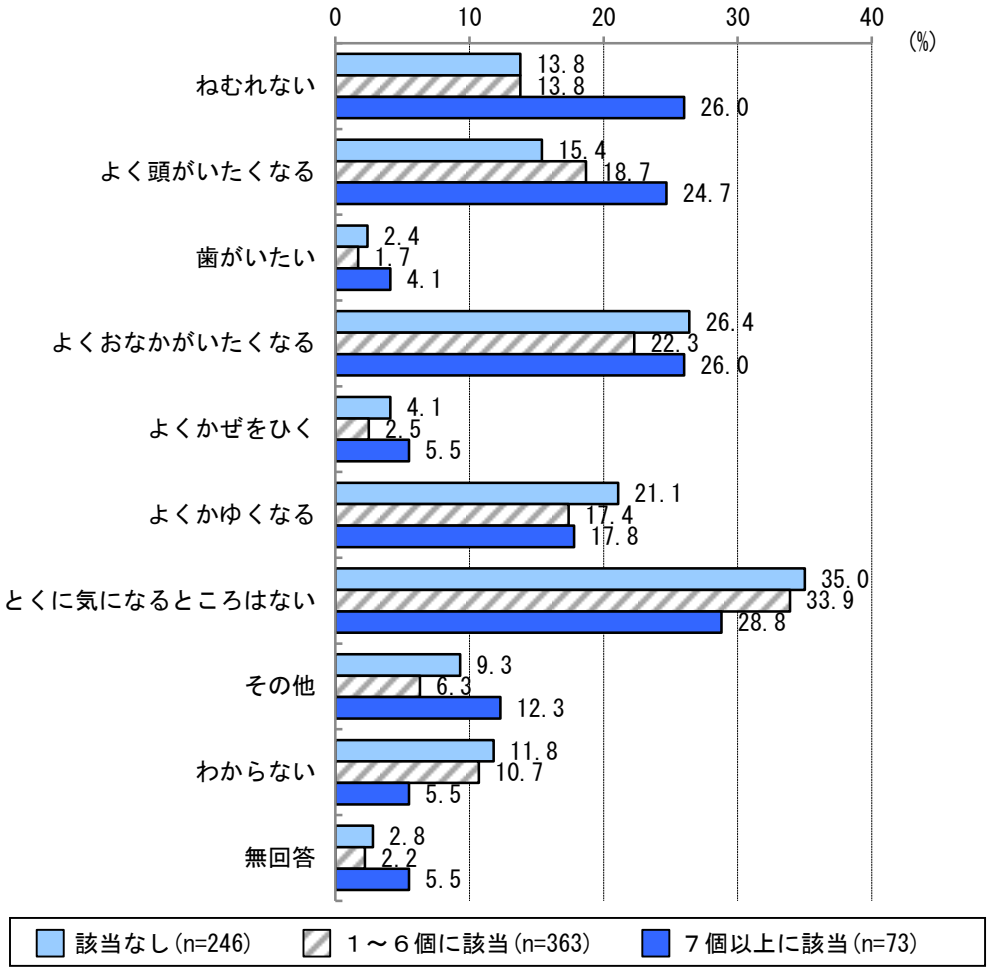
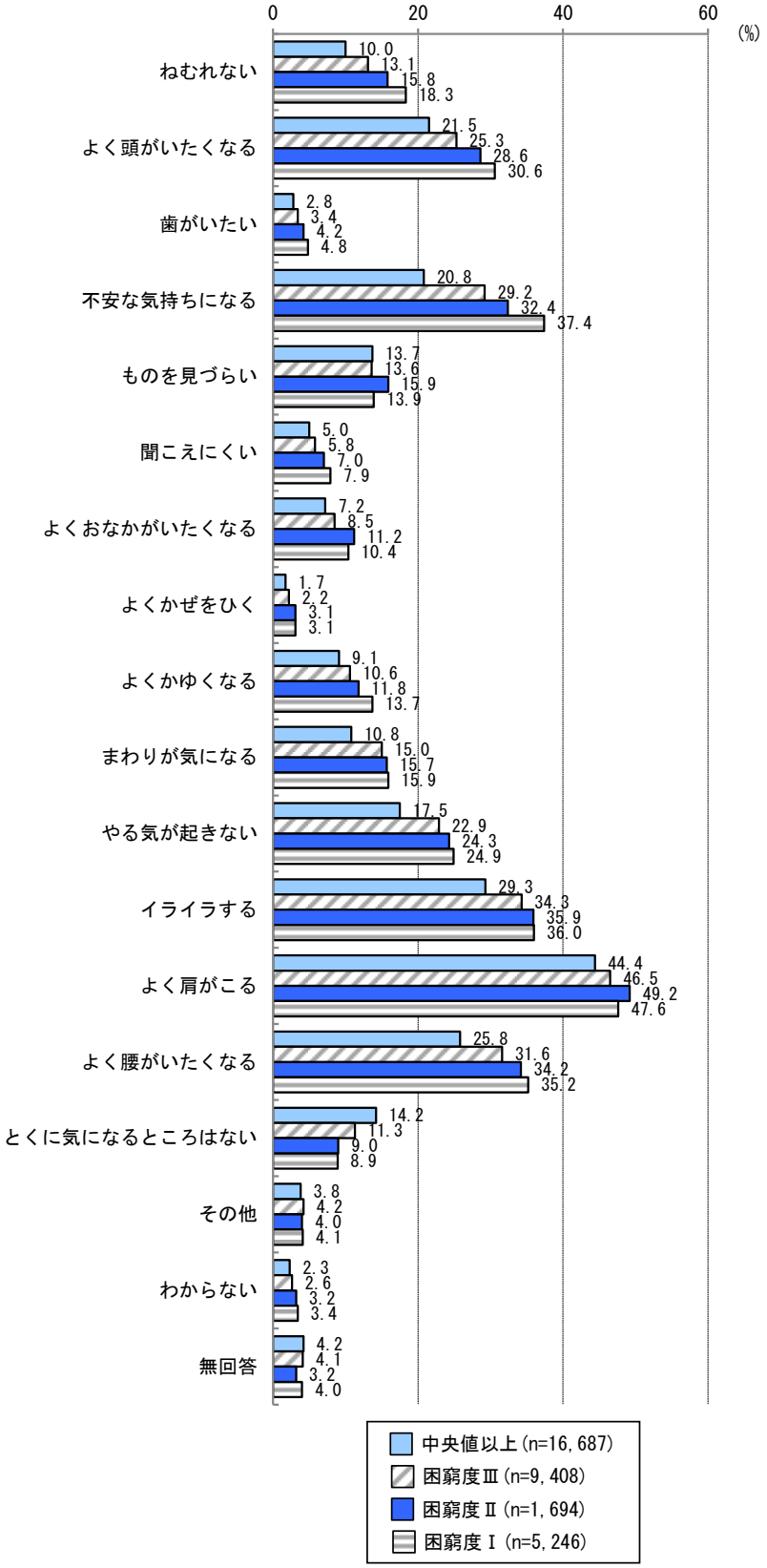


図 87. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体の状態で気になることを見ると、「７個以上に該当」群と「該当なし」群間で差が大きい項目に着目しながら、「７個以上に該当」群の数値を挙げると、「ねむれない」26.0％（「該当なし」群に対して1.9倍)、「歯がいたい」4.1％（同じく1.7倍)、「よく頭がいたくなる」24.7％（同じく1.6倍）となっている。

困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること（保護者票問 22）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

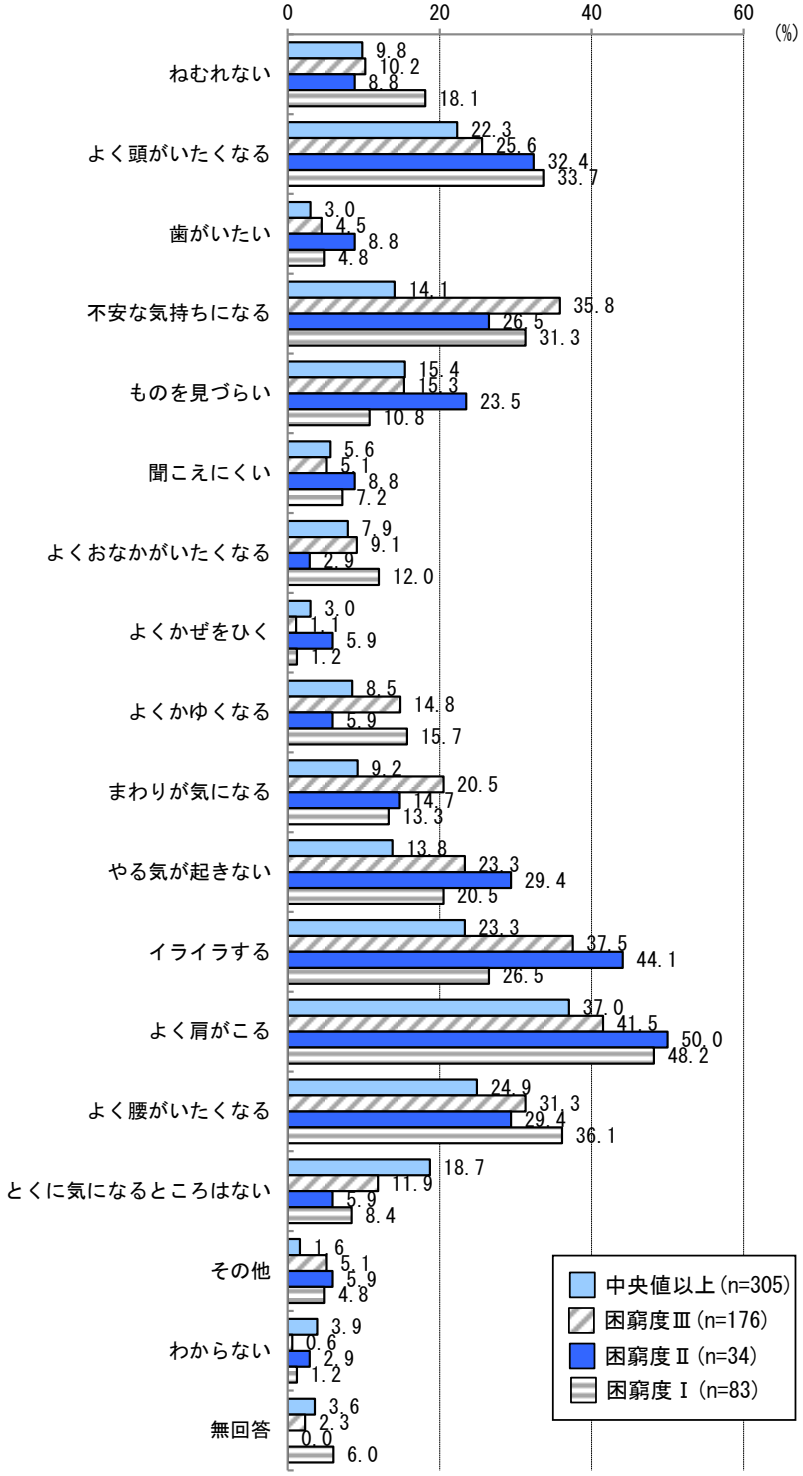
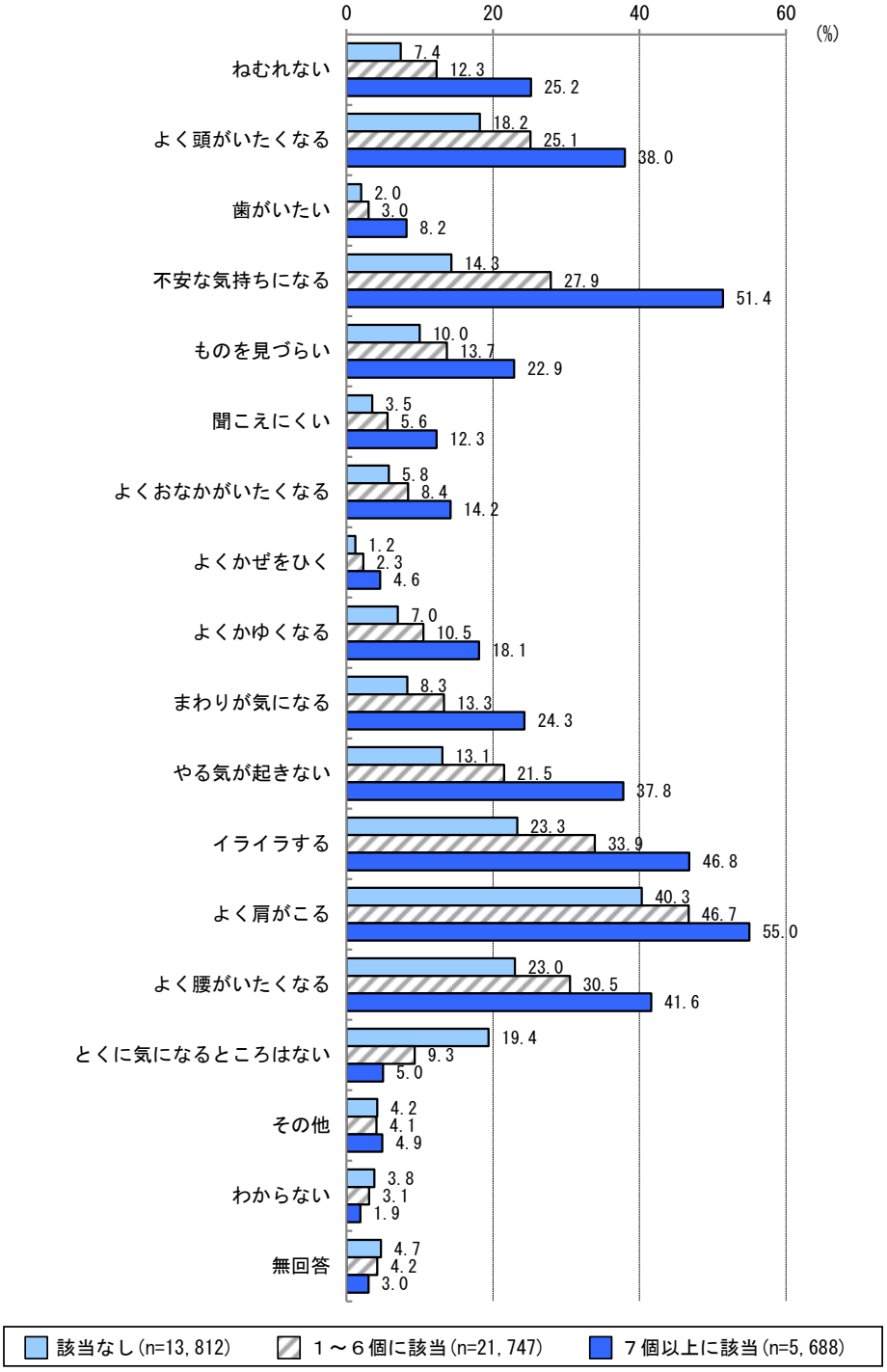


図 88. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること

困窮度別に自分の体や気持ちで気になること（保護者）を見ると、多くの項目において、困窮度が高まるにつれ、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、困窮度Ⅰ群に着目して、中央値以上群との差が大きい順に挙げると、「不安な気持ちになる」31.3%（中央値以上群に対し2.2倍）、「ねむれない」18.1%（同じく1.8倍）、「よくかゆくなる」15.7%（同じく1.8倍）となっている。

経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること
（保護者票問７×保護者票問 22）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

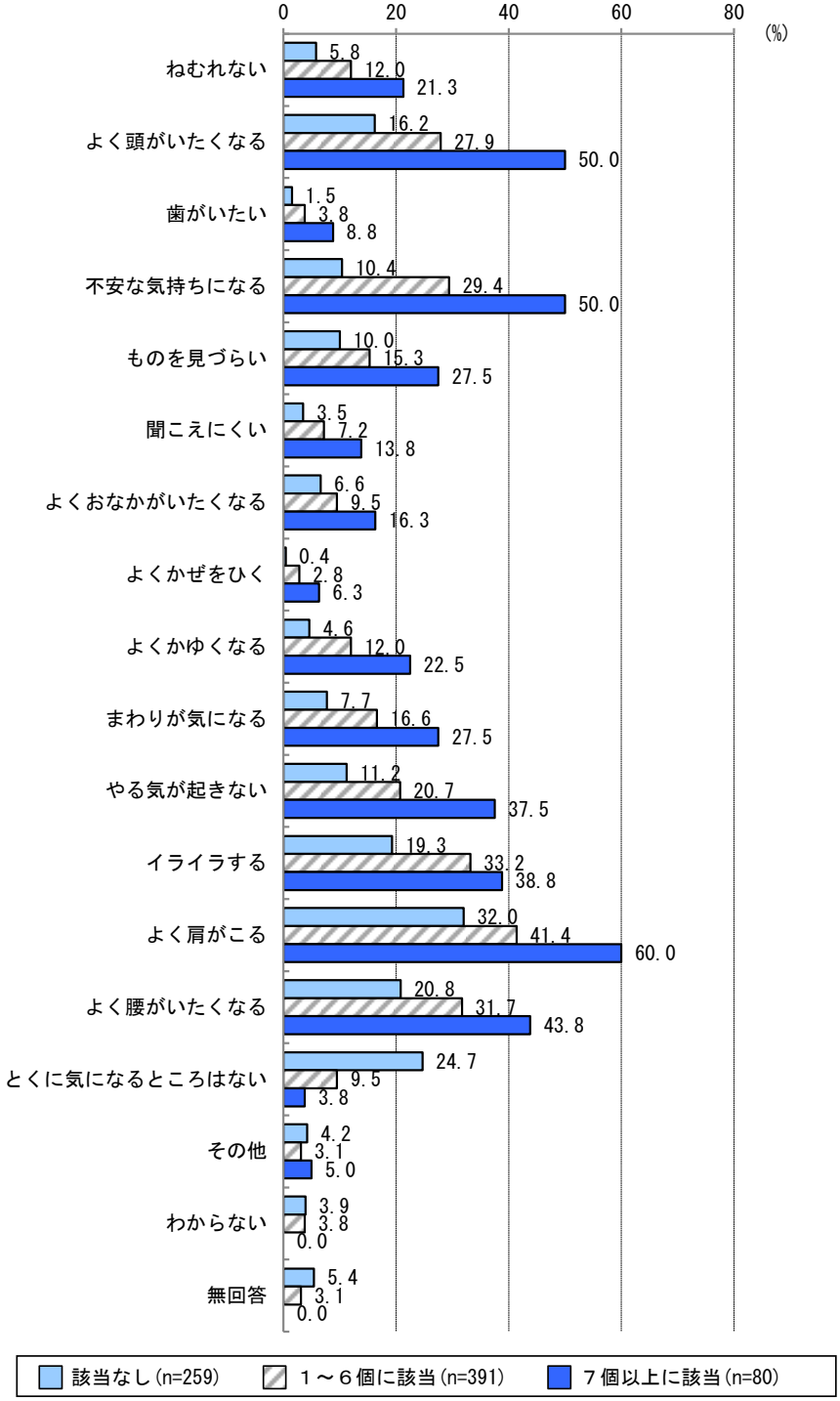
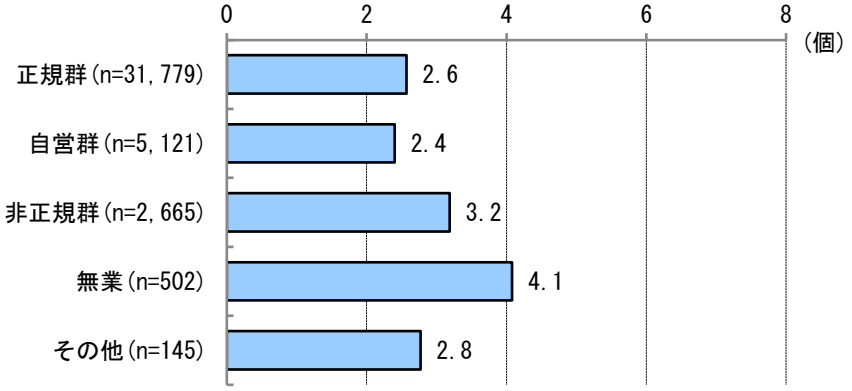


図 89. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること

経済的な理由による経験の該当数別に自分の体や気持ちで気になること(保護者)を見ると、すべての項目において、経済的な理由による経験の該当数が多くなるにつれて、自分の体や気持ちで気になることのそれぞれの項目が高くなっている。特に、「７個以上に該当」した人と「該当なし」と回答した人との差が大きく開いている。「７個以上に該当」群について、「該当なし」との差が大きい順に挙げると、「よくかぜをひく」6.3%（「該当なし」に対して15.8倍)、「歯がいたい」8.8%（同じく5.9倍)、「よくかゆくなる」22.5%（4.9倍）となっている。

就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（保護者票問 22）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

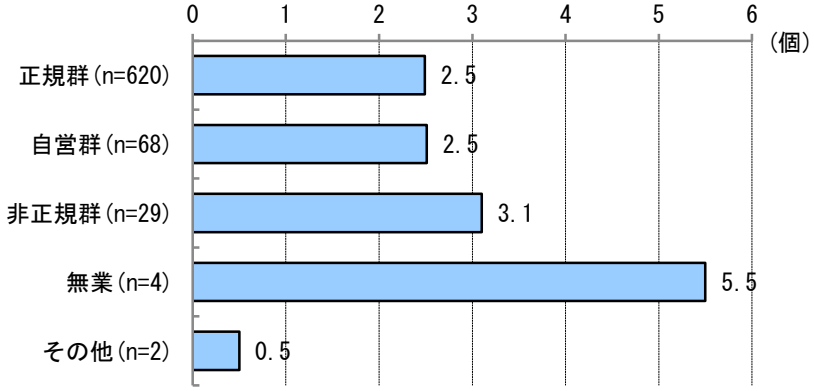


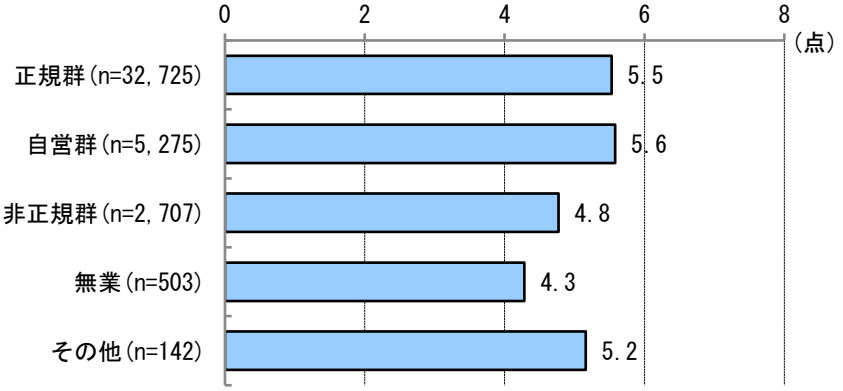
図 90. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

就労状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当数を見ると、「正規群」、「自営業」に対して、「非正規群」、「無業」群において、自分の体や気持ちで気になることの該当個数が増える結果となった。

就労状況別に見た、支えてくれる人得点（保護者票問18）

※「あなたを支え、手伝ってくれる人はいますか」という質問について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」「あなたの気持ちを察して思いやってくれる人」「趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人」「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」「子どもの学びや遊びを豊かにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）」「子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人」「留守を頼める人」の７項目を提示した。それぞれの人物が「いる」か「いない」かで評定させたうえで、「いない」を０点、「いる」を１点とし、７項目の合計得点を「支えてくれる人得点」とした。得点が高いほど、身近に支えてくれる人が多く存在することを表す。

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

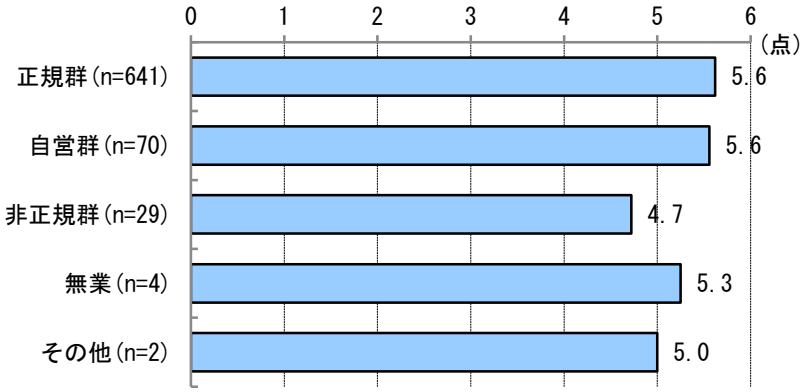
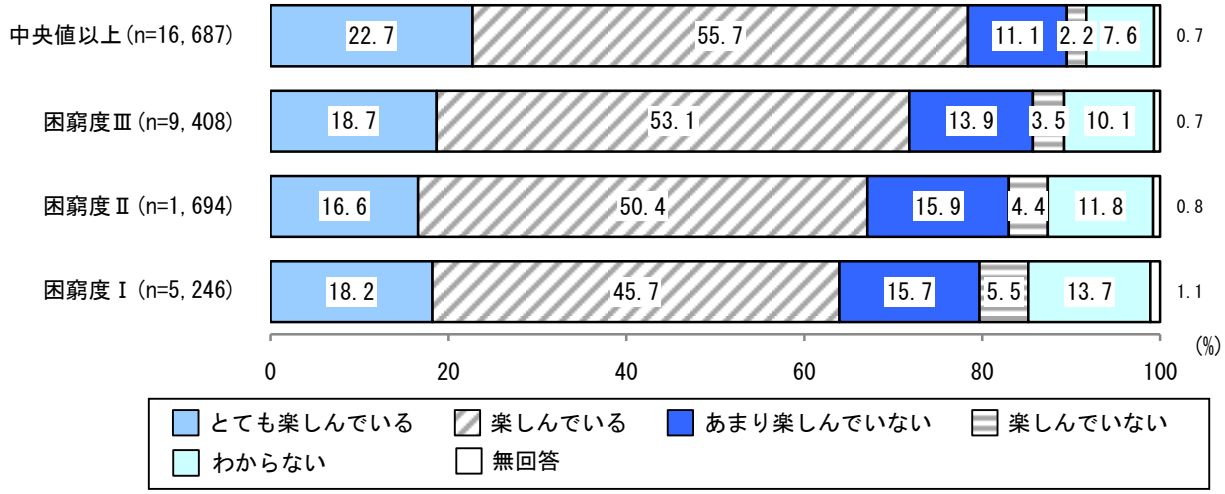


図 91. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点

就労状況別に「支えてくれる人」の有無を得点化し、その平均値を見ると、「正規群」（5.6点）、「自営群」（5.6点）が高く、「無業」で5.3点と低下し、「非正規群」で4.7点と最も低い結果となった。

困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）（保護者票問 21(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

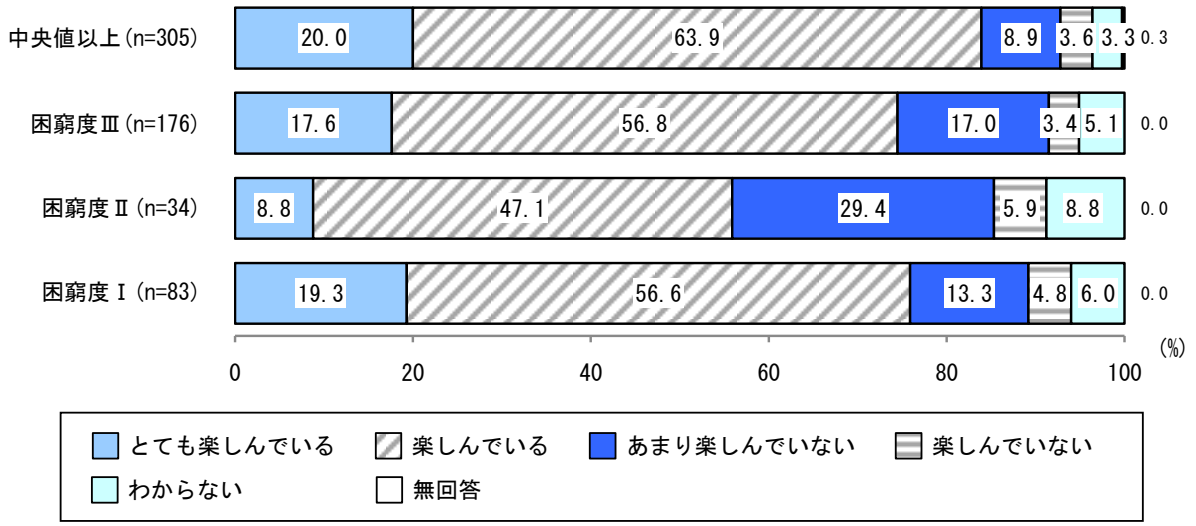
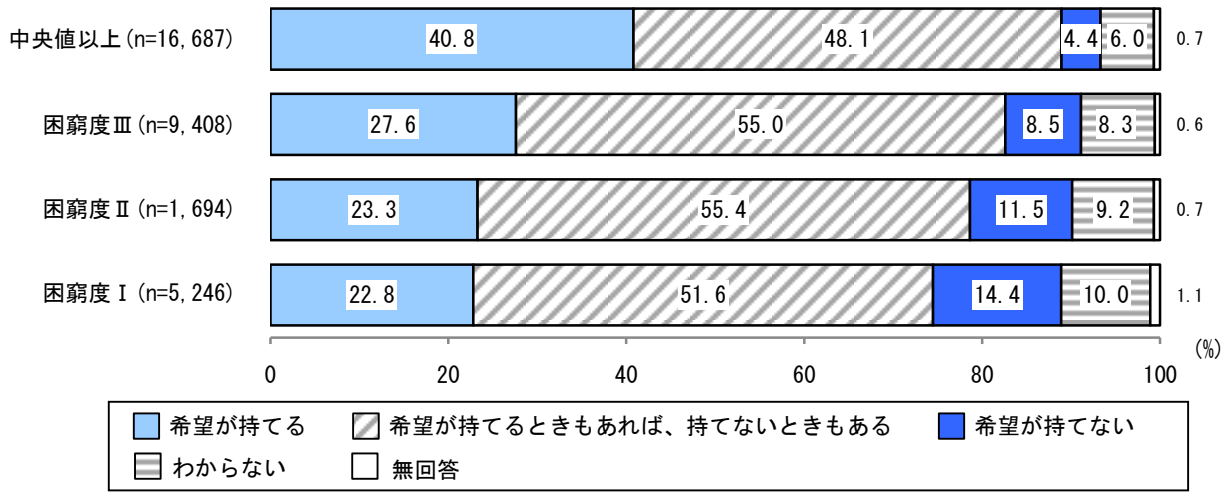


図 92. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

困窮度別に生活を楽しんでいるかを見ると、「とても楽しんでいる」「楽しんでいる」をあわせてなんらか『楽しんでいる』割合では、中央値以上群で83.9%と最も高く、それ以外の群では、なんらか『楽しんでいる』割合が低くなった。続いて、困窮度Ⅲ群で74.4%、ここでは困窮度Ⅰと困窮度Ⅱ群では逆転し、困窮度Ⅰ群が75.9%、困窮度Ⅱ群において55.9%と最も低くなった。逆に、「楽しんでいない」と回答した割合は、困窮度が高まるにつれて多くなっている。困窮度Ⅲ群が3.4%と最も低く、次いで、中央値以上群で3.6%、困窮度Ⅰ群で4.8%、困窮度Ⅱ群で5.9%となった。

困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）（保護者票問 21(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

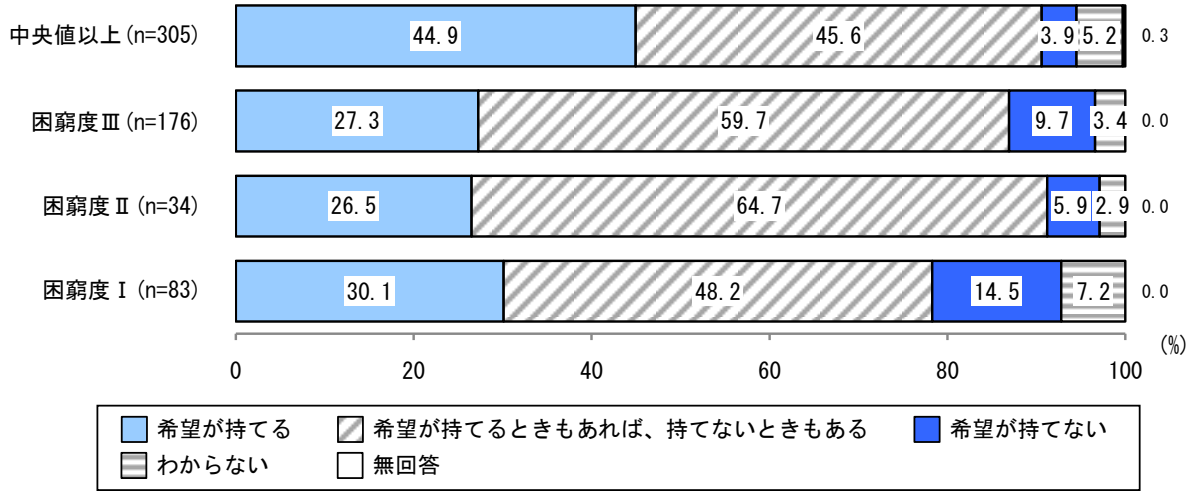
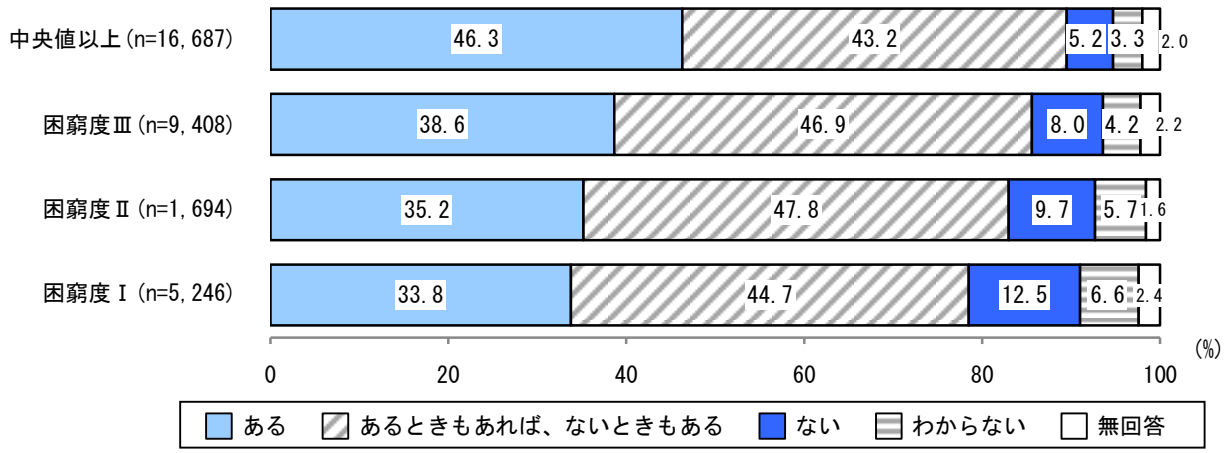


図 93. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）

困窮度別に将来への希望を見ると「希望が持てる」と回答する割合は、中央値以上群では、44.9%であるのに対し、困窮度Ⅲ群では27.3%、ここでは困窮度Ⅰと困窮度Ⅱ群では逆転し、困窮度Ⅰ群が30.1%、困窮度Ⅱ群において26.5%と最も低くなった。

困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）（保護者票問 21(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

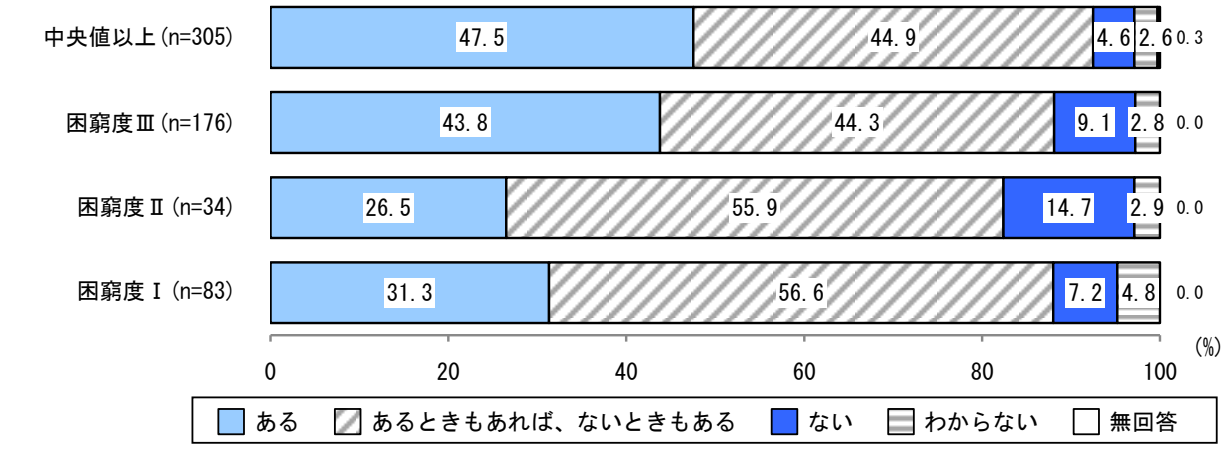
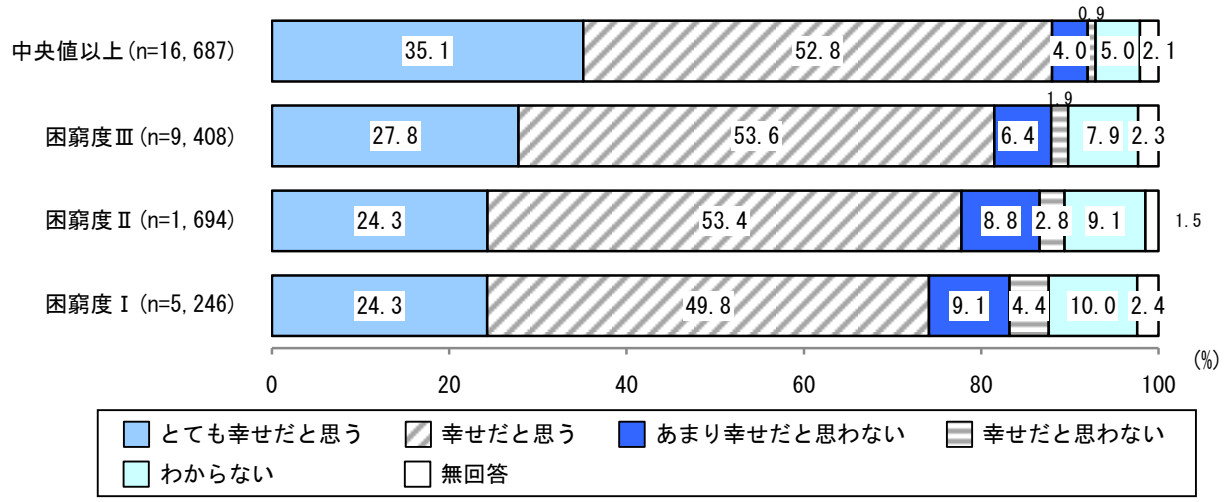


図 94. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）

困窮度別にストレスを発散できるものについて、ストレスが発散できるものが「ない」という回答に着目すると、困窮度Ⅱ群が14.7%と、「ない」と回答する割合が最も高くなっている。中央値以上群では、4.6%で最も低く、困窮度Ⅰ群7.2%、困窮度Ⅲ群9.1%となっている。

困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）（保護者票問 21(4)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

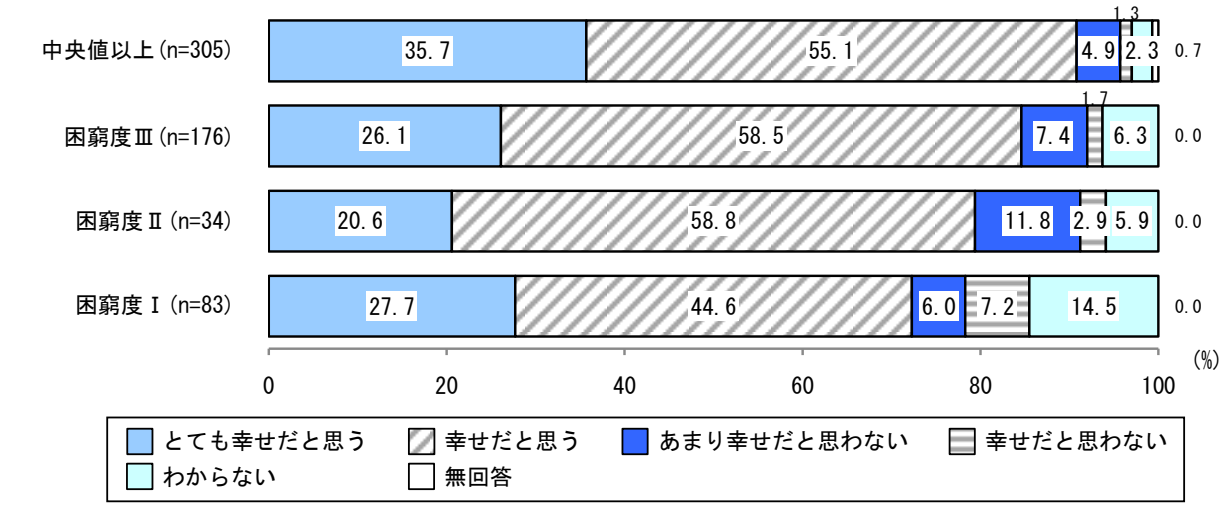


図 95. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか）

困窮度別に幸せだと思うかを見ると、「とても幸せだと思う」と「幸せだと思う」をあわせて、なんらか『幸せと思う』と回答した割合は、困窮度が高まるにつれて低くなり、困窮度Ⅰ群（72.3%）で最も低くなっている。逆に、なんらか『幸せではない』（「あまり幸せだと思わない」と「幸せだと思わない」をあわせた割合）と回答する割合は、中央値以上群で6.2%にとどまるのに対して、困窮度Ⅲ群で9.1%、困窮度Ⅱ群で14.7%、困窮度Ⅰ群で13.2%となっている。

＜健康に関する考察＞

まず、困窮度別に生活習慣と健康状態について、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目して述べる。保護者の自覚症状では、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「ねむれない」（18.1％対9.8％）「よくおなかがいたくなる」(12.0％対7.9％)「よくかゆくなる」(15.7％対8.5％)「やる気が起きない」(20.5％対13.8％)がいずれも5ポイント以上、「不安な気持ちになる」(31.3％対14.1％)「よく頭がいたくなる」（33.7％対22.3％）「よく肩がこる」（48.2％対37.0％）「よく腰がいたくなる」（36.1％対24.9％）では10ポイント高くなっている。また、保護者の心の状態を見ると、困窮度I群は中央値以上群と比べ、将来に対して「希望が持てない」（14.5％対3.9％）が10ポイント以上高くなっており、一方で中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、ストレスを発散できるものが「ある」（47.5％対31.3％）が15ポイント以上、自分が「とても幸せだと思う」（35.7％対27.7％）が8ポイント高くなっている。なお、朝食の頻度や子どもの自覚症状において、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で大きな差は見られなかった。

次に、経済的な理由による経験の該当数を見ると、個数が増えるにしたがって、「遊びにでかけるのが好きだ」「元気いっぱいだ」で「いつもそうだ」の割合が低くなる傾向にある。自覚症状では、個数が増えるにしたがって保護者では「不安な気持ちになる」「よくかぜをひく」「よくかゆくなる」「まわりが気になる」「イライラする」「よく腰がいたくなる」の割合が高くなる傾向にある。これらの結果から、経済的に困難な世帯では、保護者では不安やイライラなどのメンタルヘルスに影響が出ている可能性があり、同時に肩こりや腰痛が多く、肉体労働に従事している可能性や、心身の休養が不十分である可能性がうかがえる。一方で経済的に困難のない世帯の保護者は、ストレス発散ができていたり、幸福感を感じていたりするなど、望ましい状態で過ごすことができている。

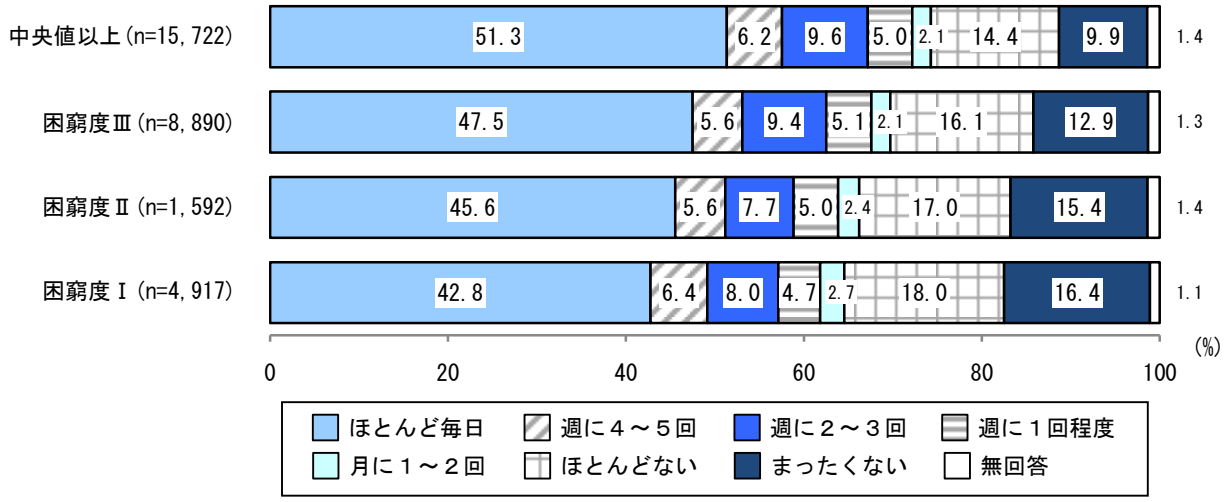
続いて、保護者の就業状況別の生活習慣や健康状態を見てみる。親の就業状況別の朝食の頻度では、「正規群」「自営群」の2群において、「毎日またはほとんど毎日」朝食を摂っている割合が高く（88.8％、88.1％）、「非正規群」「無業」では（82.8％、75.0％）となっている。この結果から、親が正規群あるいは自営群の世帯では、朝の時間に余裕があることがうかがえる。

最後に、食事習慣別の親子関係や健康状態に着目する。朝食の頻度別に見ると、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、子どもを「とても信頼している」（55.0％対33.3％）、子どもと会話を「よくする」（71.0％対58.3％）がいずれも10ポイント以上高くなっている。また、子どもと関わる時間について、「食べない」群では「毎日またはほとんど毎日」食べている群に比べ、平日では「30分未満（「０～15分未満」および「15分～30分未満」）」（16.6％対8.2％）が約2倍であり、休日では「２時間未満」(25.0％対13.3％)が10ポイント以上高くなっている。子どもの自己効力感では、朝食を「毎日またはほとんど毎日」食べている群では、「食べない」群と比べ、2点以上高くなっており、学校が休みの日の昼食を「必ず食べる」群では他の群に比べ高い傾向がある。これらの結果から、ほぼ毎日規則正しく朝食・昼食を摂ることは、保護者と子どもの関係をよりよくするとともに、子どもの自己効力感を高める可能性が示唆された。

３－４．家庭生活、学習

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか（子ども票問８①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

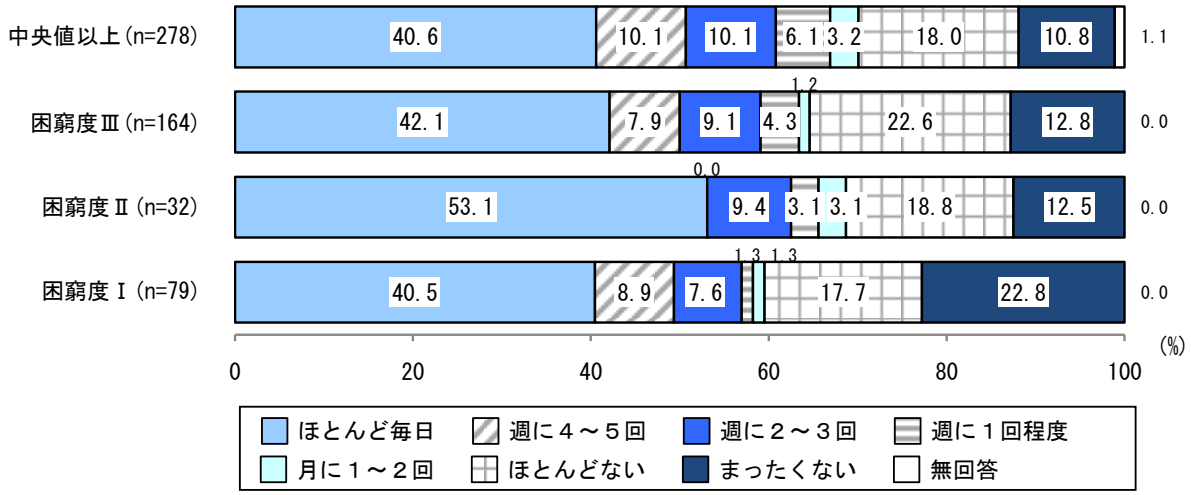
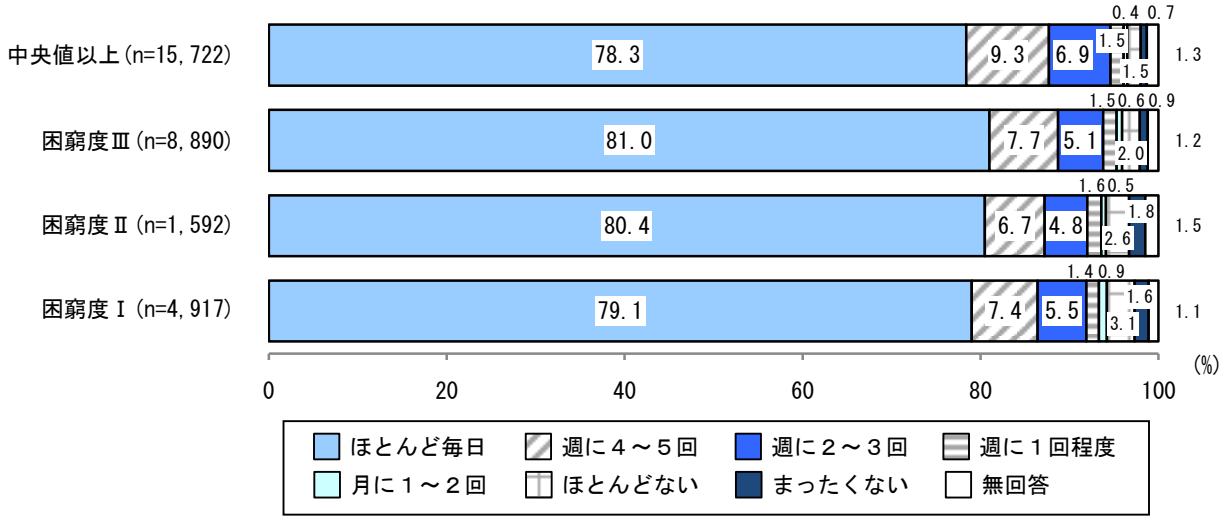


図 96. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は困窮度Ⅱ群が53.1％と最も高くなっている。一方、「まったくない」の割合は困窮度Ⅰ群が22.8で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか（子ども票問８②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

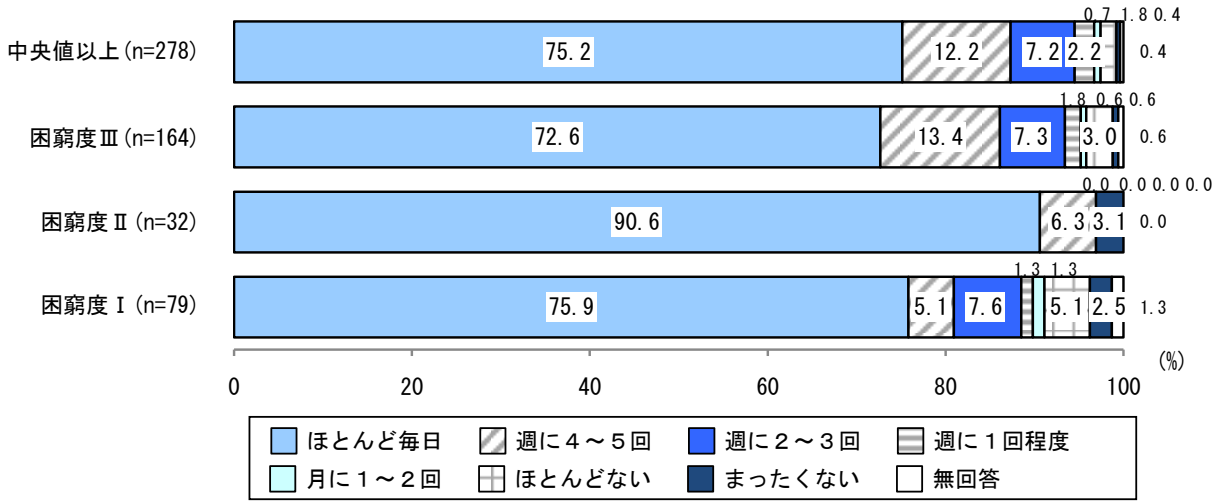
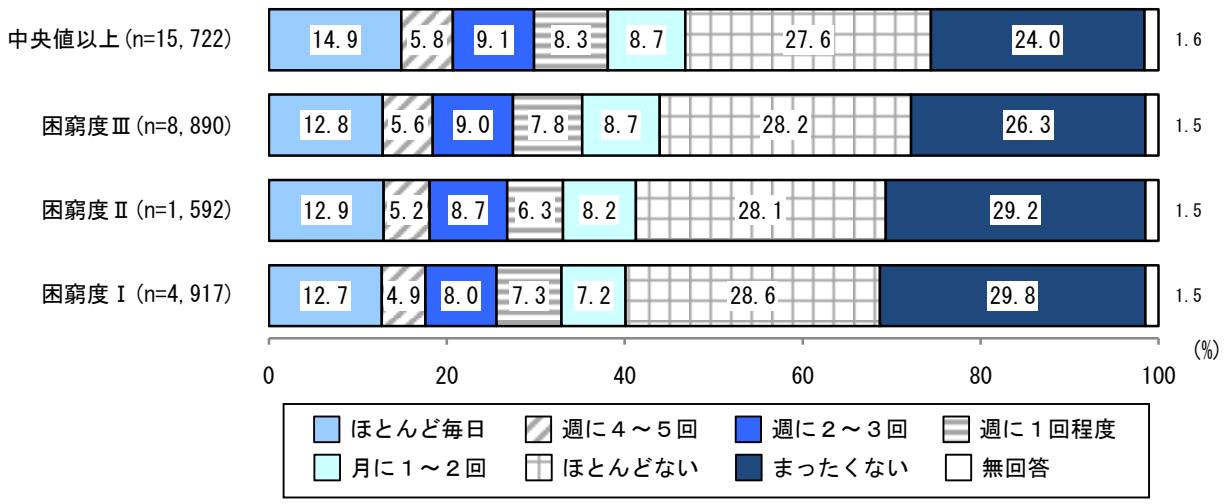


図 97. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

困窮度別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、困窮度Ⅱ群において、「ほとんど毎日」の割合が90.6%と高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか（子ども票問８⑤）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

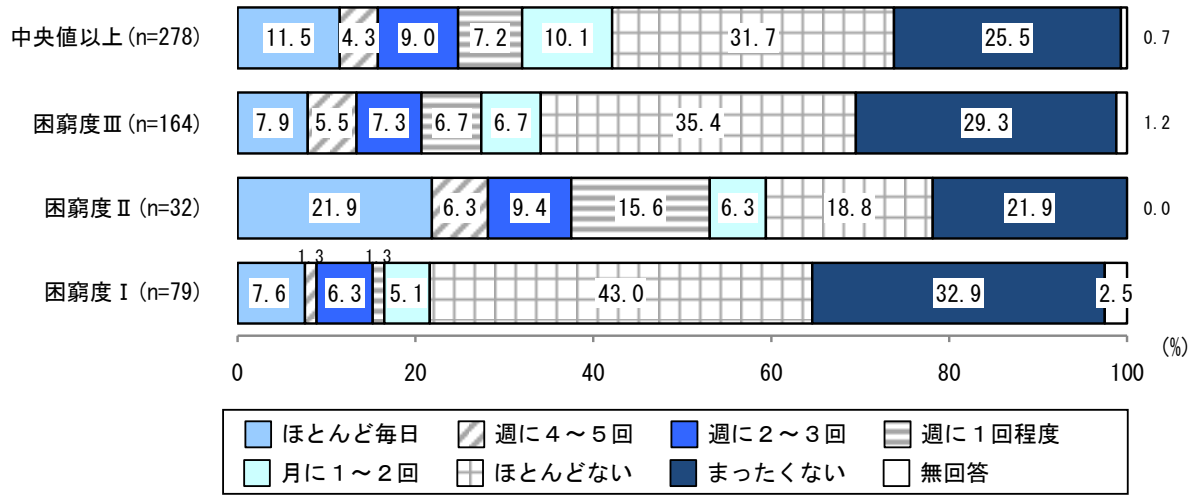
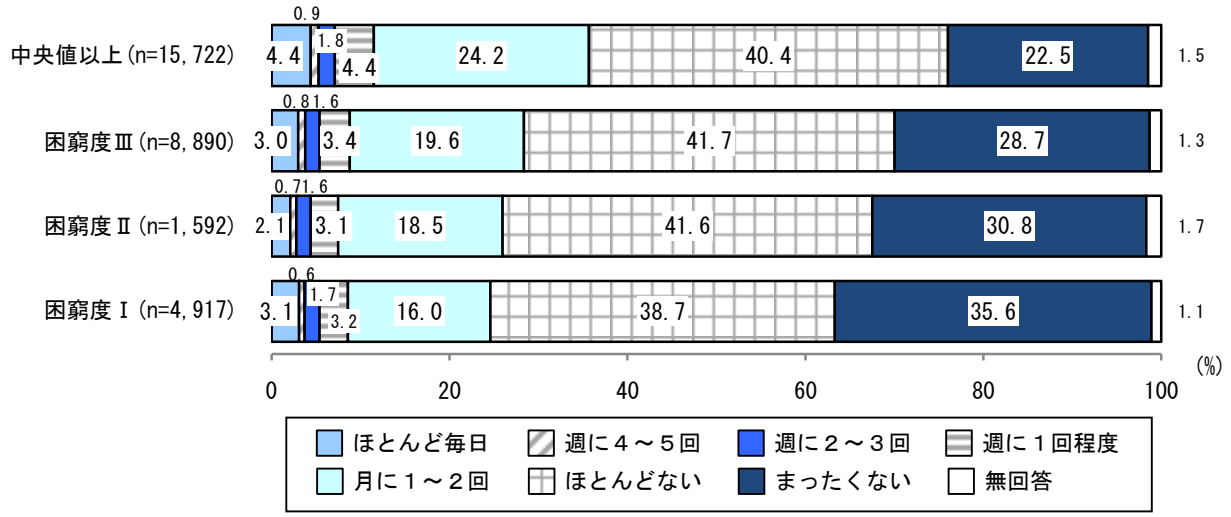


図 98. 困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

困窮度別に保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）を見ると、困窮度Ⅰ群では、「まったくない」と回答した人は32.9%で最も高くなっている。また、困窮度Ⅱ群では、「ほとんど毎日」と回答した人は21.9%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか（子ども票問８⑨）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

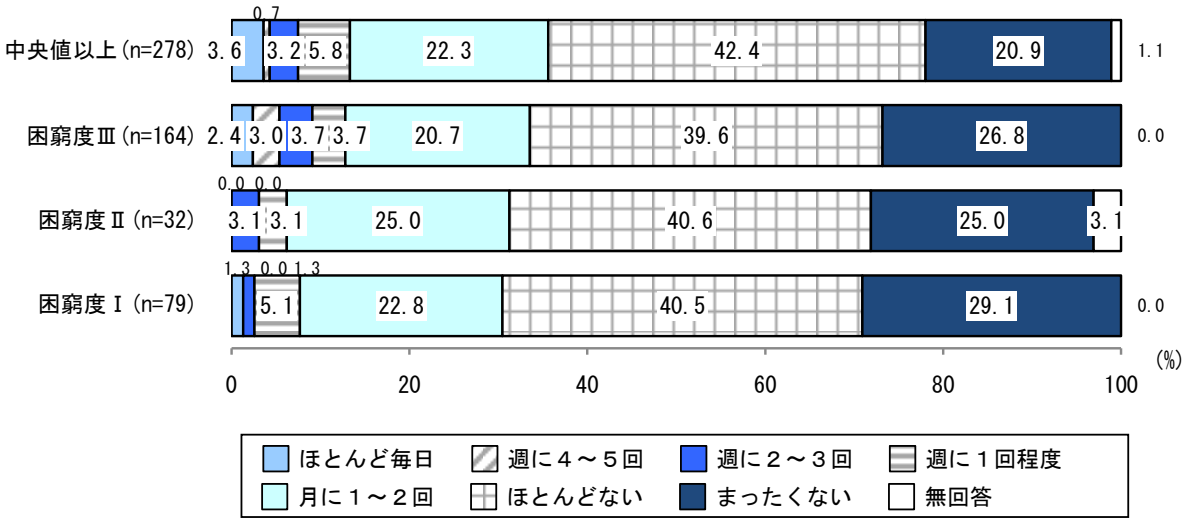
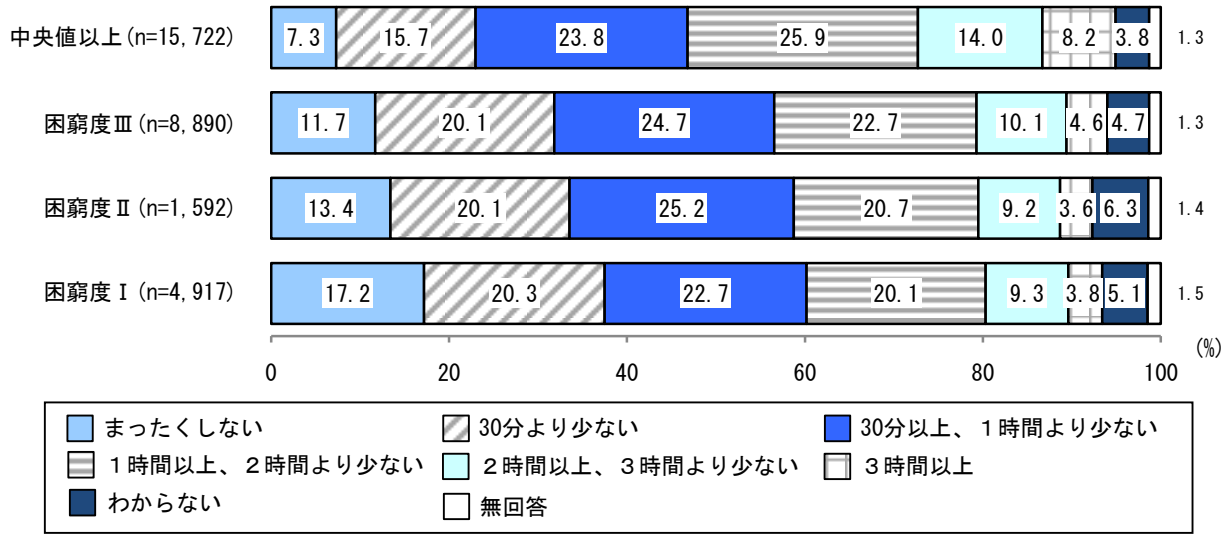


図 99. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

困窮度別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、困窮度が高まるにつれ、「まったくない」と回答した人の割合が高い。困窮度Ⅰ群では、「ほとんどない」と回答した人は40.5%、「まったくない」と回答した人は29.1%である。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問 13①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

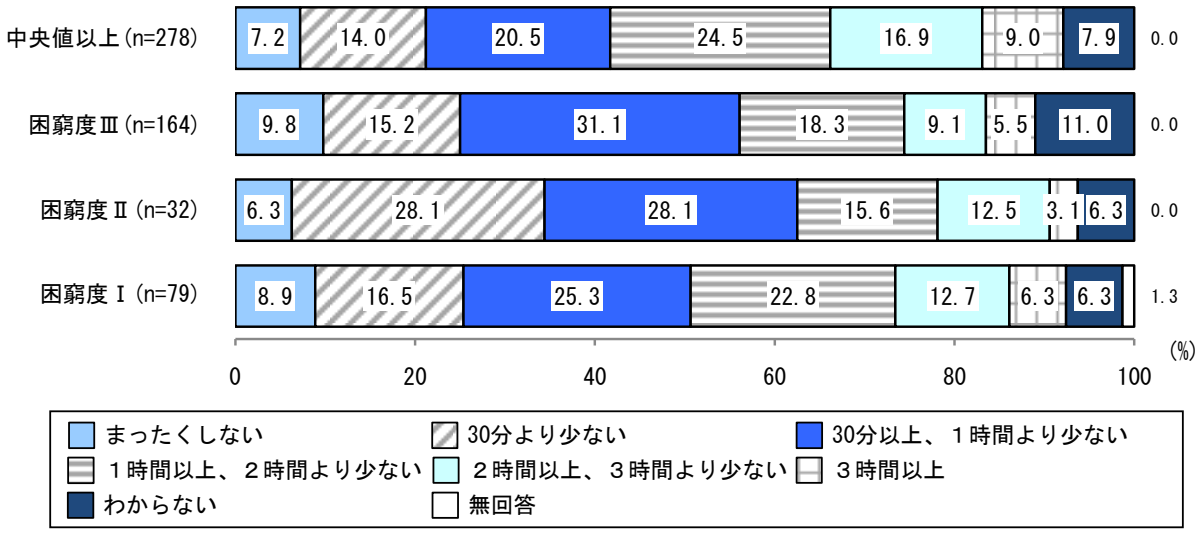
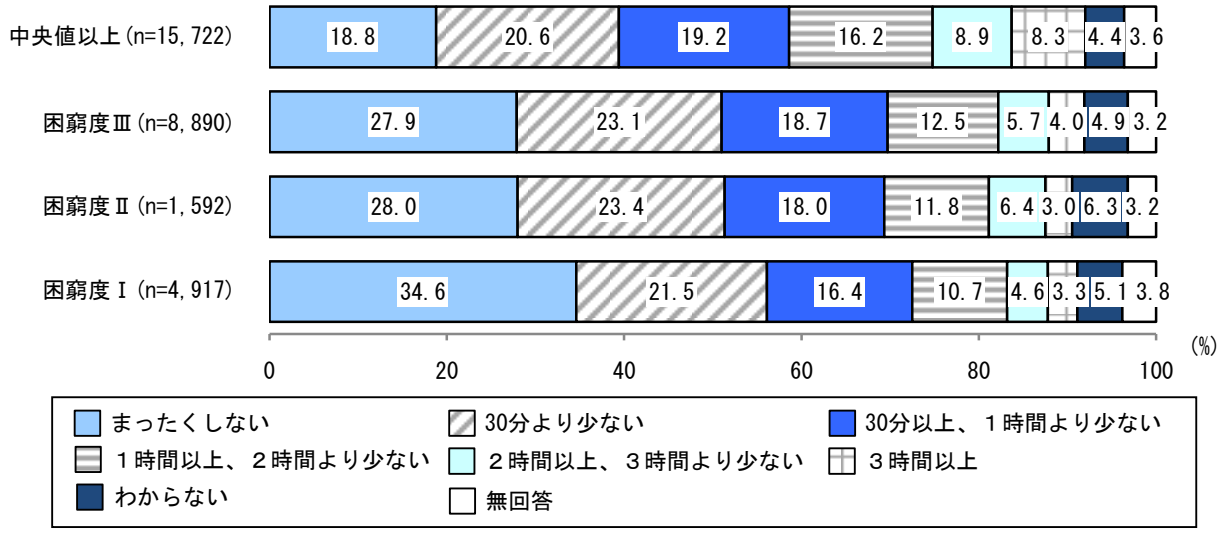


図 100. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校のある日では、困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人は8.9%、「30分より少ない」と回答した人は16.5%である。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

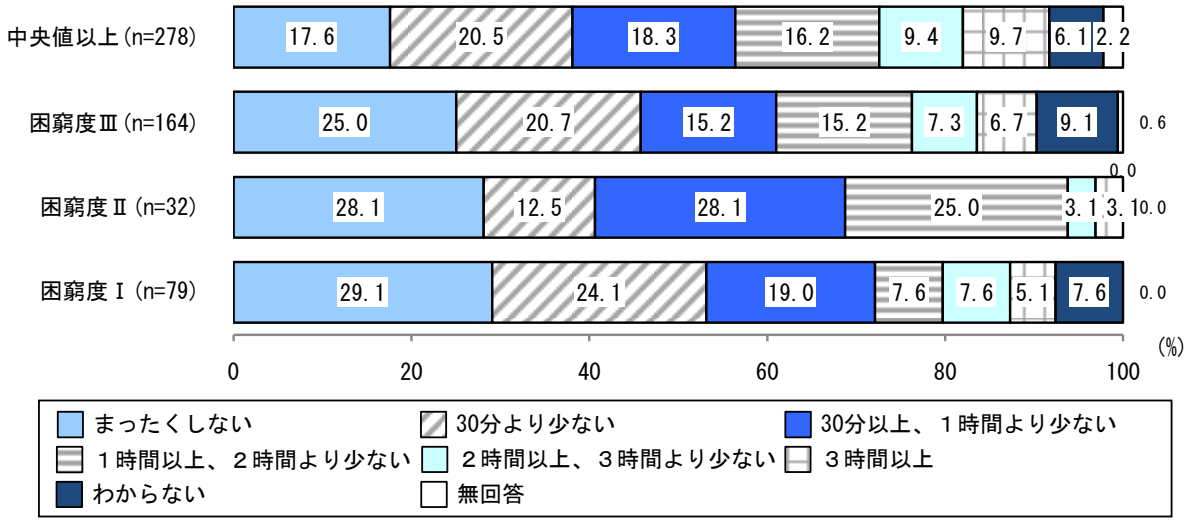
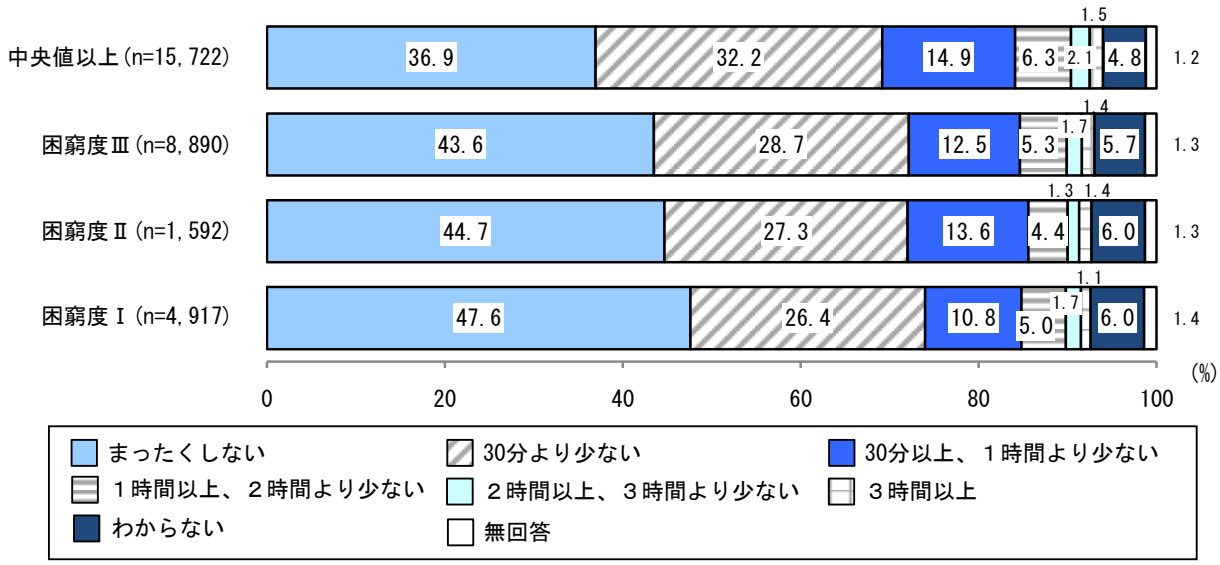


図 101. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

困窮度別に授業以外の勉強時間を見ると、学校がない日では、困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人は29.1％と最も高くなっている。

困窮度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問 15）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

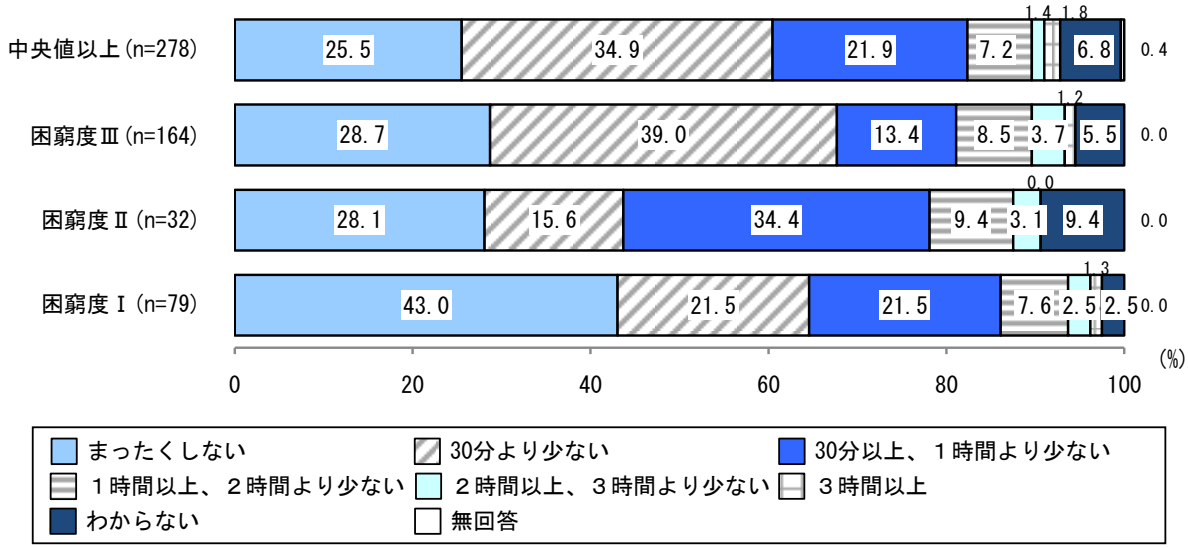
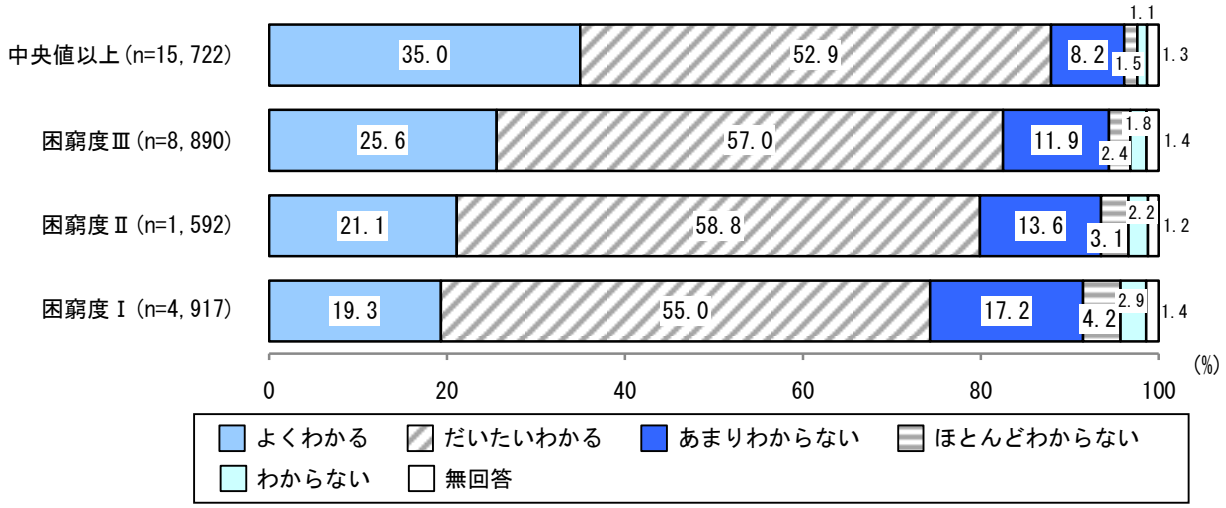


図 102. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間

困窮度別に授業以外の読書時間を見ると、困窮度が高まるにつれ、「まったくしない」と回答した人の割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「まったくしない」と回答した人は43.0%、困窮度Ⅲ群では28.7%となっている。

困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問 14(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

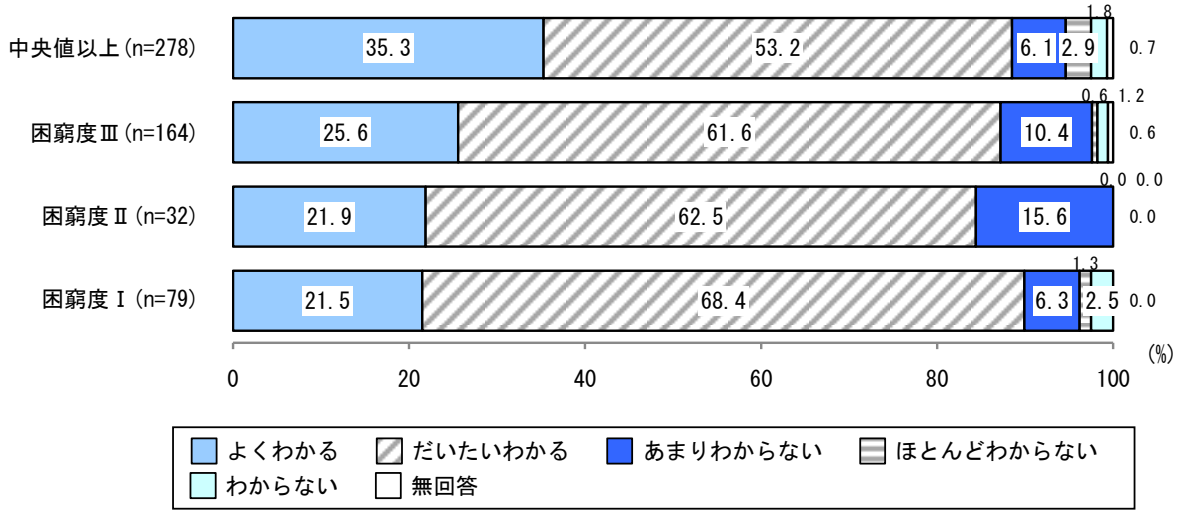


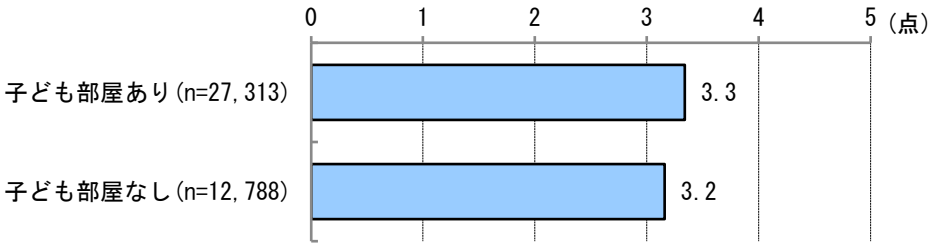
図 103. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

困窮度別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、困窮度が高まるにつれ、「よくわかる」と回答した人の割合が低くなっている。困窮度Ⅰ群では、「ほとんどわからない」と回答した人は1.3%である。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値　①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問 21×子ども票問 13①）

※勉強時間について、「1. まったくしない」「2. 30 分より少ない」「3. 30 分以上、１時間より少ない」「4. １時間以上、２時間より少ない」「5. ２時間以上、３時間より少ない」「6. ３時間以上」の６つの時間枠からひとつを選択させた（「7. わからない」は除く）。項目番号を勉強時間の得点とみなし、得点が高いほど、勉強時間が長いことを表す。

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

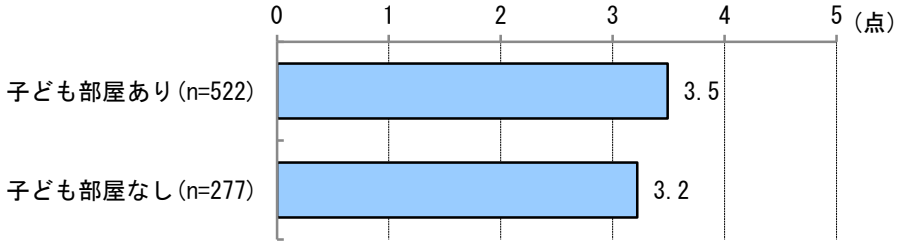
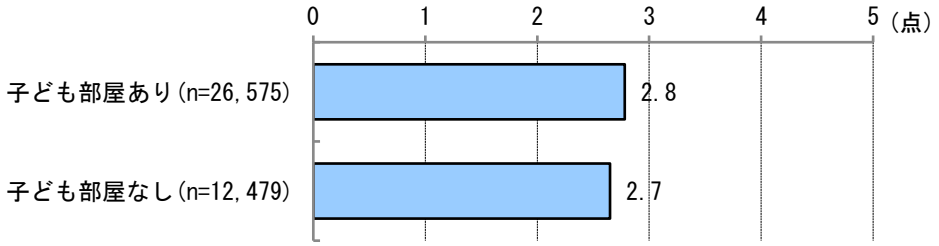


図 104. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値（学校がある日）

子ども部屋の有無別に学校がある日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長い。

子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値　②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問 21×子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

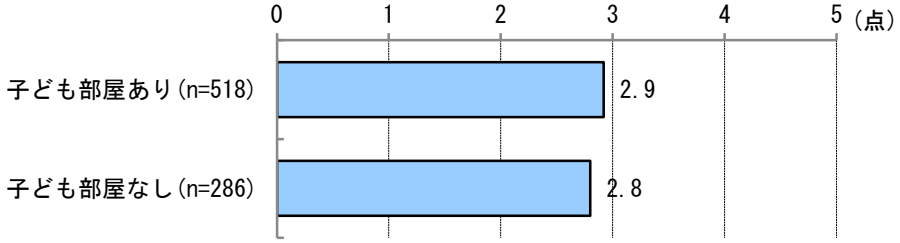
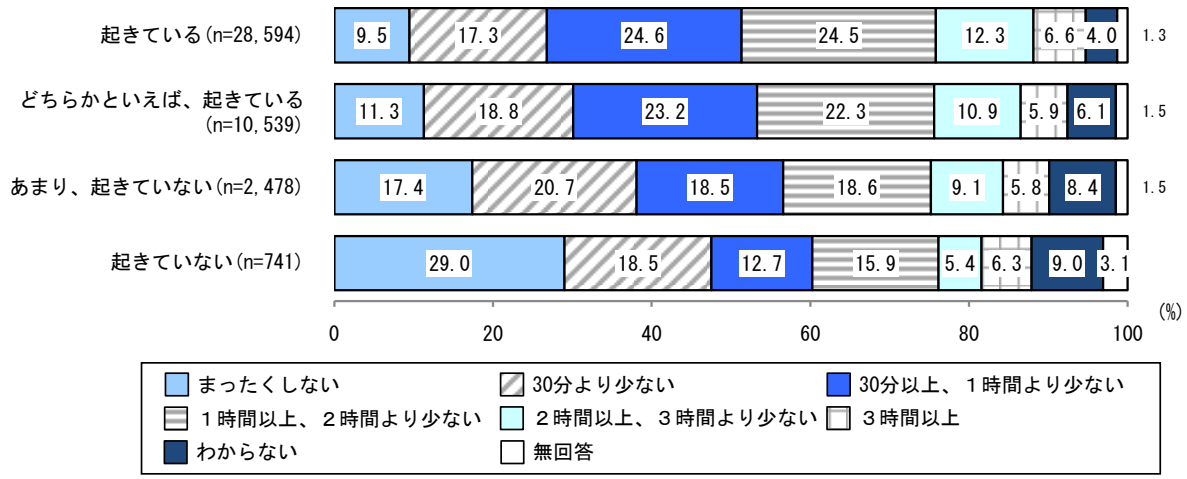


図 105. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値（学校がない日）

子ども部屋の有無別に学校がない日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、子ども部屋がある子どもの方が、勉強時間が長い。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問２×子ども票問 13①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

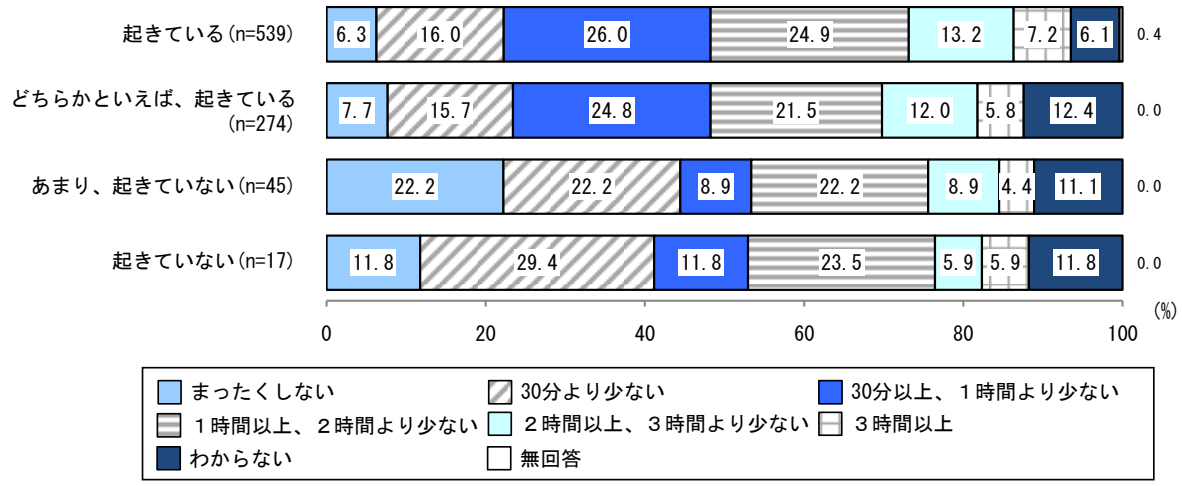
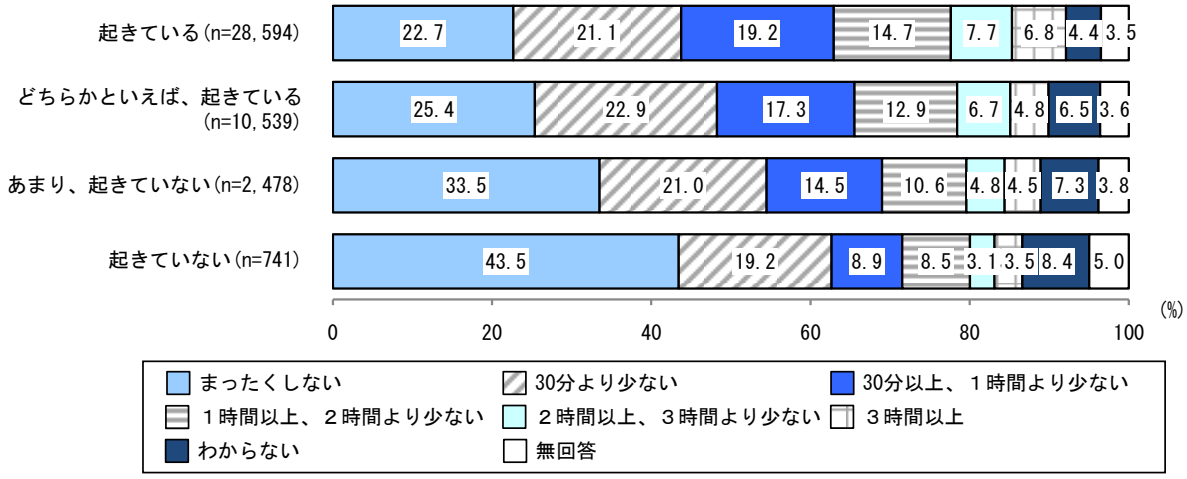


図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）

起床時間の規則性別に学校がある日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど「まったくしない」の回答の割合が高くなっている。「30分以上、１時間より少ない」、「１時間以上、２時間より少ない」、「３時間以上」の割合は起きている人の割合が最も高くなっている。一方、「まったくしない」の割合は、あまり起きていない人が22.2%で最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問２×子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

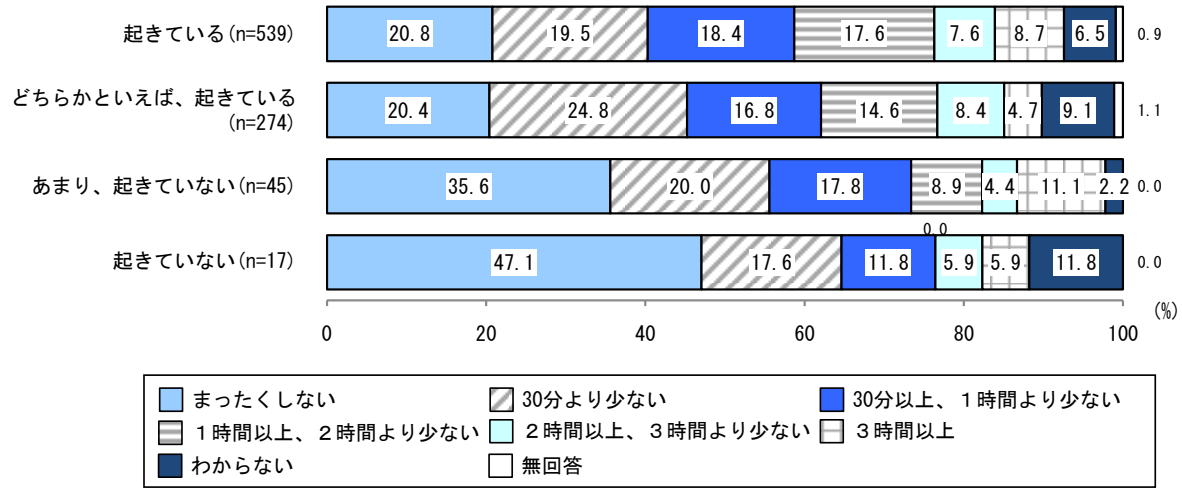
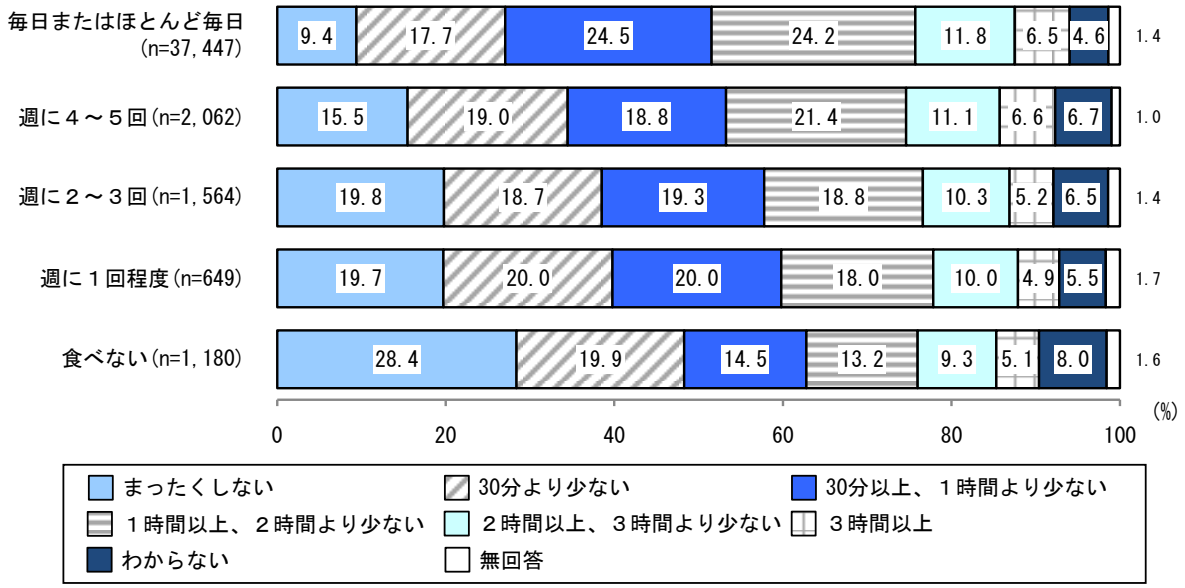


図 107. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

起床時間の規則性別に学校がない日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど「まったくしない」の回答の割合が高くなっている。「30分以上、1時間より少ない」、「１時間以上、２時間より少ない」の割合は起きている人の割合が最も高くなっている。一方、「まったくしない」の割合は起きていない人が47.1%で最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　①学校がある日（月～金曜日）
（子ども票問４(1)×子ども票問 13①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

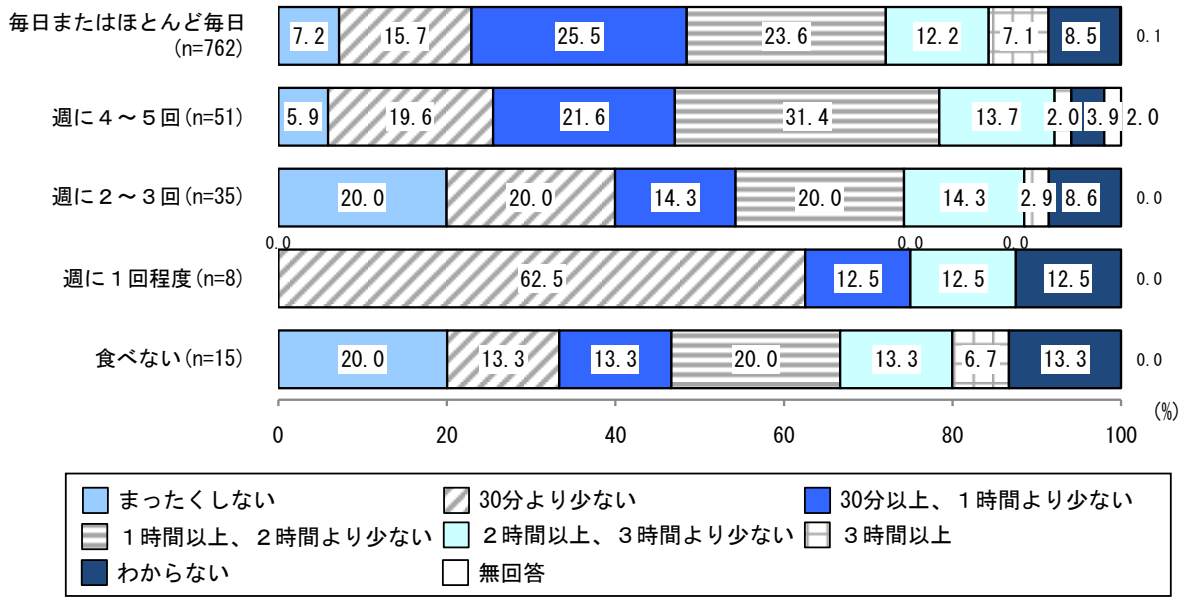
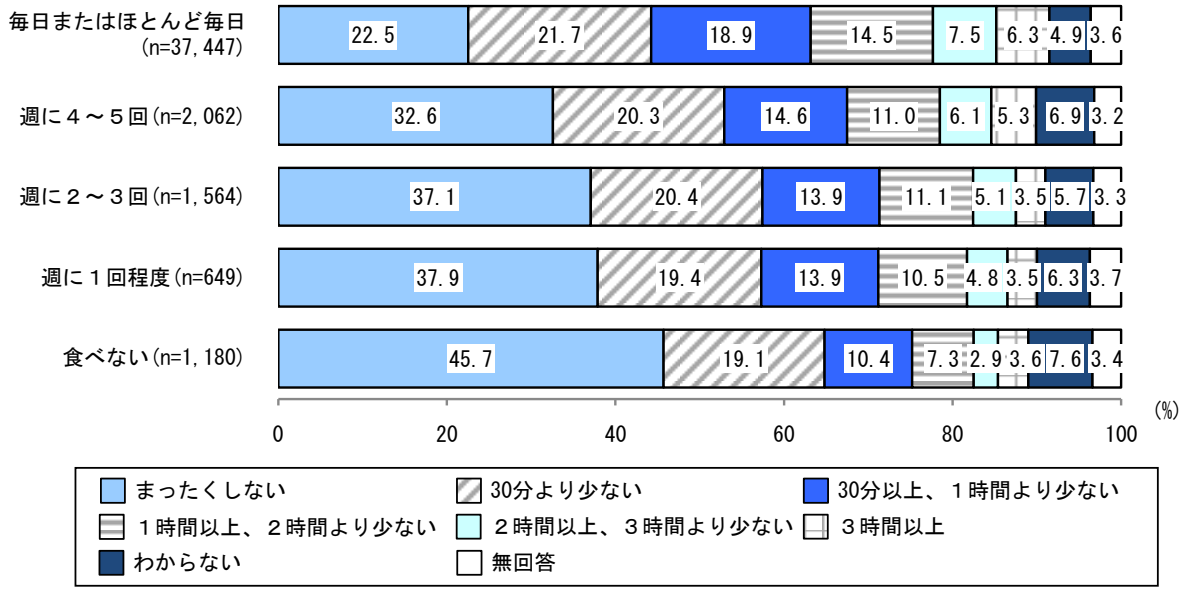


図 108. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）

朝食の頻度別に学校がある日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、朝食の頻度が少ない人ほど「まったくしない」の回答の割合が高く、食べない人と週に２～３回食べる人が20.0％で最も高くなっている。

朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問４(1)×子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

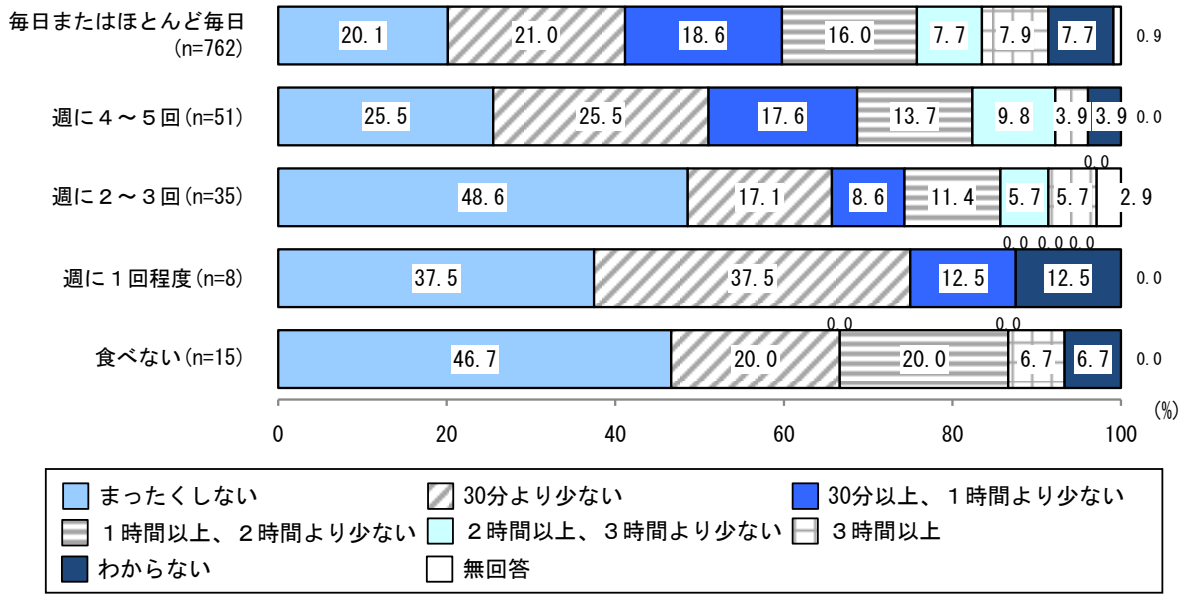
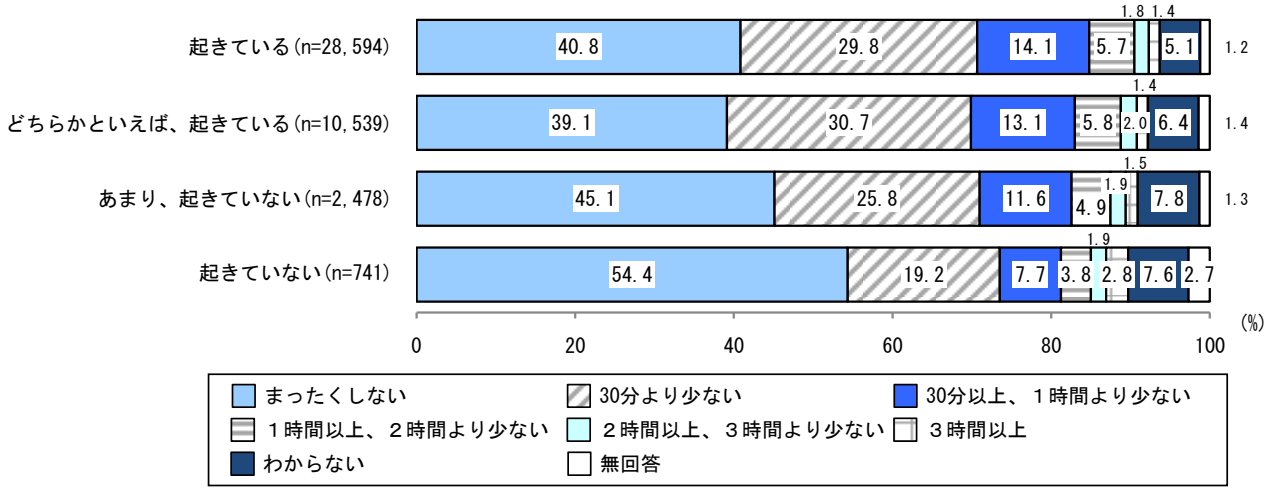


図 109. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

朝食の頻度別に学校がない日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」の回答の割合は週に２～３回食べる人が48.6%で最も高くなっている。

起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問２×子ども票問 15）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

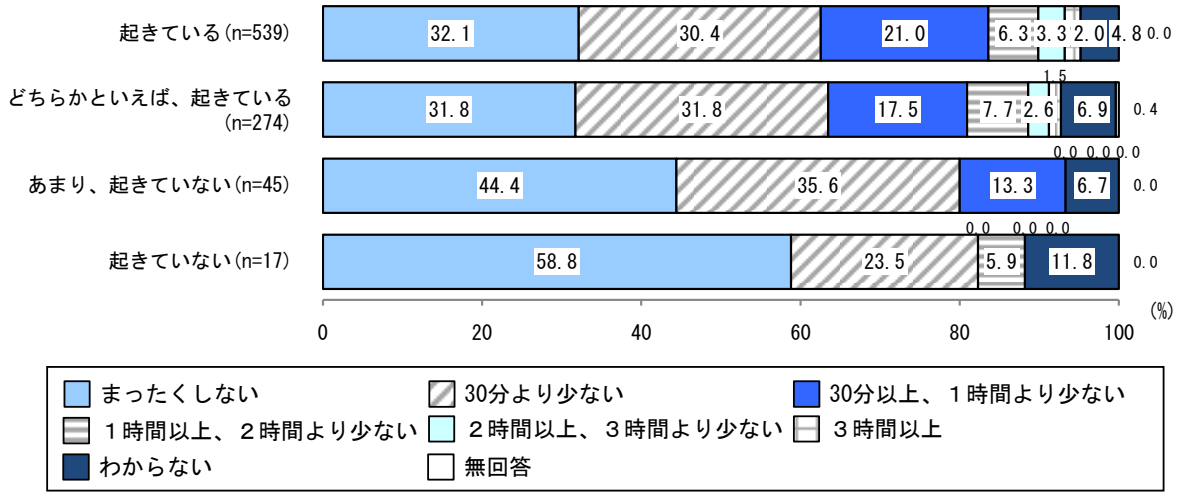
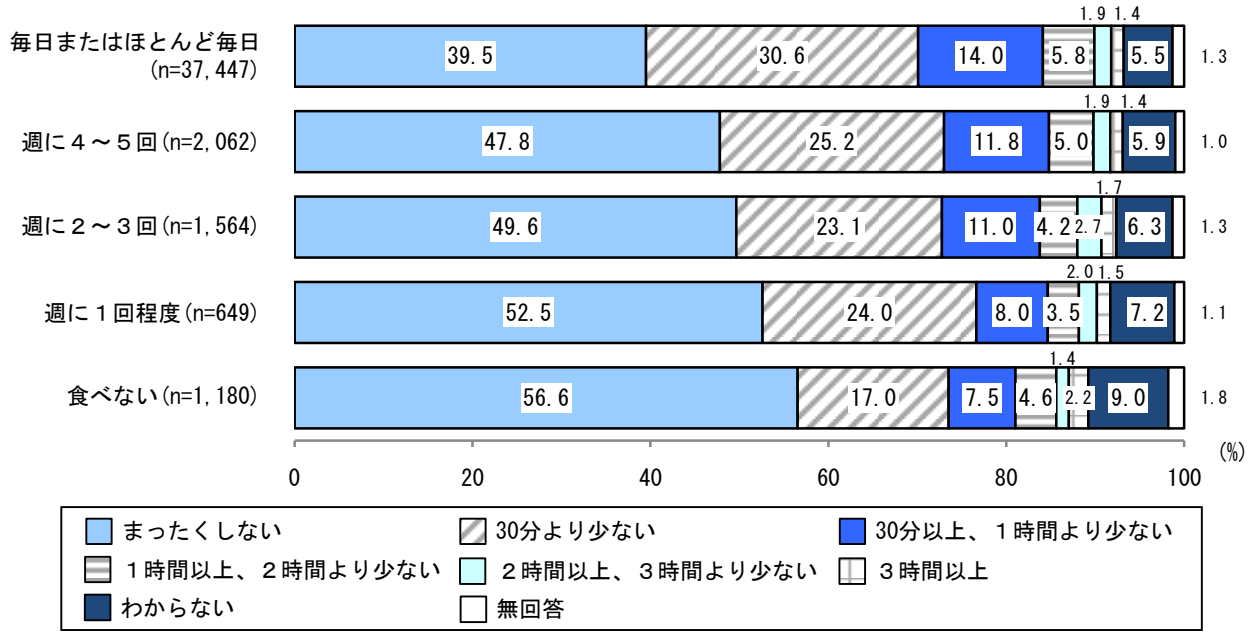


図 110. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間

起床時間の規則性別に授業以外の読書時間を見ると、ふだん同じ時刻に起きていない人ほど、「まったくしない」と回答した割合が高くなっている。起きていない人では、「まったくしない」と回答した人は58.8%となっている。

朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間（子ども票問４(1)×子ども票問 15）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

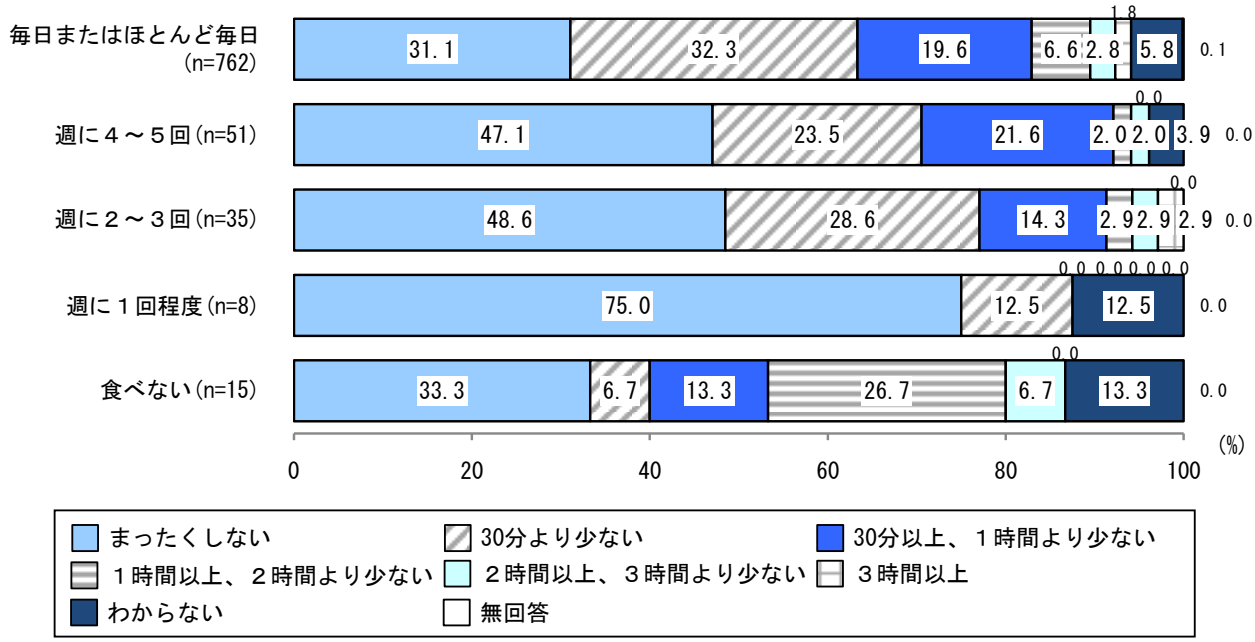
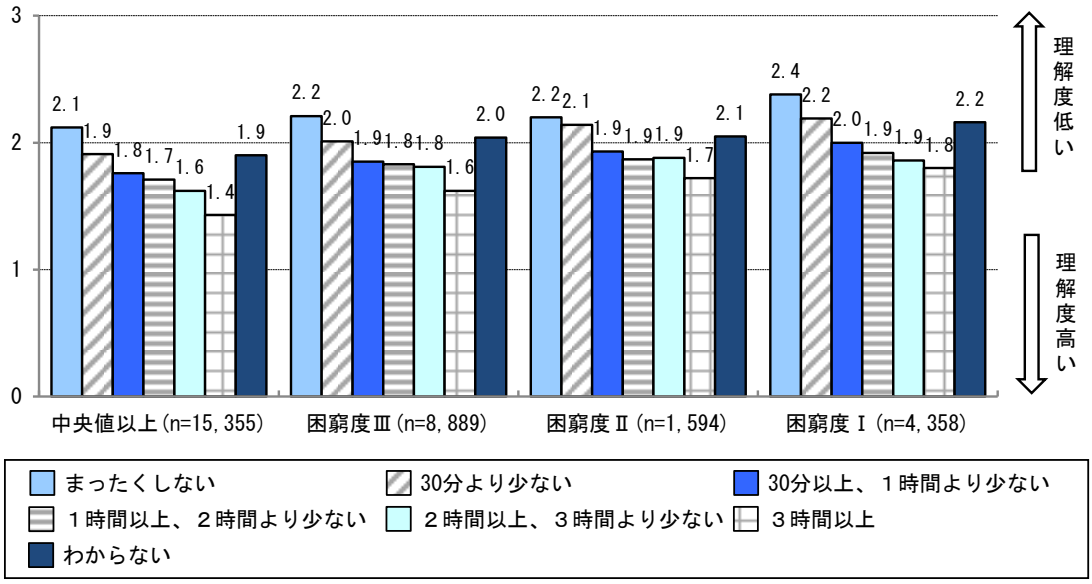


図 111. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間

朝食の頻度別に授業以外の読書時間を見ると、「まったくしない」と回答した人は週に１回程度の人では75.0％と最も高く、次いで週２～３回の人が48.6％となっている。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連
（子ども票問 14(1)×子ども票問 13①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

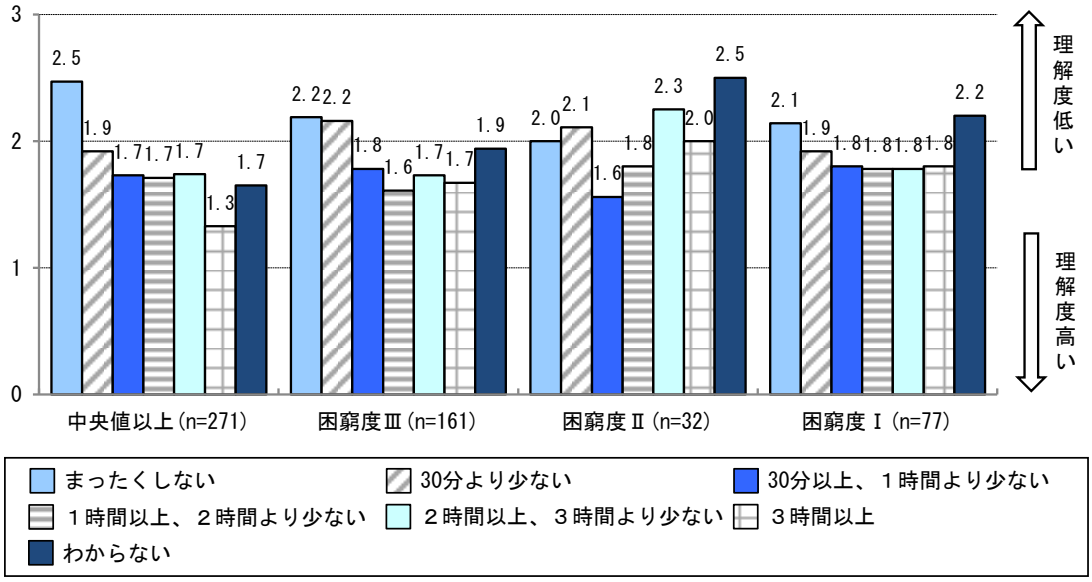
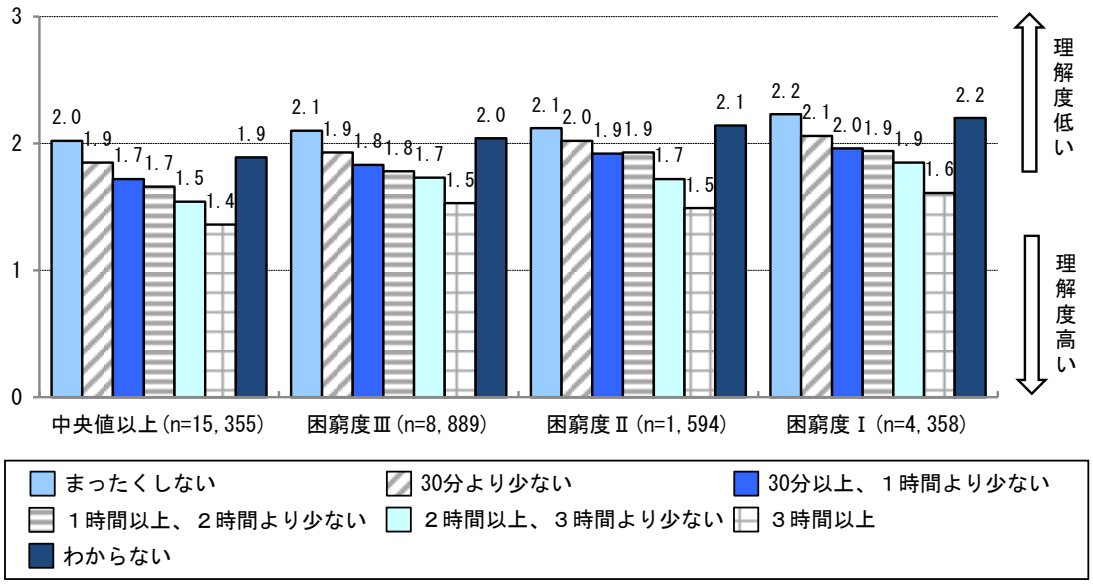


図 112. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がある日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上の群の子どもは、勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まる。しかし、それ以外の群の子どもは「まったくしない」の学習理解度はほかに比べて下がるが、学習時間と学習理解度が関連しない。

困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連
（子ども票問 14(1)×子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

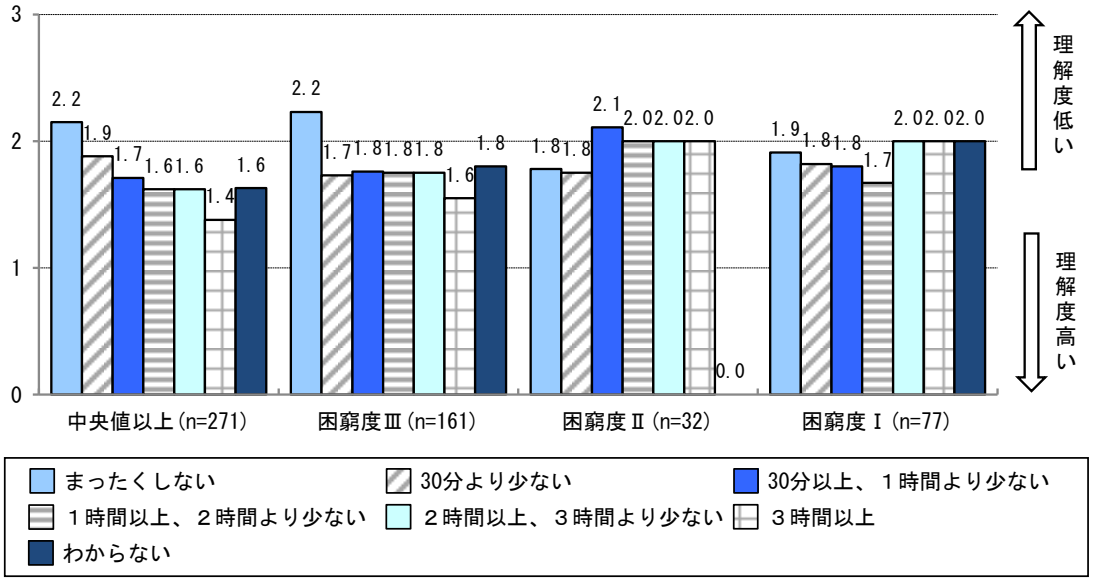
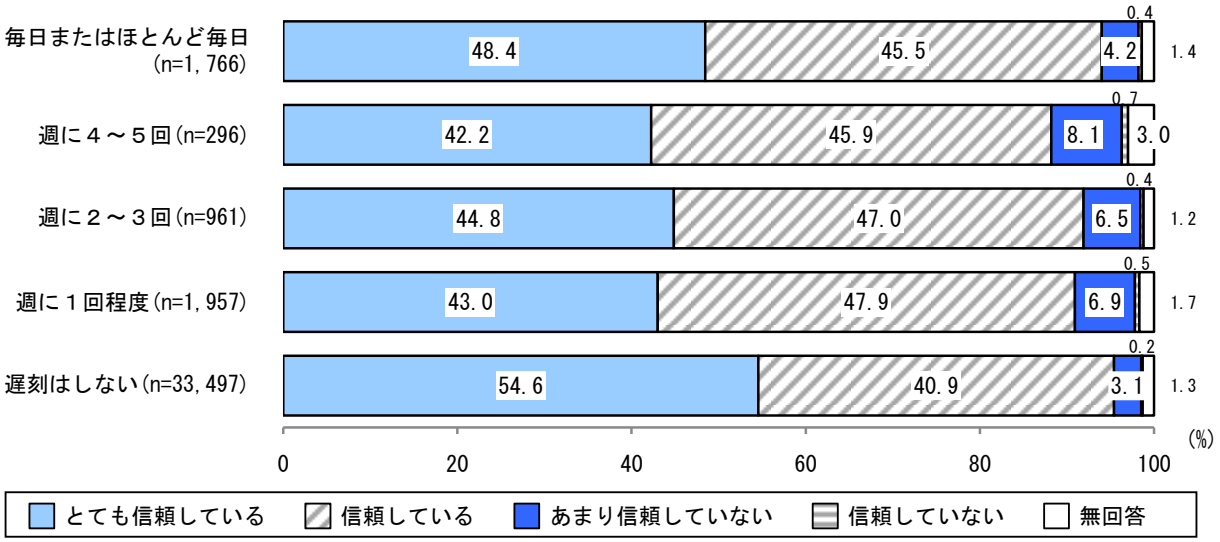


図 113. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連

困窮度別に学校がない日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間と学習理解度の関連を見ると、中央値以上の群の子どもは、勉強時間が長くなるほど、学習理解度が高まる。しかし、それ以外の群の子どもは「まったくしない」の学習理解度はほかに比べて下がるが、学習時間と学習理解度が関連しない。

学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度（子ども票問７×保護者票問 13(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

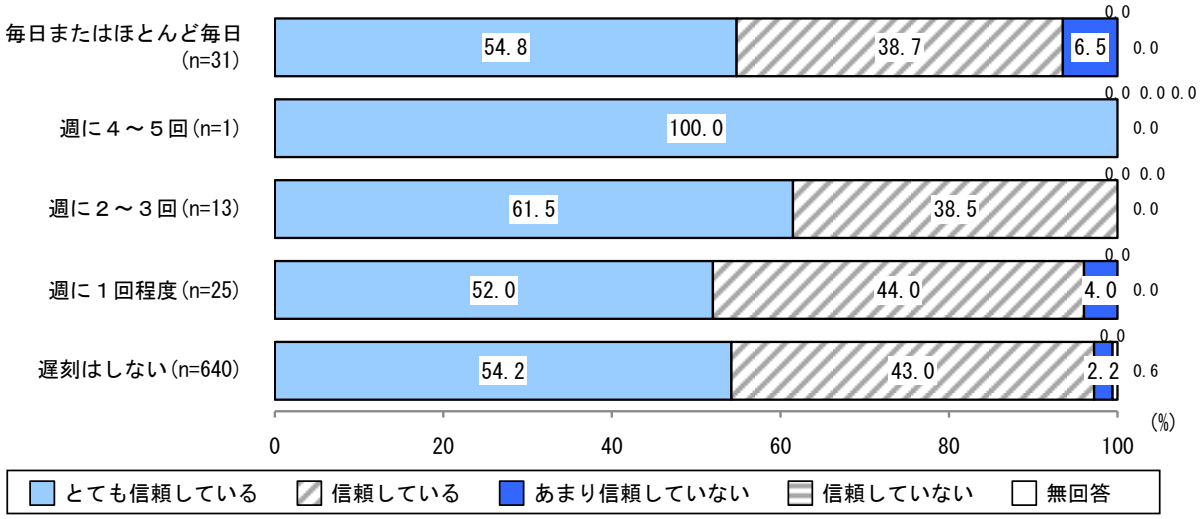
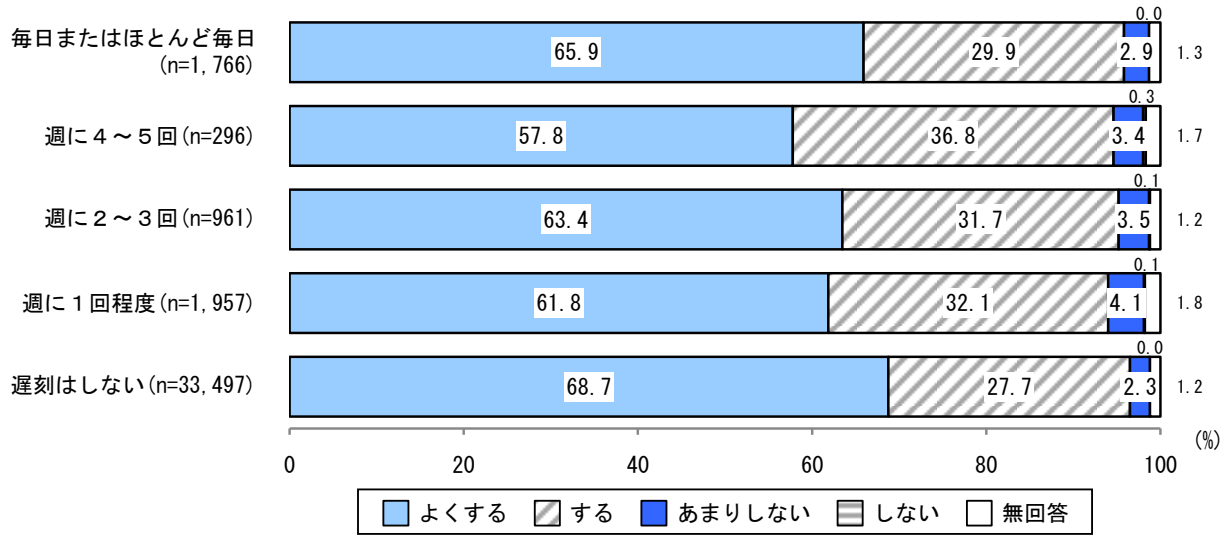


図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度

学校への遅刻別に子どもへの信頼度を見ると、「週に２～３回」子どもにおいては、保護者は「とても信頼している」割合が高く、61.5%である。「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいては、保護者は「あまり信頼していない」割合が高く、6.5%である。

学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度（子ども票問７×保護者票問 13(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

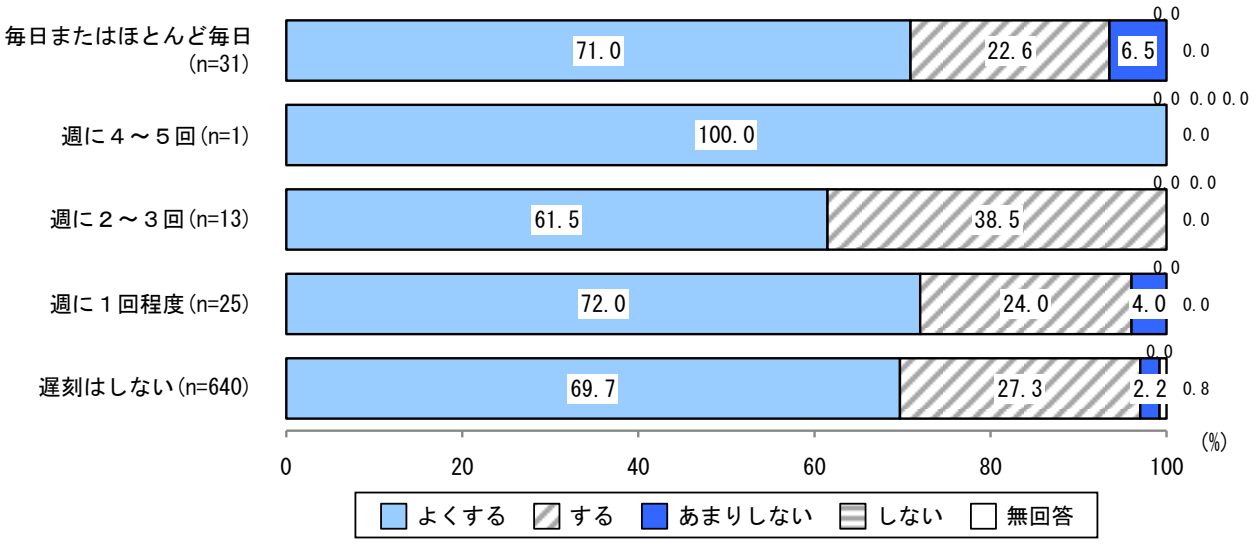
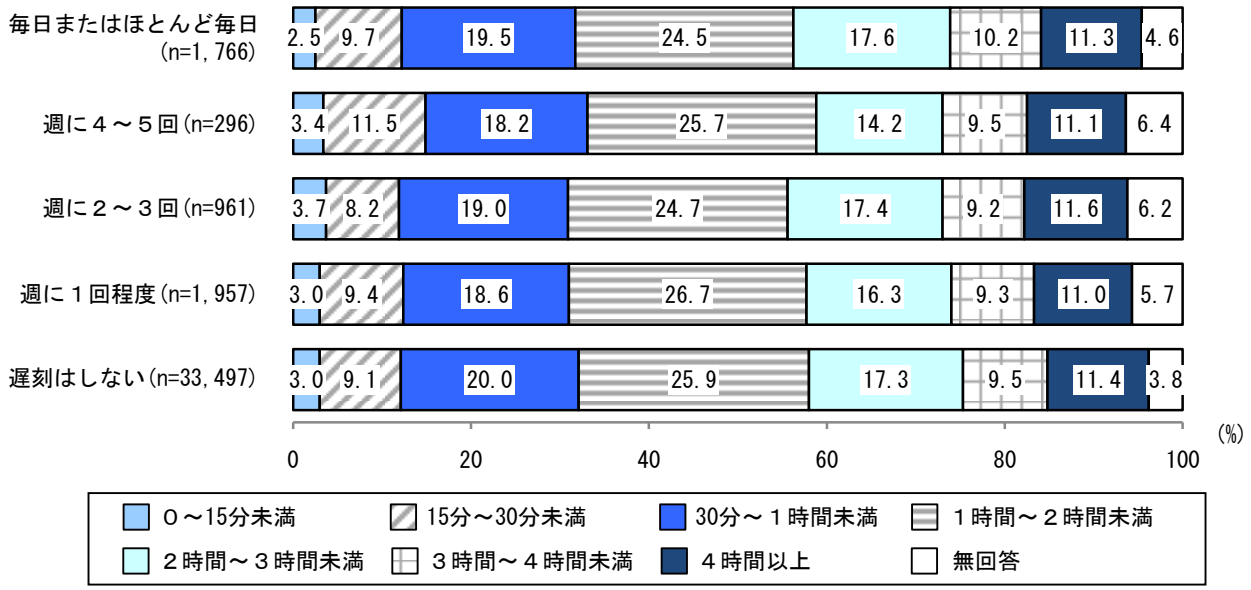


図 115. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度

学校への遅刻別に子どもとの会話頻度を見ると、「週に１回程度」の子どもにおいては、会話を「よくする」割合が高く、72.0%である。次いで「毎日またはほとんど毎日」の子どもが71.0%である。

学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間（子ども票問７×保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

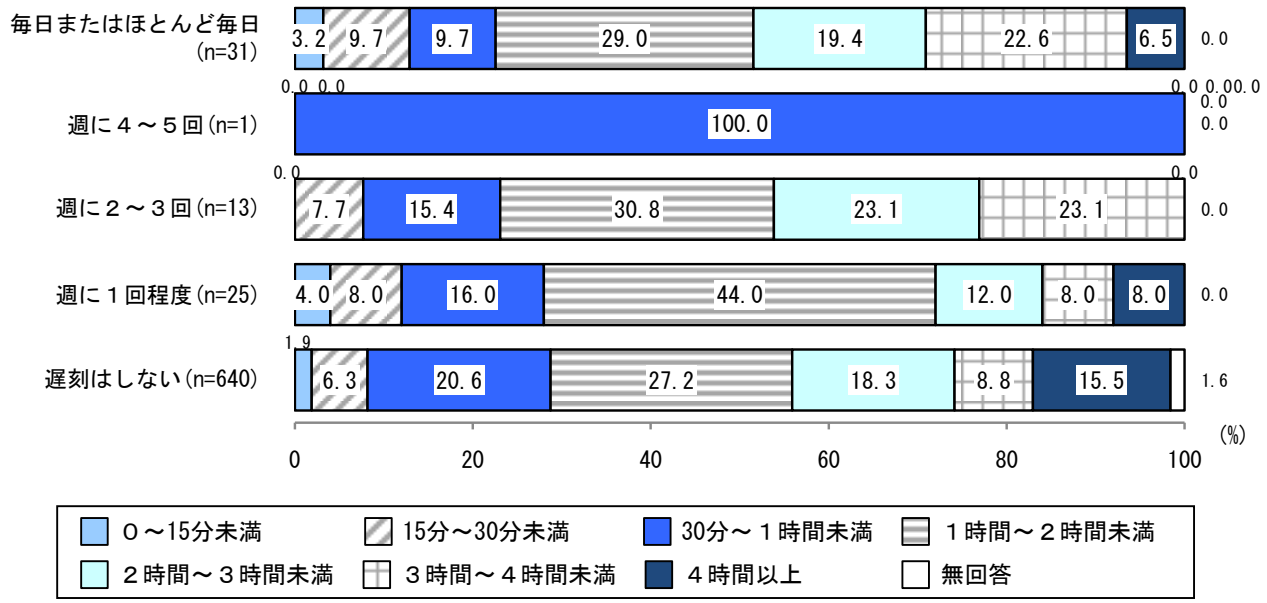
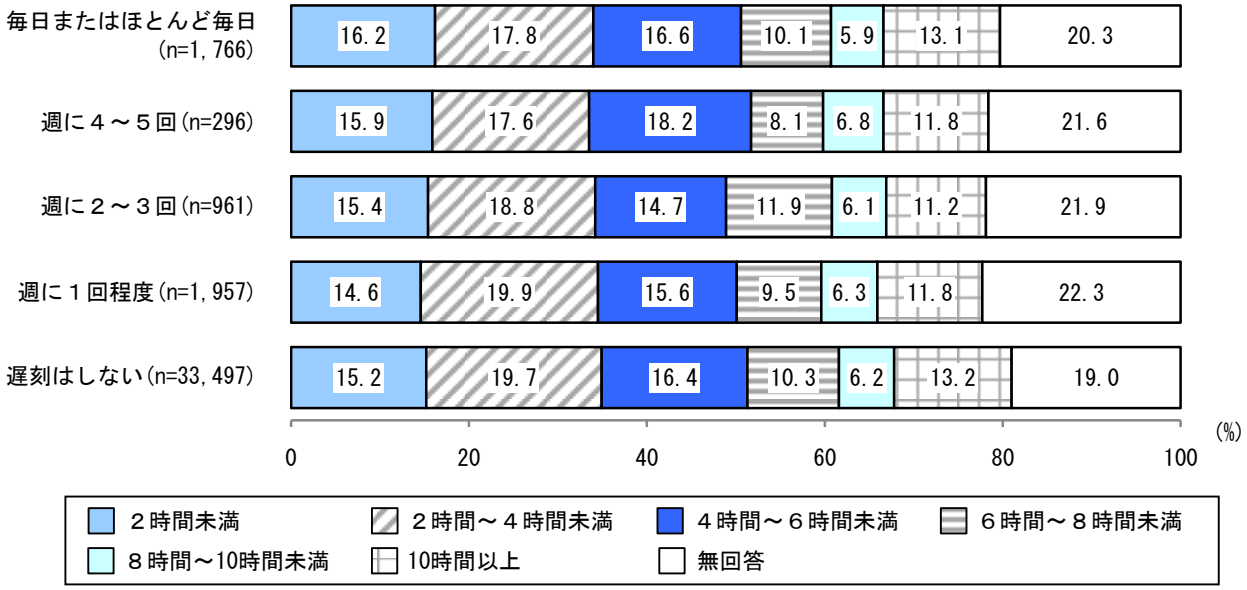


図 116. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「週に１回程度」の子どもにおいては、「０～15分未満」（4.0%）、「１時間～２時間未満」（44.0%）の割合が最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間（子ども票問７×保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

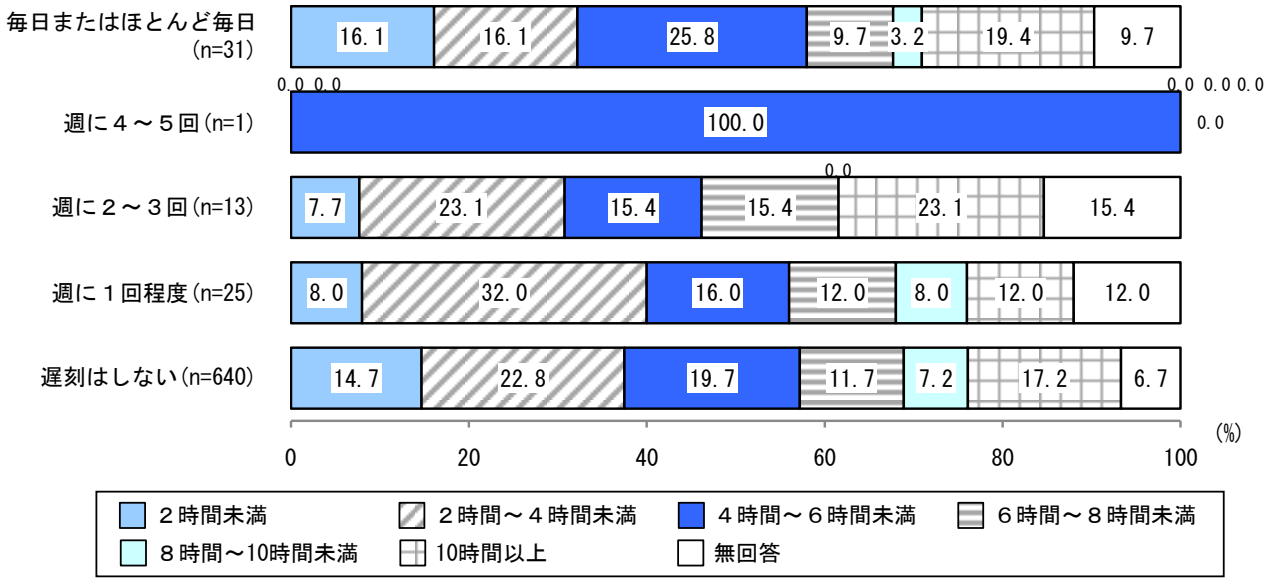
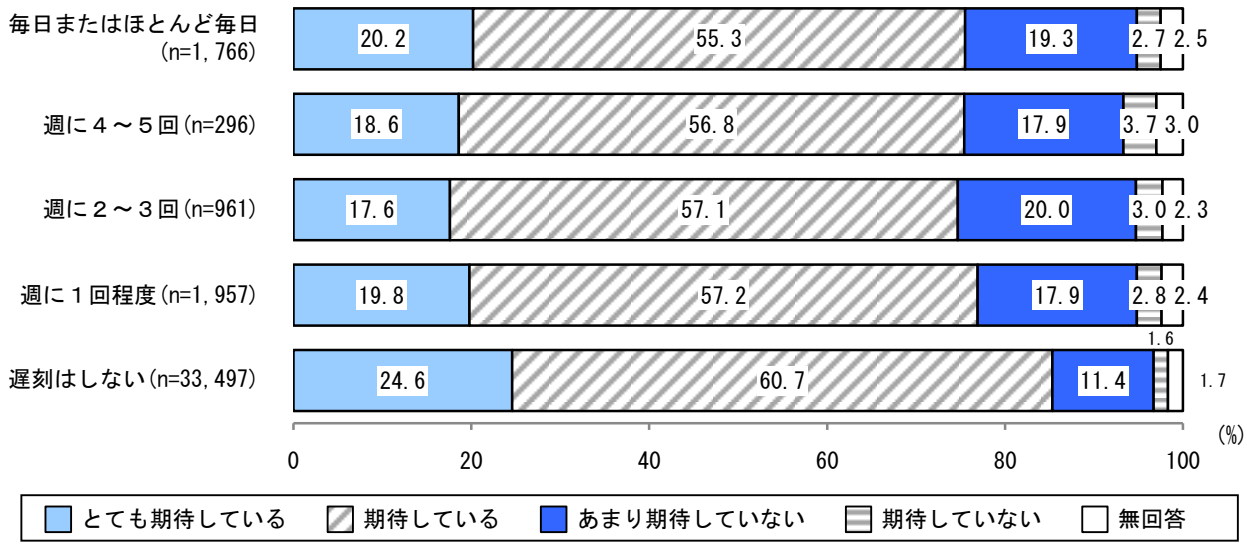


図 117. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間

学校への遅刻別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「毎日またはほとんど毎日」の子どもにおいては、「２時間未満」（16.1%）の割合が最も高くなっている。「週に２～３回」の子どもにおいては、「６時間～８時間未満」（15.4%）、「10時間以上」（23.1%）の割合が最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度（子ども票問７×保護者票問 13(4)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

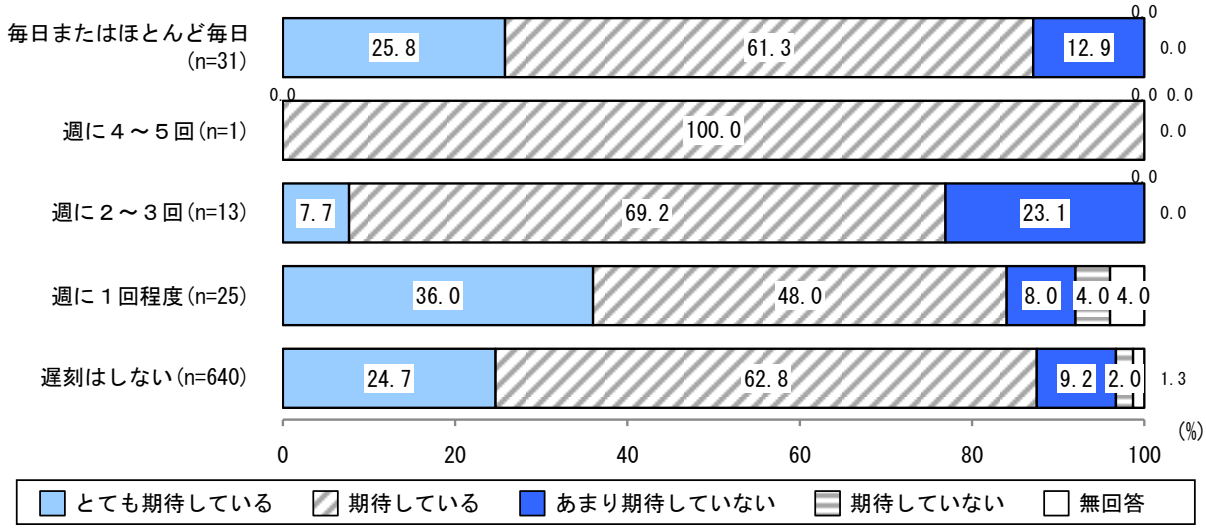
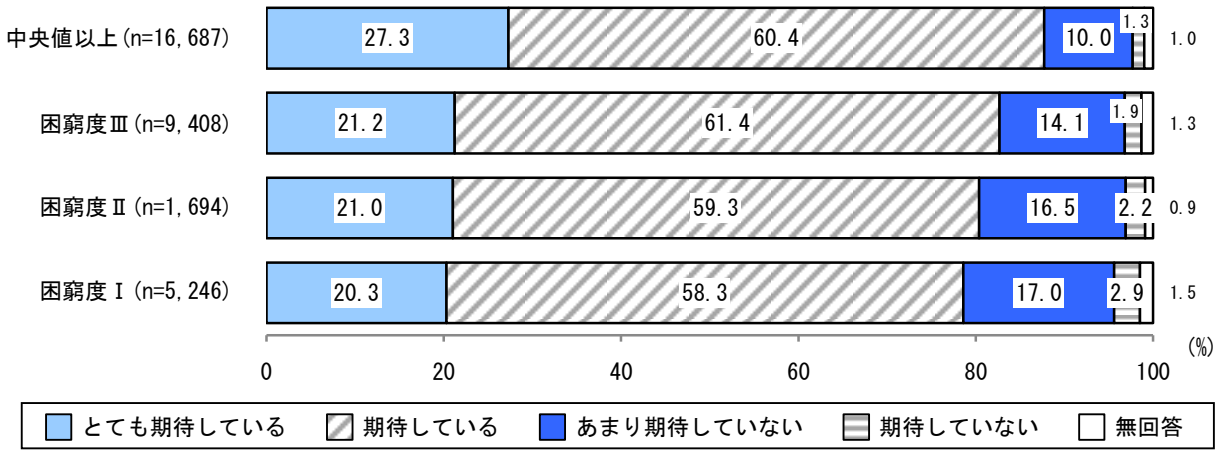


図 118. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度

学校への遅刻別に子どもの将来への期待度を見ると、「週に１回程度」の子どもにおいては、「とても期待している」の割合が36.0%で最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの将来への期待度（保護者票問 13(4)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

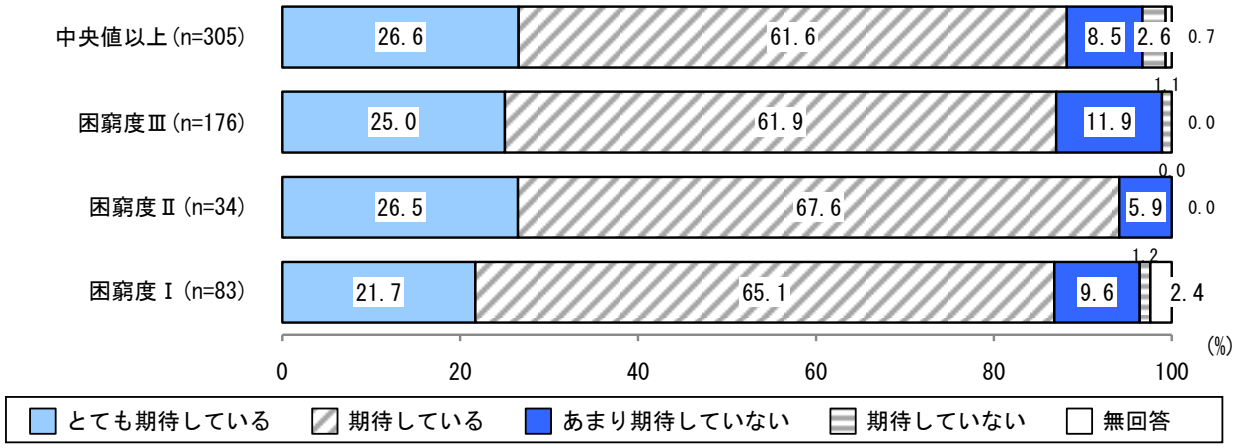
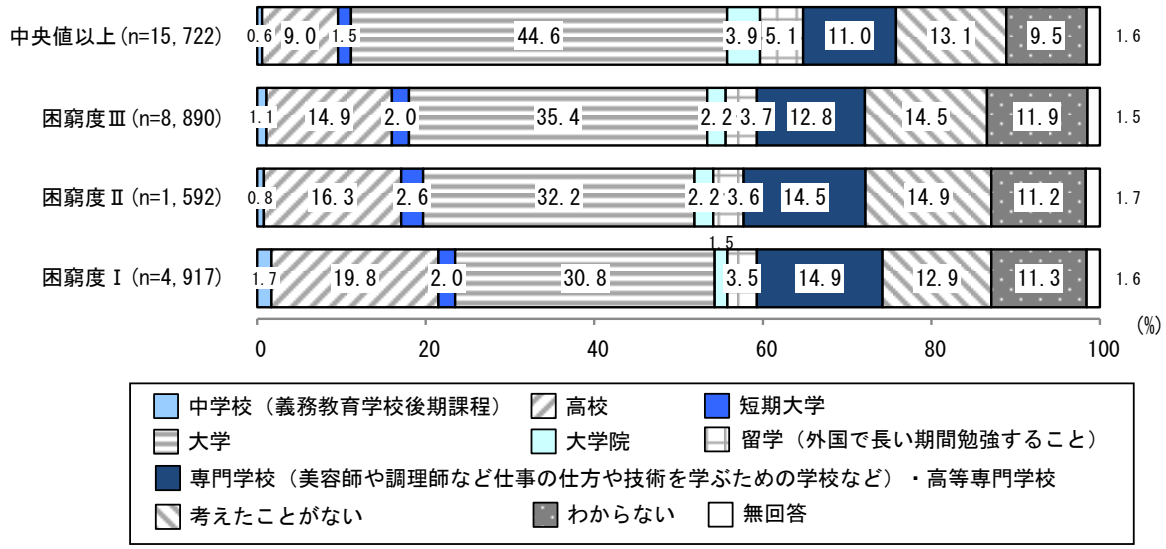


図 119. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度

困窮度別に子どもの将来への期待度を見ると、「あまり期待していない」の割合は困窮度Ⅱ群が5.9%で最も低くなっている。「とても期待している」の割合は困窮度Ⅰ群が21.7%で最も低くなっている。

困窮度別に見た、希望する進学先（子ども票問 24）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

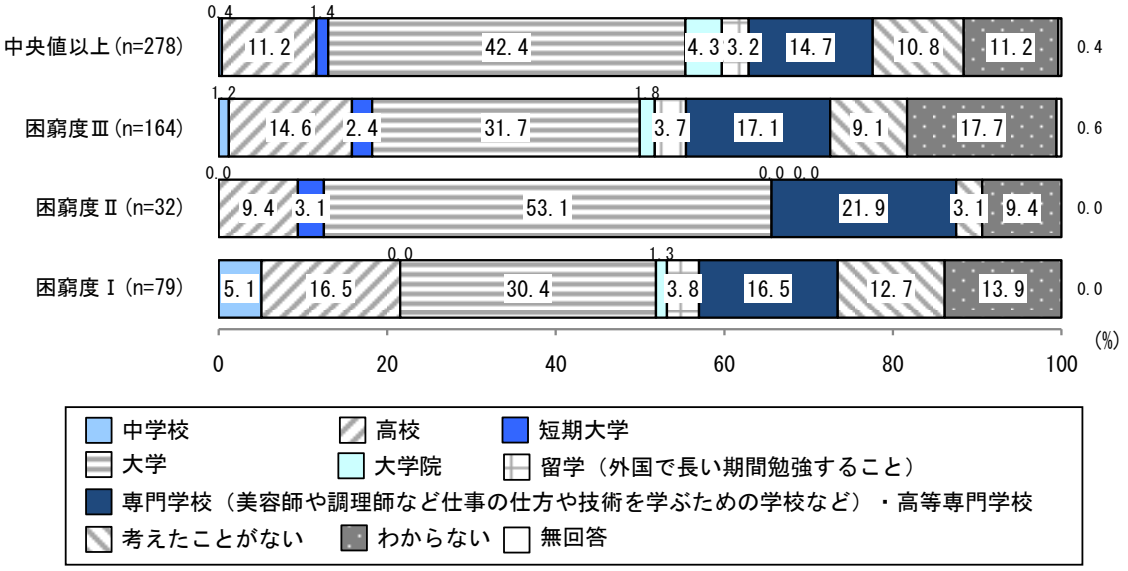
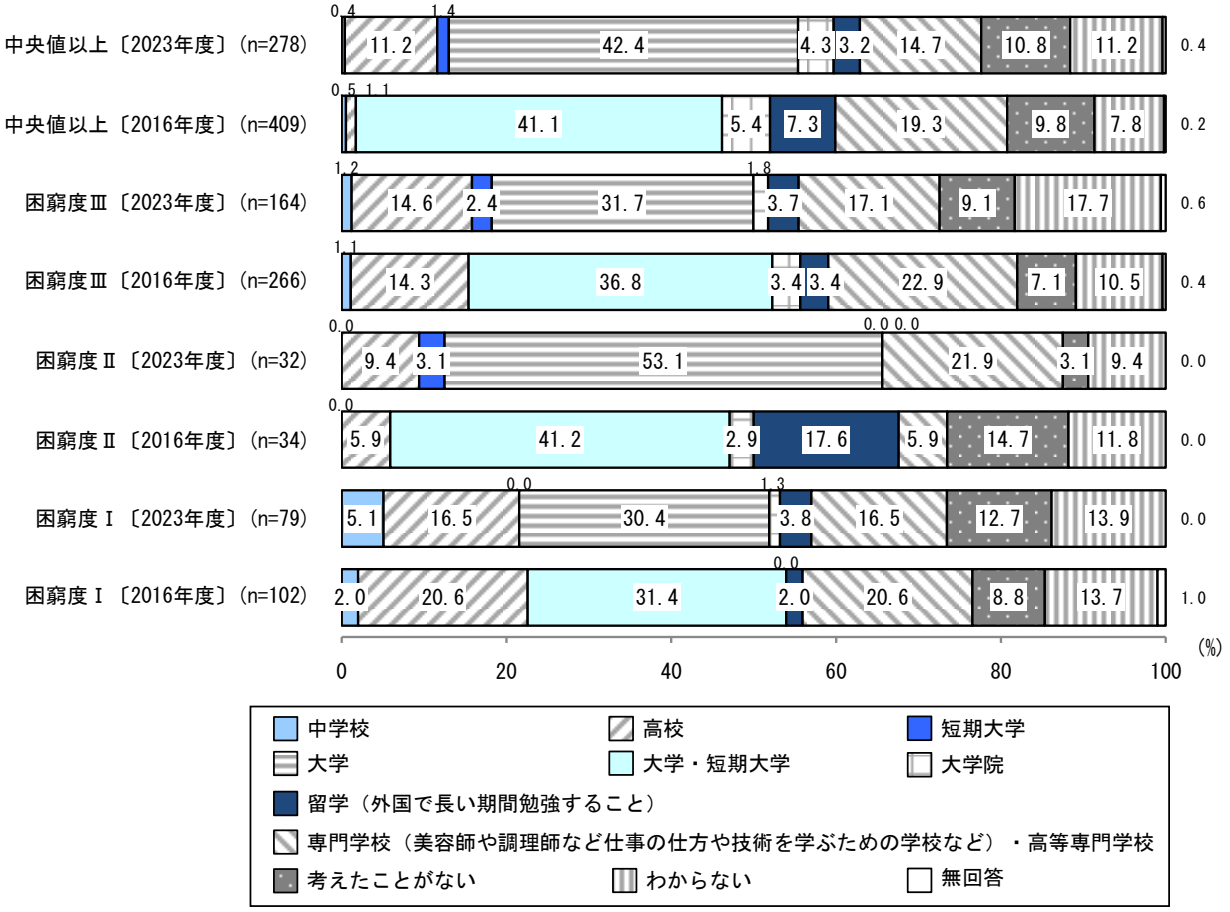


図 120. 困窮度別に見た、希望する進学先

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度が高まるにつれ、高校卒業までの割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「中学校」「高校」と回答した子どもは合計21.6%である。中央値以上群において「大学」と回答した割合は高く、42.4%である。

＜2016 年度調査との比較／大阪狭山市＞



※1　「短期大学」「大学」は、2016 年度調査では「大学・短期大学」

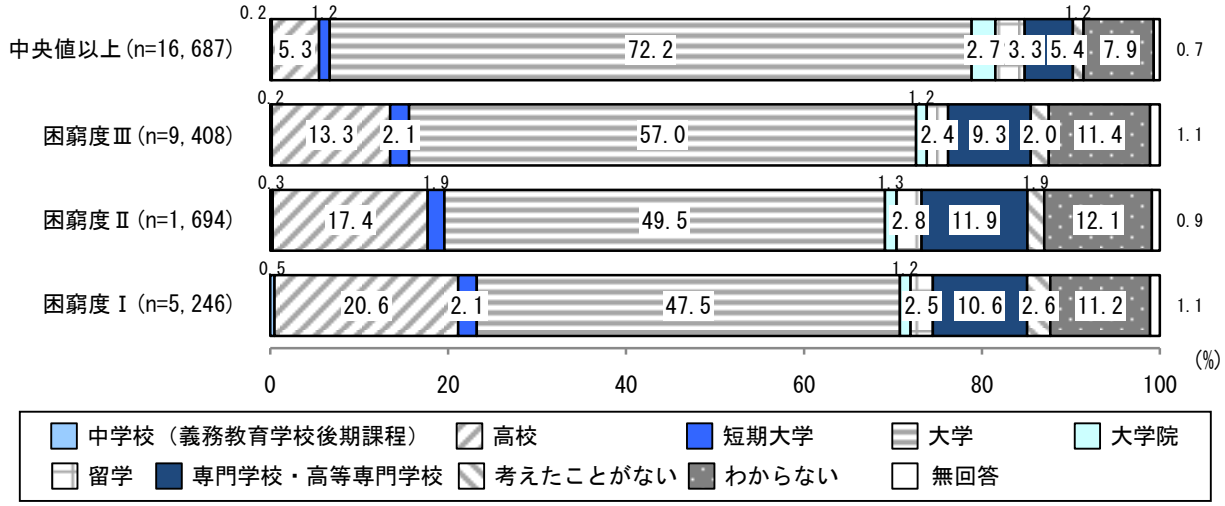
※2　「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」は、2016 年度調査では「専門学校」

図 121. 困窮度別に見た、希望する進学先（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「高校」、「専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて低くなっている。

困窮度別に見た、子どもに希望する進学（保護者票問 14）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

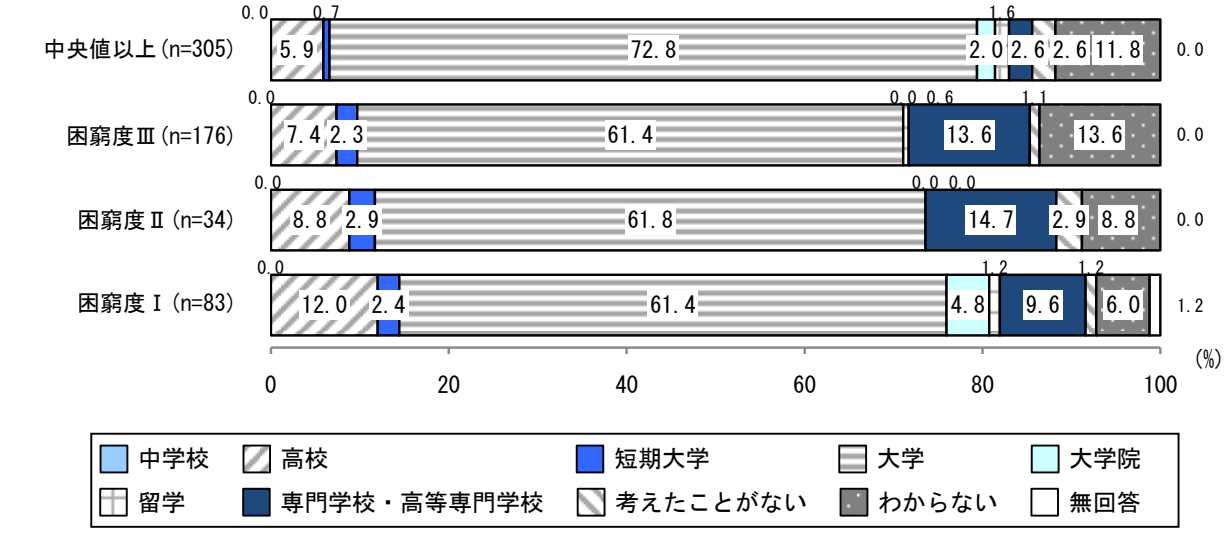
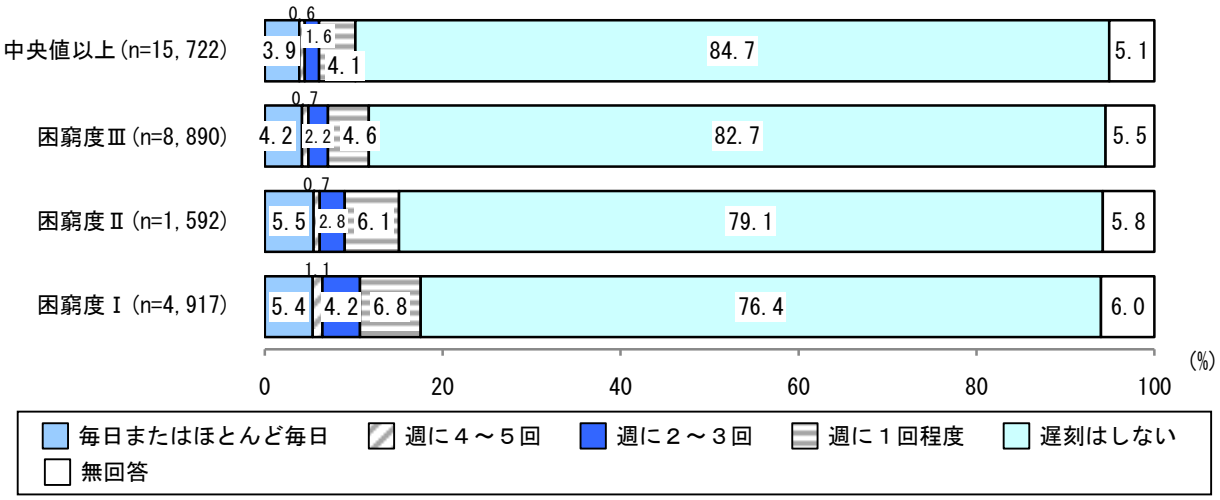


図 122. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学

困窮度別に子どもの希望する進学先を見ると、困窮度が高まるにつれ、高校卒業までの割合が高くなっている。困窮度Ⅰ群では、「高校」と回答した人は12.0%である。中央値以上群において「大学」と回答した割合は高く、72.8%である。

困窮度別に見た、学校への遅刻（子ども票問７）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

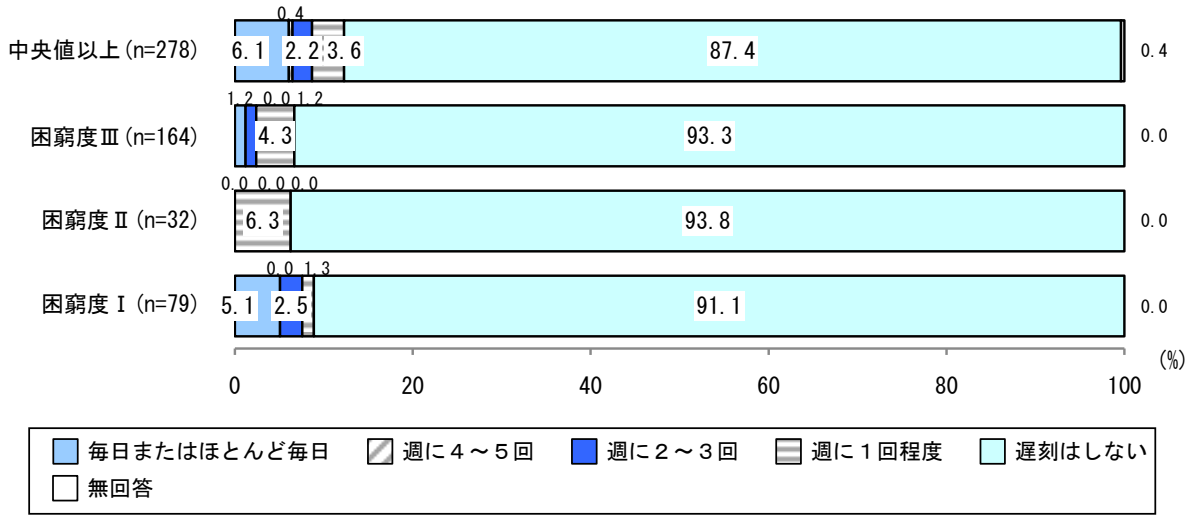
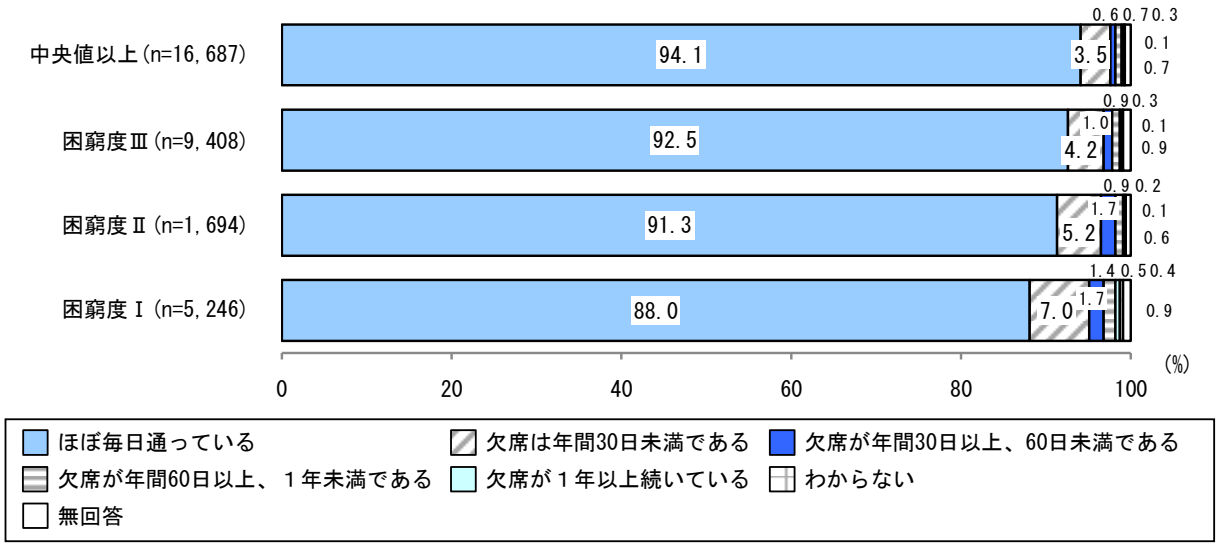


図 123. 困窮度別に見た、学校への遅刻

困窮度別に学校への遅刻を見ると、「毎日またはほとんど毎日」は中央値以上群が6.1%と最も高くなっている。「週に１回程度」は困窮度Ⅱ群が6.3%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、子どもの通学状況（保護者票問 15）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

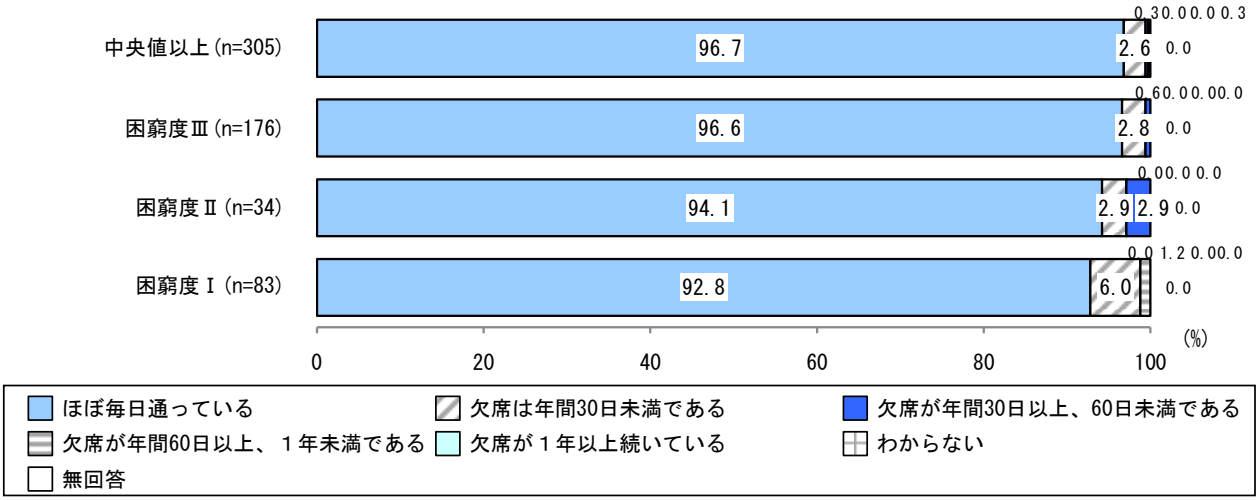
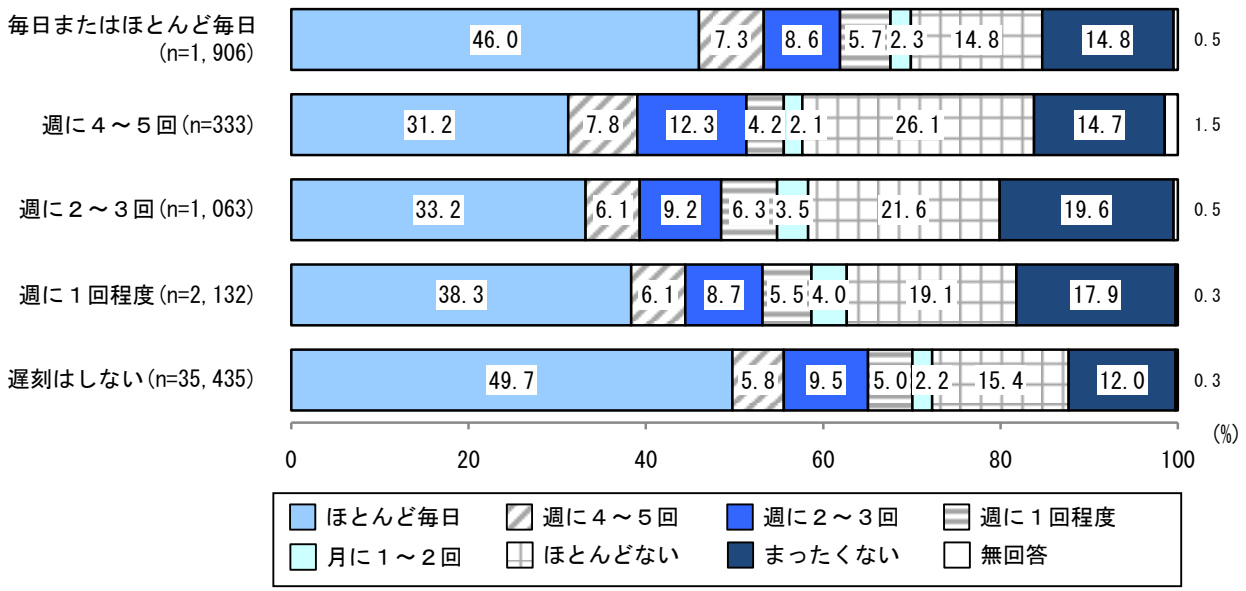


図 124. 困窮度別に見た、子どもの通学状況

困窮度別に子どもの通学状況を見ると、困窮度が高くなるにつれ、「ほぼ毎日通っている」と回答した人の割合が低くなり、困窮度Ⅰ群が92.8%と最も低くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか
（子ども票問７×保護者票問８①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

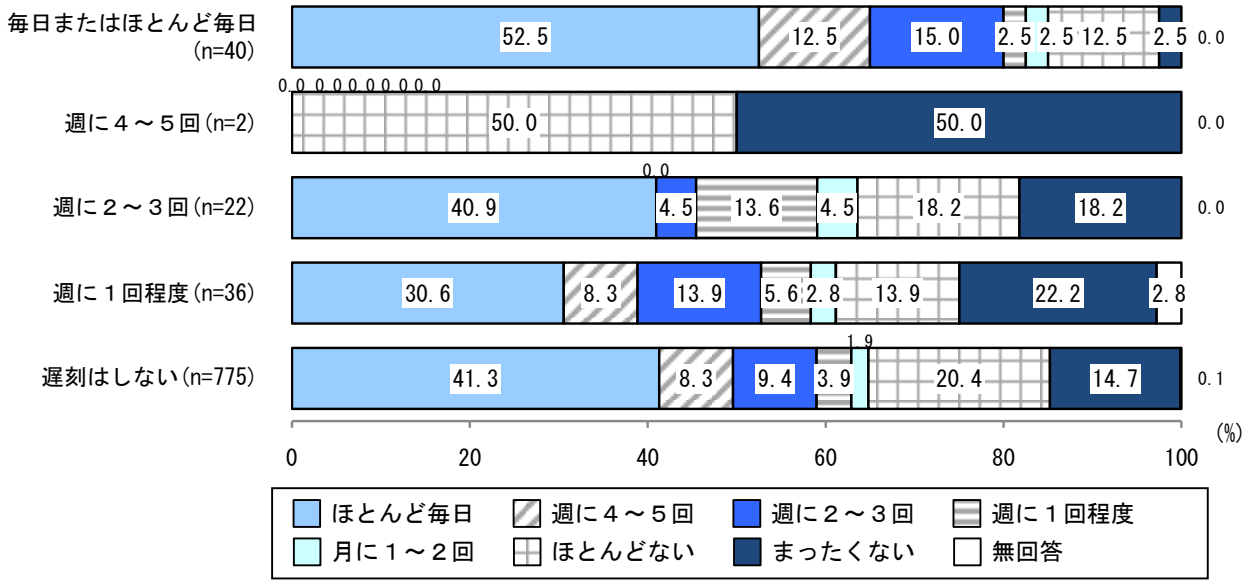
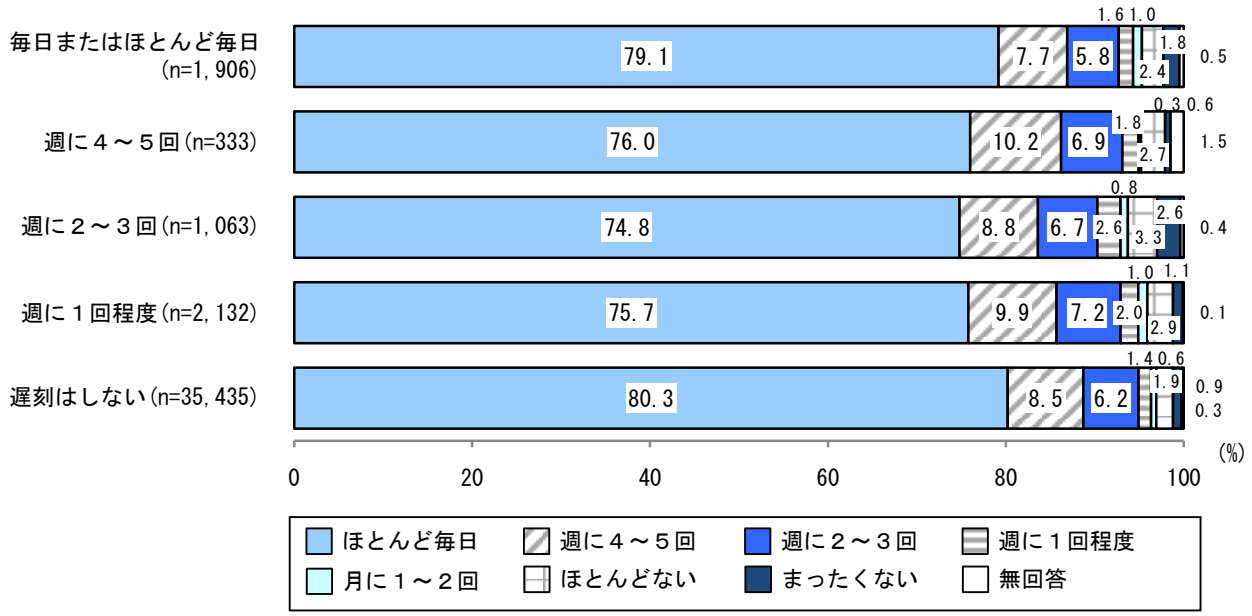


図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に朝食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもが52.2%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は週に１回程度遅刻をしている子どもの割合が22.2%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか
（子ども票問７×保護者票問８②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

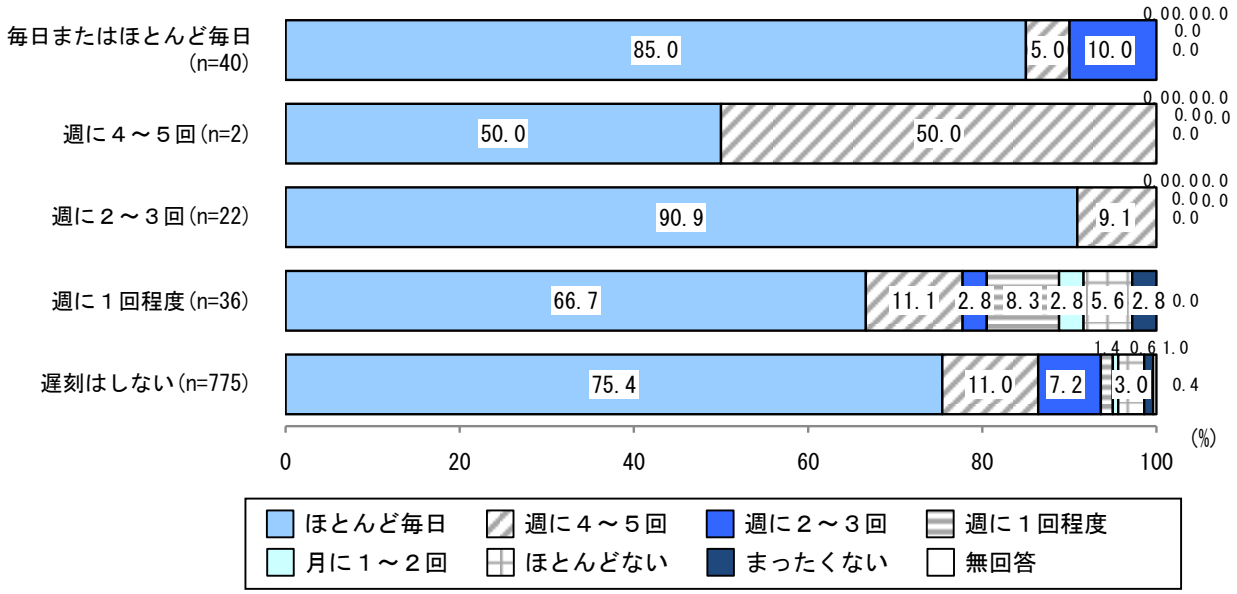
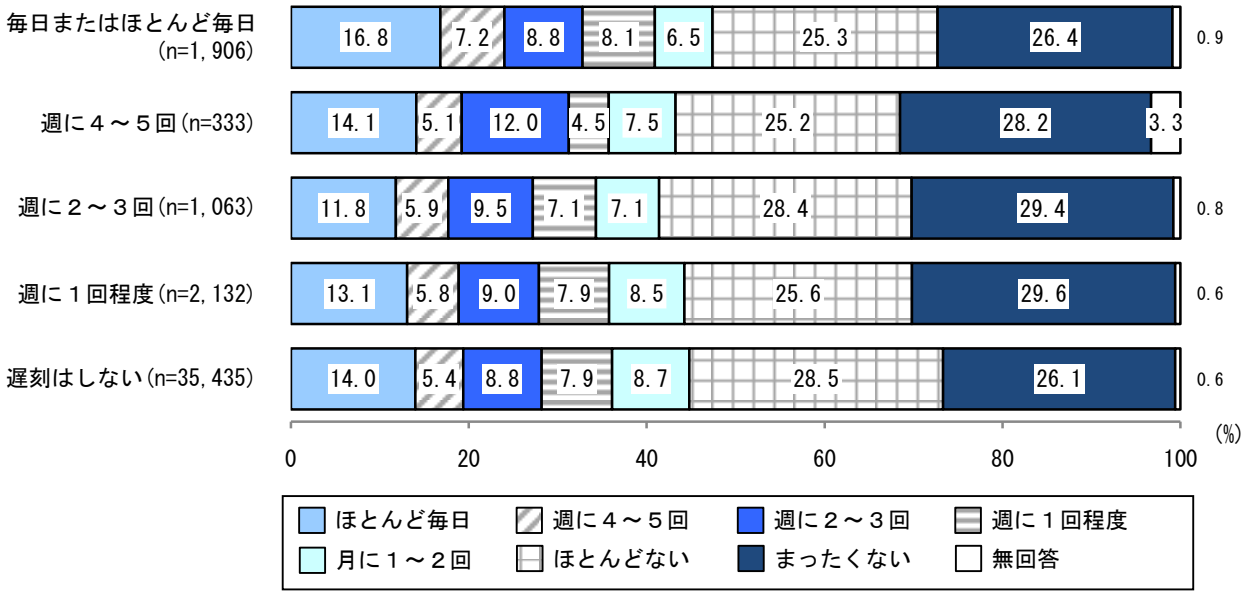


図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に夕食を食べているかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は週に２～３回遅刻をしている子どもで割合が90.9%で最も高く、一方で、「ほとんどない」は週に１回程度遅刻をしている子どもの割合が5.6%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（子ども票問７×保護者票問８⑤）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

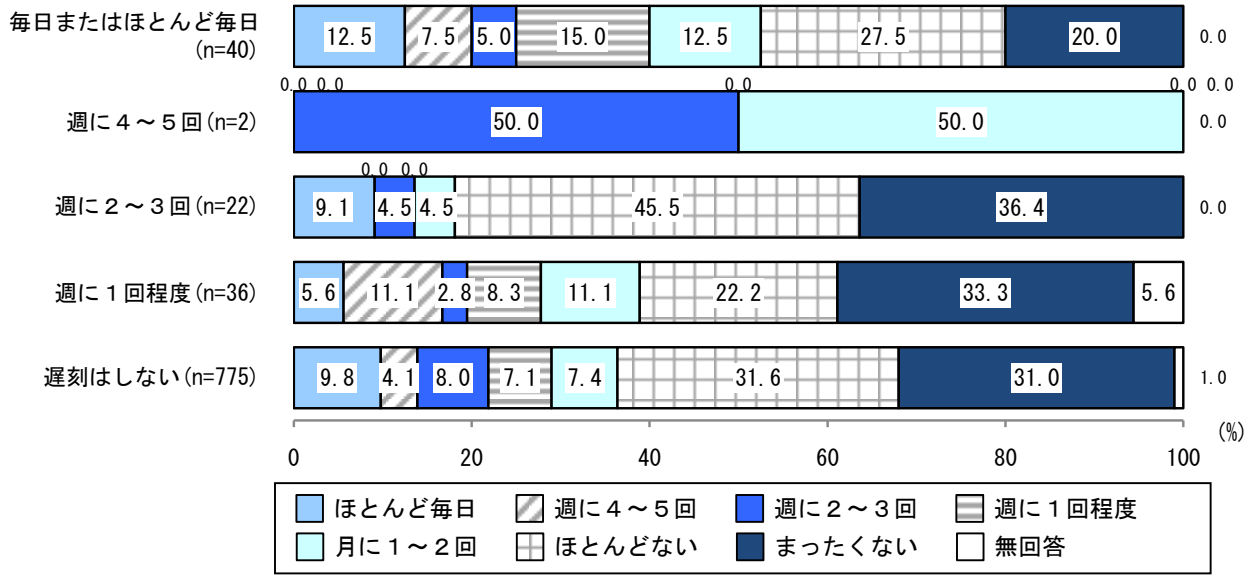
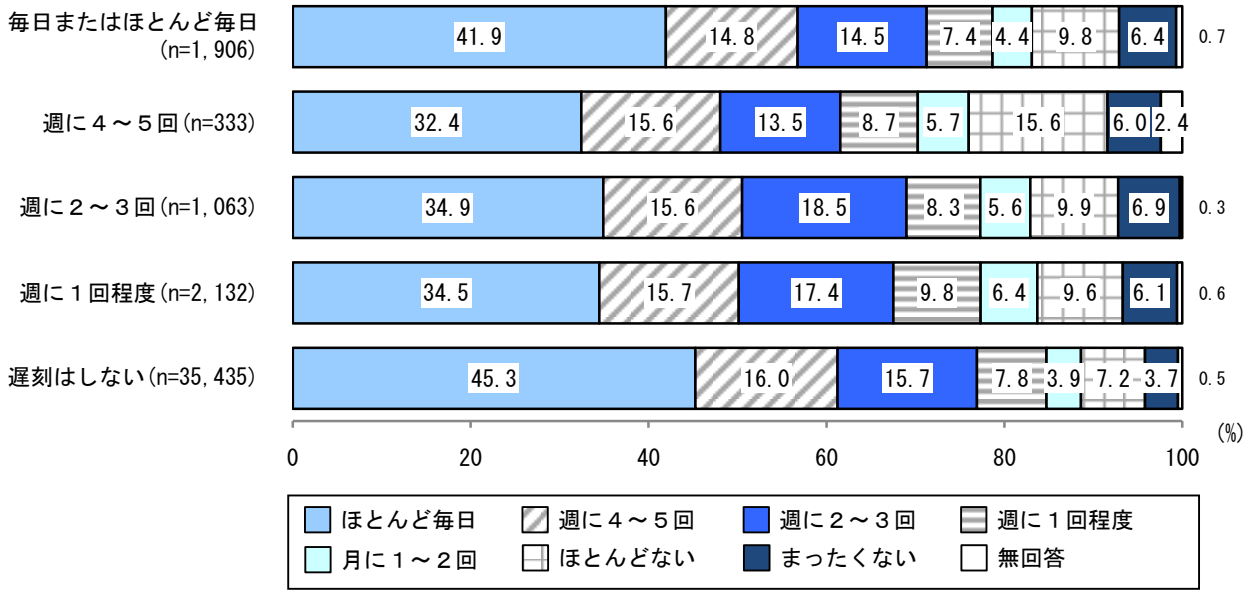


図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

学校への遅刻別におうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらうかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもが12.5%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は週に２～３回遅刻をしている子どもの割合が36.4%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか
（子ども票問７×保護者票問８⑥）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

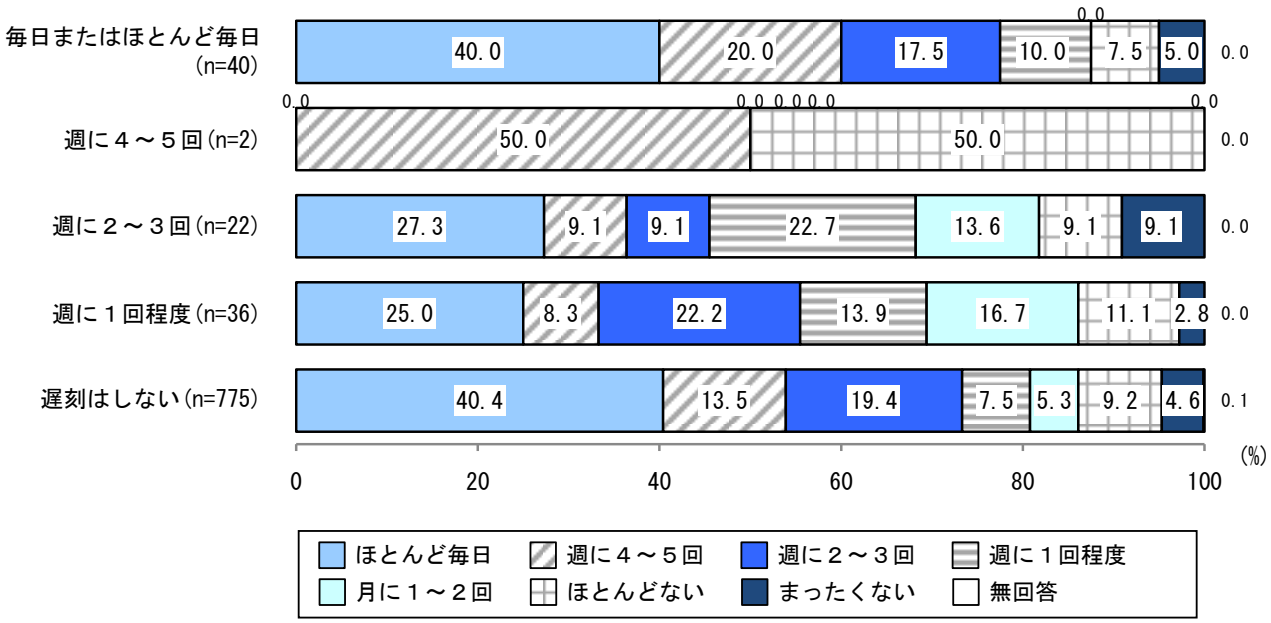
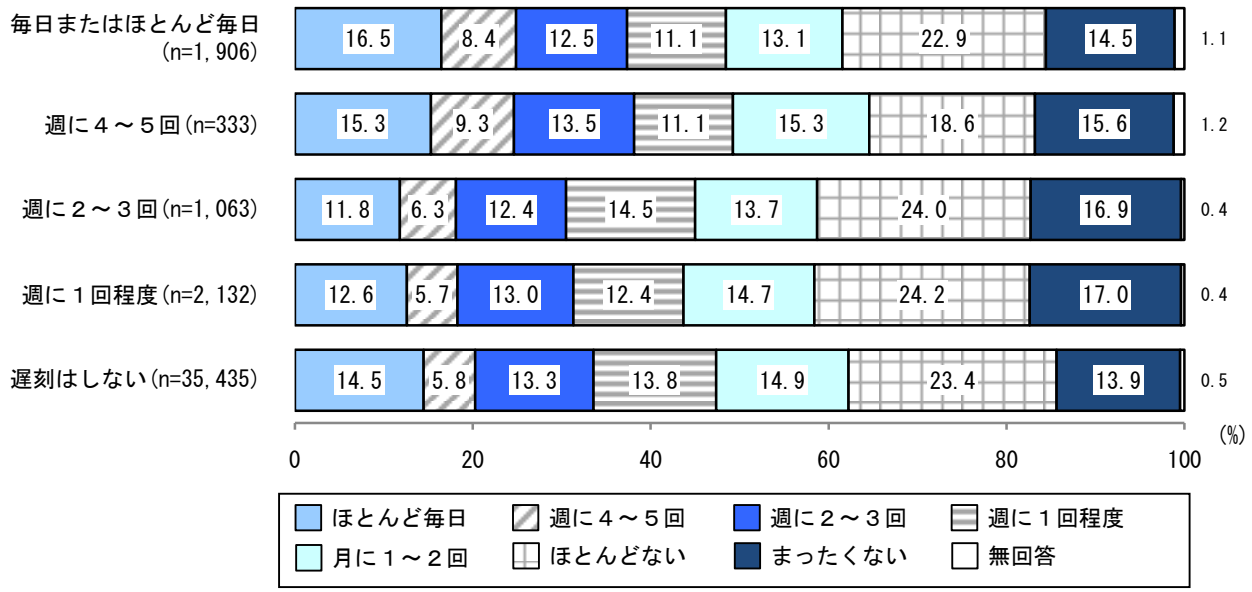


図 128. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は遅刻はしない子どもが40.4%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は週に２～３回遅刻をしている子どもの割合が9.1%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
（子ども票問７×保護者票問８⑦）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

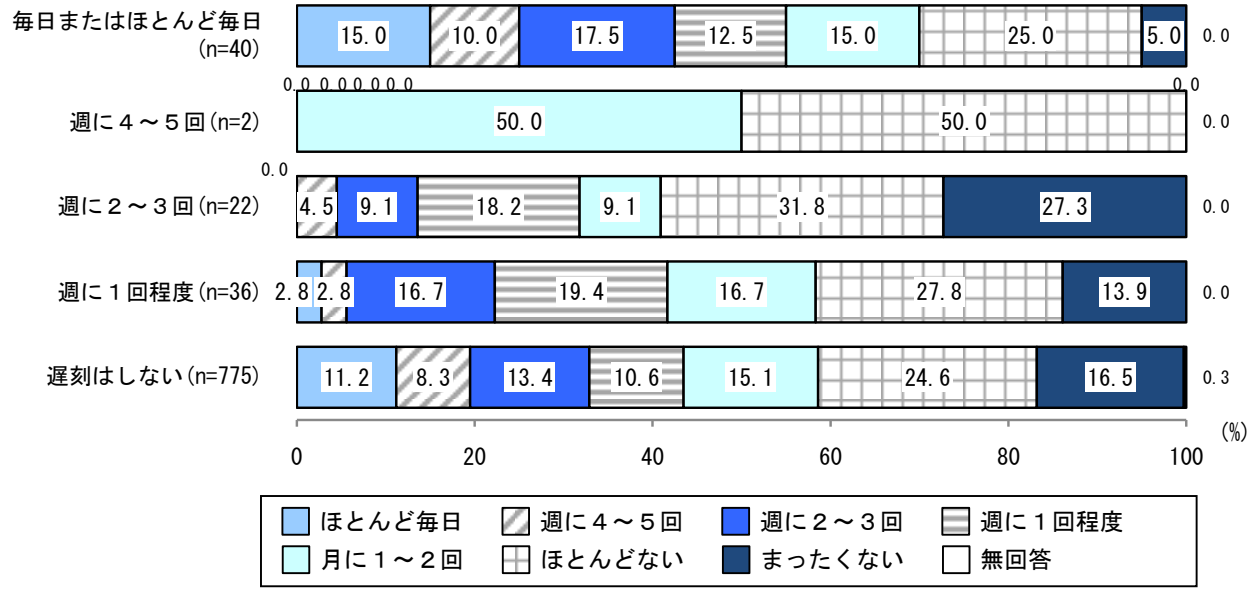
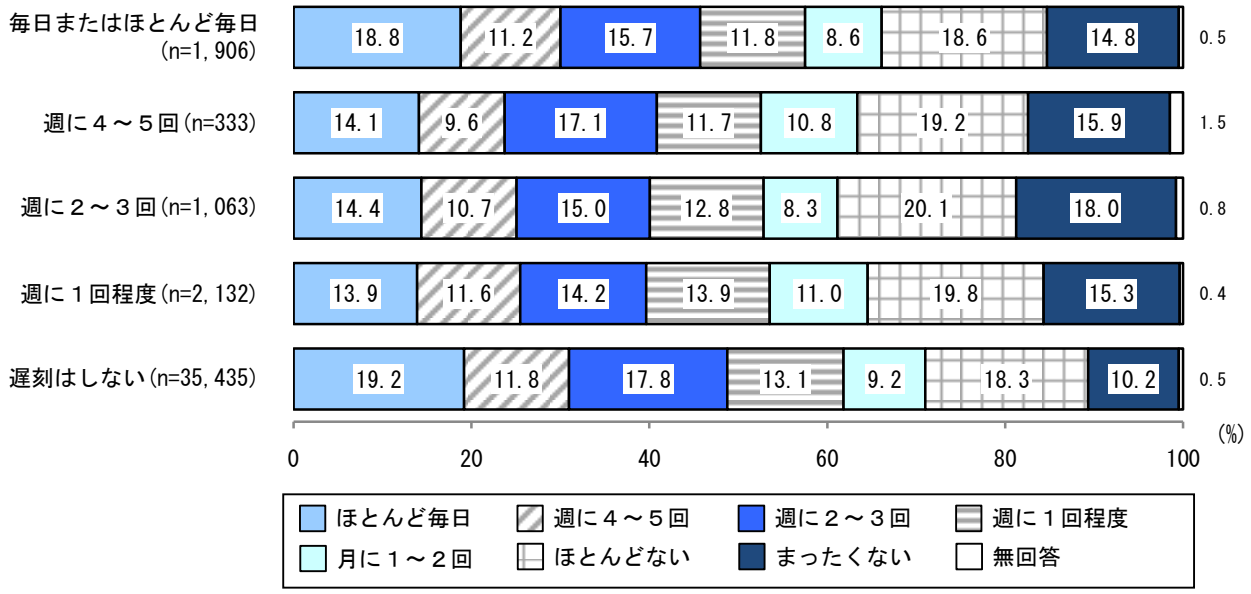


図 129. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもが15.0%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は週に２～３回遅刻をしている子どもの割合が27.3%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか
（子ども票問７×保護者票問８⑧）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

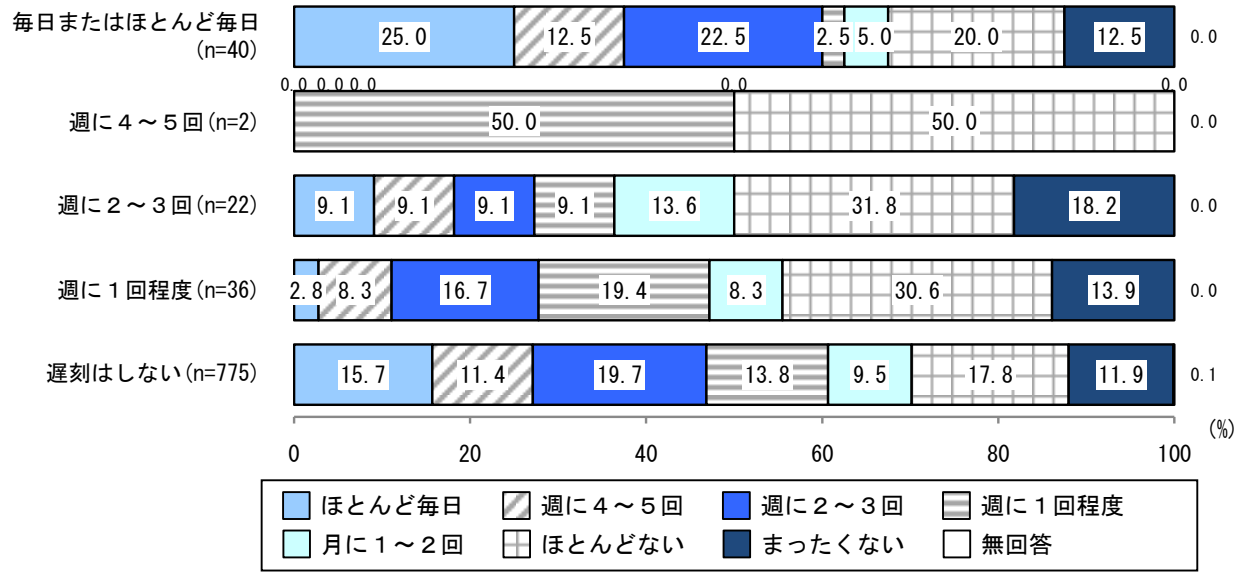
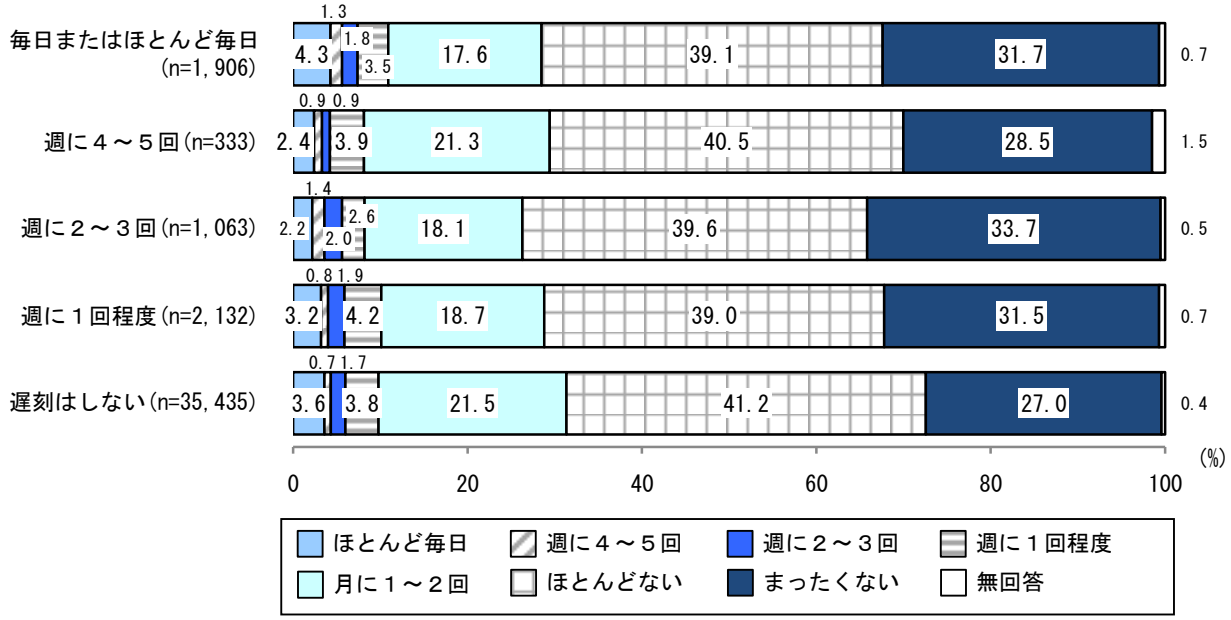


図 130. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

学校への遅刻別におうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもが25.0%で割合が最も高く、一方で、「まったくない」は週に２～３回遅刻をしている子どもの割合が18.2%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか
（子ども票問７×保護者票問８⑨）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

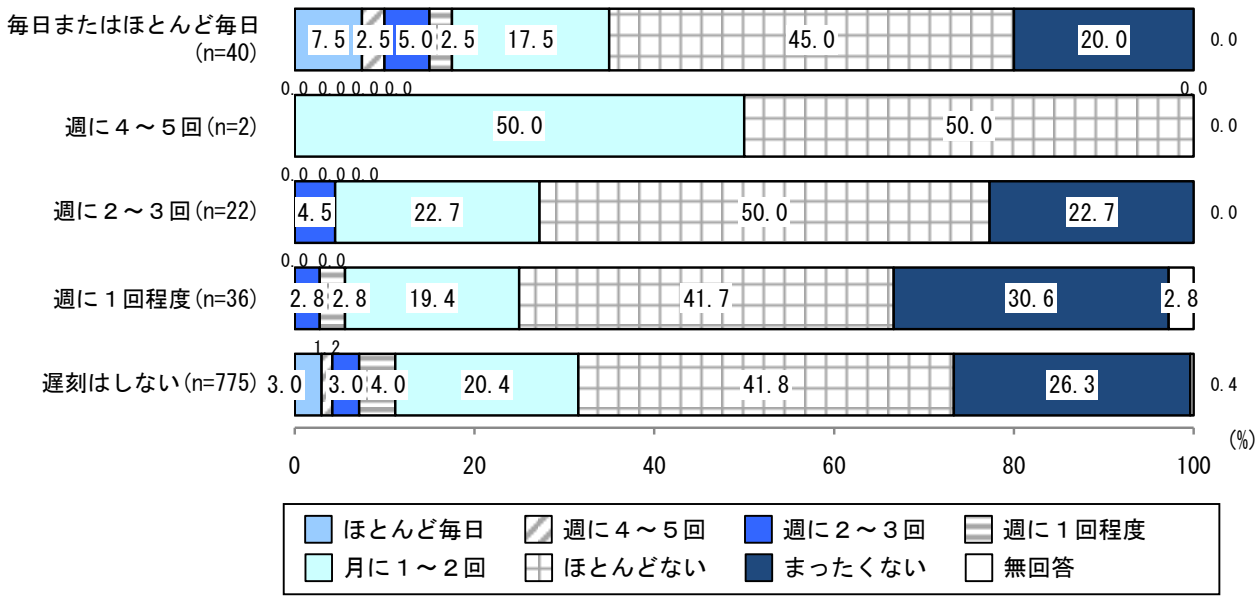
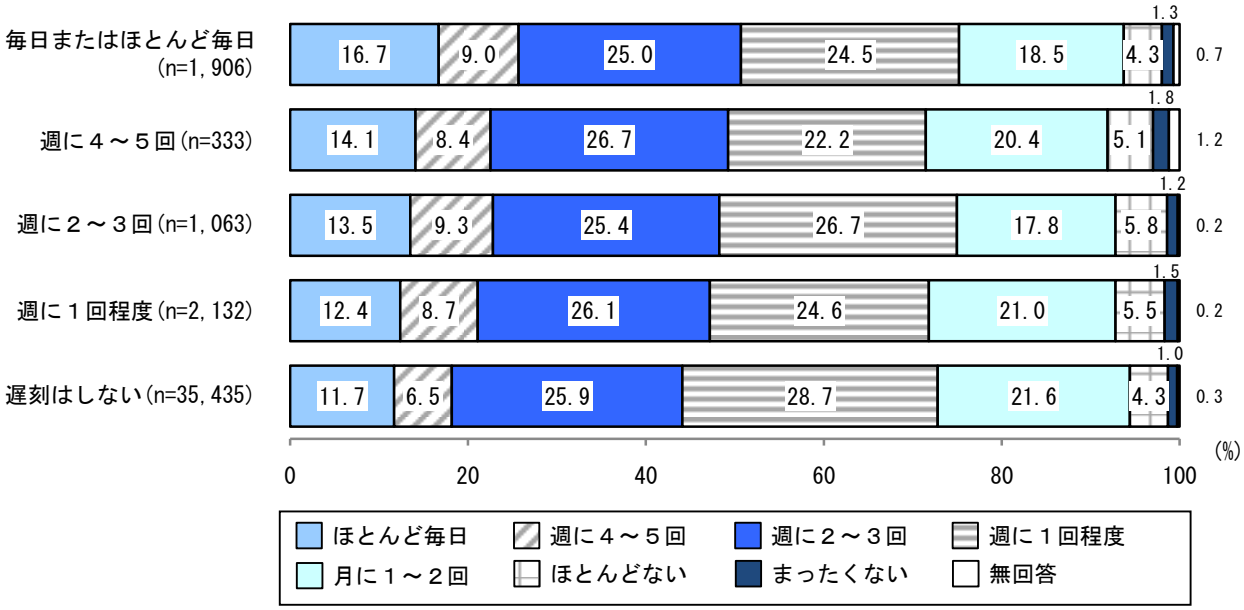


図 131. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか

学校への遅刻別におうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「ほとんどない」は週に２～３回遅刻をしている子どもの割合が50.0%、毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が45.0%、遅刻はしない子どもの割合が41.8%となっている。

学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか
（子ども票問７×保護者票問８⑩）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

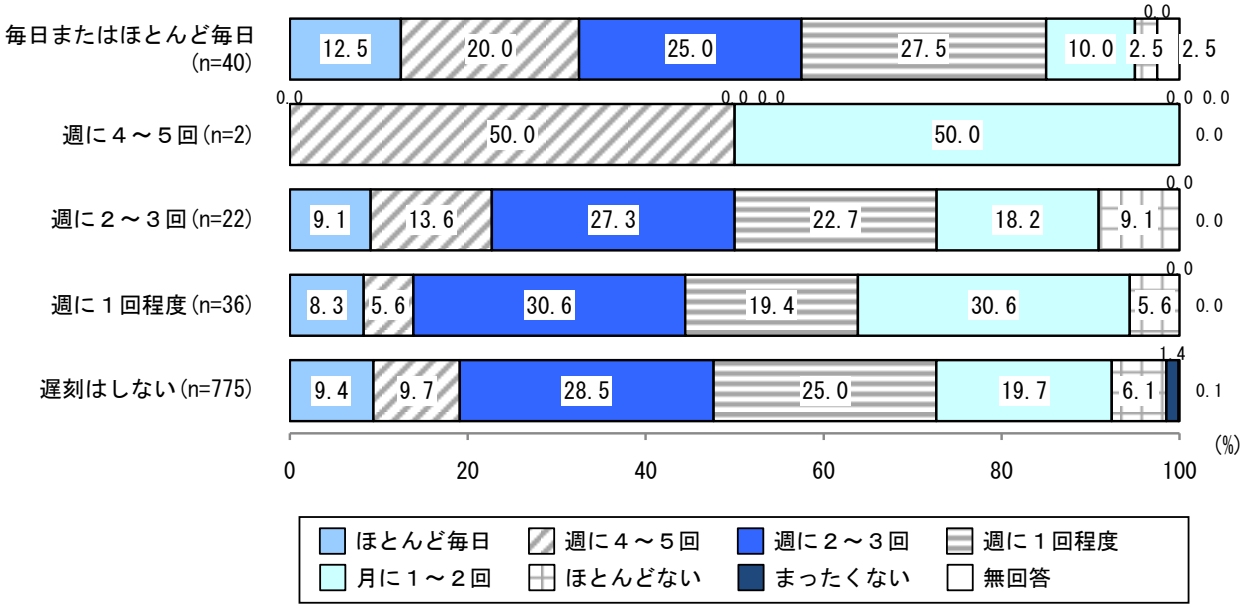
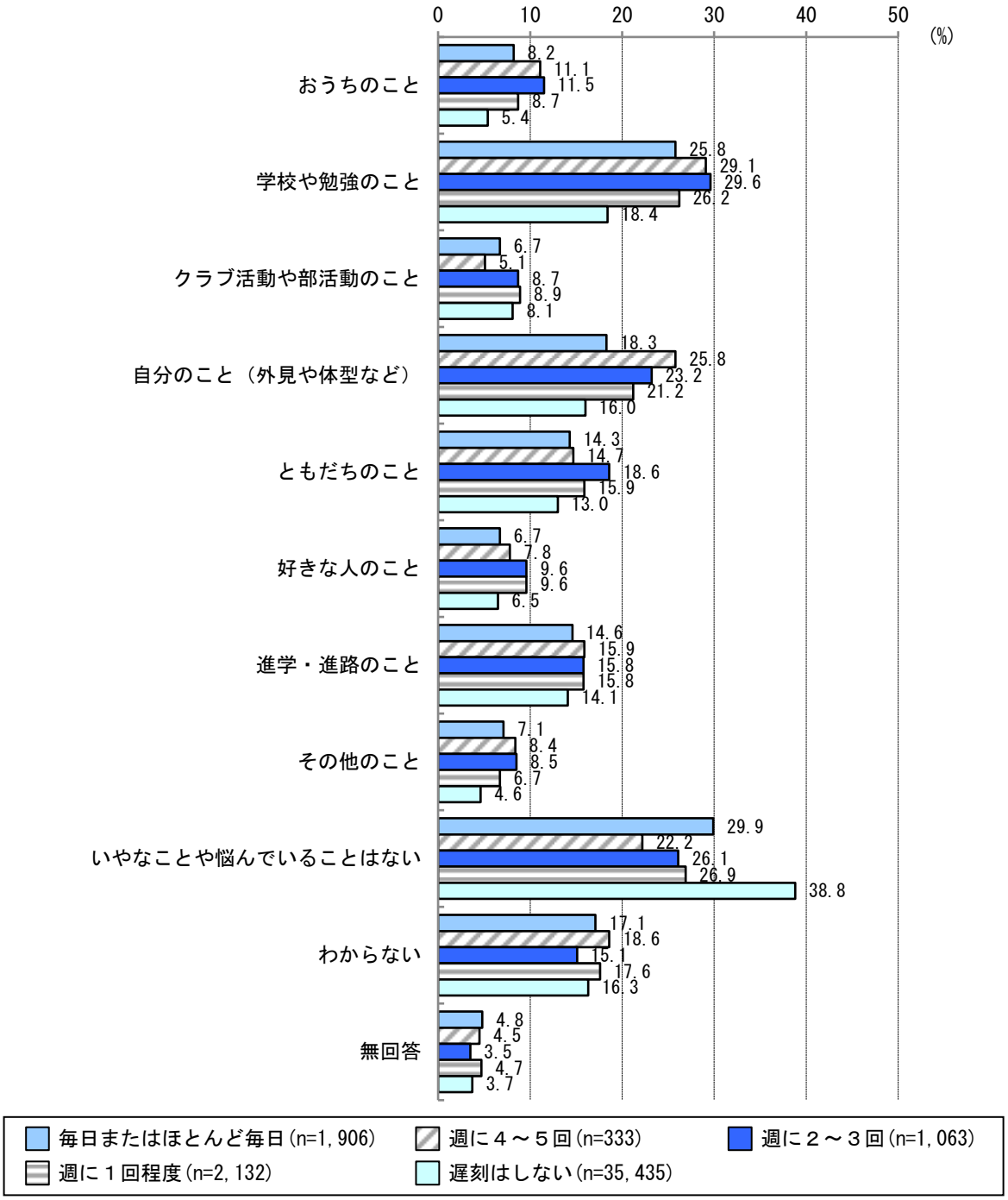


図 132. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか

学校への遅刻別におうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「ほとんど毎日」の割合は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもが12.5%で割合が最も高く、一方で、「ほとんどない」は週に２～３回遅刻をしている子どもの割合が9.1%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問７×子ども票問 17）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

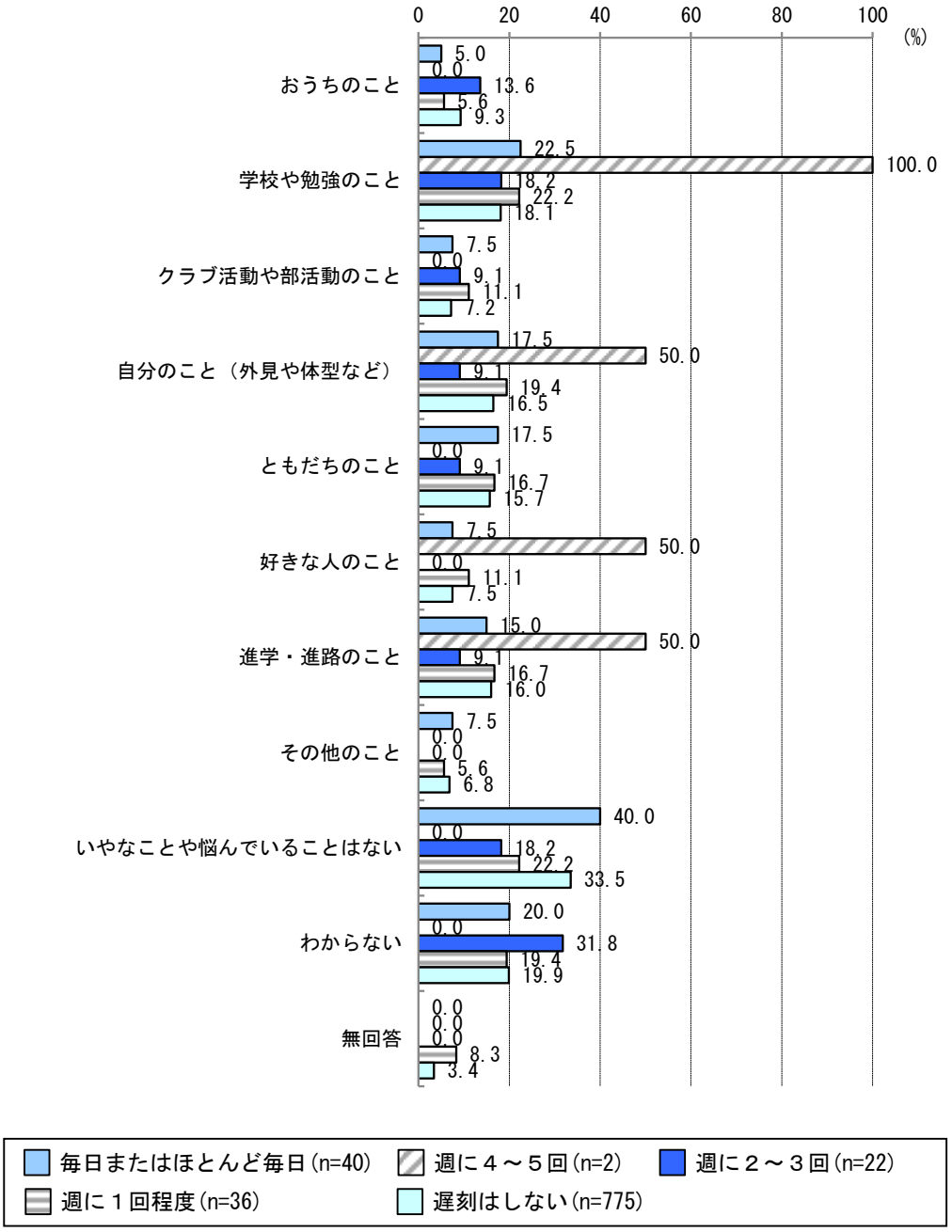
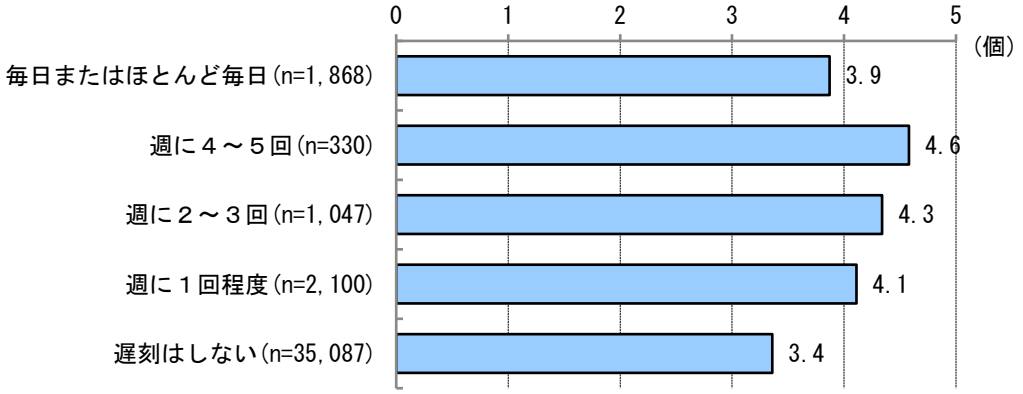


図 133. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること

学校への遅刻別に嫌なことや悩んでいることを見ると、「おうちのこと」の割合は週に２～３回遅刻をしている子どもが13.6%で割合が最も高く、一方で、「いやなことや悩んでいることはない」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が40.0%で最も高くなっている。

学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
（子ども票問７×子ども票問 19・20）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

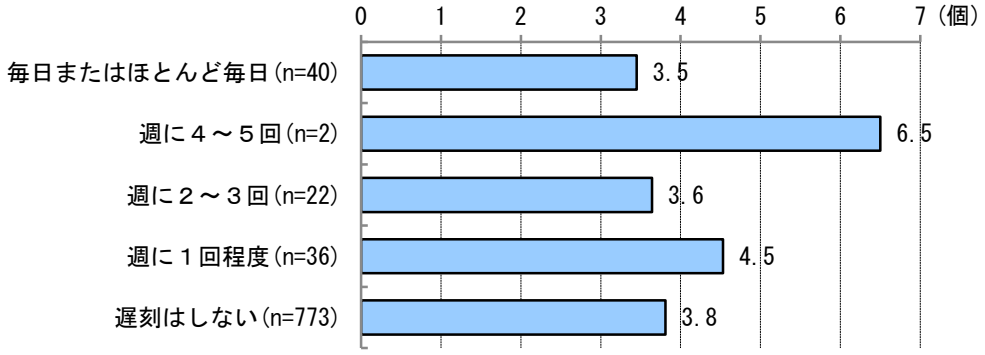
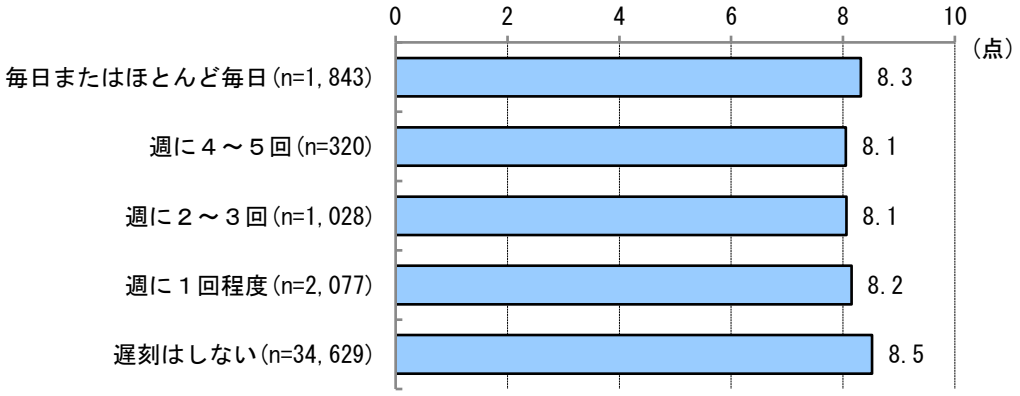


図 134. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

学校への遅刻別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「週に４～５回」遅刻をしている子どもが6.5個で最も多く、次いで「週に１回程度」遅刻をしている子どもが4.5個となっている。

学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問７×子ども票問 23）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

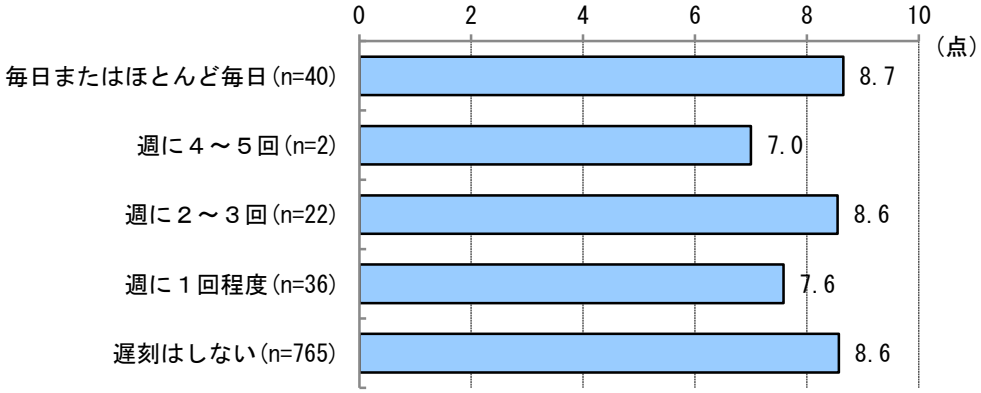
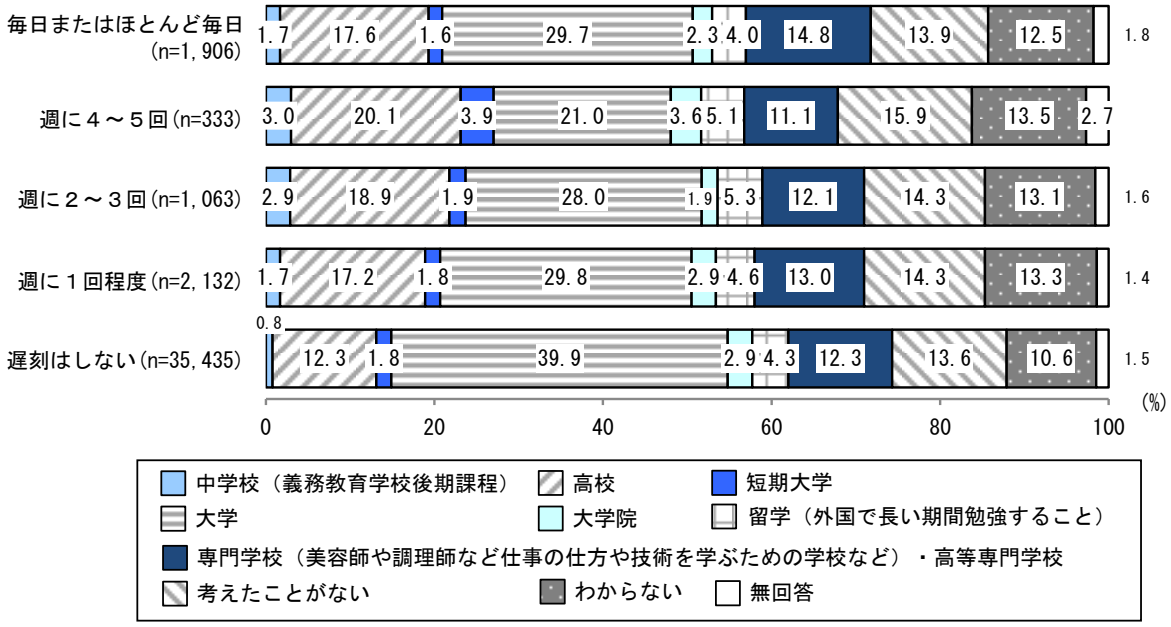


図 135. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

学校への遅刻別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の得点を見ると、「毎日またはほとんど毎日」遅刻している子どもは「遅刻はしない」子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高い。

学校への遅刻別に見た、希望する進学先（子ども票問７×子ども票問 24）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

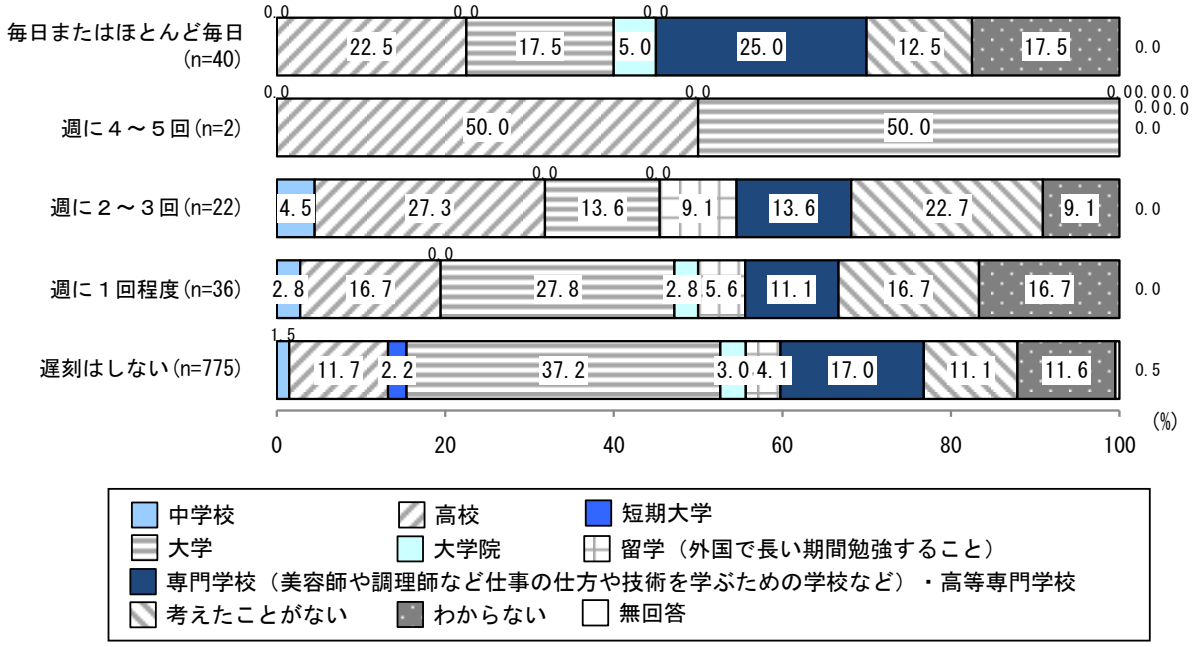
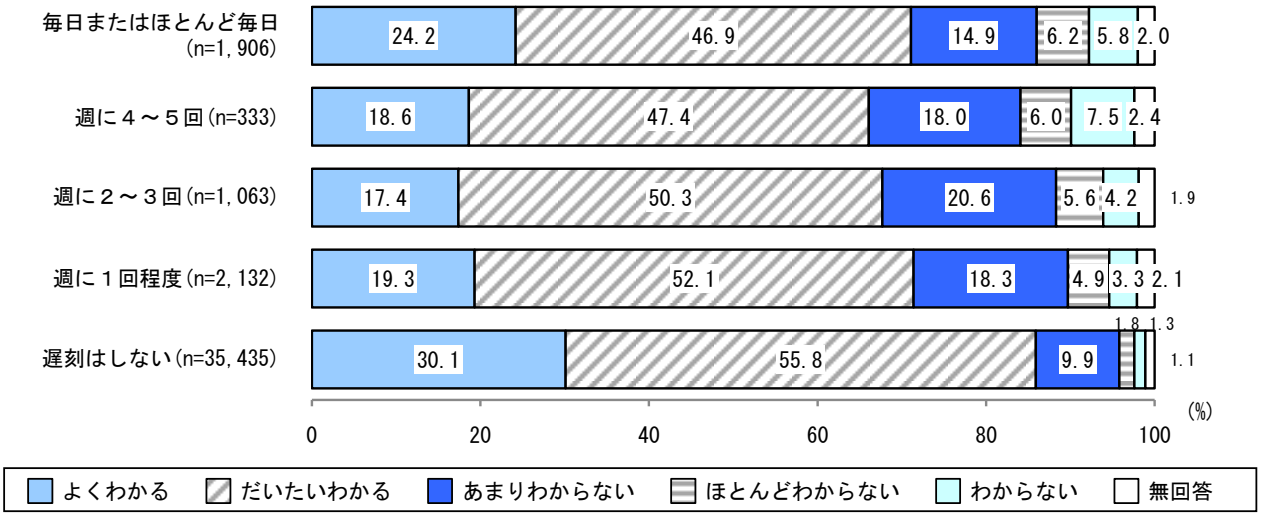


図 136. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先

学校への遅刻別に希望する進学先を見ると、「大学」では遅刻はしない子どもの割合が37.2%で最も高く、次いで週に１回程度遅刻をしている子どもの割合が27.8%となっている。

学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの（子ども票問７×子ども票問 14(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

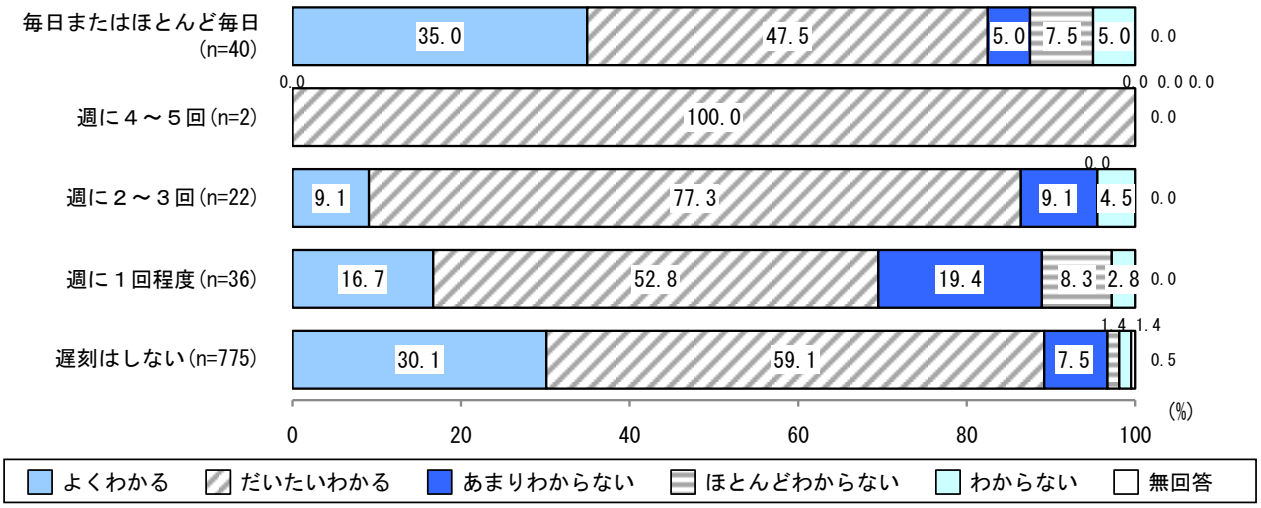
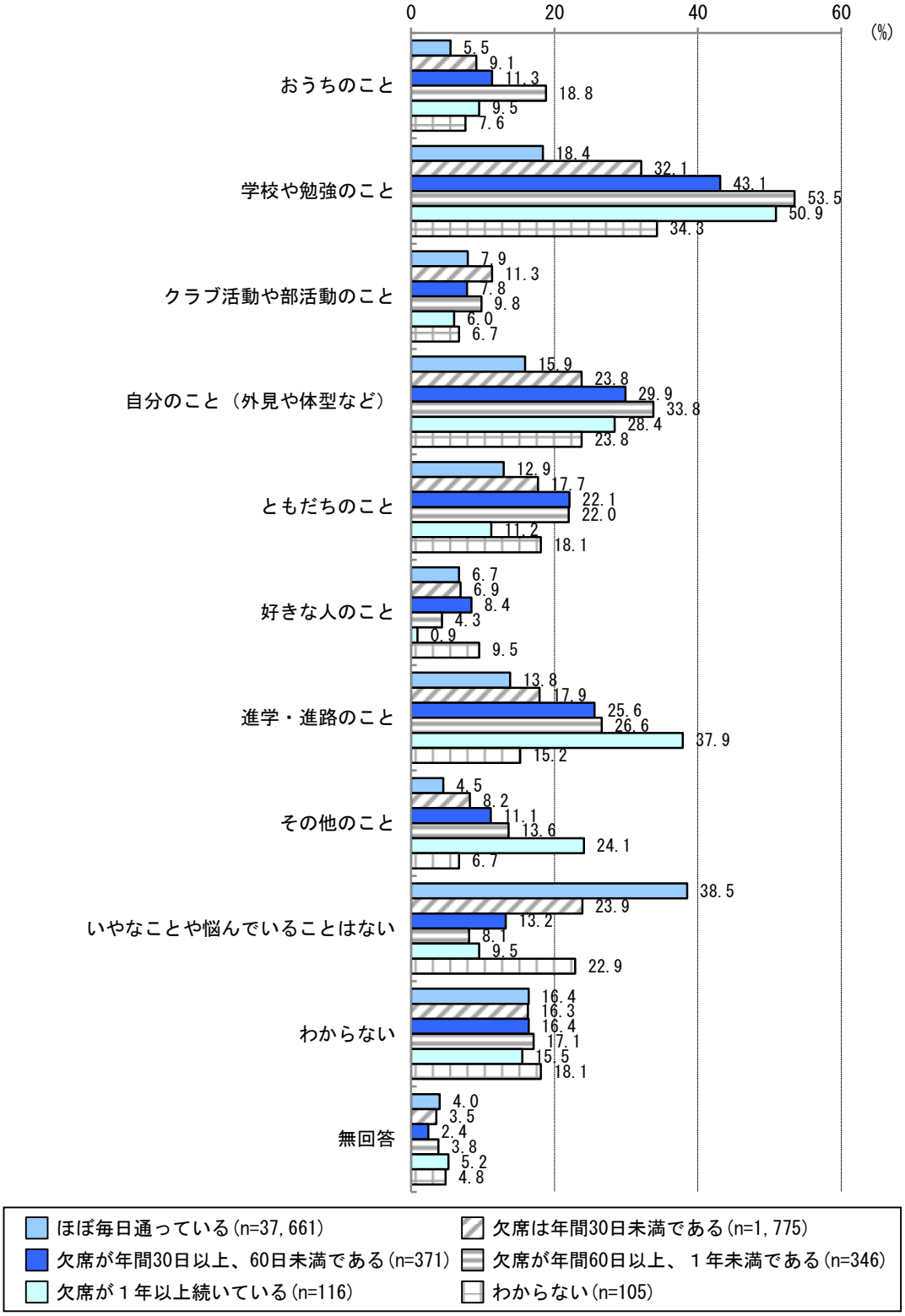


図 137. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの

学校への遅刻別に学校の勉強で気持ちに近いものを見ると、「よくわかる」は毎日またはほとんど毎日遅刻をしている子どもの割合が35.0％で最も高く、「だいたいわかる」は週に２～３回遅刻をしている子どもの割合が77.3％で最も高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること（保護者票問 15×子ども票問 17）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

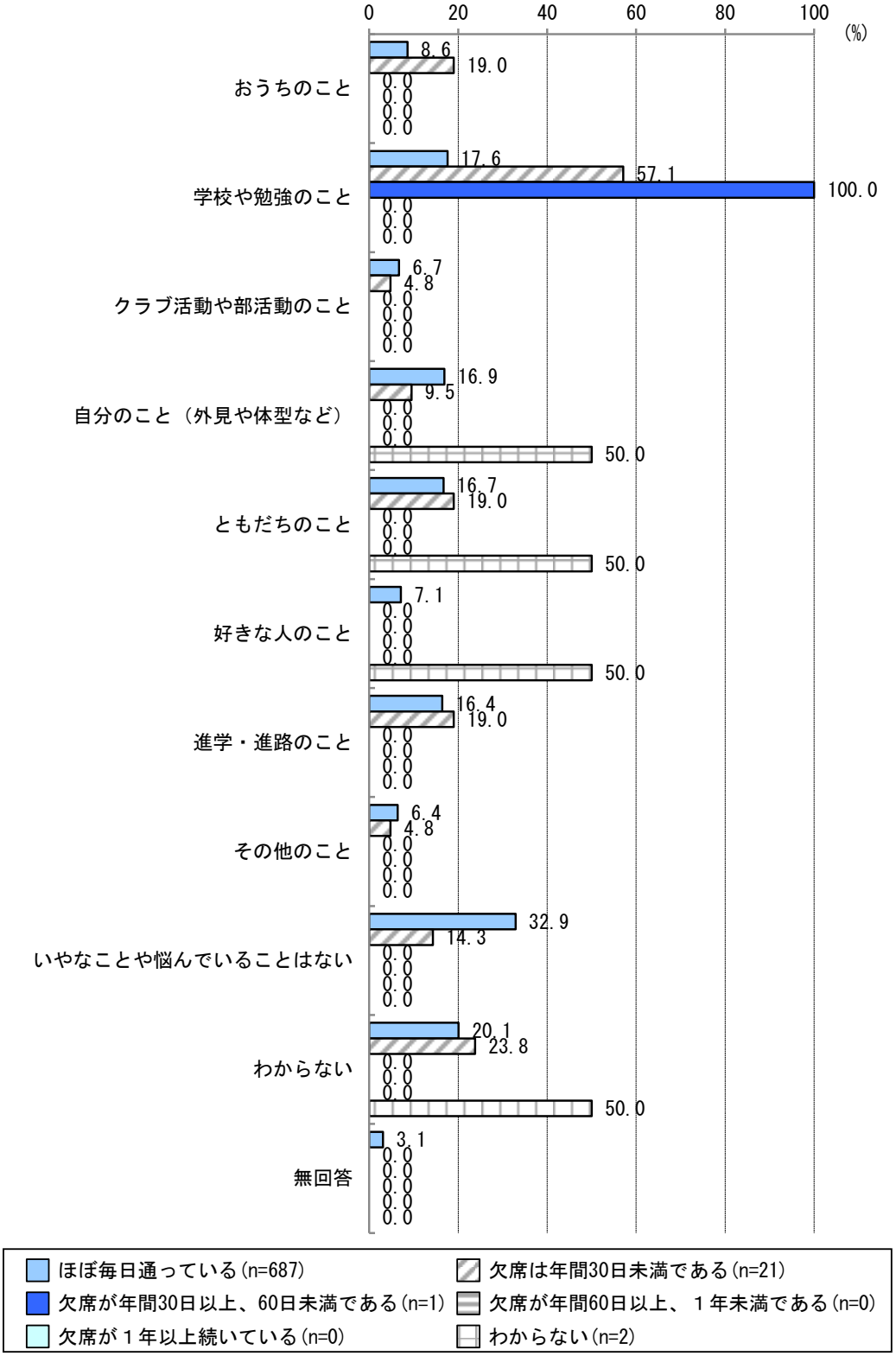
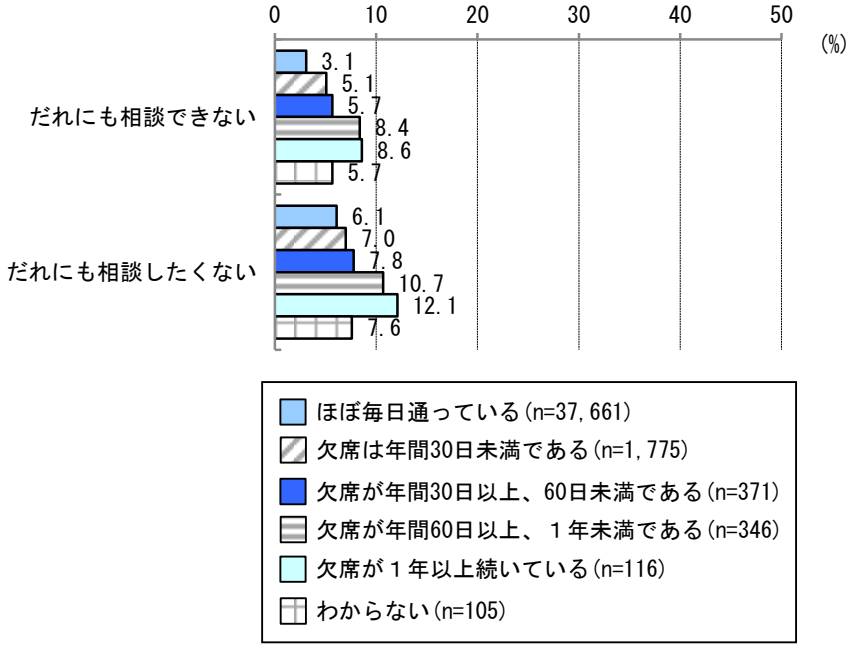


図 138. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること

子どもの通学状況別にいやなことや悩んでいることを見ると、「学校や勉強のこと」や「おうちのこと」、「進学・進路のこと」、「ともだちのこと」は概ね子どもが欠席が多くなるほど割合が高くなっている。

子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合
（保護者票問 15×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

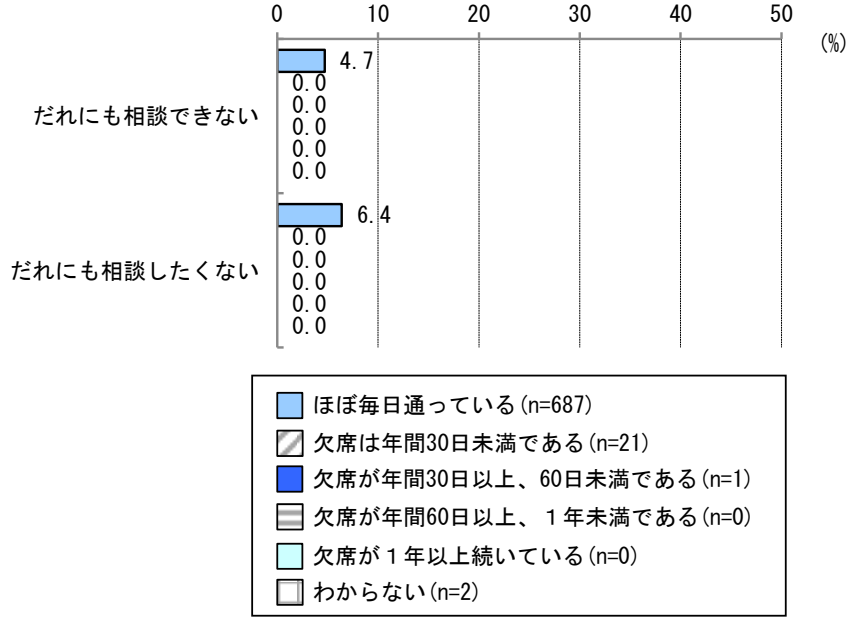
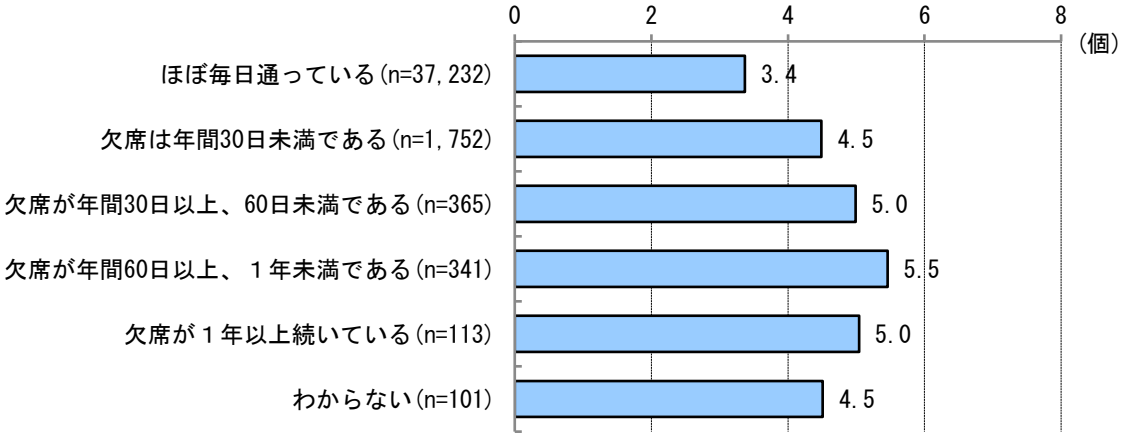


図 139. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合

子どもの通学状況別に悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合を見ると、「ほぼ毎日通っている」と回答した人は、だれにも相談したくないの方がだれにも相談できないより多くなっている。

子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数
（保護者票問 15×子ども票問 19・20）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

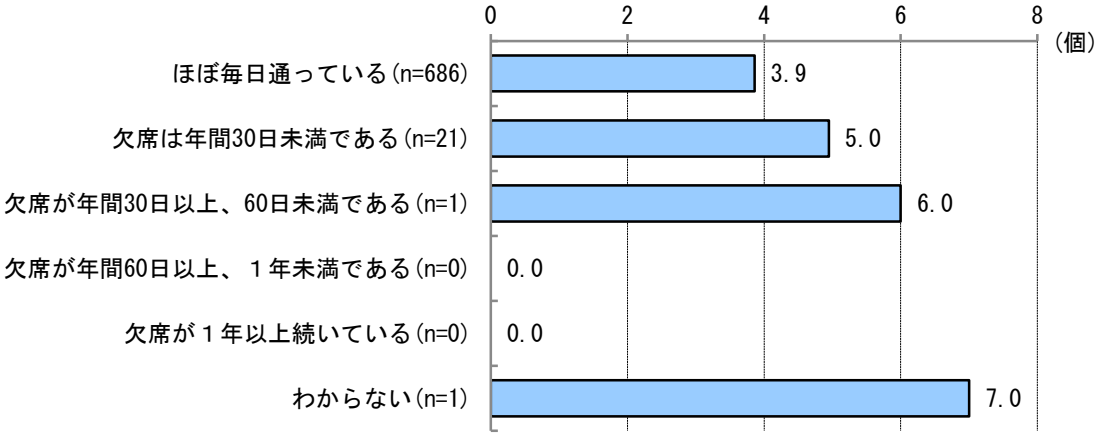
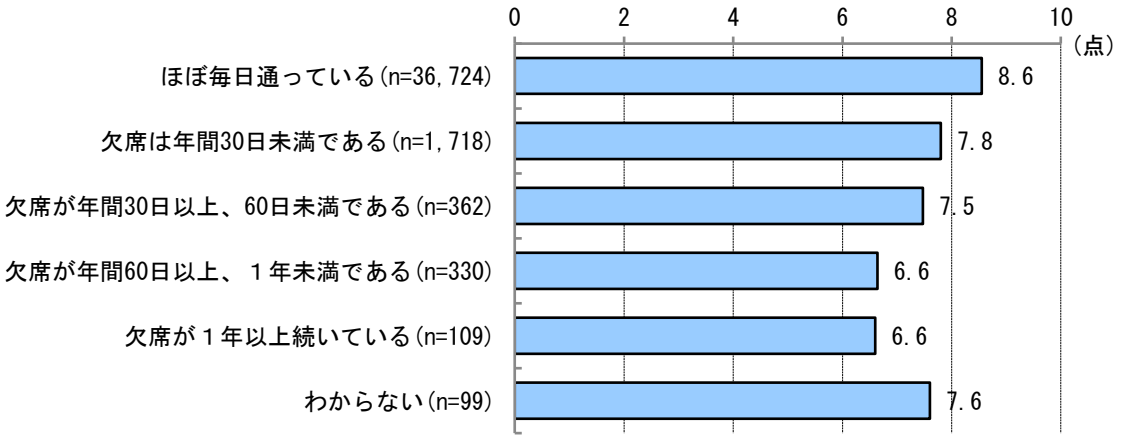


図 140. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数

子どもの通学状況別に自分の体や気持ちで気になることの該当個数を見ると、「欠席が年間30日未満である」と回答した人が5.0個となっている。

子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（保護者票問 15×子ども票問 23）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

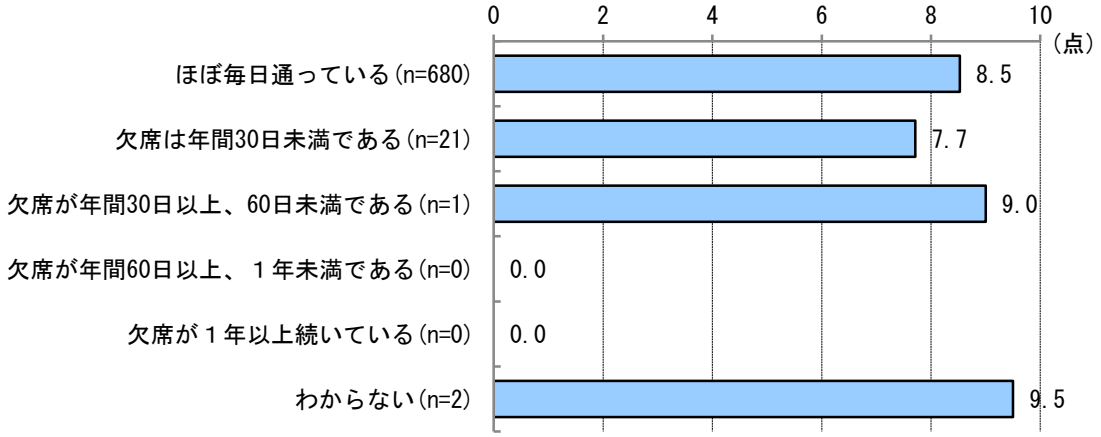
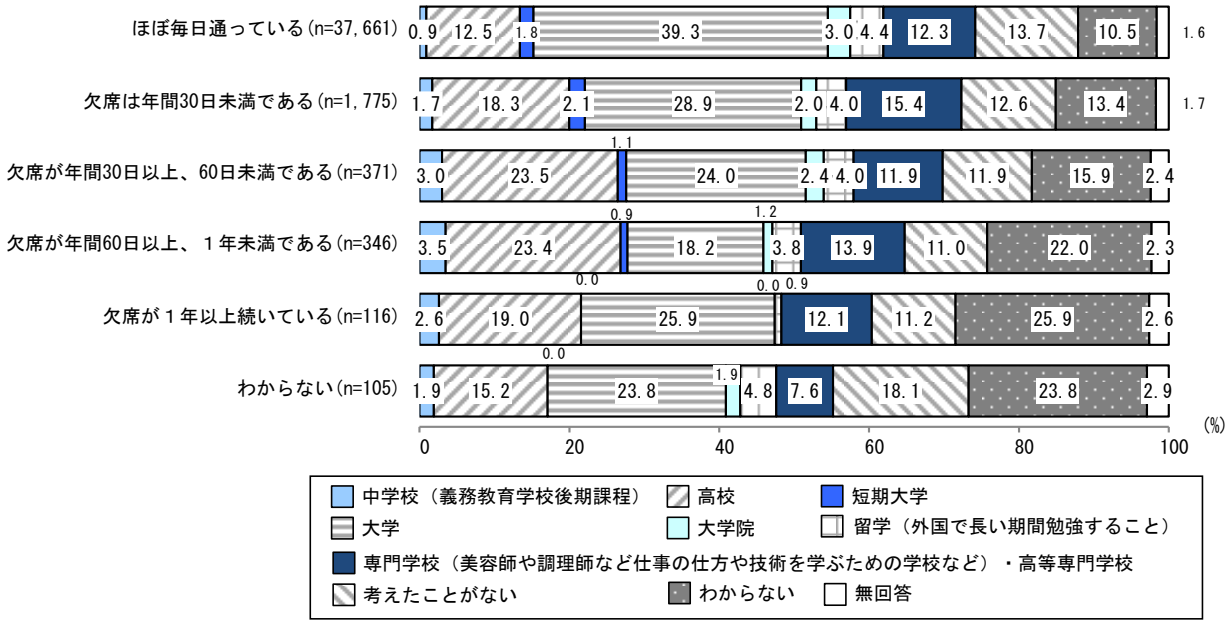


図 141. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもの通学状況別に子どもの自己効力感(セルフ・エフィカシー)を見ると、「ほぼ毎日通っている」と回答した人の得点が8.5点であるのに対して、「欠席が年間30日未満である」と回答した人は7.7点となっている。

子どもの通学状況別に見た、希望する進学先（保護者票問 15×子ども票問 24）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

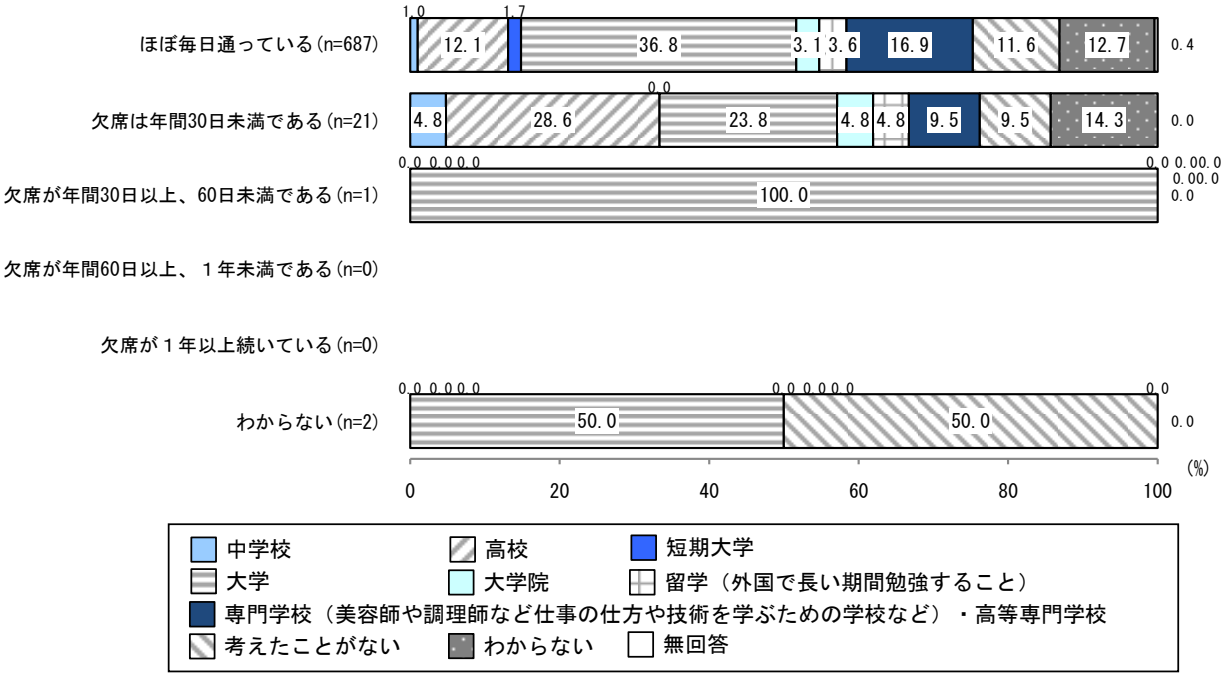
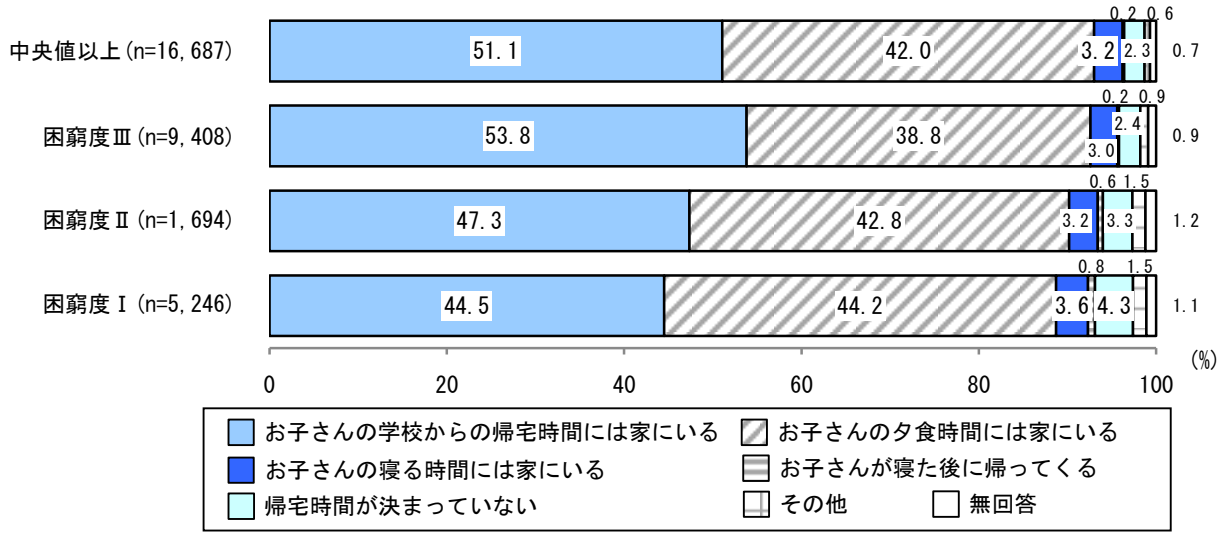


図 142. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先

子どもの通学状況別に希望する進学先を見ると、「大学」はほぼ毎日通っていると回答した人の割合が36.8％で最も高く、「中学校」、「高校」は欠席が年間30日未満と回答した人の割合はそれぞれ4.8％、28.6％となっている。

困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯（保護者票問 10）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

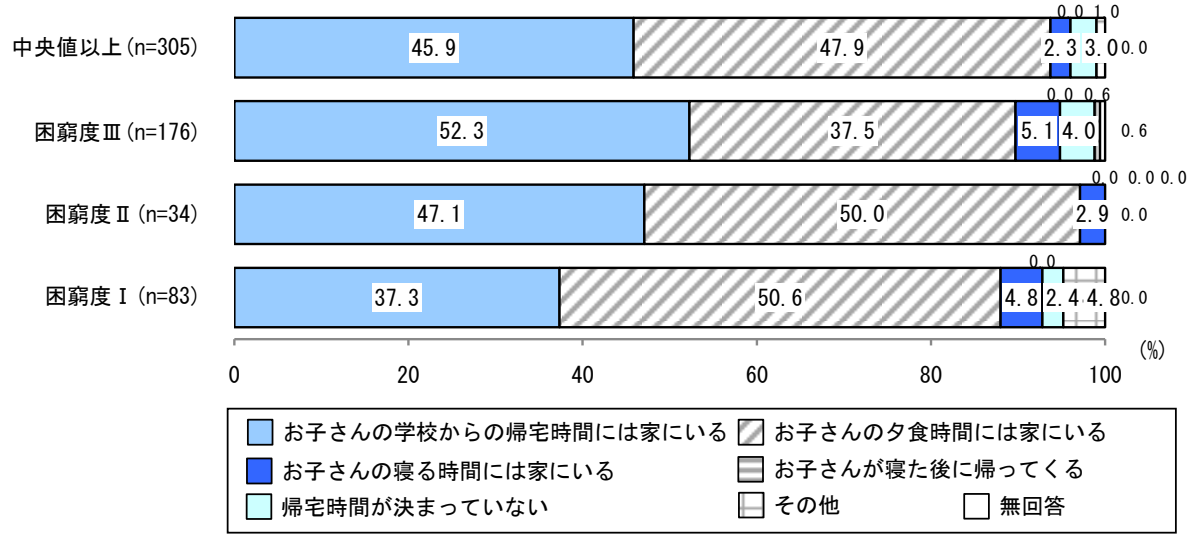
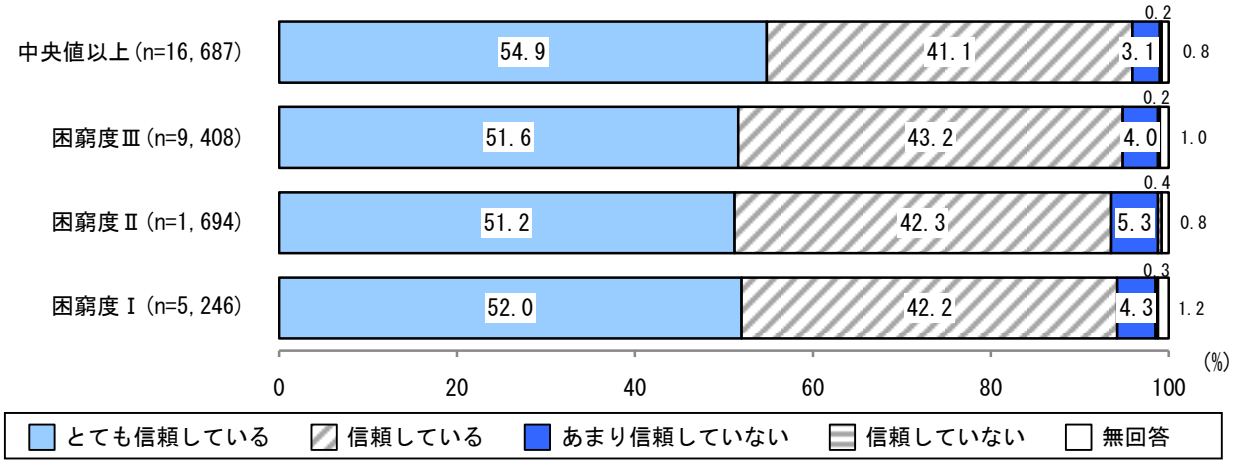


図 143. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯

困窮度別に保護者が家にいる時間帯を見ると、中央値以上群・困窮度Ⅲ・Ⅱ群のほうが、困窮度Ⅰ群よりも、「お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる」と回答した割合が高い。また、困窮度Ⅰ群では「お子さんの夕食時間には家にいる」と回答した割合が高く、50.6%である。

困窮度別に見た、子どもへの信頼度（保護者票問 13(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

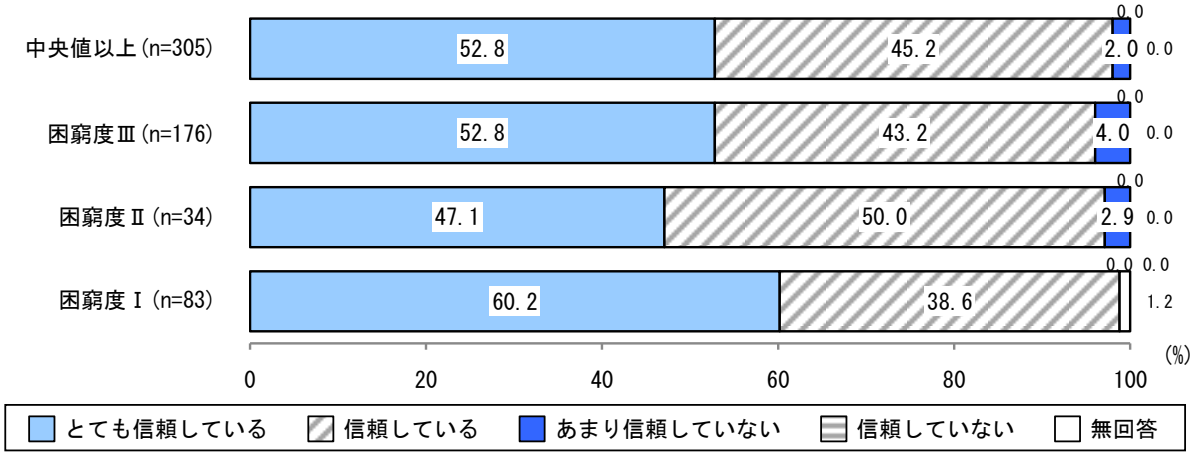
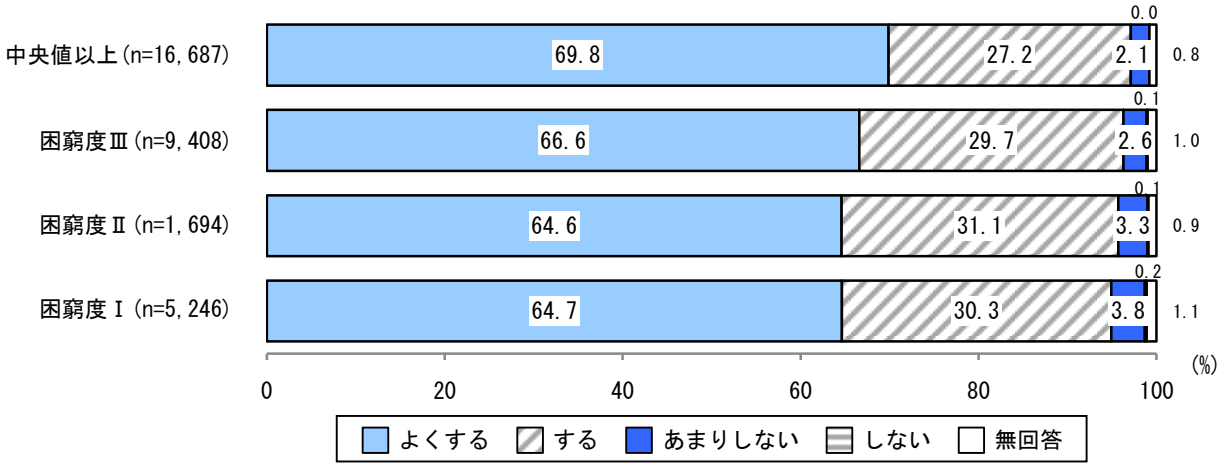


図 144. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度

困窮度別に子どもへの信頼度を見ると、困窮度Ⅱ群が47.1%と最も低くなっている。

困窮度別に見た、子どもとの会話頻度（保護者票問 13(2)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

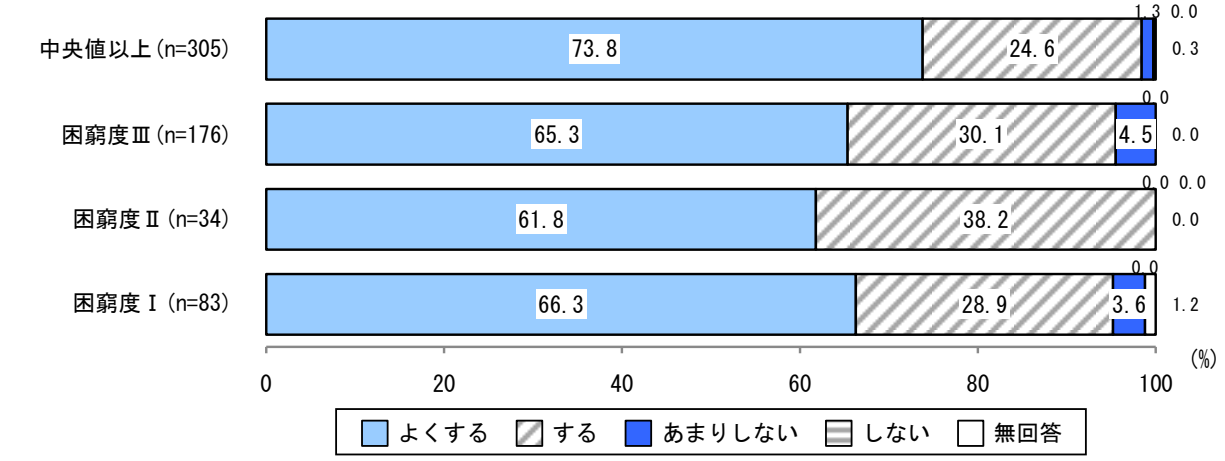
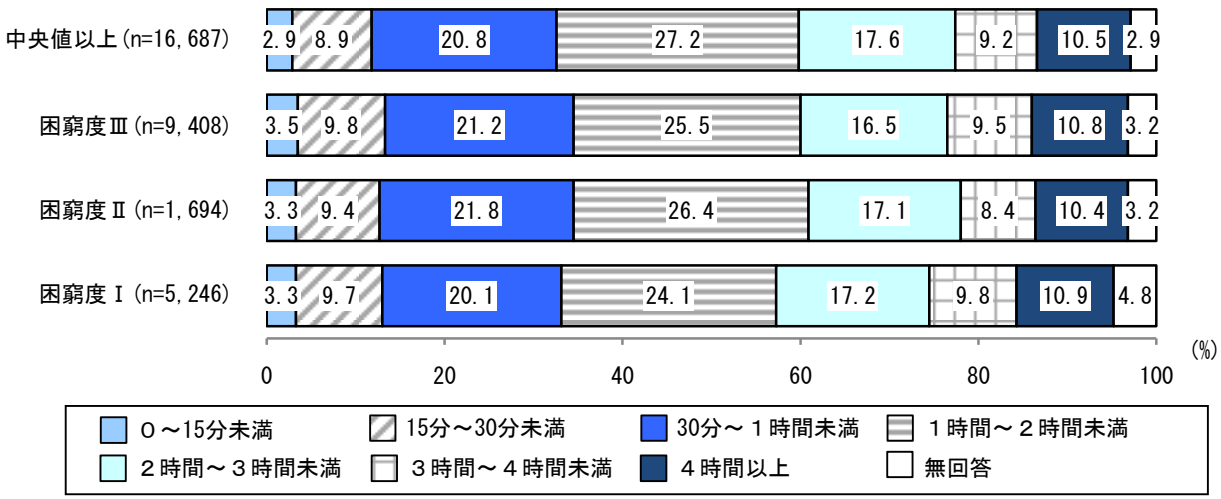


図 145. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度

困窮度別に子どもとの会話頻度を見ると、困窮度Ⅱ群では「よくする」と回答した割合が最も低く、61.8%である。

困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

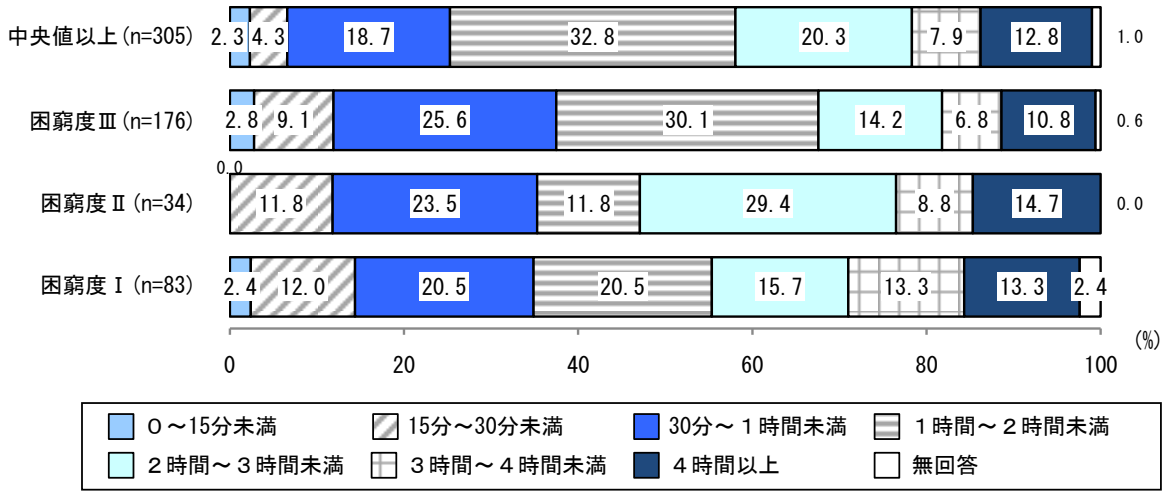
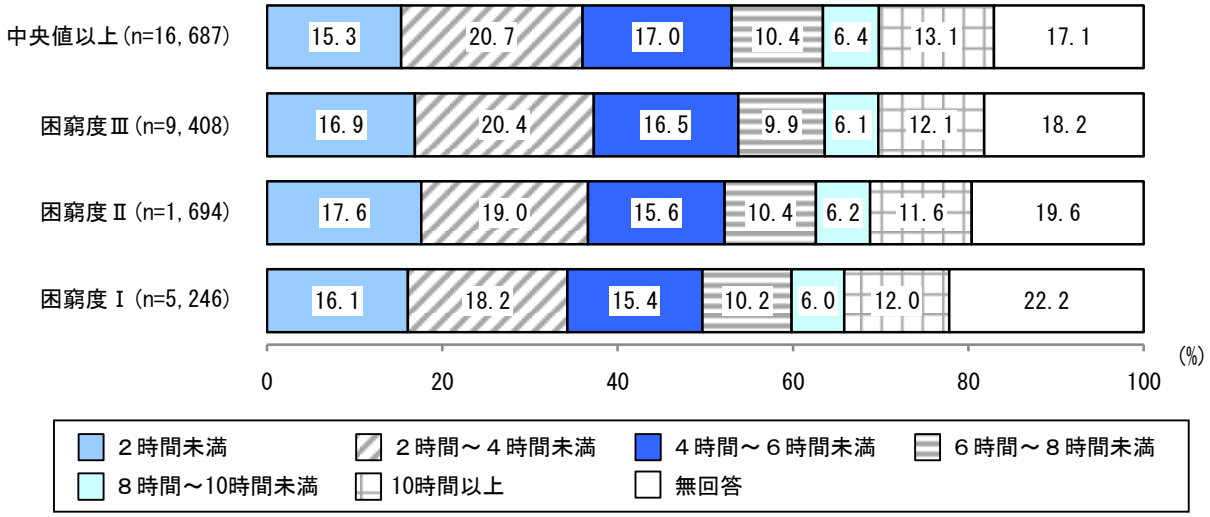


図 146. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間

困窮度別に平日での子どもとの関わり時間を見ると、「４時間以上」と回答した割合が困窮度Ⅱ群で最も高く、14.7%である。

困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間（保護者票問 13(3)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

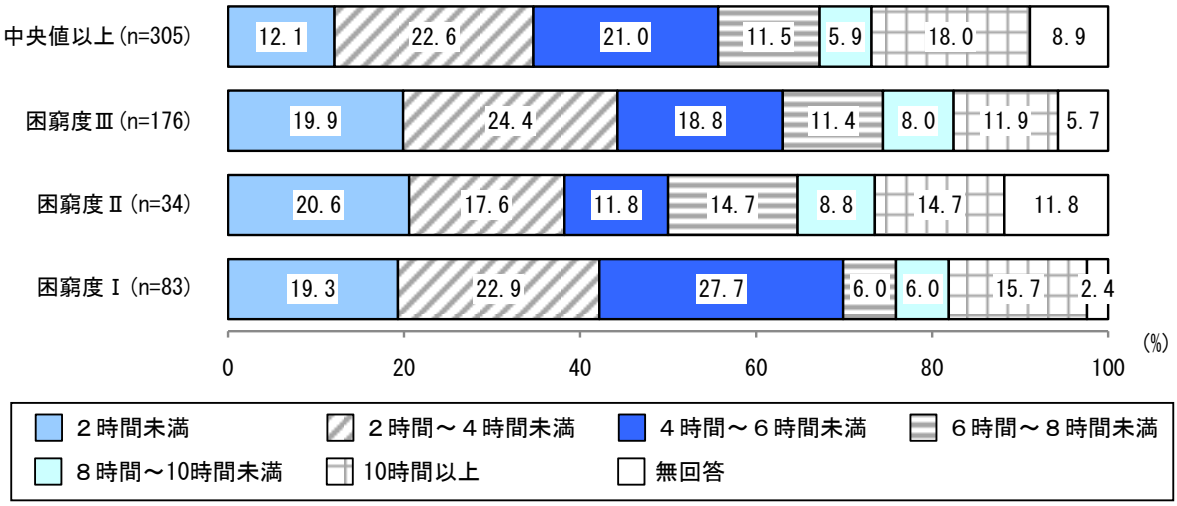
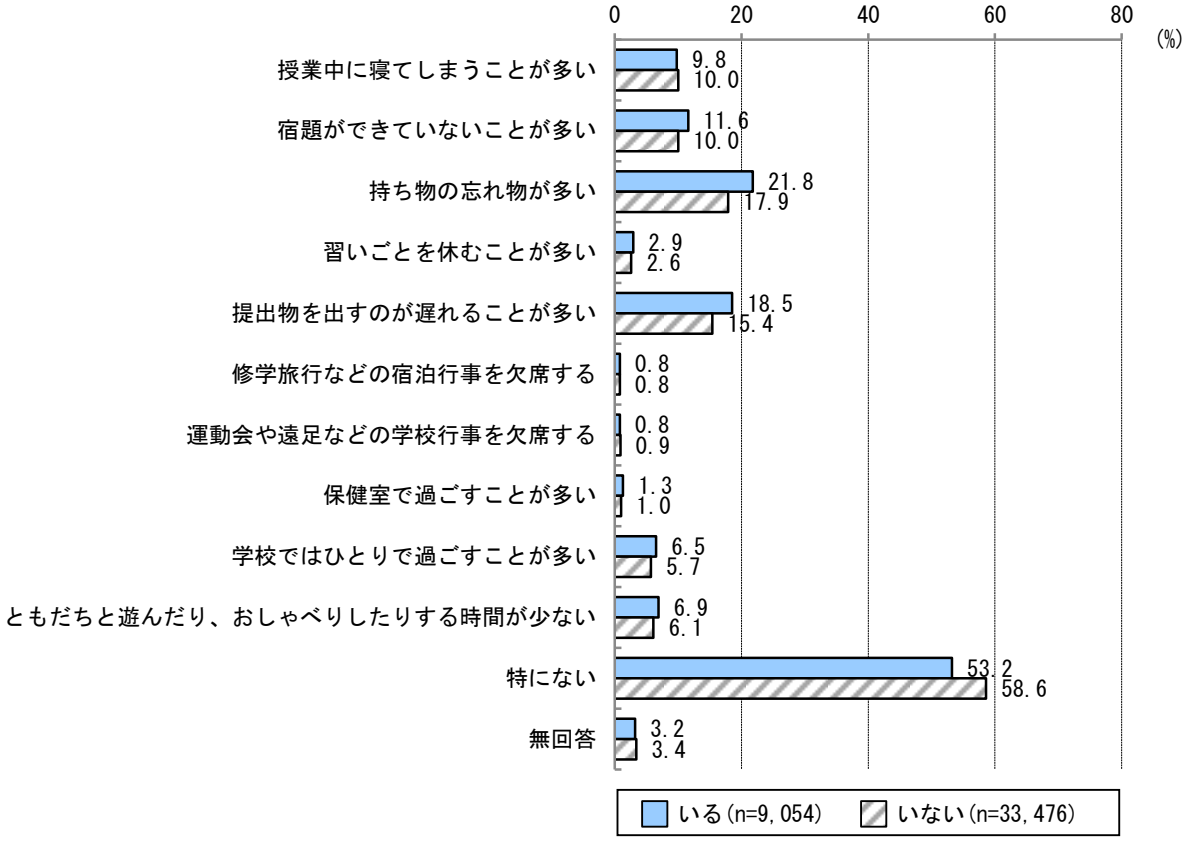


図 147. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間

困窮度別に休日での子どもとの関わり時間を見ると、「２時間未満」と回答した割合が困窮度Ⅱ群で最も高く、20.6%である。また、「10時間以上」と回答した割合は中央値以上群で最も高く、18.0%となっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況
（子ども票問 26(1)×子ども票問 16）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

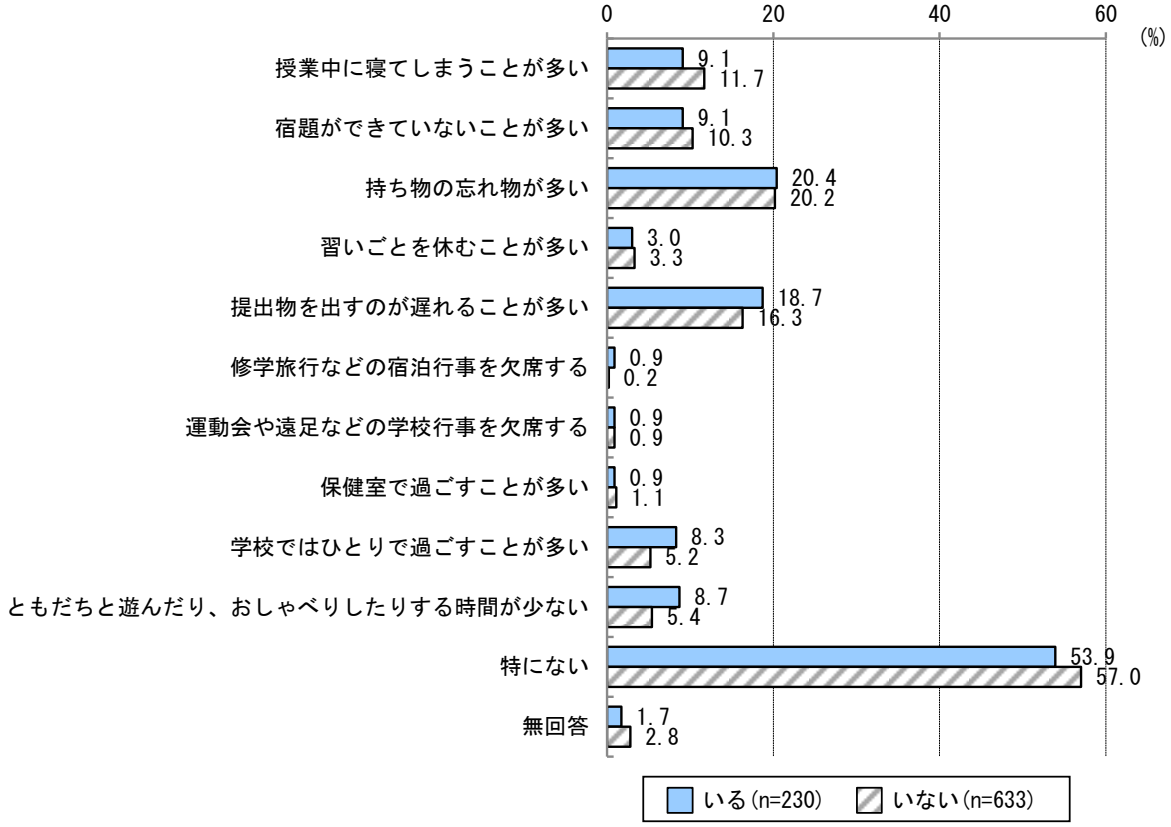
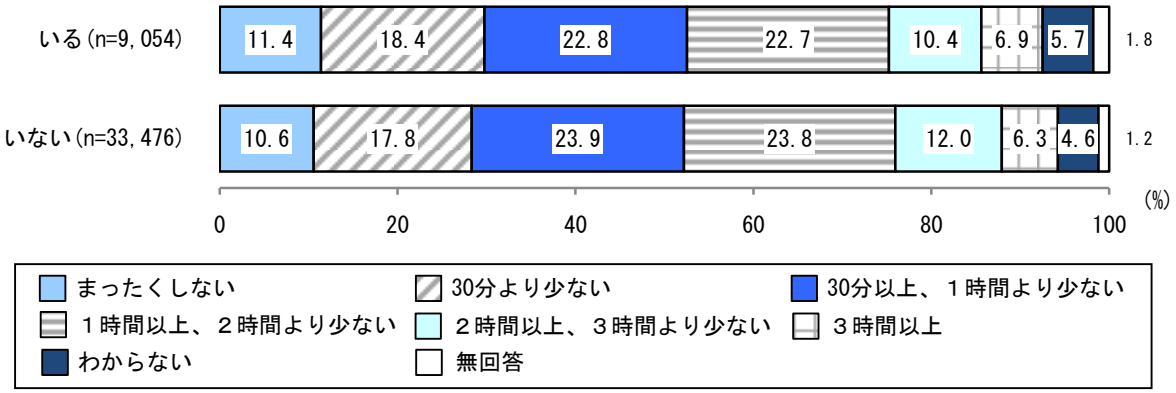


図 148. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況

自分が世話をしている人の有無別に学校や学校の行事等の状況を見ると、「提出物を出すのが遅れることが多い」「学校ではひとりで過ごすことが多い」「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」などと回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」割合より「いる」割合のほうが高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　①学校がある日（月～金曜日）（子ども票問 26(1)×子ども票問 13①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

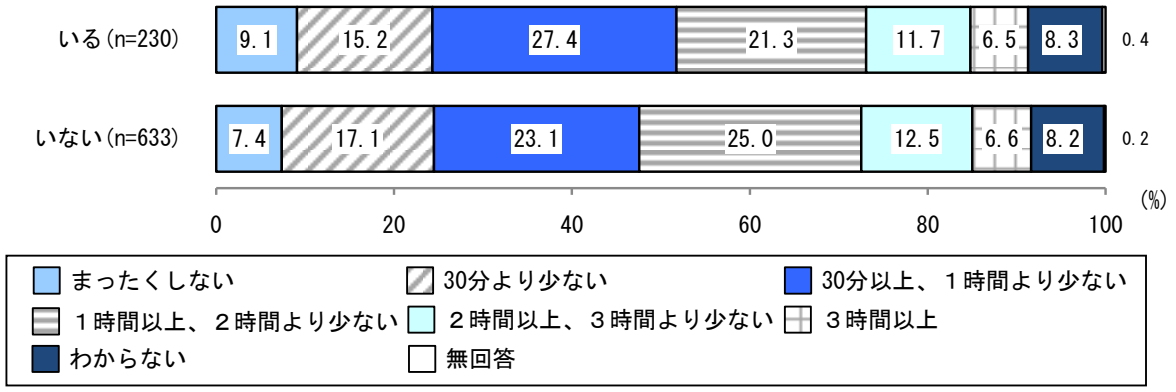
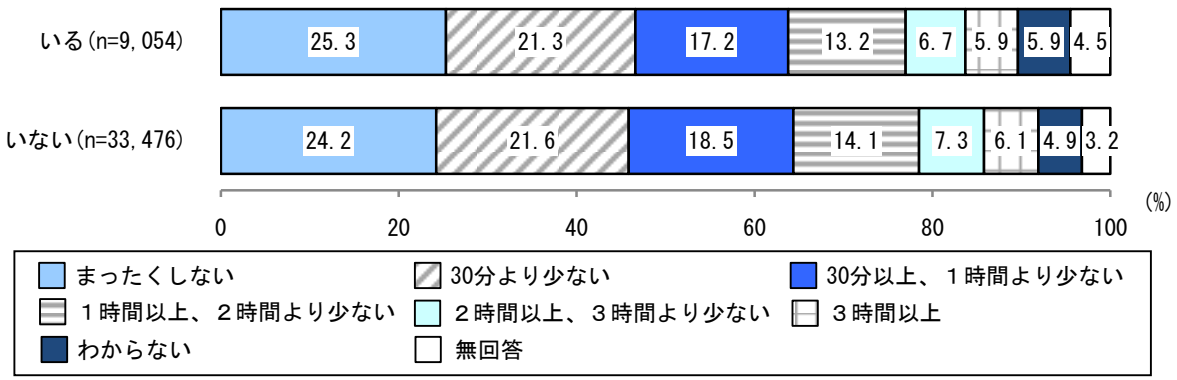


図 149. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がある日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ても、大きな差はみられない。

自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間　②学校がない日（土・日曜日・祝日）（子ども票問 26(1)×子ども票問 13②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

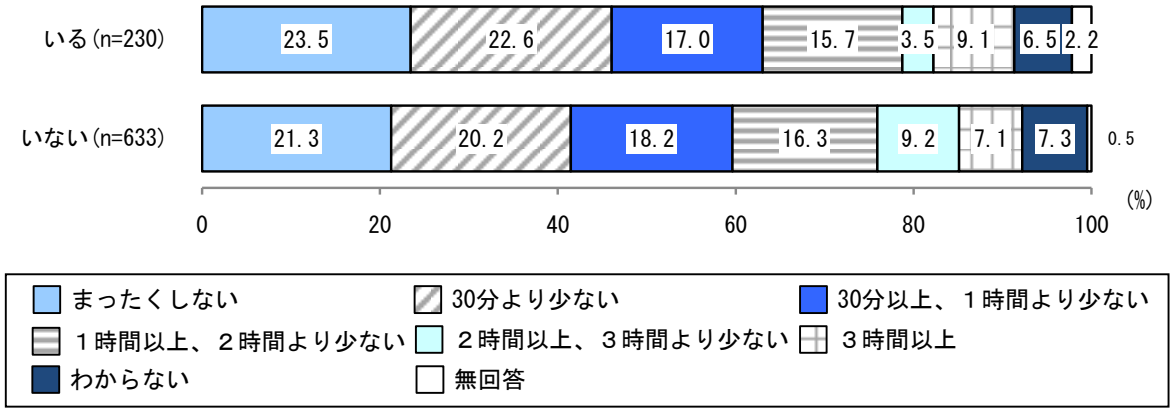


図 150. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）

自分が世話をしている人の有無別に学校がない日の授業時間以外の１日あたりの勉強時間を見ると、「まったくしない」と回答した人の割合は、世話をしている人が「いない」人より「いる」人のほうが割合が高くなっている。

＜家庭生活・学習に関する考察＞

まず、経済状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について、困窮度が中央値以上群と困窮度I群の間の差に着目しながら確認する。おうちの大人の人と一緒に朝食を食べる頻度を見ると、困窮度I群は中央値以上群と比べ、「ほとんどない」と「まったくない」の合計（40.5％対28.8％）が11.7ポイント、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べる頻度を見ると、困窮度I群は中央値以上群と比べ、「ほとんどない」と「まったくない」の合計（7.6％対2.2％）が5.4ポイント高くなっている。一方、保護者が家にいる時間帯を見ると、中央値以上群は困窮度I群と比べ、「お子さんの学校から帰宅時間には家にいる」（45.9％対37.3％）が8.6ポイント高くなっている。また、保護者の子どもとの会話頻度を見ると、中央値以上群は困窮度I群と比べ、「よくする」（73.8％対66.3％）が7.5ポイント高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の子どもは朝食・夕食を保護者と一緒に食べる習慣のない割合が高く、保護者とのかかわりを持ちにくくなっている可能性が示唆された。

次に、学校への遅刻状況と家庭生活における子どもと保護者のかかわりの関連について確認する。おうちの大人の人と一緒に朝食や夕食を食べる頻度や、保護者が家にいる時間帯、保護者の子どもとの会話頻度など、子どもと保護者の関係性については、遅刻状況によって大きな差や顕著な関連が見られるところはなかった。

経済状況と子どもの学習にかかわる習慣や学習理解度、進学希望の関連について、困窮度が中央値以上群と困窮度I群の間の差に着目して述べる。学校がない日の勉強時間では、困窮度I群は中央値以上群と比べ、「まったくしない」が（29.1％対17.6％）が11.5ポイント高くなっている。ただし、学校がある日の勉強時間では、困窮度による大きな差は見られず、経済状況によらず半数以上の子どもが30分以上勉強に取り組むことができている。文化活動を見ると、困窮度I群は中央値以上群と比べ、おうちの大人の人と文化活動をする頻度で「まったくない」（29.1％対20.9％）が8.2ポイント、授業以外の読書時間においては「まったくしない」（43.0％対25.5％）は17.5ポイント高くなっている。一方、学習理解度を見ると、中央値以上群は困窮度I群と比べ、「よくわかる」（35.3％対21.5％）は13.8ポイント高くなっている。希望進学先を見ると、中央値以上群は困窮度I群と比べ、子ども自身の希望する進学先で「大学」（42.4％対30.4％）は12.0ポイント、保護者の希望する進学先で「大学」（72.8％対61.4％）は11.4ポイント高くなっている。これらの結果から、経済的に困難な世帯の子どもは学習習慣や読書習慣、家庭内での文化活動の習慣が定着しにくく、学習理解が不十分になっている可能性が示唆された。また、子ども自身も保護者も、大学以上への進学を望みにくく、このことは経済的事情や学習理解の低さが影響している可能性がある。

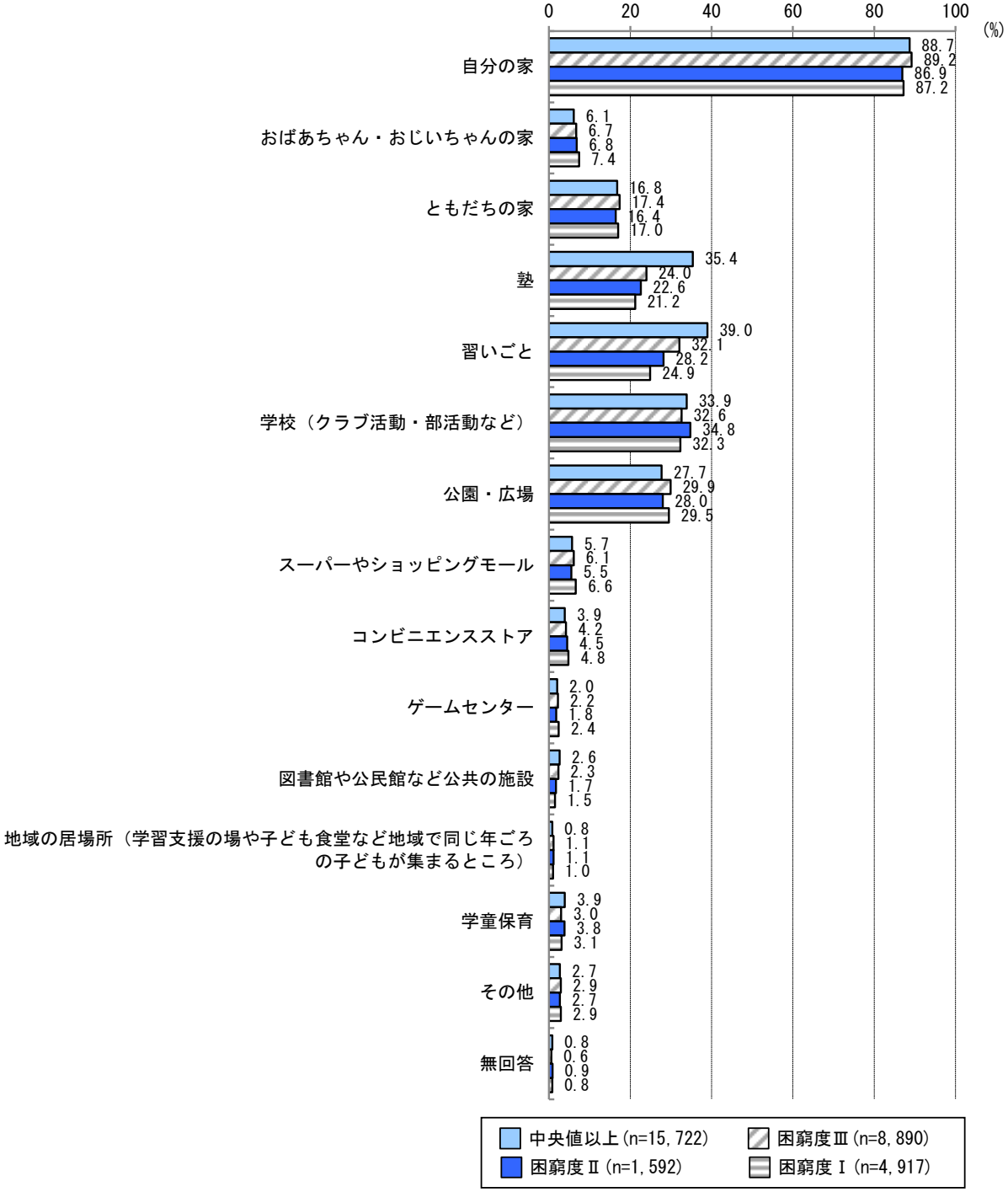
最後に、朝の習慣や学校への遅刻状況と子どもの学習にかかわる習慣の関連について確認する。起床時間の規則性別に学習時間を見ると、ほぼ同じ時刻に「起きていない」群は「起きている」群と比べ、学校がある日の勉強時間では「まったくしない」と「30分より少ない」の合計（41.2％対22.3％）が18.9ポイント、学校がない日の勉強時間では「まったくしない」と「30分より少ない」の合計（64.7％対40.3％）が24.4ポイント、授業以外の読書時間では「まったくしない」（58.8％対32.1％）が26.7ポイント高くなっている。朝食の頻度別に見ると、「食べない」群は「毎日またはほとんど毎日」食べる群と比べ、学校がある日の勉強時間では「まったくしない」と「30分より少ない」の合計（33.3％対22.9％）が10.4ポイント、学校がない日の勉強時間では「まったくしない」と「30分より少ない」の合計（66.7％対44.1％）が22.6ポイント高くなっている。学校への遅刻の頻度別に見ると、「毎日またはほとんど毎日」遅刻する群は「遅刻しない」群に比べ、学習理解度において「ほとんどわからない」と「わからない」の合計（12.5％対2.8％）が9.7ポ

イント、子どもの希望する進学先として「高校」(22.5%対11.7%) が10.8ポイント高くなっている。一方、「遅刻はしない」群は「毎日またはほとんど毎日」遅刻する群と比べ、子どもの希望する進学先として「大学」(37.2%対17.5%)が19.7ポイント高くなっている。これらの結果から、朝の習慣が身についていないことは、日々の学習習慣や読書習慣の形成に影響している可能性が考えられる。さらに、朝の習慣が身についていないと遅刻に繋がり、授業を十分に受けることができなくなるため、学習理解に影響が出ている可能性も示唆された。

３－５．対人関係

困窮度別に見た、放課後を過ごす場所（子ども票問 11）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

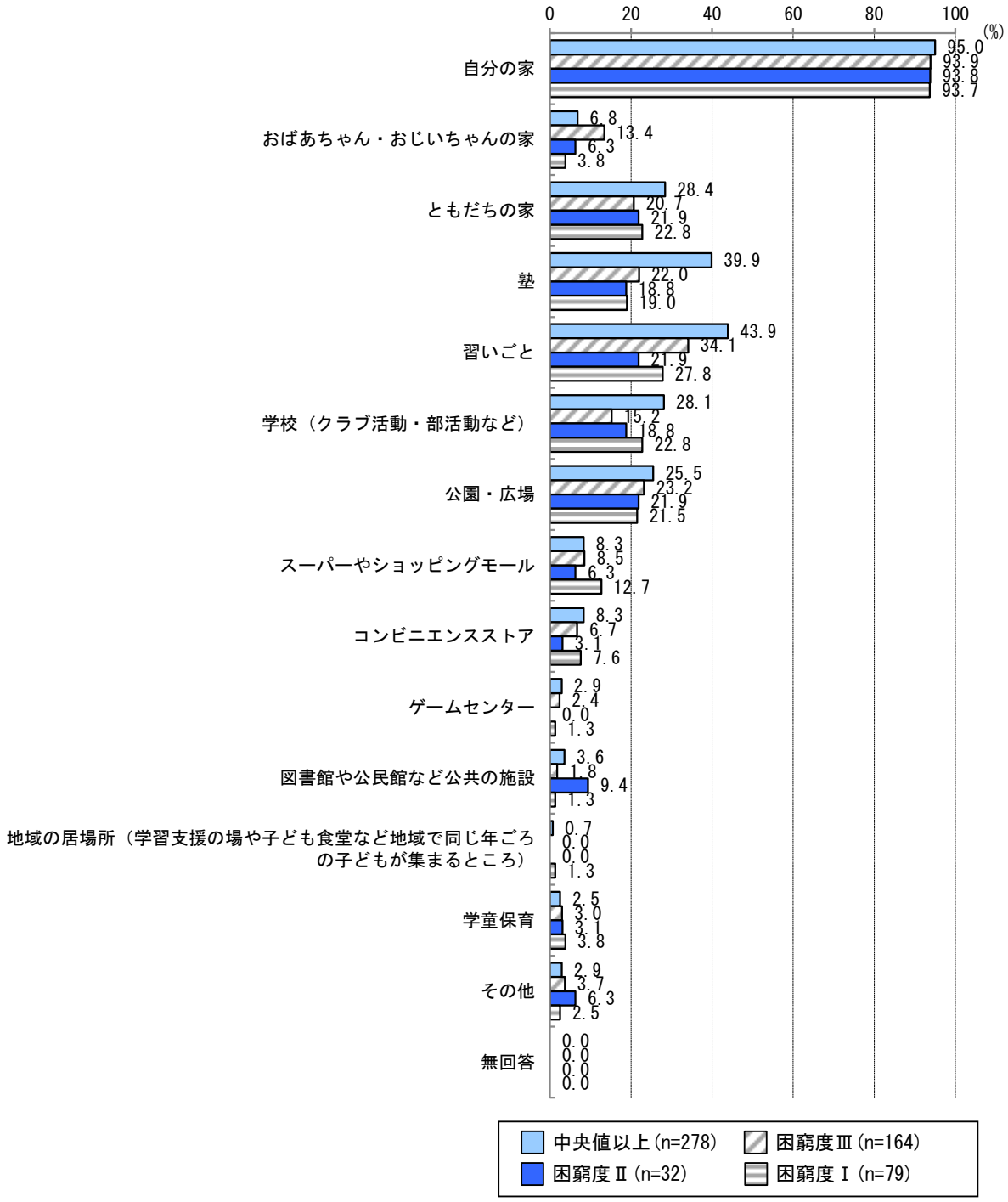
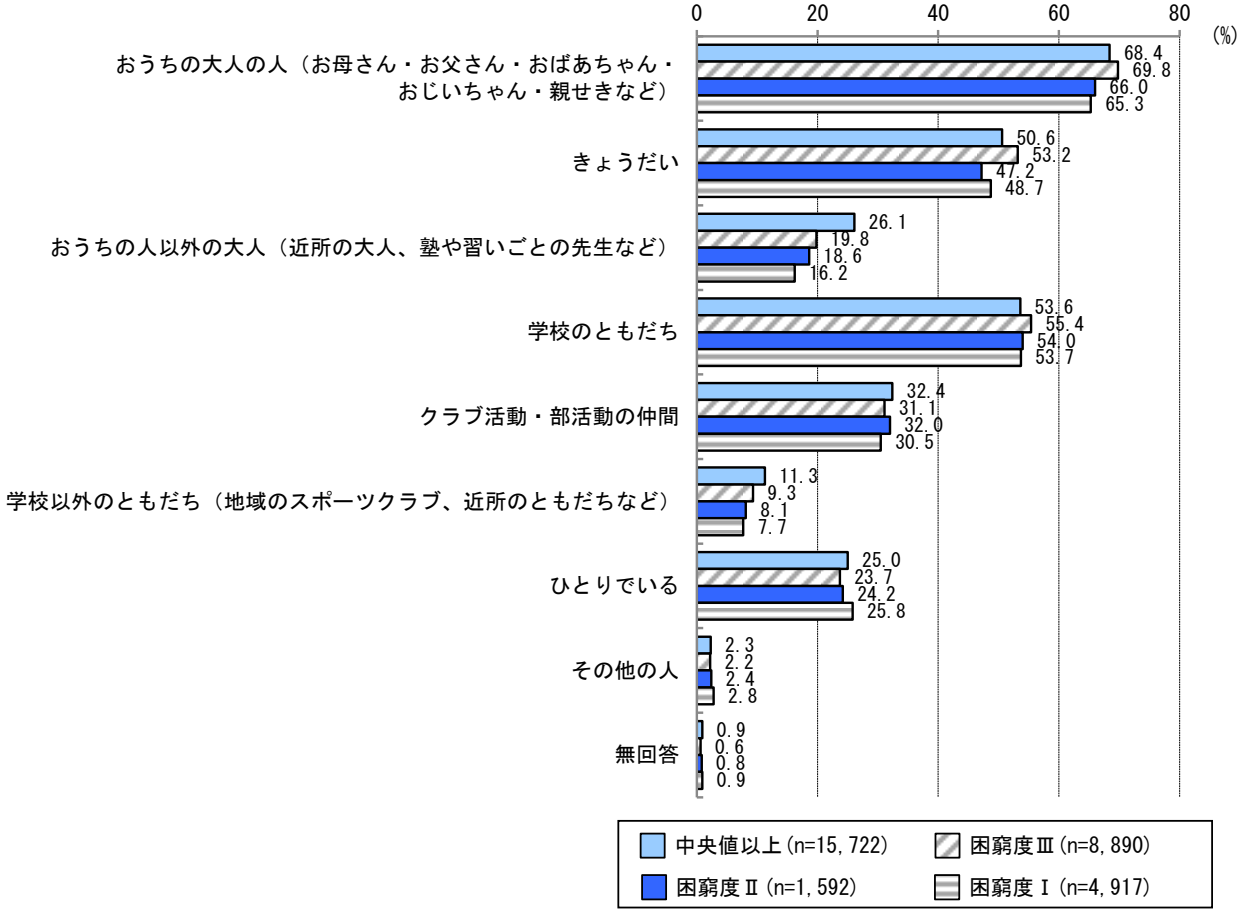


図 151. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所

困窮度別に子どもが放課後に過ごす場所を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところ）」1.3%（中央値以上群に対して1.9倍）、「スーパーやショッピングモール」12.7%（同じく1.5倍）、「学童保育」3.8%（同じく1.5倍）となっている。一方、中央値以上群では、「図書館や公民館など公共の施設」3.6%（困窮度Ⅰ群に対して2.8倍）、「ゲームセンター」2.9%（同じく2.2倍）、「塾」43.9%（同じく2.1倍）、「おばあちゃん・おじいちゃんの家」6.8%（同じく1.8倍）などが高かった。

困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人（子ども票問 10）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

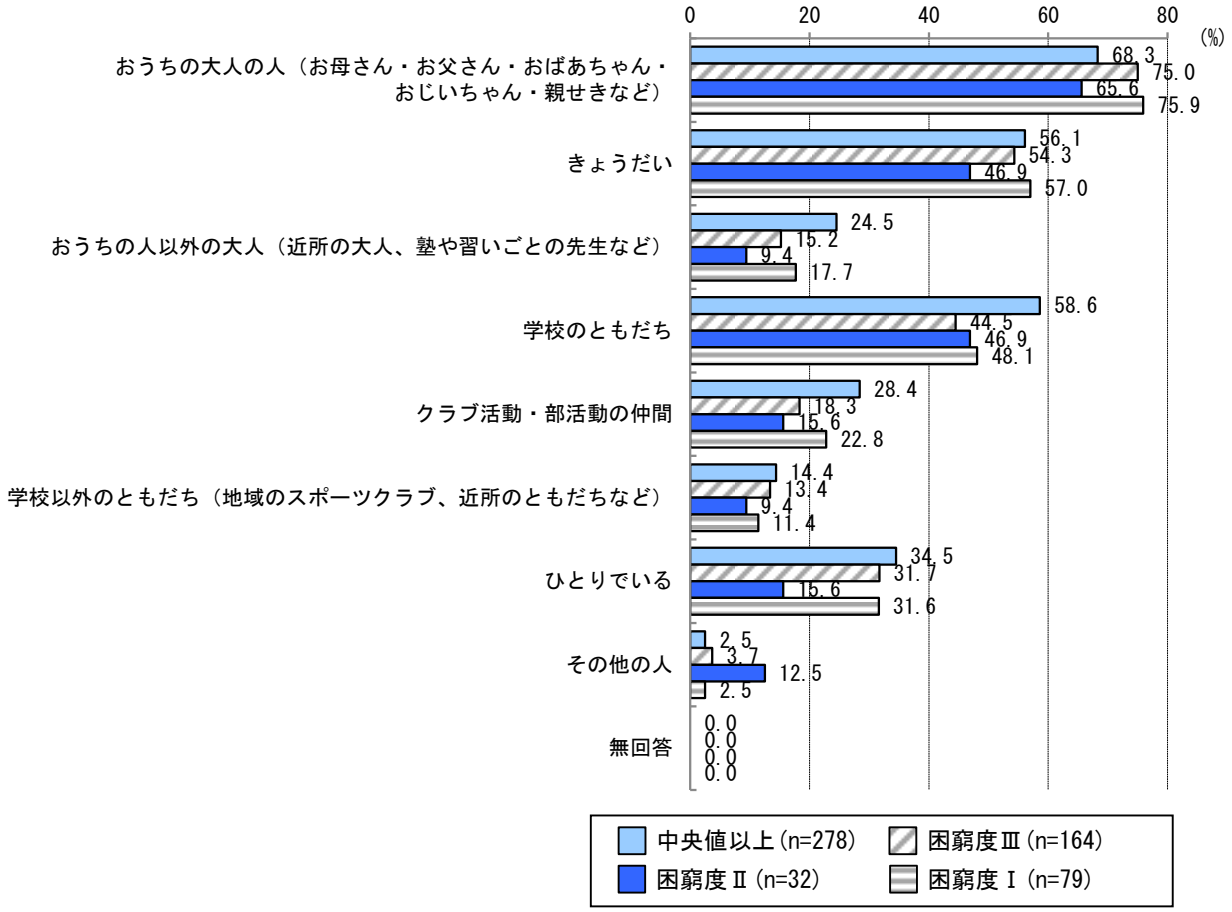
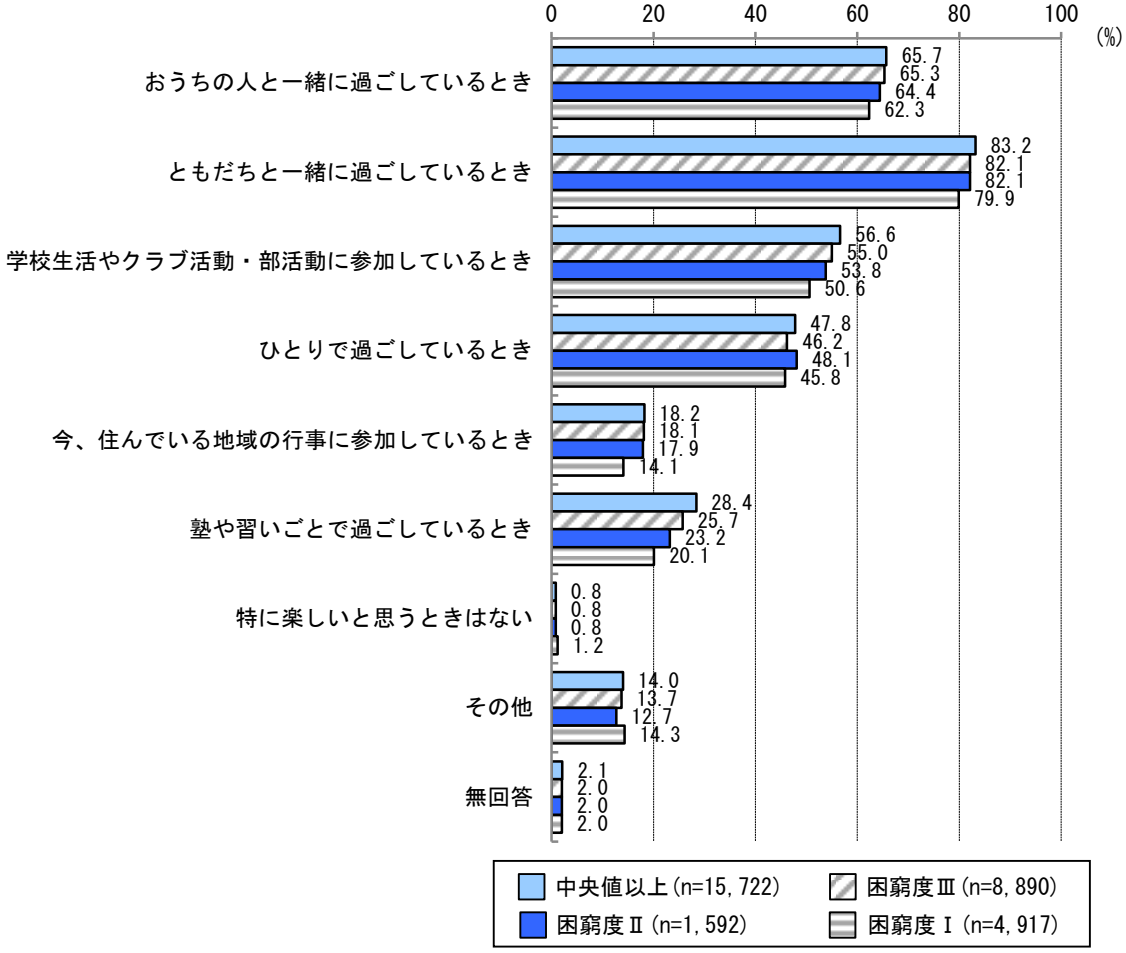


図 152. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人

困窮度別に子どもが放課後一緒に過ごす人を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、中央値以上群では「おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）」24.5%（困窮度Ⅰ群に対して17.7倍）、「学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）」14.4%（同じく1.3倍）、「学校のともだち」58.6%（同じく1.2倍）、「クラブ活動・部活動の仲間」28.4%（同じく1.2倍）が高かった。

困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと（子ども票問９）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

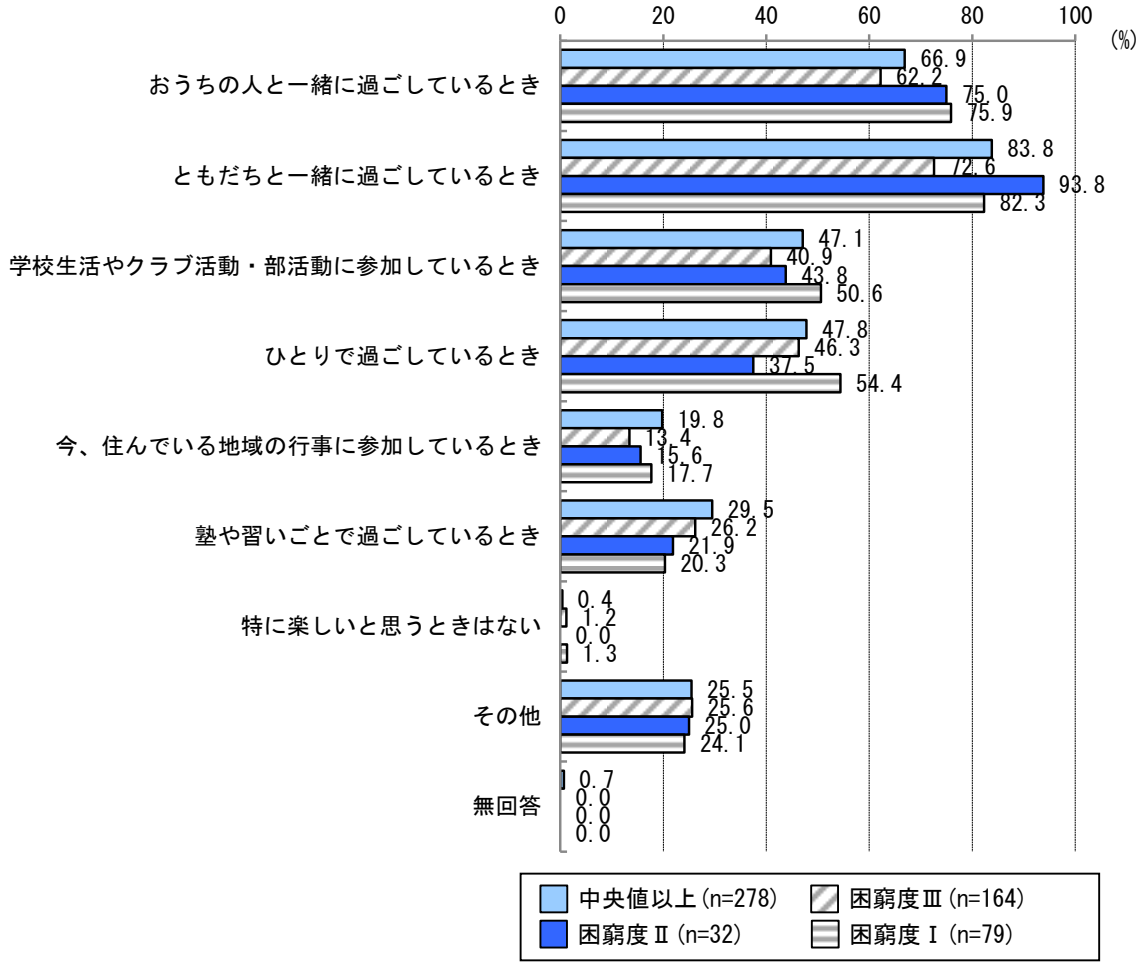
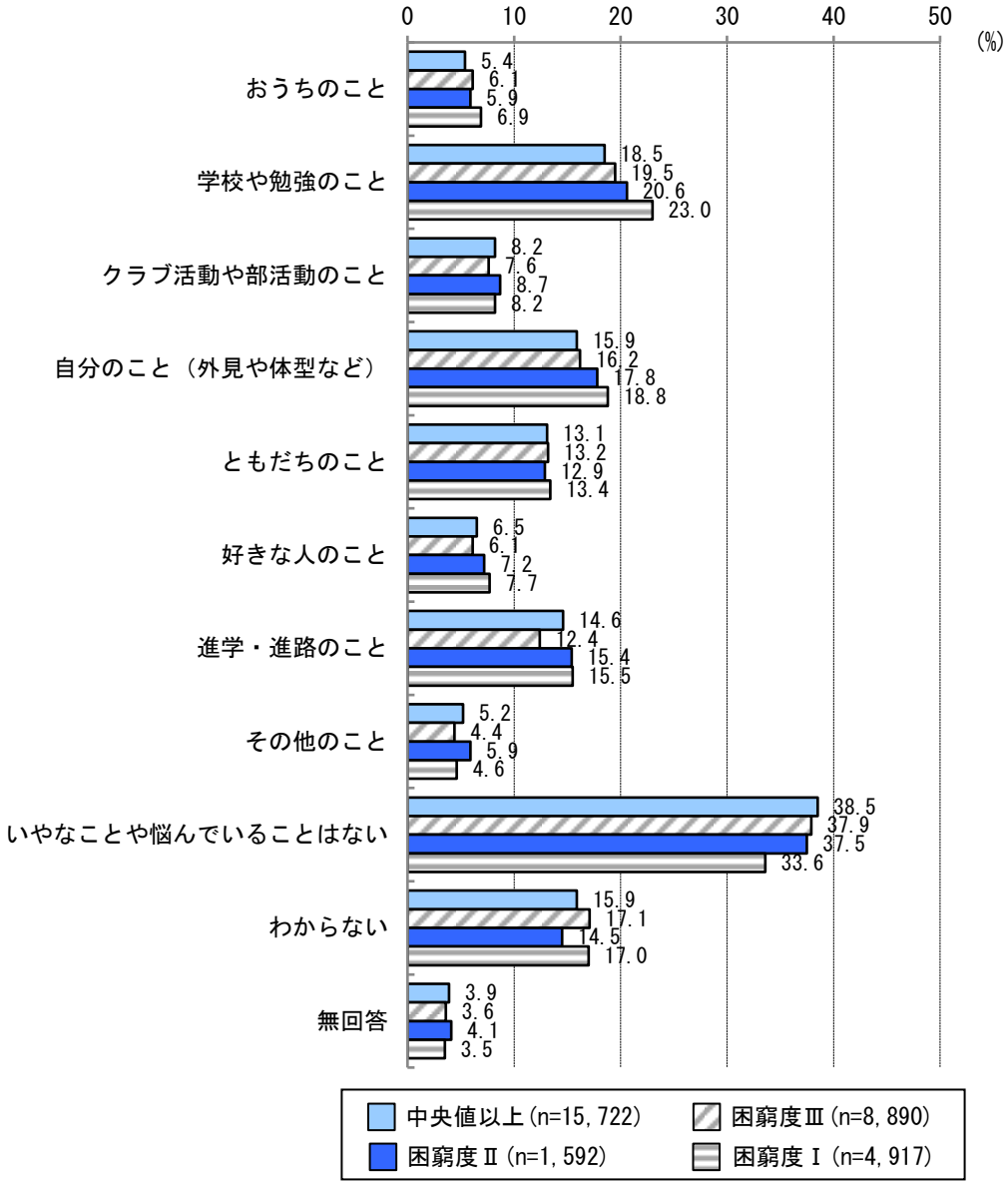


図 153. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと

困窮度別に子どもが毎日の生活で楽しいことを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、中央値以上群の数値を挙げると、「塾や習いごとで過ごしているとき」29.5%（困窮度Ⅰ群に対して1.5倍）、「今、住んでいる地域の行事に参加しているとき」19.8%（同じく1.1倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること（子ども票問 17）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

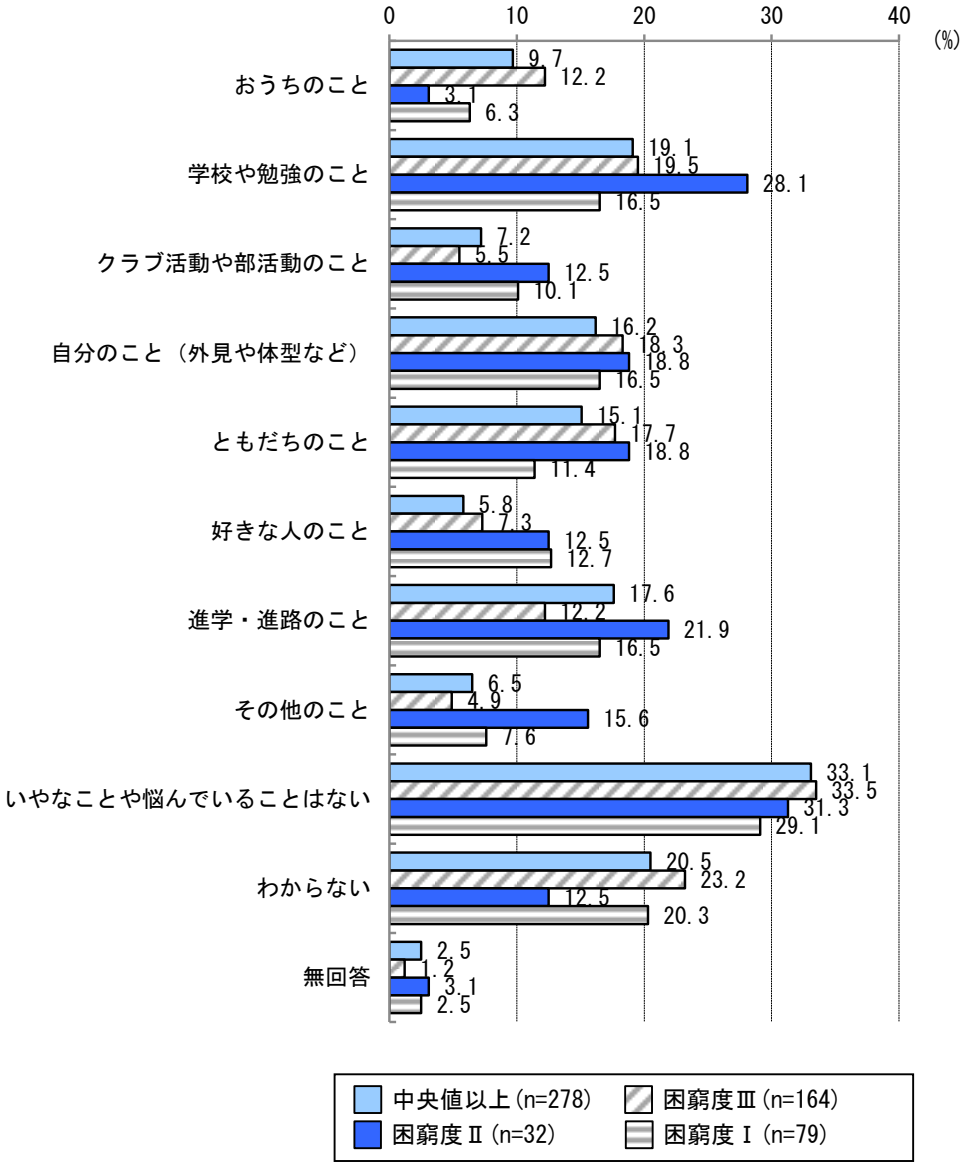
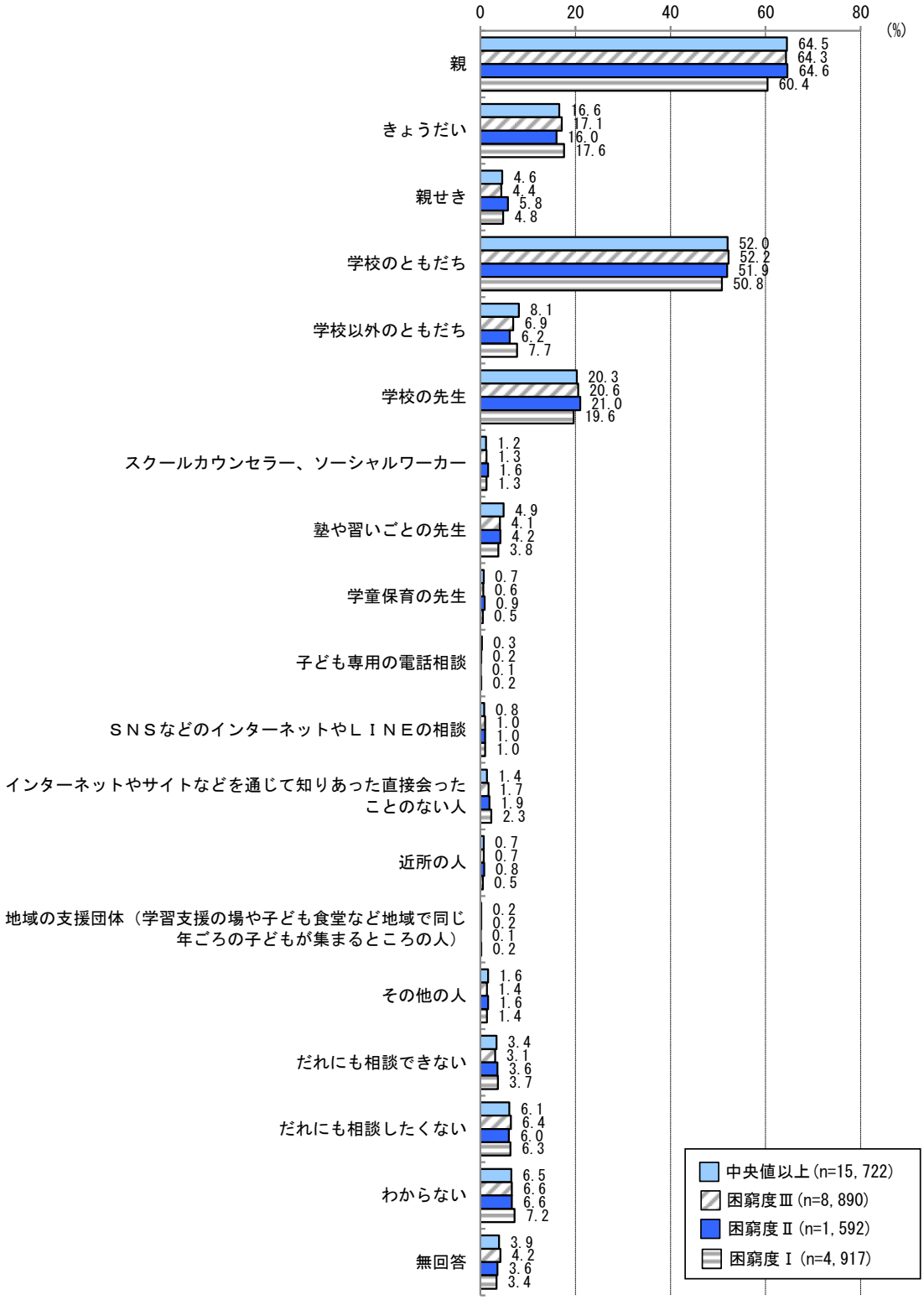


図 154. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること

困窮度別に子どもが悩んでいることを見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目すると、困窮度Ⅰ群では、「好きな人のこと」12.7%（中央値以上群に対して2.2倍）、「クラブ活動や部活動のこと」10.1%（同じく1.4倍）が高く、中央値以上群では「おうちのこと」9.7%（困窮度Ⅰ群に対して1.5倍）、「ともだちのこと」15.1%（同じく1.3倍）が高かった。

困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

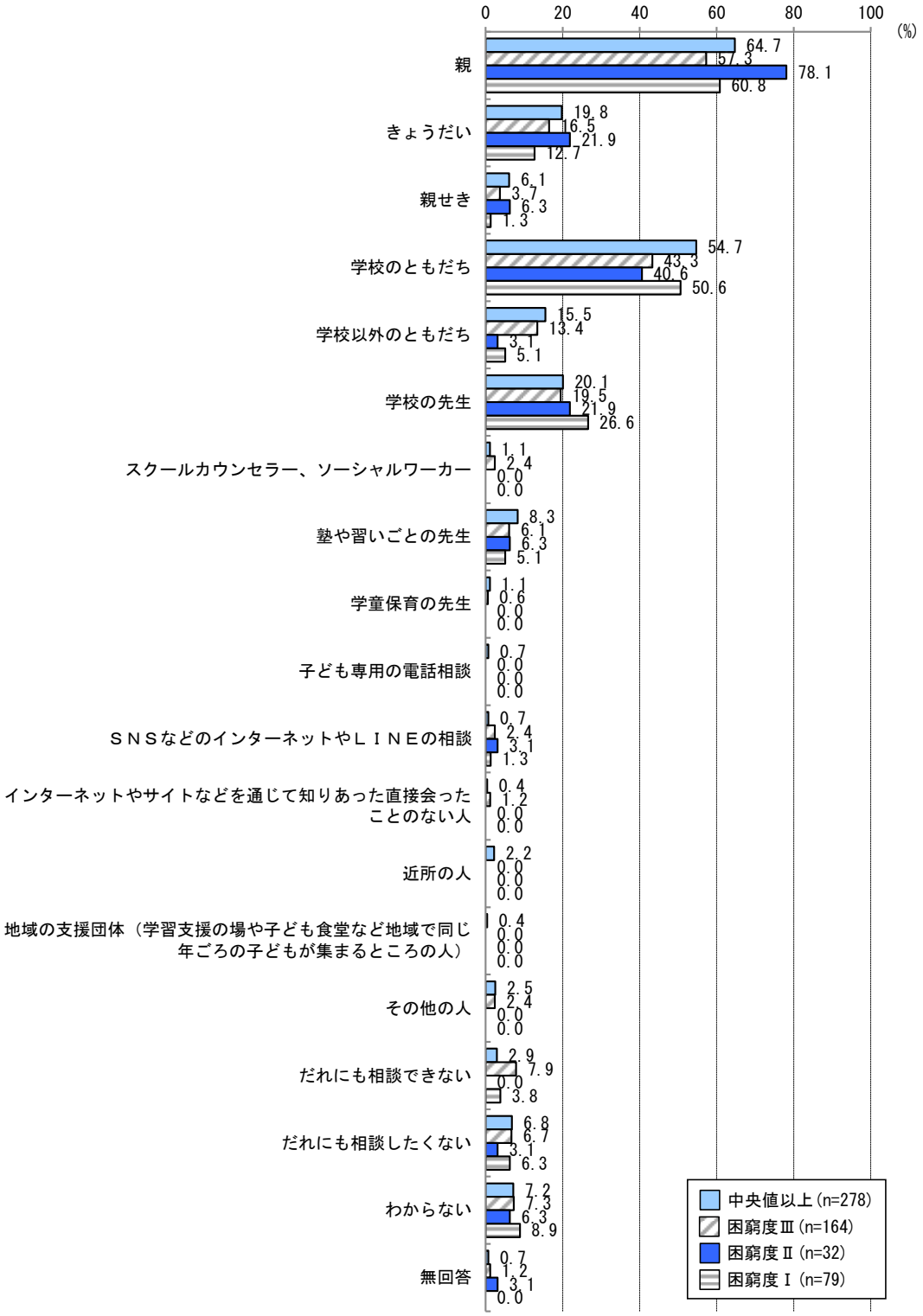
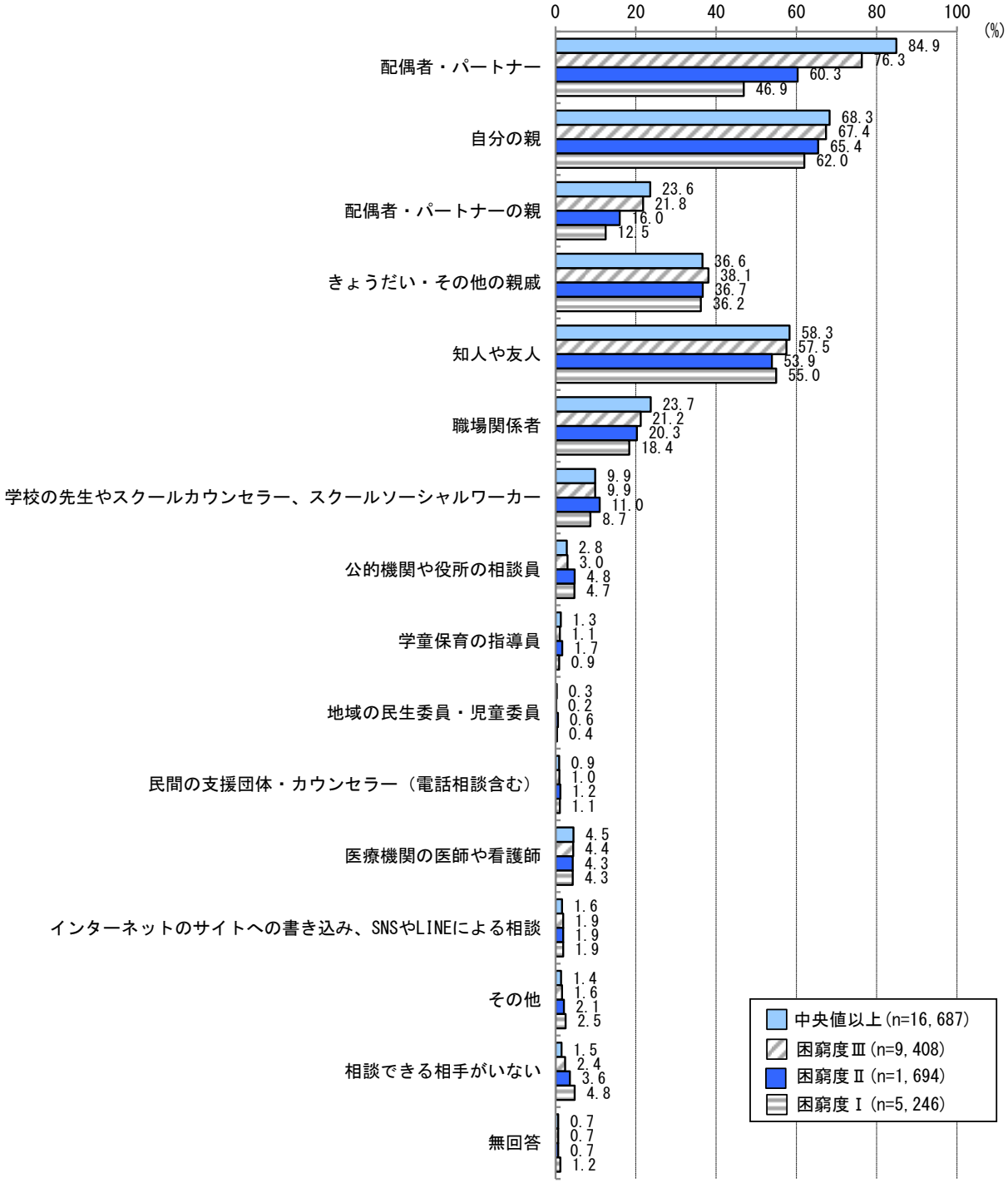


図 155. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

困窮度別に子どもの嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「ＳＮＳなどのインターネットやＬＩＮＥの相談」1.3%（中央値以上群に対して1.9倍）、「学校の先生」26.6%（同じく1.3倍）、「だれにも相談できない」3.8%（同じく1.3倍）となっている。

困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 19）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

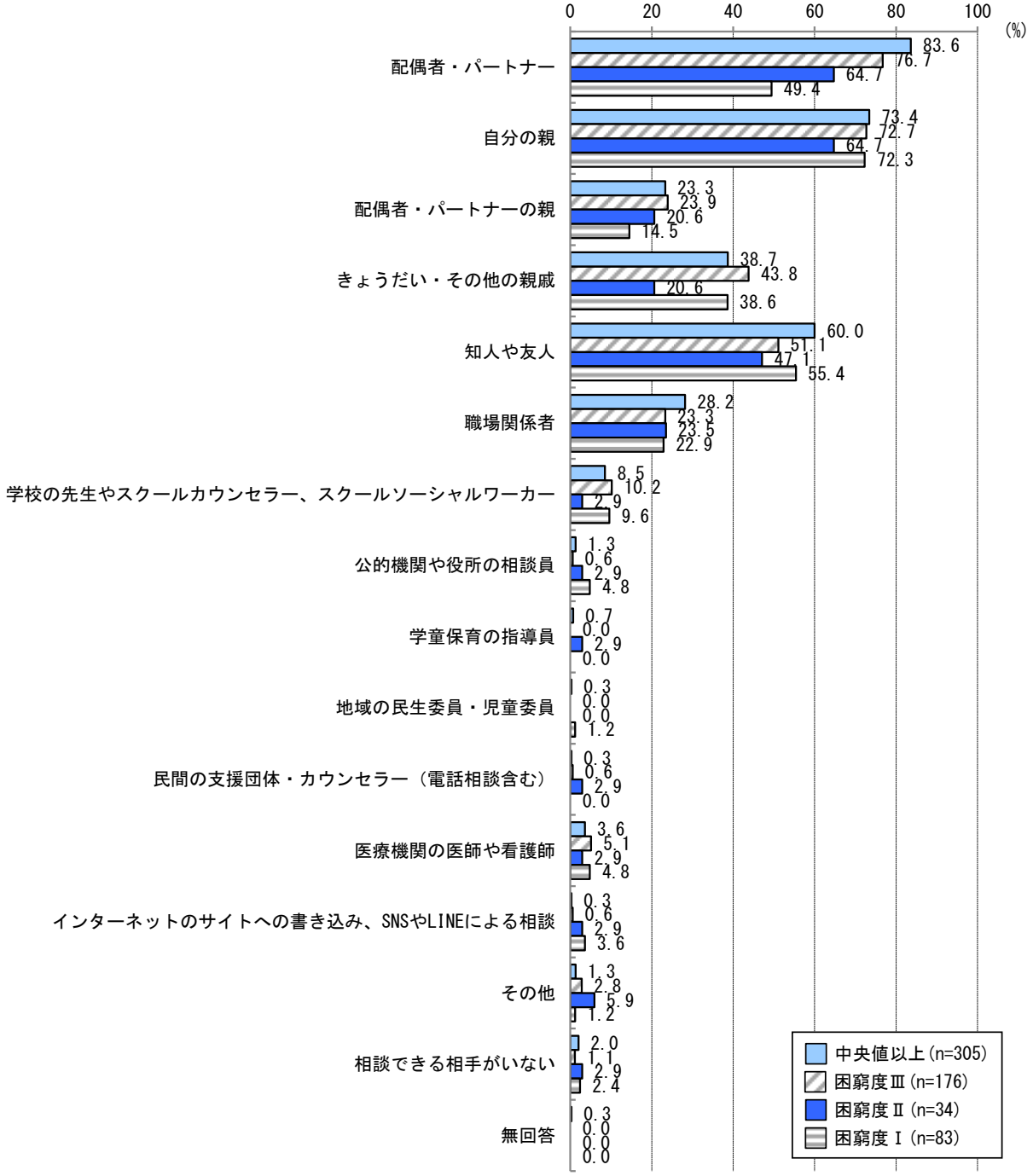
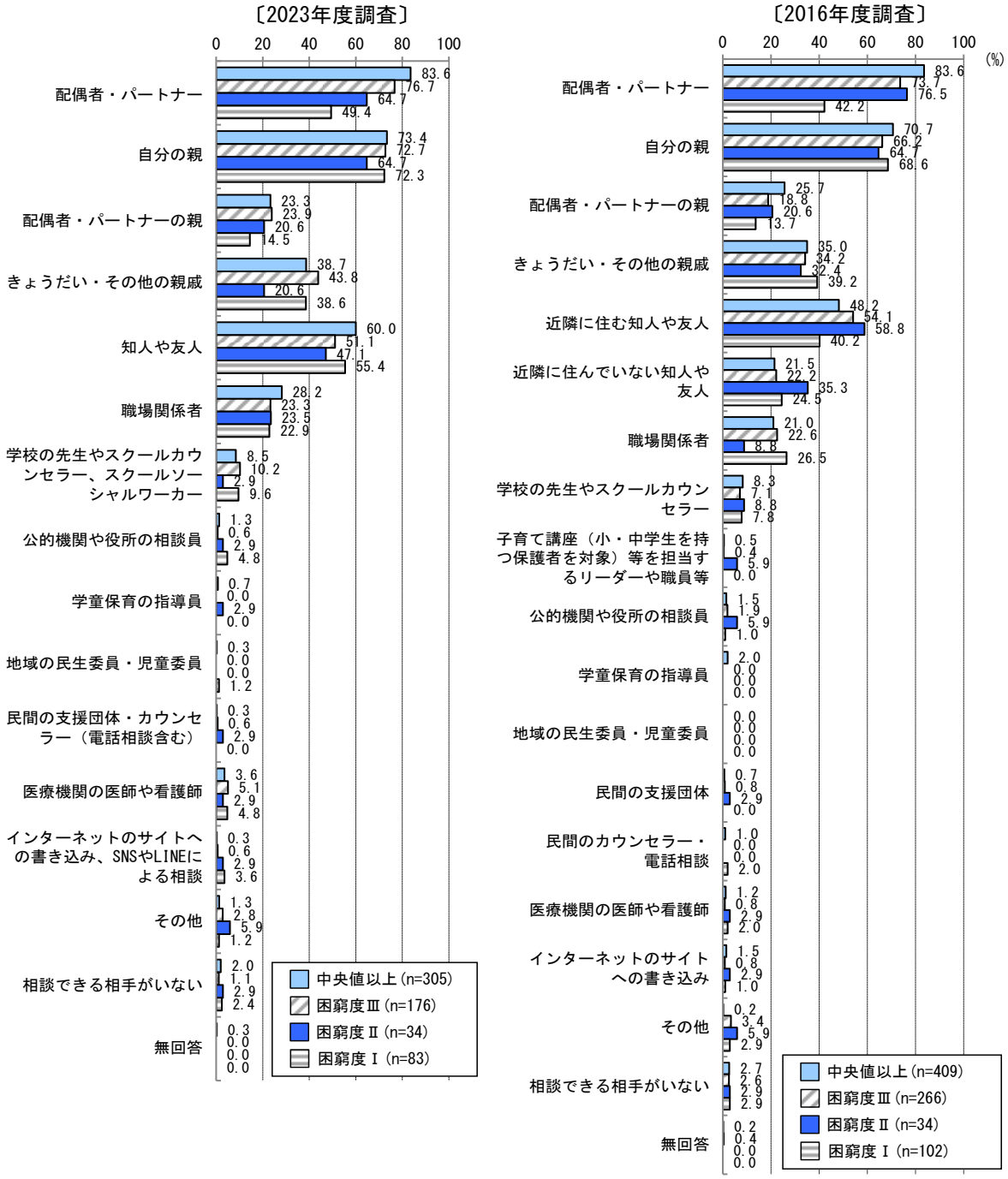


図 156. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

困窮度別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目しながら、困窮度Ⅰ群の数値を挙げると、「インターネットのサイトへの書き込み、SNSやLINEによる相談」3.6%（中央値以上群に対して12.0倍）、「地域の民生委員・児童委員」1.2%（同じく4.0倍）となっている。中央値以上群の数値を挙げると、「配偶者・パートナー」83.6%（困窮度Ⅰ群に対して1.7倍）、「配偶者・パートナーの親」23.3%（同じく1.6倍）となっている。

＜2016 年度調査との比較／大阪狭山市＞



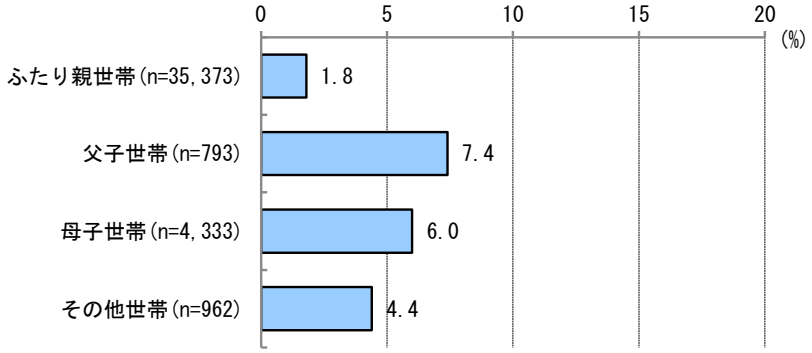
※1　「知人や友人」は、2016年度調査では「近隣に住む知人や友人」と「近隣に住んでいない知人や友人」
※2　「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」は、2016年度調査では「学校の先生やスクールカウンセラー」
※3　2016年度調査の「子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等」は今回は削除
※3　「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」は、2016年度調査では「民間の支援団体」と「民間のカウンセラー・電話相談」
※4　「インターネットのサイトへの書き込み、SNS や LINE による相談」は、2016年度調査では「インターネットのサイトへの書き込み」

図 157. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、「配偶者・パートナー」「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」と回答した割合は、いずれの困窮度も2016年度調査に比べて高くなっている。

世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がいない割合
（保護者票問２×保護者票問 19）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

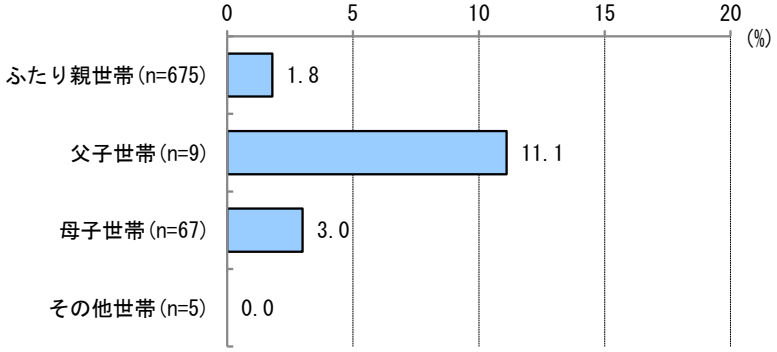


図 158. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がいない割合

世帯構成別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「相談できる相手がいない」と回答した人は、父子世帯で11.1％、母子世帯で3.0％いる。

＜2016年度調査との比較／大阪狭山市＞

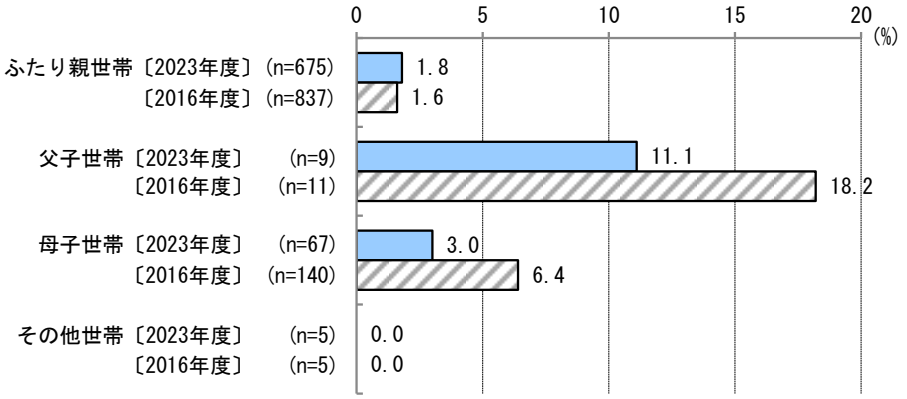
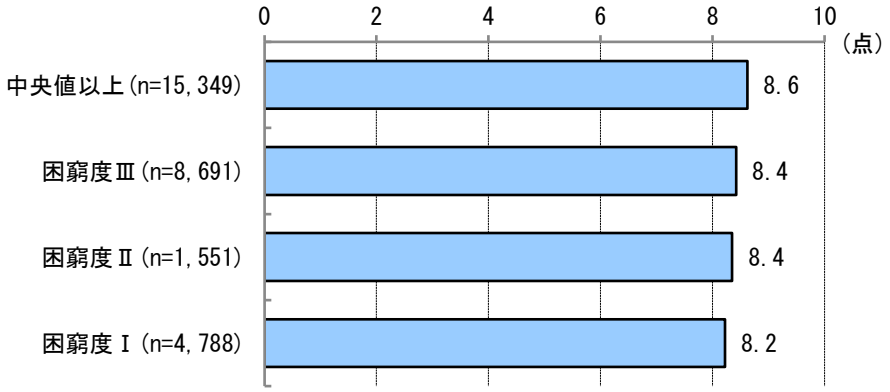


図 159. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がいない割合
（2016年度調査との比較）

2016年度調査と比較すると、母子世帯の割合は、2016年度調査に比べて高くなっており、一方で、その他世帯は2016年度調査に比べて割合が低くなっている。

困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）（子ども票問 23）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

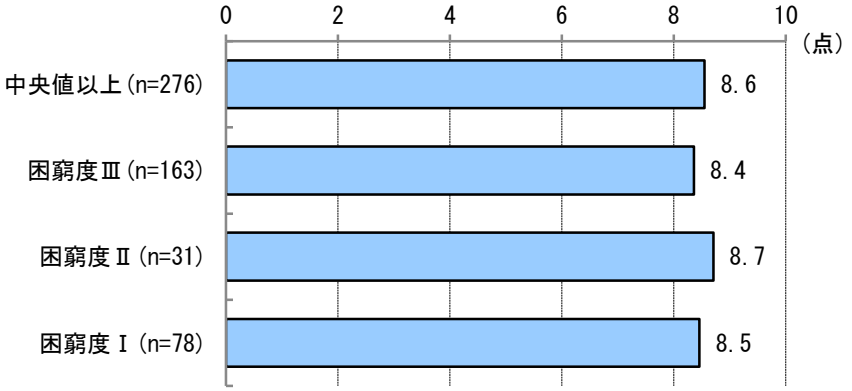
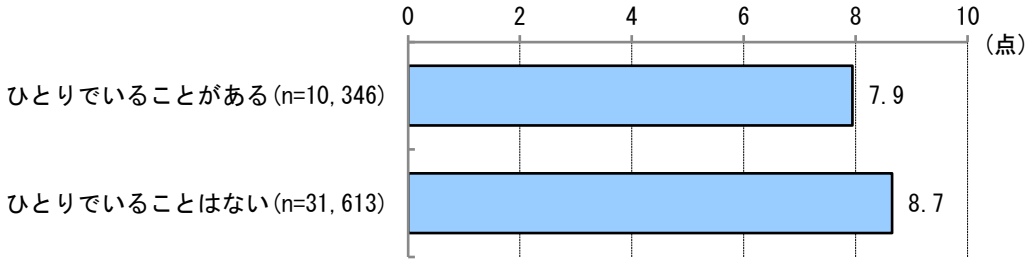


図 160. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

困窮度別に子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）を見ると、困窮度Ⅲ群において、8.4点と最も低くなっている。

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）
（子ども票問 10×子ども票問 23）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

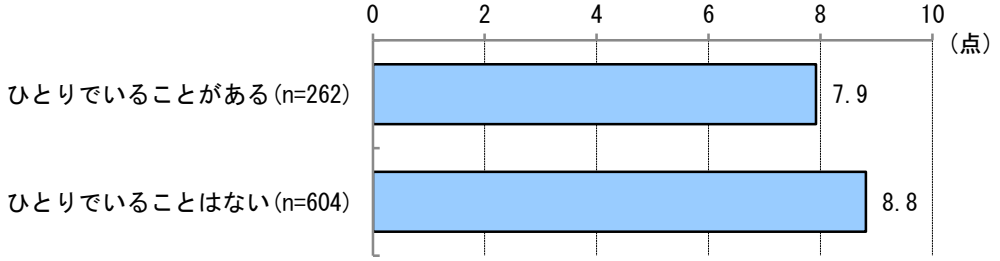


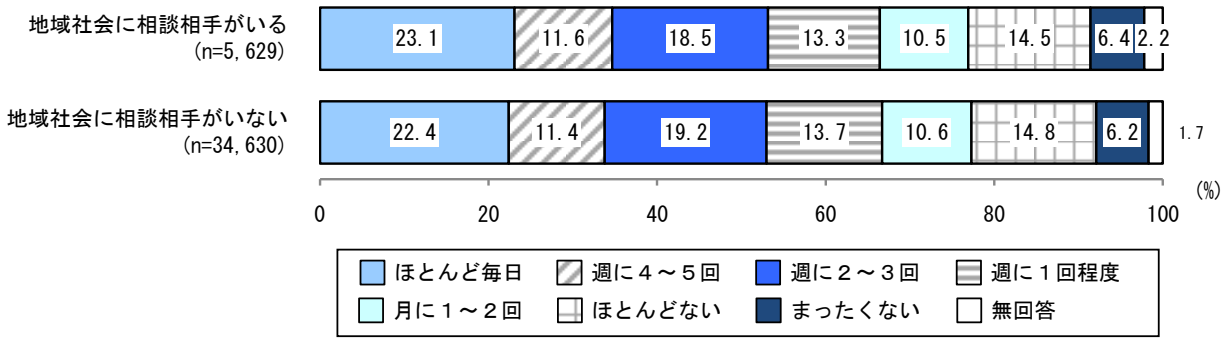
図 161. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）

子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかによって子どもの自己効力感(セルフ･エフィカシー)を見ると、放課後ひとりで過ごす子どもの方がそれでない子どもよりも自己効力感（セルフ・エフィカシー）が低かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか
（保護者票問 19×子ども票問８④）

※「あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか」という問に対し、「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」「公的機関や役所の相談員」「学童保育の指導員」「地域の民生委員・児童委員」「民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む）」「医療機関の医師や看護師」のうち少なくとも１つを選択した人を、「地域社会に相談相手がいる」とした。

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

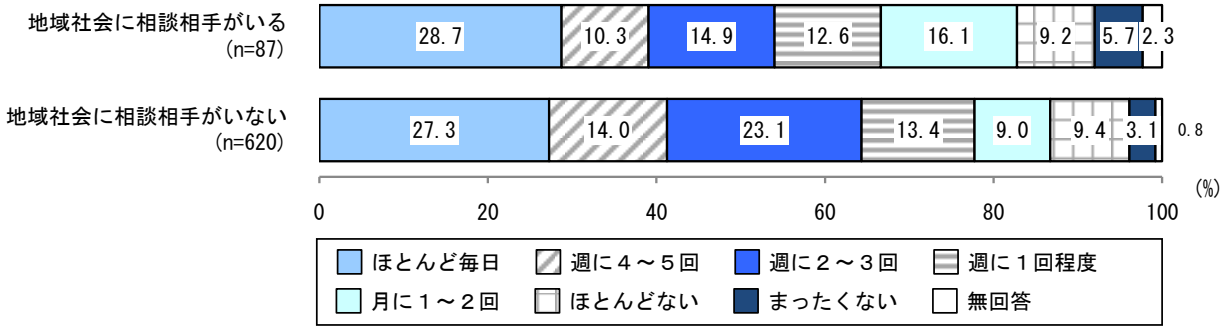
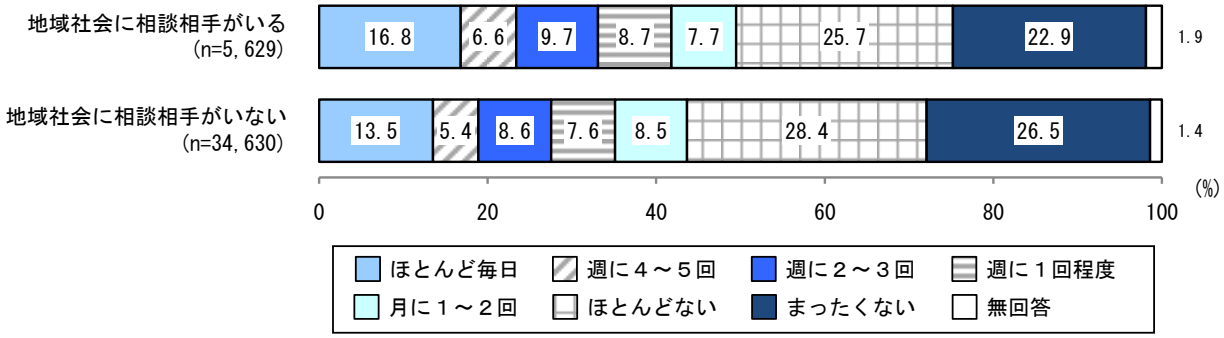


図 162. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、家の手伝いをしているかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がいない」人よりも、子どもがおうちの手伝いをしているかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか
（保護者票問 19×子ども票問８⑤）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

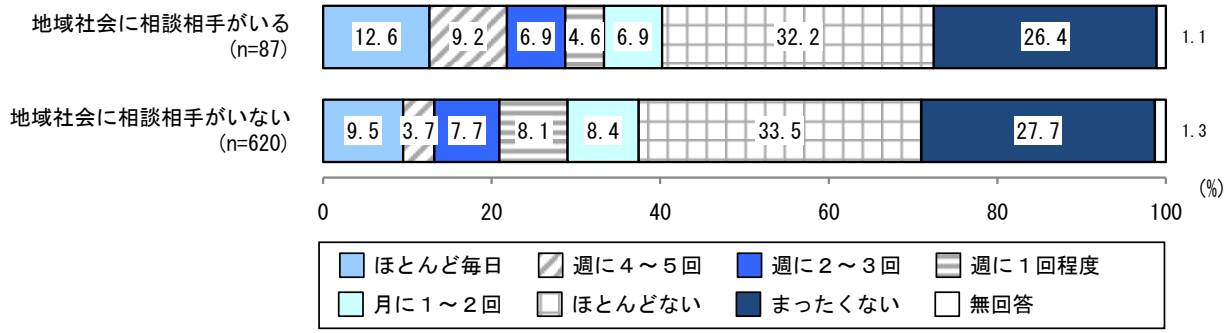
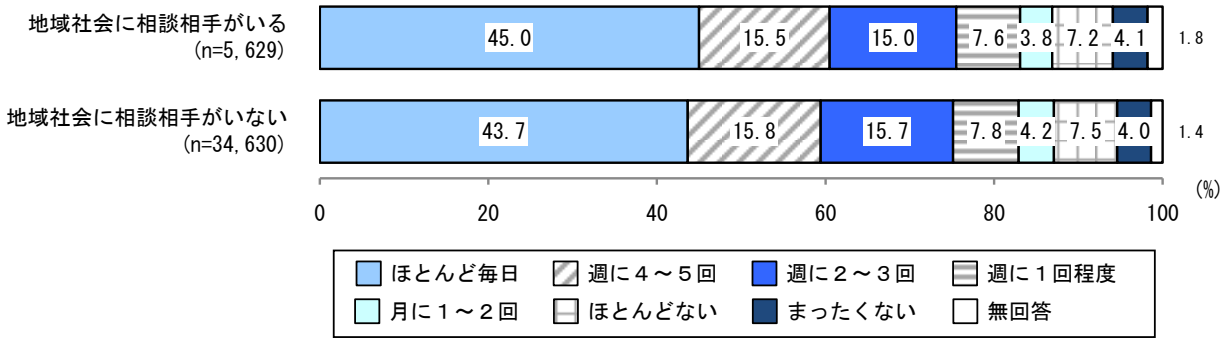


図 163. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がいない」人よりも、おうちの大人の人に宿題（勉強）を見てもらっているかに「ほとんど毎日」、「週に４～５回」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか
（保護者票問 19×子ども票問８⑥）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

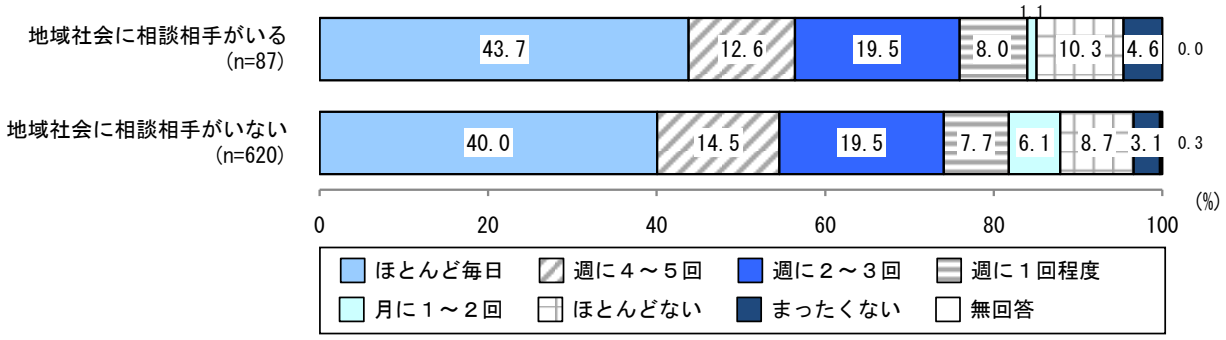
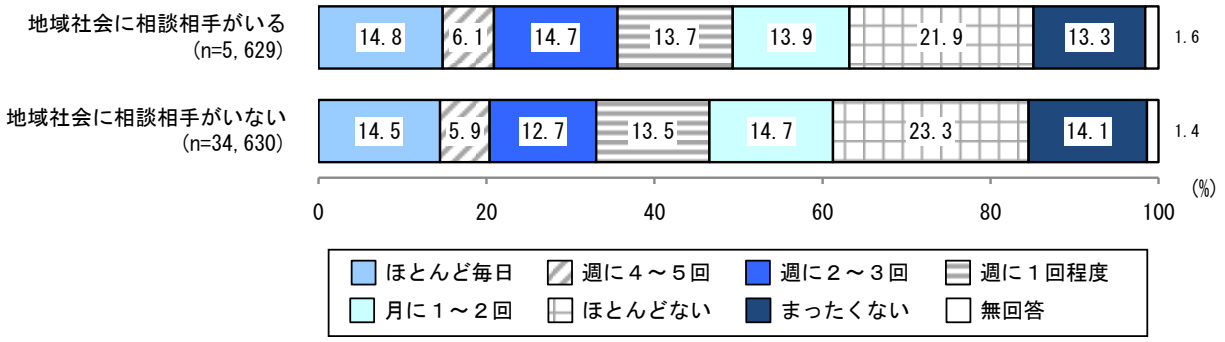


図 164. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がいない」人よりも、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか
（保護者票問 19×子ども票問８⑦）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

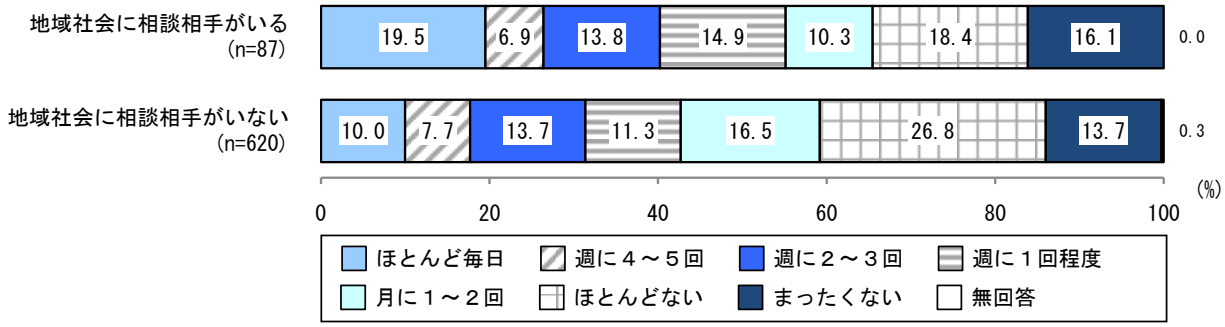
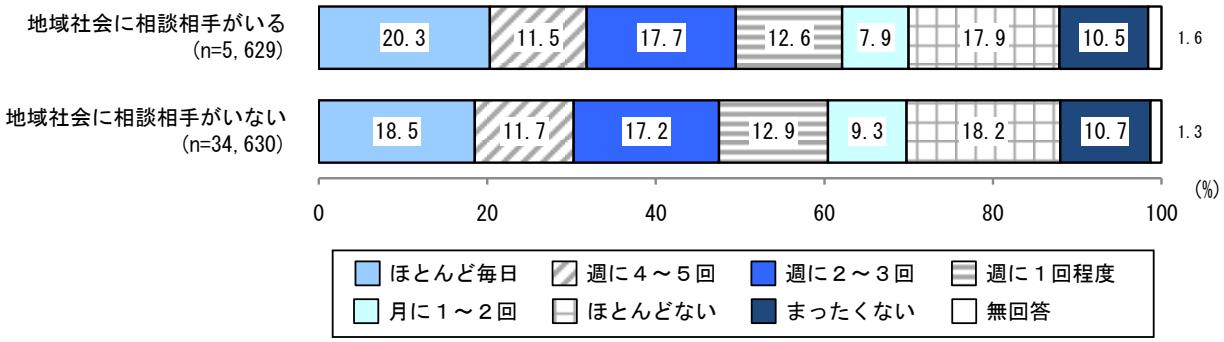


図 165. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がいない」人よりも、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか（保護者票問 19×子ども票問８⑧）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

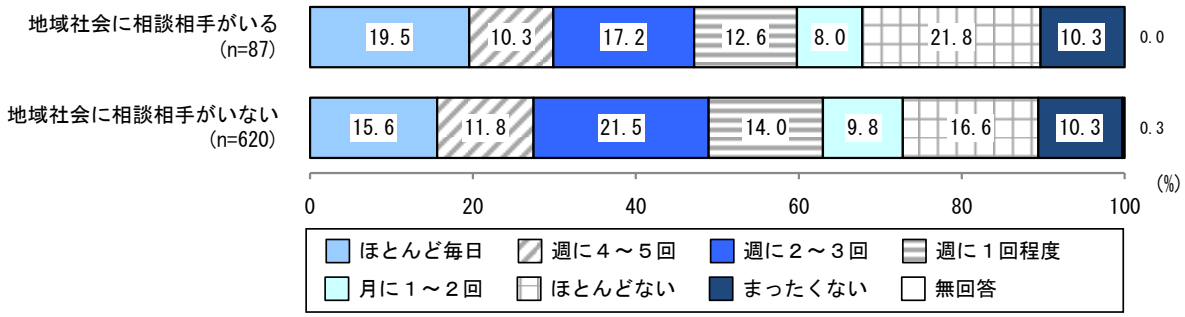
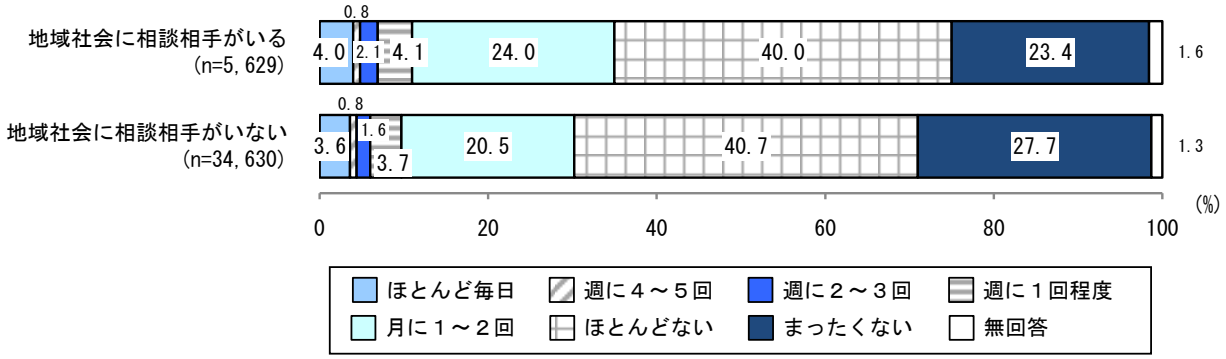


図 166. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」人の方が、「地域社会に相談相手がいない」人よりも、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すかに「ほとんど毎日」と回答する割合が高かった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか
（保護者票問 19×子ども票問８⑨）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

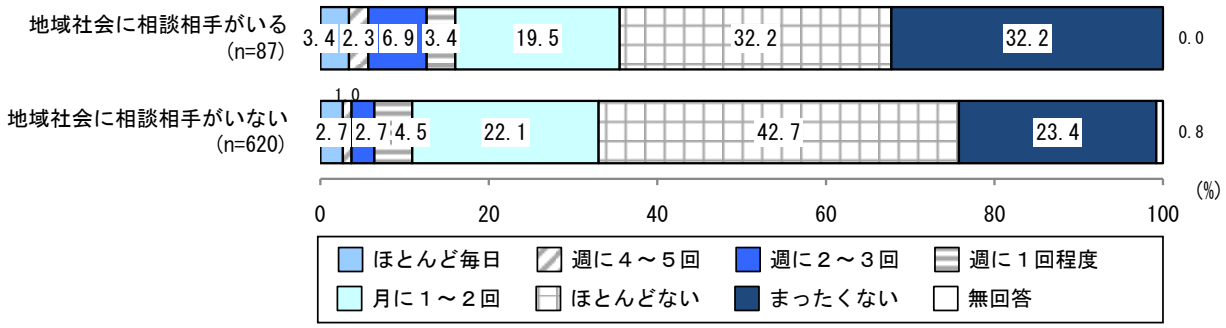
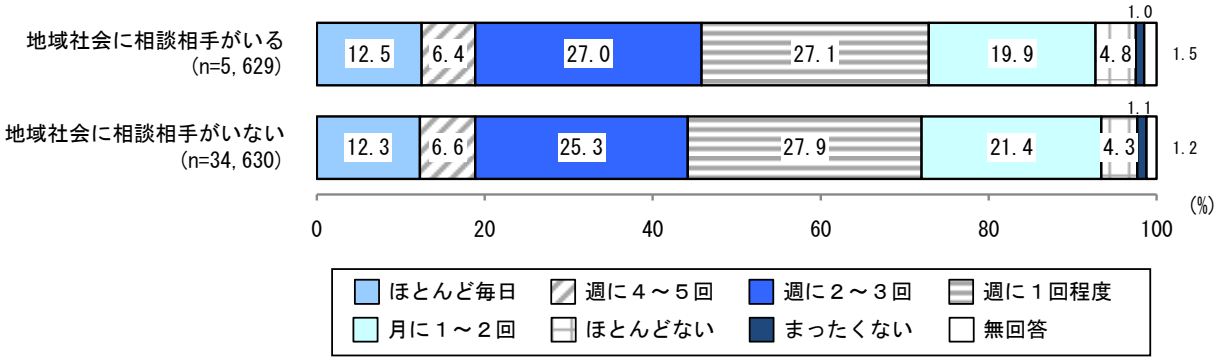


図 167. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」か「地域社会に相談相手がいない」かによって、子どもが「おうちの大人の人と文化活動をする」に差はなかった。

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか
（保護者票問 19×子ども票問８⑩）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

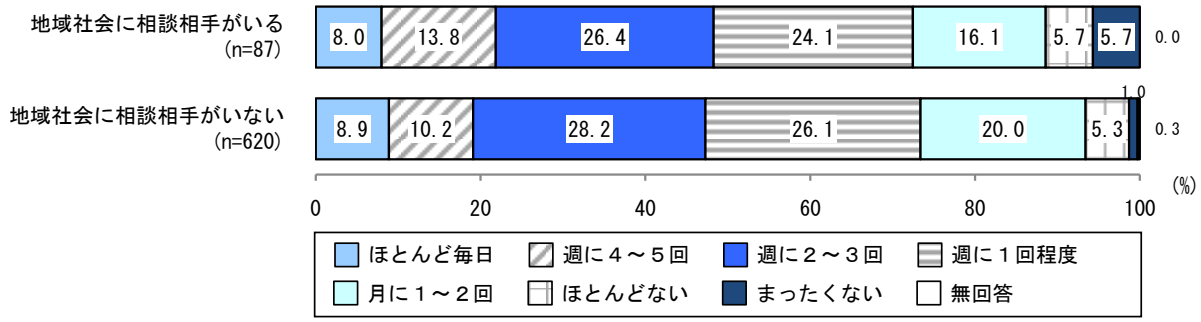
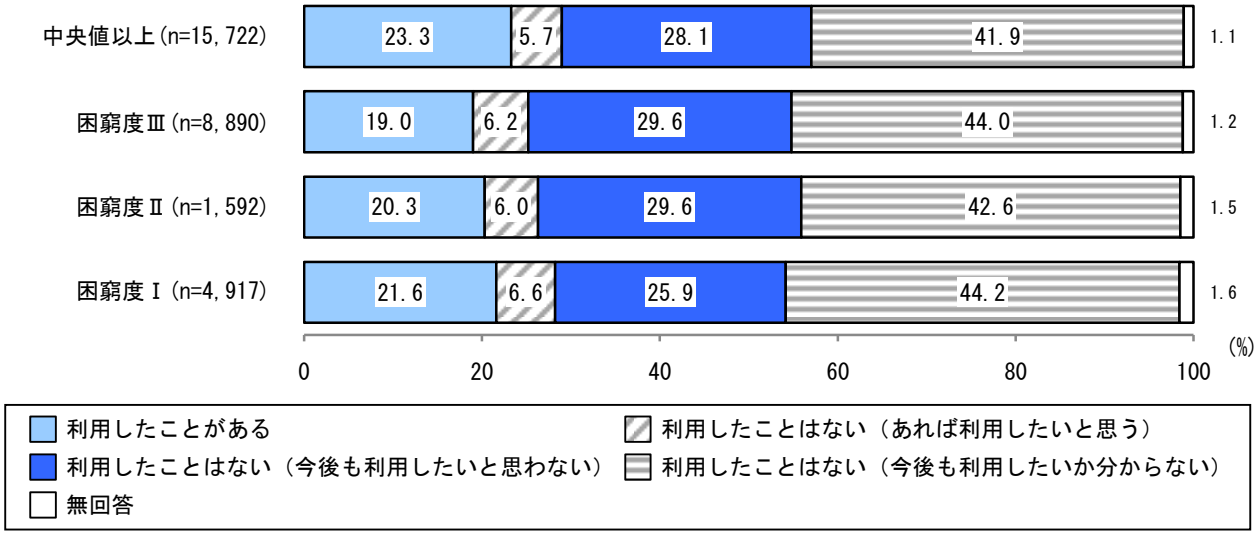


図 168. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか

地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するかを見ると、「地域社会に相談相手がいる」か「地域社会に相談相手がいない」かによって、子どもが「おうちの大人の人と一緒に外出する」に差はなかった。

困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所（子ども票問 25(1)①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

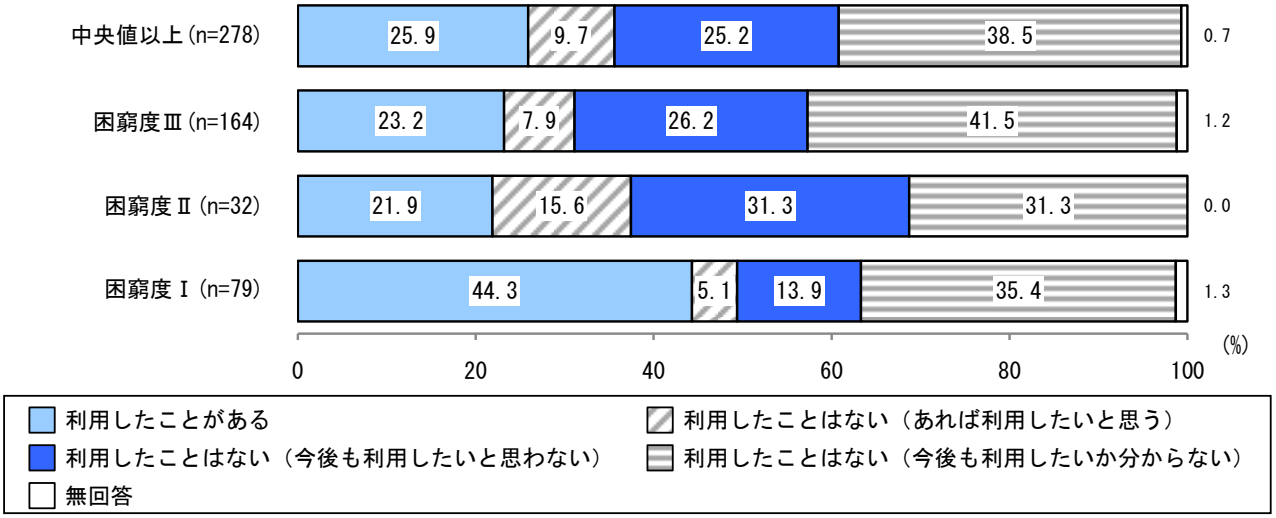
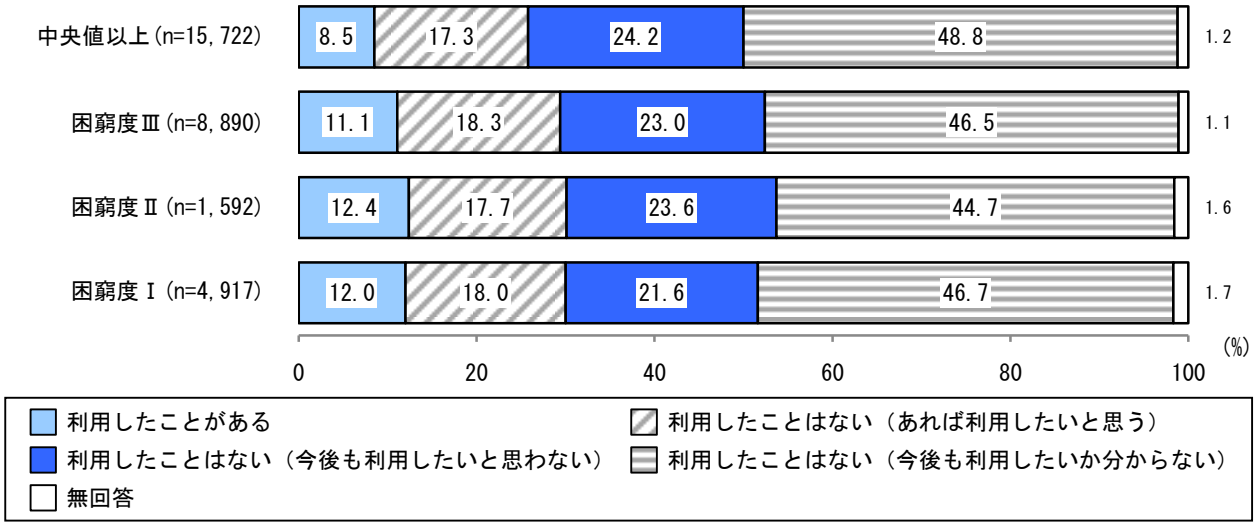


図 169. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

困窮度別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群で44.3%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所
（子ども票問 25(1)②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

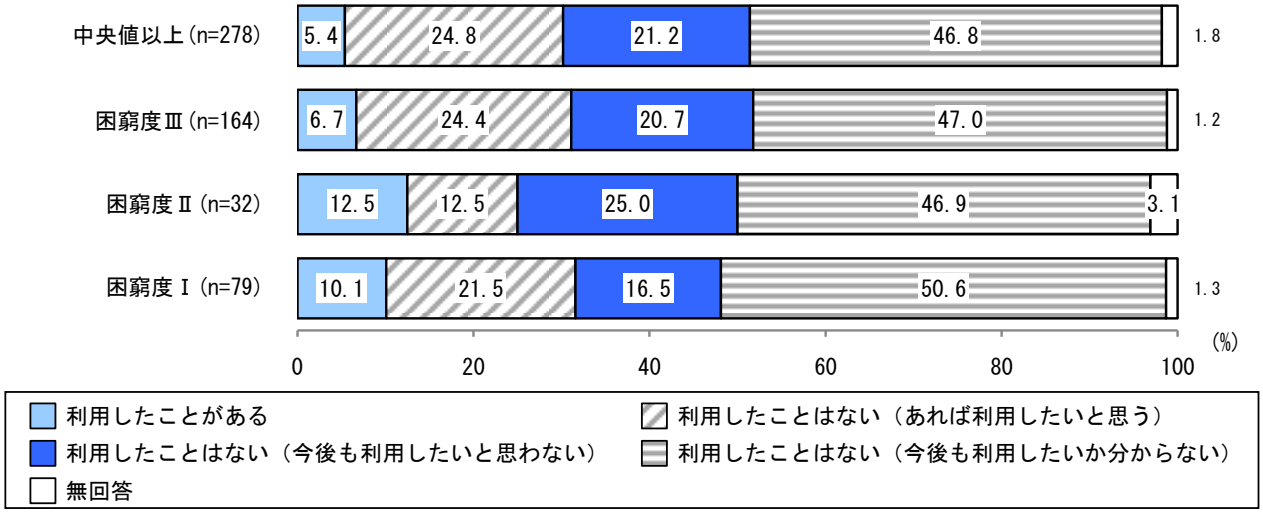
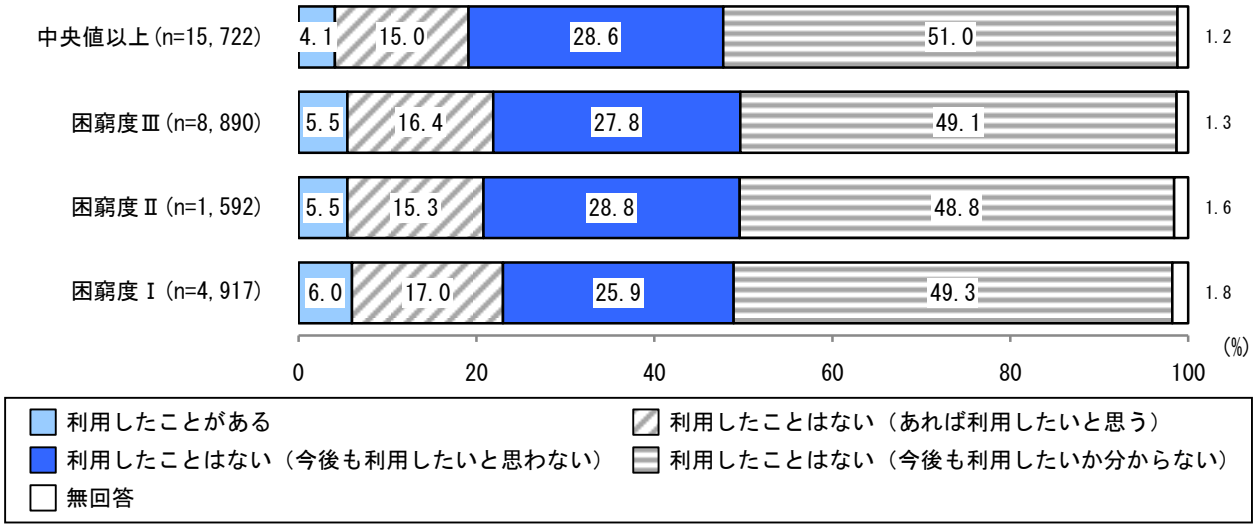


図 170. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

困窮度別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」と回答する割合が困窮度Ⅰ群で50.6%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所（子ども票問 25(1)③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

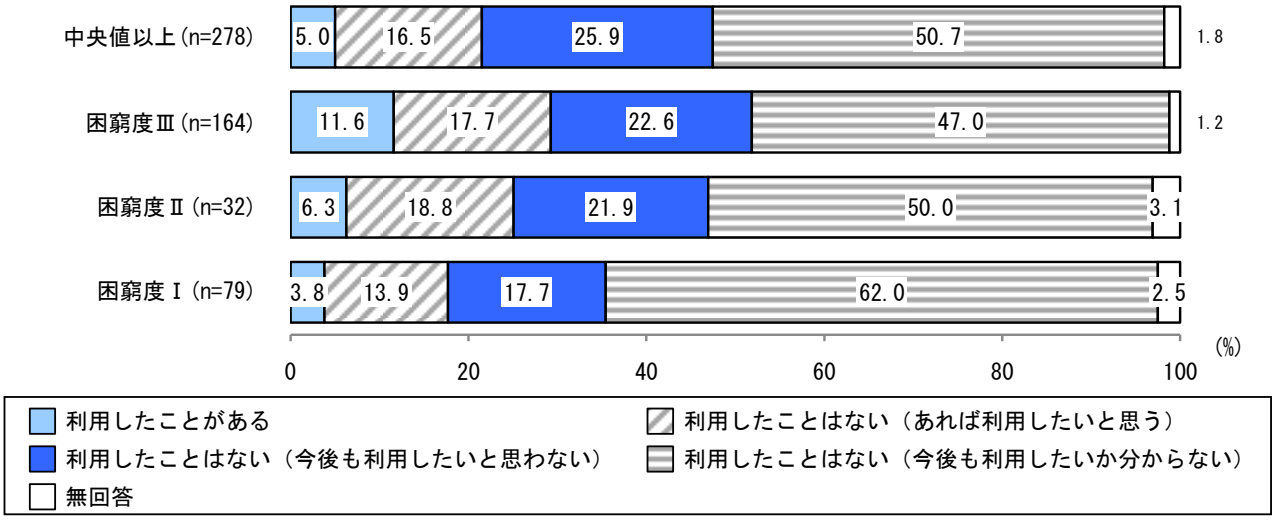
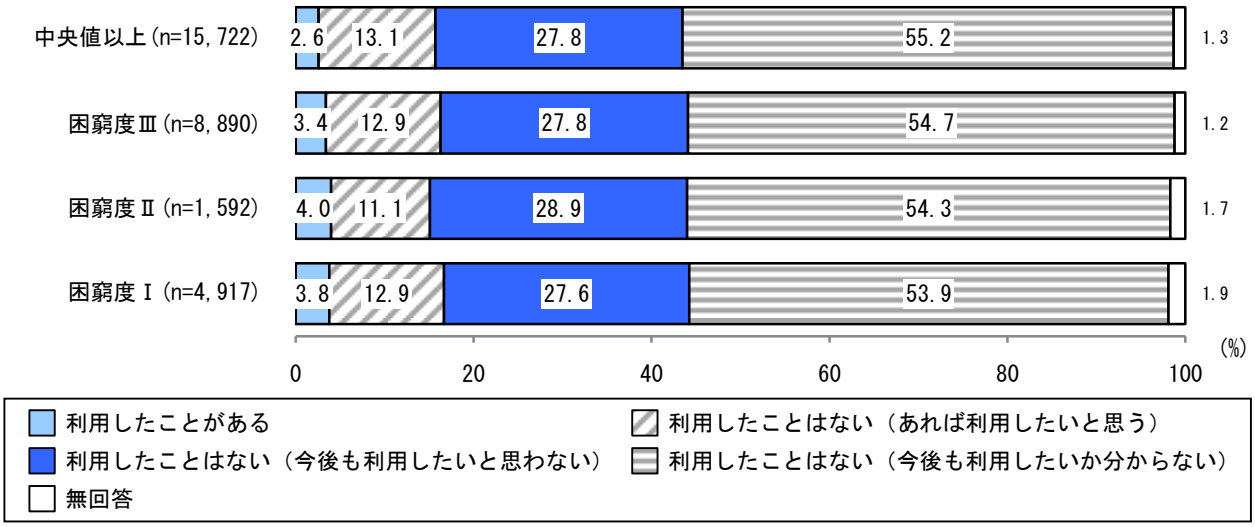


図 171. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

困窮度別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことがある」と回答する割合が困窮度Ⅲ群で11.6%と最も高くなっている。

困窮度別に見た、何でも相談できる場所（子ども票問 25(1)④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

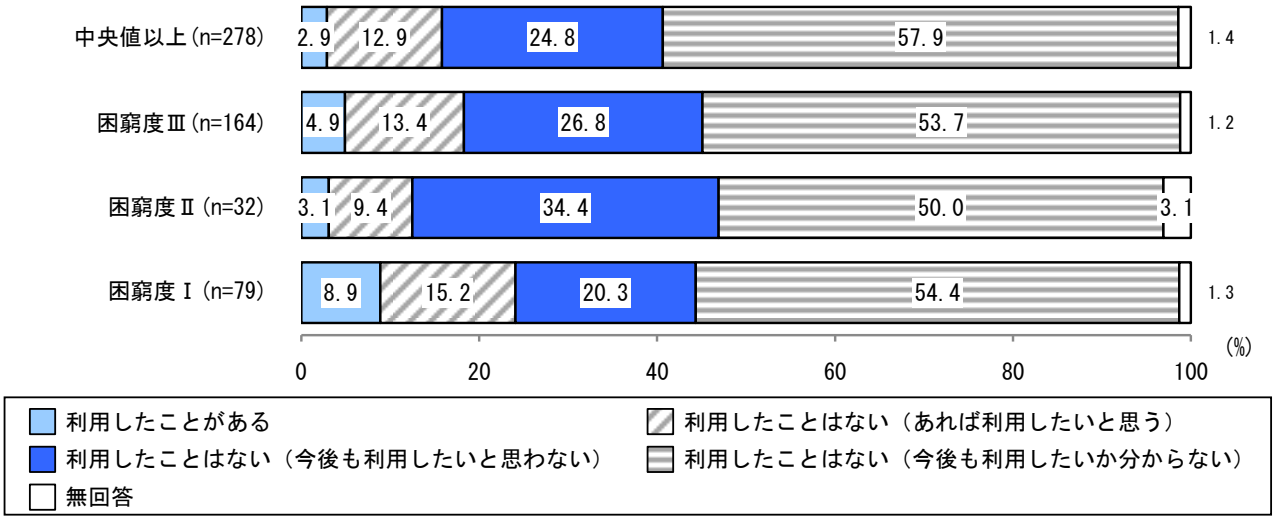
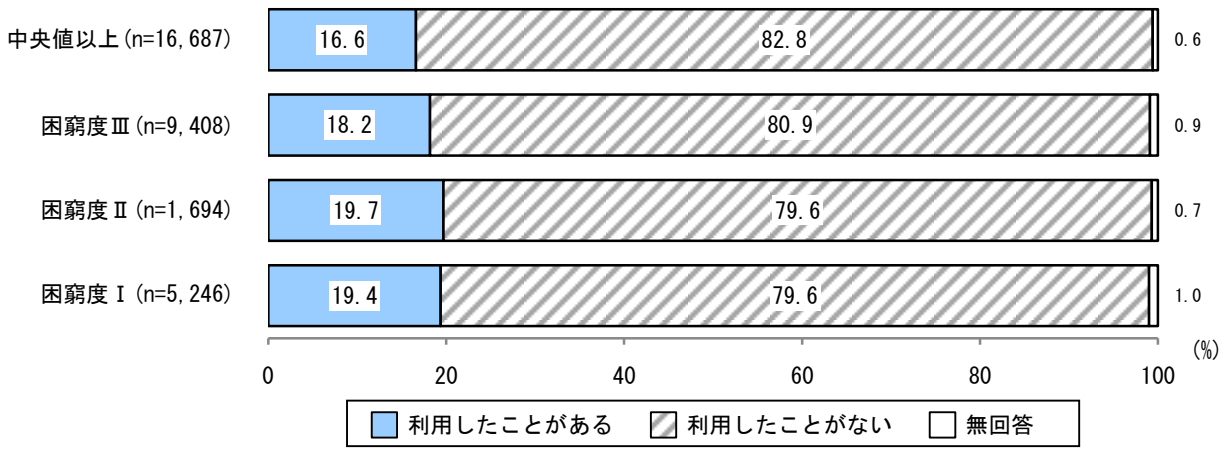


図 172. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所

困窮度別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した割合は、困窮度Ⅰ群で8.9%と最も高くなっている。一方、「利用したことはない（今後も利用したいか分からない）」と回答した割合は、中央値以上群で57.9%と最も高かった。

困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験（保護者票問 16(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

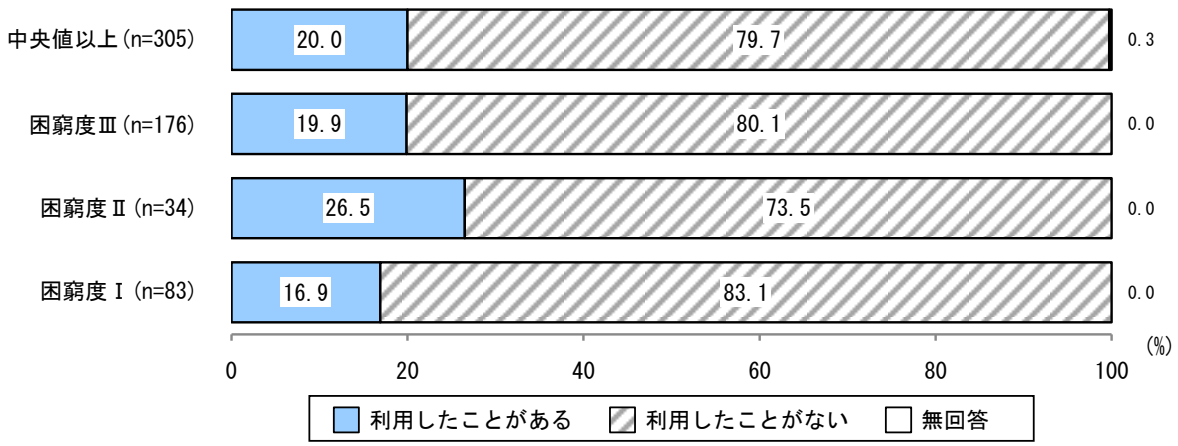
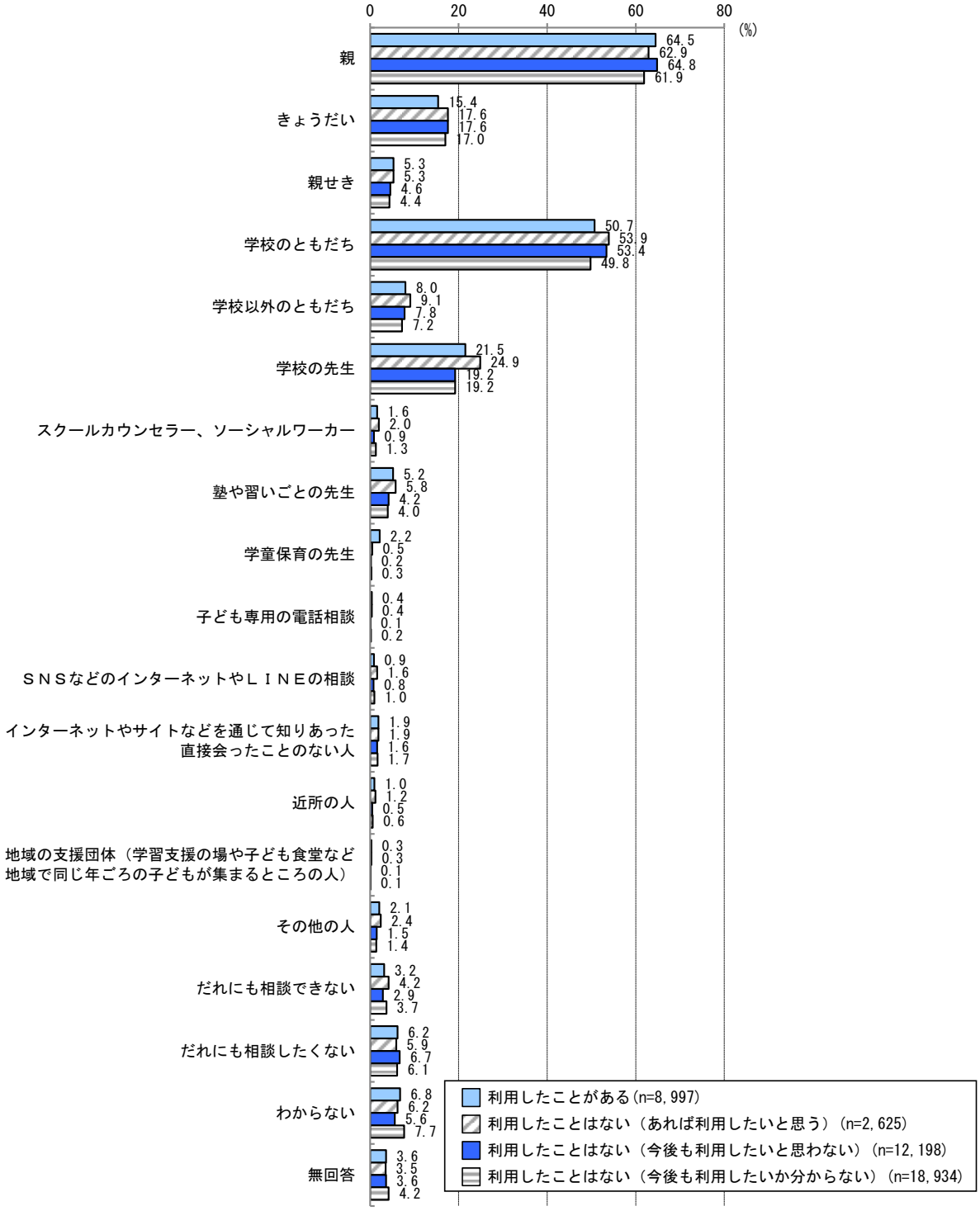


図 173. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験

困窮度別に子どもの居場所の利用経験を見ると、「利用したことがある」と回答する割合は困窮度Ⅰ群が16.9%で最も低く、困窮度Ⅱ群が26.5%で最も高くなっている。

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
（子ども票問 25(1)①×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

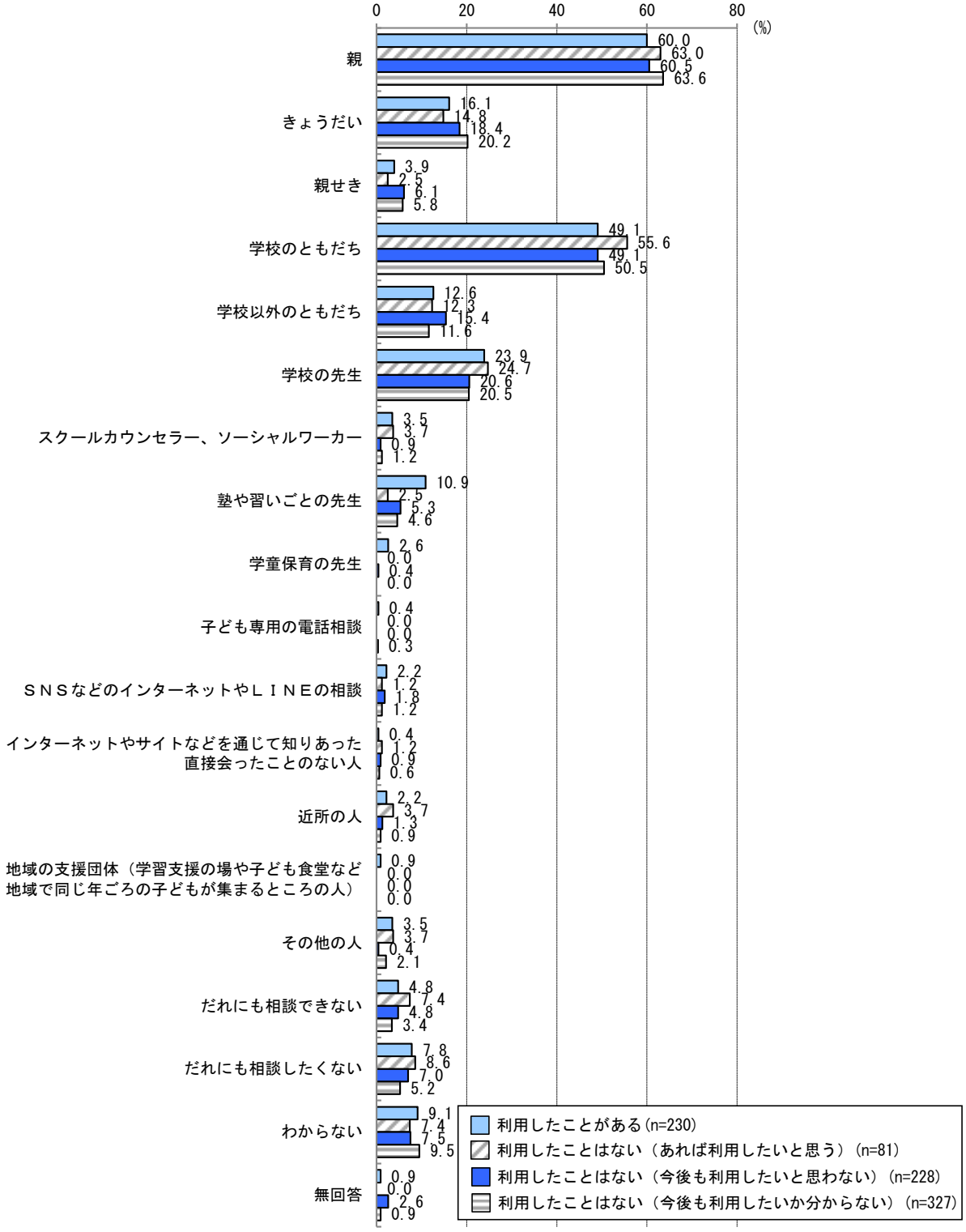
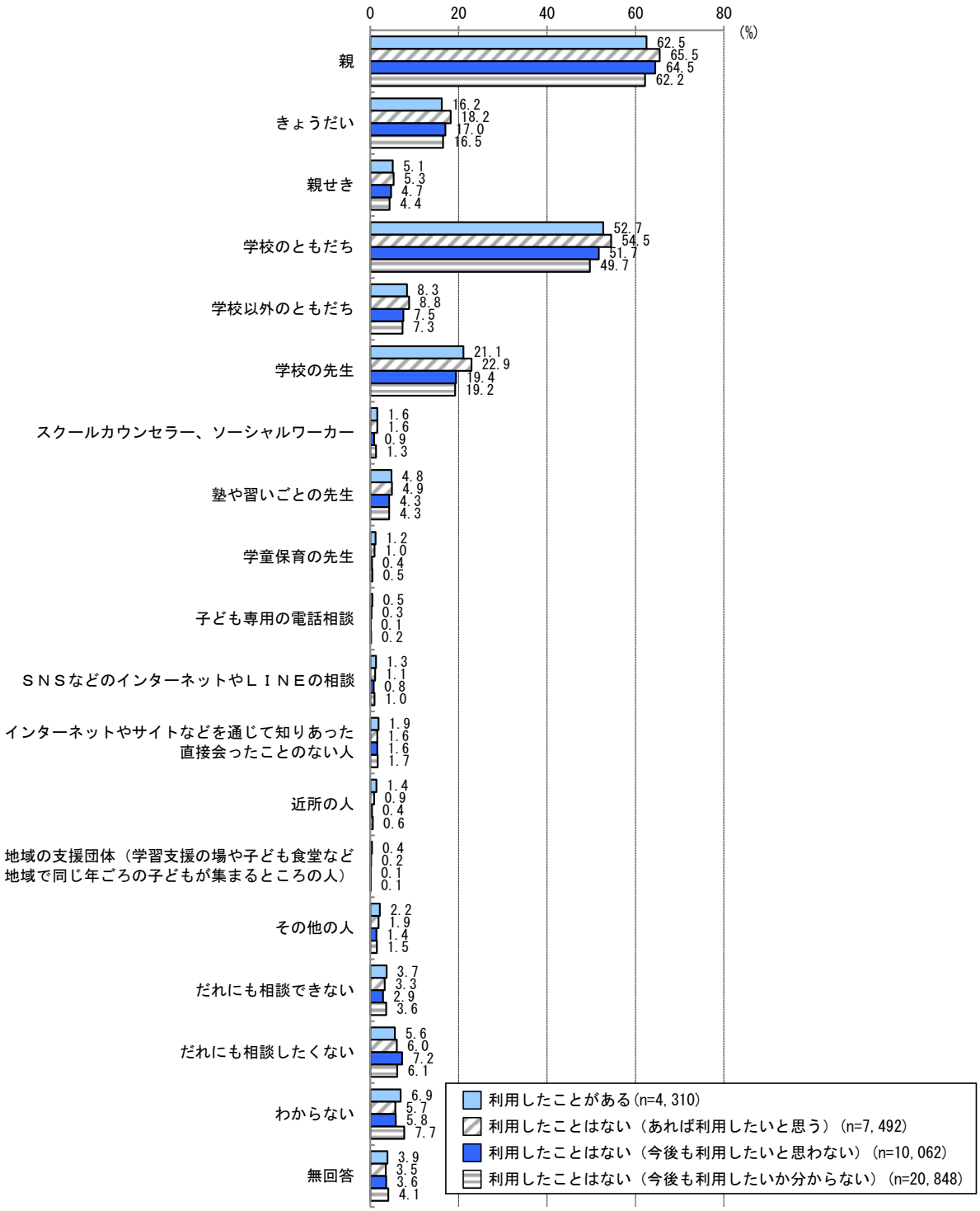


図 174. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「塾や習いごとの先生」、「学童保育の先生」、「ＳＮＳなどのインターネットやＬＩＮＥの相談」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手（子ども票問 25(1)②×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

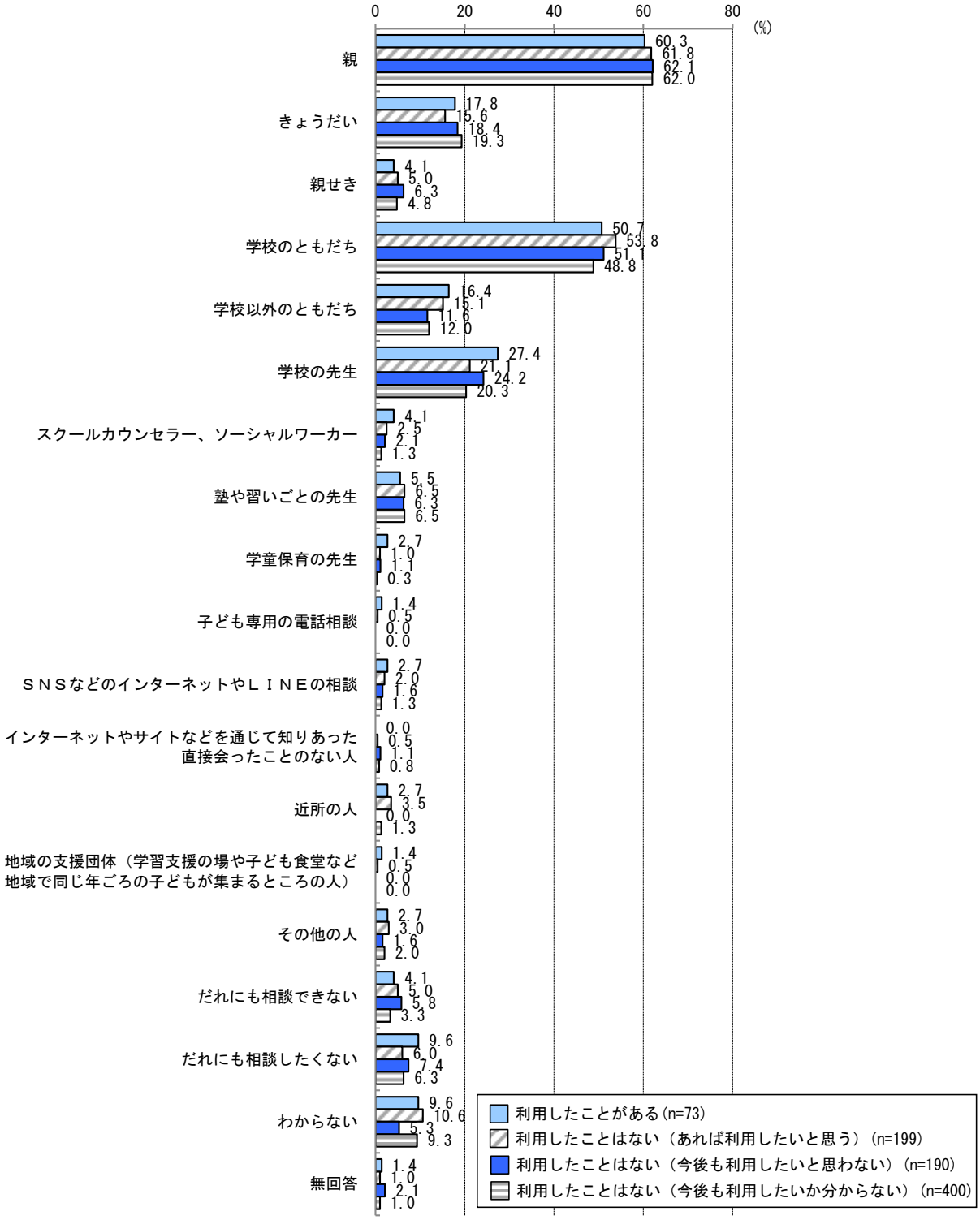
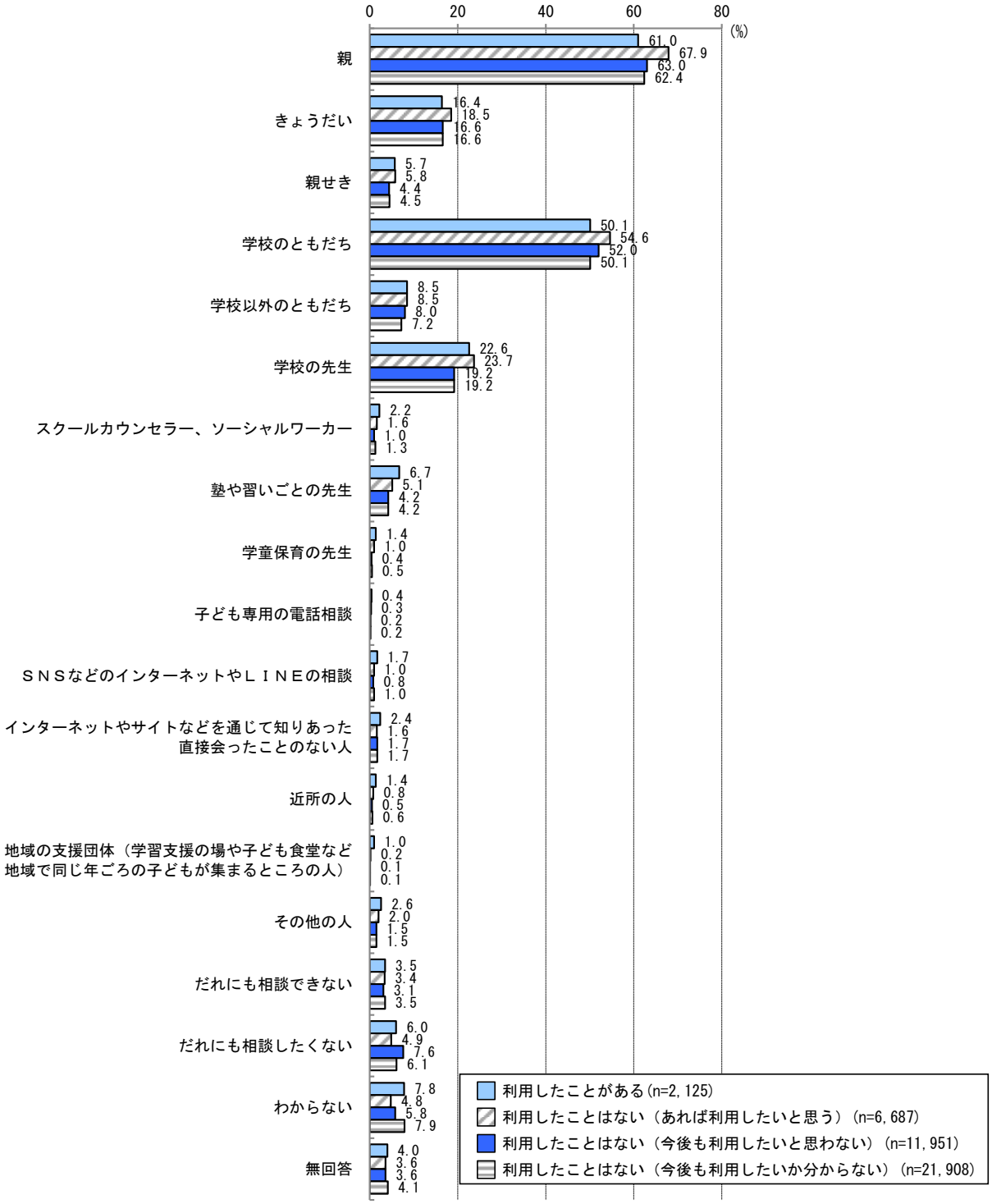


図 175. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「学校の先生」、「スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が高くなっている。

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
（子ども票問 25(1)③×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

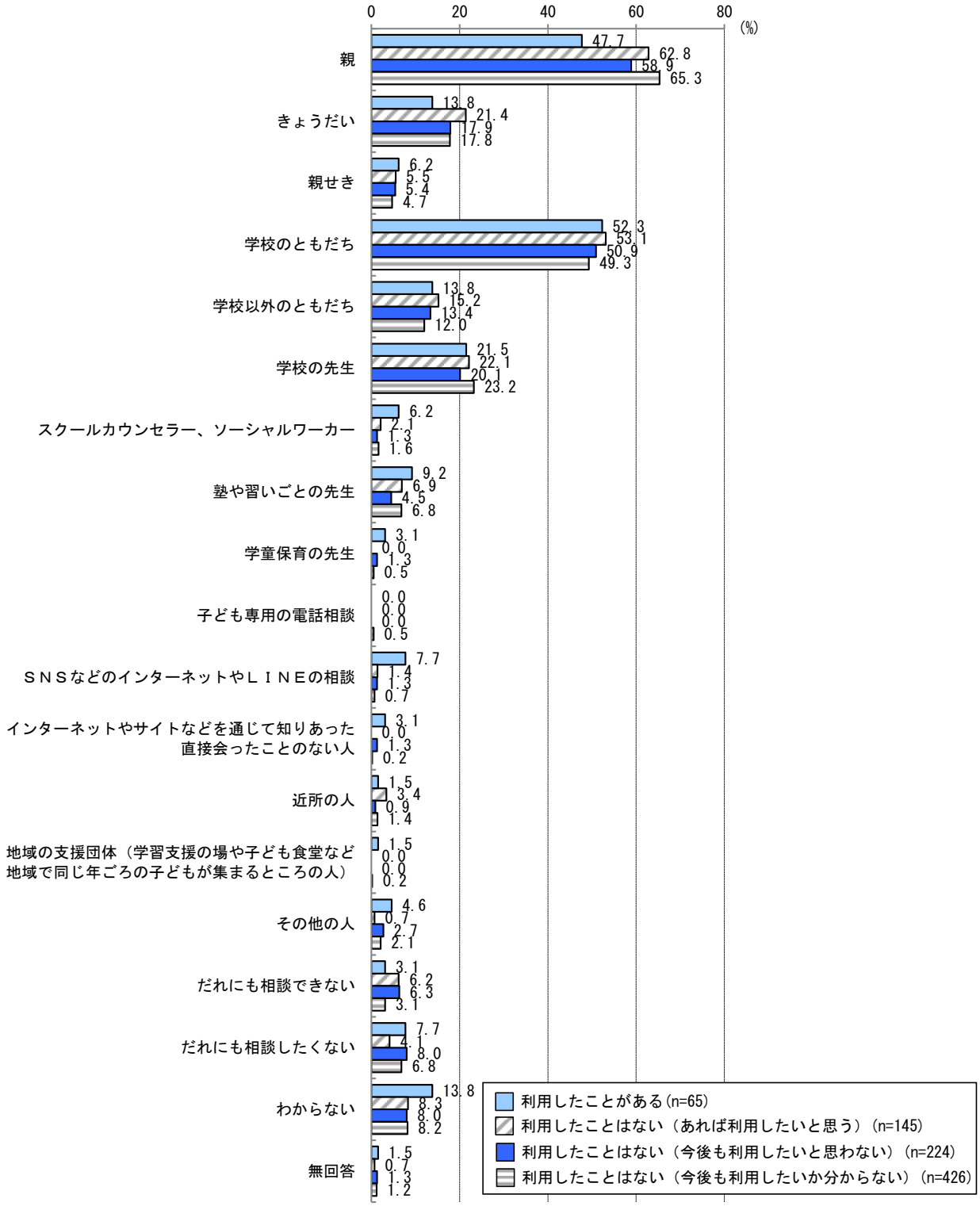
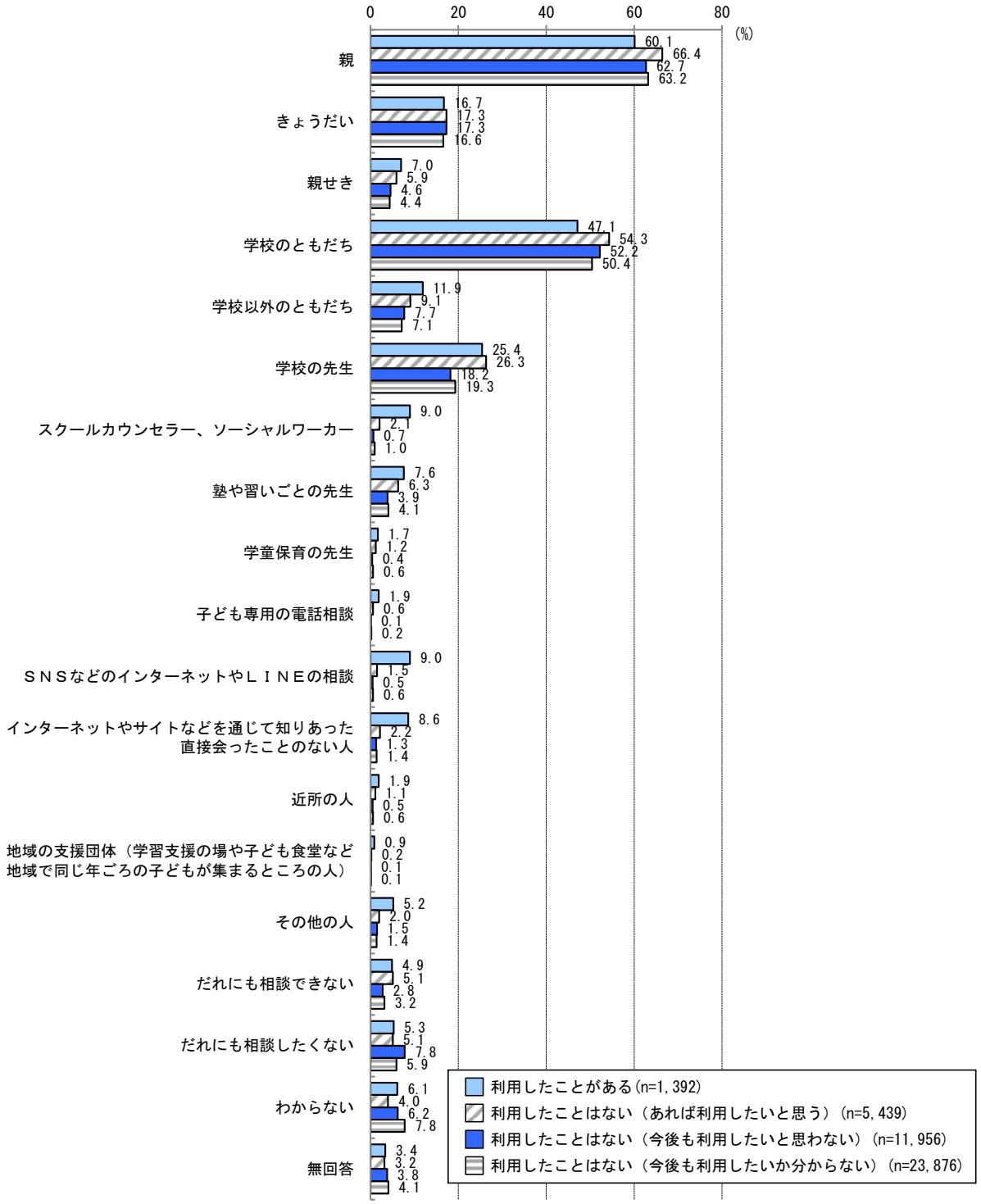


図 176. 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」や「きょうだい」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が低くなっている。

何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
（子ども票問 25(1)④×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

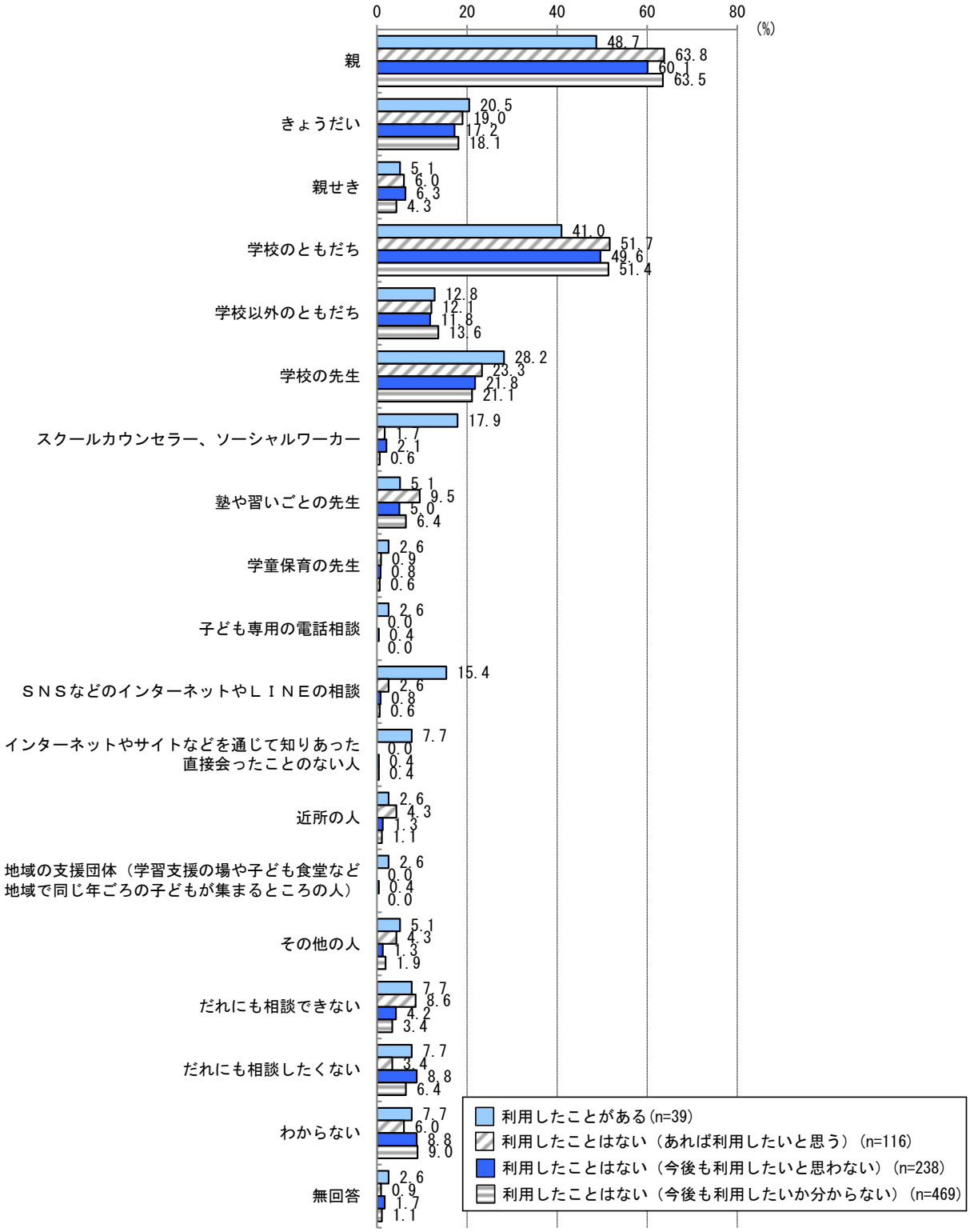
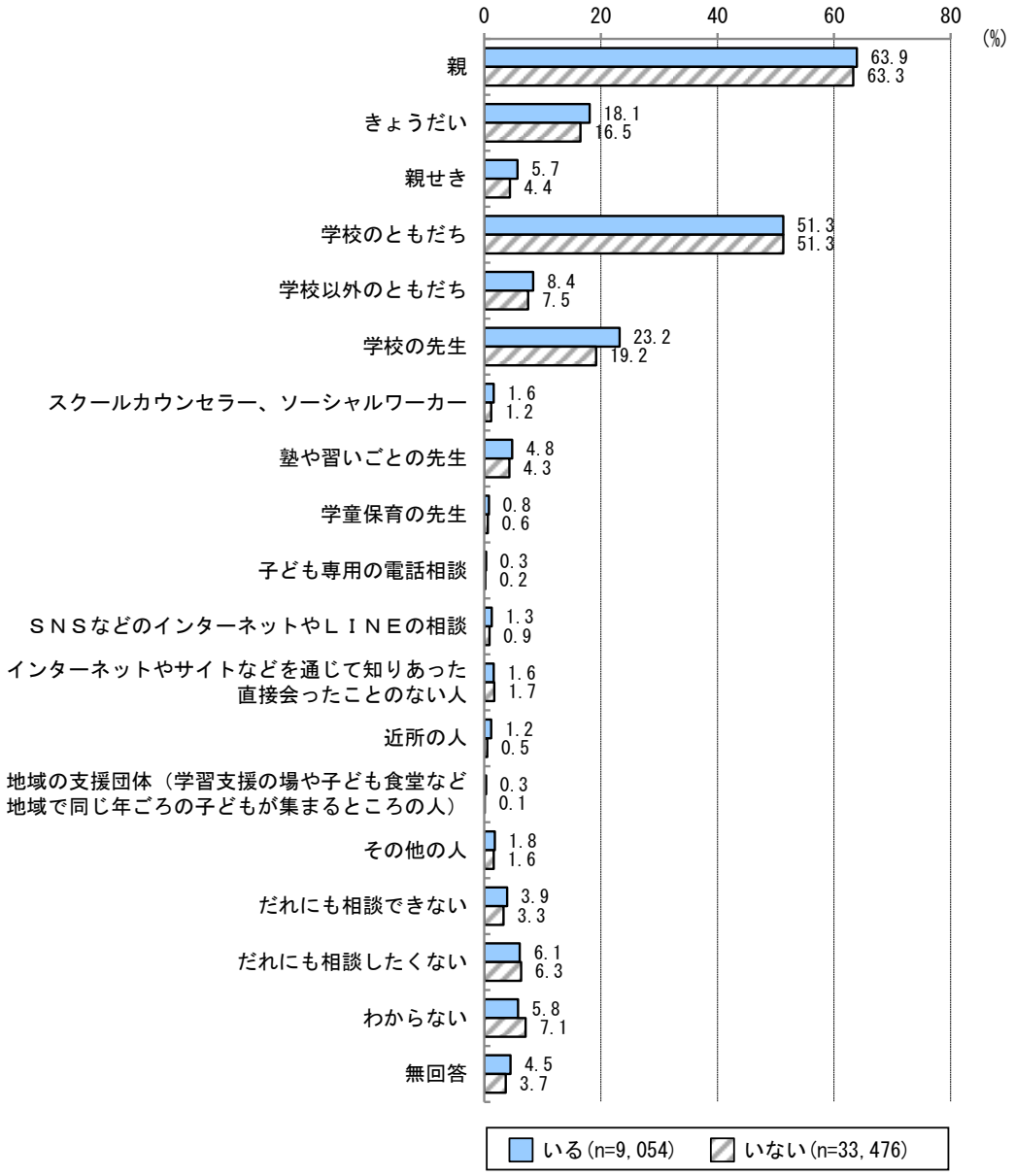


図 177. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

何でも相談できる場所別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、相談相手が「親」や「学校のともだち」と回答した割合は、「利用したことはない」と回答した人より「利用したことがある」と回答した人のほうが割合が低くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
（子ども票問 26(1)×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

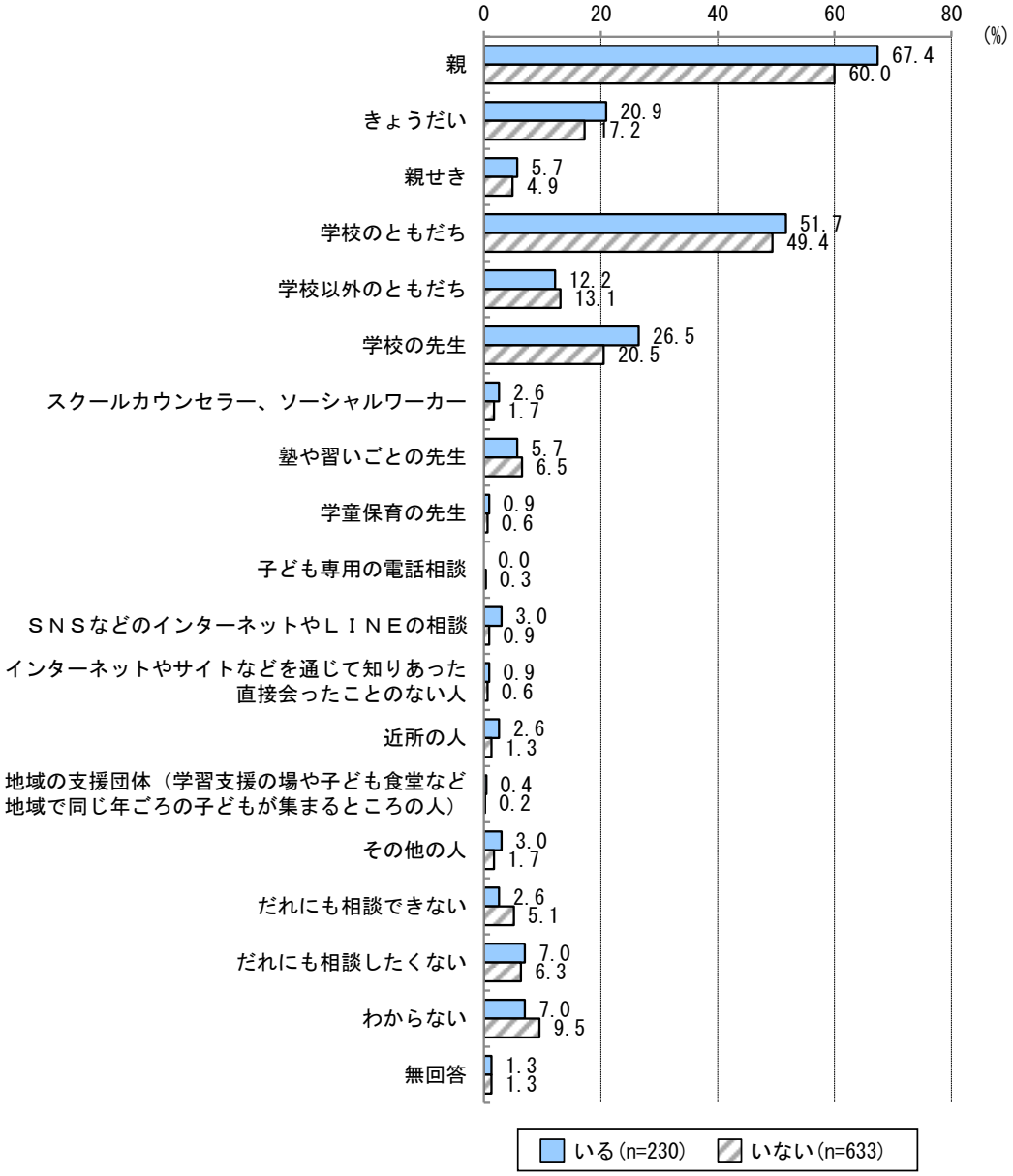
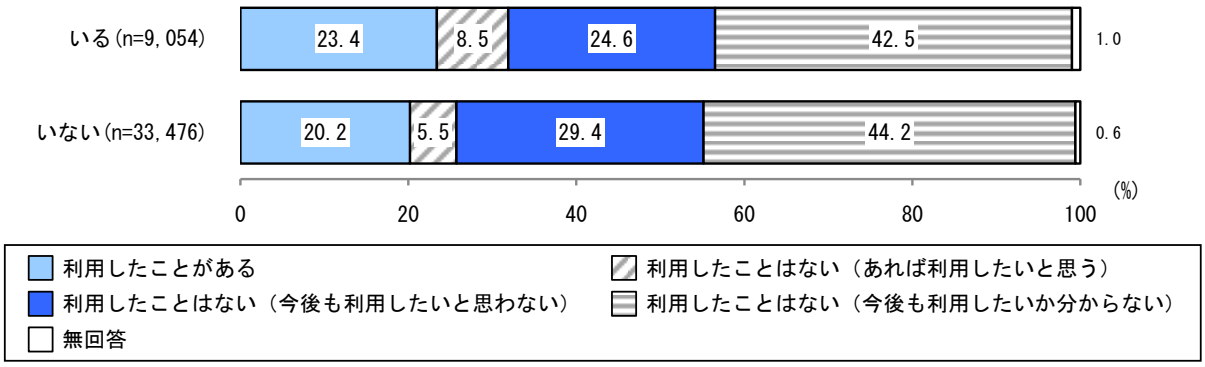


図 178. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

自分が世話をしている人の有無別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手をみると、相談相手が「親」や「きょうだい」、「学校のともだち」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
（子ども票問 26(1)×子ども票問 25(1)①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

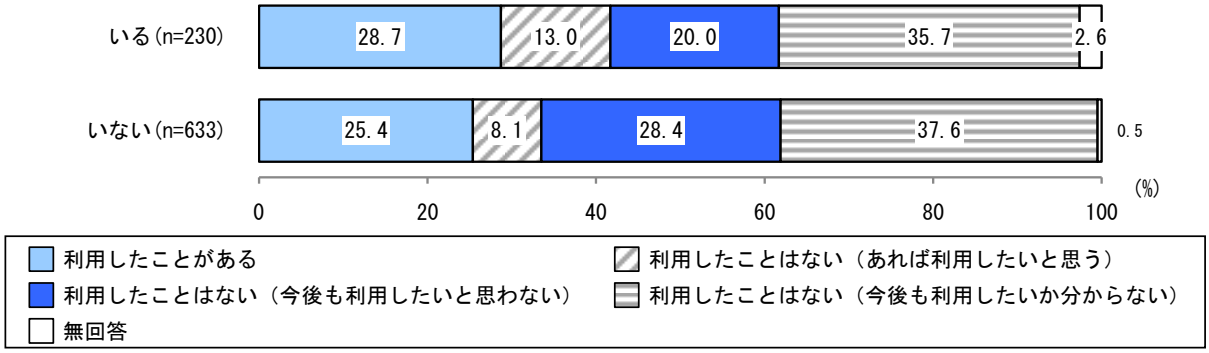
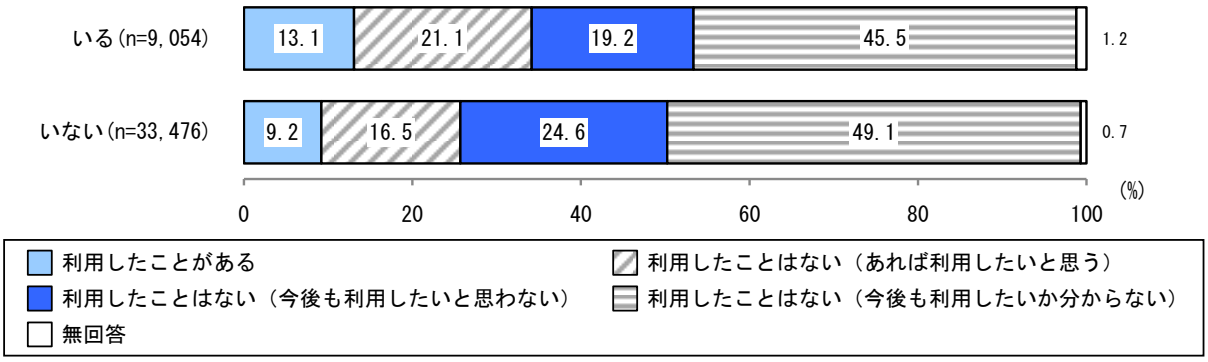


図 179. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

自分が世話をしている人の有無別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、平日の夜や休日を過ごすことができる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 26(1)×子ども票問 25(1)②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

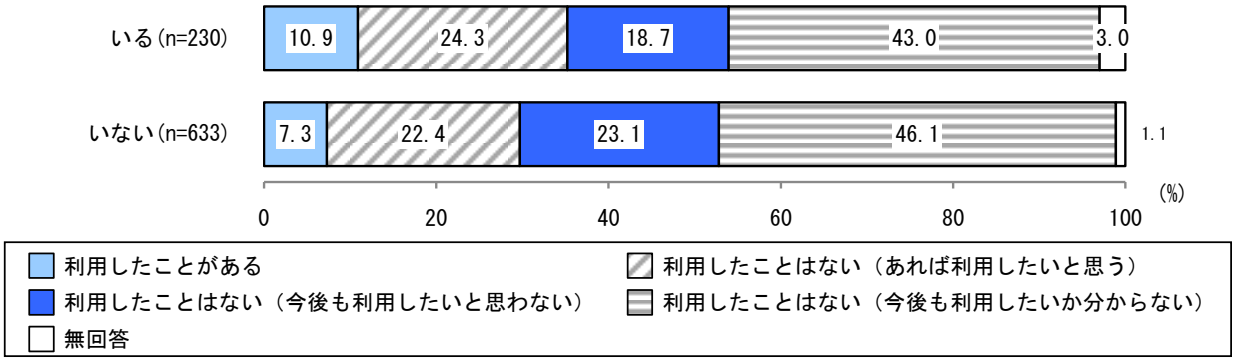
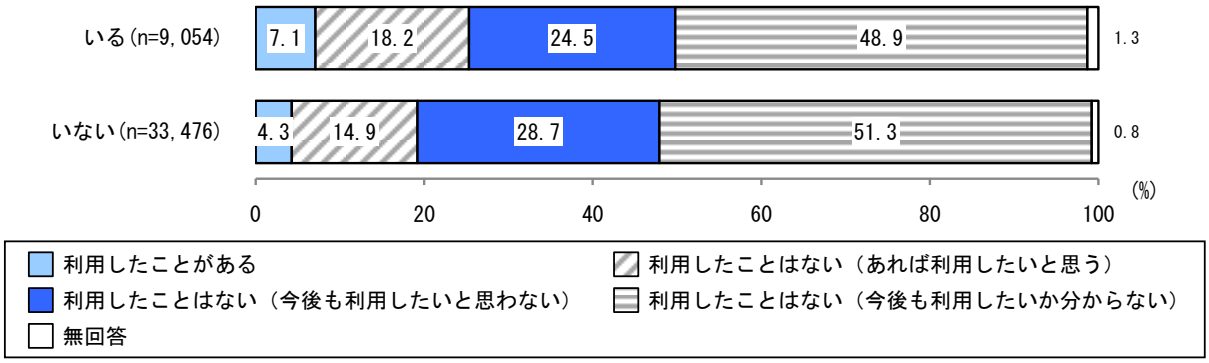


図 180. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

自分が世話をしている人の有無別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
（子ども票問 26(1)×子ども票問 25(1)③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

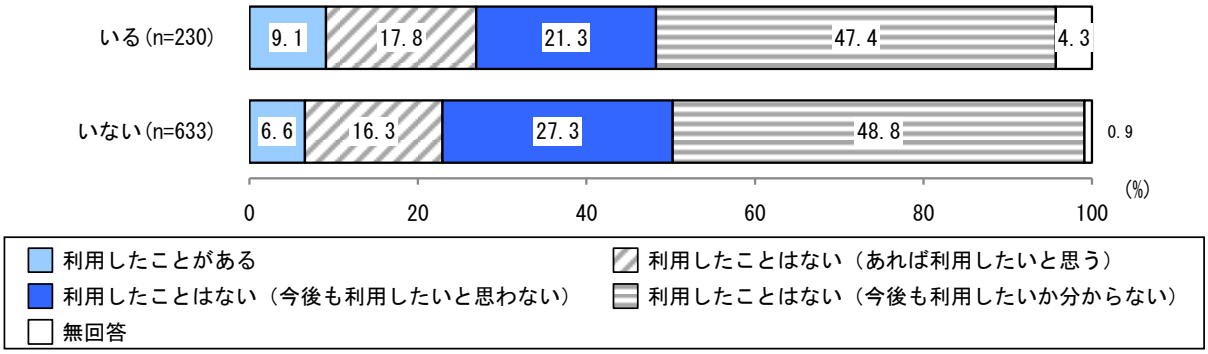
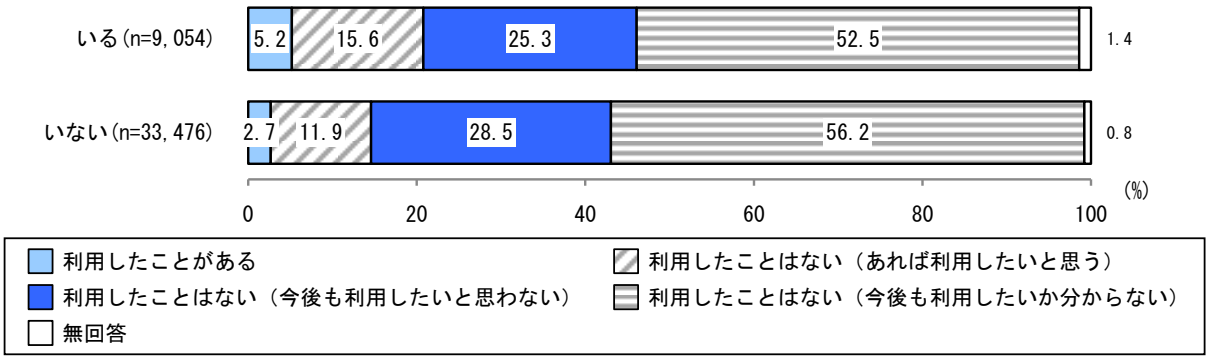


図 181. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

自分が世話をしている人の有無別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所
（子ども票問 26(1)×子ども票問 25(1)④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

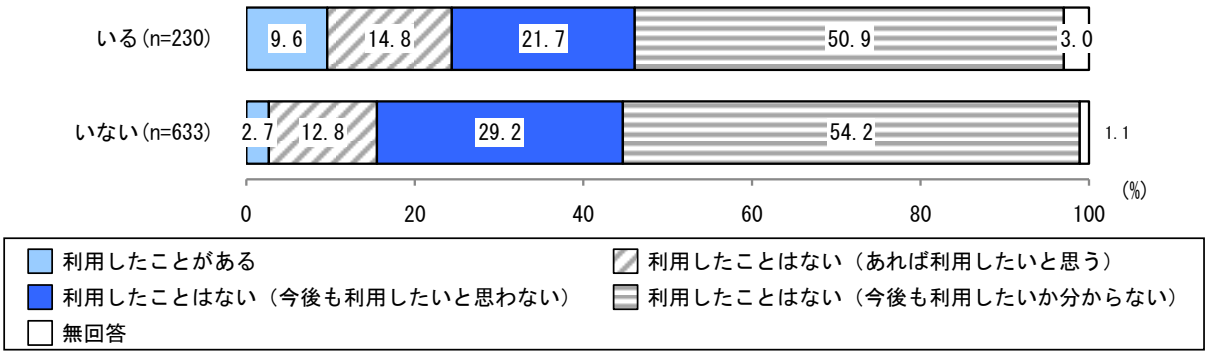
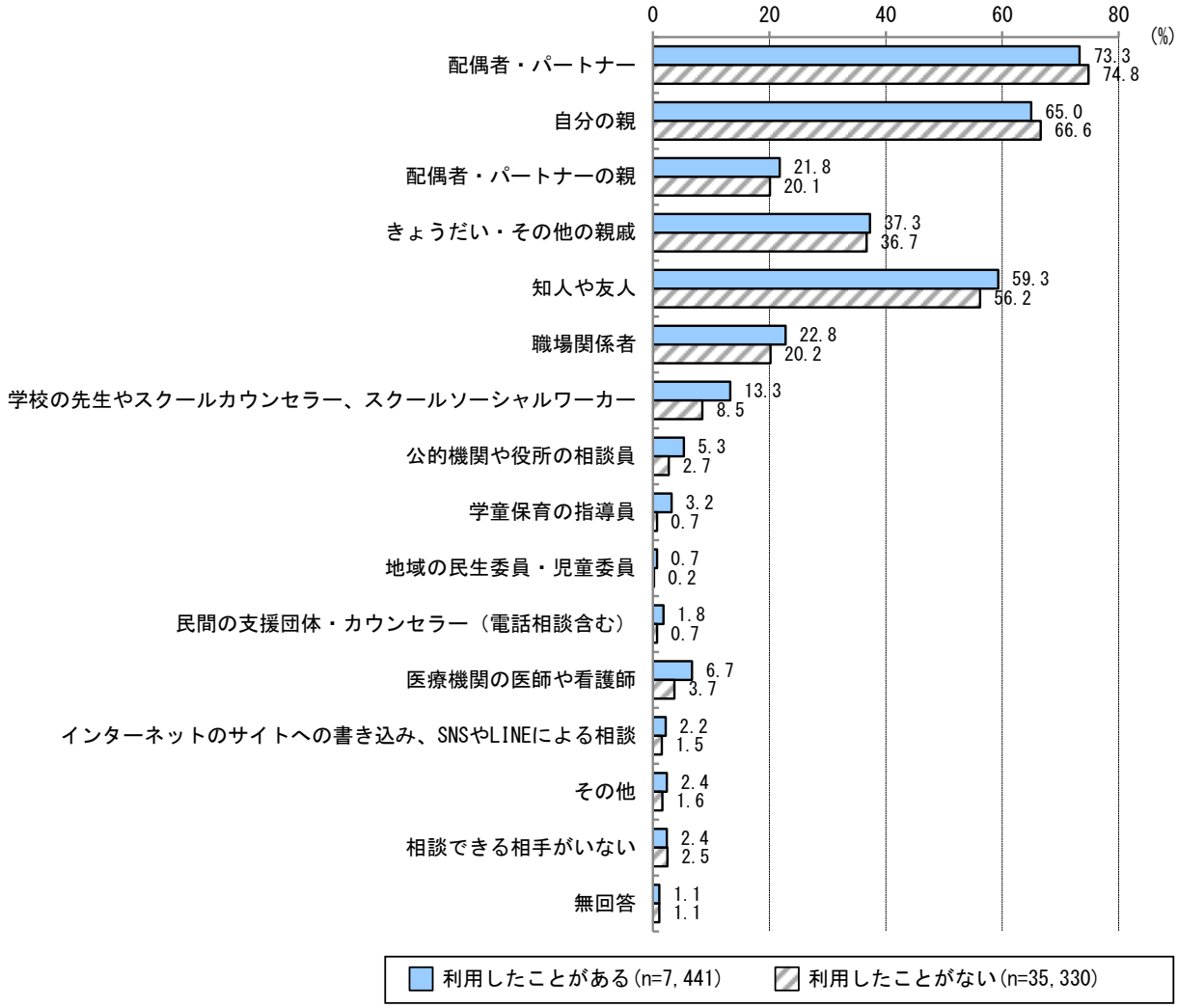


図 182. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所

自分が世話をしている人の有無別に何でも相談できる場所を見ると、何でも相談できる場所を「利用したことがある」、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、世話をしている人がいない人よりいる人のほうが割合が高くなっている。

子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先
（保護者票問 16(1)×保護者票問 19）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

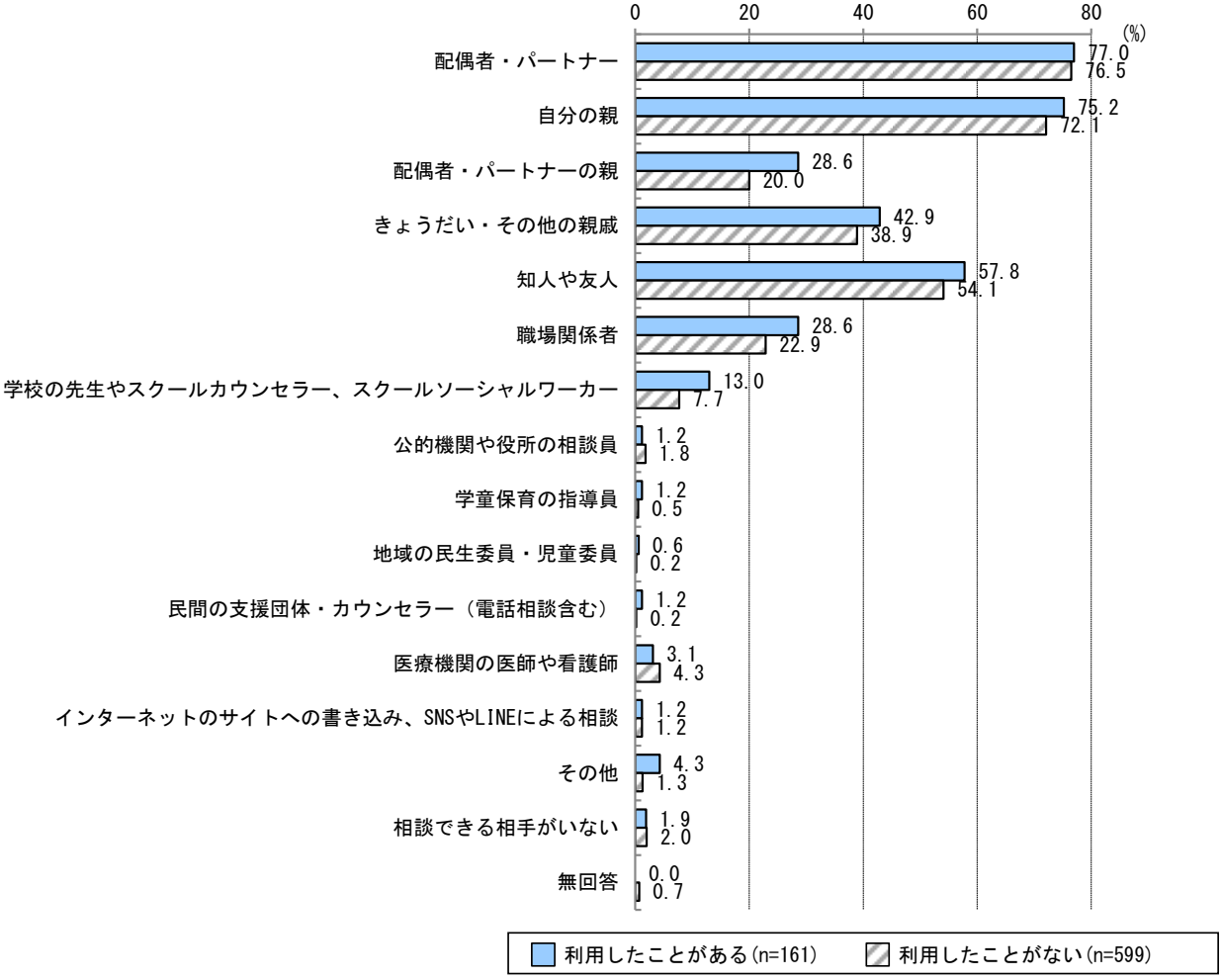
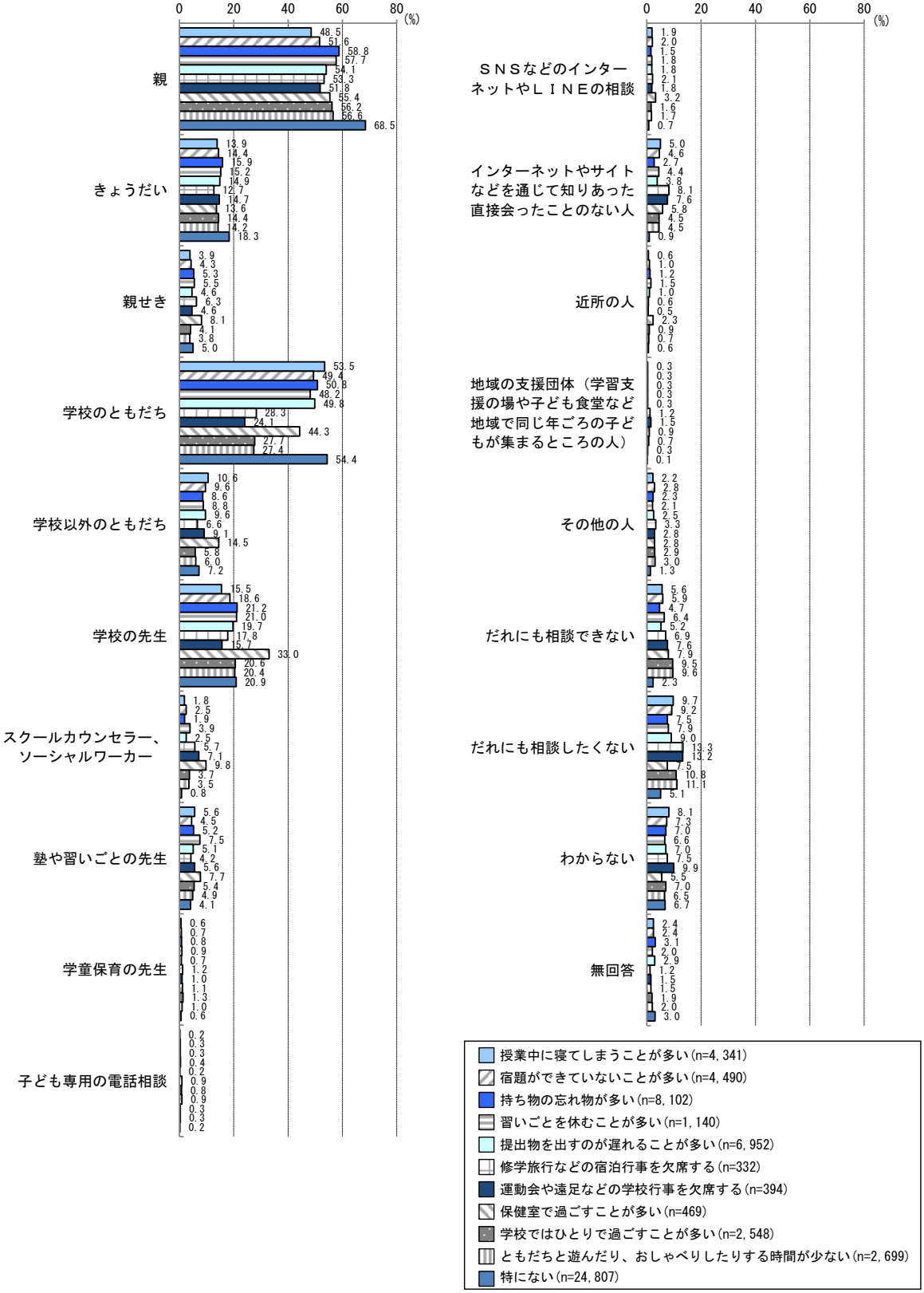


図 183. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

子どもの居場所の利用経験別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「自分の親」や「学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」、「職場関係者」、「配偶者・パートナーの親」と回答した人の割合は子どもの居場所を利用したことがない人より利用したことがある人のほうが割合が高くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手
（子ども票問 16×子ども票問 18）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

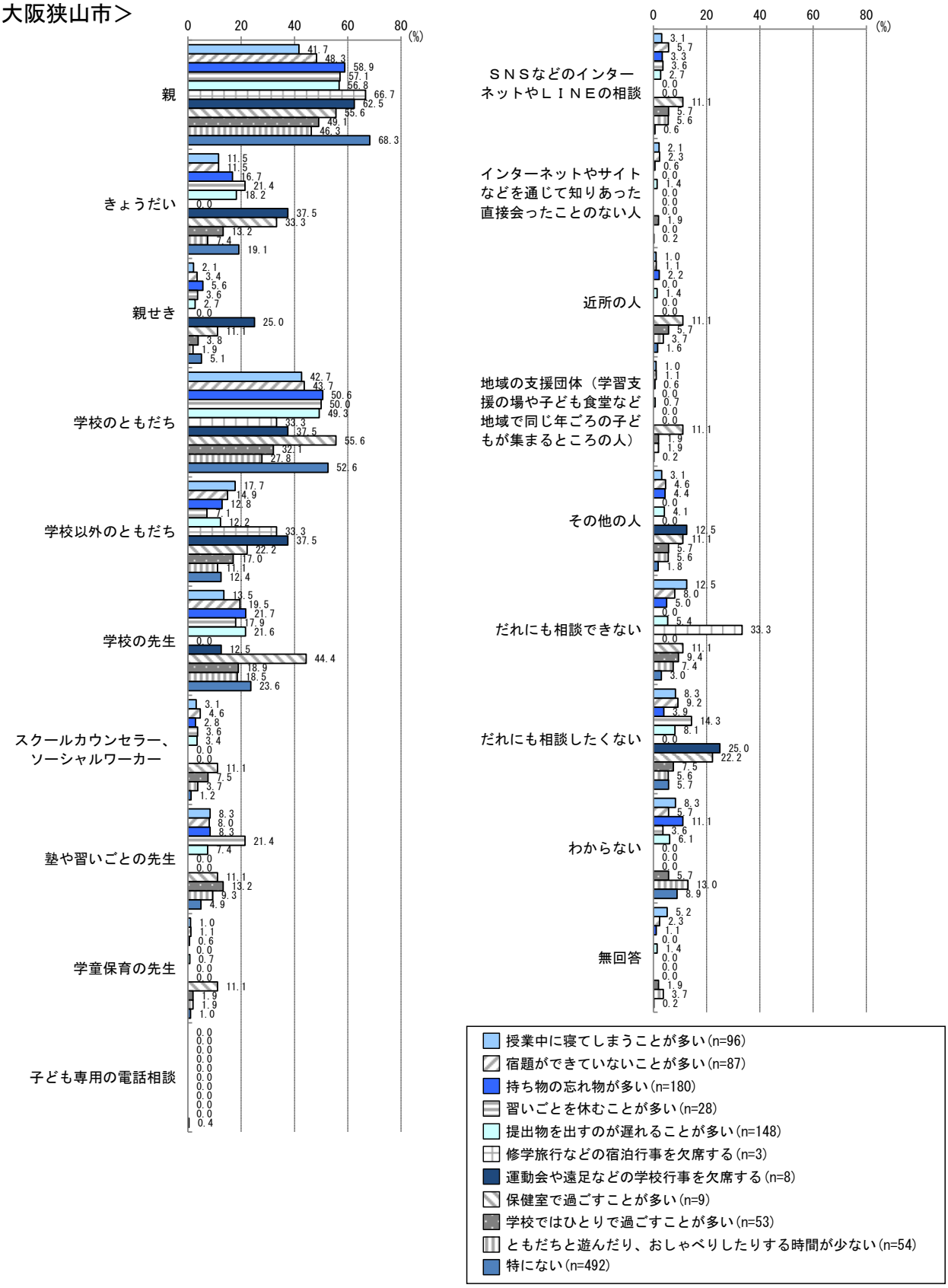
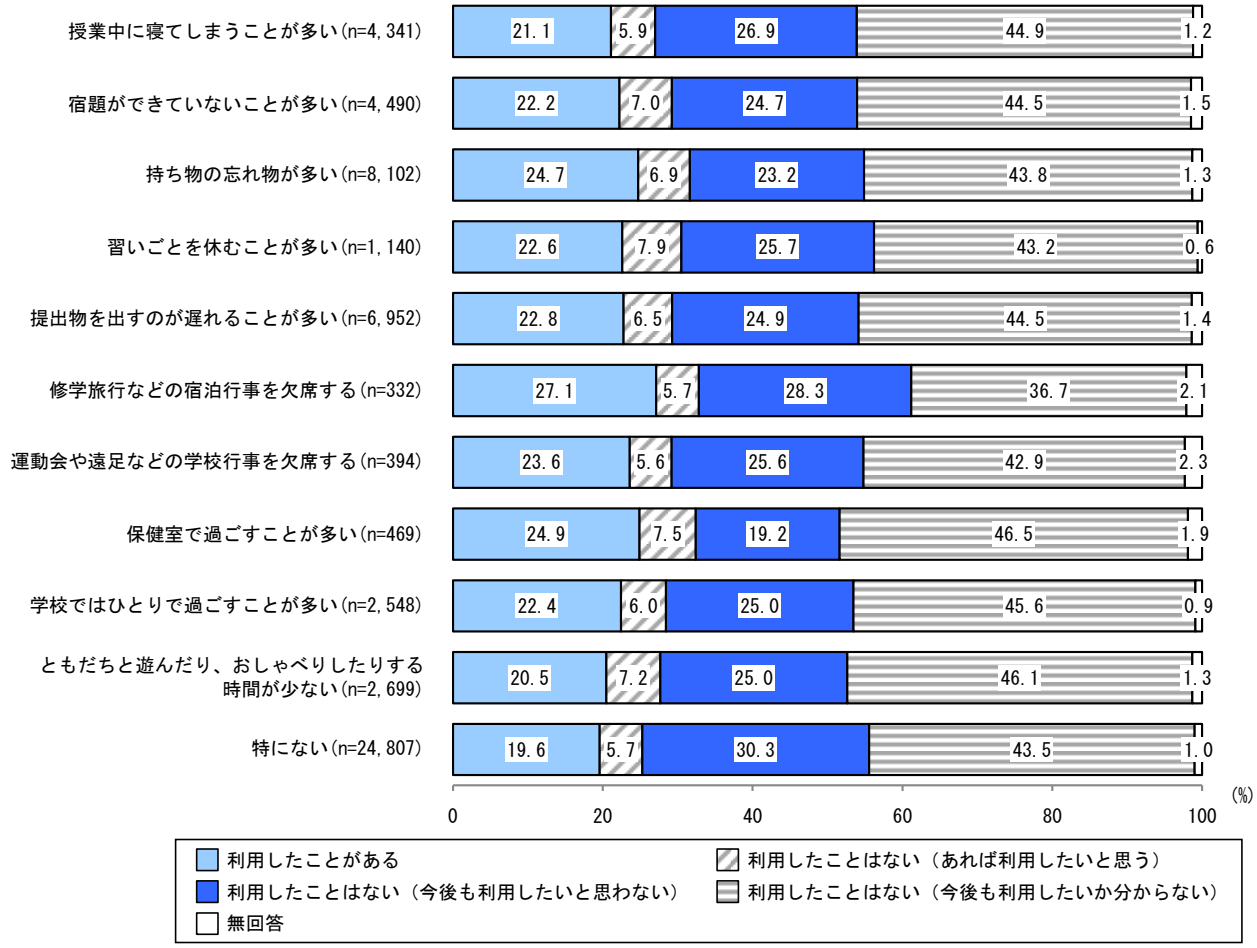


図 184. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手

学校や学校の行事等の状況別に嫌なことや悩んでいるときの相談相手を見ると、「親」と回答した人の割合は「修学旅行などの宿泊行事を欠席する」と回答した人の割合が66.7%で最も高く、「授業中に寝てしまうことが多い」と回答した人の割合が41.7%で最も低くなっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
（子ども票問 16×子ども票問 25(1)①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

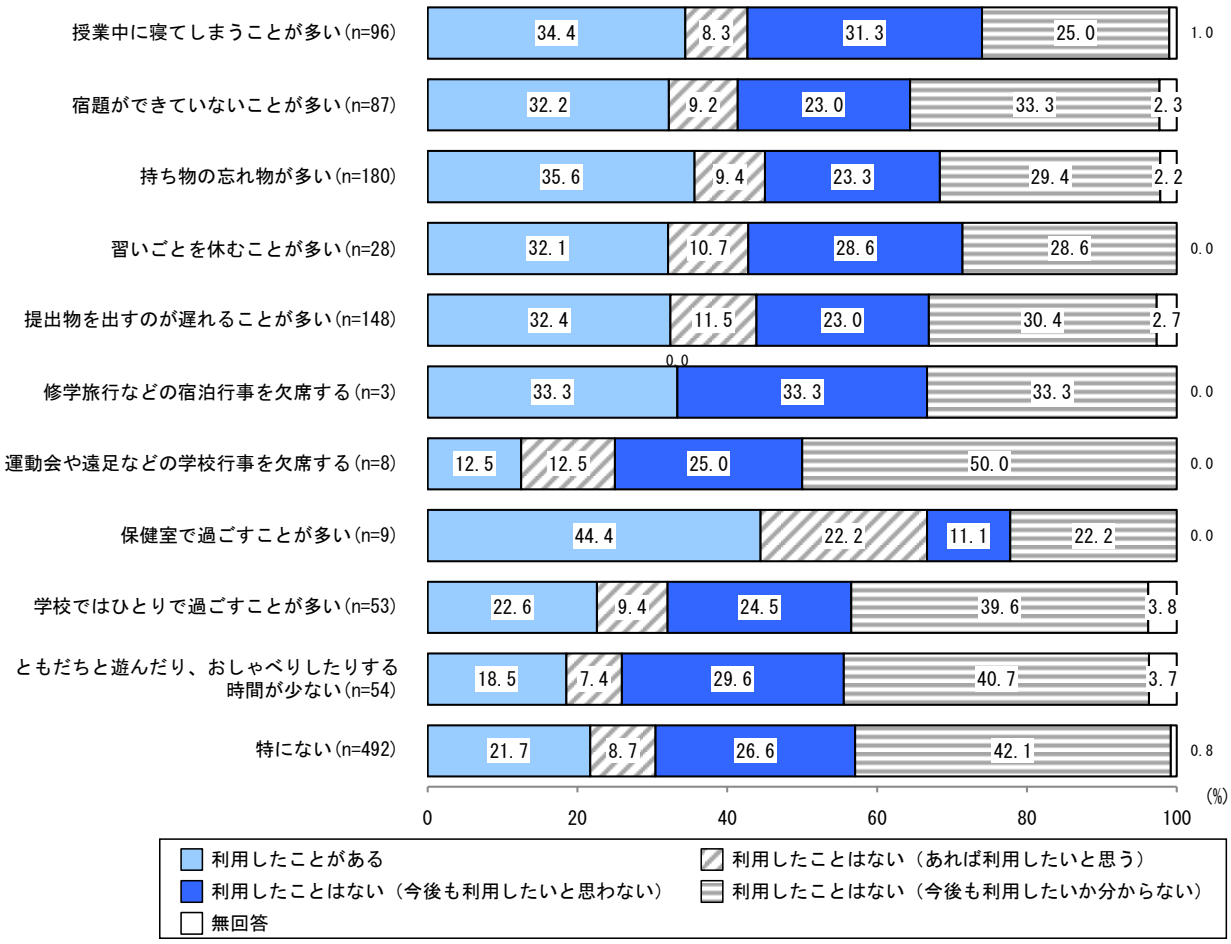
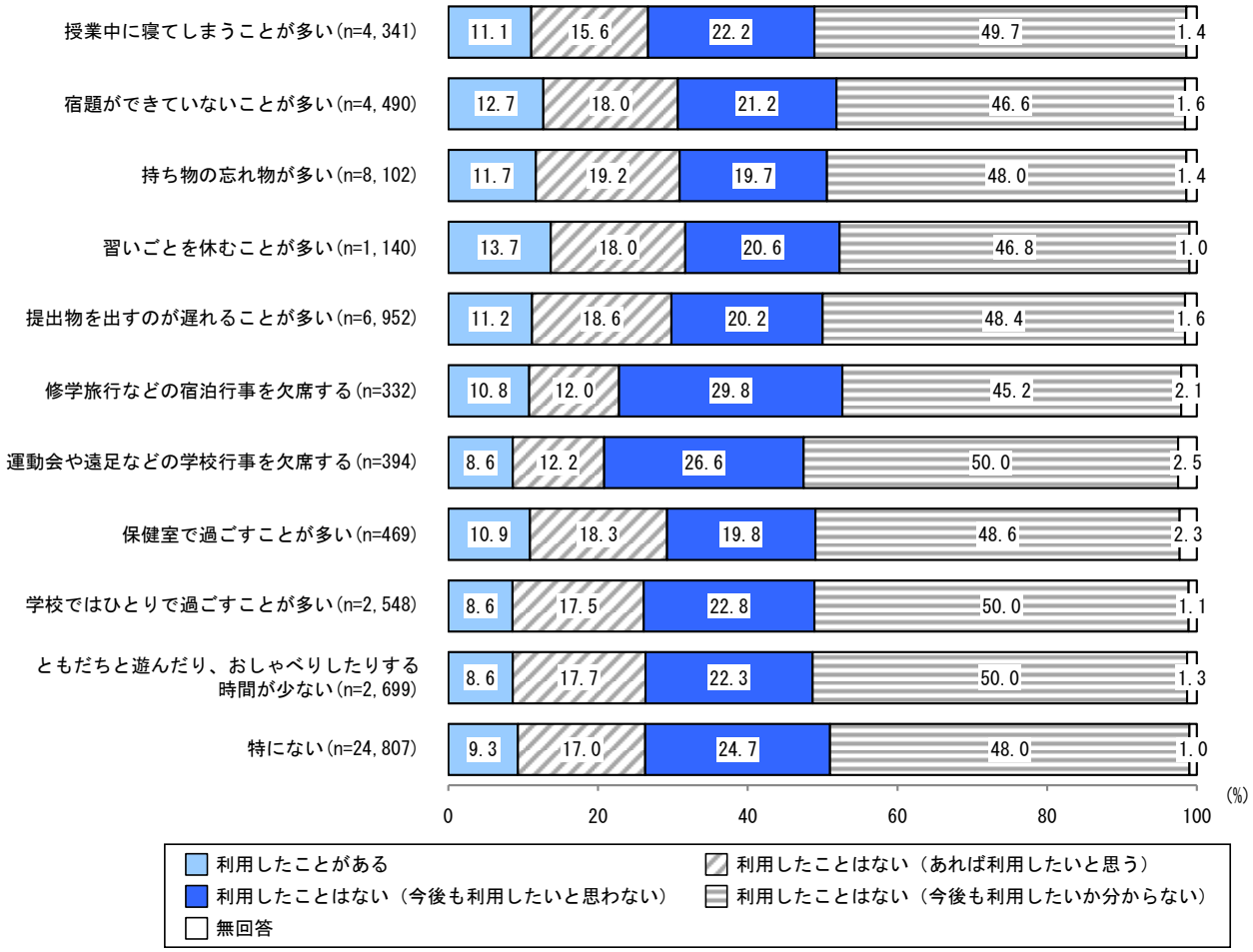


図 185. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

学校や学校の行事等の状況別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「運動会や遠足などの学校行事を欠席する」が12.5%で最も低く、次いで「ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない」が18.5%となっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども票問 16×子ども票問 25(1)②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

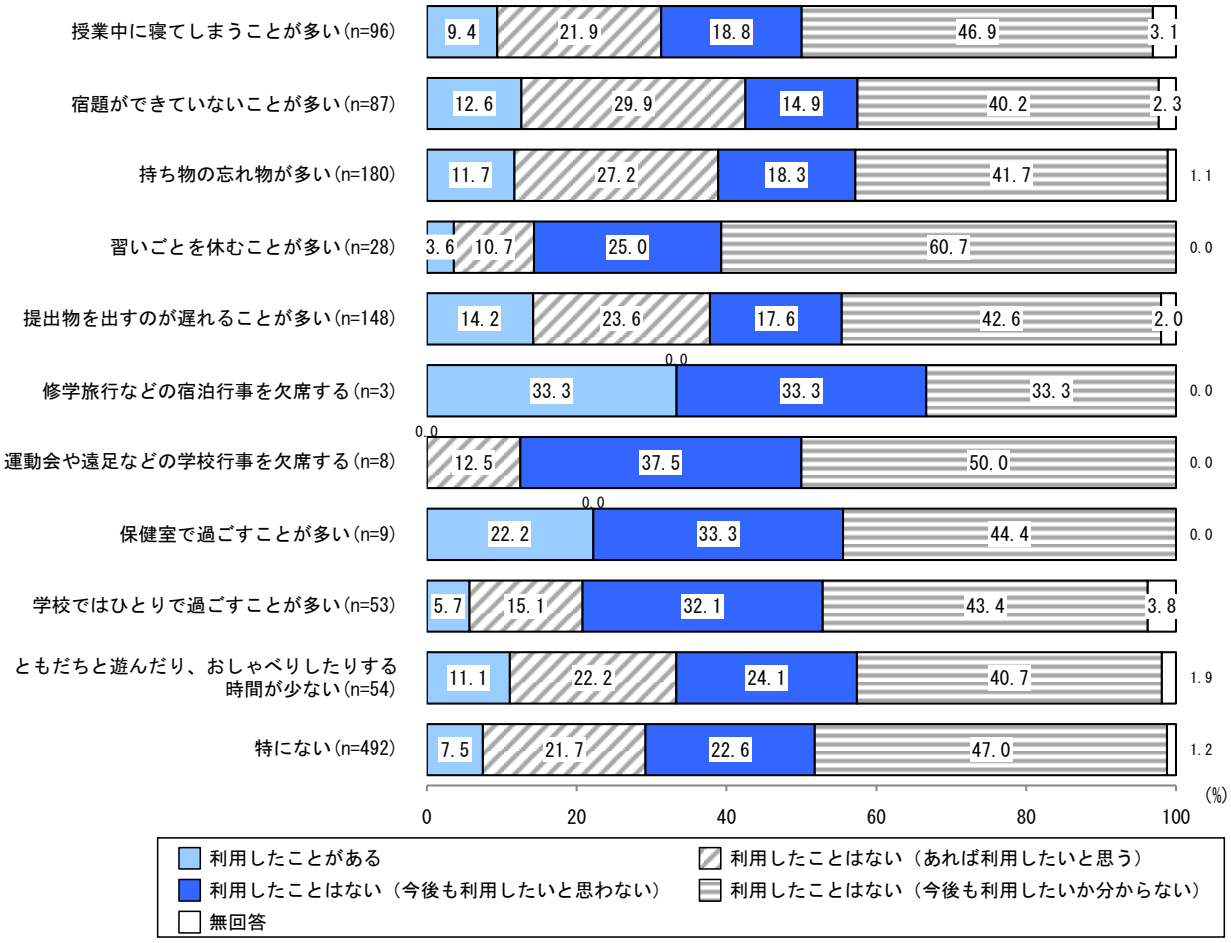
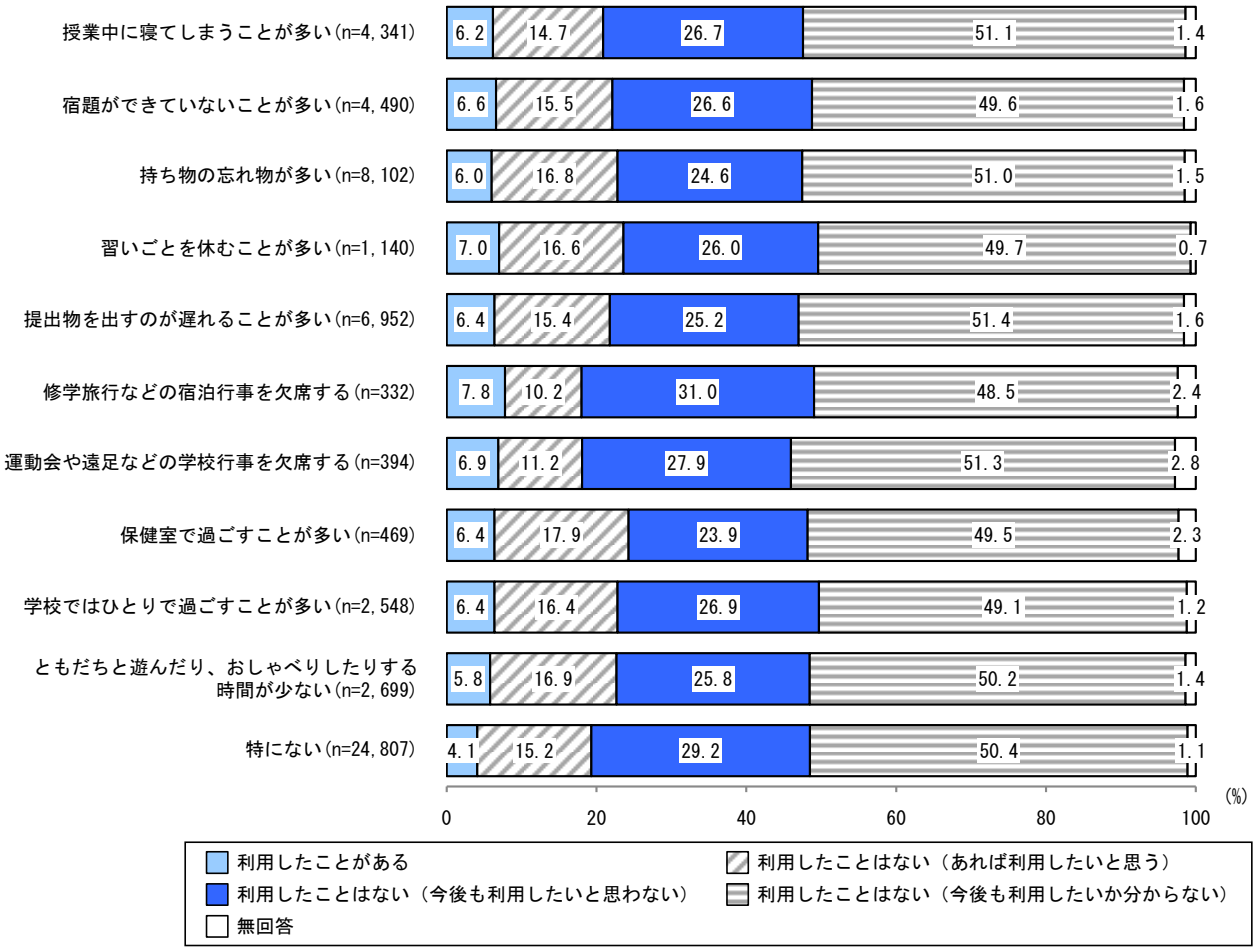


図 186. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

学校や学校の行事等の状況別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、「宿題ができていないことが多い」が29.9％で最も高く、次いで「持ち物の忘れ物が多い」が27.2％となっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
（子ども票問 16×子ども票問 25(1)③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

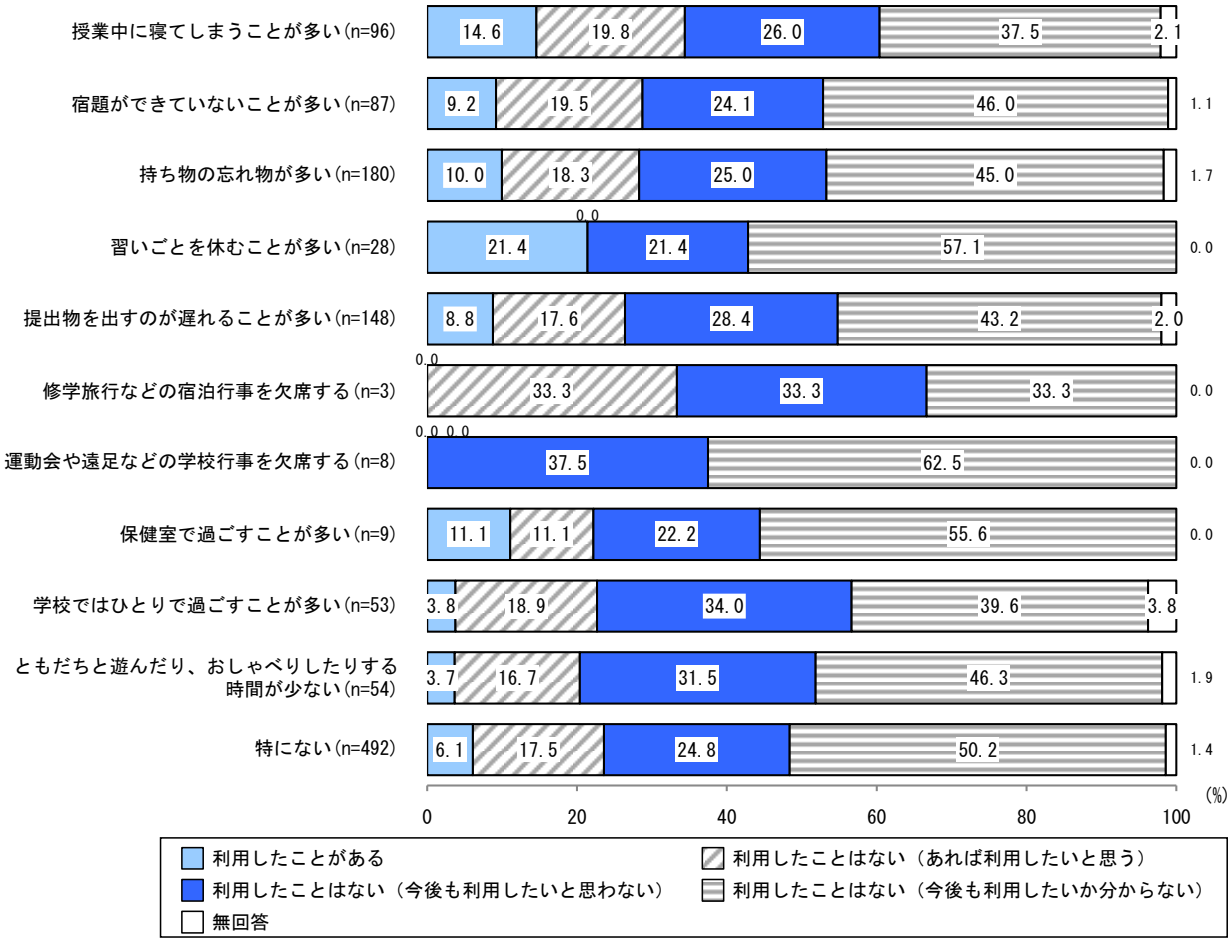
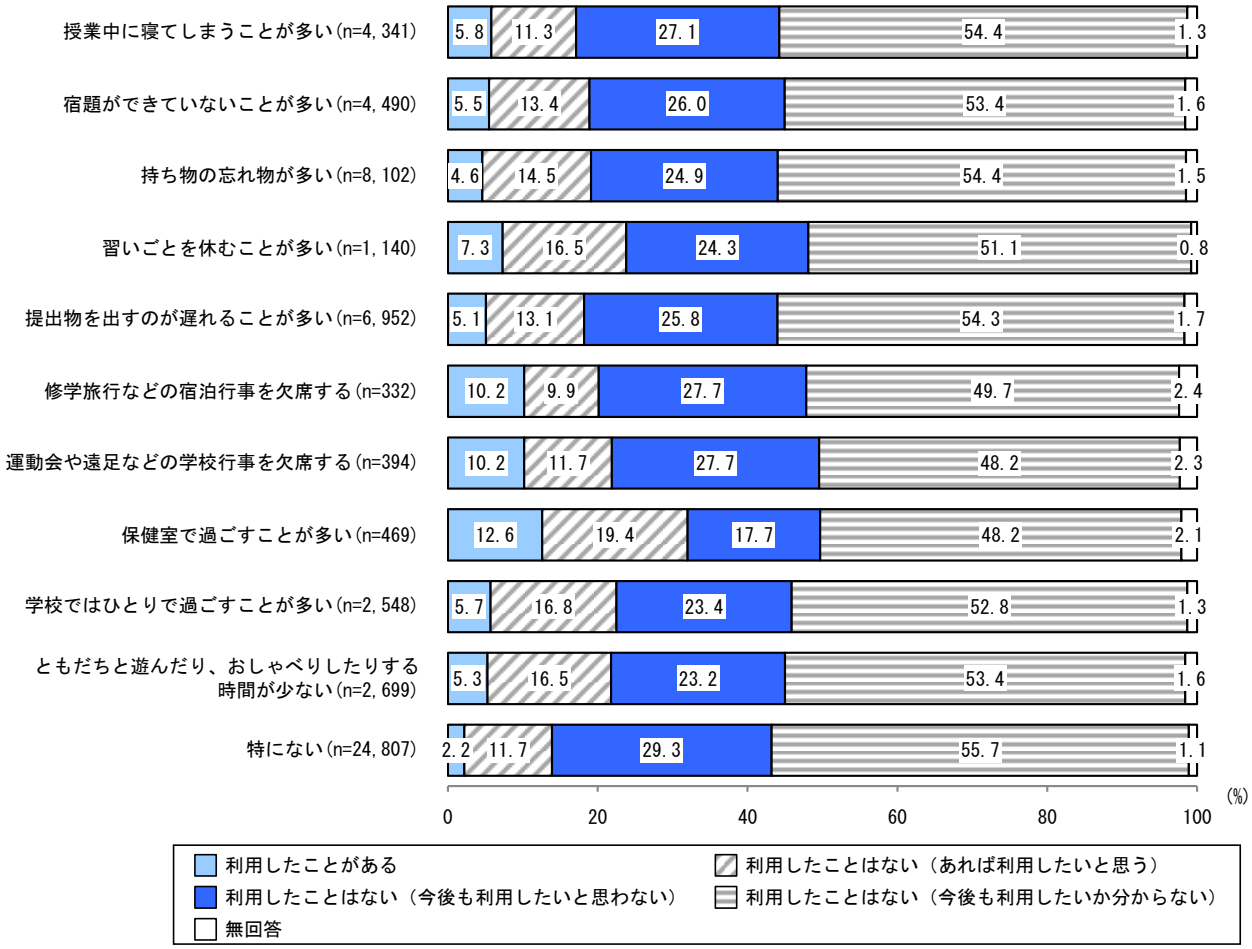


図 187. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

学校や学校の行事等の状況別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「習いごとを休むことが多い」が21.4%で最も高く、次いで「授業中に寝てしまうことが多い」が14.6%となっている。

学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所
（子ども票問 16×子ども票問 25(1)④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

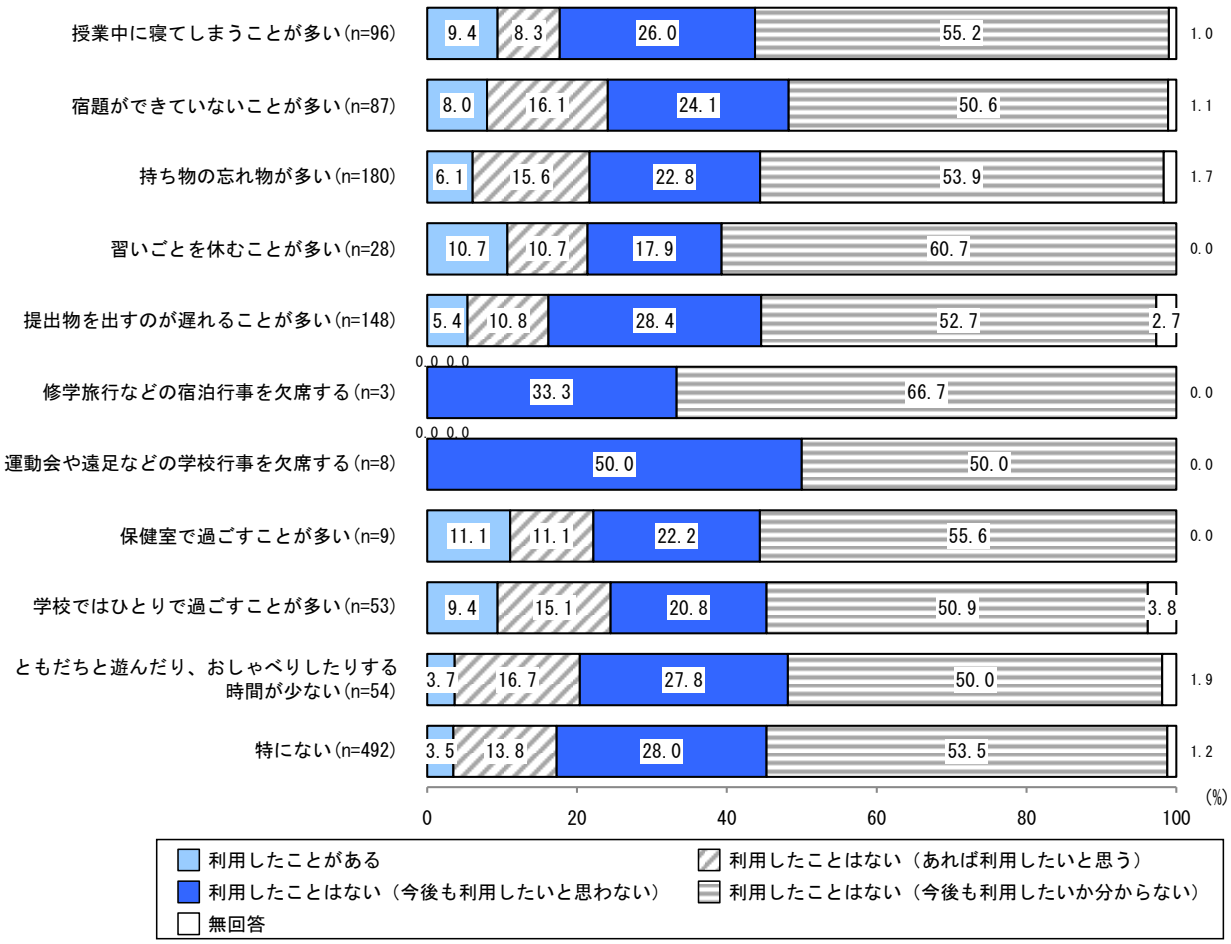
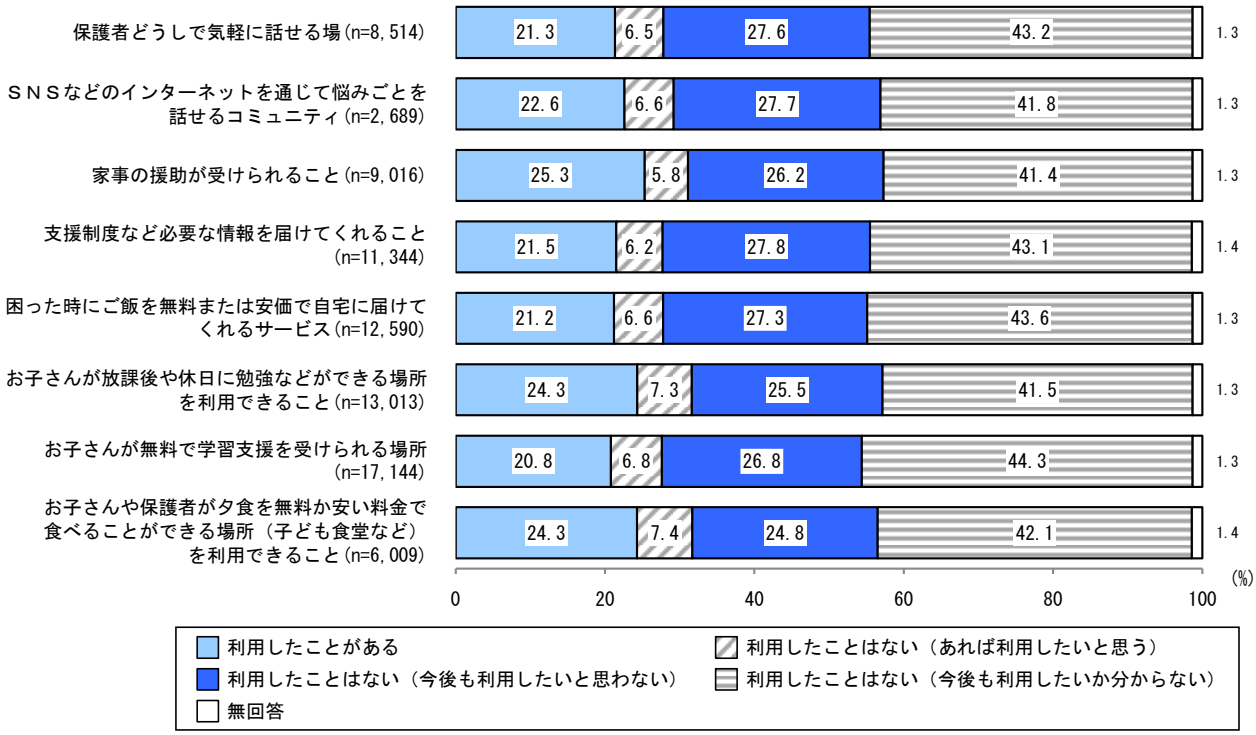


図 188. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所

学校や学校の行事等の状況別に何でも相談できる場所を見ると、項目によっては母数が少ないため、一概には言えないが、「利用したことがある」と回答した人の割合は「保健室で過ごすことが多い」が11.1%で最も高く、次いで「習いごとを休むことが多い」が10.7%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所
（保護者票問 20×子ども票問 25(1)①）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

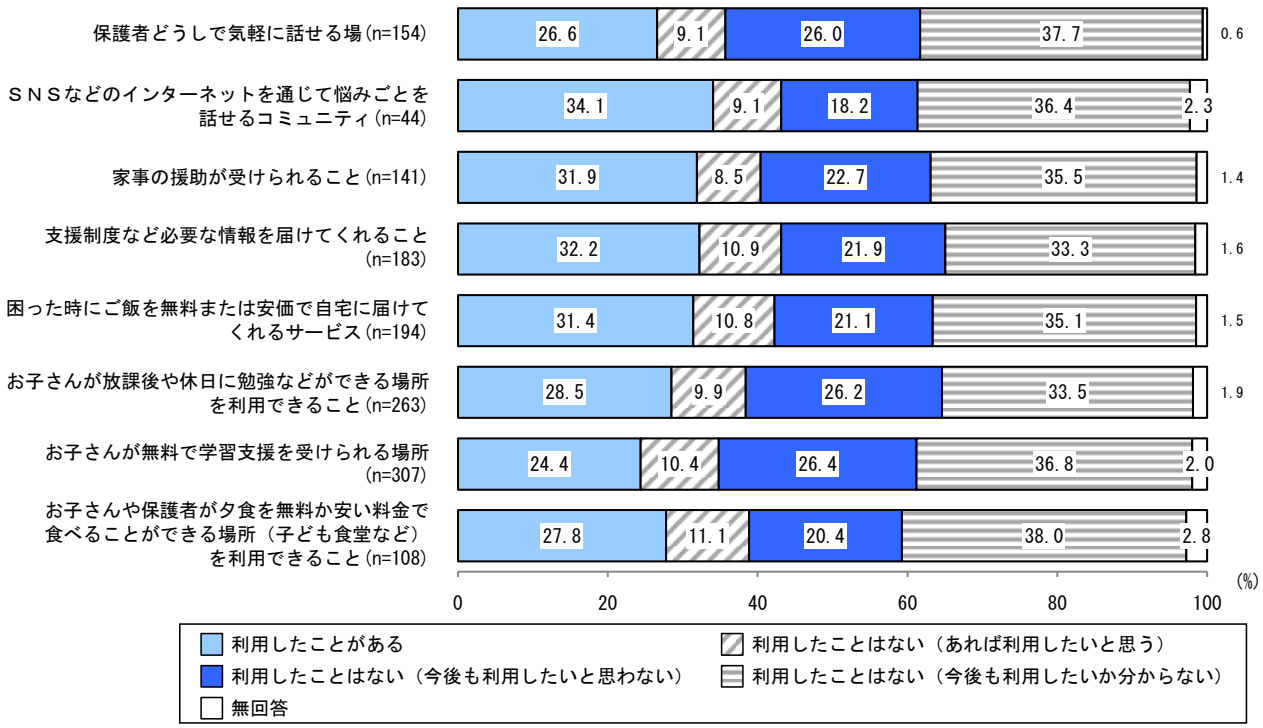
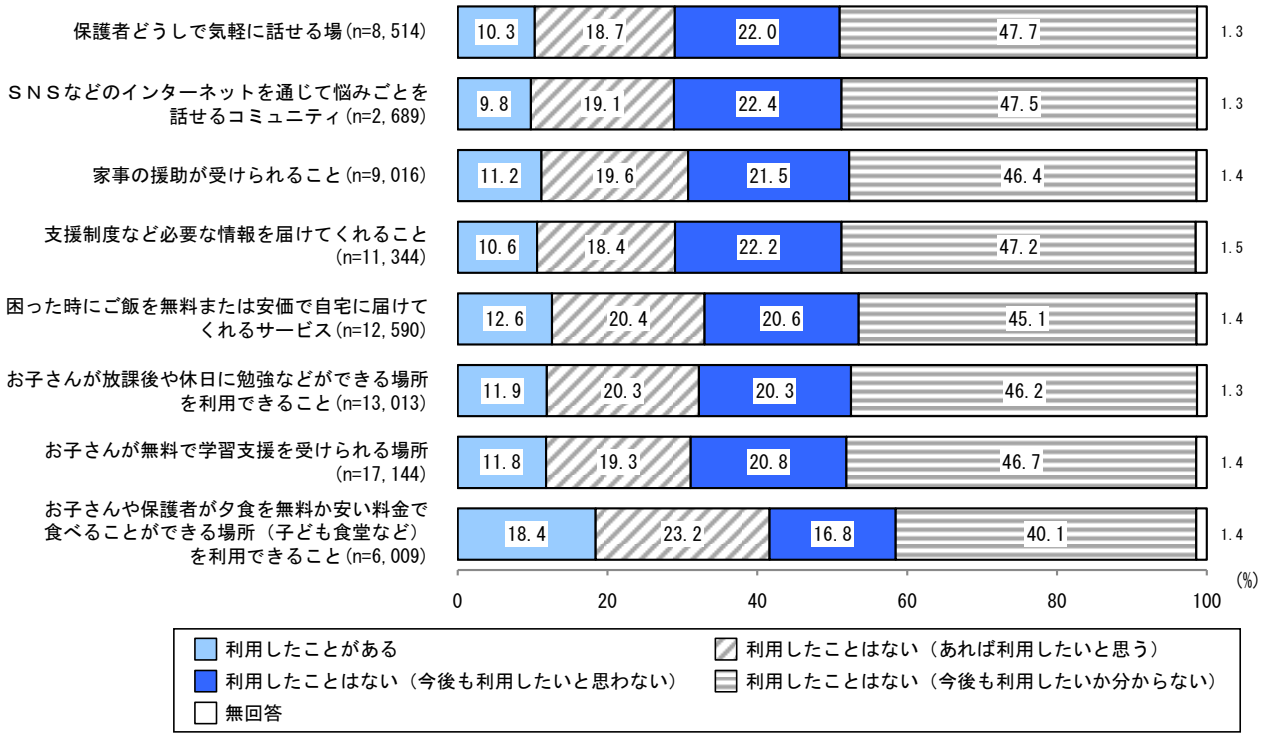


図 189. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所

身近にあるといいと思うこと別に平日の夜や休日を過ごすことができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「ＳＮＳなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ」が34.1%で最も高く、次いで「支援制度など必要な情報を届けてくれること」が32.2%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（保護者票問 20×子ども票問 25(1)②）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

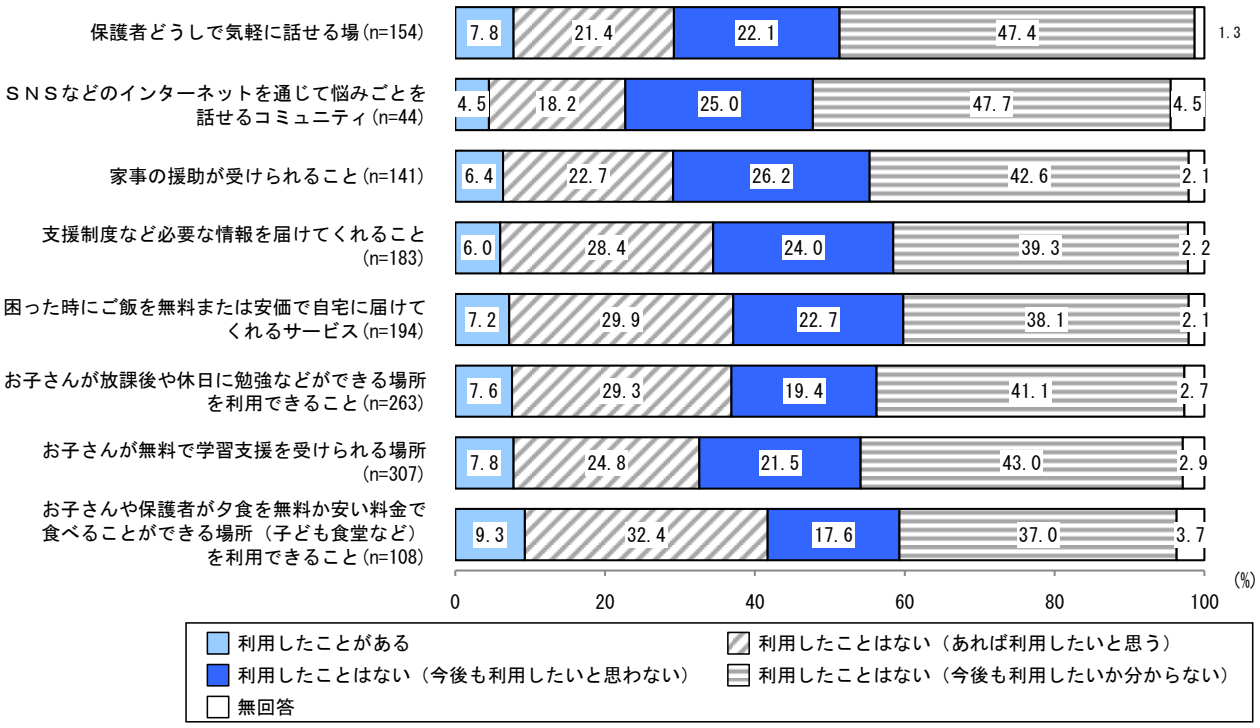
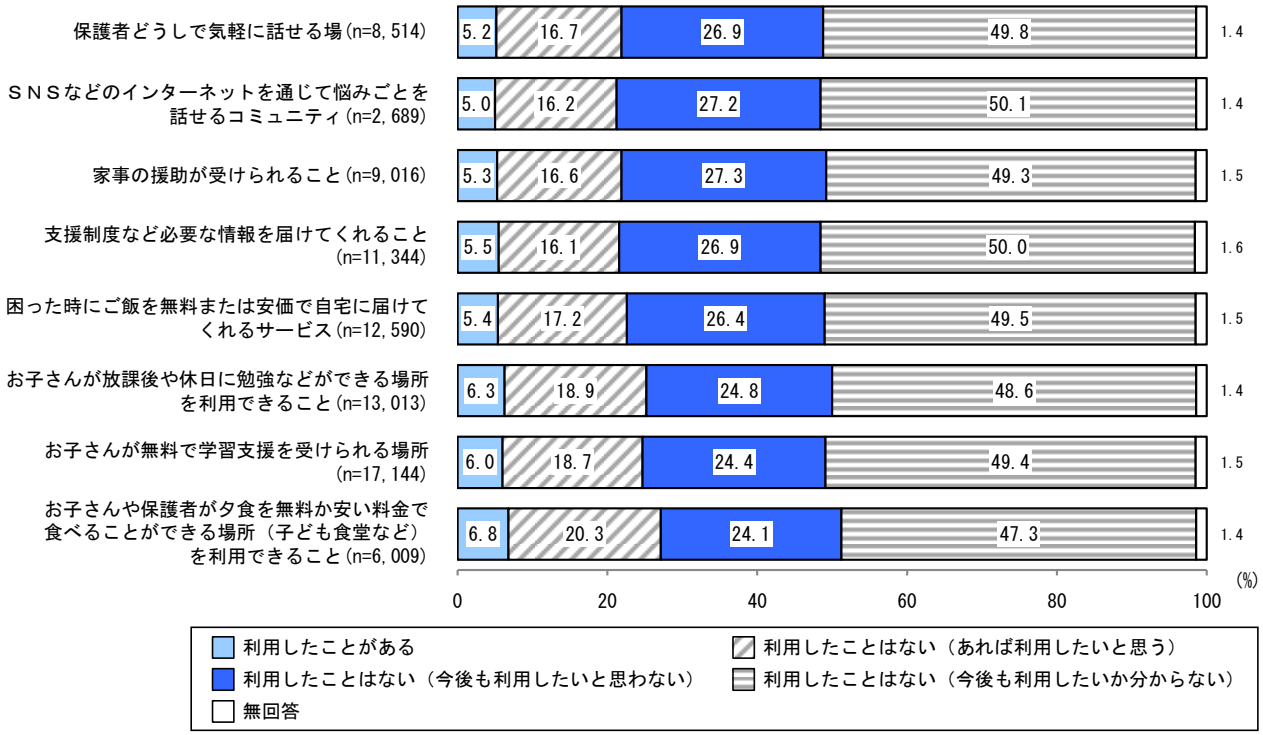


図 190. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所

身近にあるといいと思うこと別に昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が9.3%で最も高く、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」も「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が32.4%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所
（保護者票問 20×子ども票問 25(1)③）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

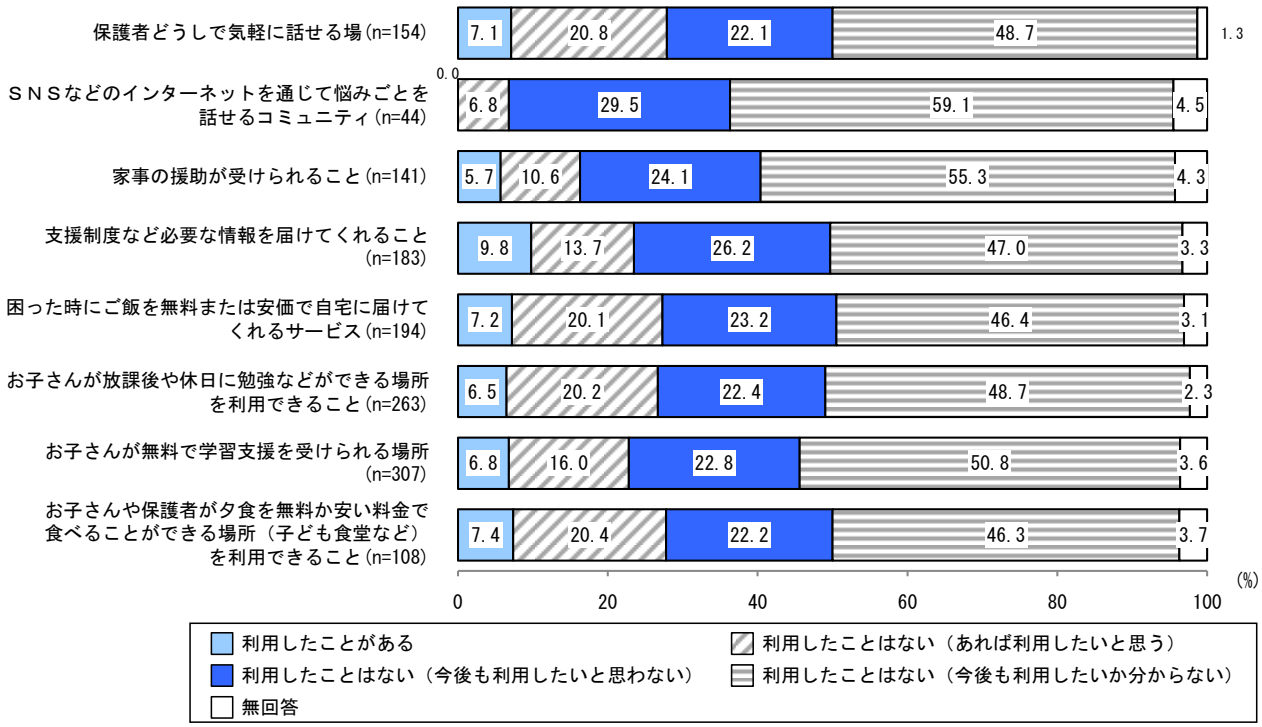
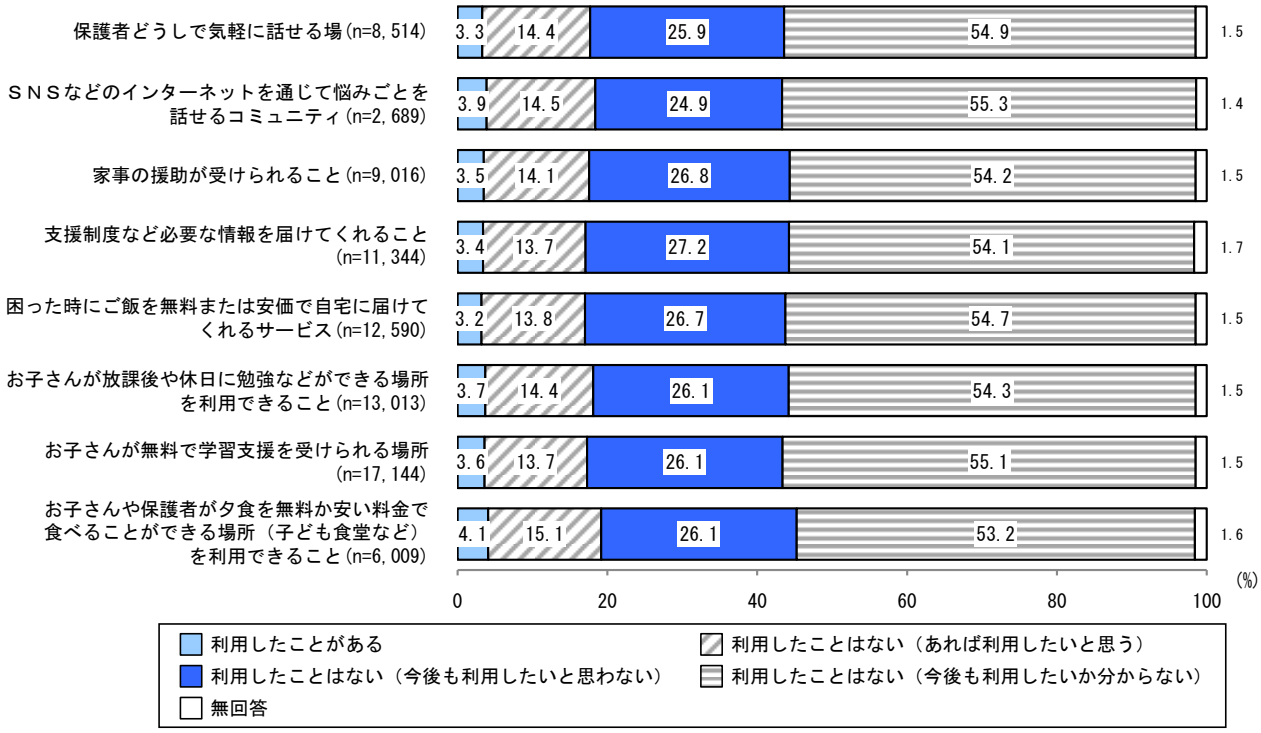


図 191. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所

身近にあるといいと思うこと別に勉強を無料か安い料金でみてくれる場所を見ると、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、「保護者どうしで気軽に話せる場」が20.8%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所
（保護者票問 20×子ども票問 25(1)④）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

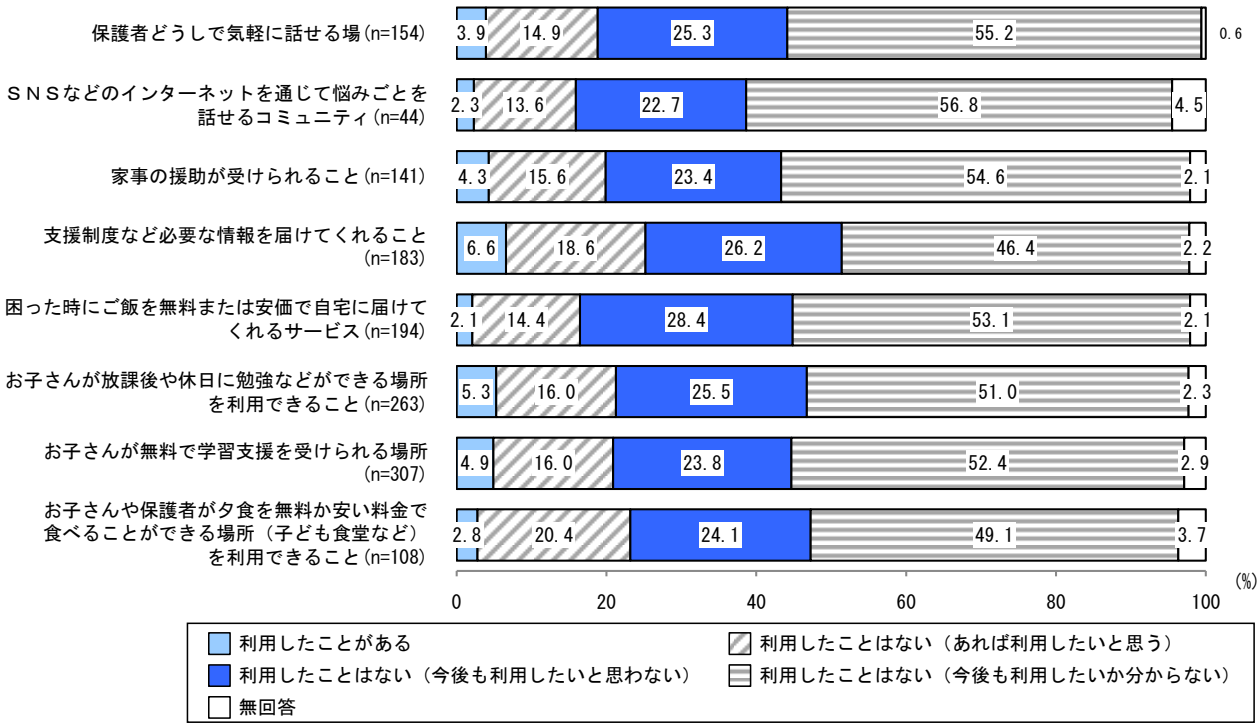
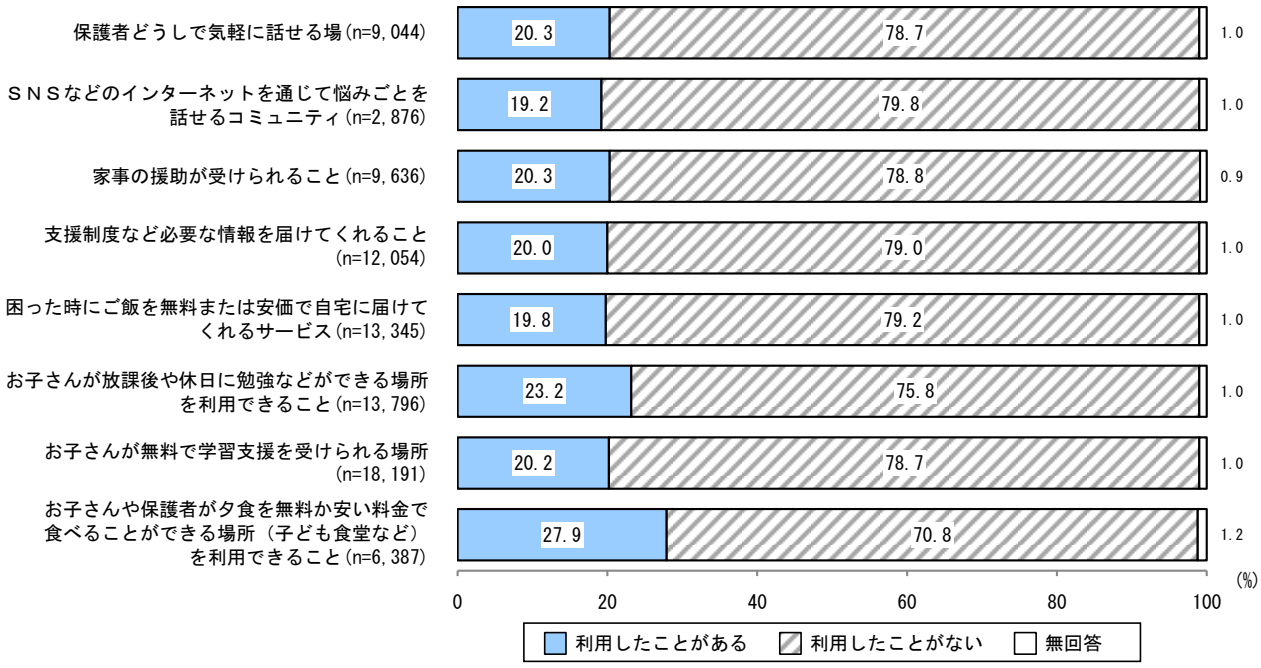


図 192. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所

身近にあるといいと思うこと別に何でも相談できる場所を見ると、「利用したことはない（あれば利用したいと思う）」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が20.4%で最も高くなっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無
（保護者票問 20×保護者票問 16(1)）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

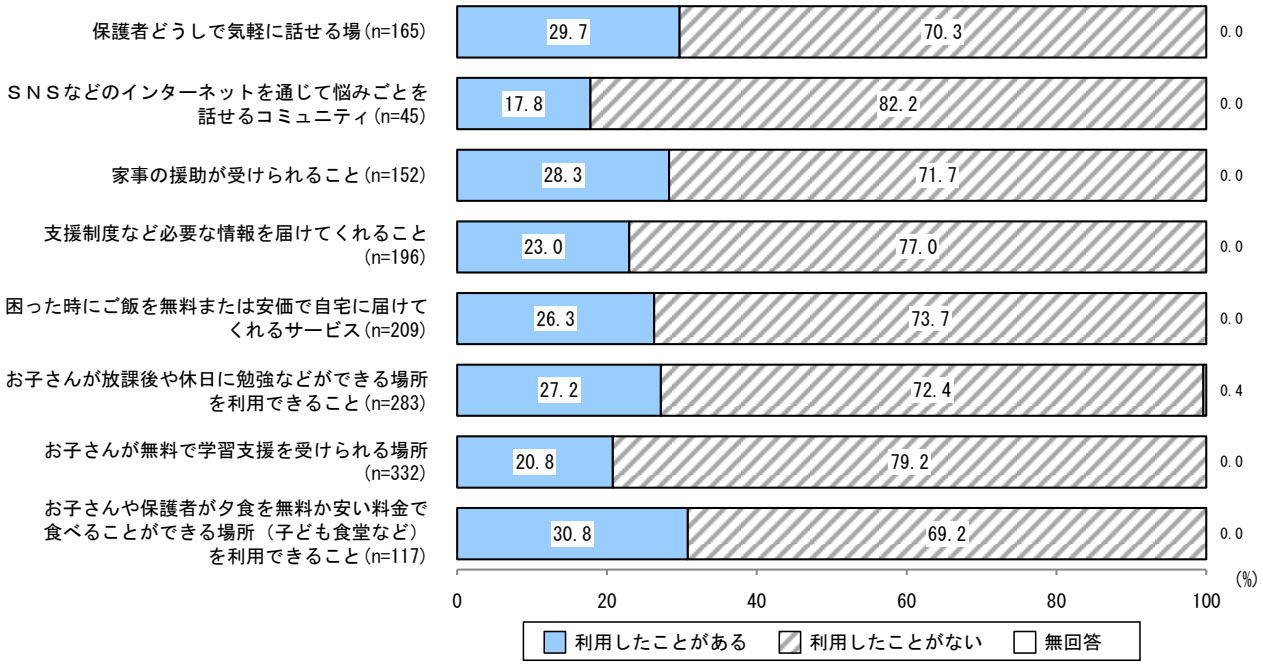
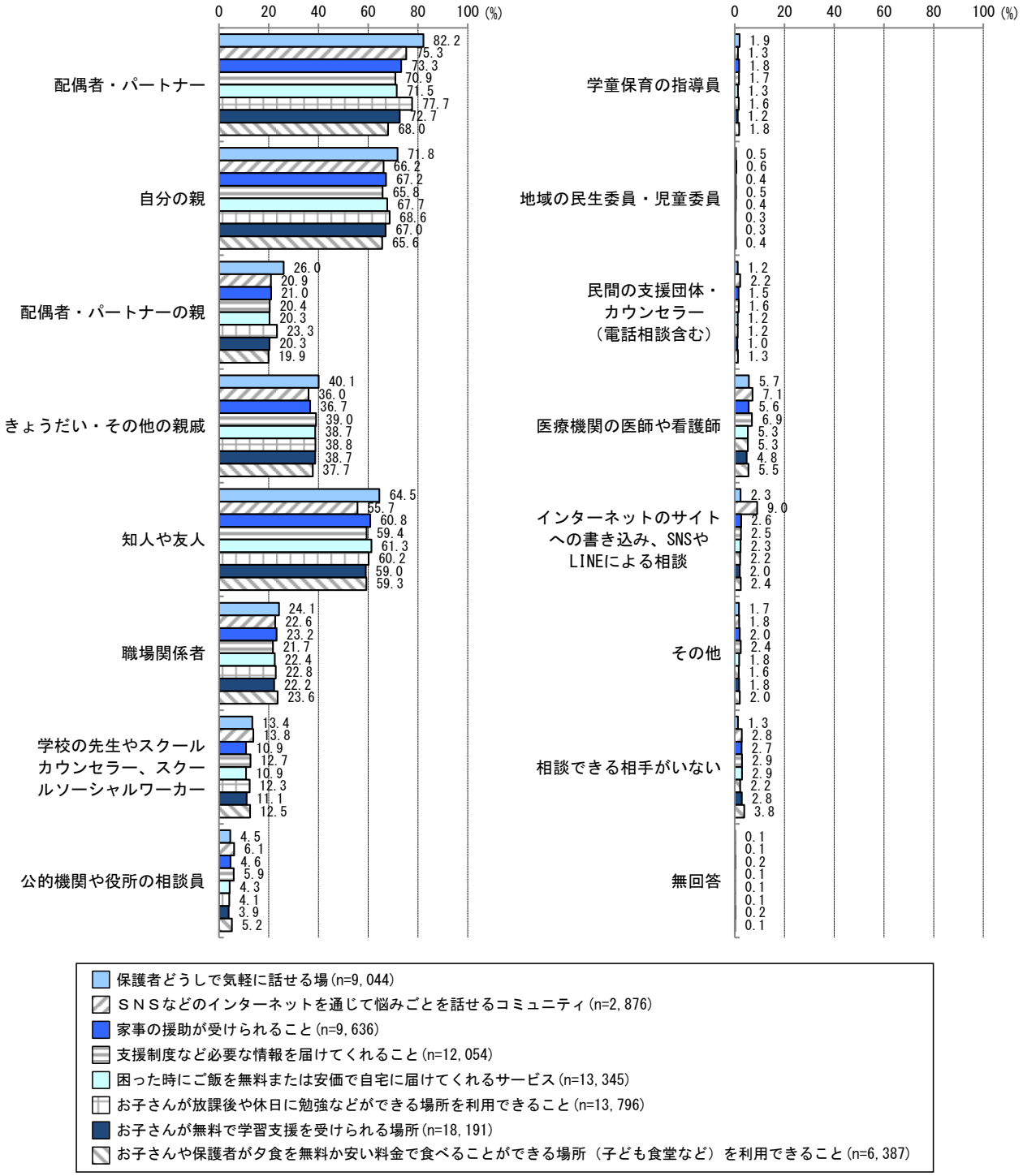


図 193. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無

身近にあるといいと思うこと別に子どもの居場所の利用有無を見ると、「利用したことがある」と回答した人の割合は、「お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること」が30.8%で最も高く、次いで「保護者どうしで気軽に話せる場」が29.7%となっている。

身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（保護者票問 20×保護者票問 19）

＜大阪府内全体＞



＜大阪狭山市＞

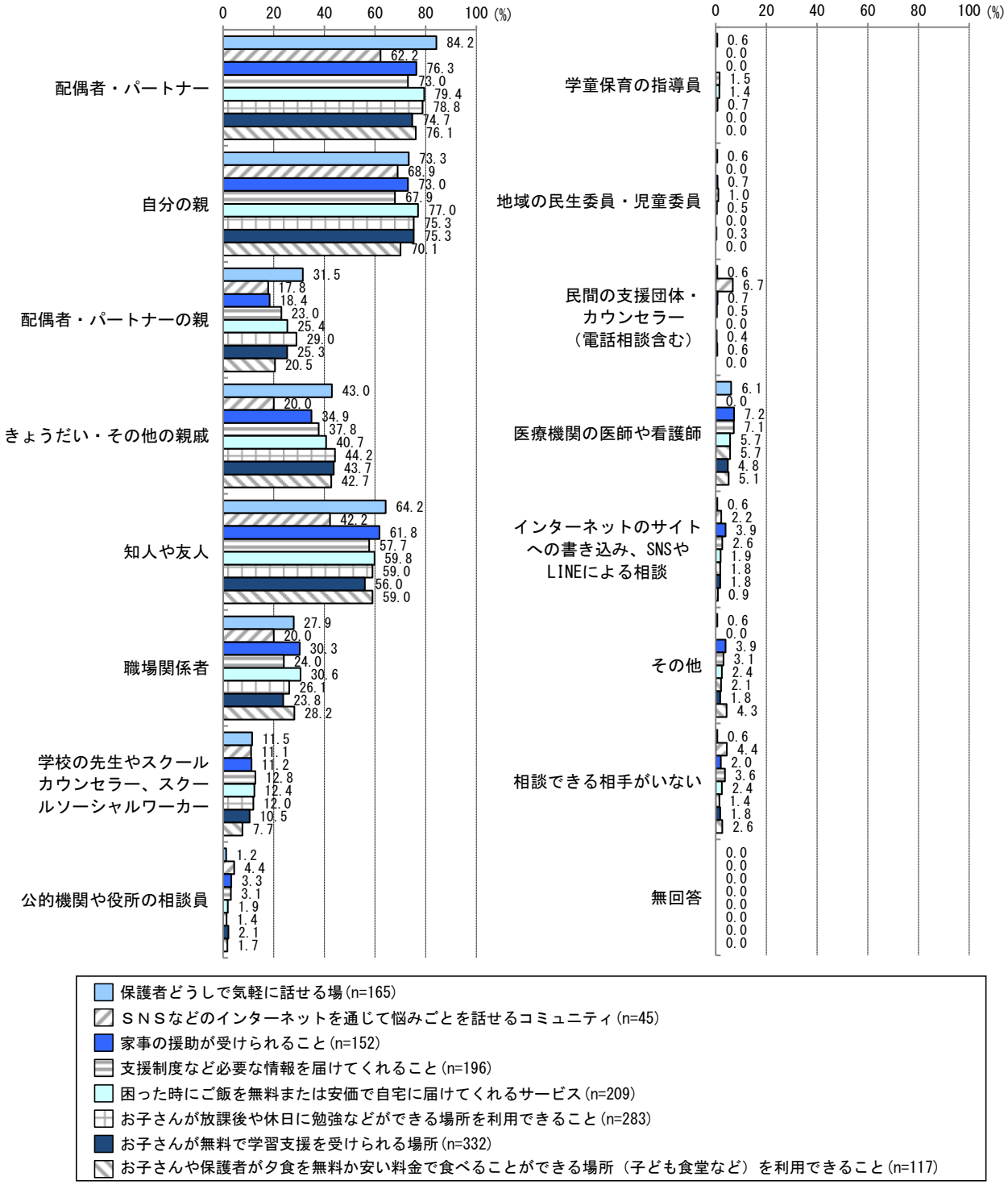


図 194. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先

身近にあるといいと思うこと別に本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先を見ると、「配偶者・パートナー」と回答した人の割合は、「保護者どうしで気軽に話せる場」が84.2%で最も高く、次いで「困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」が79.4%となっている。

＜対人関係に関する考察＞

中央値以上群と困窮度Ⅰ群間で差が大きい項目に着目した分析結果を以下にまとめる。子どもが放課後に過ごす場所では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「塾」(39.9%対19.0%)の利用率が約2倍であり、「習い事」(43.9%対27.8%)は10ポイント以上高くなっている。子どもが放課後に一緒に過ごしている人物では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「おうちの人以外の大人」(24.5%対17.7%)、「学校のともだち」(58.6%対48.1%)、「クラブ活動・部活動の仲間」(28.4%対22.8%)と一緒に過ごす割合がいずれも5ポイント以上高くなっている。嫌なことや悩んでいるときの相談相手では、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「学校以外のともだち」(15.5%対5.1%)、「学校のともだち」(54.7%対50.6%) を多くあげている。また、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「塾や習いごとで過ごしているとき」(29.5%対20.3%)を「毎日の生活で楽しいこと」として多くあげている。一方、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、「好きな人のこと」(12.7%対5.8%)を「悩んでいること」として多くあげている。これらの結果から、経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセス、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限される可能性があることが示唆された。

一方、困窮度別に保護者の相談相手をみると、中央値以上群は困窮度Ⅰ群と比べ、「配偶者・パートナー」(83.6%対49.4%)と相談する割合が30ポイント以上も高くなっている。また、世帯構成別に保護者の相談相手をみると、父子世帯はふたり親世帯と比べ、「相談できる相手がいない」割合(11.1%対1.8%)は約10ポイント高くなっている。これらの結果は、経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なり、とくに困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者が支えや相談相手の不足を経験していることが示された。

子どもが世話している人の有無別に相談相手をみると、世話をしている人がいる子どもはそうでない子どもと比べて、「親」(67.4%対60.0%)、「きょうだい」(20.9%対17.2%)、「学校の先生」(26.5%対20.5%)に相談する割合が高くなっている。また、世話をしている人がいる子どもはそうでない子どもと比べて、「平日の夜や休日を過ごすことができる場所」(28.7%対25.4%)、「昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所」(10.9%対7.3%)、「勉強を無料か安い料金でみてくれる場所」(9.1%対6.6%)、「何でも相談できる場所」(9.6%対2.7%) といった居場所を利用している割合が高くなっている。これらの結果から、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆された。

保護者にとって地域社会に相談相手がいる家庭の子どもは、いない家庭の子どもと比べて、「おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか」の問いに「ほとんど毎日」(19.5%対10.0%)、「おうちの大人の人に宿題 (勉強) をみてもらうか」の問いに「ほとんど毎日」(12.6%対9.5%)、「おうちの大人の人と学校のできごとについて話すか」の問いに「ほとんど毎日」(43.7%対40.0%)と答える割合が多くなっている。このことから、地域社会との連携が高い家庭ほど保護者の子どもへの肯定的な関わりが多くなっていると思われる。

困窮度別に子どもの居場所利用をみたところ、困窮度Ⅰ群は中央値以上群と比べ、平日の夜や休日を過ごすことができる場所を「利用したことがある」(44.3%対25.9%)、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所を「利用したことがある」(10.1%対5.4%)、何でも相談できる場所を「利用したことがある」(8.9%対2.9%) と多く回答している。これらのことから、困難な経済状況にある世帯では食事や子どもの過ごす場所、相談といった日々の生活に対する支援を必要としていることが示唆された。

また、子どもの居場所の利用有無別に保護者の相談相手・相談先をみると、子どもが居場所を利用している家庭は、そうでない家庭と比べて、「職場関係者」(28.6%対22.9%)、「学校の先生

やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー」(13.0%対7.7%)、「配偶者・パートナーの親」(28.6%対20.0%)と相談する割合がいずれも5ポイント以上高くなっている。これらの結果から、子どもの居場所が専門家や機関、親族との連携を可能にしており、総合的なサポート体制として機能していると考えられる。

Ⅲ　総合考察

本報告書における「子どもの貧困」概念の捉え方であるが、基本的に、2016年の調査で扱った貧困概念に基づいている。簡単に述べると、子どもの貧困を相対的貧困で捉えた上で、①所得や資産などの経済的資本、②健康や教育などのヒューマン・キャピタル、③つながりやネットワークなどのソーシャル・キャピタルの3つのキャピタルの欠如を枠組みとしている。この数年で、「子どもの貧困」「相対的貧困」概念も十分に知られるようになったことから、詳細な説明はここでは割愛するが、山野則子編著（2019）を参照されたい。

次に、総合考察においては、大阪狭山市が実施した数値で検討を行う。各ページにはグラフコメントやクロスの分析を考察したセクションコメント（経済状況、雇用、健康、家庭状況制度、家庭生活と学習、対人関係）を記載している。総合考察において、同じことを書くのではなく、総合考察として、これらセクションコメントを踏まえ、2016年度と比較し変化のあるものや新規項目など、まさに考察すべきものを中心に記載している（一部、要望により同傾向でも記載あり）。単純集計はセクションコメントに出てこないので、可能な限り数字を入れて説明する。そして、全体はこれらの結果から政策の評価を行うものである。

１）大阪府共同調査の意義

本調査では、大阪狭山市の調査のみならず大阪府内43自治体で共同実施して把握したことは、その回答者数の多さにおいても都道府県レベルで域内すべての自治体の対象者が入っている点においても、意義がある。その上で、大阪府内全自治体の結果は、傾向として大阪狭山市の調査結果を裏付けるものであった。これは無作為抽出であっても全体と比較してみることで、傾向の把握が可能であり、信頼性があることを示すものとなった。

本報告では、すべての項目に大阪府内全自治体のグラフを入れることで、結果をわかりやすくしている。本調査は、子どもの貧困対策の評価につながる基礎調査である。

２）単純集計

＜経済面・家庭状況制度面＞

2016年度と比較して、等価可処分所得の中央値は263万から280万とわずかに上昇しており、世帯割合に関して大きな差は見られない。

大阪狭山市でも、2016年度の前回調査（以後、前回調査とする）では23.1%の世帯が赤字であったが、今回はやや低くなり、18.0%であった。この数値は、前回と同様に、中2の世帯が小5の世帯よりも高いが、その差は前回よりも小さくなっている。前回明らかにした、クラブや塾など小学生よりも中学生の方が家計を圧迫していることに対応がなされつつあると言える。また、子どものための貯蓄をしたいができない状態が、前回36.5%であったのが今回30.4%であった。持ち家率は前回86.4%だったのが、今回88.2%とわずかに上がっている。赤字・貯蓄ともにおおむね5ポイント以上よくなった結果の中で、持ち家の傾向をどう見るのかは、コロナも含め災害が多発することで持ち家への価値観が変化してきたとも考えられる。

経済的な理由で経験したこと（はく奪項目）について、生活における食費の切りつめやレジャーを控えるなどの項目は、2016年に比較して該当率が下がっている。それに呼応して、どれにもあてはまらないという回答は前回28.0%、今回33.9%と高くなっている。家計の赤字の数も減り、全体を見たときに、2016年度から少しではあるが、好転しているようにとらえられ

る。

経済的理由による子どもに関する経験（子どものはく奪）に関しては、「子どもを医療機関に受診させることができなかった」が前回1.0%、今回0.5%と半減しており、この結果は、医療面での子どものいる世帯への施策が実施された成果であると思われる。ほかにも好転した項目が多く（「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」が前回8.1%、今回6.3%、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」前回9.3%、今回7.9%、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」前回11.0%、今回9.7%など）、「どれにもあてはまらない」は前回57.5%、今回68.9%と、10ポイント以上伸びた。その中で、「子どもの進路を変更した」は前回1.2%、今回1.6%、「子どもを習い事に通わせることができなかった」が前回9.2%、今回9.7%、「家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった」が前回14.8%、今回16.0%と、進路や家族関係に影響する項目で該当割合が横ばいとなっている。

また、子どもが持っているものや使えるものを見ると、本は前回74.7%、今回68.3%、子ども部屋が前回80.6%、今回64.7%、運動用具が前回80.4%、今回69.0%、自転車が前回94.1%、今回83.5%、習いごとなどの道具が前回58.5%、今回47.3%と割合が下がっているものが多い。こうした中、極端に上がったのは、スマートフォンやタブレット（前回64.6%、今回75.8%）であり、これらは学校からの配布の成果であろう。やや上がったものはゲーム機が前回82.0%、今回84.0%、化粧品・アクセサリーが前回28.1%、今回30.6%、キャラクターグッズが前回56.4%、今回61.8%であり、上述の割合が下がったものとあわせて考えると、子どもたちの遊びや過ごし方がよりインドアかつ個／孤なものとなっていることがうかがえる。

以上から、家計の状況は少し改善がみられ、医療を受けられないという究極の場合は少なくなるなど効果的であったが、基本的には家計の改善を子どもに回す余裕には至っていない。経済的理由により子どもにできなかった経験（上記に挙げたようなこと）がどの家庭でも実現できるような方策が非常に重要である。

2016年度調査では養育費の取り決めについての設問を入れていなかったため、大阪狭山市での正確な比較はできないが、今回、養育費の取り決めをして受け取っているのは約4割、取り決めをしているのは63.5%であった。養育費を取り決めているが、受け取っていないのは2割で、受け取っていないのは50.8%であった。2016年度全国ひとり親世帯等調査（厚生労働省2017）では、ひとり親家庭のうち養育費についての取り決めをしている割合が母子世帯で62.9%、父子世帯で20.8%、ひとり親家庭で養育費を受け取っていない子どもの割合が、母子世帯69.8%、父子世帯90.2%という値であり、今回の結果は、養育費関連の施策の成果はあったのではないかと推測できる。

＜雇用・健康＞

学歴については、母親の学歴を取り上げると、高校卒業が前回26.1%、今回19.9%と約6ポイント減少、大学卒業が前回15.1%、今回28.0%、10ポイント以上上昇した。雇用状況では、何らかの仕事をしている母親は、前回80.2%、今回84.3%と増加している。正規雇用は前回20.4%、今回26.5%と5ポイント以上増えている。これらは、世の中の人手不足と相まって働く人が増加したことにより、可処分所得も増加したことに関連するであろう。社会の認識の変化や政策による変化があったのではないかと考えられる。子どもの貧困の世論が広まり、各所に出された政策の効果と考えられよう。

支援制度の利用状況は、就学援助は前回16.0%、今回12.5%、児童扶養手当が前回9.4%、今回10.6%、生活保護が前回0.8%、今回0.1%であった。就学援助制度について、「利用したことがない」との回答が前回51.7%、今回79.9%とかなり増加し、その理由を今回のみ聞いている

が、「自身が該当しない」が92.1%でほぼ皆がそう思っていることがわかった。この数値は、可処分所得の結果から考えても、もっと受けることができる世帯があると思われるが、受けていないことを示している。前回も「あなたには受ける権利がある」メッセージを必要な人にどう届けるのか大きな課題であったが、改善に至っていない。各制度を正しく知らせ、他人ごとにせず、そこでのスティグマを無くし受けやすくする工夫がさらに必要である。

＜健康・家庭生活・学習・対人関係＞

まず食事から確認する。「朝食を食べない」(週に1回も食べていない)が前回2.7%、今回1.7%である。食べない理由に「用意されていないから」が、前回3.9%、今回4.6%、「食べる習慣がない」が前回6.5%、今回6.4%であった。小学生の45名が毎日は食べていない。このことは、2016年度も話題になったが、改善すべき喫緊の課題である。また、家族の人と食事をしていない子どもは、「ほとんどない」、「まったくない」を合計して、朝食では、小学5年生の子どもが150名（約3割)、夕食では小学5年生で22名である。これらは2016年の１回目に警鐘をならすべきこととしてとらえられていたが、より重視すべきである。

おうちの人と関わる設問では、2016年に比べ変わらない項目が多い中、学校でのできごとについて毎日話す割合が約10ポイント増加し（前回30.0%、今回39.2%)、文化活動をまったくしない割合が約4ポイント減少した。また、生活の中で楽しいと思うのは、「おうちの人と一緒に過ごしているとき」が約10ポイント上昇、「ひとりで過ごしているとき」も5ポイント以上上昇し、学校やクラブ活動が約6ポイント下がった。

放課後過ごす場所は、「友だちの家」が前回32.6%、今回25.3%、「学校（クラブ活動など)」が前回33.7%、今回24.2%と減っており、コロナの影響による社会的交流が減ったことによる可能性が考えられる。友人との関係性が薄れることは、孤立や孤独へ向かう懸念も生じる。

勉強に関しては、今回調査から「授業がわからなくなった時期」は、小学生では3，4年生（50.0%)、中学生では中学1年生（47.0%）でつまずいていることがわかった。相談相手では、誰にも相談できない、相談したくないと感じている子どもは、前回17.2%、今回は11.2%と減少している。前回は身体や気持ちで気になることを聞き、今回は身体の状態で気になること、「この1週間の気持ちの状況」で気になることを聞いているため単純に比較はできないが、「とくに気になるところはない」が前回24.7%、今回32.6%（体調)、「やる気が起きない」において「そんなことはない」が30.6%であった。

悩みについては、2016年度と比べ、学校や勉強のこととクラブ活動のことがそれぞれ約5ポイント下がった。最も多いのが「学校や勉強のこと」、ついで「自分のこと（外見や体型のこと)」、「進学・進路のこと」であった。

制度やサービスでいうと、子どもの居場所において、「平日の夜や休日過ごす居場所」では小5で26.6%、中2で25.8%の子どもが利用したことがあり、「食事提供の居場所」は小5で9.5%、中2で6.8%、「学習支援の居場所」は小5で6.8%、中2で8.2%、「何でも相談できる場所」は、小5で5.6%、中2で2.9%の子どもが利用したことがあった。これらと併せて、居場所の効果として「友だちの増加」が小学生で27.1%、中学生で16.0%、「生活の中に楽しみなことが増えた」は小5が7.2%、中2が8.0%、「気軽に話せる大人が増えた」は小5で3.9%、中2で5.6%という結果であった。このことは今後の展開に大きな意味をなすであろう。ただし、中2は、友達が増えたと回答する反面、それ以上に「特に変化なし」（22.4%）と回答しており、小5でも18.2%いる。そのため、早期に居場所に繋ぎ、居場所が誰にとっても当たり前の選択肢にする必要がある。「平日の夜や休日過ごせる居場所」以外は、利用頻度は「食事提供の居場所」、「学習支援の居場所」、「何でも相談できる場所」は上記のように少なくなる。将来の利用に関する積極的な

利用希望は「食事提供の居場所」が小中合わせて22.7%、「学習支援の居場所」が小中合わせて16.5%であり、子どもたちの希望があるととらえられ、「放課後過ごす場所」において、「友だちの家」や「学校（クラブ活動など)」が減少していることと併せて、子どもたちに多くの選択肢を提供できる方がよいと考えられること、自分には関係ないと考える傾向があるかもしれないこと、などから居場所の充実とより自然な提供が望まれる。

保護者が身近にあるといいと思うことは、上位３つが「無料で学習支援が受けられる場所」43.5%、「放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること」37.1%、「困ったときにご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス」27.4%であった。学習に関して最も気にしていることがわかり、これらのサービスを利用している率の低さから、身近に届けられるような工夫が必要である。また、「支援制度など必要な情報を届けてくれること」も25.7%と、情報が受け取れていないことを感じている保護者も多い。

最後に、ヤングケアラーの項目である「家族に世話をしている人」がいるかどうかについては、小5が34.6%、中2が15.3%であり、内容もきょうだいの世話が最も多く、小5は73.3%（小学6年生71.0%：日本総研2022)、中2が79.3%（中学生61.8%：MURC2021）である。小学生において、国の結果に比べてきょうだいの世話の割合が高い。「家事」は、本調査では複数の質問にまたがっていることや複数回答可にしていることから単純に比較できないが、先述した厚生労働省の研究事業では、小6の世話の内容を家事と答えたのが35.2%（日本総研2022）できょうだいの世話より高いが、本調査では逆であった。時間をみると1時間未満が最も多く、一方で小学生において平日の7時間超にわたり誰かの世話をする割合が12.2%いる。ただし、定義のあいまいさが子どもに答えにくくさせている可能性もあり、この数値だけで一概にすべての子どもがヤングケアラーだと断定できない。今後、イギリスのように定義を明確にしていくことも検討を行う必要がある。

3）クロス集計

各セクションコメントでは、2023年度の項目のみで確認してきたが、ここでは可能な限り2016年と比較する。まず経済面では、できなかった経験、つまりはく奪指標として、2016年度も検討してきた項目でまず確認する。

経済面から確認する。「食費を切りつめた」「国民健康保険料の支払いが滞ったことがある」「国民年金の支払いが滞ったことがある」などの項目では2016年度よりも減少、特に困窮度Ⅰ群においては大きな減少がみられる。ただし「生活の見通しがたたなくて不安になったことがある」の減少はそこまで大きくなく、将来への不安感の減少にまで至っていない。経済的な大人のはく奪だけでなく、子どものはく奪に関して、「お子さんの進路を変更した」、「お子さんを習い事に通わせることができなかった」など2016年度と比較して増加している。これは、コロナ禍となったこともあり、経済的リスクのしわ寄せが子どもに向かった可能性がある。しかし、これは絶対に避けなければならないことであり、警鐘を鳴らす必要性とともに対策を講ずべきである。

支援制度に関しては、まず就学援助制度は、申請すれば利用できるはずである困窮度Ⅰ群であっても利用したことがない人が、2016年度20.6%あり、これを減らすことを第一目的に考えたほどであったが、2023年度最も厳しい困窮度Ⅰ群において34.9%と増加している。現在利用している人をとってみても、2016年度59.8%だったところ2023年度は54.2%と減少している。児童扶養手当は困窮度Ⅰ群のひとり親世帯で利用したことがない割合が、2016年度9.6%、2023年度 16.7%と増加している。「生活保護制度」について、困窮度Ⅰ群において「利用している」

が2016年度4.9%から2023年度1.2%と下がっている。これら設問の文言（例「受けたことがある」→「利用したことがある」など）の違いはあるものの、困窮度Ⅰ群にとって、つまり厳しい家庭にとって、制度利用は決して進んでおらず、さらに厳しい状況となったとも推察できる。

子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況は、本調査において全体で7.4%、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金は1.3%である。全国レベルのデータを見ると、2020年コロナ発生後の10月の調査（厚生労働科学特別研究）において、収入200万未満の世帯で35.6%（山野研究室2021）である。これらの数値を直接比較することはできないが、いずれにおいても割合の低さから、2016年以降子どもの貧困が周知されるようになり、コロナ禍となって、さらに支援制度の広がりや周知が今まで以上になされたが、大阪においてもその活用が広がり切れなかったと言わざるを得ない。これら最も厳しい世帯における利用が減少した要因を探る必要があろう。

10代で親になった世帯の厳しさは2016年度同様であり、たとえば母親の最終学歴について初めて親となった年齢別では、中卒（「中学校卒業」および「高等学校中途退学」）が半数近く、他の年齢群に比べて高い割合を示している。また、就労状況において正規雇用は、16名中11名である。出産などによって学業を中断せざるを得なかった10代への教育支援や就業支援もさることながら、そもそもの予防的支援として、自分を大切にすることや将来を見すえるような教育的支援が必要である。例えば、小学生から高校生まで、性教育含む生きる教育（西澤・西岡ほか2022）の積極的な導入を進めるべきである。またスウェーデンで行われる、実際の社会問題と向き合い、制度を知り選択できる力を養う社会科授業の実施など、思い切った根本的な教育改革が必要である。

雇用に関しては、質問形態が異なるため安易に2016年と比較できないが、非正規雇用の方の困窮度が増すことや、最終学歴が低いほど困窮度Ⅰ群に占める割合が高くなる傾向は2016年と同じである。世帯構成と就労状況の関係を見ると、ふたり親世帯と比べて、母子世帯では非正規雇用の割合が前回36.1%、今回34.3%と横ばいであり、母子世帯へのさらなる重点支援を検討すべきである。健康に関しても、傾向は2016年度と2023年度でほぼ変わらない。つまり困窮度が増すほど身体面、精神面不調が高くなる。セクションコメントで述べてきたように、毎日の規則正しい朝食・昼食摂取が、保護者と子どもがよりよい関係となって、子どもの自己効力感を高める可能性があり、自己肯定感や将来の夢や目標があるほど、日常生活の中で元気に過ごしているという傾向があることから、基本的な生活習慣を維持できるような取り組み、将来の夢や目標が持てるような取り組みの工夫が必要である。

家庭生活や学習に関する傾向も2016年度と変わらない。経済状況が保護者と子どもの間のコミュニケーションや子どもの生活リズムに影響を及ぼしうると考えられる。遅刻頻度の多さは保護者と子どものコミュニケーション不足を暗示しうる。経済的に困難な世帯の子どもは、通学が難しくなっているほか、学習習慣や家庭内での文化活動の習慣がなく、結果的に学習理解が不十分となっている可能性が示された。ただし、前回と比較すると、困窮度Ⅰ群において平日に30分～2時間勉強する子どもが増えている。また、読書時間ではいずれの群もまったくしない割合が下がり、30分～1時間する割合が高くなっている。結果として、学習理解度でも「よくわかる」が増えている。一方で、子どもの将来に関しては子ども・保護者とも困窮度Ⅰ群と中央値以上群の差は2016年から変わっておらず、全体的に「考えたことがない」「わからない」が増えている。

経済状況が生活習慣や学習習慣・読書習慣の形成に影響が出ている可能性が示唆された。また、生活習慣が身についていないと遅刻につながり、学習理解に影響が出ている可能性がある。こうした学習習慣と家庭状況は大きく関係するため、横断的に判断できて支援に繋ぐような、

例えば家庭学習を補完するためにも、学習支援や学校での少し先輩である就学前児童なら小学生、小学生なら中学生、中学生なら高校生、など年齢の近い年上の子ども・若者を各所で導入する仕組みを作ったり、校内でサポートを展開するメンターの導入などが望ましい（イギリスやアメリカで活用されるメンター制度など）。

対人関係においても2016年の結果とクロスの傾向は変わらない。変わったところを述べると、放課後過ごす人の回答で「学校以外の友だち」が今回、困窮度Ⅰ群が11.4%、中央値以上群が14.4%であり、前回（困窮度Ⅰ群が7.8%と中央値以上群が16.6%）に比べて差が縮まった。同時に、中央値以上群において「学校のともだち」が約4ポイント上がり（前回54.8%、今回58.6%）、他の群では下がっている。また、放課後すごす場所として特徴的な部分を挙げると、困窮度Ⅰ群対中央値以上群で、塾が前回32.4%対35.9%、習い事23.5%対42.5%が、今回は塾19.0%対39.9%、習いごと27.8%対43.9%と塾の差は広がり、習い事では差が縮まっている。

やや変化はあるものの、対人関係を全体的に見ると、経済状況によって、子どもの教育的な活動へのアクセス、家族以外の社会的交流や人間関係を築く機会が制限されるだけでなく、子どもの自己効力感にも影響を及ぼす可能性があることが示唆された。また、経済的困難な家庭では、子どもが家族の世話を担っているケースが多く、家族の世話をしている子どもにとって、周りの支えが重要であり、社会的支援を必要としていることが示唆された。経済状況や世帯構成によって保護者の相談相手が異なり、とくに困難な経済状況にある世帯や特定の世帯構成の保護者が支えや相談相手の不足を経験していることが示された。子どもの居場所が様々な専門家や機関との連携を可能にしており、総合的なサポート体制として機能していると考えられる。

最後に、子どもが保護者以外と話せる機会が必要である。しかし、家庭と学校しかソーシャル・キャピタルを持たない子どもたちにとって、家庭に関する悩みは、家庭内や学校の友だちには話しにくい。これは、ますます経済的に厳しい子どもたちを孤立させ、ソーシャル・キャピタルを欠如させてしまう。おうちの人や学校の友だちに相談すること自体難しいと考えられるが、自然に話せるような場や人材を確保し、すべての子どもが通う、学校から構えずに参加できる、流れるような仕組みを創設または充実させる必要がある。

まとめ

今回の調査結果から、子どもの貧困に関する対策の結果として、親の就労や所得には改善がみられ、中央値は上昇する結果であった。これは2021年度の厚生労働省の国民生活基礎調査の結果をみても同様の傾向である。子どもの学習習慣や読書週間も良くなっている。総じて、子どもの貧困対策として、経済的支援と教育支援の効果が出ていると考えられる。一方で生活習慣は変わらず、また子どもの社会的交流は減っている。

経済状況の改善がいまだ子どもに十分に回ったとは言い難く、物価高の影響等々も考えられる。肝心の困窮度Ⅰ群の世帯あるいは子どもの状況の改善は見られず、悪化している部分もあった。このことは子どもの貧困を考える立場にとっては厳しい結果である。この解決には、国が縦割りを解消しようとこども家庭庁を設立し、データ連携等々新たな動きをしているなか、同様に教育や福祉という既存の枠組みを越えて、子どもをまんなかに実行できる体制や制度設計を早急に考えるべきである。以下のような対策をとる必要がある。

① 経済面：母子世帯への支援や収入増加を企業が実行できるような施策が必要である。

② 学習面：学校だけでなく、しかしすべての子どもが通う学校と連携した学びの保障を検討する。方策として、コミュニティスクールや学習支援、無料塾の創設などの活用である。保護者

のニーズのある無料塾は、例えば沖縄で導入している。貧困調査の結果から支援員を大々的に投入し、訪問による給付や支援の申請書書きのサポートなどの人的支援方策を実施した。そういった方法を検討する必要がある。あるいはそれをクラウドデータで行えるようなデータ連携と社会資源を選択できるよう可視化と自治体内でどこの部署でも所持するような共有化が必要である。また、就学援助を電子申請で行えるようにする、支援制度に関する情報を子育て応援アプリで発信できるような整備も効果的であろう。

③ 無償化の対象にならない部活の費用などの補助を行う。塾代助成のような方策を検討し、かつ申請をしなくても必要な人には利用できるよう、塾側に措置費のような形で配分する枠組みの提示や方策の提案を行う。

④ 価値の創造：教育の力はすべての子どもに影響することが出来る。年齢に応じて子どもの人権や生きる価値など人間尊重の理念から獲得できるような学びとその方法を導入する。小学1 年生から体験的に教育を受ける生きる教育（西澤・西岡 2022）やブレインストーミングのように子どもたちとの対話で進めるフィンランドの教育（北川 2005）、実際的な生活課題から制度やサービス、権利に関して体験的に学ぶスウェーデンの社会科（リンドクウィスト・ウエステル 1997）のように、その年齢に合わせて体験型であり、自身の意見を出し、周りの意見を聞きながら進めるレクチャー型ではない教育の進め方を根本から検討すべきである。そのことによって、10 代の妊娠やいじめ、ヤングケアラーなど家庭状況を抱えるようになっても早期に SOS が出せたり、自身で支援を選択できる力を養うことができる。

⑤ 地域資源：支援の場所を周知することである。自治体のパンフレットや子育て応援アプリなどを活用し、情報発信を行う必要がある。子ども食堂に限らず、様々な機能（駄菓子屋や公園などほっと寄れるような場を使ったたまり場など）を持つ居場所や体験交流できる場かつ子どもが自力で行ける小学校区に必要である。学校が場所を開放するのがベストである。その場所が子どもにとっても親にとってもわかりやすく、行きやすい場所にあり、選択肢が増え、可視化し利用しやすくする必要がある。相談機関を増やしても子どもや親からの相談の数値は決して上がらず、居場所などの場の方が有効である。

⑥ 連携の考え方：連携とは個人情報を共有しなければできないわけではない。個人情報は把握しないまま連携することが重要である。これが社会資源を知らない教師と個人情報を持てない地域の居場所の新しい連携の方法であり、これらを周知徹底させることである。

⑦ すべての子どもを視野に入れ、そこから自然につながる仕組みなど、今までの縦割りとは次元の違う支援の仕組みが必要である。

⑧ 社会福祉協議会など居場所の中間支援を行う機関の役割を明確化し、機能的に促進させる。社会教育分野が持つ公民館や図書館や博物館なども場であり、さらなる協働を明確にする。（子ども食堂等居場所の活動団体が無料で入れる、利用できるなど）

⑨ 全数からの仕組み：必要な子どもが確実に発見され自然につながるためには、スクリーニングから繋ぐ機能まで持った、例えば文部科学省推奨（2020）の YOSS スクリーニング（山野研究室 2021）の仕組みが必要である。今回の調査で 2016 年からの比較によってアウトリーチでは乗り越えられなかった壁が明らかになった。相談ではなく、自然に伴走する支援を厳しい家庭の保護者や子どもたちは求めていることがわかる。必要な子どもを早期に発見し、伴走しながら、必要な制度や仕組みを紹介し、利用を増やすことで生活の改善をはかることと、伴走することで子どもや保護者本人の力をアップさせ、資源を活用できるようにする機能が必要である。

⑩ システム化：洩れなく持続可能に巡回させるためには、人に頼るだけでなく、福祉と学校のデータ連携を推奨し、地域資源の可視化のためにクラウド化することも考慮すべき点である。

クラウドによっていち早く支援場所や居場所が学校にもすぐにわかり、地域活動と支援の必要な子どもを結び、支援提供を展開する必要がある。

⑪ 人材：これら学校においてすべての子どもの検討、発見から支援に繋ぐ校内の体制作りができる人材養成に力を入れる必要がある。スキルを取得する訓練講座の予算化や新たな認定制度になるこども家庭ソーシャルワーカー養成制度の活用などである。

⑫ その専門職の１つがスクールソーシャルワーカーである。各校に１名配置できるよう、正規職化への働きかけ、あるいは各自治体での正職化計画を立てる必要がある。

⑬ 法制化：これらは連携ではなく仕組み作りであり、制度化である。要項や規定を作成し、自治体や機関として動きやすいように作成すべきである。

⑭ 制度設計：デジタル化のために補助金や助成金を検討することも必要である。なぜなら、どこに必要な子どもが存在するのかがわからない。データ連携することでどこに必要な子どもが存在し、様々な制度を活用してどうだったかを検証できるように作りこむことである。これらのシステム費用がベンダーロックにより莫大な金額がかかる課題がある。企業を巻き込むと同時に、自治体や政府からクラウド化に向けた助成制度を創設する必要がある。

引用・参考文献

アーネ・リンドクウィスト＆ヤン・ウェステル，川上 邦夫（翻訳）（1997）『あなた自身の社会：スウェーデンの中学教科書』新評論.

大阪府（2023）「大阪府子ども（子育て世帯）に対する食費支援事業（第２弾）」
(https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/20980/00457638/2-9.pdf)

大阪府立大学（2017）「大阪府子どもの生活実態調査」

北川達夫（2005）「図解フィンランド・メソッド入門」経済界.

厚生労働省（2004）「ワークシェアリング導入促進に関する秘訣集及びリーフレットについて」
(https://www.mhlw.go.jp/houdou/2004/06/h0630-2.html)

厚生労働省（2017）「平成 28 年度 全国ひとり親世帯等調査結果報告」
(https://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11923000-Kodomokateikyoku-Kateifukishika/0000190325.pdf)

厚生労働省（2022）「2022（令和４）年国民生活基礎調査の概況」
(https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/index.html)

柴田悠（2016）『子育て支援が日本を救う―政策効果の統計分析』勁草書房.

内閣府（2010）「平成 21 年度インターネットによる子育て費用に関する調査」
(https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/13024511/www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/cyousa21/net_hiyo/mokuji_pdf.html)

西澤哲・西岡加名恵ほか（2022）『「『生きる』教育」：自己肯定感を育み，自分と相手を大切にする方法を学ぶ』日本標準.

日本総研（2022）「令和３年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省.

三菱 UFJ リサーチコンサルティング（株）（2021）「令和２年度子ども・子育て支援推進調査研究事業：ヤングケアラーの実態に関する調査研究」厚生労働省.

文部科学省（2023）「令和５年度就学援助の実施状況」
(https://www.mext.go.jp/content/20210324-mxt_shuugaku-000013450_27.pdf)

文部科学省・山野研究室（2020）「スクリーニング活用ガイド」
（https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/__icsFiles/afieldfile/2020/03/27/20200327_mxt_kouhou02_2.pdf）
山野則子編著（2019）『子どもの貧困調査―子どもの生活に関する実態調査から見えてきたもの』明石書店.
山野則子（2018）『学校プラットフォーム』有斐閣.
山野則子研究室（2021）「コロナ禍における子どもへの影響と支援方策のための横断的研究 保護者調査・子ども調査報告書」厚生労働省.
山野則子研究室（2021）「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」文部科学省.
柳澤靖明・福島尚子（2019）『隠れ教育費：公立小中学校でかかるお金を徹底検証』太郎次郎社エディタス.
UNESCO(2020) ‘International technical guidance on sexuality education: an evidence-informed approach (jpn)’ （https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374167）

図表目次

図 1. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験 183
図 2. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験 185
図 3. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるもの..... 187
図 4. 困窮度別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均..... 188
図 5. 困窮度別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均..... 189
図 6. 困窮度別に見た、持っているもの、使うことができるものの該当数の平均..... 190
図 7. 困窮度別に見た、世帯員の構成 191
図 8. 困窮度別に見た、世帯員の構成（2016 年度調査との比較） 192
図 9. 世帯構成別に見た、家計の状況 193
図 10. 困窮度別に見た、子どもの人数 194
図 11. 困窮度別に見た、住居形態 195
図 12. 困窮度別に見た、家計の状況 196
図 13. 困窮度別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況 197
図 14. 困窮度別に見た、自分が世話をしている人の有無 198
図 15. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況 201
図 16. 困窮度別に見た、就学援助の利用状況（2016 年度調査との比較） 202
図 17. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ） 203
図 18. 困窮度別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ）（2016 年度調査との比較） 204
図 19. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況 205
図 20. 困窮度別に見た、生活保護の利用状況（2016 年度調査との比較） 206
図 21. 困窮度別に見た、離婚相手との養育費の取り決めや受け取り（ひとり親世帯のみ） 207
図 22. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢 208
図 23. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢（母親の回答者のみ） 209
図 24. 初めて親となった年齢別に見た、お母さんの最終学歴（母親の回答者のみ） 210
図 25. 初めて親となった年齢別に見た、お父さんの最終学歴（母親の回答者のみ） 211
図 26. 初めて親となった年齢別に見た、就労状況（母親の回答者のみ） 212
図 27. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になること（母親の回答者のみ） 214
図 28. 初めて親となった年齢別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数（母親の回答者のみ） ... 216
図 29. 住居形態別に見た、家計の状況 217
図 30. 住居形態別に見た、子どもの将来のための貯蓄状況 218
図 31. 子どもの居場所の利用経験別に見た、就学援助の利用状況..... 219
図 32. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活保護の利用状況..... 220
図 33. 子どもの居場所の利用経験別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況 221
図 34. 子どもの居場所の利用経験別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ） 222
図 35. 子どもの居場所の利用経験別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況 223
図 36. 子どもの居場所の利用経験別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況 ... 224
図 37. 子どもの居場所の利用経験別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況 225
図 38. 学校や学校の行事等の状況別に見た、就学援助の利用状況..... 227
図 39. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活保護の利用状況..... 229
図 40. 学校や学校の行事等の状況別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況 231
図 41. 学校や学校の行事等の状況別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ） 233
図 42. 学校や学校の行事等の状況別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況 235

図 43. 学校や学校の行事等の状況別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況 ... 237
図 44. 学校や学校の行事等の状況別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況..... 239
図 45. 身近にあるといいと思うこと別に見た、就学援助の利用状況..... 240
図 46. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活保護の利用状況..... 241
図 47. 身近にあるといいと思うこと別に見た、生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況..... 242
図 48. 身近にあるといいと思うこと別に見た、児童扶養手当の利用状況（ひとり親世帯のみ） 243
図 49. 身近にあるといいと思うこと別に見た、母子家庭等就業・自立支援センターの利用状況..... 244
図 50. 身近にあるといいと思うこと別に見た、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の利用状況.. 245
図 51. 身近にあるといいと思うこと別に見た、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）の利用状況 ... 246
図 52. 困窮度別に見た、就労状況..... 248
図 53. 困窮度別に見た、お母さんの最終学歴..... 249
図 54. 困窮度別に見た、お父さんの最終学歴..... 250
図 55. お母さんの最終学歴別に見た、就労状況..... 251
図 56. お父さんの最終学歴別に見た、就労状況..... 252
図 57. 世帯構成別に見た、就労状況..... 253
図 58. 就労状況別に見た、家計の状況..... 254
図 59. 困窮度別に見た、朝食の頻度..... 256
図 60. 就労状況別に見た、朝食の頻度..... 257
図 61. 朝食の頻度別に見た、子どもへの信頼度..... 258
図 62. 朝食の頻度別に見た、子どもとの会話頻度..... 259
図 63. 朝食の頻度別に見た、平日での子どもとの関わり時間..... 260
図 64. 朝食の頻度別に見た、休日での子どもとの関わり時間..... 261
図 65. 朝食の頻度別に見た、子どもの将来への期待度..... 262
図 66. 朝食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 263
図 67. 休日の昼食の頻度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 264
図 68. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある..... 265
図 69. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ..... 266
図 70. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ..... 267
図 71. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる..... 268
図 72. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする..... 269
図 73. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる..... 270
図 74. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる..... 271
図 75. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない..... 272
図 76. 困窮度別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする..... 273
図 77. 困窮度別に見た、自分の体の状態で気になること 275
図 78. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　①楽しみにしていることがたくさんある.. 276
図 79. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　②遊びにでかけるのが好きだ.. 277
図 80. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　③元気いっぱいだ..... 278
図 81. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　④やろうと思ったことがうまくできる.. 279
図 82. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑤一人ぼっちのような気がする 280
図 83. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑥不安な気持ちになる 281
図 84. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑦まわりが気になる 282
図 85. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑧やる気が起きない 283

図 86. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、この一週間の気持ちの状況　⑨いらいらする 284
図 87. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体の状態で気になること 286
図 88. 困窮度別に見た、自分の体や気持ちで気になること 288
図 89. 経済的な理由による経験の該当数別に見た、自分の体や気持ちで気になること 290
図 90. 就労状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数..... 291
図 91. 就労状況別に見た、支えてくれる人得点 292
図 92. 困窮度別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか） 293
図 93. 困窮度別に見た、心の状態（将来に対して希望を持っているか）..... 294
図 94. 困窮度別に見た、心の状態（ストレスを発散できるものがあるか）..... 295
図 95. 困窮度別に見た、心の状態（自分が幸せだと思うか） 296
図 96. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか..... 298
図 97. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか..... 299
図 98. 困窮度別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか..... 300
図 99. 困窮度別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか..... 301
図 100. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）..... 302
図 101. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）..... 303
図 102. 困窮度別に見た、授業以外の読書時間 304
図 103. 困窮度別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの 305
図 104. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値（学校がある日） 306
図 105. 子ども部屋の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間の平均値（学校がない日） 307
図 106. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）..... 308
図 107. 起床時間の規則性別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）..... 309
図 108. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）..... 310
図 109. 朝食の頻度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）..... 311
図 110. 起床時間の規則性別に見た、授業以外の読書時間 312
図 111. 朝食の頻度別に見た、授業以外の読書時間 313
図 112. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）と学習理解度の関連 314
図 113. 困窮度別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）と学習理解度の関連 315
図 114. 学校への遅刻別に見た、子どもへの信頼度 316
図 115. 学校への遅刻別に見た、子どもとの会話頻度 317
図 116. 学校への遅刻別に見た、平日での子どもとの関わり時間..... 318
図 117. 学校への遅刻別に見た、休日での子どもとの関わり時間..... 319
図 118. 学校への遅刻別に見た、子どもの将来への期待度 320
図 119. 困窮度別に見た、子どもの将来への期待度 321
図 120. 困窮度別に見た、希望する進学先 322
図 121. 困窮度別に見た、希望する進学先（2016 年度調査との比較） 323
図 122. 困窮度別に見た、子どもに希望する進学 324
図 123. 困窮度別に見た、学校への遅刻 325
図 124. 困窮度別に見た、子どもの通学状況 326
図 125. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べているか..... 327
図 126. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べているか..... 328
図 127. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか..... 329
図 128. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか..... 330

図 129. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか..... 331
図 130. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか..... 332
図 131. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と文化活動をするか..... 333
図 132. 学校への遅刻別に見た、おうちの大人の人と一緒に外出するか..... 334
図 133. 学校への遅刻別に見た、嫌なことや悩んでいること 336
図 134. 学校への遅刻別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数..... 337
図 135. 学校への遅刻別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 338
図 136. 学校への遅刻別に見た、希望する進学先 339
図 137. 学校への遅刻別に見た、学校の勉強で気持ちに近いもの..... 340
図 138. 子どもの通学状況別に見た、嫌なことや悩んでいること..... 342
図 139. 子どもの通学状況別に見た、悩んだ時の対処を教えてくれる人のいない割合..... 343
図 140. 子どもの通学状況別に見た、自分の体や気持ちで気になることの該当個数..... 344
図 141. 子どもの通学状況別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 345
図 142. 子どもの通学状況別に見た、希望する進学先 346
図 142. 困窮度別に見た、保護者が家にいる時間帯 347
図 144. 困窮度別に見た、子どもへの信頼度 348
図 145. 困窮度別に見た、子どもとの会話頻度 349
図 146. 困窮度別に見た、平日での子どもとの関わり時間 350
図 147. 困窮度別に見た、休日での子どもとの関わり時間 351
図 148. 自分が世話をしている人の有無別に見た、学校や学校の行事等の状況..... 353
図 149. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がある日）..... 354
図 150. 自分が世話をしている人の有無別に見た、授業時間以外の１日あたりの勉強時間（学校がない日）..... 355
図 151. 困窮度別に見た、放課後を過ごす場所 359
図 152. 困窮度別に見た、放課後を一緒に過ごす人 361
図 153. 困窮度別に見た、毎日の生活で楽しいこと 363
図 154. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいること 365
図 155. 困窮度別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手..... 367
図 156. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先..... 369
図 157. 困窮度別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先（2016 年度調査との比較）..... 370
図 158. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がいない割合 371
図 159. 世帯構成別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先がいない割合（2016 年度調査との比較）.. 371
図 160. 困窮度別に見た、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 372
図 161. 子どもが放課後ひとりで過ごすかどうかと、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）..... 373
図 162. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの手伝いをしているか..... 374
図 163. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうか..... 375
図 164. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と学校でのできごとについて話すか..... 376
図 165. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりするか..... 377
図 166. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話すか..... 378
図 167. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と文化活動をするか..... 379
図 168. 地域社会に相談相手がいるかどうかと、おうちの大人の人と一緒に外出するか..... 380
図 169. 困窮度別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所..... 381
図 170. 困窮度別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所..... 382
図 171. 困窮度別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所..... 383

図 172. 困窮度別に見た、何でも相談できる場所 384
図 173. 困窮度別に見た、子どもの居場所の利用経験 385
図 174. 平日の夜や休日を過ごすことができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手 387
図 175. 昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手 389
図 176. 勉強を無料か安い料金でみてくれる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手 391
図 177. 何でも相談できる場所別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手..... 393
図 178. 自分が世話をしている人の有無別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手 395
図 179. 自分が世話をしている人の有無別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所 396
図 180. 自分が世話をしている人の有無別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所 397
図 181. 自分が世話をしている人の有無別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所 398
図 182. 自分が世話をしている人の有無別に見た、何でも相談できる場所..... 399
図 183. 子どもの居場所の利用経験別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先 401
図 184. 学校や学校の行事等の状況別に見た、嫌なことや悩んでいるときの相談相手..... 403
図 185. 学校や学校の行事等の状況別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所 405
図 186. 学校や学校の行事等の状況別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所..... 407
図 187. 学校や学校の行事等の状況別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所 409
図 188. 学校や学校の行事等の状況別に見た、何でも相談できる場所..... 411
図 189. 身近にあるといいと思うこと別に見た、平日の夜や休日を過ごすことができる場所 413
図 190. 身近にあるといいと思うこと別に見た、昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所..... 415
図 191. 身近にあるといいと思うこと別に見た、勉強を無料か安い料金でみてくれる場所 417
図 192. 身近にあるといいと思うこと別に見た、何でも相談できる場所..... 419
図 193. 身近にあるといいと思うこと別に見た、子どもの居場所の利用有無..... 421
図 194. 身近にあるといいと思うこと別に見た、本当に困ったときや悩みがあるときの相談相手・相談先 423

Ⅳ　資料編

大阪府子どもの生活に関する実態調査

小学生・中学生向け調査　調査票【大阪狭山市】

＜ 調査への協力のお願い ＞

◆この調査は、大阪府内の小学生・中学生のみなさんの学校や家での生活の様子、将来についての考えや希望などについてたずねるものです。
◆この調査は、小学生または中学生のあなたが自分で答えてください。
◆名前を書く必要はありません。テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。
◆答えたくない質問は答える必要はありません。
◆答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
◆あなたが答えた内容は、おうちの人や先生に見せる必要はありません。
◆大阪府と大阪狭山市はこの調査結果を参考に、子どもたちのために何ができるかを考えていきますので、ご協力をお願いします。
◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和５年9月15日までに回答してください。
◆大阪府と共同で実施しています。

（１）Webによるご回答

➢この調査は、Webから回答することができます。
➢回答方法は、16ページをごらんください。
※Webでの回答は１回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。

（２）紙の調査票によるご回答

・調査票に記入後、「小学生・中学生用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、学校の先生に渡してください。

◆期限：　令和５年9月15日（金曜日）◆

【調査に関するお問合せ先】
大阪狭山市教育委員会事務局こども政策部子育て支援グループ
電話　０７２－３４９－８０１５（直通）　※9:00～17:30　土・日曜日・祝日を除く
ファクシミリ　０７２－３６７－１２５４

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

（例）あなたの好きな色は何色ですか。

① 1．赤色 2．黄色	3．緑色 4．その他の色

※答えは、あてはまる番号に〇をつけてください。

※〇のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号１つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに〇をつけてください」などと書いてありますので、それにしたがってください。

あなたについておたずねします。

問１　あなたは小学生ですか、それとも中学生ですか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

1．小学生	2．中学生

あなたのふだんの生活のことについておたずねします。

問２　あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時刻に起きていますか。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

1．起きている 2．どちらかといえば、起きている	3．あまり、起きていない 4．起きていない

問３　あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

1．午後９時より前 2．午後９時台 3．午後１０時台	4．午後１１時台 5．午前０時台 6．午前１時より後	7．きまっていない

問４　朝食についておたずねします。

（１）あなたは、週にどのくらい、朝食を食べていますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

1．毎日またはほとんど毎日 2．週に４～５回	3．週に２～３回 4．週に１回程度	5．食べない

（２）前の質問で「１．毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが朝食を食べない理由はなんですか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．時間がない ２．おなかがすいていない	３．用意されていない ４．食べる習慣がない	５．わからない

問５　夕食についておたずねします。

（１）あなたは、週にどのくらい、夕食を食べていますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．毎日またはほとんど毎日 ２．週に４～５回	３．週に２～３回 ４．週に１回程度	５．食べない

（２）前の質問で「１．毎日またはほとんど毎日」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが夕食を食べない理由はなんですか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．時間がない ２．おなかがすいていない	３．用意されていない ４．食べる習慣がない	５．わからない

問６　お休みの日の昼食についておたずねします。

（１）あなたは、学校がお休みの日に昼食を食べますか。（夏休みなどの長期のお休みの日もふくみます。）（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．必ず食べる ２．食べることが多い	３．食べないことが多い ４．食べない	５．わからない

（２）前の質問で「１．必ず食べる」に○をつけた方以外におたずねします。あなたが、学校がお休みの日に昼食を食べない理由はなんですか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．時間がない ２．おなかがすいていない	３．用意されていない ４．食べる習慣がない	５．わからない

問７　あなたは、学校に遅刻することがありますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．毎日またはほとんど毎日 ２．週に４～５回	３．週に２～３回 ４．週に１回程度	５．遅刻はしない

©2014 大阪府もずやん

問８　あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。（①～⑩それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください）

	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない
①　おうちの大人の人と一緒に朝食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
②　おうちの大人の人と一緒に夕食を食べていますか。	1	2	3	4	5	6	7
③　おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
④　おうちの手伝いをしていますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑤　おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらいますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑥　おうちの大人の人と学校でのできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑦　おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑧　おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話しますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑨　おうちの大人の人と文化活動（図書館や美術館、博物館、音楽鑑賞に行くなど）をしますか。	1	2	3	4	5	6	7
⑩　おうちの大人の人と一緒に外出しますか。（散歩する・買い物に出かける・外食をするなど）	1	2	3	4	5	6	7

問９　あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいと思いますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．おうちの人と一緒に過ごしているとき	５．今、住んでいる地域の行事に参加しているとき
２．ともだちと一緒に過ごしているとき	６．塾や習いごとで過ごしているとき
３．学校生活やクラブ活動・部活動に参加しているとき	７．特に楽しいと思うときはない
４．ひとりで過ごしているとき	８．その他

問10 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．おうちの大人の人（お母さん・お父さん・おばあちゃん・おじいちゃん・親せきなど）
2．きょうだい
3．おうちの人以外の大人（近所の大人、塾や習いごとの先生など）
4．学校のともだち
5．クラブ活動・部活動の仲間
6．学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）
7．ひとりでいる
8．その他の人

問11 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．自分の家	9．コンビニエンスストア
2．おばあちゃん・おじいちゃんの家	10．ゲームセンター
3．ともだちの家	11．図書館や公民館など公共の施設
4．塾	12．地域の居場所（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところ）
5．習いごと	13．学童保育（※）
6．学校（クラブ活動・部活動など）	14．その他
7．公園・広場	
8．スーパーやショッピングモール	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会（室）」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」もふくみます。

問12 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

1．自分で勉強する	6．おうちの人に教えてもらう
2．塾で勉強する	7．ともだちと勉強する
3．学校の補習を受ける	8．その他
4．家庭教師に教えてもらう	9．学校の授業以外で勉強はしない
5．地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	

問13 あなたは、授業時間以外に１日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
（塾などの時間もふくみます。）（①、②それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください）

	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない
① 学校がある日（月～金曜日）	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**
② 学校がない日（土・日曜日・祝日）	**1**	**2**	**3**	**4**	**5**	**6**	**7**

あと半分だよ。
がんばってね！

問14 学校の勉強についておたずねします。
（１）学校の勉強について、一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．よくわかる ２．だいたいわかる	３．あまりわからない ４．ほとんどわからない	５．わからない

（２）前の質問で「３．あまりわからない」「４．ほとんどわからない」「５．わからない」に○をつけた方におたずねします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。
（あてはまるもの１つに○をつけてください）

１．小学１・２年生のころ ２．小学３・４年生のころ	３．小学５年生になってから ４．小学６年生のころ	５．中学１年生のころ ６．中学２年生になってから

問15 あなたは、学校の授業時間以外に、１日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。
（教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます。）（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．まったくしない ２．30分より少ない ３．30分以上、１時間より少ない ４．１時間以上、２時間より少ない	５．２時間以上、３時間より少ない ６．３時間以上 ７．わからない

問16 あなたは、学校や学校の行事等で次のようなことがありますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．授業中に寝てしまうことが多い	7．運動会や遠足などの学校行事を欠席する
2．宿題ができていないことが多い	8．保健室で過ごすことが多い
3．持ち物の忘れ物が多い	9．学校ではひとりで過ごすことが多い
4．習いごとを休むことが多い	10．ともだちと遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
5．提出物を出すのが遅れることが多い	11．特にない
6．修学旅行などの宿泊行事を欠席する	

問17 今、あなたは、いやなことや悩んでいることはありますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．おうちのこと	6．好きな人のこと
2．学校や勉強のこと	7．進学・進路のこと
3．クラブ活動や部活動のこと	8．その他のこと
4．自分のこと（外見や体型など）	9．いやなことや悩んでいることはない
5．ともだちのこと	10．わからない

問18 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれかに相談しますか。（だれに話しますか。）

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．親	12．インターネットやサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人
2．きょうだい	13．近所の人
3．親せき	14．地域の支援団体（学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まるところの人）
4．学校のともだち	15．その他の人
5．学校以外のともだち	16．だれにも相談できない
6．学校の先生	17．だれにも相談したくない
7．スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー	18．わからない
8．塾や習いごとの先生	
9．学童保育の先生（※）	
10．子ども専用の電話相談	
11．ＳＮＳなどのインターネットやLINEの相談	

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会（室）」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」もふくみます。

問19 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。あなたが、この一週間、どんな気持ちや状況だったのか、教えてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに答えてください。

（①～⑨それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください）

	いつもそうだ	ときどきそうだ	そんなことはない
① 楽しみにしていることがたくさんある	1	2	3
② 遊びにでかけるのが好きだ	1	2	3
③ 元気いっぱいだ	1	2	3
④ やろうと思ったことがうまくできる	1	2	3
⑤ 一人ぼっちのような気がする	1	2	3
⑥ 不安な気持ちになる	1	2	3
⑦ まわりが気になる	1	2	3
⑧ やる気が起きない	1	2	3
⑨ いらいらする	1	2	3

問20 あなたは、自分の体の状態で気になることはありますか。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．ねむれない	６．よくかゆくなる
２．よく頭がいたくなる	７．とくに気になるところはない
３．歯がいたい	８．その他
４．よくおなかがいたくなる	９．わからない
５．よくかぜをひく	

答えたくない質問は答える必要はないよ。

答えに迷うときは、あなたの気持ちや考えに

できるだけ近いものを選んでね。

©2014 大阪府もずやん

問21 あなたが、持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。

（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．本 （学校の教科書やマンガ・雑誌はのぞく） 2．マンガ・雑誌 3．子ども部屋（ひとり部屋やきょうだいと一緒に使っている部屋など） 4．インターネットにつながるパソコン （学校のパソコンはのぞく） 5．運動用具（ボール・ラケットなど） 6．ゲーム機 7．自転車	8．テレビ 9．けいたい電話 10．スマートフォン・タブレット機器 11．化粧品・アクセサリー 12．習いごとなどの道具（ピアノなど） 13．自分で選んだ服 14．キャラクターグッズ 15．その他 16．あてはまるものはない

あなたが、ふだん考えていることについておたずねします。

問22 あなたは、つらいことがあってもすぐ立ち直ることができますか。

（あてはまる番号１つに○をつけてください）

1．そう思う 2．どちらかというとそう思う	3．どちらかというとそう思わない 4．そう思わない

問23 あなたがふだん考えていることについて、次の（１）～（３）について教えてください。

（あてはまる番号１つに○をつけてください）

（１） 自分に自信がある

1．ある 2．どちらかというとある	3．どちらかというとない 4．ない

（２）自分の考えをはっきり相手に伝えることができる

１．できる	３．どちらかというとできない
２．どちらかというとできる	４．できない

（３）自分の将来の夢や目標を持っている

１．持っている	３．どちらかというと持っていない
２．どちらかというと持っている	４．持っていない

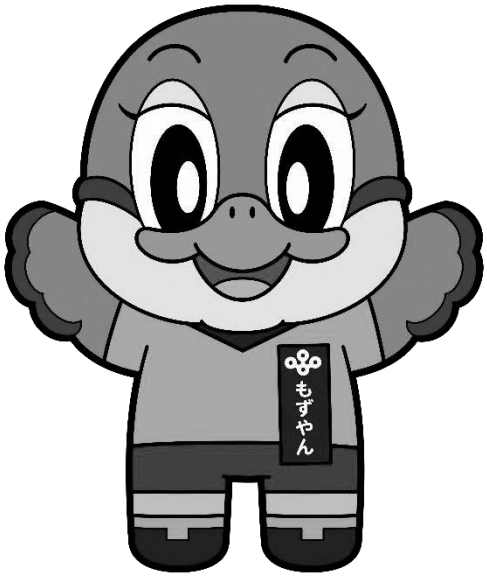
問24 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。

（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．中学校 ２．高校 ３．短期大学 ４．大学 ５．大学院	６．留学（外国で長い期間勉強すること） ７．専門学校（美容師や調理師など仕事の仕方や技術を学ぶための学校など）・高等専門学校 ８．考えたことがない ９．わからない

あともう少しだよ！

がんばってね！



©2014 大阪府もずやん

あなたのことについて、おたずねします。

問25 自分やともだちの家以外の場所についておたずねします。

（１）あなたは、次の①～④のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合、今後利用したいと思いますか。

（①～④それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください。）

	利用したことがある	利用したことはない（あれば利用したいと思う）	利用したことはない（今後も利用したいと思わない）	利用したことはない（今後も利用したいか分からない）
① 平日の夜や休日を過ごすことができる場所（学童保育など）	1	2	3	4
②昼食や夕食、お弁当を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）	1	2	3	4
③勉強を無料か安い料金でみてくれる場所（一般的な学習塾とはちがう学習支援など）	1	2	3	4
④何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ。）	1	2	3	4

（２）前の質問で、１つでも「利用したことがある」と答えた方におたずねします。そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．ともだちが増えた	６．勉強がわかるようになった
２．気軽に話せる大人が増えた	７．勉強する時間が増えた
３．生活の中で楽しみなことが増えた	８．その他
４．ほっとできる時間が増えた	９．特に変化はない
５．栄養のある食事をとれることが増えた	

（３）問２５（１）の質問で、「利用したことがある」に○をつけた方以外におたずねします。利用したことがないのはなぜですか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．どこにあるか知らないから	７．Wi-fi（インターネット通信環境）がないから
２．家の近く（ひとりで行ける場所）にないから	８．行きたいと思わないから
３．家で過ごしたいと思うから	９．何をしているかわからないから
４．楽しくなさそうだから	10．利用していることを近所の人やともだちに知られたくないから
５．「行ってはいけない」と親などの大人に言われるから	11．その他
６．行きたい日・時間に開いていないから	

問26 あなたがおうちでしているお世話の様子についておたずねします。

（１）おうちの人の中にあなたがお世話をしている人はいますか。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．いる	２．いない

（２）前の質問で「１．いる」に回答した方におたずねします。誰のお世話をしていますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．お母さん	４．おじいちゃん
２．お父さん	５．きょうだい
３．おばあちゃん	６．その他

（３）問２６（１）の質問で「１．いる」に回答した方におたずねします。あなたが行っているお世話の内容を教えてください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．料理や買い物、食器洗いなど	５．病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話、見守りをする、話し相手になる、通訳をする、お金の管理、薬の管理など
２．洗濯など	６．その他
３．そうじやゴミ捨てなど	
４．きょうだいのめんどうを見ることや保育所のおむかえなど	

（４）前の質問で「６．その他」に○をつけた方は、具体的な内容を書いてください。

（５）問２６（１）の質問で「１．いる」に回答した方におたずねします。お世話をすることはどれくらいありますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．ほぼ毎日	３．週に１日または２日
２．週に３日～５日	４．１か月に数日

（６）問２６（１）の質問で「１．いる」に回答した方におたずねします。学校がある日に、お世話を１日のうちどれくらいしていますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．１時間より少ない	４．3時間以上、5時間より少ない
２．１時間以上、２時間より少ない	５．5時間以上、7時間より少ない
３．２時間以上、３時間より少ない	６．７時間より多い

（７）問２６（１）の質問で「１．いる」に回答した方におたずねします。お世話をしていることによって次のようなことがありますか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．おうちの人と話したり遊んだりすることが増える	８．とても疲れることがある
２．時間の使い方を工夫できる	９．いらいらしやすい
３．家の中で気持ちよく過ごすことができる	10．気持ちが落ち込む
４．おうちの人が健康に過ごすことができる	11．学校を欠席や遅刻、早退することがある
５．「お世話」にやりがいを感じる	12．その他
６．おうちの人以外と話す時間が減る	13．特にない
７．自分のことをする時間がない	

問27 あなたの性別をえらんでください。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．男子	３．その他
２．女子	４．答えたくない

質問はこれで終わりです。調査にご協力いただきありがとうございました。
「小学生・中学生用」と書いてある封筒に入れ、シールをはがしてフタを閉じて、学校の先生に渡してください。

相談窓口のご案内

○親子やきょうだいのことなど家庭での悩みについては

<子どもの悩み相談フリーダイヤル>

TEL：０１２０－７２８５－２５
２４時間　３６５日
LINE　https://www.pref.osaka.lg.jp/kateishien/sodanliner3/index.html

<親子のための相談LINE>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

○友人関係など学校での悩みについては

<すこやかホットライン>

TEL：０６－６６０７－７３６１
月曜日～金曜日　：　９時～１７時３０分（※祝日・年末年始を除く）
Eメール　sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp

@2014　大阪府もずやん

【ひとりで悩まないで、相談してね。】

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

■ ＷＥＢで回答された場合は、同封の調査票の学校への提出は不要です。

■ 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

［二次元バーコード］

◆ パソコンの場合は、次のＵＲＬ（「ｈｔｔｐｓ…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

［ＵＲＬ］ https://src.webcas.net/form/pub/src2/2700082

◆ 最初の画面がでてきたら、次のＩＤを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ＩＤ

※ＩＤは、個人を特定するものではありません。

◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

大阪府子どもの生活に関する実態調査
保護者向け調査　調査票【大阪狭山市】

＜ 調査への協 力のお願い ＞

◆この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、大阪狭山市の子どものための支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答を支援策の充実や改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査への協力をお願いします。

◆調査の対象は、小学５年生と中学２年生です。

◆お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人や学校を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。

◆この調査で「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には調査票を受け取ったお子さんについてのみお答えください。

◆ごきょうだいなどで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙（またはWebフォーム）に回答してください。

◆回答するときには、お子さんと別々に、お互いの回答を見ないように記入してください。

◆Webまたは紙の調査票のどちらかで令和５年9月15日までに回答してください。

◆大阪府と共同実施です。

（１）Webによるご回答

➢この調査は、Webから回答することができます。

➢回答方法は、16ページをごらんください。

※Webでの回答は１回限りです。回答を送信すると、そのあとの修正はできません。

（２）紙の調査票によるご回答

・調査票に記入後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、シールをはがして封をしてください。お子さんを通じて、期限までに学校へ提出してください。

◆期限：　令和５年9月15日（金曜日）◆

【調査に関するお問合せ先】
大阪狭山市教育委員会事務局こども政策部子育て支援グループ
電話　０７２－３４９－８０１５（直通）　※9:00～17:30　土・日曜日・祝日を除く
ファクシミリ　０７２－３６７－１２５４

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

（例）あなたの好きな色は何色ですか。

① 1．赤色 2．黄色	3．緑色 4．その他の色

※答えは、あてはまる番号に〇をつけてください。

※〇のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号１つに〇をつけてください」や「あてはまる番号すべてに〇をつけてください」などと書いてありますので、それにしたがってください。

最初に、あなたとお子さんの関係についておたずねします。

問１　この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。（あてはまる番号１つに〇をつけてください）

1．お母さん 2．お父さん 3．おじいさん・おばあさん	4．おじ、おばなど親戚 5．施設職員・ファミリーホーム・里親 6．その他の人

世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、令和５年４月１日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々（世帯員）の集まりをいいます。血縁関係のない人でも同居していれば世帯に含んでください。また、単身赴任の方も含みます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。

※また、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人を除きます。

問２　あなたの世帯の構成と人数をお答えください。（①～⑧それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください）　（⑧は、あなたや対象のお子さんを含んだ人数をお答えください。）

①おばあさん	②おじいさん	③お母さん	④お父さん	⑧合計 （あなたや対象のお子さんを含む）
０．いない １．１人 ２．２人	０．いない １．１人 ２．２人	０．いない １．１人	０．いない １．１人	１．２人 ２．３人 ３．４人 ４．５人 ５．６人 ６．７人 ７．８人 ８．９人 ９．10人以上
⑤姉・兄	対象のお子さん （本人）（※）	⑥妹・弟	⑦その他	
０．いない １．１人 ２．２人 ３．３人 ４．４人以上	1人	０．いない １．１人 ２．２人 ３．３人 ４．４人以上	０．いない １．１人 ２．２人 ３．３人 ４．４人以上	

※「対象のお子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。

問３　お子さんと同居し、生計を共にしている親の婚姻状況を教えてください。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．結婚している（再婚や事実婚を含む。）	４．未婚
２．離婚	５．わからない
３．死別	６．いない

問４　前の質問で「２．離婚」に○をつけた方におたずねします。

離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。
また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．取り決めをしており、受け取っている
２．特に取り決めはしていないが、受け取っている
３．取り決めをしているが、受け取っていない
４．取り決めをしておらず、受け取っていない

問５　あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．持ち家（親・きょうだいの名義を含む） ２．府営・市営の住宅 ３．ＵＲ賃貸住宅・公社賃貸住宅	４．民間の賃貸住宅 ５．官舎・社宅 ６．その他

問６　あなたの家計の収支状況についておたずねします。

（１）　前年（２０２２年）の１年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

１．貯蓄ができている ２．赤字である	３．赤字でもなく黒字でもない ４．わからない

（２）　お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．貯蓄をしている ２．貯蓄をしたいが、できていない	３．貯蓄をするつもりはない

問７　あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．食費を切りつめた ２．電気・ガス・水道などが止められた ３．医療機関を受診できなかった ４．国民健康保険料の支払いが滞ったことがある ５．国民年金の支払いが滞ったことがある ６．金融機関などに借金をしたことがある ７．クレジットカードの利用が停止になったことがある ８．新しい衣服・靴を買うのを控えた ９．新聞や雑誌を買うのを控えた 10．スマートフォンへの切替・利用を断念した 11．冠婚葬祭のつきあいを控えた 12．生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	13．鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした 14．電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞ったことがある 15．家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある 16．趣味やレジャーの出費を減らした 17．冷暖房の使用を控えた 18．友人・知人との外食を控えた 19．敷金・保証金などを用意できないので、住み替え・転居を断念した 20．理髪店・美容院に行く回数を減らした 21．子ども部屋が欲しかったがつくれなかった 22．１～21の項目には、どれもあてはまらない

問８　お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。（あてはまる番号１つに○をつけてください）　（現在、ひとりでお子さんを育てている場合（ひとり親の場合）はあてはまる方だけに○をつけてください。）

お母さん	お父さん
１．中学校卒業 ２．高等学校中途退学 ３．高等学校卒業 ４．高専、短大、専門学校等卒業 ５．大学卒業 ６．大学院修了 ７．その他の教育機関卒業 ８．答えたくない	１．中学校卒業 ２．高等学校中途退学 ３．高等学校卒業 ４．高専、短大、専門学校等卒業 ５．大学卒業 ６．大学院修了 ７．その他の教育機関卒業 ８．答えたくない

問９　お子さんの保護者の方の現在の就業状況についておたずねします。（複数か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください）

※お母さん、お父さん以外の方が主として家計を支えている場合、「お母さん、お父さん以外の方」にもご記入をお願いします。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

お母さん	１．いる	２．いない

「１．いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「７．仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．勤め（常勤・正規職員） ２．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務） ３．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務） ４．自営業・家業 ５．その他の就業形態 ６．仕事を探している	７．仕事を探していない ①家事や育児に専念したいため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

お父さん	１．いる	２．いない

「１．いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「７．仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．勤め（常勤・正規職員） ２．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務） ３．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務） ４．自営業・家業 ５．その他の就業形態 ６．仕事を探している	７．仕事を探していない ①家事や育児に専念したいため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

お母さん、お父さん以外に主として家計を支えている方（おばあさん、おじいさん、おじ、おば、親戚など）	
１．いる	２．いない

「１．いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

「７．仕事を探していない」に○をつけた方は、仕事を探していない主な理由について①～⑦のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

１．勤め（常勤・正規職員） ２．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で１か所に勤務） ３．勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で２か所以上に勤務） ４．自営業・家業 ５．その他の就業形態 ６．仕事を探している	７．仕事を探していない ①家事や育児に専念したいため ②学生のため ③おうちの人の介護や介助のため ④病気療養のため ⑤年金収入があるため ⑥家賃収入、株式運用などの収入があるため ⑦その他

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

※保護者の方には、おばあさん、おじいさん、おじ、おばなど親戚を含みます。

※自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

１．お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる	４．お子さんが寝た後に帰ってくる
２．お子さんの夕食時間には家にいる	５．帰宅時間が決まっていない
３．お子さんの寝る時間には家にいる	６．その他

問11 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．日本語のみを使用している
２．日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
３．日本語以外の言語を使うことが多い

お子さんに関することについておたずねします。

問12 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。（おおむね１年の間でお考えください。）（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．お子さんを医療機関に受診させることができなかった	９．お子さんを学習塾に通わせることができなかった
２．お子さんの進路を変更した	10．お子さんの誕生日を祝えなかった
３．お子さんのための本や絵本が買えなかった	11．お子さんにお年玉をあげることができなかった
４．お子さんにおこづかいを渡すことができなかった	12．お子さんの学校行事などに参加することができなかった
５．お子さんに新しい服や靴を買うことができなかった	13．子ども会、地域の行事（祭りなど）の活動に参加することができなかった
６．お子さんを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	14．家族旅行（テーマパークなど日帰りのおでかけを含む）ができなかった
７．お子さんを習い事に通わすことができなかった	15．１～14の項目には、どれにもあてはまらない
８．お子さんを学校のクラブ活動・部活動に参加させられなかった	

問13 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。

（１）あなたは、お子さんを信頼していますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．とても信頼している	３．あまり信頼していない
２．信頼している	４．信頼していない

（２）あなたは、お子さんとよく会話をしますか。　（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．よくする	３．あまりしない
２．する	４．しない

（３）あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、１日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。（平日、休日それぞれについて、あてはまる番号１つに○をつけてください）

平日	休日
１．０～１５分未満	１．２時間未満
２．１５分～３０分未満	２．２時間～４時間未満
３．３０分～１時間未満	３．４時間～６時間未満
４．１時間～２時間未満	４．６時間～８時間未満
５．２時間～３時間未満	５．８時間～１０時間未満
６．３時間～４時間未満	６．１０時間以上
７．４時間以上	

（４）あなたは、お子さんの将来に期待していますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．とても期待している	３．あまり期待していない
２．期待している	４．期待していない

（５）お子さんの授業参観や運動会などの学校行事に参加していますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．よく参加している	３．あまり参加していない
２．ときどき参加している	４．まったく参加していない

問14 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．中学校	４．大学	７．専門学校・高等専門学校
２．高校	５．大学院	８．考えたことがない
３．短期大学	６．留学	９．わからない

問15 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの１つに○をつけてください。

１．ほぼ毎日通っている
２．欠席は年間３０日未満である
３．欠席が年間３０日以上、６０日未満である
４．欠席が年間６０日以上、１年未満である
５．欠席が１年以上続いている
６．わからない

問16 子どもの居場所について、おたずねします。

（１）あなたのお子さんは、次のような「子どもの居場所」を利用したことがありますか。
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

・自宅や学校以外の場所で、子どもたちが本を読んだり、みんなで遊んだりできるような場所
・子どもが無料又は低額で食事ができる場所（子ども食堂）
・自宅や学校、塾以外の場所で、無料でボランティアの方などが勉強を教える学習支援の場

１．利用したことがある	２．利用したことがない

（２）前の質問で「１．利用したことがある」と答えた方におたずねします。
お子さんが子どもの居場所を利用することで良いと思うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．地域の人とつながれるから	６．宿題など勉強を見てくれるから
２．お子さんが一人でご飯を食べなくてすむから	７．お子さんが楽しんでいるから
３．栄養バランスがとれた食事がとれるから	８．特になし
４．運営者が相談に乗ってくれるから	９．その他
５．低額（または無料）でご飯が食べられるから	

（３）問１６（１）の質問で「２．利用したことがない」と答えた方におたずねします。
子どもの居場所を利用しないのはなぜですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．どこにあるか知らないから	６．行きたい日・時間に開いていないから
２．家の近く（小学校区内）にないから	７．利用したいと思わないから
３．家で過ごしてほしいと思うから	８．何をしているかわからないから
４．居場所のイメージがよくないから	９．その他
５．お子さんが「行きたくない」と言っているから	

あなたのことについておたずねします。

問17 初めて親となった年齢はいくつですか。（実子以外も含みます）
（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．１０代 ２．２０～２３歳	３．２４～２６歳 ４．２７～３０歳	５．３１～３４歳 ６．３５～３９歳	７．４０歳以上

問18 次の①～⑦について、おうちの方を含め（お子さんは除く）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④ お子さんとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤ お子さんの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人（運動や文化活動）	1	2	3
⑥ お子さんの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3

問19 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

１．配偶者・パートナー ２．自分の親 ３．配偶者・パートナーの親 ４．きょうだい・その他の親戚 ５．知人や友人 ６．職場関係者 ７．学校の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー ８．公的機関や役所の相談員	９．学童保育の指導員（※） 10．地域の民生委員・児童委員 11．民間の支援団体・カウンセラー（電話相談含む） 12．医療機関の医師や看護師 13．インターネットのサイトへの書き込み、ＳＮＳやLINEによる相談 14．その他 15．相談できる相手がいない

※「学童保育」とは、「放課後児童クラブ」、「いきいき放課後児童クラブ」、「留守家庭児童会（室）」、「学童クラブ」、「仲良しクラブ」もふくみます。

問20 次のうち、身近にあるといいと思うことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．保護者どうしで気軽に話せる場 2．SNSなどのインターネットを通じて悩みごとを話せるコミュニティ 3．家事の援助が受けられること 4．支援制度など必要な情報を届けてくれること 5．困った時にご飯を無料または安価で自宅に届けてくれるサービス	6．お子さんが放課後や休日に勉強などができる場所を利用できること 7．お子さんが無料で学習支援を受けられる場所 8．お子さんや保護者が夕食を無料か安い料金で食べることができる場所（子ども食堂など）を利用できること

問21 あなたの心の状態についておたずねします。

（1）生活を楽しんでいますか。（仕事や家事、育児など）
（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1．とても楽しんでいる 2．楽しんでいる	3．あまり楽しんでいない 4．楽しんでいない	5．わからない

（2）将来に対して希望を持っていますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1．希望が持てる 2．希望が持てるときもあれば、持てないときもある	3．希望が持てない 4．わからない

（3）ストレスを発散できるものがありますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1．ある 2．あるときもあれば、ないときもある	3．ない 4．わからない

（4）あなたは、ご自分が幸せだと思いますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

1．とても幸せだと思う 2．幸せだと思う 3．あまり幸せだと思わない	4．幸せだと思わない 5．わからない

問22 あなたは、自分の体や気持ちで気になることはありますか。
（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1．ねむれない	10．まわりが気になる
2．よく頭がいたくなる	11．やる気が起きない
3．歯がいたい	12．イライラする
4．不安な気持ちになる	13．よく肩がこる
5．ものを見づらい	14．よく腰がいたくなる
6．聞こえにくい	15．とくに気になるところはない
7．よくおなかがいたくなる	16．その他
8．よくかぜをひく	17．わからない
9．よくかゆくなる	

答えたくない質問に答える必要はありません。

答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。

問23　あなたの世帯では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。
（a～gそれぞれについて、**1**～**3**のあてはまる番号１つに○をつけてください）
また、「**3**　利用したことがない」場合、その理由は何ですか。（①～⑤のあてはまる番号1つに○をつけてください）

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c 生活困窮者の自立支援相談窓口 ※3	d 児童扶養手当 ※4	e 母子家庭等就業・自立支援センター ※5	f 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 ※6	g 新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金） ※7
現在利用している	**1**	**1**	**1**	**1**	**1**	**1**	**1**
現在利用していないが、以前利用したことがある	**2**	**2**	**2**	**2**	**2**	**2**	**2**
利用したことがない	**3**	**3**	**3**	**3**	**3**	**3**	**3**
制度の対象外（収入などの条件を満たさない）だと思うから	①	①	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	②	②	②	②	②	②	②
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	③	③	③	③	③	③	③
利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	④	④	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

3に○をつけた場合、
↓
①～⑤のあてはまるもの1つに○をつけてください

（参考）
※１　就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費などを補助する制度。

※２　生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。

※３　生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。

※４　児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）

※５　母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けることができる。

※６　低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金：新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯（児童扶養手当受給者など）に対し子育て世帯生活支援特別給付金を支給する制度。

※７　新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金（貸付金）：新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業などにより、一時的又は継続的に収入減少した世帯を対象に、生活福祉資金貸付制度における生活支援費などを支給する制度。

世帯の経済状況についておたずねします。

問24　前年（２０２２年）のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。

（あてはまる番号１つに○をつけてください）

※収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。税金や社会保険料を払ったあとの額でお答えください。

※また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

１．50万円未満	12．550～600万円未満	23．1,200～1,300万円未満
２．50～100万円未満	13．600～650万円未満	24．1,300～1,400万円未満
３．100～150万円未満	14．650～700万円未満	25．1,400～1,500万円未満
４．150～200万円未満	15．700～750万円未満	26．1,500～1,750万円未満
５．200～250万円未満	16．750～800万円未満	27．1,750～2,000万円未満
６．250～300万円未満	17．800～850万円未満	28．2,000～2,250万円未満
７．300～350万円未満	18．850～900万円未満	29．2,250～2,500万円未満
８．350～400万円未満	19．900～950万円未満	30．2,500～2,750万円未満
９．400～450万円未満	20．950～1,000万円未満	31．2,750～3,000万円未満
10．450～500万円未満	21．1,000～1,100万円未満	32．3,000万円以上
11．500～550万円未満	22．1,100～1,200万円未満	33．わからない

新型コロナウイルスの感染状況についておたずねします。

問25　この１年間でお子さんを含め、同居家族が新型コロナウイルスに感染したのべ回数を教えてください。（例：母　1回、長男　１回　⇒２回とお答えください。）

[　　]　回

問26　あなたの住居環境についておたずねします。

（１）あなたがお住まいの住居の間取りは、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号１つに○をつけてください）

１．ワンルーム	３．居室２部屋（２Ｋ、２ＤＫ、２ＬＤＫ）
２．居室１部屋（１Ｋ、１ＤＫ、１ＬＤＫ）	４．居室３部屋（３Ｋ、３ＤＫ、３ＬＤＫ）以上

（２）その住居には、何人でお住まいですか。（□に数字をお書きください。）

[　　]　人

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。

相談窓口のご案内

○生活困窮者自立支援相談窓口

https://www.pref.osaka.lg.jp/shakaiengo/seikon_gaiyou/index.html#jiritu

○大阪府立母子・父子福祉センター（大阪市、堺市、豊中市は各市の窓口）

https://osakafu-boshiren.jp/

○子育てや親子関係の悩みについては

<親子のための相談LINE>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29751.html

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

■ ＷＥＢで回答された場合は、同封の調査票の学校への提出は不要です。

■ 携帯電話（ガラケー）では回答できませんのでご注意ください。

◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。

［二次元バーコード］

◆ パソコンの場合は、次のＵＲＬ（「ｈｔｔｐｓ…」から始まるアドレス）を検索画面に手入力し、エンターキーを押してください。

［ＵＲＬ］ https://src.webcas.net/form/pub/src2/2700081

◆ 最初の画面が表示されたら、次のＩＤを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ＩＤ

※ＩＤは、個人を特定するものではありません。

◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

子ども・保護者のみなさまに本調査にご協力いただきました。ご多忙の中快くお引き受けくださりご協力くださいましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

大阪狭山市子どもの生活に関する実態調査

令和６年３月

大阪狭山市
調査研究業務　受注者
公立大学法人大阪　大阪公立大学